

MG3600 series
オンラインマニュアル - 取扱説明書 -

本製品で利用できる便利な機能
本製品の基本情報
プリント
コピー
スキャン
困ったときには

目次

オンラインマニュアルの使いかた.	16
商標・ライセンスについて.	17
検索のヒント.	25
まず使ってみる.	27
パソコンで写真を印刷する.	28
文書をコピーする.	31
本製品で利用できる便利な機能.	34
「アクセスポイントモード」でかんたん無線接続.	35
「My Image Garden (マイ・イメージ・ガーデン)」を使ってかんたん写真印刷.	36
バリエーション豊かなコンテンツ素材をダウンロード.	38
ウェブアプリ「Easy-PhotoPrint+ (イージー・フォト・プリント・プラス)」を使って作品印刷.	39
本製品で利用できる接続方法について.	40
ダイレクト接続 (Windows XP)	42
制限事項について.	44
おまかせ機能でかんたんスキャン.	46
原稿台よりも大きな原稿をスキャン.	47
複数の原稿を一度にスキャン.	48
PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する.	49
Web サービスを使って印刷するときのご注意.	50
スマートフォン・タブレット・パソコンから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する.	51
Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用する前に.	52
Canon Inkjet Cloud Printing Center 動作要件.	53
Canon Inkjet Cloud Printing Center にユーザー情報を登録する.	54
Canon Inkjet Cloud Printing Center にユーザー情報を登録する (液晶モニターがない場合／PRO-1000 series／PRO-500 series をお使いの場合)	55
Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用する.	61
Canon Inkjet Cloud Printing Center 画面説明.	65
プリンターを追加する.	102
PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用するユーザーを追加する.	104
Canon Inkjet Cloud Printing Center のトラブルシューティング.	109
Canon PRINT Inkjet/SELPHY でスマートフォンやタブレットからかんたん印刷.	112

Windows RT での印刷.	113
プリンター情報を確認する.	114
オンラインストレージ連携機能.	117
セット方法.	118
用紙をセットする.	119
普通紙／写真用紙／はがきをセットする.	120
封筒をセットする.	125
原稿をセットする.	129
原稿台ガラスに原稿をセットする.	130
セットできる原稿について.	132
原稿台カバーの取り外しかた／取り付けかた.	133
FINE カートリッジを交換する.	134
FINE カートリッジを交換する.	135
インクの状態を確認する.	141
インクの状態を操作パネルのインクランプで確認する.	142
お手入れ（メンテナンス）.	143
印刷にかすれやむらがあるときには.	144
お手入れの手順について.	145
ノズルチェックパターンを印刷する.	147
ノズルチェックパターンを確認する.	148
プリントヘッドをクリーニングする.	149
プリントヘッドを強力クリーニングする.	150
プリントヘッド位置を調整する.	151
パソコンからメンテナンス機能を実行する（Windows）.	153
プリントヘッドをクリーニングする.	154
給紙ローラーをクリーニングする.	156
プリントヘッド位置を調整する.	157
プリントヘッドの位置を調整する.	158
自動でプリントヘッドの位置を調整する.	162
ノズルチェックパターンを印刷する.	163
プリンター内部をクリーニングする.	164
本製品を清掃する.	165
本製品の外側を清掃する.	166
原稿台の周辺部分を清掃する.	167
給紙ローラーをクリーニングする.	168

インクふき取りクリーニングを行う.....	169
本製品の基本情報.....	171
安全ガイド.....	173
安全にお使いいただくために.....	174
法規制情報.....	175
各部の名称と使いかた.....	177
各部の名称と役割.....	178
前面.....	179
背面.....	181
内部.....	182
操作パネル.....	183
本製品の電源について.....	185
電源が入っているか確認する.....	186
電源を入れる／切る.....	187
電源プラグ／電源コードについて.....	189
電源プラグを抜く.....	190
本製品の設定を変更する.....	191
パソコンで設定を変更する（Windows）.....	192
印刷オプションの設定を変更する.....	193
よく使う印刷設定を登録する.....	194
使用するインクカートリッジを設定する.....	196
プリンターの電源を操作する.....	197
プリンターの動作音を抑える.....	199
プリンターの設定を変更する.....	201
本製品の操作パネルで設定を変更する.....	203
低騒音化設定について.....	204
本製品の電源を自動でオン／オフする.....	205
本製品の設定を初期化する.....	206
本製品の無線 LAN 機能を無効にする.....	207
ネットワーク接続に関する情報.....	208
ネットワーク接続で役立つ情報.....	209
工場出荷時初期値（ネットワーク）.....	210
同じ名前のプリンターを検出したときは.....	211
他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り換える.....	212
本製品のネットワーク設定情報を印刷する.....	213

ネットワーク通信について (Windows)	216
ネットワーク設定を変更／確認する.	217
IJ Network Tool について.	218
[無線 LAN] シートの設定を変更する.	219
WEP の詳細設定を変更する.	221
WPA／WPA2 の詳細設定を変更する.	223
[有線 LAN] シートの設定を変更する.	226
[管理パスワード] シートの設定を変更する.	227
無線 LAN の通信状況を確認する.	228
ダイレクト接続の設定を変更する.	231
本製品のネットワーク設定情報を初期化する.	233
設定内容を確認する.	234
IJ Network Tool の画面の説明 (ネットワーク接続)	235
[Canon IJ Network Tool] 画面.	236
[詳細設定] 画面.	240
[無線 LAN] シート.	241
[検出] 画面.	244
[WEP 詳細] 画面.	246
[WPA/WPA2 詳細] 画面.	247
[認証タイプの確認] 画面.	248
[PSK : パスフレーズと動的暗号化の設定] 画面.	249
[設定内容の確認] 画面.	250
[有線 LAN] シート.	251
[管理パスワード] シート.	252
[ネットワーク情報] 画面.	253
[アクセス制限] シート.	254
[アクセス可能な MAC アドレスの編集] 画面／[アクセス可能な MAC アドレスの追加] 画面	258
[アクセス可能な IP アドレスの編集] 画面／[アクセス可能な IP アドレスの追加] 画面. . .	259
IJ Network Tool の画面の説明 (その他)	261
[Canon IJ Network Tool] 画面.	262
[通信状況] 画面.	266
[通信状態の測定] 画面.	267
[メンテナンス] 画面.	269
[カードスロットのセットアップ] 画面.	270
[ポートの関連付け] 画面.	272
[ネットワーク情報] 画面.	273
役立つ情報 (ネットワーク)	274
ネットワーク経由でカードスロットを使う.	275

ポートが関連付けられていないとき.	277
用語について.	278
無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意.	284
制限事項.	285
ファイアウォールについて.	286
きれいに印刷するためのヒント集.	287
インクについて知っておきたいこと.	288
印刷を失敗しないためのポイント.	289
用紙をセットしたあとは、用紙の設定を忘れずに.	290
印刷を中止するときは.	291
いつもきれいな印刷を楽しむためのポイント.	292
本製品を移送するときの注意.	293
原稿をスキャンするときの注意事項.	294
仕様.	295
用紙に関する情報.	299
使用できる用紙について.	300
用紙の最大積載枚数.	303
使用できない用紙について.	305
印刷できる範囲.	306
印刷できる範囲について.	307
レター、リーガル、封筒以外のサイズ of 用紙.	308
レター、リーガル.	309
封筒.	310
管理用のパスワードについて.	312
認証について.	313
本製品のシリアルナンバーの記載箇所について.	314
機種別機能一覧.	315
プリント.	317
パソコンから印刷してみよう.	318
お使いのアプリケーションソフトで印刷する（Windows プリンタードライバー）.	319
かんたんな設定で印刷を行う.	320
プリンタードライバーでの用紙の設定.	322
いろいろな印刷.	324
用紙サイズと印刷の向きを設定する.	325

部数と印刷順序を設定する.	326
とじしろを設定する.	328
フチなし全面印刷を行う.	330
フィットページ印刷を行う.	333
拡大/縮小印刷を行う.	335
割り付け印刷を行う.	338
分割/ポスター印刷を行う.	340
冊子印刷を行う.	343
両面印刷を行う.	345
スタンプ付き、背景付き印刷を行う.	348
スタンプを登録する.	351
背景として使用する画像データを登録する.	354
封筒に印刷する.	357
はがきに印刷する.	360
印刷前に印刷結果を表示する.	362
用紙の縦横サイズを設定する（ユーザー定義用紙）.	363
印刷ドキュメントの編集や印刷履歴の再印刷を行う.	365
印刷品質の変更や画像データの補正.	368
印刷品質を設定する（ユーザー設定）.	369
カラーの原稿をモノクロで印刷する.	371
色補正の方法を指定する.	373
画像データに適した写真印刷を行うには.	375
プリンタードライバーで色の補正を行う.	376
ICC プロファイルを使用して印刷する.	378
カラーバランスを調整する.	381
パターンを見て、カラーバランスを調整する（プリンタードライバー）.	383
明るさを調整する.	387
濃度を調整する.	389
コントラストを調整する.	391
パターンを見て、濃度/コントラストを調整する（プリンタードライバー）.	393
プリンタードライバーの概要.	397
Canon IJ プリンタードライバー.	398
プリンタードライバーの設定画面の開きかた.	399
Canon IJ ステータスマニタ.	401
パソコンでインクの状態を確認する.	402
Canon IJ プレビュー.	403
不要になった印刷ジョブを削除する.	404
使用上の注意（プリンタードライバー）.	405
プリンタードライバーの画面説明.	407

[クイック設定] シートの画面説明.....	408
[基本設定] シートの画面説明.....	414
[ページ設定] シートの画面説明.....	419
[ユーティリティ] シートの画面説明.....	430
Canon IJ プレビューの画面説明.....	437
Canon IJ XPS プレビューの画面説明.....	440
Canon IJ ステータスマニタの画面説明.....	448
MP ドライバーの更新.....	451
最新の MP ドライバーを入手する.....	452
不要になった MP ドライバーを削除する.....	453
MP ドライバーをインストールする前に.....	454
MP ドライバーをインストールする.....	455
キヤノンのアプリケーションソフトを使って印刷してみよう.....	456
My Image Garden ガイド.....	457
ウェブサービスを使って印刷してみよう.....	458
PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する.....	49
Google Cloud Print を利用して印刷してみよう.....	460
Google アカウントを取得する.....	462
Google Cloud Print に本製品を登録する.....	463
パソコンやスマートフォンから Google Cloud Print を利用して印刷する.....	465
Google Cloud Print から本製品の登録を削除する.....	469
Mac を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう.....	470
スマートフォン／タブレットから印刷してみよう.....	472
スマートフォン／タブレットから直接印刷してみよう.....	473
Android 機器から印刷してみよう.....	474
iOS 機器を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう.....	475
本製品をアクセスポイントモードで使用する.....	479
ウェブサービスを使って印刷してみよう.....	482
PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する.....	49
Google Cloud Print を利用して印刷してみよう.....	460
デジタルカメラから印刷してみよう.....	486
PictBridge (Wireless LAN) 対応機器から印刷する.....	487
PictBridge (Wireless LAN) の印刷設定について.....	488
コピー.....	490
普通紙にコピーする.....	491
写真用紙にコピーする.....	493

A4 サイズとレターサイズを切り替える.	494
スマートフォン／タブレットを使ってコピーする.	495
スキャン.	496
パソコンからスキャンしてみよう（Windows）.	497
IJ Scan Utility でスキャンする.	498
スキャナー用ソフト「IJ Scan Utility」とは.	499
IJ Scan Utility を起動する.	501
おまかせスキャンでかんたんにスキャンする.	502
文書をスキャンする.	503
写真をスキャンする.	504
お気に入りの設定でスキャンする.	505
原稿台より大きな原稿をスキャンする（画像の貼り合わせ）.	506
[画像貼り合わせ] ウィンドウでクロップ枠を調整する.	510
複数の原稿を一度にスキャンする.	511
スキャン結果を確認して保存する.	514
スキャンした画像を E メールに添付して送信する.	517
スキャンした画像から文字列を抜き出す（OCR）.	520
IJ Scan Utility の画面説明.	523
IJ Scan Utility 基本画面.	524
スキャン設定ダイアログボックス.	526
[保存設定] ダイアログボックス.	558
[画像貼り合わせ] ウィンドウ.	561
お使いのアプリケーションソフトでスキャンする（ScanGear）.	566
ScanGear（スキャナードライバー）とは.	567
ScanGear（スキャナードライバー）で細かく設定してスキャンしよう.	569
ScanGear（スキャナードライバー）を起動する.	570
「基本モード」でスキャンする.	571
「拡張モード」でスキャンする.	574
「拡張モード」で ADF（自動原稿給紙装置）から複数の原稿をスキャンする.	576
ScanGear（スキャナードライバー）で複数の原稿を一度にスキャンする.	578
ScanGear（スキャナードライバー）で画像補正や色調整をしてみよう.	582
画像補正のしかた（輪郭強調・ごみ傷低減・褪色補正など）.	583
色調整パターンを使った色調整のしかた.	586
彩度・カラーバランスの調整のしかた.	588
明るさ・コントラストの調整のしかた.	590
ヒストグラムの調整のしかた.	592
トーンカーブの調整のしかた.	596

白黒設定のしかた.....	599
ScanGear（スキャナードライバー）の画面説明.....	600
[基本モード] シート.....	601
[拡張モード] シート.....	608
[入力設定]	614
[出力設定]	617
[画像設定]	620
色調整ボタン.....	625
[詳細設定] ダイアログボックス.....	628
[スキャナー] シート.....	629
[プレビュー] シート.....	635
[スキャン] シート.....	637
[色の設定] シート.....	638
原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）.....	640
クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）.....	643
使用上の注意（スキャナードライバー）.....	646
そのほかのスキャンのしかた.....	648
WIA ドライバーでスキャンする.....	649
コントロールパネルからスキャンする（Windows XP のみ）.....	653
IJ Network Scanner Selector EX のメニューと設定画面.....	655
IJ Network Scanner Selector EX をアンインストールしたい.....	658
スキャンの役立つ情報.....	659
解像度について.....	660
データ形式について（ファイルの種類／フォーマット）.....	662
カラーマッチングについて.....	663
原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）.....	664
ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法.....	666
パソコンからスキャンしてみよう（Mac OS）.....	668
スマートフォン／タブレットを使ってスキャンしてみよう.....	669
PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する.....	49
困ったときには.....	671
ネットワークに関するトラブル.....	673
ネットワーク上にプリンターが見つからない.....	674
[プリンター設定の確認] 画面でプリンターが見つからない.....	675
無線 LAN 接続のセットアップのときにプリンターが見つからない（チェック 1）.....	676
無線 LAN 接続のセットアップのときにプリンターが見つからない（チェック 2）.....	677

無線 LAN 接続のセットアップのときにプリンターが見つからない (チェック 3)	678
無線 LAN 接続のセットアップのときにプリンターが見つからない (チェック 4)	679
[ネットワーク上のプリンター一覧] 画面でプリンターが見つからない.	680
[プリンターの接続] 画面 / [ケーブルの接続] 画面から先に進めない.	681
無線 LAN 接続でプリンターが検出されない.	683
本製品をネットワーク接続で使用中のトラブル.	686
本製品が突然使えなくなった.	687
ネットワークキーを忘れてしまった / わからない.	691
本製品に設定した管理者パスワードを忘れてしまった.	693
無線 LAN ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった. . .	694
印刷に時間がかかる.	696
Canon IJ ステータスマニタでインク残量が表示されない (Windows)	697
ネットワークに関するその他のトラブル.	698
ネットワーク設定の途中パソコン画面にメッセージが表示された.	699
定期的にパケットが送出されている (Windows)	701
ネットワークに関する設定を調べたい.	702
本製品の LAN 設定を初期設定状態に戻す.	705
スマートフォン / タブレットから印刷 / スキャンしているときのトラブル.	706
スマートフォン / タブレットから印刷 / スキャンできない.	707
印刷に関するトラブル.	710
印刷が始まらない.	711
用紙がつまった.	714
コピー / 印刷結果に満足できない.	715
最後まで印刷できない.	717
文書の一部が印刷されない (Windows)	718
白紙のまま排紙される / 印刷がかすれる / 違う色になる / 白いすじ (線) が入る.	719
色味がおかしい.	722
罫線がずれる.	724
罫線が欠けるまたは印刷されない (Windows)	725
画像が欠けるまたは印刷されない (Windows)	726
インクがにじむ / 用紙が反る.	727
印刷面が汚れる / こすれる.	728
用紙の裏面が汚れる.	732
画像の横に縦線パターンが印刷される.	733
色むらや色すじがある.	734
インクが出ない.	736
用紙がうまく送られない / 「用紙なし」のエラーが発生する.	737
自動両面印刷でうまく印刷できない.	739

コピー／印刷が途中で止まる.	741
AirPrint で印刷できない.	742
スキャンに関するトラブル (Windows)	743
スキャンができない.	744
スキャナーが動かない.	745
ScanGear (スキャナードライバー) がアプリケーションソフトから呼び出せない.	746
エラーメッセージが表示されて ScanGear (スキャナードライバー) の画面が表示できない.	747
複数の原稿を一度にスキャンできない.	748
「おまかせスキャン」でうまくスキャンできない.	749
スキャンに時間がかかる.	750
「メモリーが足りません...」のメッセージが出てスキャンができない.	751
スキャンの途中でパソコンが動かなくなった.	752
これまで使っていた Windows をアップグレードしたらスキャナーが動かなくなった.	753
スキャンした画像が開けない.	755
スキャン結果に満足できない.	756
きれいにスキャンできない (モニターに表示された画像がきたない)	757
スキャンした画像の周囲に余白ができる.	759
正しいサイズで読み込めない.	760
原稿を正しくセットしたが、スキャンした画像が傾いている.	761
スキャンした画像が、パソコンの画面で大きく (小さく) 表示される.	762
ソフトウェアのトラブル.	763
使用したいメールソフトが、メールソフトの選択画面に表示されない.	764
IJ Scan Utility エラーメッセージ一覧.	765
ScanGear (スキャナードライバー) エラーメッセージ一覧.	767
本体に関するトラブル.	771
電源が入らない.	772
電源が自動的に切れてしまう.	773
USB 接続がうまくいかない.	774
USB 接続で通信ができない.	775
プリンター状態の確認画面が表示されない (Windows)	776
インストール／ダウンロードに関するトラブル.	777
MP ドライバーがインストールできない.	778
Easy-WebPrint EX (イージー・ウェブプリント・イーエックス) を起動できない／メニューが表示されない (Windows)	780
ネットワーク環境で MP ドライバーをバージョンアップする方法がわからない (Windows)	781
IJ Network Tool をアンインストールしたい.	782
エラー表示／メッセージについて.	784

トラブルが発生したときは.	785
メッセージが表示されている.	788
PictBridge（Wireless LAN）対応機器にエラーメッセージが表示されている.	795
トラブルが解決しないときは.	797
エラー発生時のサポート番号一覧.	798
エラー発生時のサポート番号一覧（用紙がつまった場合）.	800
1300.	801
1303.	803
1304.	806
本製品の内部で用紙がつまった.	809
それ以外のとき.	812
1003.	813
1200.	814
1202.	815
1250.	816
1310.	817
1401.	818
1403.	819
1485.	820
1486.	821
1487.	822
1682.	823
1684.	824
1686.	825
1687.	826
1688.	827
1702.	828
1703.	829
1704.	830
1705.	831
1712.	832
1713.	833
1714.	834
1715.	835
1890.	836

2100.	837
2101.	838
2102.	839
2103.	840
2900.	841
2901.	842
3402.	843
3403.	844
3405.	845
3412.	846
4100.	847
4103.	848
5011.	849
5012.	850
5050.	851
5100.	852
5200.	853
5400.	854
5B02.	855
5B03.	856
5B04.	857
5B05.	858
5B12.	859
5B13.	860
5B14.	861
5B15.	862
6000.	863
6500.	864
6800.	865
6801.	866
6900.	867
6901.	868
6902.	869
6910.	870

6911.	871
6930.	872
6931.	873
6932.	874
6933.	875
6936.	876
6937.	877
6938.	878
6940.	879
6941.	880
6942.	881
6943.	882
6944.	883
6945.	884
6946.	885
B202.	886
B203.	887
B204.	888
B205.	889

オンラインマニュアルの使いかた

- ➡ [本文中の記号](#)
- ➡ [タッチ機能対応のデバイスをご使用のかた（Windows）](#)

本文中の記号

警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの警告事項をお守りください。

注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや物的損害が発生するおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの注意事項をお守りください。

重要

守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、かならずお読みください。

参考

操作の参考になることや補足説明が書かれています。

基本

ご使用の製品の基本的な操作について説明しています。

参考

- ご使用の製品によって、アイコンは異なる場合があります。

タッチ機能対応のデバイスをご使用のかた（Windows）

タッチ操作の場合、本文中の「右クリック」を OS の設定に合わせて読み替える必要があります。たとえば、ご使用の OS で「長押し」に設定している場合は、「右クリック」を「長押し」に読み替えてください。

商標・ライセンスについて

- Microsoft は、Microsoft Corporation の登録商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OS、AirMac、Bonjour、iPad、iPhone、iPod touch および Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。App Store、AirPrint、AirPrint ロゴは、Apple Inc.の商標です。
- IOS は、米国および他の国々で登録された Cisco の商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。
- Google Cloud Print、Google Chrome、Chrome OS、Chromebook、Android、Google Play および Picasa は、Google Inc.の登録商標または商標です。
- Adobe、Flash、Photoshop、Photoshop Elements、Lightroom および Adobe RGB、Adobe RGB (1998) は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, Inc.の商標であり、キヤノンはライセンスに基づいて使用しています。

参考

- Windows Vista の正式名称は、Microsoft Windows Vista operating system です。

Copyright (c) 2003-2004, Apple Computer, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Apple Computer, Inc. ("Apple") nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY APPLE AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL APPLE OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge,

royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
 1. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 2. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 3. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
 4. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS,

WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

---- Part 1: CMU/UCD copyright notice: (BSD like) ----

Copyright 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University

Derivative Work - 1996, 1998-2000

Copyright 1996, 1998-2000 The Regents of the University of California

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and The Regents of the University of California not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific written permission.

CMU AND THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA DISCLAIM ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL CMU OR THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

---- Part 2: Networks Associates Technology, Inc copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2001-2003, Networks Associates Technology, Inc

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of the Networks Associates Technology, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

----- Part 3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD) -----

Portions of this code are copyright (c) 2001-2003, Cambridge Broadband Ltd.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * The name of Cambridge Broadband Ltd. may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

----- Part 4: Sun Microsystems, Inc. copyright notice (BSD) -----

Copyright c 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Use is subject to license terms below.

This distribution may include materials developed by third parties.

Sun, Sun Microsystems, the Sun logo and Solaris are trademarks or registered trademarks of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. and other countries.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- * Neither the name of the Sun Microsystems, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 5: Sparta, Inc copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2003-2009, Sparta, Inc

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- * Neither the name of Sparta, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF

SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 6: Cisco/BUPTNIC copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2004, Cisco, Inc and Information Network Center of Beijing University of Posts and Telecommunications.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of Cisco, Inc, Beijing University of Posts and Telecommunications, nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 7: Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG, 2003 oss@fabasoft.com

Author: Bernhard Penz

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * The name of Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG or any of its subsidiaries, brand or product names may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

下記は Wi-Fi に対応している製品にのみ該当します。

(c) 2009-2013 by Jeff Mott. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name CryptoJS nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS," AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

検索ウィンドウにキーワードを入力し、（検索）をクリックしてください。

本マニュアル内の目的のページを検索することができます。

入力例："（ご使用の製品の機種名） 用紙のセット"

検索のヒント

検索ウィンドウにキーワードを入力して、目的のページを検索することができます。



重要

- お住まいの国や地域によっては、この機能をご利用になれない場合があります。

参考

- 表示される画面は異なる場合があります。
- 本ページから検索するとき、ご使用の製品の機種名やアプリケーションソフト名を入力しない場合、本マニュアルが対応しているすべての製品が検索対象となります。
検索結果を絞り込みたい場合は、ご使用の製品の機種名やアプリケーションソフト名をキーワードに追加してください。

機能を検索したい

ご使用の製品の機種名 + 知りたい機能のキーワードを入力

<例>用紙のセット方法を知りたい場合

検索ウィンドウに"（ご使用の製品の機種名） 用紙のセット"を入力し検索

エラーを解決したい

ご使用の製品の機種名 + サポート番号を入力

<例>以下のエラー画面が表示された場合

検索ウィンドウに"（ご使用の製品の機種名） 1003"を入力し検索



参考

- ご使用の製品によって、表示される画面が異なります。

アプリケーションソフトの機能を検索したい

ご使用のアプリケーションソフト名 + 知りたい機能のキーワードを入力

<例>My Image Garden のコラージュ印刷について操作手順を知りたい場合

検索ウィンドウに"My Image Garden コラージュ"を入力し検索

参照先のページを検索したい

ご使用の機種名 + 参照先のページタイトルを入力*

* 機能も入力すると、より参照先のページを見つけやすくなります。

<例>スキャンの操作手順ページに以下のように記載されている参照先のページを閲覧したい場合

「詳しくは、オンラインマニュアルのホームからご使用の機種の「[色の設定] シート」を参照してください。」

検索ウィンドウに"(ご使用の製品の機種名) スキャン [色の設定] シート"を入力し検索

まず使ってみる

- ▶ パソコンで写真を印刷する
- ▶ 文書をコピーする

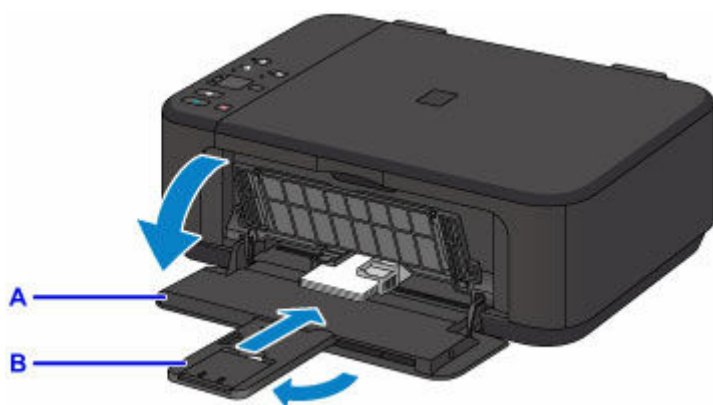
パソコンで写真を印刷する

My Image Garden（マイ・イメージ・ガーデン）を使って、写真を印刷する方法を説明します。

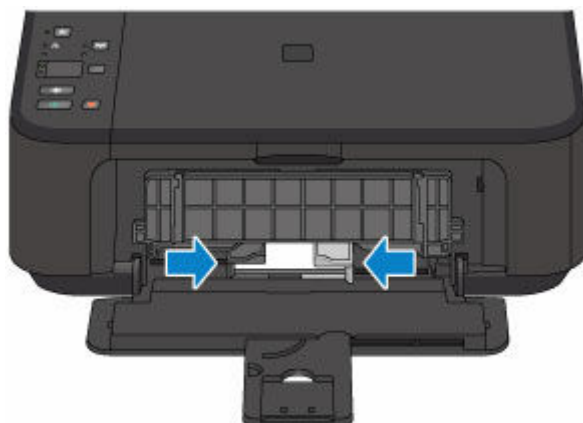
ここでは、Windows 8.1 operating system（以降、Windows 8.1）をお使いの場合に表示される画面で説明しています。

1. フロントカバー（A）を開く
2. 用紙サポート（B）を引き出す
3. **印刷したい面を下にして**、用紙を縦にセットする

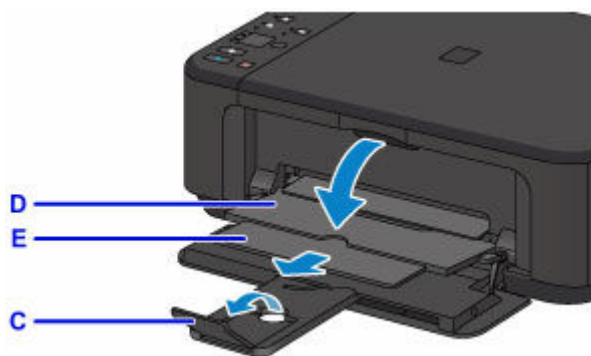
用紙の先端は奥まで突き当ててください。



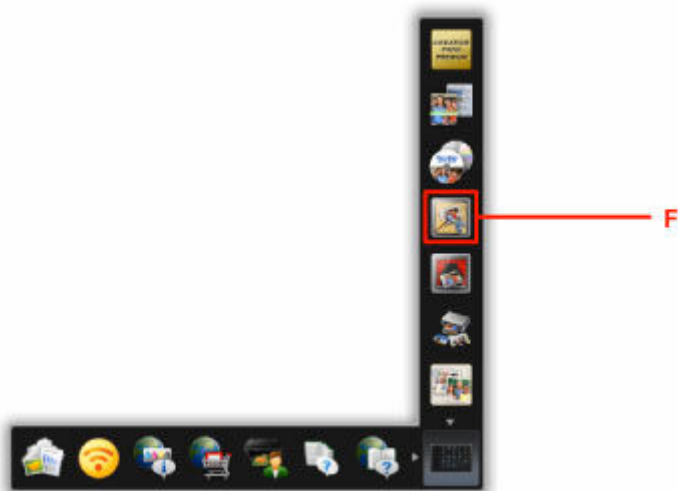
4. 用紙ガイドを用紙幅に合わせる



5. 補助トレイ（C）を開く
6. 排紙トレイ（D）を開く
7. 排紙サポート（E）を引き出す



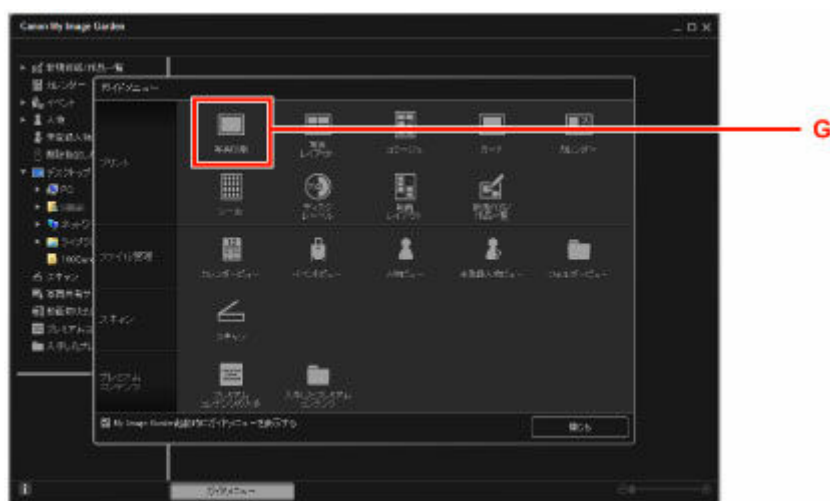
8. Quick Menu (クイック・メニュー) の My Image Garden アイコン (F) をクリックする
[ガイドメニュー] 画面が表示されます。



参考

- 表示されるアイコンの数や種類は、ご使用の地域、設定しているプリンターやスキャナー、インストールされているアプリケーションソフトによって異なります。

9. [写真印刷] アイコン (G) をクリックする



10. 印刷したい写真が入ったフォルダー (H) をクリックする

11. 印刷する写真 (I) をクリックする

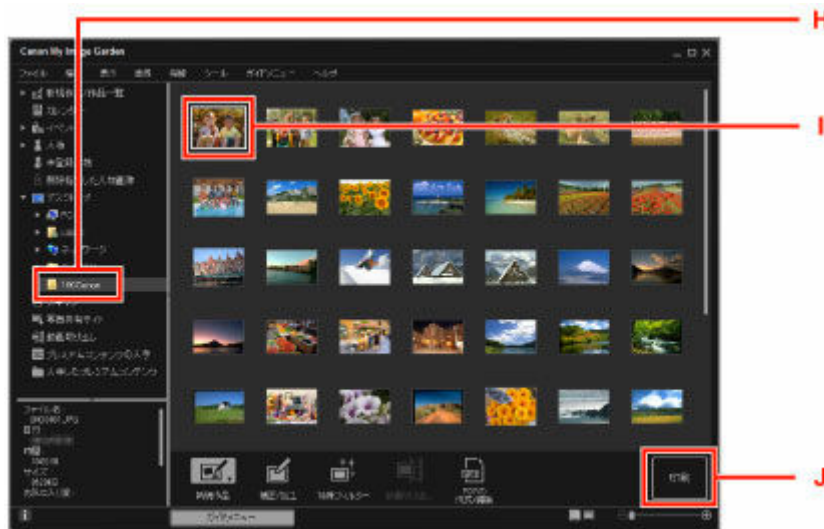
Windows をお使いの場合

複数の写真を同時に選びたいときは、Ctrl キーを押しながら写真をクリックします。

Mac OS をお使いの場合

複数の写真を同時に選びたいときは、command キーを押しながら写真をクリックします。

12. [印刷] (J) をクリックする



13. 印刷部数やお使いの製品名、用紙の種類 (K) などを設定する

14. [印刷] (L) をクリックする



Mac OS をお使いの場合

表示されたメッセージを確認して [OK] をクリックし、[プリント] をクリックします。

参考

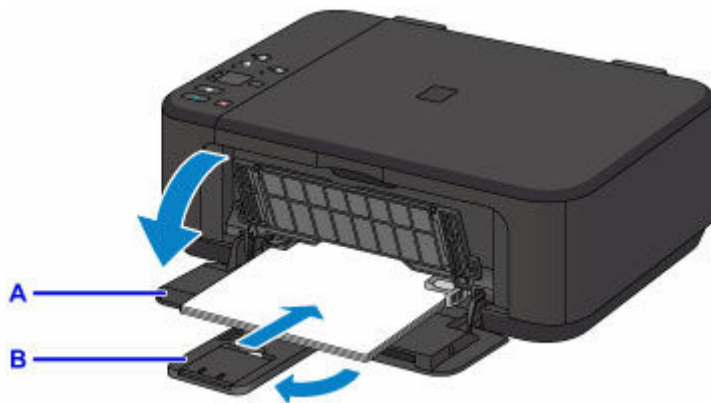
- My Image Garden は、パソコンに保存されているデジタルカメラで撮影した写真などの画像を、さまざまな用途で幅広く活用できます。
 - ➡ My Image Garden ガイド (Windows)
 - ➡ My Image Garden ガイド (Mac OS)

文書をコピーする

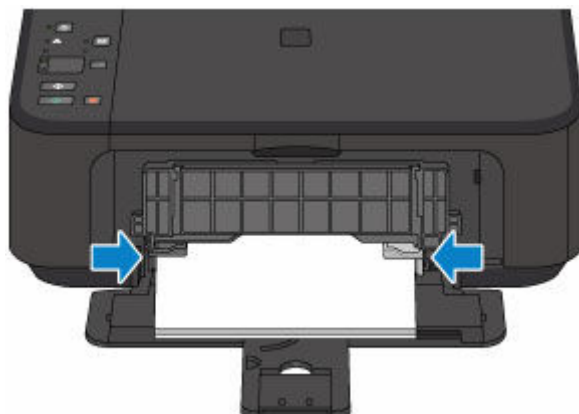
原稿をセットして、普通紙にコピーする方法を説明します。

1. フロントカバー（A）を開く
2. 用紙サポート（B）を引き出す
3. **印刷したい面を下にして**、用紙を縦にセットする

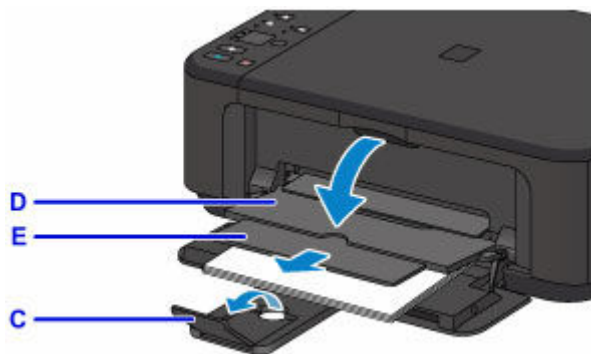
用紙の先端は奥まで突き当ててください。



4. 用紙ガイドを用紙幅に合わせる



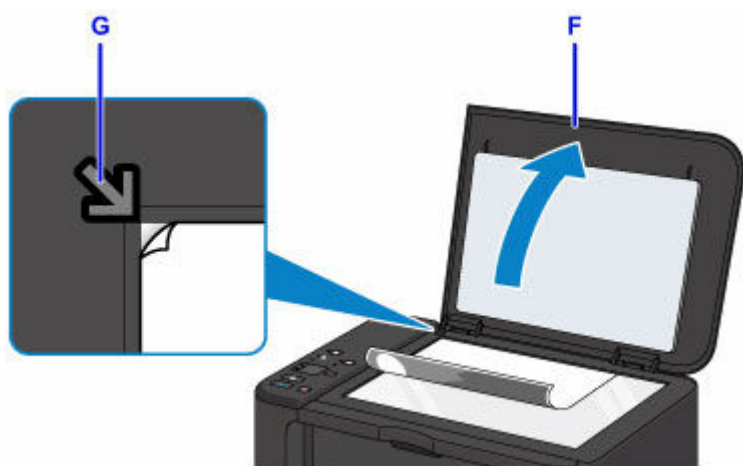
5. 補助トレイ（C）を開く
6. 排紙トレイ（D）を開く
7. 排紙サポート（E）を引き出す



8. 原稿台カバー（F）を開く

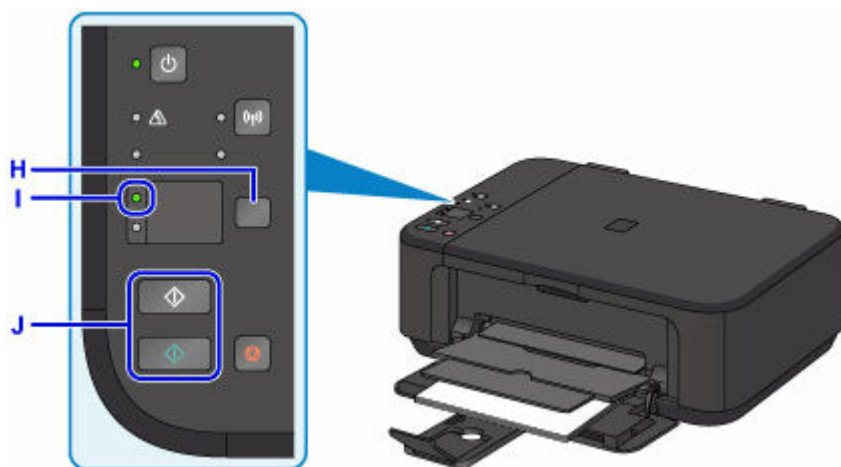
9. コピーしたい面を下にして、原稿を原稿位置合わせマーク（G）に合わせる

10. 原稿台カバーをゆっくり閉じる



11. 用紙選択ボタン（H）を押し、上側の用紙ランプ（I）を点灯する

12. モノクロボタンまたはカラーボタン（J）を押す



重要

- コピーが終わるまで、原稿台カバーを開かないでください。

参考

- コピーについて、詳しくは「[コピー](#)」を参照してください。

本製品で利用できる便利な機能

- ▶ 「アクセスポイントモード」でかんたん無線接続
- ▶ 「My Image Garden（マイ・イメージ・ガーデン）」を使ってかんたん写真印刷
- ▶ バリエーション豊かなコンテンツ素材をダウンロード
- ▶ ウェブアプリ「Easy-PhotoPrint+（イージー・フォト・プリント・プラス）」を使って作品印刷
- ▶ 本製品で利用できる接続方法について
- ▶ おまかせ機能でかんたんスキャン
- ▶ 原稿台よりも大きな原稿をスキャン
- ▶ 複数の原稿を一度にスキャン
- ▶ PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する
- ▶ Canon PRINT Inkjet/SELPHY でスマートフォンやタブレットからかんたん印刷
- ▶ Windows RT での印刷
- ▶ プリンター情報を確認する
- ▶ オンラインストレージ連携機能

「アクセスポイントモード」でかんたん無線接続

本製品は、無線 LAN ルーターのない環境でも、パソコンやスマートフォンから無線で本製品に接続できる「アクセスポイントモード」に対応しています。

かんたん操作で「アクセスポイントモード」に切り替えれば、無線でスキャンやプリントなどが楽しめます。

本製品をアクセスポイントモードで使うときは、事前に本製品をアクセスポイントとして使用する時のセキュリティ方法を必ず設定してください。

➡ [本製品をアクセスポイントモードで使用する](#)



「My Image Garden (マイ・イメージ・ガーデン)」を使ってかんたん写真印刷

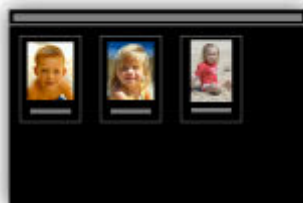
かんたん画像整理

My Image Garden では、写真に登場人物の名前やイベントを登録することができます。フォルダーごとの表示はもちろん、カレンダーやイベント、人物ごとの表示もできるので、写真の整理がかんたんにできます。あとで写真を探すときにも、目的の写真が見つかりやすくなります。

<カレンダービュー>



<人物ビュー>



おすすめの作品をスライドショーで表示

写真に登録された情報をもとに、Quick Menu (クイック・メニュー) がパソコン内の写真を自動で選んで、コラージュやカードなどおすすめの作品を作成してくれます。作成された作品はスライドショーで表示されます。



気に入った作品があれば、わずか 2 ステップでかんたんに印刷できます。

1. Quick Menu の Image Display (イメージ・ディスプレイ) で印刷したい作品を選択
2. My Image Garden で作品を印刷



写真を自動配置

テーマに合わせて選択した写真を自動配置してくれるので、かんたんに素敵な作品に仕上がります。



その他の多彩な機能

My Image Garden には、そのほかにもたくさんの便利な機能があります。

詳しくは、以下を参照してください。

- ➡ My Image Garden でできること (Windows)
- ➡ My Image Garden でできること (Mac OS)

バリエーション豊かなコンテンツ素材をダウンロード

クリエイティブパーク

すべての印刷素材が無料でダウンロードできる「印刷素材集サイト」です。

季節に合わせたカードや紙のパーツを組み立てて作るペーパークラフトなど、さまざまなコンテンツが用意されています。

Quick Menu からかんたんにアクセスできます。

クリエイティブパーク プレミアム

プレミアムコンテンツ対応の機種を使用しているお客様が、専用の印刷用素材をダウンロードできるサービスです。

My Image Garden や Easy-PhotoPrint+ から、かんたんにプレミアムコンテンツをダウンロードできます。ダウンロードしたプレミアムコンテンツは、そのまま My Image Garden や Easy-PhotoPrint+ で印刷できます。

プレミアムコンテンツをダウンロードするには、対応プリンターの全色にキヤノン純正インクタンク／インクカートリッジが取り付けられている必要があります。



参考

- 本ページに掲載しているプレミアムコンテンツのデザインは、予告なく変更される可能性があります。

ウェブアプリ「Easy-PhotoPrint+（イージー・フォト・プリント・プラス）」を使って作品印刷

パソコンやタブレット端末から、ウェブ上の Easy-PhotoPrint+ にアクセスするだけで、いつでもどこでもオリジナルのカレンダーやコラージュなどの作品を手軽に作成して印刷できます。

また、Easy-PhotoPrint+ を使えば、めんどろなインストール作業を行わなくても、最新の環境で作品を作ることができます。

さらに、Facebook などのソーシャルネットワークやオンラインストレージ、ウェブアルバムなどとも連携しているので、さまざまな写真を作品にすることができます。

詳しくは、「Easy-PhotoPrint+ガイド」を参照してください。



本製品で利用できる接続方法について

本製品では、以下の接続方法をご利用いただけます。

＜＜無線 LAN 接続＞＞

- 無線 LAN ルーターを使用



- 無線 LAN ルーターを使用しない



＜＜USB 接続＞＞



＜＜無線 LAN 接続＞＞

プリンターとご使用の各種機器（スマートフォンなど）を接続する方法は、2 種類あります。無線 LAN ルーターを使用して接続する方法と、無線 LAN ルーターを使用しないで接続する方法です。

2 種類の接続方法を、同時に使用することはできません。

無線 LAN ルーターをお持ちの場合は、無線 LAN ルーターを使用して接続する方法をお勧めします。

すでに各種機器がプリンターに接続された状態で、新たに別の各種機器を接続する場合は、接続していた各種機器と同じ接続方法で接続してください。

異なる接続方法で接続すると、使用していた各種機器の接続が切断されます。

- 無線 LAN ルーターを使用して接続



- 無線 LAN ルーターを使用して、プリンターと各種機器を接続します。
- 無線 LAN ルーターの種類によって接続方法が異なります。
- 各種機器と無線 LAN ルーターの接続が完了していて、各種機器の画面に （Wi-Fi のアイコン）が表示されているときは、無線 LAN ルーターを使用してプリンターと接続できます。

- 無線 LAN ルーターを使用しないで接続



- 無線 LAN ルーターを使用しないで、プリンターと各種機器を接続します。プリンターのアクセスポイントモード機能を使用して、各種機器とプリンターを直接接続します。
- アクセスポイントモードで接続する場合、ご使用の環境によってはインターネットに接続できなくなる可能性があります。その間、プリンターの各種ウェブサービスを使用することはできません。
- 無線 LAN ルーター経由でインターネットに接続している各種機器を、アクセスポイントモードのプリンターに接続すると、各種機器と無線 LAN ルーターの接続は切断されます。このとき、お使いの各種機器によっては、モバイルデータ通信回線に自動的に切り替わることがあります。モバイルデータ通信でインターネットに接続する際の通信料は、お客様のご負担となりますので、ご注意ください。
- アクセスポイントモードは、複数の機器を同時に 5 台まで接続することができます。すでに 5 台接続された状態で、6 台目を接続しようとする、エラーが表示されます。エラーが表示された場合は、プリンターを使用しない機器の接続を解除して、再度設定してください。

※Windows XP をご使用の場合は、以下を参照してください。

ダイレクト接続 (Windows XP)

«USB 接続»

プリンターとコンピューターを USB ケーブルで接続します。USB ケーブルを用意してください。

制限事項について

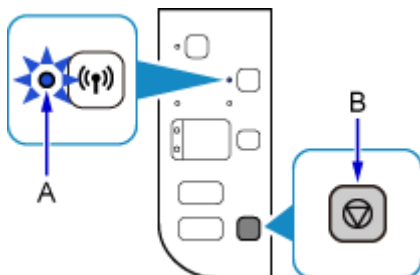
(新しいウィンドウで開きます)

ダイレクト接続 (Windows XP)

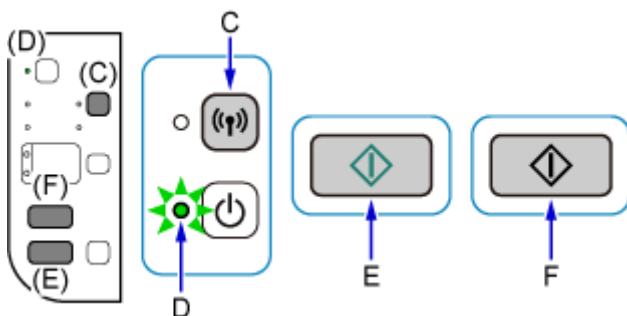
制限事項について

(新しいウィンドウで開きます)

1. プリンターの Wi-Fi ランプ (A) が点滅している場合は、ストップボタン (B) を押してください。



2. プリンターの Wi-Fi ボタン (C) を、電源ランプ (D) が点滅するまで長押しします。



ご使用のプリンターの SSID とネットワークキーを確認します。

SSID の初期設定はプリンター名、パスワード (ネットワークキー) の初期設定はプリンターのシリアルナンバーです。プリンターの背面や保証書を確認してください。

SSID/パスワード (ネットワークキー) が分からない場合は、LAN 設定情報を印刷して SSID/パスワード (ネットワークキー) の項目を確認してください。

• LAN 設定情報の印刷方法

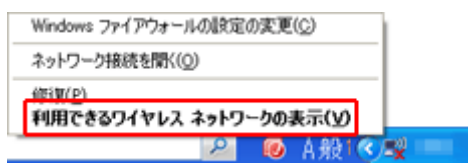
プリンターの Wi-Fi ボタンを押します。LAN 設定情報が印刷されます。

LAN 設定情報を印刷した場合は、再度手順 2 を行ってから、手順 3 に進んでください。

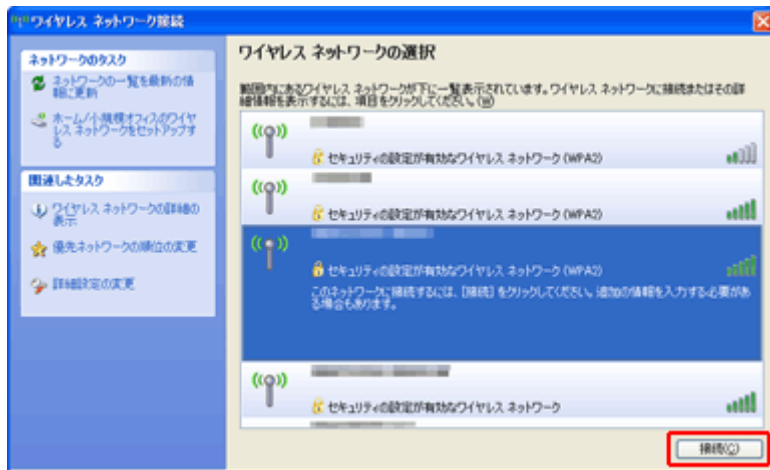
3. カラーボタン (E)、モノクロボタン (F) の順に押します。

プリンターのダイレクト接続が有効になります。

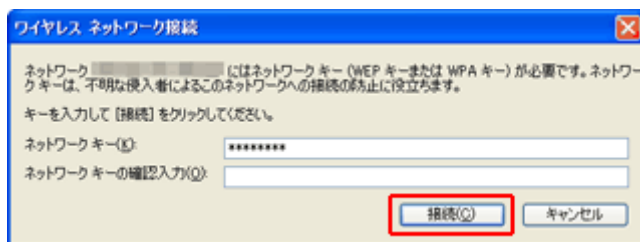
4. パソコンのタスクトレイにある [ワイヤレス ネットワーク接続] アイコンを右クリックして、[利用できるワイヤレス ネットワークの表示] を選びます。



5. 使用したいネットワーク名 (SSID) を選び、[接続] をクリックします。



6. [パスワード]（ネットワークキー）を入力して、[接続] をクリックします。



7. 接続が完了したら、下の画面が表示されるまで [戻る] をクリックします。
引き続き、セットアップを進めてください。



制限事項について

すでに各種デバイス（スマートフォンなど）がプリンターに接続された状態で、新たに別の各種デバイスを接続する場合は、接続していた各種デバイスと同じ接続方法で接続してください。

異なる接続方法で接続すると、使用していた各種デバイスの接続が切断されます。

有線 LAN に対応していないプリンターは、「有線 LAN を使って接続」をすることができません。

「無線 LAN ルーター経由で接続」

- プリンターは、無線 LAN 接続と有線 LAN 接続の同時使用はできません。
- 各種デバイスと無線 LAN ルーターが接続されていることを確認してください。設定を確認する方法については、無線 LAN ルーターに付属のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。すでに無線 LAN ルーターを使用しないでプリンターと接続している各種デバイスは、無線 LAN ルーター経由で接続し直してください。
- ネットワーク機器の構成やルーター機能の有無、設定方法、セキュリティの設定はご使用の環境によって異なります。詳細については、ご使用の機器のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。
- ご使用の機器が IEEE802.11n (2.4 GHz)、IEEE802.11g、または IEEE802.11b のいずれかに対応しているか確認してください。
- ご使用の機器が「IEEE802.11n only」モードに設定されている場合、セキュリティ方式に WEP または TKIP を使用できません。ご使用の機器のセキュリティ方式を WEP、TKIP 以外に変更するか、設定を「IEEE802.11n only」以外に変更してください。
設定変更中は、ご使用の機器と無線 LAN ルーターとの接続が一時的に切断されます。設定が完了するまでは、本ガイドの画面を操作しないでください。
- オフィスでご使用の場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- セキュリティで保護されていないネットワーク環境に接続する場合は、お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。十分、ご注意ください。

「ダイレクト接続（アクセスポイントモード）」

重要

- 無線 LAN ルーター経由でインターネットに接続している各種デバイスを、ダイレクト接続のプリンターに接続すると、各種デバイスと無線 LAN ルーターの接続は切断されます。このとき、お使いの各種デバイスによっては、モバイルデータ通信回線に自動的に切り替わることがあります。モバイルデータ通信でインターネットに接続すると、ご契約内容によっては課金が発生することがありますのでご注意ください。
 - 各種デバイスとプリンターをダイレクト接続で接続すると、Wi-Fi 設定に接続情報が保存されます。接続を切断したり、別の無線 LAN ルーターに接続したりしても、自動で各種デバイスがプリンターに接続される場合があります。
 - 無線 LAN ルーターとダイレクト接続のプリンターへ同時に接続することはできません。無線 LAN ルーターをお持ちの場合は、無線 LAN ルーターを使用してプリンターと接続することをお勧めします。
 - ダイレクト接続のプリンターに自動で接続しないようにするには、プリンターを使用したあとに接続モードを変更するか、各種デバイスの Wi-Fi 設定で自動的に接続しないように設定してください。
各種デバイスの設定を変更する方法については、各種デバイスに付属のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

- ダイレクト接続で各種デバイスとプリンターを接続する場合、ご使用の環境によってはインターネットに接続できなくなる可能性があります。その間、プリンターの各種ウェブサービスを使用することはできません。
- ダイレクト接続は、複数の機器を同時に 5 台まで接続することができます。すでに 5 台接続された状態で、6 台目を接続しようとすると、エラーが表示されます。
エラーが表示された場合は、プリンターを使用しない機器の接続を解除して、再度設定してください。
- ダイレクト接続でプリンターに接続している各種デバイス同士での通信はできません。
- ダイレクト接続使用中は、プリンターのファームウェアアップデートができません。
- 無線 LAN ルーターを使用しないでプリンターと接続した各種デバイスを、再度セットアップする場合は、接続状態を一度解除してください。Wi-Fi 設定画面で各種デバイスとプリンターの接続を切断しておいてください。

«有線 LAN を使って接続»

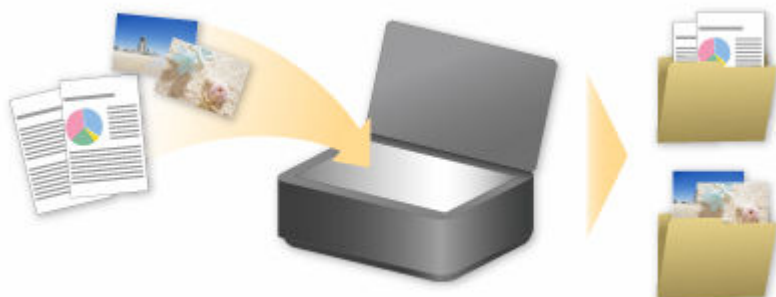
- プリンターは、無線 LAN 接続と有線 LAN 接続の同時使用はできません。
- ルーターをご使用の場合は、プリンターと各種デバイスを LAN 側（同一セグメント内）に接続してください。

おまかせ機能でかんたんスキャン

IJ Scan Utility（アイジェイ・スキャン・ユーティリティー）のおまかせ機能を使用すると、原稿の種類を自動で判別し、かんたんにスキャンできます。

詳しくは、以下を参照してください。

- ➡ [おまかせスキャンでかんたんにスキャンする](#)（Windows）
- ➡ おまかせスキャンでかんたんにスキャンする（Mac OS）



原稿台よりも大きな原稿をスキャン

IJ Scan Utility（アイジェイ・スキャン・ユーティリティ）の貼り合わせ機能を使用すると、原稿台よりも大きなサイズの原稿を左右に分けてスキャンし、1つの画像に貼り合わせるすることができます。原稿台の約2倍のサイズの原稿まで対応できます。

詳しくは、以下を参照してください。

- ➡ [原稿台より大きな原稿をスキャンする（画像の貼り合わせ）（Windows）](#)
- ➡ 原稿台より大きな原稿をスキャンする（画像の貼り合わせ）（Mac OS）



複数の原稿を一度にスキャン

IJ Scan Utility（アイジェイ・スキャン・ユーティリティー）を使用すると、原稿台にセットした 2 枚以上の写真（小さいサイズの原稿）を一度にまとめてスキャンし、画像を 1 枚ずつ保存できます。

詳しくは、以下を参照してください。

- ➡ [複数の原稿を一度にスキャンする](#)（Windows）
- ➡ 複数の原稿を一度にスキャンする（Mac OS）



PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用すれば、CANON iIMAGE GATEWAY や Evernote、Twitter などのクラウドサービスと連携して、パソコンを使わずに以下の機能がご利用になれます。

- 写真共有サービスの画像を印刷
- データ保管サービスのドキュメントを印刷
- データ保管サービスにスキャンした画像を保存する
- 紙なしやインク残量が少ないときなどプリンターの状態を Twitter でお知らせ

さらに各種クラウドサービスと連携したアプリを追加で登録することで、さまざまな機能を使用できます。

- ➡ プリンターから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する
- ➡ [スマートフォン・タブレット・パソコンから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する](#)



重要

- 国または地域によっては、PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用できない場合や使用できるアプリが異なる場合があります。
- 一部のアプリでは、ご使用前にサービスのアカウントが必要になることがあります。その場合は、事前にアカウントを取得してください。
- PIXUS/MAXIFY クラウドリンクの対象機種は、キヤノンホームページでご確認ください。
- 画面表示は、予告なく変更になる可能性があります。

Web サービスを使って印刷するときのご注意

Web サービスを利用するときは

- キヤノンは、Web サービスの継続性、利用の安定性、サイトへのアクセスの可能性、ダウンロードの可否等について、一切保証いたしません。
- キヤノンは、Web サービスの内容の変更／削除、または Web サービスの中断、中止等を、原則、お客様への予告なしに行います。また、これにより、お客様に生じたいかなる損害についても責任を負いません。
- キヤノンは、お客様が Web サービスに関連して被ったいかなる損害についても責任を負いません。
- お客様が外部連携サイトをご利用になる前には、パソコン等を通じてそのサイトへのユーザー登録が必要です。
外部連携サイトの利用規約その他の条件に従い、お客様ご自身の責任においてご利用ください。
- お客様がお住まいの国と地域によっては、Web サービスの全部または一部がご利用になれない場合があります。
- お客様がご利用のネットワーク環境によっては、Web サービスがご利用できない場合があります。ご利用になれる場合でも写真等の表示や印刷に時間がかかる、または途中で途切れる場合があります。
- Web サービスをご利用の際には、ご使用の製品の名称・地域情報・言語の設定情報、Web サービスでご利用になったアプリケーション（例：写真共有サイト）等が当社のサーバーに送信・保存されます。これらの情報により個人を特定することはできません。
- カラーの液晶モニター対応のプリンターの譲渡または廃棄を行う場合は、[本体設定] → [設定リセット] → [すべてリセット] を選んで、ログイン名およびパスワードを削除してください。
- お問い合わせは、お住まいの国・地域のキヤノン各販売会社にご連絡ください。

中国本土にお住まいの方へ

- 本製品に含まれる PIXUS/MAXIFY クラウドリンク、Easy-PhotoPrint+、Canon PRINT Inkjet/SELPHY の一部機能は日本のキヤノン株式会社が提供するものです。
サーバーの設置地が海外にあることにより、暫く提供されないこともありえます。

著作権・肖像権について

キヤノンが提供するサービスを使用して印刷するとき：

1. 印刷サービスで紹介している個々の素材（写真・イラスト・ロゴ・文書などをいい、以下「本素材」といいます）の著作権は、それぞれの著作権者に帰属します。また、印刷サービス上に掲載または表示されている人物またはキャラクターについては、肖像権が発生する場合があります。
「2.」において許諾されている場合を除き、著作権者・肖像権者等の権利者の事前の許諾を得ること無く、本素材の全部または一部について、いかなる形式また手段によっても複製、改変、転用等を行うことを禁じます。
2. 本素材は、個人の非商用利用の範囲でお使いいただく場合に限り、ご自由にご利用いただけます。

スマートフォン・タブレット・パソコンから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する

- ▶ Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用する前に
- ▶ Canon Inkjet Cloud Printing Center にユーザー情報を登録する
- ▶ Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用する
- ▶ プリンターを追加する
- ▶ PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用するユーザーを追加する
- ▶ Canon Inkjet Cloud Printing Center のトラブルシューティング

Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用する前に

Canon Inkjet Cloud Printing Center は、プリンターのクラウド機能と連動して、スマートフォン、タブレットまたはパソコンからアプリを登録・管理したり、プリンターの印刷状況やエラー、インク状況などを確認したりすることができるサービスです。スマートフォンやタブレットからアプリの写真や文書を印刷することもできます。

はじめに、以下の内容をご確認ください。

- **注意事項**

Web サービスを使って印刷するときは、あらかじめこちらの[注意事項](#)をご確認のうえ、ご利用ください。

- **プリンター仕様**

プリンターが Canon Inkjet Cloud Printing Center に対応している必要があります。
この機能は機種によっては対応していません。ご使用の機種がこの機能に対応しているかどうかは、「Canon Inkjet Cloud Printing Center 対応機種一覧」を参照してください。

- **ネットワーク環境**

プリンターが LAN 接続されていて、インターネットに接続している必要があります。

重要

- インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。

- **動作要件**

スマートフォン、タブレットまたはパソコンについては、「[Canon Inkjet Cloud Printing Center 動作要件](#)」を参照してください。

重要

- 国または地域によっては、このサービスをご利用になれない場合があります。また、サービスをご利用になれる場合でも、地域によってはご利用になれないアプリがあります。

➡ [Canon Inkjet Cloud Printing Center にユーザー情報を登録する](#)

Canon Inkjet Cloud Printing Center 動作要件

パソコン

CPU	x86 または x64 1.6 GHz 以上
RAM	2 GB 以上
モニタ表示	解像度 1024×768 ピクセル以上 表示色数 24 bit（フルカラー）以上

OS	ブラウザ
Windows Vista SP1 以降	Internet Explorer 9 Mozilla Firefox Google Chrome
Windows 7	Internet Explorer 9、10、11 Mozilla Firefox Google Chrome
Windows 8	Internet Explorer 10、11 Mozilla Firefox Google Chrome
Windows 8.1	Internet Explorer 11 Mozilla Firefox Google Chrome
Mac OS X v10.6～OS X Mavericks v10.10	Safari 5.1、6、7、8

スマートフォン・タブレット

OS	ブラウザ	対象解像度
iOS 6.1 以降	OS 標準ブラウザ	320×480 以上
Android 2.3.3 以降		480×800 以上

*Android3.x は対象外です。

動作要件は、予告なく変更することがあります。お使いのパソコン、スマートフォンまたはタブレットからご利用できなくなる場合があります。

重要

- ブラウザーの JavaScript および cookie を有効にしてください。
- ブラウザーの拡大縮小機能やフォントサイズ変更機能を使用すると、画面表示が崩れることがあります。
- Google Chrome の翻訳機能を使用すると、画面表示が崩れることがあります。
- 海外のプロキシサーバーを使用してのご利用は、サポート対象外となります。
- 企業内ネットワーク環境では 5222 ポートが解放されている必要があります。確認方法については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

Canon Inkjet Cloud Printing Center にユーザー情報を登録する

Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用するには、以下の手順でマイアカウントを登録する必要があります。

- ➡ お使いの機種 of 液晶モニターがカラーの場合
- ➡ お使いの機種 of 液晶モニターがモノクロの場合
- ➡ [お使いの機種に液晶モニターがない場合／PRO-1000 series／PRO-500 series をお使いの場合](#)

Canon Inkjet Cloud Printing Center にユーザー情報を登録する (液晶モニターがない場合／PRO-1000 series／PRO-500 series を お使いの場合)

Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用するには、以下の手順でマイアカウントを登録する必要があります。

スマートフォン、タブレットまたはパソコンから登録する

1. プリンターがインターネットに接続されていることを確認する

重要

- この機能を利用するには、プリンターがインターネットに接続されている必要があります。

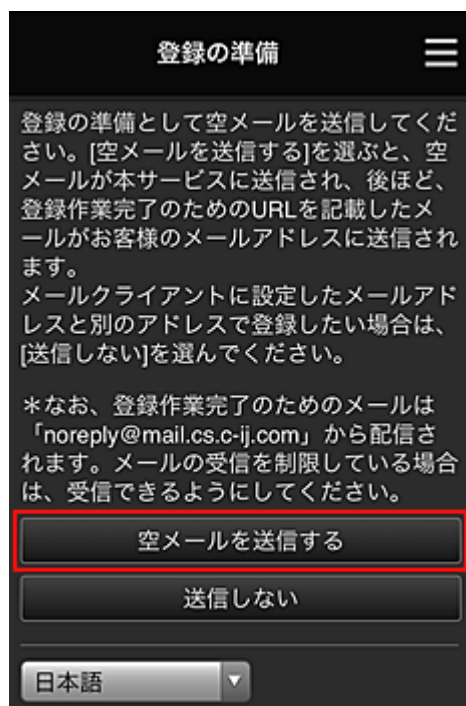
2. プリンター情報を表示する

詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「プリンター情報を確認する」を参照してください。

3. [IJ Cloud Printing Center 設定] → [本サービスへの登録] を選ぶ

4. 画面の指示に従い、認証を行う

5. [登録の準備] 画面が表示されたら、[空メールを送信する] を選ぶ



参考

- [空メールを送信する] を選ぶと、宛先入力済みのメーラーが自動的に起動します。
空メールが作成されたら、そのまま送信してください。

別のメールアドレスを登録したい場合は、[送信しない] を選ぶと [メールアドレス] を入力する画面が表示されます。

登録の準備

以下に登録するメールアドレスを入力し、
[登録続行]を選んでください。

※指定したメールアドレスに、「noreply@mail.cs.c-ij.com」からメールが配信されます。メールの受信を制限している場合は、受信できるようにしてください。

メールアドレス：

登録続行

表示された画面で登録したい【メールアドレス】を入力し【登録続行】を選ぶ。

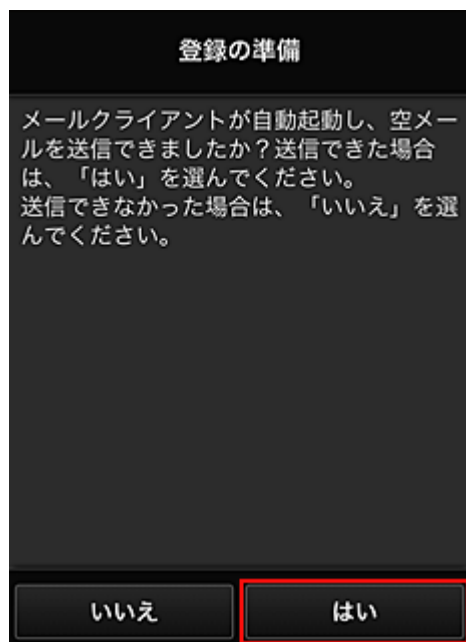
参考

- すでに登録されているメールアドレスを入力した場合は、登録済みメールが送信されます。案内に従い、再度設定してください。

重要

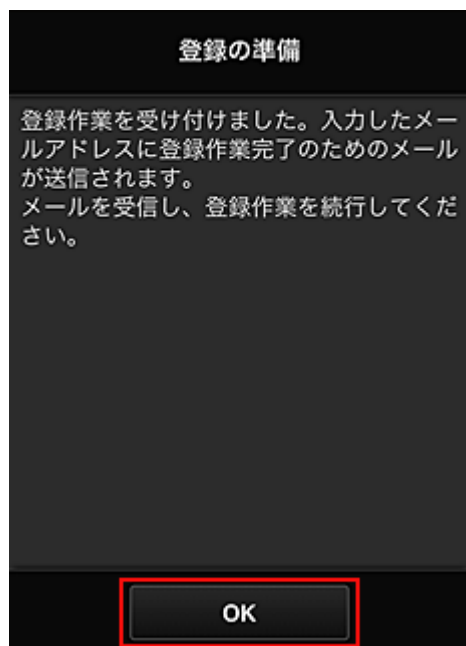
- メールアドレスの入力には、以下の文字制限があります。
 - 半角英数字および「!\$*/^_{}|~.-@」で 255 文字以下。(英字は大文字小文字を区別する)
 - 2 バイト以上の文字は使えません。
入力されたメールアドレスに使用不可能な文字が使用されていた場合は、エラーとなります。
- 誤って別のメールアドレスを登録した場合は、プリンター情報を表示→ [I] Cloud Printing Center 設定] → [本サービスから削除] で、登録を解除できます。
プリンター情報の表示方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「プリンター情報を確認する」を参照してください。
- 迷惑メールフィルターなどにより、通知が受信できない場合があります。ドメイン指定受信などを設定されている場合は、「noreply@mail.cs.c-ij.com」からのメールを受信できるよう、設定を変更してください。
迷惑メールフィルターの設定やメールアドレスの誤入力などによってメールが送信されない場合でも、エラー表示は行いません。

6. 空メールが送信されたことを確認して【はい】を選ぶ



7. 画面の表示にしたがって [OK] を選ぶ

登録したメールアドレスへ登録ページの URL が通知されます。



メールにある URL へアクセスして登録を行い、ユーザー登録を完了

1. 登録したメールアドレス宛てにメールが届いていることを確認し、URL へアクセスする
2. Canon Inkjet Cloud Printing Center の [使用許諾] および [個人情報の取り扱いについて] 画面で、内容を確認し、同意される場合は [同意する] を選ぶ

使用許諾

日本語 ▼

重要ー ご利用にあたり必ずお読みください

サービス利用規約

この『サービス利用規約』(以下「本規約」といいます。)は、お客様の第1条に定めるサービス(以下「本サービス」といいます。)の利用について規定する、お客様とキヤノン株式会社(以下「キヤノン」といいます。)との間の契約です。
 お客様は「同意する」を選択した場合、本規約に同意したことになります。お客様による本サービスの利用は、本規約への同意とみなされます。本規約に同意しない場合、本サービスの利用はできません。
 キヤノンは、自らの判断でいつでも本規約を変更する権利を有します。本規約が変更



個人情報の取り扱いについて

日本語 ▼

重要ー ご利用にあたり必ずお読みください

プライバシーステートメント

この『プライバシーステートメント』(以下「本ステートメント」といいます。)は、キヤノン株式会社(以下「キヤノン」といいます。)が、第1条に定めるサービス(以下「本サービス」といいます。)のユーザーから取得する情報の種類、利用・開示の方法などについて規定します。
 お客様は、本サービスを利用することにより、本ステートメントならびに本サービスの『サービス利用規約』(以下「利用規約」といいます。)に定められた情報の取得、利用および開示に対し明示的に同意したことになります。本ステートメントまた

3. Canon Inkjet Cloud Printing Center ログイン用のパスワードを登録する

マイアカウント登録画面で登録したいパスワードを [パスワード] と [パスワード(確認用)] に入力し、[次へ] を選んでください。

マイアカウントの登録

このサービスにログインするためのパスワードを設定してください。

パスワード :

パスワード(確認用) :

*半角英数字で8字以上32字以下

キャンセル 次へ

重要

- パスワードの入力には、以下の文字制限があります。
 - 半角英数字および「! "\$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~」で 8 文字以上、32 文字以下。(英字は大文字小文字を区別する)

4. [ニックネーム] を入力

任意のユーザー名を入力します。

マイアカウントの登録

ニックネーム :

*半角英数字で1字以上20字以下

タイムゾーン :

(UTC) 協定世界時 ▼

戻る 設定終了

重要

- ユーザー名の入力には、以下の文字制限があります。
 - 半角英数字および「! "\$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~」で 1 文字以上、20 文字以下。(英字は大文字小文字を区別する)

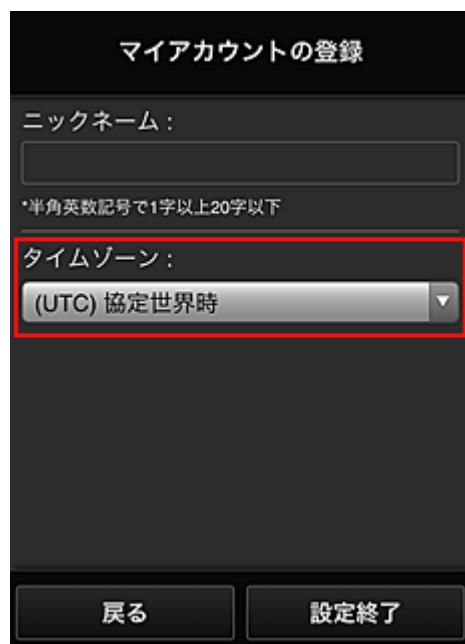
5. [タイムゾーン] を設定し、[設定終了] を選ぶ

リストからお住まいの地域を選んでください。お住まいの地域がない場合は、お住まいの地域に最も近い場所を選んでください。

【サマータイムを適用する】

タイムゾーンで選んだ地域が、サマータイムを実施している場合にのみ表示されます。

サマータイム適用の有無を選んでください。



マイアカウントの登録

ニックネーム：

＊半角英数記号で1字以上20字以下

タイムゾーン：

(UTC) 協定世界時

戻る 設定終了

本登録が完了し、登録完了のメッセージが表示されます。

メッセージ内の [OK] ボタンを選べと、ログイン画面が表示されます。



Canon IJ Cloud Printing Center

メールアドレス：

パスワード：

☐ ログイン情報を保持する

ログイン

パスワードの再設定はこちら

新しいアカウントを作成

本サービスについて

日本語

登録した [メールアドレス] と [パスワード] を入力して、Canon Inkjet Cloud Printing Center に [\[ログイン\]](#) してください。

➡ [Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用する](#)

Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用する

ユーザー登録が完了したら、以下の手順で Canon Inkjet Cloud Printing Center にログインし、実際にサービスを利用することができます。

1. お使いのスマートフォン、タブレットまたはパソコンからサービスのログイン URL (<http://cs.c-ij.com/>) へアクセスする
2. ログイン画面で、[メールアドレス] と [パスワード] を入力し、[ログイン] を選ぶ

重要

- メールアドレスとパスワードは大文字、小文字を区別して入力してください。

[メールアドレス]

ユーザー登録で登録したメールアドレスを入力してください。

[パスワード]

ユーザー登録で登録したパスワードを入力してください。

[ログイン情報を保持する]

チェックマークを付けると、最後にサービス画面にアクセスした日から 14 日間ログイン画面がスキップされます。

重要

- ログインに 5 回連続して失敗した場合、その後約 60 分は再ログインできません。
- ログイン状態の有効時間は、最後のアクセスから 60 分です。
- 複数の端末から同じメールアドレスで同時にログインすると、正常な動作が行えなくなる可能性があります。

ログイン後、プリンターのクラウド機能と連動したアプリの登録・管理や、インク状況確認などの便利なサービスがご利用いただけます。

各画面説明と操作方法については、「[Canon Inkjet Cloud Printing Center 画面説明](#)」を参照してください。

印刷の手順

ここでは、「CANON iIMAGE GATEWAY」を例に、写真印刷の手順を紹介します。

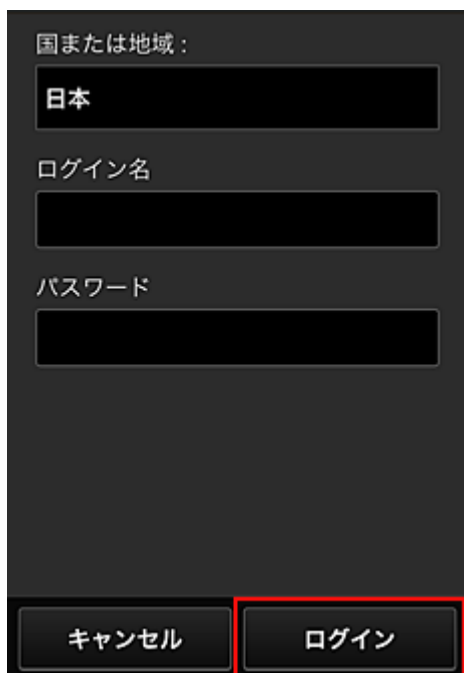
重要

- 使用できる機能はアプリによって異なります。
- 印刷の手順はアプリによって異なります。
- 事前にアカウントを取得し、写真データなどを登録する必要があります。
- 印刷可能なファイル形式は、jpg / jpeg / pdf / docx / doc / xlsx / xls / pptx / ppt / rtf です。アプリによって、印刷可能なファイル形式は異なります。
- 印刷前に、プリンターの電源とネットワーク接続を確認してから、印刷を行ってください。
- スマートフォンやタブレットをご利用の場合にお使いいただけます。

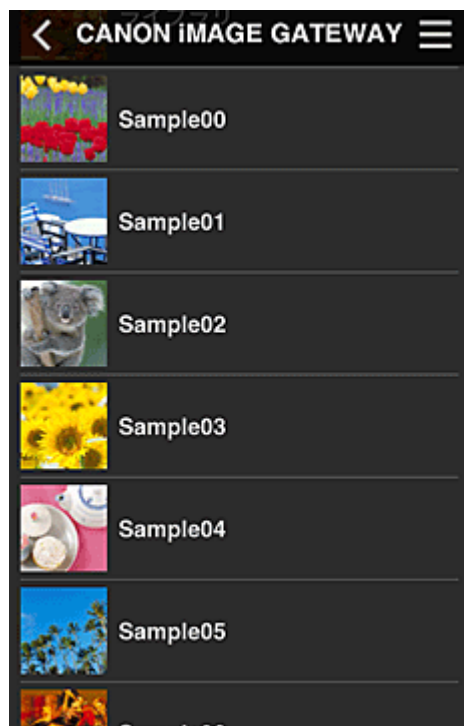
参考

- CANON iIMAGE GATEWAY で印刷可能なファイル形式は、jpg / jpeg です。

1. メイン画面で使用するアプリを選ぶ
2. 表示された認証画面にしたがって入力し、[ログイン] を選ぶ



3. 表示されたアルバム一覧から、好きなアルバムを選ぶ



4. 表示された画像一覧から、印刷したい画像を選び、[次へ] を選ぶ



5. 必要な印刷設定を行い、[プリント] を選ぶ



6. 印刷ジョブの発行が完了したことを示すメッセージが表示され、印刷が開始される



印刷を続ける場合は「続行」を選び、手順 3 からの操作を行ってください。

印刷を終了する場合は「アプリ」を選び、アプリ一覧画面へ戻ります。

重要

- 印刷ジョブの発行完了から 24 時間以内に印刷されない印刷ジョブは、期限切れとなり印刷できません。
- 印刷回数が制限されているプレミアムアプリでは、期限切れなどにより印刷できなかった場合でも、印刷した回数としてカウントされます。

➡ [プリンターを追加する](#)

Canon Inkjet Cloud Printing Center 画面説明

スマートフォン、タブレットまたはパソコンに表示される Canon Inkjet Cloud Printing Center の画面について説明します。

➡ [ログイン画面の説明](#)

➡ [メイン画面の説明](#)

ログイン画面の説明

Canon Inkjet Cloud Printing Center のログイン画面について説明します。



重要

- パスワードの入力に 5 回連続して失敗した場合、その後約 60 分はログインできません。
- ログイン状態の有効時間は、最後にアクセスしてから 60 分です。

言語

使用する言語を選びます。

【メールアドレス】

ユーザー登録で登録したメールアドレスを入力します。

重要

- メールアドレスは大文字、小文字を区別して入力してください。

【パスワード】

ユーザー登録で登録したパスワードを入力します。

【ログイン情報を保持する】

チェックマークを付けると、最後にサービス画面にアクセスした日から 14 日間ログイン画面がスキップされます。

【パスワードの再設定はこちら】

パスワードを忘れたときは、こちらを選びます。

画面の指示に従ってパスワードの再設定を行ってください。

【新しいアカウントを作成】

Canon Inkjet Cloud Printing Center に新規登録を行います。
新規登録にはプリンター登録 ID が必要です。

【本サービスについて】

本サービスの説明を表示します。

【動作環境】

Canon Inkjet Cloud Printing Center の動作環境を表示します。

【ソフトウェアライセンス情報】

Canon Inkjet Cloud Printing Center のライセンス情報を表示します。

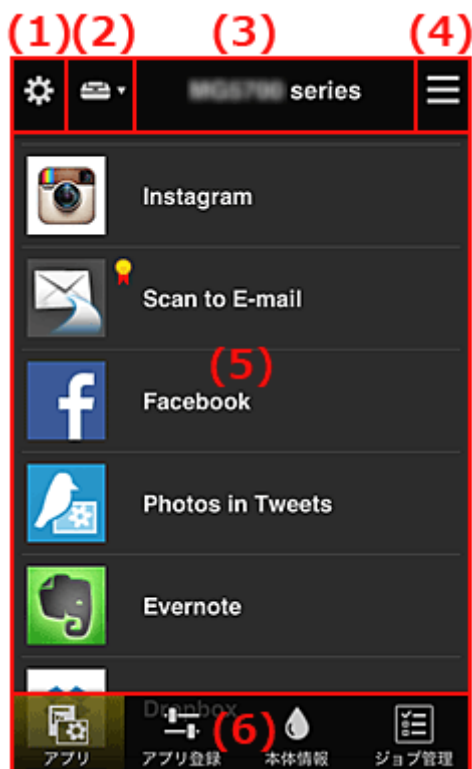
メイン画面の説明

Canon Inkjet Cloud Printing Center へログイン後、メイン画面が表示されます。
スマートフォンやタブレットをお使いの場合は、写真や文書の印刷も行えます。

重要

- このサービスは[プリンターの管理者と一般ユーザー](#)または、設定している管理方法により、使用できる機能が異なります。

各エリアを操作して、アプリの起動、登録、管理などが行えます。



- (1) [左コンテキストメニュー（管理者のみ）](#)
- (2) [\[本体選択\]](#)
- (3) [プリンター名エリア](#)
- (4) [右コンテキストメニュー](#)
- (5) [表示エリア](#)
- (6) [メニューエリア](#)

(1)左コンテキストメニュー（管理者のみ）

 を選ぶと、左コンテキストメニューが表示されます。

[本体管理]、[ユーザー管理]、[グループ管理] または [詳細管理] を選ぶと各画面が表示されます。

参考

- [グループ管理] は [\[管理方法の選択\]](#) にて、[グループで管理する(オフィスユーザー向け)] を設定した場合のみ表示されます。

[本体管理] 画面



[本体管理] 画面からは、Canon Inkjet Cloud Printing Center に登録している [プリンター情報の確認](#)、[更新](#)、[アプリコピー](#)、[プリンター名の変更](#)、[プリンター削除](#)、[プリンター追加](#) の機能を利用できます。

• プリンター情報の確認



登録プリンター名を表示します。

プリンターにエラーが発生している場合は、 が表示されます。

• プリンター情報の更新



プリンター情報の最終更新日時を表示します。



を選ぶと最新の情報に更新されます。

• [マルチユーザーモード] (MAXIFY series のみ)

プリンターを複数ユーザーで使用する場合は、[\[マルチユーザーモード\]](#) にチェックマークを付けてください。

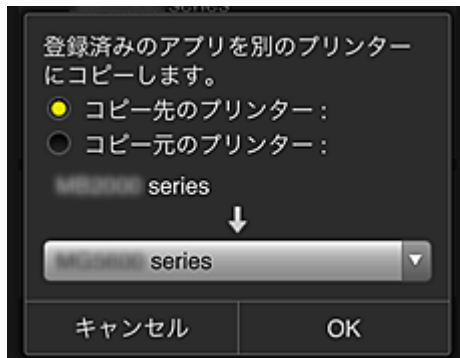
チェックマークは [暗証コードによる使用制限] 画面と連動します。

• アプリコピー

選んだプリンターに登録されているアプリを、別のプリンターへコピーします。



を選ぶと以下の画面が表示されます。



[コピー先のプリンター] と [コピー元のプリンター] を設定し、[OK] を選びます。

▶▶▶ 参考

- [管理方法の選択] を設定している場合、[使用できるアプリをプリンターごとに管理する] を選んでいるときにのみ、この機能をご利用いただけます。
詳しくは、「[Canon Inkjet Cloud Printing Center の便利な使い方 \(オフィスでお使いの場合\)](#)」を参照してください。

• プリンター名の変更



を選ぶと、プリンター名変更画面が表示されます。

表示画面に従って、好きな名前に変更することができます。

▶▶▶ 重要

- プリンター名の入力には、以下の文字制限があります。
 - 128 文字以下。(英字は大文字小文字を区別する)

• プリンター削除



を選ぶと、Canon Inkjet Cloud Printing Center からプリンターが削除されます。

プリンターを譲渡する場合は [プリンター本体に保存されている情報を削除する] にチェックマークを付けてください。

• プリンター追加



Canon Inkjet Cloud Printing Center で使用するプリンターを追加します。
追加にはプリンター登録 ID が必要です。

▶▶▶ 参考

- 1 ドメインに対して登録は無制限に行うことができますが、動作保証できるプリンター台数は 16 台までです。

【ユーザー管理】画面



ユーザー管理画面からは、Canon Inkjet Cloud Printing Center に登録しているユーザー情報の確認、[ユーザー削除](#)、[ユーザー追加](#)、[\[管理者\] と \[一般ユーザー\] の設定変更](#)の機能を利用できます。

• ユーザー削除

削除するユーザーにチェックを入れ、[削除] を選んでください。

ただし、自分自身の削除はできません。削除したい場合は[マイアカウント](#)から退会してください。

• ユーザー追加

[ユーザーを追加] を選ぶとユーザー登録画面が表示されます。

• [管理者] と [一般ユーザー] の設定変更

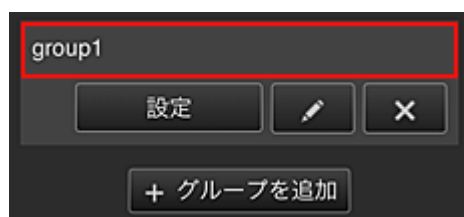
設定を変更したいユーザーの [権限] を選び、管理者と一般ユーザーの権限を変更することができます。

[グループ管理] 画面



グループ管理画面からは、Canon Inkjet Cloud Printing Center に登録している[グループ情報の確認](#)と[グループ名の変更](#)、[グループ削除](#)、[追加](#)、グループごとの所属ユーザー、プリンター、アプリ設定の機能を利用できます。

• グループ情報の確認

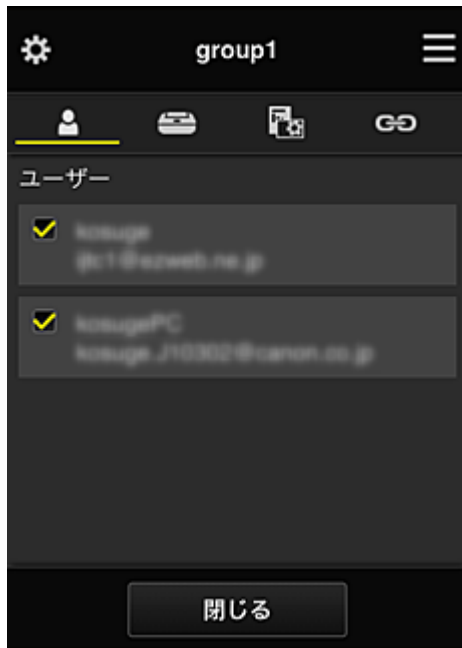


登録グループ名を表示します。

未設定の項目がある場合は、が表示されます。

 を選ぶと以下の画面が表示され、1 グループごとに設定を行えます。

選んだタブにより、表示内容が切り替わります。



【ユーザー】

ドメイン内に登録されている、すべてのユーザー名とメールアドレスを表示します。



【プリンター】

ドメイン内に登録されている、すべてのプリンターを表示します。



【アプリ】

初期選択ではすべてのアプリを表示します。[登録済み] カテゴリを選ぶと登録済みのアプリのみ表示されます。



を選ぶと、アプリの登録／登録解除が切り替わります。



【ウェブサービス】

外部連携を行うサービスを表示します。

Easy-PhotoPrint+など、Canon Inkjet Cloud Printing Center のアカウントを利用する他の Web サービスの利用を制限することができます。



を選ぶと、サービスの連携／連携解除が切り替わります。

チェックが 0 個の項目は、 が表示されます。

初期設定では【プリンター】と【ユーザー】はすべてチェックマークが外れた状態です。【アプリ】のシステムアプリのみ [ON] になっています。

● グループ名の変更



を選ぶと、グループ名変更画面が表示されます。

表示画面に従って、好きな名前に変更することができます。

▶▶▶ 重要

- グループ名の入力には、以下の制限があります。
 - 半角英数字で 1 文字以上、20 文字以下。全角で 1 文字以上、10 文字以下。
 - 同じドメイン内で、同じグループ名の登録はできません。

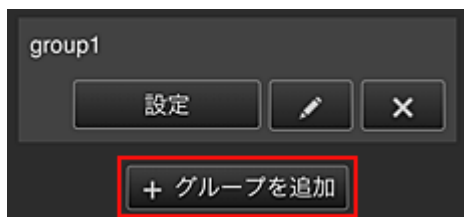
- **グループ削除**



を選ぶと、Canon Inkjet Cloud Printing Center からグループが削除されます。

すべてのグループを削除する場合、新たにグループを作成する必要があります。別の管理方法を設定したい場合は、[管理方法の選択] 画面から選択してください。

- **[グループを追加]**

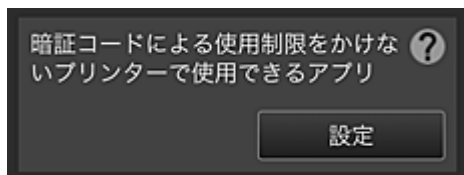


Canon Inkjet Cloud Printing Center で使用するグループを追加します。

▶▶▶ **参考**

- グループの登録数は最大 20 個までです。

- **[暗証コードによる使用制限をかけないプリンターで利用できるアプリ]**



[マルチユーザーモード] または、[暗証コード] の設定を行っていないプリンターで、プリンター



のホーム画面から [クラウド] を選ぶと表示されるアプリを設定します。

条件に該当するプリンターがドメイン内にない場合、本設定は表示されません。

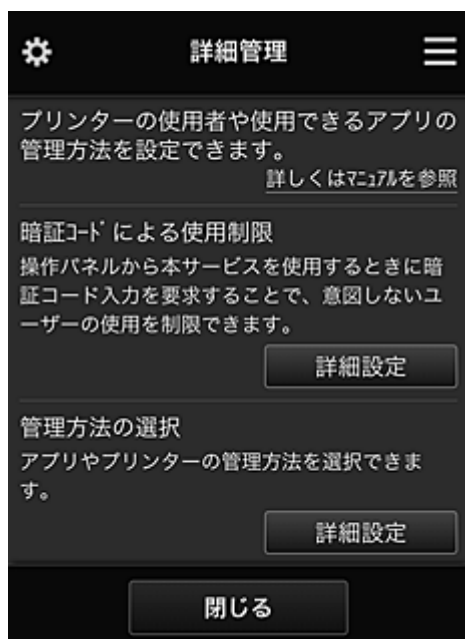


を選ぶと、設定画面へ移動します。

▶▶▶ **参考**

- ドメイン内に、以下のプリンターのみ登録している場合は表示されません。
 - 液晶モニターがないプリンター
 - モノクロの液晶モニターのプリンター
 - マルチユーザーモードのプリンター

【詳細管理】画面



【詳細管理】画面からはプリンターの使用者や使用できるアプリの管理方法を設定することができます。

詳細設定 を選ぶと、設定画面へ移動します。

• 【暗証コードによる使用制限】

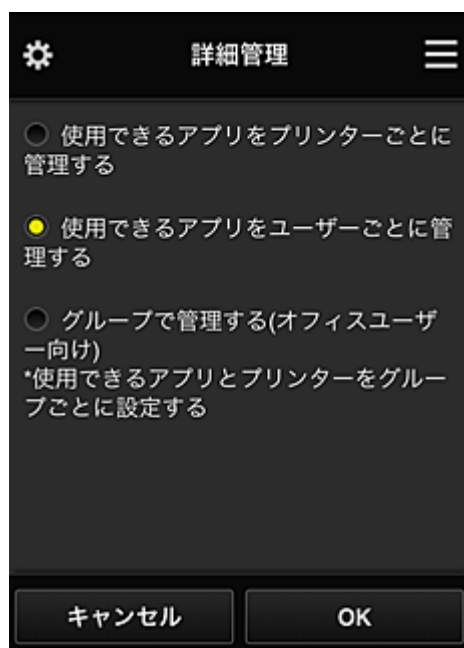


ユーザーそれぞれが**暗証コード**を設定し、アプリを起動して印刷などを行うことができます。設定は【本体管理】画面の【マルチユーザーモード】と連動します。

▶▶▶ 参考

- 液晶なし機種またはモノクロ液晶機種はリストに表示されません。
- マルチユーザーモード非対応の機種はチェックボックスが表示されません。

- [管理方法の選択]



使用できるアプリとプリンターの管理方法を変更することができます。

[使用できるアプリをプリンターごとに管理する]

複数プリンターを使用している場合、使用できるアプリをプリンターごとに管理することができます。

[使用できるアプリをユーザーごとに管理する]

1つのプリンターで、ユーザーごとに使用できるアプリを管理することができます。

使用例については、「[Canon Inkjet Cloud Printing Center の便利な使い方（ご家庭でお使いの場合／PRO-1000 series／PRO-500 series をお使いの場合）](#)」を参照してください。

[グループで管理する(オフィスユーザー向け)]

使用できるアプリとプリンターを、グループで管理することができます。

使用例については、「[Canon Inkjet Cloud Printing Center の便利な使い方（オフィスでお使いの場合）](#)」を参照してください。

参考

- 使用できるアプリをプリンターごとに管理している場合、初期設定ではすべてのユーザーがアプリの追加、削除、並べ替えをすることができます。
また、MAXIFY series をご使用の場合、[本体管理画面](#)で「マルチユーザーモード」にチェックマークを付けると管理者のみアプリの追加、削除、並べ替えをすることができます。
- 使用できるアプリをユーザーごとに管理している場合、「マルチユーザーモード」の設定にかかわらず、すべてのユーザーがアプリの追加、削除、並べ替えをすることができます。
- 使用できるアプリとプリンターをグループごとに管理している場合、すべてのユーザーがアプリの並べ替えのみすることができます。

(2) [本体選択]



を選び、[本体選択] 画面から使用するプリンターを選択します。

パソコンをお使いの場合、プルダウンメニューから使用するプリンターを直接選択することができます。

参考

- 設定により、使用を制限されているプリンターは表示されません。

(3)プリンター名エリア

選んでいるプリンターの登録名が表示されます。

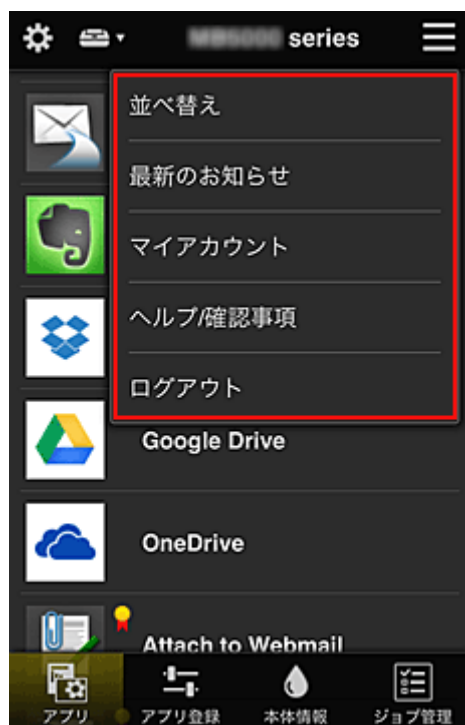
管理者の場合は、左コンテキストメニューの〔本体管理〕画面から、[プリンター名を変更](#)することができます。

(4)右コンテキストメニュー

☰ を選ぶと、コンテキストメニューが表示されます。

表示される内容は、メニューエリアで選んでいるメニューの内容によって異なります。

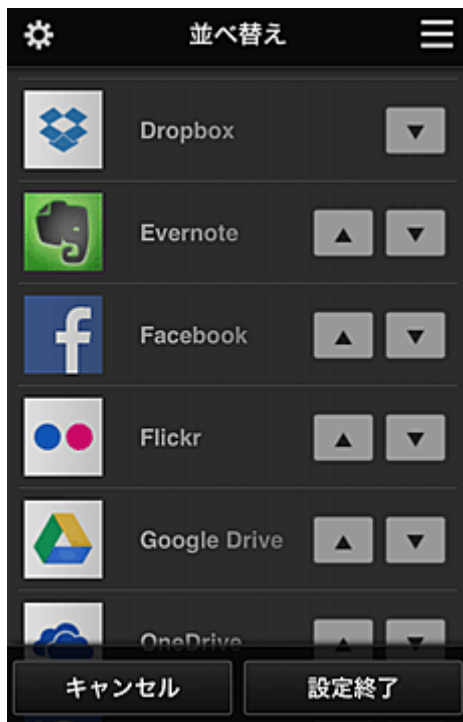
未読の到着お知らせがある場合は、 マークが表示されます。



● **並べ替え** **〔並べ替え〕**

登録済みアプリの並べ替え画面を表示します。

  ボタンでアプリの表示順を変更することができます。並べ替え完了後、〔設定終了〕を選びます。



参考

- 表示アイコンの説明



：公開期限外、対象地域外、対象機種外、対象言語外のため使用できません。



：キヤノン純正インクをご利用の場合に使用できます。

G3000 series をお使いの場合、対象機種外のため使用できません。

最新のお知らせ

【最新のお知らせ】

最新のお知らせを表示します。未読の新着お知らせがある場合は、 マークが表示されます。

マイアカウント

【マイアカウント】

ユーザー情報を表示します。

【マイアカウント】からは、各設定を変更することができます。

【マイアカウント】画面から【アクセスを許可しているサービス】画面を表示して連携サービスの設定解除を行うことができます。

ヘルプ/確認事項

【ヘルプ/確認事項】

Canon Inkjet Cloud Printing Center の画面説明や各種確認事項を表示します。

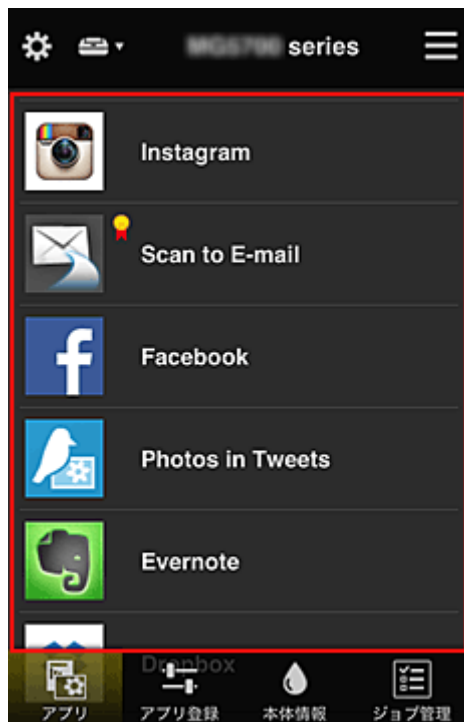
ログアウト

【ログアウト】

Canon Inkjet Cloud Printing Center からログアウトすることができます。

(5)表示エリア

選んだメニューにより、表示内容が切り替わります。



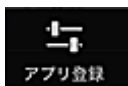
(6)メニューエリア

以下の4つのメニューボタンが表示されます。



• [アプリ]

登録済みのアプリ一覧を[表示エリア](#)に表示します。



• [アプリ登録]

アプリ登録画面を[表示エリア](#)に表示します。

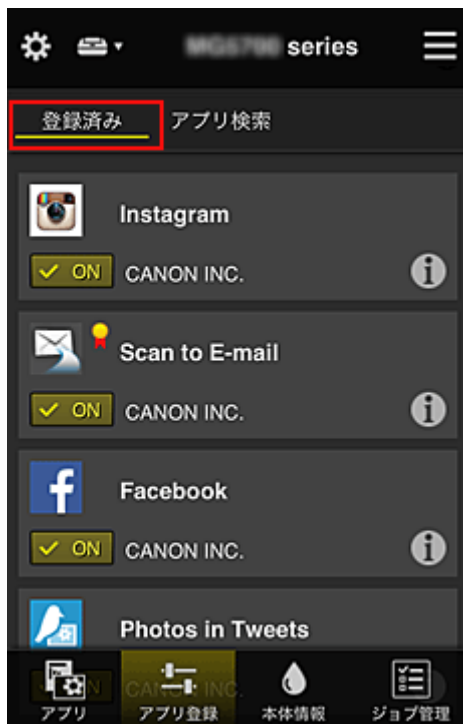
[登録済み] と [アプリ検索] から、表示方法を選ぶことができます。

[登録済み] 画面では、登録済みのアプリを一覧で表示します。

アプリの情報の確認や、登録解除を行うことができます。

参考

- [グループ管理] を設定している場合、[アプリ登録] は表示されません。
- [使用できるアプリをユーザーごとに管理する] を設定している場合、[一般ユーザー] でもアプリの登録や削除をすることができます。



「アプリ検索」画面では、Canon Inkjet Cloud Printing Center で登録可能なアプリをカテゴリ別に表示します。



- を選ぶと、アプリの詳細説明を表示します。
☒ ON / ☐ OFF を選ぶと、アプリの登録／登録解除が切り替わります。

参考

- 表示アイコンの説明

: 公開期限外、対象地域外、対象機種外、対象言語外のため使用できません。

: キヤノン純正インクをご利用の場合に使用できます。

G3000 series をお使いの場合、対象機種外のため使用できません。



- **【本体情報】**

現在選んでいるプリンターのステータスを表示します。

インク残量や発生しているエラーの詳細が確認できます。また、インク購入サイトやオンラインマニュアルへアクセスすることができます。

重要

- 表示される本体情報は、プリンターの状態などによって、表示時点の状況とは異なる場合があります。



- **【ジョブ管理】**

印刷またはスキャンの状況や履歴を表示します。

印刷またはスキャンの状況は〔状況一覧〕から、印刷またはスキャンの履歴は〔履歴一覧〕から確認することができます。

印刷またはスキャンジョブは、キャンセルしたり、履歴の削除を行うこともできます。

キャンセル／削除を行う場合は、該当のジョブにチェックを入れ、〔キャンセル〕／〔削除〕を選んでください。

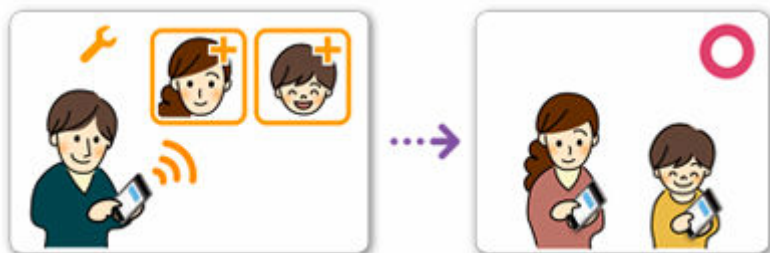
Canon Inkjet Cloud Printing Center の便利な使い方（ご家庭でお使いの場合／PRO-1000 series／PRO-500 series をお使いの場合）

【詳細管理】機能を利用すれば、ご家庭での様々なシーンに対応した便利な使い方が可能になります。
ここではお父さん、お母さん、子どもの3人家族を例にご紹介します。



お父さんが Canon Inkjet Cloud Printing Center に登録したプリンターは、お父さんのみ管理している状態となり、【メールアドレス】と【パスワード】を教えない限り、お母さんや子どもはサービスを利用することができません。

お母さんや子どものスマートフォンからもサービスを利用したい場合



1. 管理者のお父さんが [Canon Inkjet Cloud Printing Center に登録](#) する
2. ログイン後、 から [【ユーザー管理】](#) を選ぶ

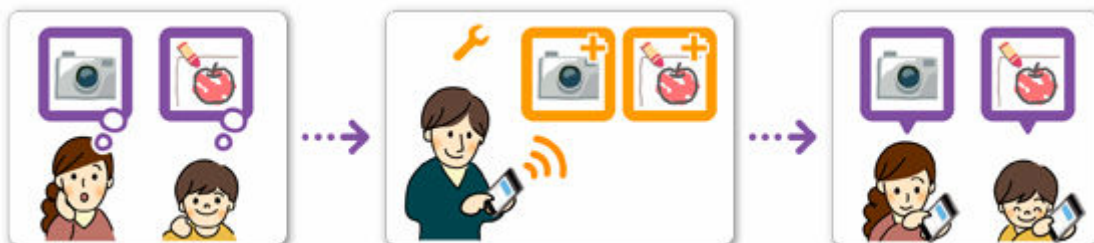


3. [ユーザーを追加] を選び、画面の指示にしたがってお母さんと子どものユーザー登録を行う

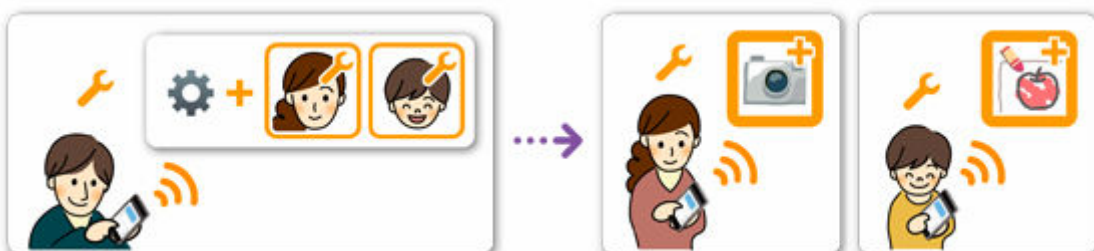


本登録が完了すると、お母さん、子どもそれぞれサービスを利用できるようになります。

お父さん、お母さん、子ども別々にアプリを管理したい場合



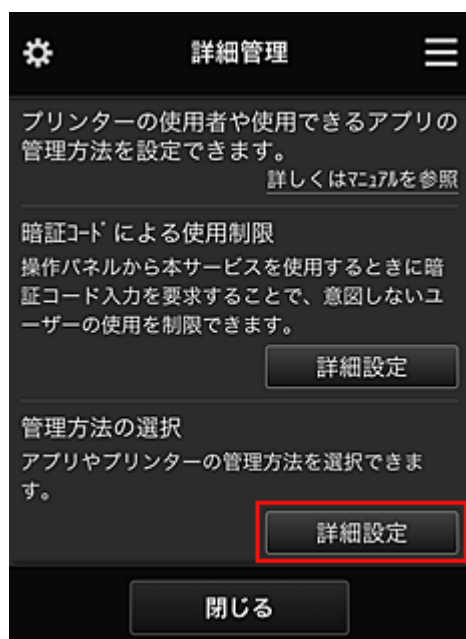
初期設定では管理者のお父さんだけが使用できるアプリの登録や削除を設定することができます。最初に管理者のお父さんが以下の手順で設定を行うことで、お父さん、お母さん、子どもが別々にアプリを管理できるようになります。



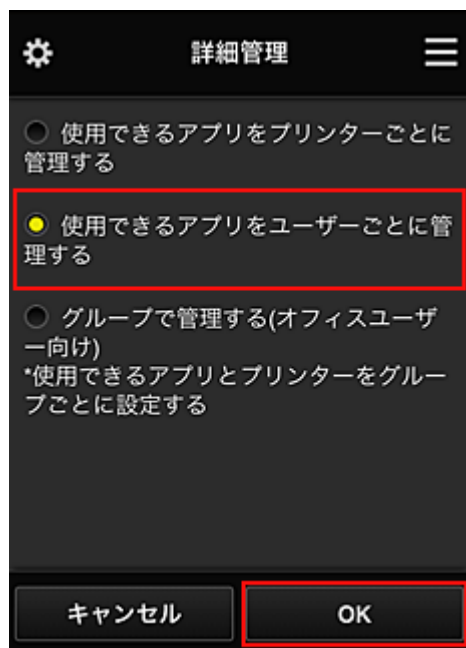
1. 管理者のお父さんが [Canon Inkjet Cloud Printing Center にログイン](#) し、 から [詳細管理] を選ぶ



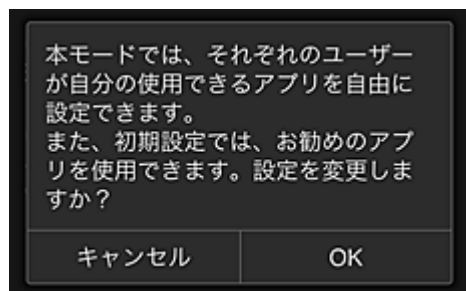
2. 「管理方法の選択」の「詳細設定」を選ぶ



3. 「使用できるアプリをユーザーごとに管理する」を設定し、[OK] を選ぶ



4. 管理方法の変更を確認する画面が表示される



[OK] を選ぶと設定が完了し、[詳細管理] 画面へ戻ります。

ユーザー登録をしている全員が自由にアプリの登録や削除を行うことができます。

Canon Inkjet Cloud Printing Center の便利な使い方（オフィスでお使いの場合）

「グループ管理」機能を利用すれば、プリンターが複数ある場合でもオフィスでのさまざまなシーンに対応した便利な使い方が可能になります。

ここでは 2 台のプリンターを使い、管理者を主任とし、他のメンバーを社長、課長、新人とした例をご紹介します。

参考

- 2 台目のプリンターを登録していない場合は「[プリンターを追加する](#)」を参照し、手順に沿って登録してください。

オフィス全体で使用するグループを作成する

以下の手順で基本となるグループを設定します。

ここでは、2 台のプリンターで Evernote アプリのみ使用する場合を例とします。

1. 管理者の主任が [Canon Inkjet Cloud Printing Center に登録](#) する
2.  から [ユーザー管理](#) を選ぶ



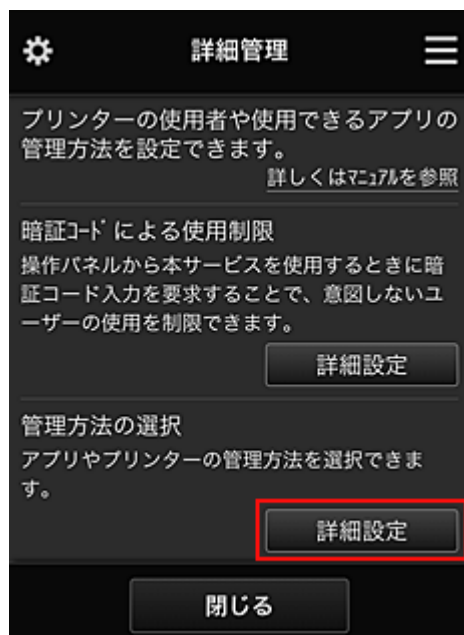
3. 表示された画面で「ユーザーを追加」を選び、社長、課長、新人のユーザー登録を行う



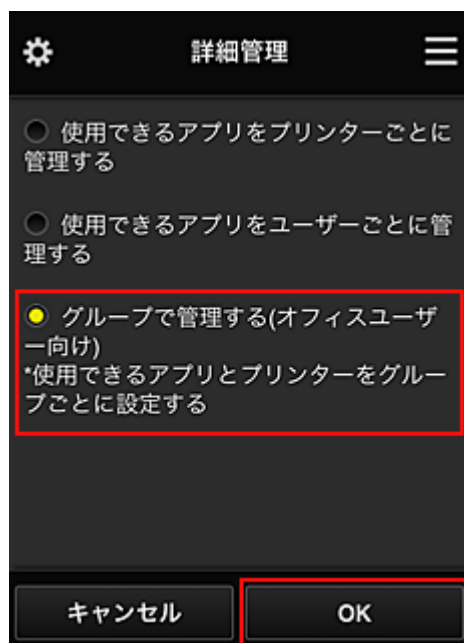
4.  から「詳細管理」を選ぶ



5. 「管理方法の選択」の「詳細設定」を選ぶ



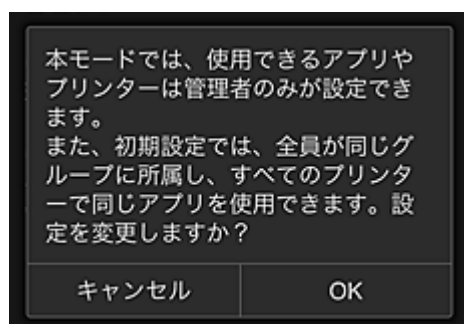
6. [グループで管理する(オフィスユーザー向け)] を設定し、[OK] を選ぶ

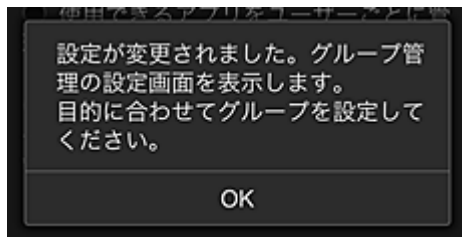


参考

- すでにグループ管理を設定している場合は、手順 10 以降を参照してください。

7. 管理方法の変更を確認する画面で、内容を確認し、[OK] を選ぶ





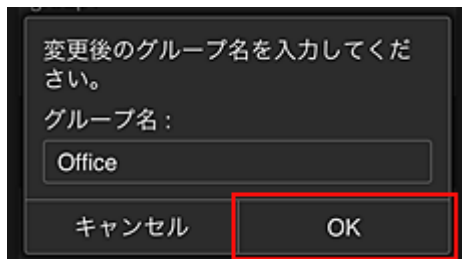
移行先のモードが「グループ管理」の場合にのみ表示されます。
[OK] を選ぶと設定が完了し、「グループ管理」画面が表示されます。

参考

- 初期設定では「group1」という名前がつけられます。
- 初期設定では登録したユーザー全員が同じグループに所属します。

8. 「グループ管理」画面で名前を変更したいグループの  を選ぶ

9. 「グループ名」を入力し、「OK」を選ぶ

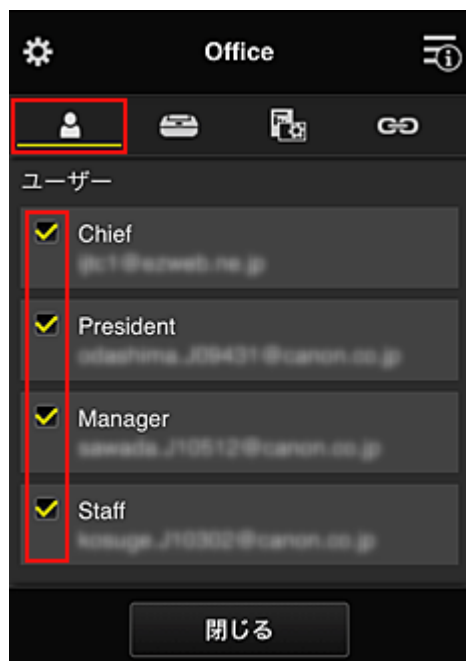


ここではオフィス全体で使用するグループを設定するため、「Office」と入力します。

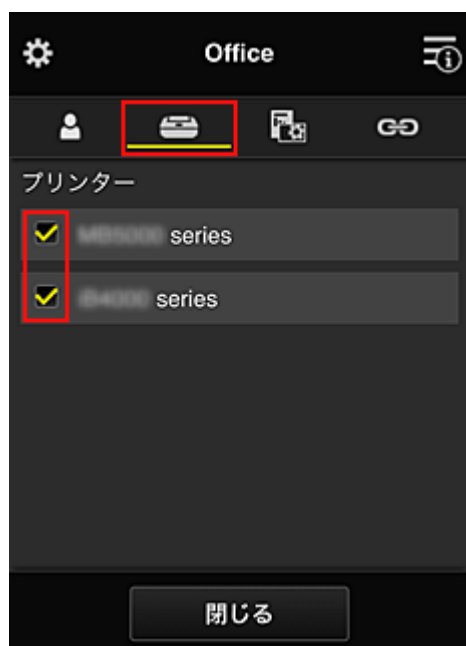
重要

- グループ名の入力には、以下の制限があります。
 - 半角英数字で 1 文字以上、20 文字以下。全角で 1 文字以上、10 文字以下。
 - 同じドメイン内で、同じグループ名の登録はできません。
 - グループの登録数は最大 20 個までです。
- グループを新規作成した方が管理者となります。

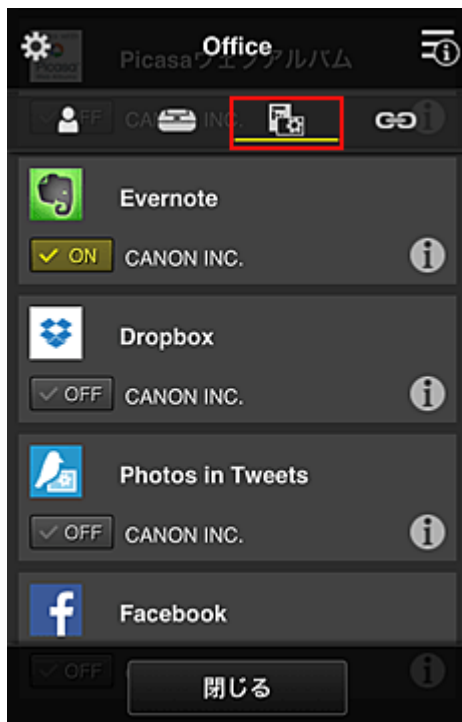
10. 「設定」を選択し、グループの設定画面で「ユーザー」タブのチェックがメンバー全員に入っていることを確認



11. [プリンター] タブですべてのプリンターにチェックが入っていることを確認



12. [アプリ] タブで Evernote アプリのみ ☒ ON にする



✓ ON / ✓ OFF を選ぶと、アプリの登録／登録解除が切り替わります。

「閉じる」を選ぶと「グループ管理」画面へ戻ります。

以上でオフィス全体で使用するグループの設定は完了です。

参考

- グループの設定画面にはドメイン内に登録されている、すべてのユーザー名とプリンターが表示されます。
- 新たに個人でアプリを設定したい場合は、グループを追加して増やすことができます。
「グループを追加」でグループを新規作成し、追加したグループの設定画面でユーザーとプリンターを追加してください。

- ⇒ [ユーザーごとに使用できるアプリを制限する場合](#)
- ⇒ [プリンター本体での操作時に、使用できるアプリを制限する場合](#)
- ⇒ [ユーザーごとに、プリンター本体での操作時に使用できるアプリを制限する場合](#)
- ⇒ [ユーザーごとに、使用するプリンターを制限する場合](#)

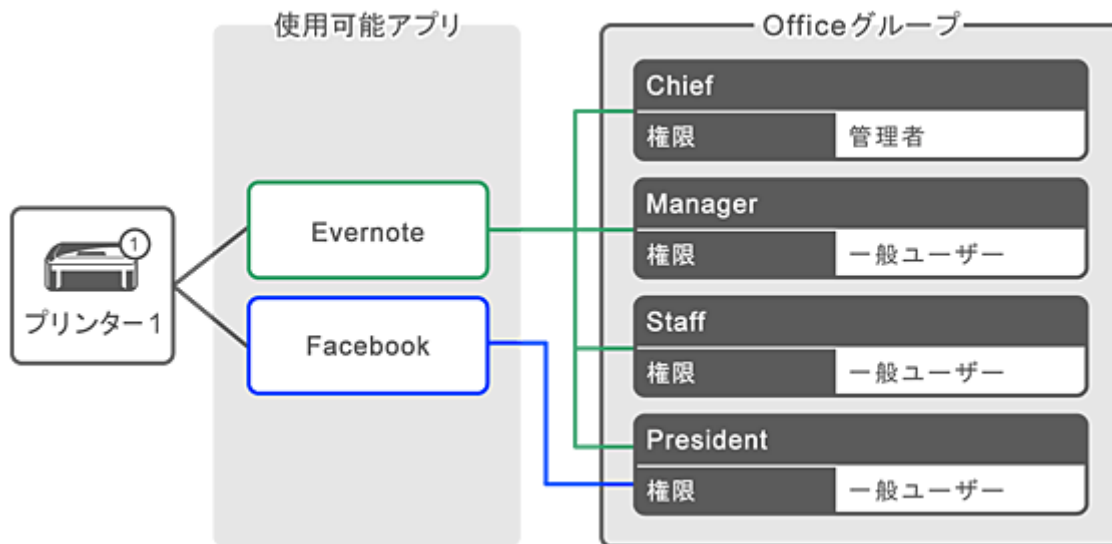
重要

- 国または地域によっては、アプリを利用できない場合や使用できるアプリが異なる場合があります。

ユーザーごとに使用できるアプリを制限する場合

次の設定とします。

- オフィス全体：Evernote アプリのみ使用
- 社長：Evernote アプリと Facebook アプリを使用



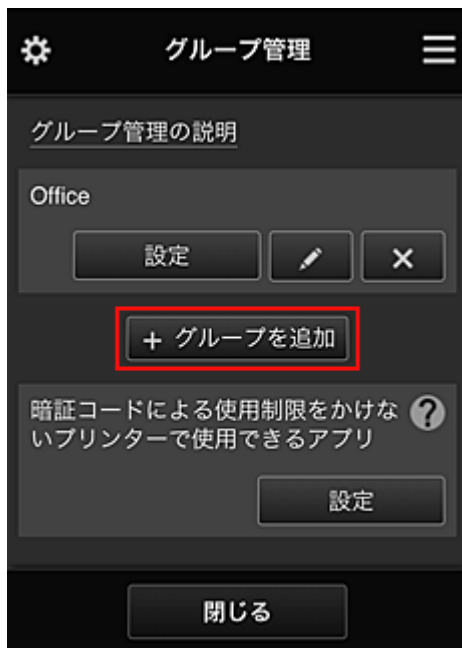
1.  から「グループ管理」を選ぶ



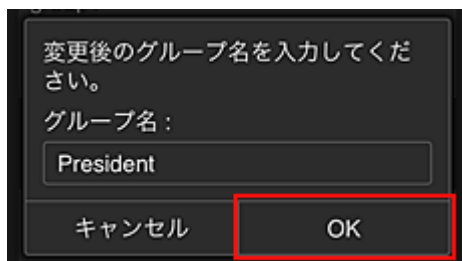
参考

- 「詳細管理」にて、「グループで管理する(オフィスユーザー向け)」を設定した場合のみ表示されます。

2. 表示された画面で「グループを追加」を選ぶ



3. [グループ名] を入力し、[OK] を選ぶ



ここでは社長のみ使用できるアプリを設定するため、社長専用グループとして「President」と入力します。

重要

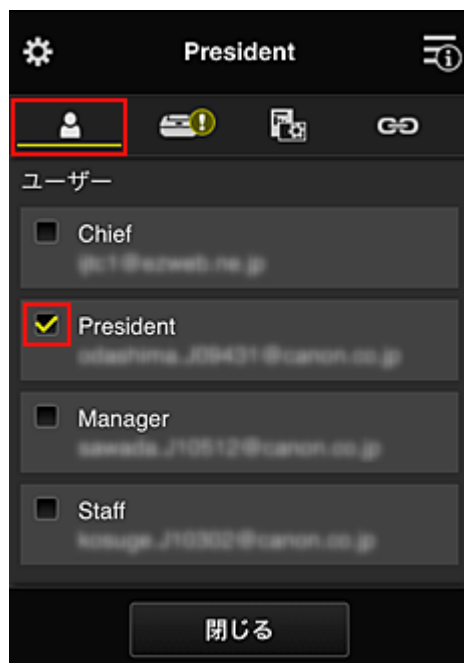
- グループ名の入力には、以下の制限があります。
 - 半角英数字で 1 文字以上、20 文字以下。全角で 1 文字以上、10 文字以下。
 - 同じドメイン内で、同じグループ名の登録はできません。
 - グループの登録数は最大 20 個までです。
- グループを新規作成した方が管理者となります。

4. 表示された画面のメッセージに従って [OK] を選ぶ

グループの設定画面が表示されます。



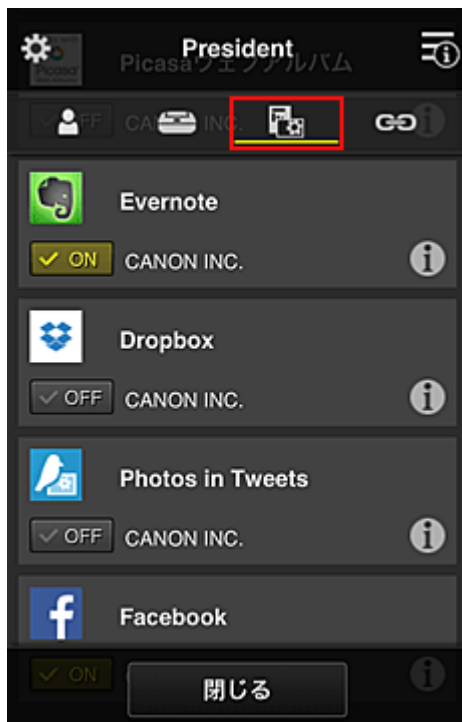
5. [ユーザー] タブで社長にのみチェックを入れる



6. [プリンター] タブで使用するプリンターにチェックを入れる



7. [アプリ] タブで Evernote アプリと Facebook アプリを  にする



☒ ON / ☐ OFF を選ぶと、アプリの登録／登録解除が切り替わります。

「閉じる」を選ぶと「グループ管理」画面へ戻ります。

以上で社長のアカウントのみ使用するアプリを設定することができます。

参考

- グループの設定画面にはドメイン内に登録されている、すべてのユーザー名とプリンターが表示されます。

プリンター本体での操作時に、使用できるアプリを制限する場合

プリンター本体で使用するアプリは、本サービスの以下の手順で設定することができます。

ここではプリンター本体では、Evernote アプリのみ使用する場合を例とします。

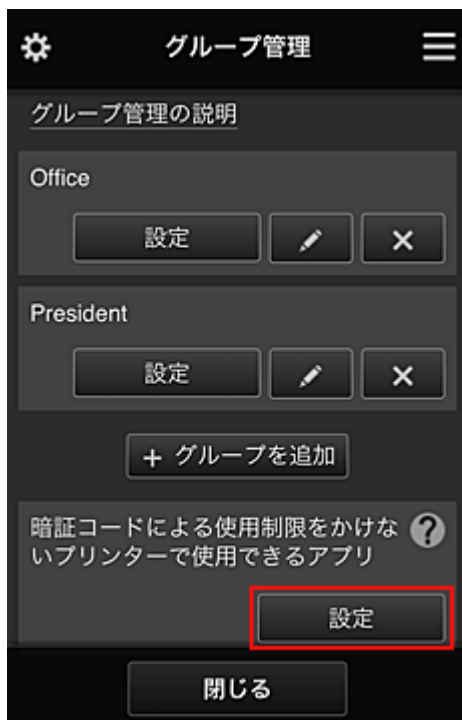
1.  から「グループ管理」を選ぶ



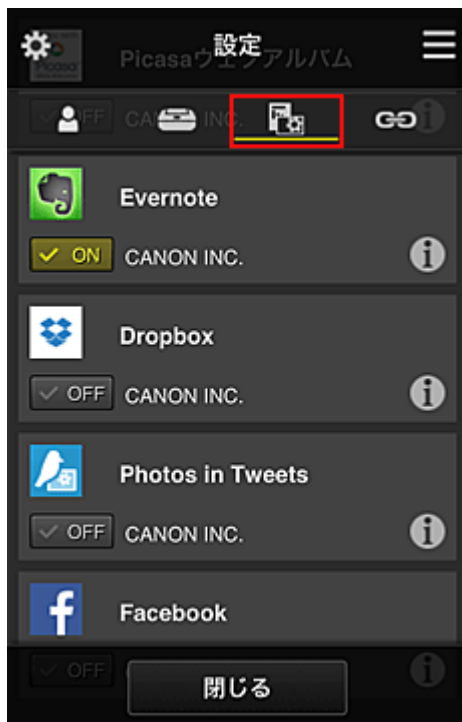
参考

- [詳細管理] にて、[グループで管理する(オフィスユーザー向け)] を設定した場合のみ表示されます。

2. [暗証コードによる使用制限をかけないプリンターで利用できるアプリ] の [設定] を選ぶ



3. [アプリ] タブで Evernote アプリのみ ☒ ON にする



✓ ON / ✓ OFF を選ぶと、アプリの登録／登録解除が切り替わります。

「閉じる」を選ぶと「グループ管理」画面へ戻ります。

以上でプリンター本体から操作する場合は、全員 Evernote アプリのみ使用できる設定となります。

ユーザーごとに、プリンター本体での操作時に使用できるアプリを制限する場合

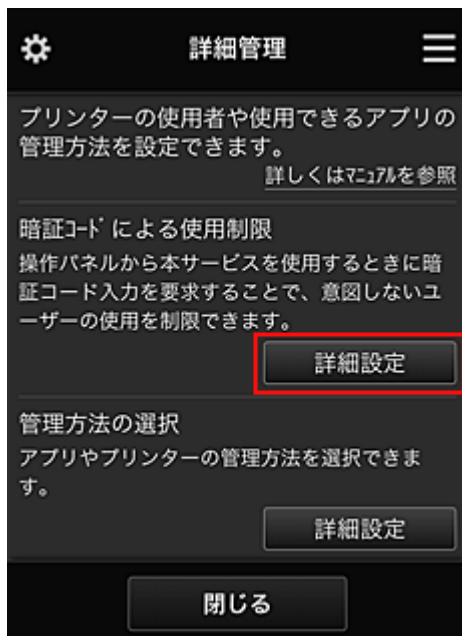
プリンター本体での操作時に使用できるアプリをユーザーごとに設定することができます。

社長のみプリンター本体からも Facebook アプリを使用する場合を例とします。

1.  から「詳細管理」を選ぶ



2. 「暗証コードによる使用制限」の「詳細設定」を選ぶ



3. [暗証コード] を設定するプリンターを選ぶ

[暗証コード](#)とは、プリンターを複数ユーザーで使用する際にユーザーを判別するためのコードです。

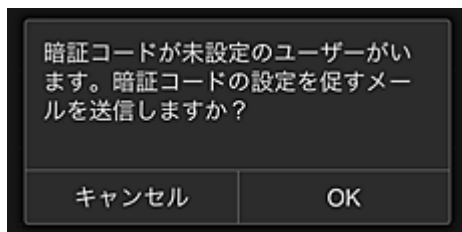


参考

- 設定を変更できない機種は選択できません。
この機能は機種によっては対応していません。ご使用の機種がこの機能に対応しているかどうかは、「暗証コード対応機種一覧」を参照してください。

4. [暗証コード] を設定

ユーザーの中に[暗証コード]が未設定のユーザーがいると[暗証コード]の設定を促すメールを送信するかを確認する画面が表示されます。

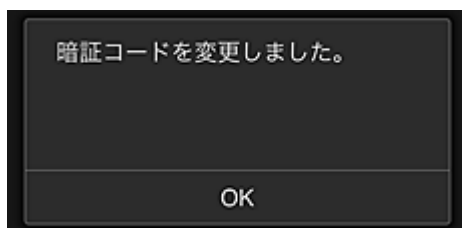


[OK] を選ぶと [暗証コード] が未設定のユーザーにのみ通知メールが送信されます。

[キャンセル] を選ぶと通知メールは送信されず、各ユーザーがログインした時に [暗証コード] の設定画面が表示されます。

重要

- 暗証コードの入力には、以下の文字制限があります。
- 半角数字で 8 文字以下。



[暗証コード] の変更が完了し、変更完了のメッセージが表示されます。メッセージ内の [OK] を選ぶとメイン画面に戻ります。

5. プリンターのホーム画面から  [クラウド] を選ぶ
6. [ユーザー切り替え] 画面でユーザーを選ぶ



7. 設定した〔暗証コード〕を入力して〔ログイン〕

参考

- 〔暗証コード〕を未設定の場合は、[\[マイアカウント\]](#)より〔暗証コード〕を設定してから、〔ログイン〕してください。

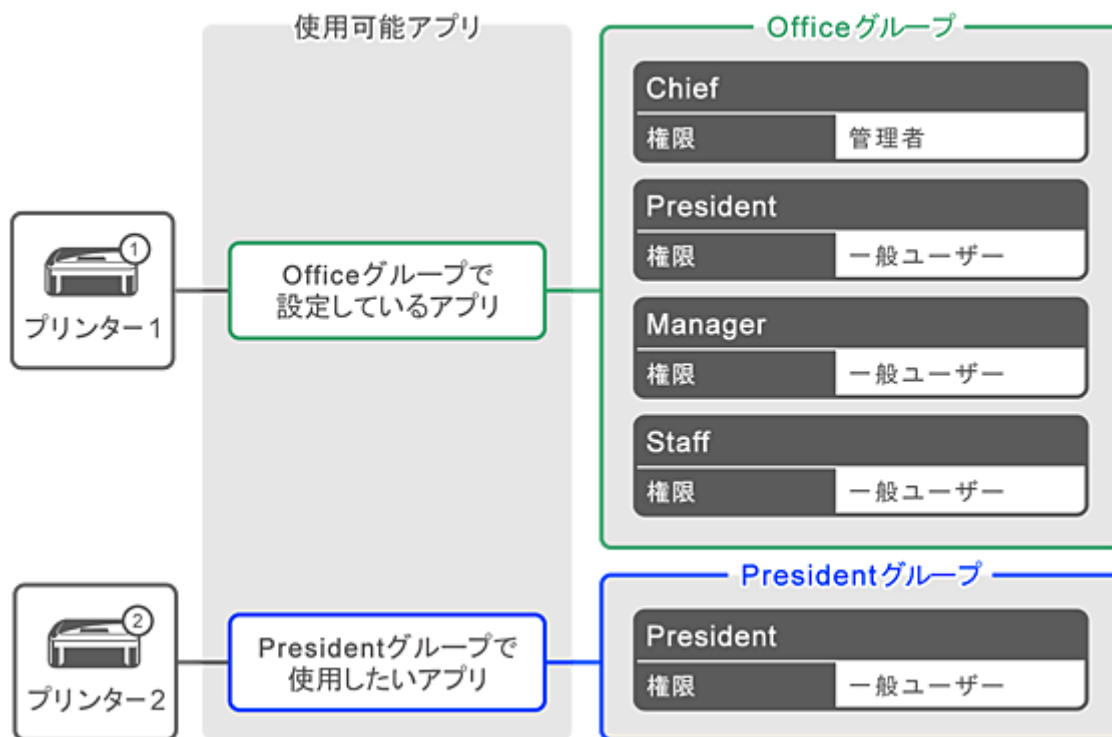
8. Facebook アプリを選ぶ



社長のみプリンター本体からも Facebook アプリが使用できるようになります。

ユーザーごとに、使用するプリンターを制限する場合

1 台のプリンターを社長用にし、もう 1 台のプリンターは全員で使用する場合を例とします。



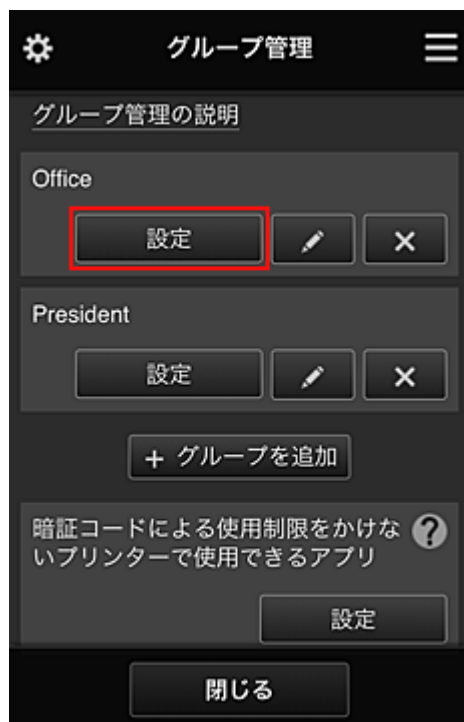
1.  から「グループ管理」を選ぶ



参考

- 「詳細管理」にて、「グループで管理する(オフィスユーザー向け)」を設定した場合のみ表示されます。

2. 全員のグループの「設定」を選ぶ



3. [プリンター] タブで、社長用プリンターのチェックを外す



[閉じる] を選ぶと [グループ管理] 画面へ戻ります。

重要

- 1つのユーザーを複数のグループで管理している場合、あるグループでアプリ削除や対象プリンターの変更を行っても、別グループで対象としている場合はその設定が優先されます。

設定したプリンターのみ使用できるようになります。

暗証コードとは

〔暗証コード〕とは、プリンターを複数ユーザーで使用する際にユーザーを判別するためのコードです。

重要

- MAXIFY series をご使用の場合、〔暗証コード〕を設定することができます。自身のアカウントを他者に利用されることを防ぐために、設定することをお勧めします。
- プリンターの操作パネルから MAXIFY クラウドリンクを利用する場合にのみ有効なコードであり、スマートフォン、タブレットまたはパソコンから Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用する場合は使用できません。

プリンターを追加する

1つのアカウントに対して、複数のプリンターで Canon Inkjet Cloud Printing Center のサービスを使用することができます。

以下の手順で、プリンターの追加を行ってください。

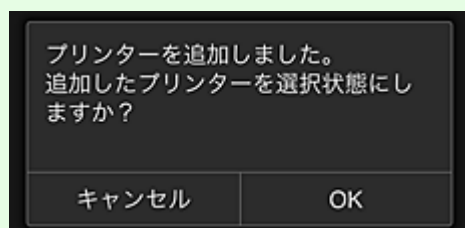
- ➡ [お使いの機種の液晶モニターがカラーの場合](#)
- ➡ [お使いの機種の液晶モニターがモノクロの場合](#)
[お使いの機種に液晶モニターがない場合／PRO-1000 series／PRO-500 series をお使いの場合](#)

お使いの機種の液晶モニターがカラーの場合

1. 登録したメールアドレス宛てにメールが届いていることを確認し、URL へアクセスする
2. 表示された認証画面にしたがって入力し、[ログイン] を選ぶ

A screenshot of a user authentication screen titled 'ユーザー認証' (User Authentication). It features two input fields: 'メールアドレス:' (Email address) and 'パスワード:' (Password). Below these is a checkbox labeled 'ログイン情報を保持する' (Keep login information). At the bottom, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and 'ログイン' (Login). The 'ログイン' button is highlighted with a red rectangular border.

3. プリンターの追加完了のメッセージが表示されたら [OK] を選ぶ

A screenshot of a message box indicating successful printer addition. The text reads: 'プリンターを追加しました。追加したプリンターを選択状態にしますか?' (Printer added. Do you want to select the added printer?). At the bottom, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and 'OK'.

プリンターの追加が完了し、Canon Inkjet Cloud Printing Center のメイン画面が表示されます。

▶▶▶ 参考

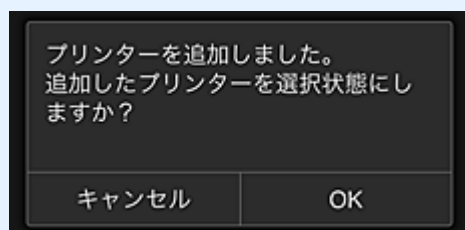
- [キャンセル] を選ぶとプリンターの選択状態は変えずに Canon Inkjet Cloud Printing Center のメイン画面が表示されます。

お使いの機種の液晶モニターがモノクロの場合 お使いの機種に液晶モニターがない場合／PRO-1000 series／PRO-500 series をお使いの場合

1. 登録したメールアドレス宛てにメールが届いていることを確認し、URL へアクセスする
 - ➡ お使いの機種の液晶モニターがモノクロの場合
 - ➡ [お使いの機種に液晶モニターがない場合／PRO-1000 series／PRO-500 series をお使いの場合](#)
2. 表示された認証画面にしたがって入力し、[ログイン] を選ぶ



3. プリンターの追加完了のメッセージが表示されたら [OK] を選ぶ



プリンターの追加が完了し、Canon Inkjet Cloud Printing Center のメイン画面が表示されます。

▶▶▶ 参考

- [キャンセル] を選ぶとプリンターの選択状態は変えずに Canon Inkjet Cloud Printing Center のメイン画面が表示されます。

➡ [PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用するユーザーを追加する](#)

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用するユーザーを追加する

1つのプリンターを複数人で使用することができます。
ユーザーの追加方法と権限について説明します。

ユーザー追加方法

1. サービス画面で  から「ユーザー管理」を選ぶ



2. 「ユーザーを追加」を選ぶ



参考

- 「ユーザーを追加」を選ぶと追加ユーザーの上限に到達しているかを確認し、新たに追加が可能な場合はユーザー登録画面が表示されます。

- ユーザー追加の上限は 1 つのプリンターにつき 20 人までです。

3. 新規に追加したいユーザーのメールアドレスを入力して、[OK] を選ぶ

入力したメールアドレス宛に登録を完了するための URL が通知されます。

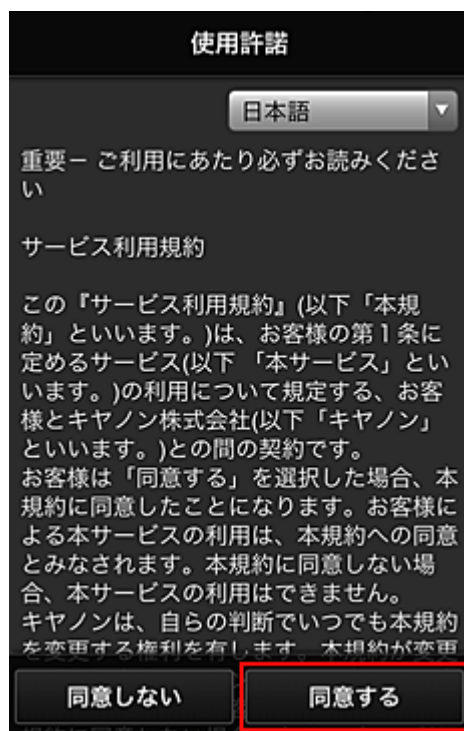
参考

- すでに登録されているメールアドレスを入力した場合は、登録済みメールが送信されます。別のメールアドレスを指定したい場合は案内に従い、アドレスを指定してください。

4. メールにある URL へアクセス

以降の手順は通知メールを受け取ったユーザーの操作になります。

5. [使用許諾] および [個人情報の取り扱いについて] 画面で、内容を確認し、同意される場合は [同意する] を選ぶ



個人情報の取り扱いについて

日本語 ▼

重要ー ご利用にあたり必ずお読みください

プライバシーステートメント

この『プライバシーステートメント』(以下「本ステートメント」といいます。)は、キヤノン株式会社(以下「キヤノン」といいます。)が、第1条に定めるサービス(以下「本サービス」といいます。)のユーザーから取得する情報の種類、利用・開示の方法などについて規定します。お客様は、本サービスを利用することにより、本ステートメントならびに本サービスの『サービス利用規約』(以下「利用規約」といいます。)に定められた情報の取得、利用および開示に対し明示的に同意したことになります。本ステートメントまた

同意しない 同意する

6. Canon Inkjet Cloud Printing Center ログイン用のパスワードを登録する

マイアカウント登録画面で登録したいパスワードを [パスワード] と [パスワード(確認用)] に入力し、[次へ] を選んでください。

マイアカウントの登録

このサービスにログインするためのパスワードを設定してください。

パスワード:

パスワード(確認用):

*半角英数字記号で8文字以上32文字以下

キャンセル 次へ

重要

- パスワードの入力には、以下の文字制限があります。
 - 半角英数字および「! "\$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~」で8文字以上、32文字以下。(英字は大文字小文字を区別する)

7. [ニックネーム] を入力

任意のユーザー名を入力します。

マイアカウントの登録

ニックネーム：

*半角英数字記号で1字以上20字以下

タイムゾーン：
 (UTC) 協定世界時 ▼

戻る 設定終了

重要

- ユーザー名の入力には、以下の文字制限があります。
 - 半角英数字および「! "\$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~」で1文字以上、20文字以下。(英字は大文字小文字を区別する)

8. [タイムゾーン] を設定し、[設定終了] を選ぶ

リストからお住まいの地域を選んでください。お住まいの地域がない場合は、お住まいの地域に最も近い場所を選んでください。

[サマータイムを適用する]

タイムゾーンで選んだ地域が、サマータイムを実施している場合にのみ表示されます。

サマータイム適用の有無を選んでください。

マイアカウントの登録

ニックネーム：

*半角英数字記号で1字以上20字以下

タイムゾーン：
 (UTC) 協定世界時 ▼

戻る 設定終了

本登録が完了し、登録完了のメールが送信されます。

参考

- MAXIFY クラウドリンクをご利用の場合、選んだユーザーの cookie をプリンター本体に記録し、ユーザー毎のログイン状態を復元します。cookie はプリンター 1 台に対し最大 8 人分まで記録可能です。

プリンター使用者の権限について

クラウドサービスを 1 つのプリンターに対して複数人で使用する場合、使用者は「管理者」と「一般ユーザー」のどちらかに区別されます。

参考

- 最初に登録したユーザーが「管理者」となります。使用者の権限は、[「ユーザー管理」画面](#)から変更することができます。

「管理者」の場合は、プリンター情報の変更やアプリの追加・削除、ユーザーの管理などを行うことができます。

「一般ユーザー」の場合は、プリンター情報の確認やアプリの起動などを行うことができます。

それぞれのユーザーが使用できる機能については、「[Canon Inkjet Cloud Printing Center 画面説明](#)」を参照してください。

MAXIFY クラウドリンクを利用する場合、[本体管理画面](#)で「マルチユーザーモード」にチェックマークを付けるとプリンターが「マルチユーザーモード」になり、ユーザーそれぞれがアプリを起動して印刷などを行うことができます。

参考

- 自身の「暗証コード」が未設定の場合、「マルチユーザーモード」にチェックマークを付けると「暗証コード」の設定画面が表示されます。
「キャンセル」を選んだ場合、「マルチユーザーモード」を設定することはできません。
- 「管理者」の場合、「一般ユーザー」の中に「暗証コード」が未設定のユーザーがいると「暗証コード」の設定を促すメールを送信するかを確認する画面が表示されます。
 - 「OK」を選ぶと「暗証コード」が未設定のユーザーにのみ通知メールが送信され、「マルチユーザーモード」が設定されます。
 - 「キャンセル」を選ぶと通知メールは送信されずに「マルチユーザーモード」が設定されます。

➡ [Canon Inkjet Cloud Printing Center のトラブルシューティング](#)

Canon Inkjet Cloud Printing Center のトラブルシューティング

- ➡ [アプリがインストールできない場合](#)
- ➡ [登録済みのアプリがアプリ一覧で表示されない場合](#)
- ➡ [更新ボタンを押しても情報が更新されない場合](#)
- ➡ [登録用のメールが届かない場合](#)
- ➡ [印刷ができない場合](#)
- ➡ [何もしていないのに勝手に印刷される場合](#)
- ➡ [iOS や Mac で正しいパスワードを入力してもうまくログインできない場合](#)

アプリがインストールできない場合

プリンターを購入した国または地域を確認してください。

購入した国・地域以外にプリンターを持ち出した場合、アプリのインストールはできません。

iP110 series をお使いの場合

プリンターを購入した国または地域を確認してください。

購入した国・地域以外にプリンターを持ち出した場合、アプリのインストールができない場合があります。インストール済みのアプリについては、移動先の地域がアプリの対象地域であれば、引き続きご利用になれます。

登録済みのアプリがアプリ一覧で表示されない場合

Canon Inkjet Cloud Printing Center の表示言語をご確認ください。

表示言語がアプリの非対象言語に切り替わると、アプリ一覧で表示されなくなりますが、登録状態は継続されています。

再びアプリの対象言語に切り替えると、アプリ一覧に表示されるようになり、起動や登録／解除などを行うことができます。

更新ボタンを押しても情報が更新されない場合

本体情報画面は、プリンターとの通信が必要になるため、即座に反映されない可能性があります。しばらく待ってから再度更新してください。

それでも更新されない場合は、プリンターがインターネットに接続されているかどうかを確認してください。

登録用のメールが届かない場合

Canon Inkjet Cloud Printing Center ユーザー登録の際に、誤って別のメールアドレスを入力した可能性があります。

お使いの機種の液晶モニターがカラーの場合

プリンターのホーム画面から  [セットアップ] ( [各種設定]) →  [Web サービス設定] → [Web サービス接続設定] → [IJ Cloud Printing Center 設定] → [本サービスから削除] を行い、サービスの登録を解除してください。

お使いの機種種の液晶モニターがモノクロの場合



プリンターの操作パネルで  セットアップボタンを選び、[Web サービス設定] → [Web サービス接続設定] → [IJCloudPrintingCtr] → [本サービスから削除] を行い、サービスの登録を解除してください。

お使いの機種に液晶モニターがない場合

プリンター情報を表示 → [IJ Cloud Printing Center 設定] → [本サービスから削除] を行い、サービスの登録を解除してください。

プリンター情報の表示方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「プリンター情報を確認する」を参照してください。

解除後、Canon Inkjet Cloud Printing Center のユーザー登録をはじめてからやり直してください。

印刷ができない場合

印刷ができない場合は、以下を確認してください。

お使いの機種種の液晶モニターがカラーの場合

- プリンターがインターネットに接続されていることを確認してください。
- LAN 接続されていて、LAN 環境がインターネットに接続されていることを確認してください。
- プリンターの液晶モニターに何もエラーメッセージが表示されていないことを確認してください。

- しばらく待っても印刷が開始されない場合は、プリンターのホーム画面から  [セットアップ] ( [各種設定]) → [Web サービス問い合わせ] を行ってください。印刷が開始されない場合は、複数回問い合わせを行ってください。

お使いの機種種の液晶モニターがモノクロの場合

- プリンターがインターネットに接続されていることを確認してください。
- LAN 接続されていて、LAN 環境がインターネットに接続されていることを確認してください。
- プリンターの液晶モニターに何もエラーメッセージが表示されていないことを確認してください。
- しばらく待っても印刷が開始されない場合は、プリンターの操作パネルで  セットアップボタンを選び、[Web サービス問い合わせ] を行ってください。印刷が開始されない場合は、複数回問い合わせを行ってください。

お使いの機種に液晶モニターがない場合

- プリンターがインターネットに接続されていることを確認してください。
- LAN 接続されていて、LAN 環境がインターネットに接続されていることを確認してください。

- しばらく待っても印刷が開始されない場合は、一度プリンターの電源を切り、再度電源を入れ直してください。

トラブルが解決しない場合は、パソコンからプリンタードライバーを使用して印刷を行い、プリンターで正常に印刷できるか確認してください。

印刷できない場合は、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種 of のトラブルシューティングを参照してください。

参考

- 無線 LAN 接続の場合、プリンターの電源が入ってから通信できるようになるまで、数分かかる可能性があります。お使いのプリンターが無線ネットワークに接続されていることを確認し、しばらく待ってから印刷を行ってください。
- プリンターの電源が入っていない、ネットワーク接続がされていないなどの理由で、印刷を実行してから 24 時間以内に印刷処理がされない場合は、自動的に印刷ジョブがキャンセルされます。プリンターの電源とネットワーク接続を確認して、再度印刷を行ってください。

何もしていないのに勝手に印刷される場合

Canon Inkjet Cloud Printing Center のサービスを、第三者が不正に使用している可能性があります。

お使いの機種の液晶モニターがカラーの場合

プリンターのホーム画面から  [セットアップ] ( [各種設定]) →  [Web サービス設定] → [Web サービス接続設定] → [IJ Cloud Printing Center 設定] → [本サービスから削除] を行い、サービスの登録を解除してください。

お使いの機種の液晶モニターがモノクロの場合

プリンターの操作パネルで  セットアップボタンを選び、[Web サービス設定] → [Web サービス接続設定] → [IJCloudPrintingCtr] → [本サービスから削除] を行い、サービスの登録を解除してください。

お使いの機種に液晶モニターがない場合

プリンター情報を表示 → [IJ Cloud Printing Center 設定] → [本サービスから削除] を行い、サービスの登録を解除してください。

プリンター情報の表示方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種 of の「プリンター情報を確認する」を参照してください。

解除後、Canon Inkjet Cloud Printing Center のユーザー登録をはじめてからやり直してください。

iOS や Mac で正しいパスワードを入力してもうまくログインできない場合

パスワードに ¥ または ₩ マークが含まれている場合、iOS や Mac では「バックスラッシュ」を入力してください。「バックスラッシュ」の入力方法は OS のヘルプを参照してください。

Canon PRINT Inkjet/SELPHY でスマートフォンやタブレットからかんたん印刷

Canon PRINT Inkjet/SELPHY を使えば、スマートフォンやタブレットに保存した写真を、ワイヤレスでかんたんに印刷できます。

また、スキャンしたデータ（PDF または JPEG）を、パソコンを使わずにスマートフォンやタブレットで直接受け取ることもできます。

Canon PRINT Inkjet/SELPHY は App Store や Google Play からダウンロードできます。



Windows RT での印刷

Windows RT8.1 以降をご使用の場合は、プリンターをネットワークに接続するだけでかんたんに印刷することができます。

ネットワークへの接続方法については、お使いのスマートフォン、タブレットまたはパソコンからプリンターをご使用いただくためのセットアップ URL (<http://www.canon.com/ijsetup>) を参照してください。

接続が完了すると、印刷時の詳細設定ができるソフトウェア「Canon Inkjet Print Utility」が自動でダウンロードされます。

Canon Inkjet Print Utility を使えば、プリンターの状態を確認したり、詳細な印刷設定を行ったりすることができます。（お使いの環境やプリンターとの接続方法によって使用できる機能は異なります。）

プリンター情報を確認する

スマートフォン、タブレットまたはパソコンを使用し、ウェブブラウザでプリンターの情報の確認や本製品の設定変更を行うことができます。

参考

- この機能は、以下の OS とウェブブラウザで利用できます。
 - iOS 機器
OS : iOS 6.1 以上
ブラウザ : iOS 機器標準搭載のブラウザ (Mobile Safari)
 - Android 機器
OS : Android 2.3.3 以上
ブラウザ : Android 機器標準搭載のブラウザ (ブラウザまたは Chrome)
 - Mac OS 機器
OS : Mac OS X v.10.6 以上
ブラウザ : Safari 5.1 以上
 - Windows 機器
OS : Windows XP 以上
ブラウザ : Internet Explorer 8 以上、Google Chrome 38.0.2125.104m 以上、Mozilla Firefox 33.0 以上

1. 本製品の IP アドレスとシリアルナンバーを確認する

以下の手順でネットワーク設定情報を印刷して、本製品の IP アドレスとシリアルナンバーを確認します。

- [本製品の電源が入っていることを確認する](#)
- [A4 サイズの普通紙を 2 枚セットする](#)
- Wi-Fi ボタンを押し続け、電源ランプが点滅したしたら離す
- もう一度 Wi-Fi ボタンを押す
ネットワーク設定情報の印刷が開始されます。
- 印刷されたネットワーク設定情報の「IP Address」欄と「Serial Number」欄を確認する

参考

- ご購入時のパスワードは、本製品のシリアルナンバーに設定されています。既に任意のパスワードに変更している場合は、シリアルナンバーの確認は不要です。

2. ご使用のスマートフォン、タブレットまたはパソコンのウェブブラウザを開き、プリンターの IP アドレスにアクセスする

ウェブブラウザの URL 欄で、下記のように入力します。

http://XXX.XX.X.XXX

「XXX.XX.X.XXX」には、ネットワーク設定情報の「IP Address」欄の IP アドレスを入力してください。
アクセスできたら、ご使用のスマートフォン、タブレットまたはパソコンのウェブブラウザにプリンターの情報が表示されます。

詳細情報の確認や、本製品の設定を変更する場合は、次の手順に進んでください。行わない場合は、ウェブブラウザを終了してください。

3. 詳細情報の確認や、本製品の設定を変更する場合は、[ログオン] ボタンを選ぶ

[管理者パスワードの認証] 画面が表示されます。

重要

- [管理者パスワードの認証] 画面が表示される前に、サーバーの識別情報が検証できないことをお知らせする警告が表示される場合があります。
- 手順 5 で暗号化通信のための証明書に関する設定（SSL/TLS 設定）を指定することでお知らせする警告を表示しないようにすることができます。

4. パスワードを入力する

ご購入時のパスワードは、本製品のシリアルナンバーに設定されています。パスワードを変更していない場合は、ネットワーク設定情報の「Serial Number」欄のシリアルナンバーを入力してください。

パスワードの認証が完了すると、利用できるメニューが表示されます。

5. プリンターの詳細情報の確認や、本製品の設定を変更する

以下のメニューがあります。



[プリンターの状態]

本製品のインク残量、ステータス、エラーの詳細情報などを表示します。

また、インク購入サイトやサポートページに接続し、ウェブサービスを利用することができます。

[ユーティリティ]

クリーニングなど、本製品のユーティリティ機能を設定し実行することができます。

[本体設定]

低騒音化や省電力設定、印刷設定など本製品の設定を変更できます。

【AirPrint 設定】

用紙サイズや用紙種類など AirPrint の設定を行うことができます。

【Web サービス接続設定】

Google Cloud Print または IJ Cloud Printing Center へ本製品の登録と削除を行うことができます。

【セキュリティ】

管理者パスワードと、暗号化通信のための証明書に関する設定（SSL/TLS 設定）を指定することができます。

重要

- ご購入時のパスワードは、本製品のシリアルナンバーに設定されています。
パスワードについては「[管理用のパスワードについて](#)」を参照してください。
- パスワードを修正する場合には、以下の文字制限があります。
 - 4～32 文字で設定してください。
 - 使用可能な文字は半角英数字です。
 - セキュリティの観点から、パスワードは半角英数字を組み合わせで 6 文字以上にすることをお勧めします。

【システム情報と LAN 設定】

システム情報の確認や、LAN 接続に関する設定を変更できます。

【ファームウェアのアップデート】

ファームウェアのアップデートやバージョン情報の確認などを行うことができます。

【言語選択】

表示言語を変更できます。

【マニュアル】

オンラインマニュアル - 取扱説明書 - を表示します。

6. 情報の確認や設定変更が終了したら、[ログオフ] ボタンを選ぶ

7. ウェブブラウザを閉じる

オンラインストレージ連携機能

プリンターは、Evernote などのオンラインストレージサービスに連携することができます。



オンラインメモサービス 「Evernote」 との連携

ご使用のパソコンに Evernote 専用のクライアントアプリケーションソフトがインストールされている場合は、スキャンした画像をアプリケーションソフトに取り込み、Evernote のサーバーにアップロードすることができます。

アップロードした画像は、ほかのスマートフォン、タブレットまたはパソコンなどから閲覧できます。

Evernote をご利用になるには、アカウントの作成が必要となります。アカウント作成については、Evernote の「アカウント作成」を参照してください。

設定方法

Windows をご使用の場合

IJ Scan Utility（アイジェイ・スキャン・ユーティリティ）のスキャン設定ダイアログボックスで、設定したい項目を選び、[アプリケーション設定] の [アプリケーションに転送する] で Evernote を選んでください。

詳しくは、オンラインマニュアルのホームからご使用の機種種の「スキャン設定ダイアログボックス」を参照してください。

Mac OS をご使用の場合

IJ Scan Utility（アイジェイ・スキャン・ユーティリティ）のスキャン設定ダイアログで、設定したい項目を選び、[アプリケーション設定] の [アプリケーションに転送する] で Evernote を選んでください。

詳しくは、オンラインマニュアルのホームからご使用の機種種の「スキャン設定ダイアログ」を参照してください。

重要

- Evernote のサービス内容は、予告なく変更／停止される可能性があります。

セット方法

▶ 用紙をセットする

- 普通紙／写真用紙／はがきをセットする
- 封筒をセットする

▶ 原稿をセットする

- 原稿台ガラスに原稿をセットする
- セットできる原稿について
- 原稿台カバーの取り外しかた／取り付けかた

▶ FINE カートリッジを交換する

- FINE カートリッジを交換する
- インクの状態を確認する

用紙をセットする

- ▶ 普通紙／写真用紙／はがきをセットする
- ▶ 封筒をセットする

普通紙／写真用紙／はがきをセットする

普通紙や写真用紙、はがきをセットします。

はがきに印刷するときは、「[はがきに印刷するときの注意](#)」の内容を確認してからはがきをセットしてください。

重要

- 普通紙を L 判、2L 判、KG サイズ、はがきの大きさに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。

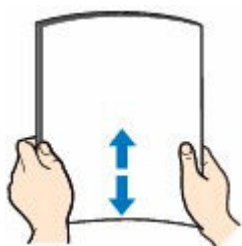
参考

- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。キヤノン純正紙については、「[使用できる用紙について](#)」を参照してください。
 - 複写機などで使用される一般的なコピー用紙やキヤノン普通紙・ホワイト SW-101、キヤノン普通紙・ビジネス FB-101 が使用できます。用紙の両面に印刷する場合は、キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口 SW-201 がお勧めです。
- 本製品で使用する用紙サイズ、重さについては、「[使用できる用紙について](#)」を参照してください。

用紙セットの操作

1. 用紙の準備をする

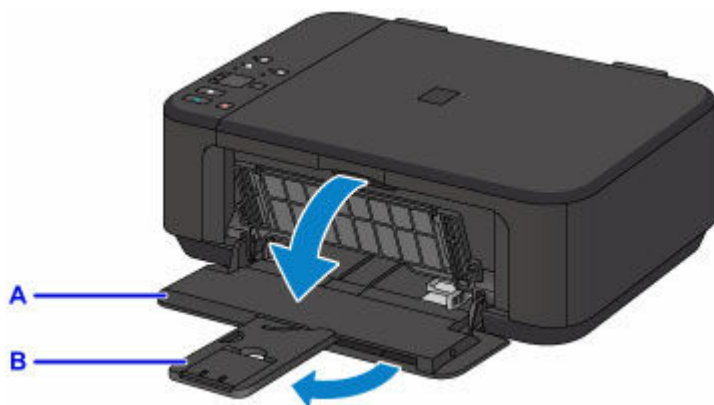
セットする用紙をそろえます。用紙に反りがあるときは、反りを直してください。



参考

- 用紙の端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙の端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因となることがあります。
- 用紙に反りがあるときは、逆向きに曲げて反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。反りの直し方については「[印刷面が汚れる／こすれる](#)」の「反りのある用紙は、反りを直してから使用してください」を参照してください。
- キヤノン写真用紙・絹目調 SG-201 をご使用の場合は、用紙が反っていてもそのまま 1 枚ずつセットして使用してください。丸めると用紙の表面にひび割れが発生し、印刷品質が低下する場合があります。

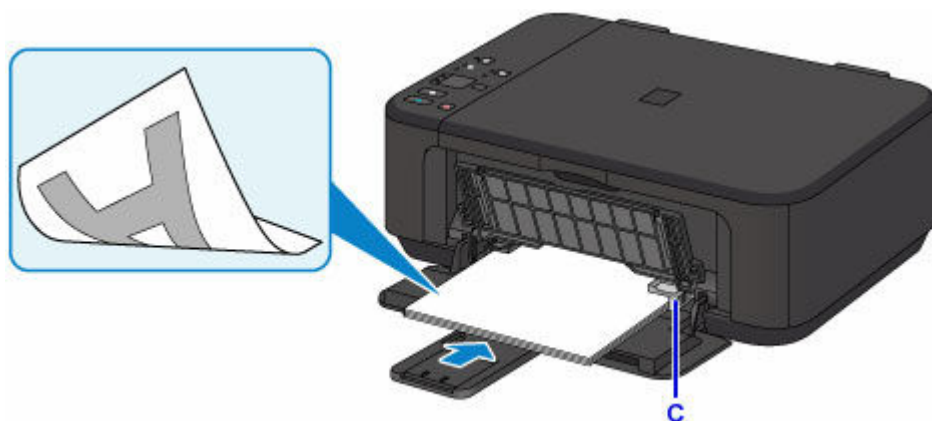
2. フロントカバー（A）をゆっくり手前に開いてから、用紙サポート（B）を引き出す



3. 右の用紙ガイド（C）を持って、用紙ガイドを広げる

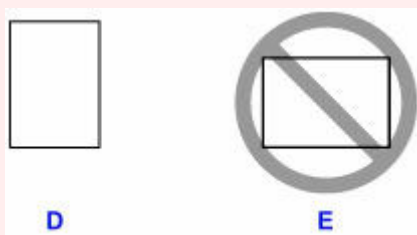
4. **用紙の印刷したい面を下にして**、前トレイの中央にセットする

用紙の先端は奥まで突き当ててください。



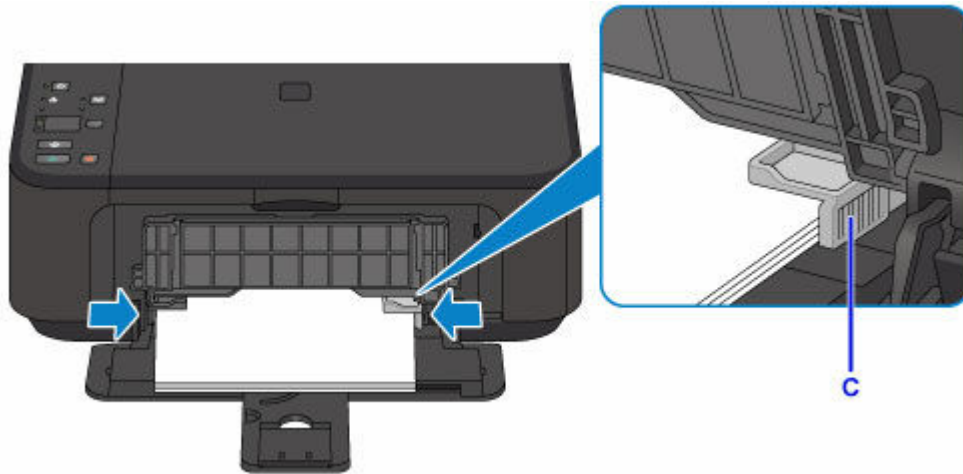
重要

- 用紙（往復はがきを除く）は縦方向（D）にセットしてください。横方向（E）にセットすると紙づまりの原因となります。



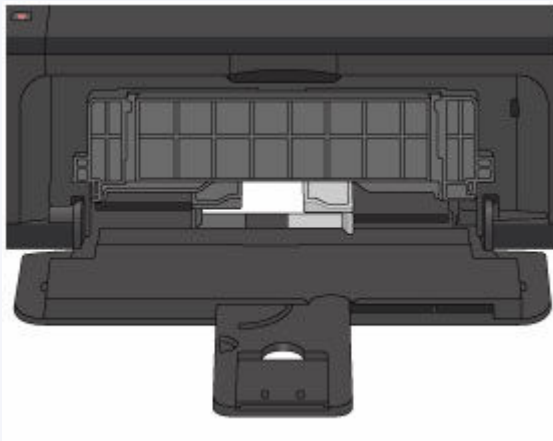
5. 右の用紙ガイド（C）を動かし、用紙の両端に合わせる

用紙ガイドを用紙に強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。

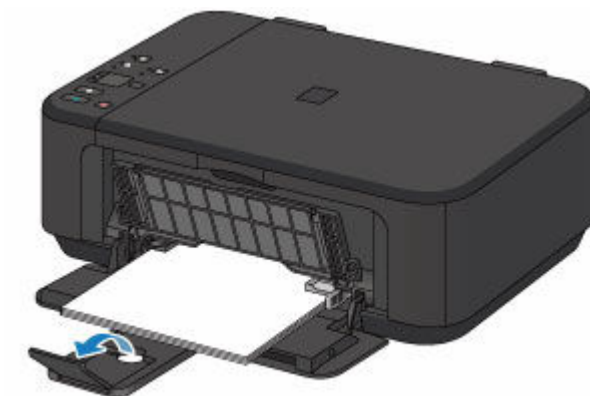


参考

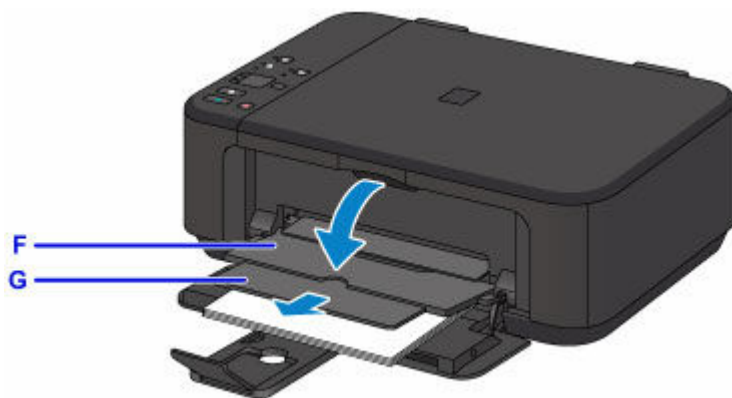
- 用紙の上面が用紙ガイドに当たらないように、用紙をセットしてください。
- L判などの小さいサイズ of 用紙は、用紙の先端が奥まで突き当たるようにセットしてください。



6. 補助トレイを開く



7. 排紙トレイ (F) をゆっくり手前に開き、排紙サポート (G) を引き出す



重要

- 印刷時は、かならず排紙トレイを開いてください。排紙トレイを開いておかないと、印刷が開始されません。

参考

- 印刷するときは、操作パネルまたはプリンタードライバーの印刷設定で、セットした用紙に合わせて用紙サイズと用紙の種類を設定します。

はがきに印刷するときの注意

重要

- はがきは、操作パネルを使った印刷には対応していません。
- PictBridge (Wireless LAN) 対応機器からの印刷には対応していないはがきもあります。

⇒ [使用できる用紙について](#)

- あて名面は、PictBridge (Wireless LAN) 対応機器からの印刷には対応していません。
- 写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。
- 往復はがきは以下の印刷には対応していません。
 - 操作パネルを使った印刷
 - PictBridge (Wireless LAN) 対応機器からの印刷
 - フチなし全面印刷
- 往復はがきは折り曲げないでください。折り目が付くと、正しく給紙できず印字ずれや紙づまりの原因になります。

参考

- はがきや往復はがきは、自動両面印刷には対応していません。
- はがきの両面に1面ずつ印刷するときは、きれいに印刷するために、通信面を印刷したあとにあて名面を印刷することをお勧めします。
- はがきを持つときは、できるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面に触れないでください。
- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。キヤノン純正紙については、「[使用できる用紙について](#)」を参照してください。

キヤノン製プリンタードライバーから印刷する場合

用紙の種類ではがきに対応した種類を設定します。

印刷を実行すると、設定に従った印刷ガイドが表示されますので、メッセージに従って、**はがきの印刷したい面を下に**してセットしてください。

⇒ [用紙セットの操作](#)

➡ [はがきに印刷する](#) (Windows)

➡ [はがきに印刷する](#) (Mac OS)

キヤノン製プリンタードライバー以外から印刷する場合

はがきの通信面に印刷する場合は、はがきのあて名面を上にして郵便番号欄を奥に向けてセットします。

➡ [用紙セットの操作](#)



封筒をセットする

封筒をセットします。

プリンタードライバーで適切に設定することにより、あて名は封筒の向きに合わせて、自動的に回転して印刷されます。

重要

- 操作パネルを使った印刷、および PictBridge（Wireless LAN）対応機器からの印刷には対応していません。
- 次のような封筒は、紙づまりや故障の原因になるため使用できません。
 - 角形封筒
 - 型押しやコーティングなどの加工された封筒
 - ふたが二重になっている封筒
 - ふたがシールになっている長形封筒
 - ふた部分の乾燥糊が湿って、粘着性が出てしまった封筒

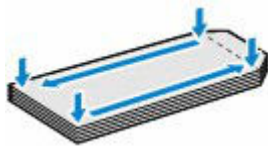
参考

- ご使用の OS により、使用できる用紙サイズや用紙の種類は異なります。

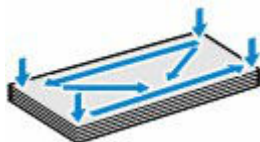
1. 封筒の準備をする

- 封筒の四隅と縁を押して平らにします。

長形封筒



洋形封筒



- 封筒が反っている場合は、両手で対角線上の端を持って、逆方向に軽く曲げます。

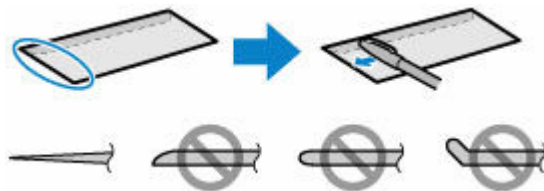


- 封筒のふた部分が折れ曲がっている場合は平らにします。
- 挿入方向の先端部をペンで押して平らに伸ばします。

長形封筒



洋形封筒

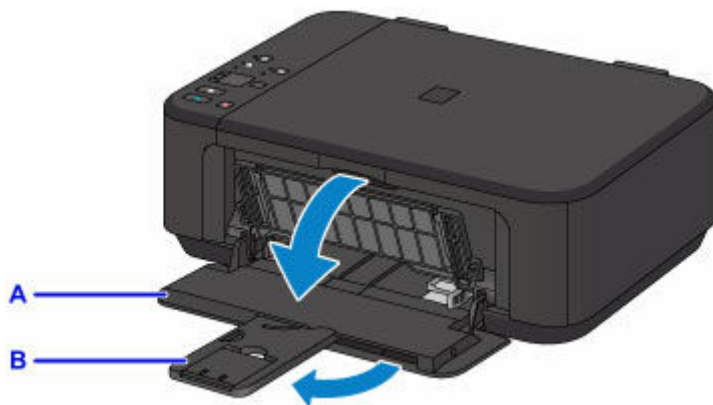


上の図は、封筒の先端部の断面図です。

重要

- 平らになっていなかったり、端がそろっていなかったりすると、紙づまりの原因になることがあります。反りやふくらみが 3 mm (0.1 inch) を超えないようにしてください。

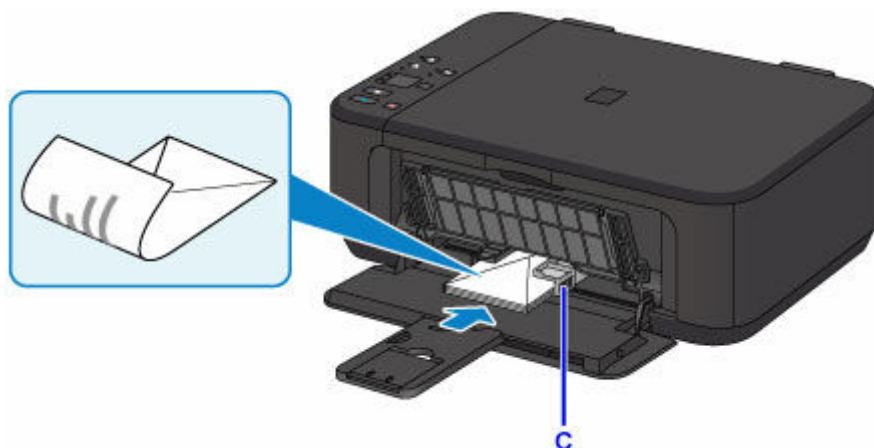
2. フロントカバー (A) をゆっくり手前に開いてから、用紙サポート (B) を引き出す



3. 右の用紙ガイド (C) を持って、用紙ガイドを広げる

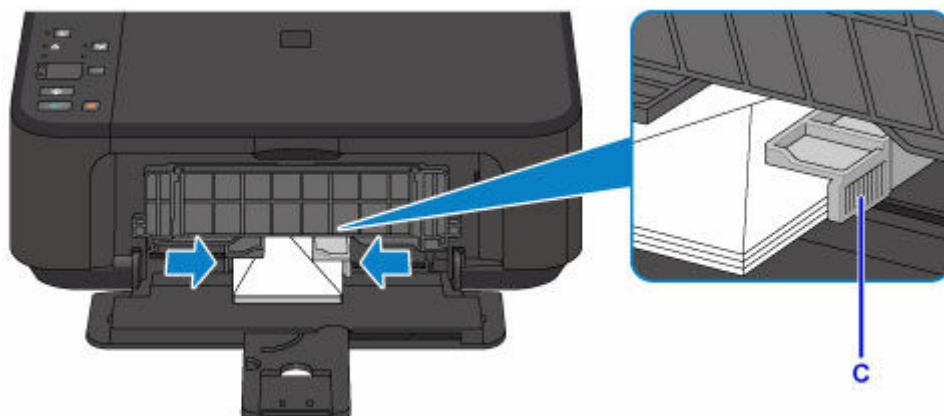
4. 封筒の印刷したい面を下にして、前トレイの中央にセットする

封筒の先端は奥まで突き当ててください。一度に 5 枚までセットできます。



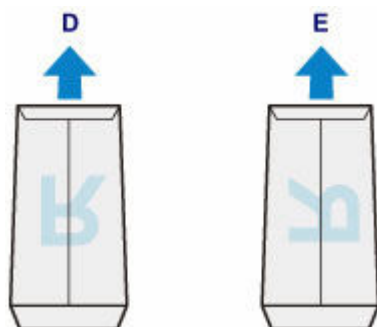
5. 右の用紙ガイド (C) を動かし、封筒の両端に合わせる

用紙ガイドを封筒に強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。



● 長形封筒

ふたを折りたたまずに手前に向け、縦置きでセットします。



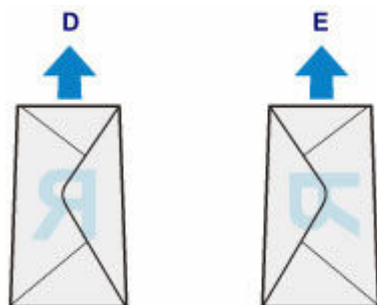
D：縦書き

E：横書き

● 洋形封筒

縦書きの場合は、あて名面を下にし、ふたを折りたたんで、縦置きでセットします（郵便番号欄がある場合は郵便番号欄を奥に向けてください）。

横書きの場合は、あて名面を下にし、折りたたんだふたを左側にして、縦置きでセットします。



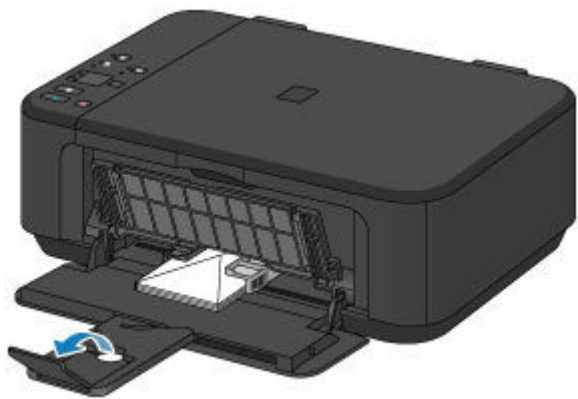
D：縦書き

E：横書き

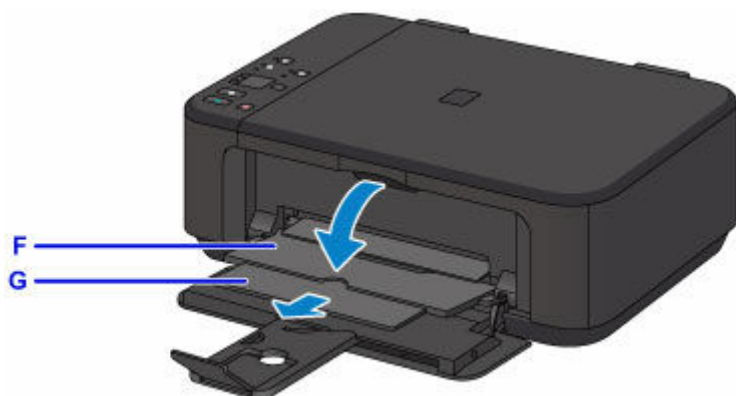
▶▶▶ 参考

- 封筒の上面が用紙ガイドに当たらないように、封筒をセットしてください。

6. 補助トレイを開く



7. 排紙トレイ (F) をゆっくり手前に開き、排紙サポート (G) を引き出す



重要

- 印刷時は、かならず排紙トレイを開いてください。排紙トレイを開いておかないと、印刷が開始されません。

参考

- 印刷するときは、プリンタードライバーの印刷設定で、セットした封筒に合わせて封筒の種類や印刷の向きなどを設定します。

原稿をセットする

- ▶ 原稿台ガラスに原稿をセットする
- ▶ セットできる原稿について
- ▶ 原稿台カバーの取り外しかた／取り付けかた

原稿台ガラスに原稿をセットする

1. 原稿台カバーを開ける
2. 原稿の読み取る面を下にして、原稿台ガラスにセットする

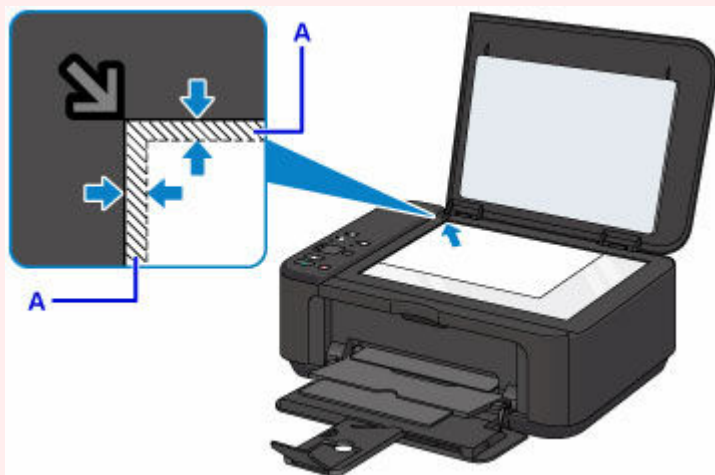
➡ [セットできる原稿について](#)

原稿のかどを、原稿位置合わせマーク（）に合わせて置いてください。

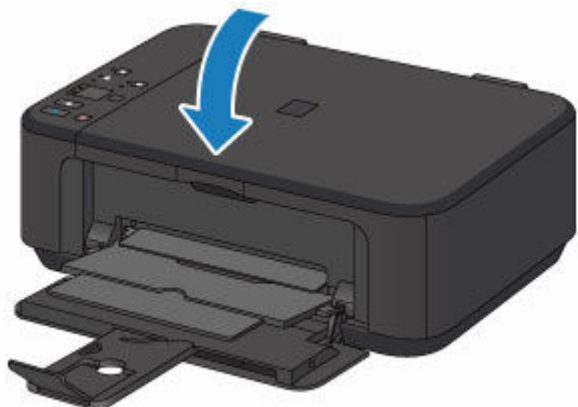


重要

- 原稿をセットするときには、以下のことに注意してください。スキャナーが正しく動作しなくなったり、ガラスが破損したりすることがあります。
 - 原稿台ガラスに 2.0 kg 以上の物をのせない
 - 原稿を強く押さえる（2.0 kg を超える力で）など、原稿台ガラスに重みをかけない
- 原稿台ガラスの端から 1 mm (0.04 inch) の部分（A）は読み取れません。



3. 原稿台カバーをゆっくり閉じる



重要

- 原稿台ガラスに原稿をセットしたあと、原稿台カバーをきちんと閉じてコピーやスキャンをしてください。

セットできる原稿について

項目	内容
原稿の種類	文書、雑誌、新聞 プリント写真、はがき、名刺、ディスク（BD/DVD/CD など）
サイズ（幅 x 長さ）	最大 216 mm x 297 mm（8.5 inches x 11.7 inches）

▶▶▶ 参考

- 分厚い本などをセットする場合は、原稿台カバーを取り外してセットすることができます。
➡ [原稿台カバーの取り外しかた／取り付けかた](#)

原稿台カバーの取り外しかた／取り付けかた

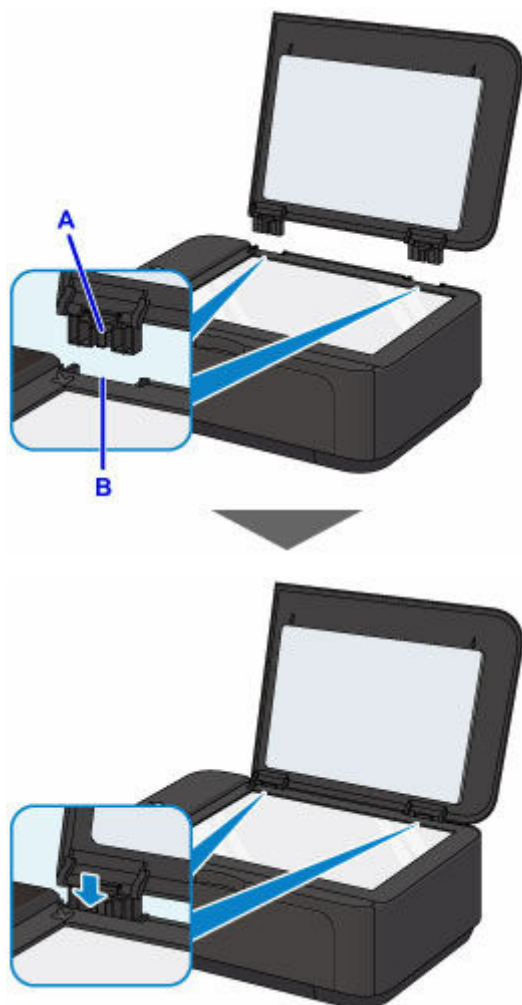
原稿台カバーを取り外す

原稿台カバーを垂直に持ち上げ、そのまま引き上げて取り外してください。



原稿台カバーを取り付ける

下の図のように、原稿台カバーの取り付け部分（A）を本体の差し込み口（B）にはめ込み、垂直に押し込んでください。



FINE カートリッジを交換する

- ▶ FINE カートリッジを交換する
- ▶ インクの状態を確認する

FINE カートリッジを交換する

インクの残量に関する警告やエラーが発生すると、インクランプとエラーランプが点滅してお知らせします。エラーランプの点滅回数を確認してから、エラーの対処をしてください。

➡ [トラブルが発生したときは](#)

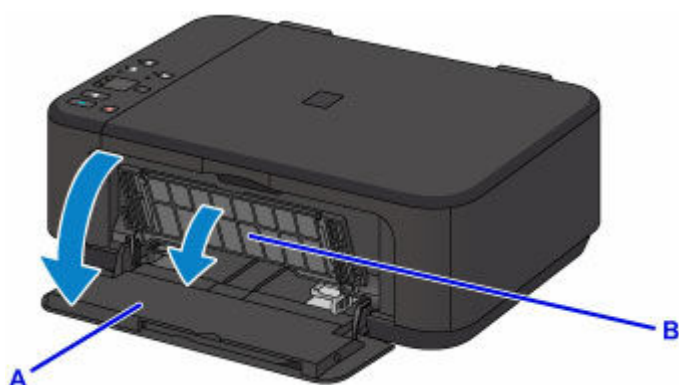
参考

- 本製品で利用できる FINE カートリッジの型番や、FINE カートリッジの取り扱い上のご注意については、「[FINE カートリッジの型番とご注意](#)」を参照してください。

交換の操作

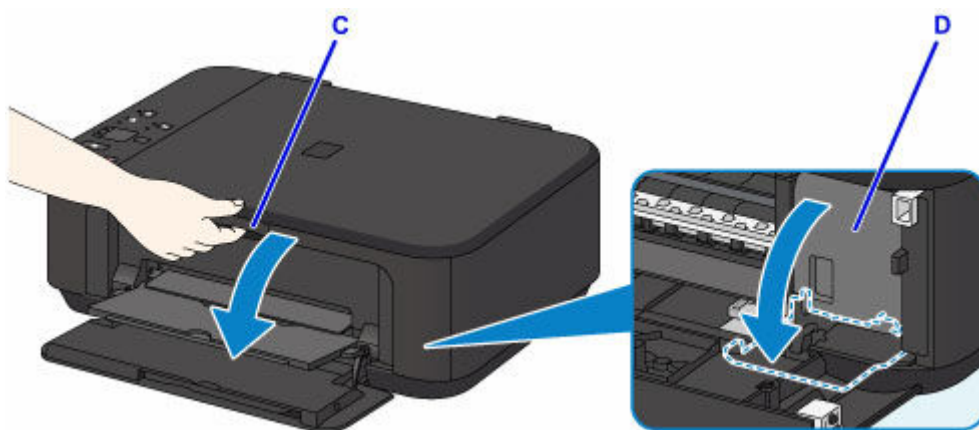
FINE カートリッジの交換が必要な場合は、次の手順で行います。

1. 電源が入っていることを確認し、フロントカバー（A）と排紙トレイ（B）を手前に開く



2. 排紙カバー（C）を開く

FINE カートリッジホルダーが交換位置に移動すると、ヘッドカバー（D）が自動的に開きます。



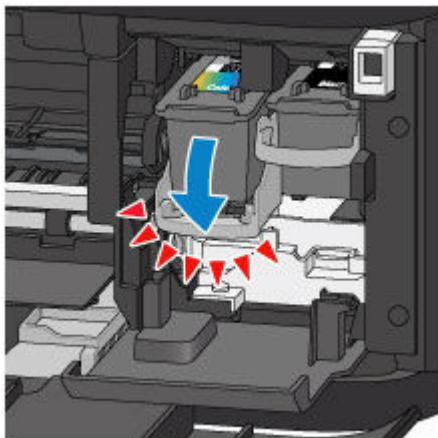
注意

- FINE カートリッジホルダーが動いている間は FINE カートリッジホルダーを手で止めたり、無理に動かしたりしないでください。FINE カートリッジホルダーの動きが止まるまでは、手を触れないでください。

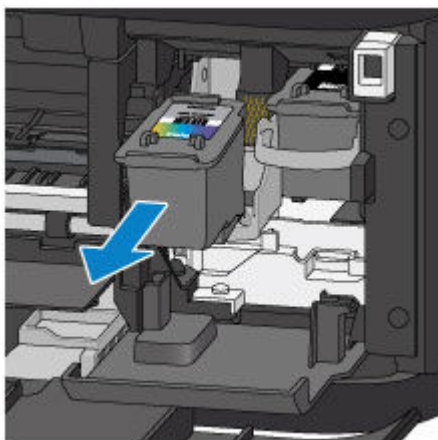
重要

- ヘッドカバーは排紙カバーを開くと自動的に開きます。交換中にヘッドカバーを閉じてしまった場合は、いったん排紙カバーを閉じ、再度開けてください。手で無理にヘッドカバーを開けようとすると、故障の原因になります。
- 本体内部の金属部分やその他の部分に触れないでください。
- 排紙カバーを 10 分以上開けたままにすると、FINE カートリッジホルダーが右端へ移動し、エラーランプが点灯します。その場合は、いったん排紙カバーを閉じ、再度開けてください。

3. インクのなくなった FINE カートリッジのインクカートリッジ固定レバーを「カチッ」という音がするまで下げる



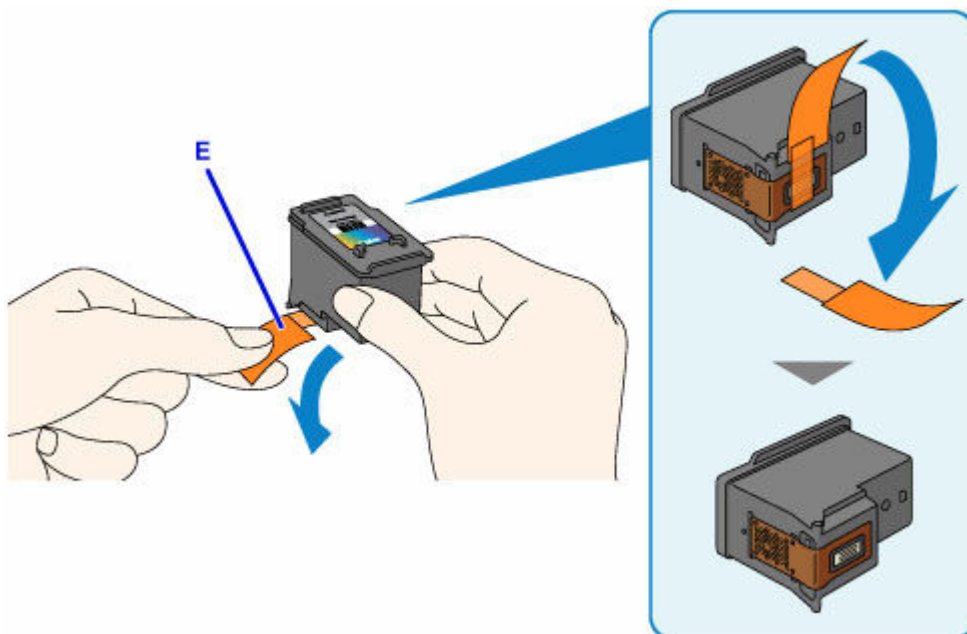
4. FINE カートリッジを取り出す



重要

- 衣服や周囲を汚さないよう、FINE カートリッジの取り扱いには注意してください。
 - 空になった FINE カートリッジは地域の条例に従って処分してください。
- また、キヤノンでは使用済み FINE カートリッジの回収を推進しています。

5. 新しい FINE カートリッジをパッケージから取り出し、保護テープ（E）をゆっくり取り外す

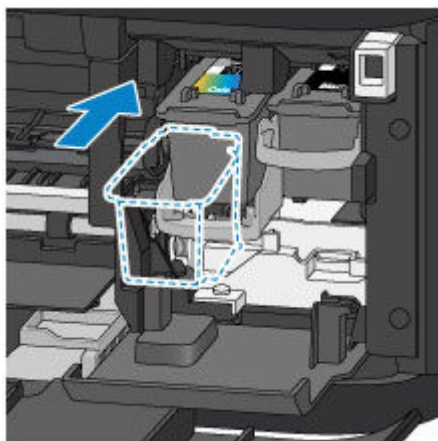


重要

- FINE カートリッジを振るとインクが飛び散り、手やまわりのものを汚すおそれがあります。FINE カートリッジの取り扱いには注意してください。
- 取り外した保護テープに付いているインクで、手やまわりのものを汚すおそれがあります。ご注意ください。
- 取り外した保護テープは、再装着しないでください。地域の条例に従って処分してください。
- FINE カートリッジの金色の端子やプリントヘッドノズルには、手を触れないでください。正しく印刷できなくなる場合があります。

6. 新しい FINE カートリッジをホルダーに突き当たるまでまっすぐ差し込む

カラー FINE カートリッジは左側のホルダーに、ブラック FINE カートリッジは右側のホルダーに取り付けます。

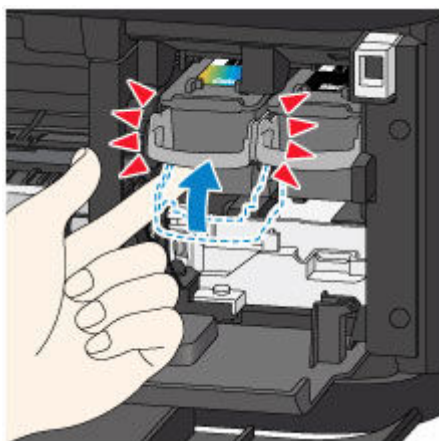


重要

- FINE カートリッジはホルダーの奥の端子にぶつけないように、ゆっくり差し込んでください。



7. インクカートリッジ固定レバーを「カチッ」という音がするまで上げる
FINE カートリッジが固定されます。



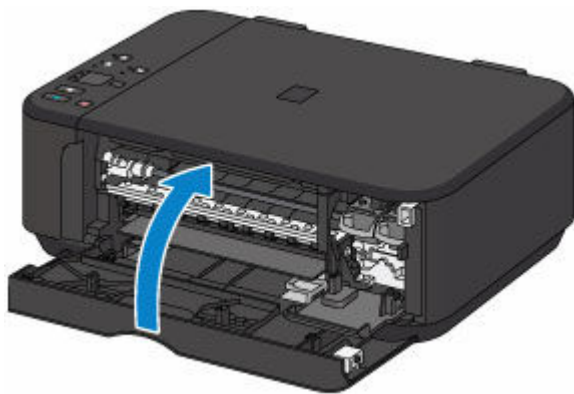
▶▶▶ 重要

- FINE カートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。



- カラー FINE カートリッジとブラック FINE カートリッジの両方がセットされていないと印刷できません。かならず、両方のカートリッジを取り付けてください。

8. 排紙カバーを閉じる



参考

- 排紙カバーを閉じたあとにエラーランプが点灯または点滅した場合は、エラーの対処をしてください。
- ➡ [トラブルが発生したときは](#)
- 次回印刷を開始すると、自動的にプリントヘッドのクリーニングが開始されます。終了するまでほかの操作を行わないでください。
- 罫線がずれて印刷されるなど、プリントヘッドの位置ずれが確認されたときには、[プリントヘッドの位置を調整](#)します。
- 操作中に動作音がする場合がありますが、正常な動作です。

FINE カートリッジの型番とご注意

本製品で利用できる FINE カートリッジの型番は、以下のとおりです。



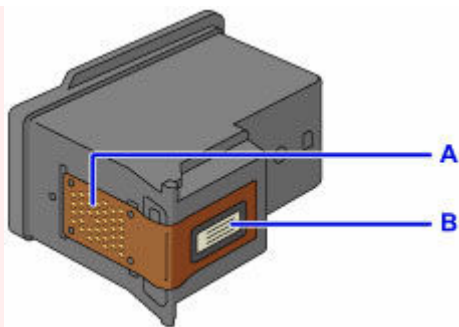
BC-340XL BC-341XL



BC-340 BC-341

重要

- FINE カートリッジに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本製品の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
- 非純正 FINE カートリッジまたは非純正インクのご使用に起因する不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。
- 非純正 FINE カートリッジまたは非純正インクを使用した製品の修理においては、保守契約の有無や有償修理・無償修理を問わず、追加の特殊点検等のための、特別料金をいただく場合があります。
- FINE カートリッジの金色の端子（A）やプリントヘッドノズル（B）には、手を触れないでください。正しく印刷できなくなる場合があります。



- FINE カートリッジの交換は速やかに行い、FINE カートリッジを取り外した状態で放置しないでください。
- 交換用 FINE カートリッジは新品のものを装着してください。インクを消耗しているものを装着すると、ノズルがつまる原因になります。また、インク交換時期を正しくお知らせできません。
- 最適な印刷品質を保つため、FINE カートリッジは梱包箱に記載されている「取付期限」までに本製品に取り付けてください。また、開封後 6 ヶ月以内に使い切るようにしてください（本製品に取り付けた年月日を、控えておくことをお勧めします）。

参考

- 片方の FINE カートリッジがインク切れになったときなど、一時的に残っているほうの FINE カートリッジだけで印刷を行うことができます。ただし、両方のカートリッジを使って印刷するときに比べて印刷品質が下がる場合がありますので、優れた印刷結果を得るために新しい FINE カートリッジへの交換をお勧めします。

なお、カラーインクまたはブラックインクだけで印刷する場合も、インクの切れたカートリッジを取り付けた状態で印刷してください。カートリッジを取り外した状態では、エラーになり印刷できません。FINE カートリッジの設定について、詳しくは、以下を参照してください。

- ➡ [使用するインクカートリッジを設定する](#) (Windows)
- ➡ [使用するインクカートリッジを設定する](#) (Mac OS)

- 黒のみの文章を印刷したり、モノクロ印刷したりするときにも、カラーのインクが使われることがあります。

また、本製品の性能を維持するために行うクリーニングや強力クリーニングでも、両方のインクが使われます。

インクがなくなった場合は、速やかに新しい FINE カートリッジに交換してください。

- ➡ [インクについて知っておきたいこと](#)

インクの状態を確認する

- ▶ **インクの状態を操作パネルのインクランプで確認する**

パソコンでインクの状態を確認することができます。

- ▶ **パソコンでインクの状態を確認する（Windows）**
- ▶ **パソコンでインクの状態を確認する（Mac OS）**

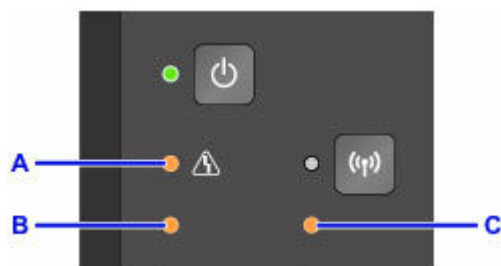
インクの状態を操作パネルのインクランプで確認する

▶▶▶ 参考

- 本製品には、インク残量を検知する機能（インク残量検知機能）が搭載されています。新しい FINE カートリッジを取り付けた時点でインクを満杯とみなして残量検知をはじめます。新品でない FINE カートリッジを取り付けた場合はインク残量を正しく表示できない場合がありますので、目安としてご活用ください。
- インクの残量に関する警告やエラーが発生すると、インクランプとエラーランプが点滅してお知らせします。エラーランプの点滅回数を確認してから、エラーの対処をしてください。

➡ [トラブルが発生したときは](#)

コピー待機状態のときに、各インクランプでインクの状態を確認します。



A : エラーランプ

B : カラーインクランプ

C : ブラックインクランプ

カラーインクランプまたはブラックインクランプ点灯 :

インクが少なくなっています。新しいインクカートリッジをご用意ください。

この状態で印刷を続けると、十分な印刷品位が得られなくなるおそれがあります。

エラーランプ点滅、カラーインクランプまたはブラックインクランプ点滅 :

エラーが発生しています。

➡ [トラブルが発生したときは](#)

※エラーによっては、エラーランプが点滅しないものがあります。

▶▶▶ 参考

- パソコンでインクの状態を確認することができます。
 - ➡ [パソコンでインクの状態を確認する](#) (Windows)
 - ➡ [パソコンでインクの状態を確認する](#) (Mac OS)

お手入れ（メンテナンス）

- ▶ 印刷にかすれやむらがあるときには
- ▶ パソコンからメンテナンス機能を実行する（Windows）
- ▶ パソコンからメンテナンス機能を実行する（Mac OS）
- ▶ 本製品を清掃する

印刷にかすれやむらがあるときには

- ▶ お手入れの手順について
- ▶ ノズルチェックパターンを印刷する
- ▶ ノズルチェックパターンを確認する
- ▶ プリントヘッドをクリーニングする
- ▶ プリントヘッドを強力クリーニングする
- ▶ プリントヘッド位置を調整する

お手入れの手順について

印刷結果がかすれるときや、色が正しく印刷されないとき、罫線がずれるなど印刷結果が思わしくないときは、以下の手順に沿ってお手入れを行ってください。

重要

- FINE カートリッジを洗淨したり、ふいたりしないでください。FINE カートリッジの故障の原因になります。

参考

- FINE カートリッジにインクが残っているか確認してください。
 - ➡ [インクの状態を操作パネルのインクランプで確認する](#)
 - FINE カートリッジが正しく取り付けられているか確認してください。
 - ➡ [交換の操作](#)
- また、FINE カートリッジの底部を保護している保護テープがはがされているか確認してください。
- エラーランプが点灯または点滅している場合は、「[トラブルが発生したときは](#)」を参照してください。
 - プリンタードライバーの印刷品質を上げることで、印刷結果が改善される場合があります。
 - ➡ [印刷品質の変更や画像データの補正](#) (Windows)
 - ➡ [印刷品質の変更や画像データの補正](#) (Mac OS)

印刷がかすれている、むらがある場合：

Ⅱ ステップ 1 ノズルチェックパターンを印刷する

本製品から行う

- ➡ [ノズルチェックパターンを印刷する](#)

パソコンから行う

- ➡ [ノズルチェックパターンを印刷する](#) (Windows)
- ➡ [ノズルチェックパターンを印刷する](#) (Mac OS)

Ⅱ ステップ 2 ノズルチェックパターンを確認する

パターンに欠けや白い横すじがある場合



Ⅱ ステップ 3 プリントヘッドをクリーニングする

本製品から行う

- ➡ [プリントヘッドをクリーニングする](#)

パソコンから行う

- ➡ [プリントヘッドをクリーニングする](#) (Windows)
- ➡ [プリントヘッドをクリーニングする](#) (Mac OS)

クリーニング後、ノズルチェックパターンを印刷して確認：➡ [ステップ 1](#)

ステップ 1 からステップ 3 の手順を 2 回繰り返しても改善されない場合



|| ステップ 4 | プリントヘッドを強カクリーニングする

本製品から行う

- ➡ [プリントヘッドを強カクリーニングする](#)

パソコンから行う

- ➡ [プリントヘッドをクリーニングする](#) (Windows)
- ➡ [プリントヘッドをクリーニングする](#) (Mac OS)

改善されない場合は、電源を切って 24 時間以上経過したあとに、もう一度強カクリーニングを行ってください。

それでも改善されない場合



|| ステップ 5 | FINE カートリッジを交換する

- ➡ [FINE カートリッジを交換する](#)

▶▶▶ 参考

- FINE カートリッジを交換しても改善されない場合は、キヤノンサポートホームページまたはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

罫線がずれるなど印刷に均一感がない場合：

|| ステップ | プリントヘッド位置を調整する

本製品から行う

- ➡ [プリントヘッド位置を調整する](#)

パソコンから行う

- ➡ [自動でプリントヘッドの位置を調整する](#) (Windows)
- ➡ [自動でプリントヘッドの位置を調整する](#) (Mac OS)

ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドのノズルからインクが正しく出ているかを確認するために、ノズルチェックパターンを印刷します。

参考

- インク残量が少ないとノズルチェックパターンが正しく印刷されません。インク残量が少ない場合は [FINE カートリッジを交換](#)してください。

用意するもの : A4 サイズの普通紙 1 枚

1. 電源が入っていることを確認する
2. 前トレイに A4 サイズの普通紙を 1 枚セットする
3. 補助トレイを開き、排紙トレイを開いて排紙サポートを引き出す
4. ストップボタンを押し続け、エラーランプが 1 回点滅したときに離す
ノズルチェックパターンが印刷されます。印刷が終了するまではほかの操作を行わないでください。
5. [ノズルチェックパターンを確認](#)する

ノズルチェックパターンを確認する

ノズルチェックパターンを確認し、必要な場合はクリーニングを行います。

1. パターン A に欠けがないか、パターン B に白い横すじが入っていないかを確認する



C : これまで印刷を行った用紙の総枚数

パターン A に欠けがある場合

[プリントヘッドのクリーニング](#)を行ってください。



D : 欠けがない

E : 欠けがある

パターン B に白い横すじがある場合

[プリントヘッドのクリーニング](#)を行ってください。



F : 白い横すじがない

G : 白い横すじがある

参考

- ノズルチェックパターンの印刷結果には、これまで印刷を行った用紙の総枚数が印刷されます（50 枚単位の概算枚数）。

プリントヘッドをクリーニングする

ノズルチェックパターンに欠けや白い横すじがある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。ノズルのつまりを解消し、プリントヘッドを良好な状態にします。インクを消耗しますので、クリーニングは必要な場合のみ行ってください。

1. 電源が入っていることを確認する

2. ストップボタンを押し続け、エラーランプが 2 回点滅したときに離す

プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

電源ランプが点滅したあと点灯すると、クリーニングが終了します。

クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約 1～2 分かかります。

3. プrintヘッドの状態を確認する

[ノズルチェックパターンを印刷](#)して確認してください。

参考

- クリーニングを 2 回繰り返しても改善されないときは、[強力クリーニング](#)を行ってください。

プリントヘッドを強カクリーニングする

プリントヘッドのクリーニングを行っても効果がない場合は、強カクリーニングを行ってください。強カクリーニングは、通常のクリーニングよりインクを消耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

1. 電源が入っていることを確認する
2. ストップボタンを押し続け、エラーランプが 3 回点滅したときに離す

プリントヘッドの強カクリーニングが開始されます。

電源ランプが点滅したあと点灯すると、強カクリーニングが終了します。

強カクリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約 1～2 分かかります。

3. プrintヘッドの状態を確認する

[ノズルチェックパターンを印刷](#)して確認してください。

改善されない場合は、電源を切って 24 時間以上経過したあとに、もう一度強カクリーニングを行います。

それでも改善されない場合は、[FINE カートリッジを交換](#)してください。

FINE カートリッジを交換しても改善されない場合は、キヤノンサポートホームページまたはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

プリントヘッド位置を調整する

罫線がずれるなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッド位置を調整します。

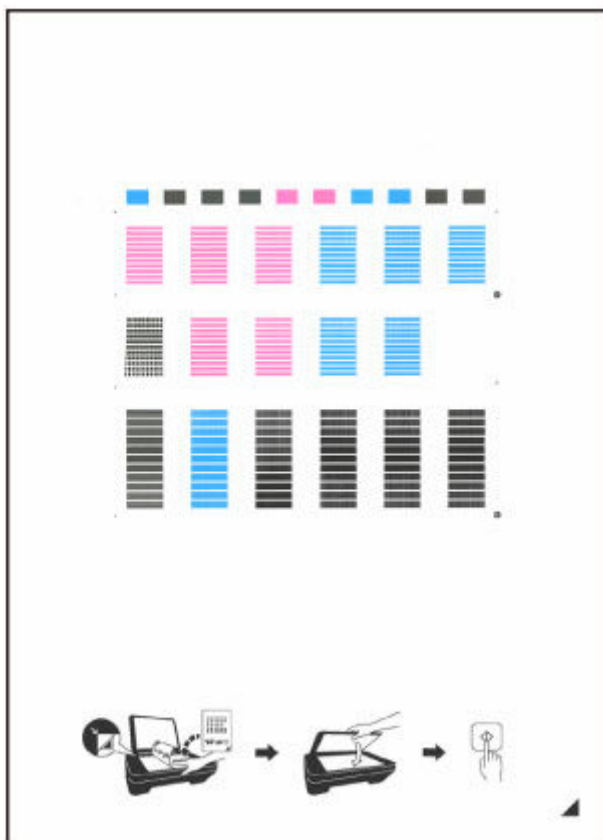
参考

- インク残量が少ないとプリントヘッド位置調整シートが正しく印刷されません。
インク残量が少ない場合は [FINE カートリッジを交換](#)してください。

用意するもの：A4 サイズの普通紙（再生紙を含む）*1 枚

* 表裏ともに白いきれいな用紙を用意してください。

- 電源が入っていることを確認する
- 前トレイに A4 サイズの普通紙を 1 枚セットする
- 補助トレイを開き、排紙トレイを開いて排紙サポートを引き出す
- ストップボタンを押し続け、エラーランプが 4 回点滅したときに離す
プリントヘッド位置調整シートが印刷されます。

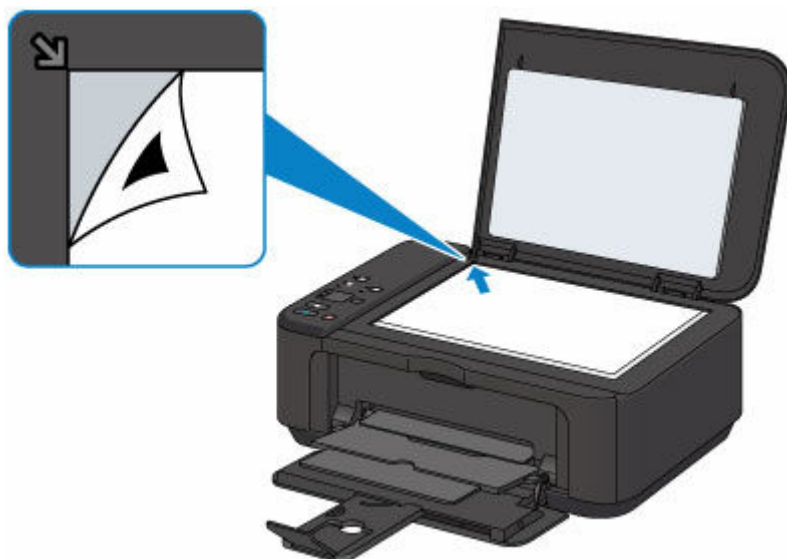


重要

- プリントヘッド位置調整シートの印刷部分には触らないでください。シートに汚れやシワなどがあると正しく読み取れない場合があります。
- プリントヘッド位置調整シートが正しく印刷されなかった場合は、ストップボタンを押して、最初からやり直してください。

5. 印刷されたプリントヘッド位置調整シートを原稿台ガラスにセットする

調整パターンが印刷された面を下にして、シートの右下隅の ▲マークを原稿位置合わせマーク (📐) に合わせます。



6. 原稿台カバーをゆっくり閉じて、モノクロボタンまたはカラーボタンを押す

プリントヘッド位置調整シートのスキャンが開始され、自動的にプリントヘッド位置が調整されます。

電源ランプが点滅したあと点灯すると、プリントヘッド位置の調整が終了します。

原稿台ガラスからプリントヘッド位置調整シートを取り出してください。

重要

- プリントヘッド位置の調整中は、原稿台カバーを開けたり、セットしたプリントヘッド位置調整シートを動かしたりしないでください。
- プリントヘッド位置の調整が正しく行えなかったときには、エラーランプが点滅します。モノクロボタンまたはカラーボタンを押してエラーを解除し、必要な対処をしてください。

➡ [トラブルが発生したときは](#)

参考

- 記載の手順でプリントヘッド位置調整を行っても印刷結果が思わしくない場合は、パソコンから手動でプリントヘッドの位置調整を行ってください。
 - ➡ [プリントヘッドの位置を調整する](#) (Windows)
 - ➡ [プリントヘッドの位置を調整する](#) (Mac OS)
- ストップボタンを押し続け、エラーランプが6回点滅したときに離すと、現在の調整値を印刷して確認することができます。

パソコンからメンテナンス機能を実行する（Windows）

- ▶ プリントヘッドをクリーニングする
- ▶ 給紙ローラーをクリーニングする
- ▶ プリントヘッド位置を調整する
- ▶ 自動でプリントヘッドの位置を調整する
- ▶ プリントヘッドの位置を調整する
- ▶ ノズルチェックパターンを印刷する
- ▶ プリンター内部をクリーニングする

プリントヘッドをクリーニングする

クリーニングを行うとプリントヘッドのノズルの目づまりを改善することができます。インクは十分あるのにかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりしたときに実行してください。

プリントヘッドのクリーニングを行う手順を説明します。



【クリーニング】

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く
2. [ユーティリティ] シートの [クリーニング] をクリック
[クリーニング] ダイアログボックスが表示されたら、クリーニングを行うインクグループを選びます。
[確認事項] をクリックすると、クリーニングの実行前に確認する項目が表示されます。

3. クリーニングを実行

プリンターの電源が入っていることを確認して、[実行] をクリックします。

クリーニングが開始されます。

重要

- クリーニングが終了するまで、排紙トレイを閉じないでください。

4. クリーニングの完了

確認のメッセージのあと、[ノズルチェックパターン印刷] ダイアログボックスが表示されます。

5. 結果の確認

改善されているか確認する場合は [確認パターン印刷] を、確認しない場合は [キャンセル] をクリックします。

クリーニングを 1 回行っても改善しないときは、もう一度繰り返してください。

重要

- [クリーニング] は少量のインクを使用します。
頻繁に行うと、インクが早く消費されます。必要な場合のみ実行してください。



【強力クリーニング】

[強力クリーニング] は、より強力なクリーニング機能です。[クリーニング] を 2 回繰り返しても改善しないときに実行してください。

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く
2. [ユーティリティ] シートの [強力クリーニング] をクリック

〔強力クリーニング〕ダイアログボックスが表示されたら、強力クリーニングを行うインクグループを選びます。

〔確認事項〕をクリックすると、強力クリーニングの実行前に確認する項目が表示されます。

3. 強力クリーニングを実行

プリンターの電源が入っていることを確認して、〔実行〕をクリックします。

確認のメッセージが表示されたら、〔OK〕をクリックします。

強力クリーニングが開始されます。

重要

- 強力クリーニングが終了するまで、排紙トレイを閉じないでください。

4. 強力クリーニングの完了

確認のメッセージのあと、〔ノズルチェックパターン印刷〕ダイアログボックスが表示されます。

5. 結果の確認

改善されているか確認する場合は〔確認パターン印刷〕を、確認しない場合は〔キャンセル〕をクリックします。

重要

- 〔強力クリーニング〕は、〔クリーニング〕よりも多くのインクを使用します。頻繁に行うと、インクが早く消費されます。必要な場合のみ実行してください。

参考

- 〔強力クリーニング〕を行っても改善しないときは、プリンターの電源を切り、24 時間経過してからもう一度実行してください。それでも改善しないときは、「インクが出ない」を参照してください。

関連項目

➡ [ノズルチェックパターンを印刷する](#)

給紙ローラーをクリーニングする

給紙ローラーのクリーニングを行います。給紙ローラーに紙粉が付着し、用紙が正しく送られないときに実行します。

給紙ローラーのクリーニングを行う手順を説明します。



【給紙ローラークリーニング】

1. プリンターの準備

前トレイから、すべての用紙を取り除きます。

2. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く

3. [ユーティリティ] シートの [給紙ローラークリーニング] をクリック

確認のメッセージが表示されます。

4. 給紙ローラークリーニングを実行

プリンターの電源が入っていることを確認して、[OK] をクリックします。

給紙ローラークリーニングが開始されます。

5. 給紙ローラークリーニングを完了

回転動作終了後、メッセージに従って前トレイに普通紙または市販品のクリーニングシートを 1 枚セットし、[OK] をクリックします。

排紙が行われ、クリーニングが終了します。

プリントヘッド位置を調整する

ヘッド位置調整を行うと、プリントヘッドの取り付け位置の誤差が補正され、色や線のずれなどが改善されます。

罫線がずれるなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッドの位置を調整してください。

プリンターには、プリントヘッドの位置調整を[自動で行う方法](#)と、[手動で行う方法](#)の2種類があります。

プリントヘッドの位置を調整する

ヘッド位置調整を行うと、プリントヘッドの取り付け位置の誤差が補正され、色や線のずれなどが改善されます。

プリンターには、プリントヘッドの位置調整を[自動で行う方法](#)と、手動で行う方法の2種類があります。

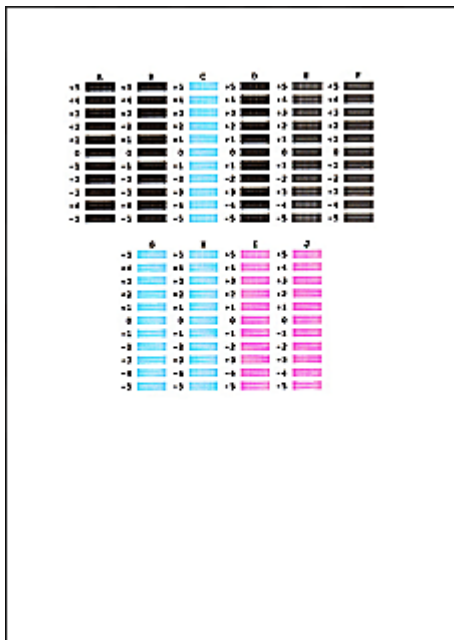
手動ヘッド位置調整を行う手順を説明します。



【ヘッド位置調整】

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く
 2. [ユーティリティ] シートの [特殊設定] をクリック
[特殊設定] ダイアログボックスが表示されます。
 3. ヘッド位置調整を手動に切り替える
[手動でヘッド位置を調整する] にチェックマークを付けます。
 4. 設定を適用
[OK] をクリックし、確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
 5. [ユーティリティ] シートの [ヘッド位置調整] をクリック
[ヘッド位置調整開始] ダイアログボックスが表示されます。
 6. プリンターに用紙をセット
前トレイに A4 サイズの普通紙を 3 枚セットします。
 7. ヘッド位置調整を実行
プリンターの電源が入っていることを確認して、[ヘッド位置調整] をクリックします。メッセージに従って、必要な操作を行います。
- 重要**

 - 印刷中は、排紙カバーを開けないでください。
8. 印刷されたパターンを確認
印刷されたパターンの中ですじが一番目立たないパターンの番号を、各入力欄に入力します。
プレビュー上ですじが目立たないパターンと同じ位置をクリックしても、各入力欄にその番号が自動的に入力されます。



入力が完了したら、[OK] をクリックします。

参考

- パターンが均一にならないときには、縦すじが一番目立たないパターンを選びます。



(A)



(B)

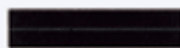
(A) 縦すじが一番目立たない例

(B) 縦すじが一番目立つ例

- パターンが均一にならないときには、横すじが一番目立たないパターンを選びます。



(A)



(B)

(A) 横すじが一番目立たない例

(B) 横すじが一番目立つ例

9. メッセージの内容を確認し、[OK] をクリック

2 枚目のプリントヘッド位置調整パターンが印刷されます。

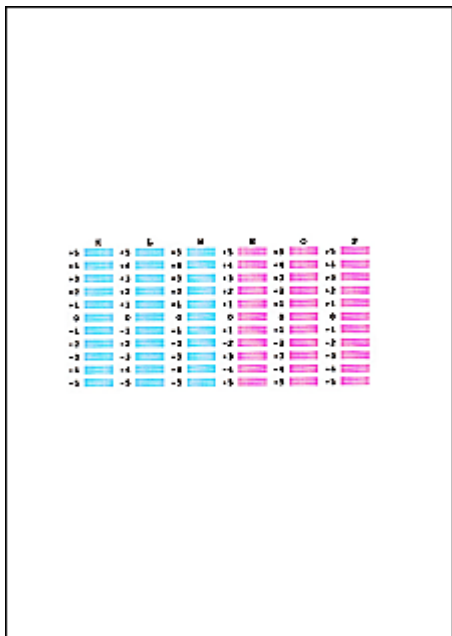
重要

- 印刷中は、排紙カバーを開けないでください。

10. 印刷されたパターンを確認

印刷されたパターンの中ですじが一番目立たないパターンの番号を、各入力欄に入力します。

プレビュー上ですじが目立たないパターンと同じ位置をクリックしても、各入力欄にその番号が自動的に入力されます。



入力が完了したら、[OK] をクリックします。

参考

- パターンが均一にならないときには、縦すじが一番目立たないパターンを選びます。



(A)



(B)

(A) 縦すじが一番目立たない例

(B) 縦すじが一番目立つ例

11. メッセージの内容を確認し、[OK] をクリック

3 枚目のプリントヘッド位置調整パターンが印刷されます。

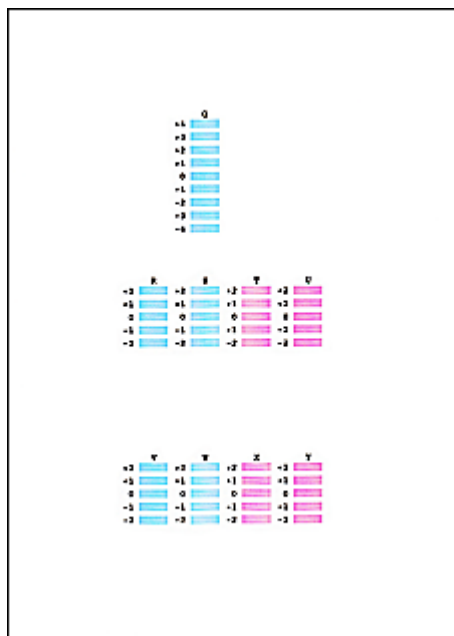
重要

- 印刷中は、排紙カバーを開けないでください。

12. 印刷されたパターンを確認

印刷されたパターンの中で横しまが一番目立たないパターンの番号を、各入力欄に入力します。

プレビュー上で横しまが目立たないパターンと同じ位置をクリックしても、各入力欄にその番号が自動的に入力されます。



入力が完了したら、[OK] をクリックします。

参考

- パターンが均一にならないときには、横しみが一番目立たないパターンを選びます。



(A)



(B)

(A) 横しみが一番目立たない例

(B) 横しみが一番目立つ例

参考

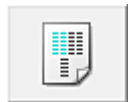
- [ヘッド位置調整開始] ダイアログボックスの[調整値の印刷] をクリックすると、現在の設定を印刷して確認することができます。

自動でプリントヘッドの位置を調整する

ヘッド位置調整を行うと、プリントヘッドの取り付け位置の誤差が補正され、色や線のずれなどが改善されます。

プリンターには、プリントヘッドの位置調整を自動で行う方法と、手動で行う方法の2種類があります。通常は自動ヘッド位置調整を行う設定になっています。自動ヘッド位置調整を行っても、罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、[手動でプリントヘッド位置を調整](#)してください。

自動ヘッド位置調整を行う手順を説明します。



【ヘッド位置調整】

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く
2. [ユーティリティ] シートの [ヘッド位置調整] をクリック
[ヘッド位置調整開始] ダイアログボックスが表示されます。

3. プリンターに用紙をセット

前トレイに A4 サイズの普通紙を 1 枚セットします。

▶▶▶ 参考

- 手動ヘッド位置調整を選んだ場合は、使用する用紙の枚数が異なります。

4. ヘッド位置調整パターンの印刷

プリンターの電源が入っていることを確認して、[ヘッド位置調整] をクリックします。
調整用のパターンが印刷されます。

▶▶▶ 重要

- 印刷中は、排紙カバーを開けないでください。

5. 調整用のパターンをスキャン

調整用のパターンの印刷が完了するとメッセージが表示されます。

メッセージに従って、調整用のパターンを原稿台にセットし、プリンターの [スタート] ボタンを押してください。

ヘッド位置調整が開始されます。

▶▶▶ 参考

- [ヘッド位置調整開始] ダイアログボックスの [調整値の印刷] をクリックすると、現在の設定を印刷して確認することができます。

ノズルチェックパターンを印刷する

ノズルチェックパターンを印刷すると、プリントヘッドの状態を確認することができます。印刷がかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりするときに実行してください。

ノズルチェックパターンを印刷する手順を説明します。



【ノズルチェックパターン印刷】

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く

2. [ユーティリティ] シートの [ノズルチェックパターン印刷] をクリック

[ノズルチェックパターン印刷] ダイアログボックスが表示されます。

[確認事項] をクリックすると、ノズルチェックパターン印刷前に確認する項目が表示されます。

3. プリンターに用紙をセット

前トレイに A4 サイズの普通紙を 1 枚セットします。

4. ノズルチェックパターンを印刷

プリンターの電源が入っていることを確認して、[確認パターン印刷] をクリックします。

ノズルチェックパターンの印刷が開始されます。

確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

[パターンの確認] ダイアログボックスが表示されます。

5. 印刷結果を確認

印刷結果を確認し、正常な場合は [終了] をクリックします。

かすれていたり、印刷されない部分があったりする場合は、[クリーニング] をクリックして、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

関連項目

- ➡ [プリントヘッドをクリーニングする](#)

プリンター内部をクリーニングする

両面印刷の前に、用紙の裏面の汚れを防ぐためにインクふき取りクリーニングを行ってください。
印刷時に、用紙に印刷データ以外の汚れが付いたりするときにも実行してください。

インクふき取りクリーニングを行う手順を説明します。



【インクふき取りクリーニング】

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く
2. [ユーティリティ] シートの [インクふき取りクリーニング] をクリック
[インクふき取りクリーニング] ダイアログボックスが表示されます。

3. プリンターに[用紙をセット](#)

ダイアログボックスの指示に従って、A4 サイズの普通紙を横半分に折ってから、開きます。
開いた片側を中央の折り目に合わせて折ってから、開きます。
開いた面（谷折り）を下にし、折りしろの広いほうを先頭に前トレイにセットしてください。

4. インクふき取りクリーニングを実行

プリンターの電源が入っていることを確認して、[実行] をクリックします。
インクふき取りクリーニングが開始されます。

本製品を清掃する

- ▶ 本製品の外側を清掃する
- ▶ 原稿台の周辺部分を清掃する
- ▶ 給紙ローラーをクリーニングする
- ▶ インクふき取りクリーニングを行う

本製品の外側を清掃する

かならず柔らかくて乾いた布（メガネふきなど）を使用し、なるべく布のしわを伸ばしてからやさしく汚れをふき取ってください。

重要

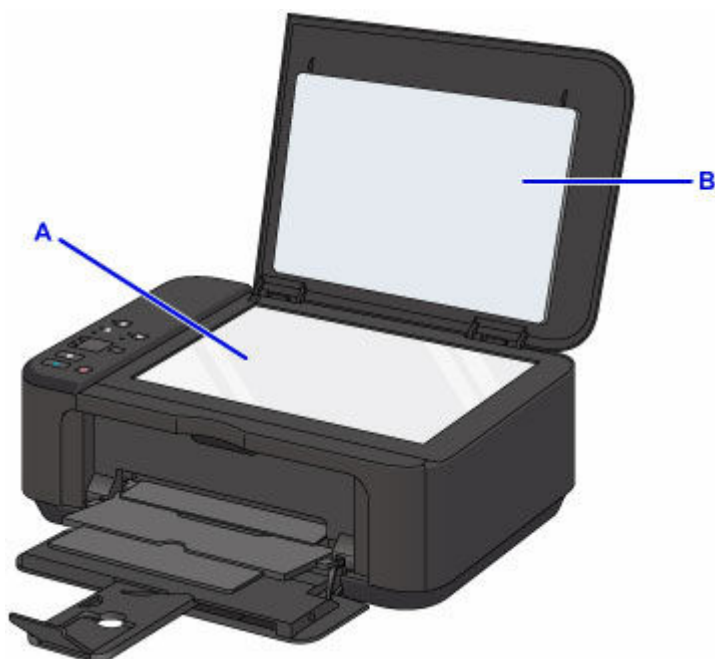
- 清掃する前に、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオル、きめの粗い布などは表面に傷がつくため使用しないでください。
- 中性洗剤や、ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の化学薬品は使わないでください。故障または本製品の表面を傷める原因になります。

原稿台の周辺部分を清掃する

重要

- 清掃する前に、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオル、きめの粗い布などは表面に傷がつくため使用しないでください。
- 中性洗剤や、ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の化学薬品は使わないでください。故障または本製品の表面を傷める原因になります。

きれいで柔らかく、糸くずの出ない乾いた布を用意してください。原稿台ガラス (A)、原稿台カバーの裏側 (白い部分) (B) の汚れや、ほこりをやさしくふき取ります。特にガラス面は、ふいたあとが残らないように十分ふき取ってください。



重要

- 原稿台カバーの裏側 (白い部分) (B) は傷がつきやすいので、やさしくふいてください。

給紙ローラーをクリーニングする

給紙ローラーに紙粉や汚れがつくと、用紙がうまく送られないことがあります。そのような場合は、給紙ローラーのクリーニングを行います。給紙ローラーのクリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4 サイズの普通紙または市販品のクリーニングシート 1 枚

1. 電源が入っていることを確認し、前トレイから用紙をすべて取り除く
2. 排紙トレイを開く
3. ストップボタンを押し続け、エラーランプが 7 回点滅したときに離す
給紙ローラーが回転し、用紙を使用しないクリーニングが開始されます。
4. 給紙ローラーの回転が停止したことを確認し、排紙トレイを閉じて、前トレイに A4 サイズの普通紙または市販品のクリーニングシートを 1 枚セットする
5. 補助トレイを開き、排紙トレイを開いて排紙サポートを引き出す
6. ストップボタンを押し続け、エラーランプが 7 回点滅したときに離す
クリーニングが開始されます。用紙が排出されるとクリーニングが終了します。

上記の操作を行っても改善されない場合は、キヤノンサポートホームページまたはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

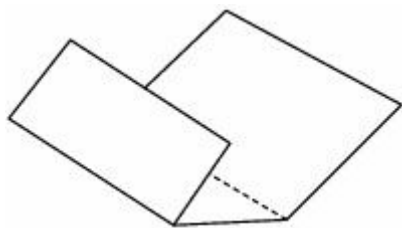
インクふき取りクリーニングを行う

本製品内部の汚れを取ります。本製品内部が汚れていると、印刷した用紙が汚れる場合がありますので、定期的に行うことをお勧めします。

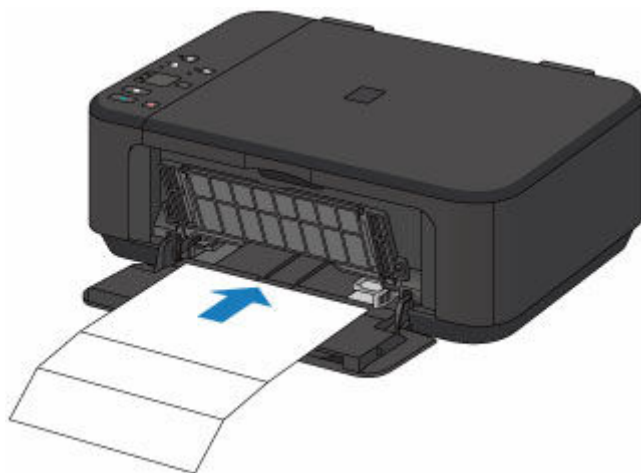
用意するもの：A4 サイズの普通紙*1 枚

* 新しい用紙を用意してください。

1. 電源が入っていることを確認し、前トレイから用紙をすべて取り除く
2. A4 サイズの普通紙を横半分に折ってから開く
3. 開いた片側を中央の折り目に合わせて折ってから開く



4. 開いた面（谷折り）を下にし、折りしろの広いほうが奥になるように、前トレイに 1 枚だけセットする



5. 補助トレイを開き、排紙トレイを開いて排紙サポートを引き出す
6. ストップボタンを押し続け、エラーランプが 8 回点滅したときに離す

インクふき取りクリーニングが実行され、用紙が排出されます。

排出された用紙の山折り部分を確認し、インクが付いている場合は再度クリーニングを行います。

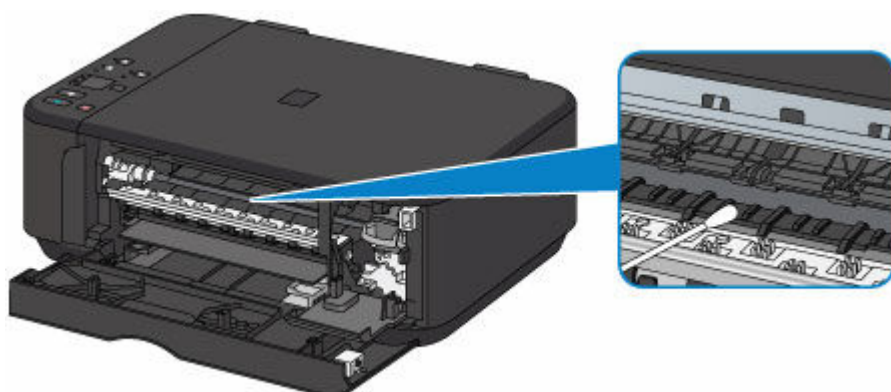
▶▶▶ 参考

- 再度インクふき取りクリーニングを行う場合は、新しい用紙をご使用ください。

再度クリーニングを行ってもインクが付くときは、本製品内部の突起が汚れている場合があります。綿棒などを使って突起からインク汚れを丁寧にふき取ってください。

重要

- 清掃する前に、電源を切り、電源プラグを抜いてください。



本製品の基本情報

▶ 安全ガイド

- 安全にお使いいただくために
- 法規制情報

▶ 各部の名称と使いかた

- 各部の名称と役割
- 本製品の電源について

▶ 本製品の設定を変更する

- パソコンで設定を変更する (Windows)
- パソコンで設定を変更する (Mac OS)
- 本製品の操作パネルで設定を変更する
- 本製品の設定を初期化する
- 本製品の無線 LAN 機能を無効にする

▶ ネットワーク接続に関する情報

- ネットワーク接続で役立つ情報

▶ ネットワーク通信について (Windows)

- ネットワーク設定を変更／確認する
- IJ Network Tool の画面の説明 (ネットワーク接続)
- IJ Network Tool の画面の説明 (その他)
- 役立つ情報 (ネットワーク)

▶ ネットワーク通信について (Mac OS)

- ネットワーク設定を変更／確認する
- 役立つ情報 (ネットワーク)

▶ きれいに印刷するためのヒント集

- インクについて知っておきたいこと
- 印刷を失敗しないためのポイント
- 用紙をセットしたあとは、用紙の設定を忘れずに
- 印刷を中止するときは

- いつもきれいな印刷を楽しむためのポイント
- 本製品を移送するときの注意
- ▶ **原稿をスキャンするときの注意事項**
- ▶ **仕様**

安全ガイド

- ▶ [安全にお使いいただくために](#)
- ▶ [法規制情報](#)

安全にお使いいただくために

設置場所について

- 不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、屋外、直射日光の当たる場所、高温の場所、火気の近くには置かないでください。
使用環境については、「仕様」を参照してください。
- 毛足の長いじゅうたんやカーペットの上には置かないでください。
毛やほこりなどが製品の内部に入り込むことがあります。
- 本製品背面を壁につけて置かないでください。

電源について

- いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周囲にはものを置かないでください。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
コードを引っ張ると、電源コードが傷つくことがあります。
- 延長電源コードは使用しないでください。
- 万一の感電を防止するために、コンピューターのアース接続をお勧めします。

取扱いについて

- 印刷中は本製品の中に手を入れないでください。
- 本製品を運ぶときは、必ず両側下部分を両手でしっかりと持ってください。
ただし、本製品の重さが 14kg を超える場合は、できるだけ 2 人で持ち運んでください。
なお、本製品の重さについては、「仕様」を参照してください。
- 本製品の上にもものを置かないでください。
特にクリップやホチキス針などの金属物や液体・引火性溶剤（アルコール・シンナーなど）の入った容器を置かないでください。
- 本製品を使用／輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さにしないでください。インクが漏れるおそれがあります。

取扱いについて（複合機のみ）

- 原稿台ガラスに厚い本などをセットするときは、原稿台カバーを強く押さえないでください。
原稿台ガラスが破損することがあります。

プリントヘッド／インクタンクまたは FINE カートリッジについて

- お子様の手の届かないところに保管してください。
誤ってインク*をなめたり、飲んだりした場合は、口をすすがせるか、コップ 1、2 杯の水を飲ませてください。万一、刺激や不快感が生じた場合には、直ちに医師にご相談ください。
*クリアインクには硝酸塩が含まれています（クリアインクを使用する機種のみ）。
- インクが目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けん水で洗い流してください。万一、目や皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 印刷後、プリントヘッドや FINE カートリッジの金属部分には触れないでください。
熱くなっている場合があります。
- インクタンクや FINE カートリッジを火中に投じないでください。
- プrintヘッドやインクタンク、FINE カートリッジを分解したり、改造したりしないでください。

法規制情報

電波障害自主規制について

この装置は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

電池を内蔵した機種のみ

- 使い古したバッテリーは地域の条例にしたがって処分してください。
- 間違ったタイプのバッテリーに交換すると爆発の危険があります。

電波について

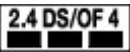
使用上の注意

- 本製品は日本国内仕様です。日本国外では使用できません。
- 本製品は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線設備であり、筐体内部を開けること、および内部の回路等を改造することは法律で禁じられています。
- 医療用の装置や電子機器の近くで本製品を使用しないでください。
電波によりそれらの装置や電子機器の動作に影響を与える恐れがあります。

電波干渉に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、「サポートガイド」を参照し、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「サポートガイド」を参照し、お問い合わせください。

4. 

この表示のある無線機器は 2.4GHz 帯を使用しています。変調方式として DS-SS または OFDM 変調方式を採用し、移動体識別装置の構内無線局に対して想定される与干渉距離は 40m です。全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

環境および化学安全情報

製品の環境情報および化学安全情報（MSDS）につきましては、キヤノンホームページにてご覧いただけます。

canon.jp/ecology

使用済み製品の廃棄について

本製品をご家庭で使用された場合は「一般廃棄物」、業務上使用された場合は「産業廃棄物」として廃棄処理をお願いしております。

ご家庭で使用された場合は、お住まいの地方自治体のルールに従い、一般廃棄物として廃棄をお願いいたします。

業務上使用された場合は、産業廃棄物として廃棄をお願いいたします。

また、キヤノンホームページ（canon.jp/ecology）でも処理についてのご案内をしておりますので、ご確認ください。



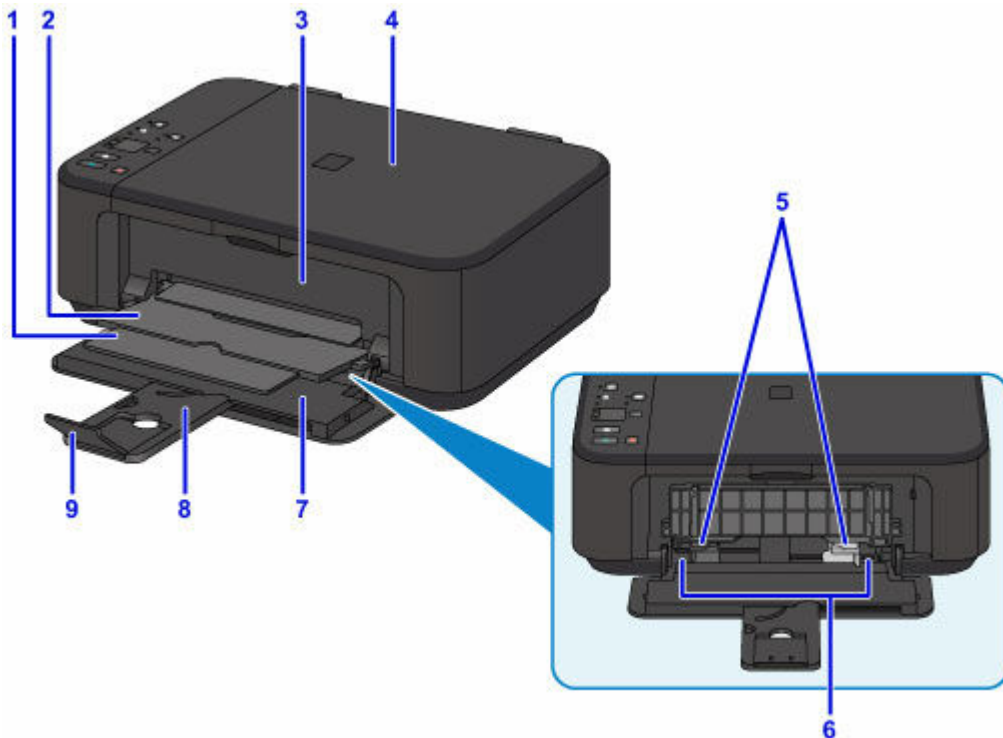
各部の名称と使いかた

- ▶ 各部の名称と役割
- ▶ 本製品の電源について

各部の名称と役割

- ▶ 前面
- ▶ 背面
- ▶ 内部
- ▶ 操作パネル

前面



(1) 排紙サポート

排紙された用紙を支えるために手前に引き出して使用します。

(2) 排紙トレイ

印刷された用紙が排紙されます。

(3) 排紙カバー

FINE カートリッジを交換するときや、内部につまった用紙を取り除くときに開きます。

(4) 原稿台カバー

原稿台ガラスに原稿をセットするときに開きます。

(5) 用紙ガイド

用紙の両端に合わせます。

(6) 前トレイ

用紙をセットします。一度に同じサイズ、種類の用紙を複数枚セットでき、自動的に 1 枚ずつ給紙されます。

➡ [普通紙／写真用紙／はがきをセットする](#)

➡ [封筒をセットする](#)

(7) フロントカバー

前トレイに用紙をセットするときに開きます。

(8) 用紙サポート

前トレイに用紙をセットするときに、手前に引き出して使用します。

(9) 補助トレイ

排紙された用紙を支えるために手前に開いて使用します。



(10) 操作パネル

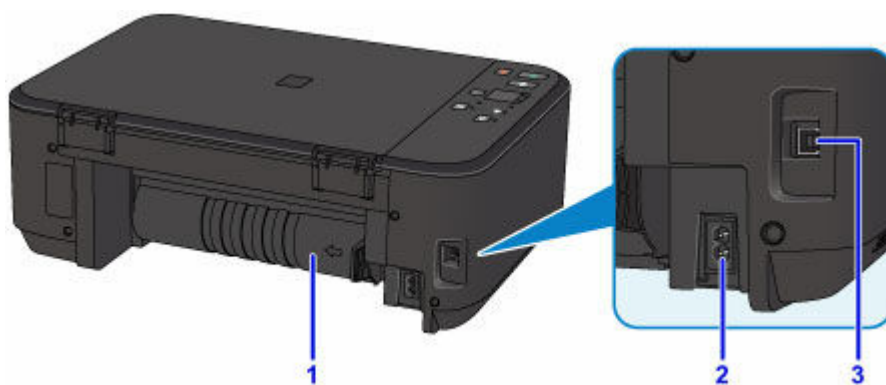
本製品の設定や操作をするときに使用します。

➡ [操作パネル](#)

(11) 原稿台ガラス

原稿をセットします。

背面



(1) 搬送ユニット

紙づまりのときに開いて、つまった用紙を取り除きます。

(2) 電源コード接続部

付属の電源コードを接続するためのコネクタです。

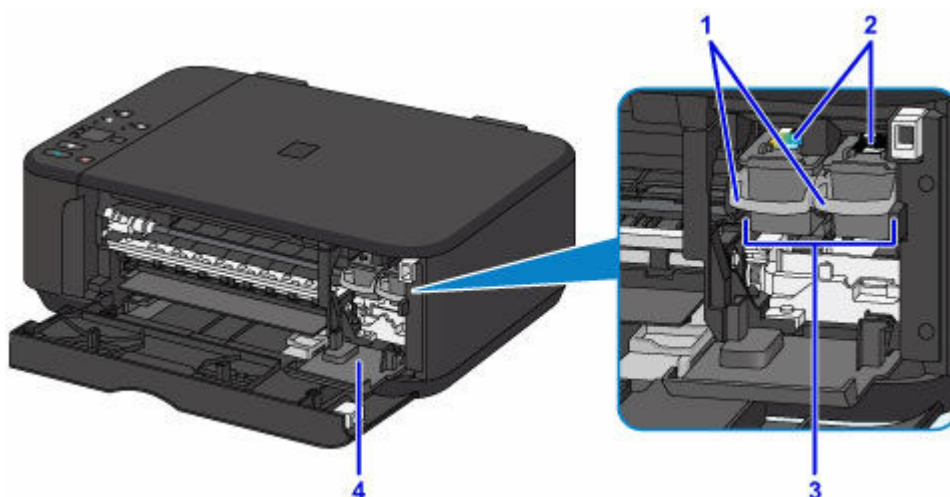
(3) USB ケーブル接続部

USB ケーブルでパソコンと接続するためのコネクタです。

重要

- 金属部分に触れないでください。
- パソコンに本製品を接続して印刷または画像をスキャンしているときに、USB ケーブルを抜き差ししないでください。

内部



(1) インクカートリッジ固定レバー

FINE カートリッジを固定します。

(2) FINE カートリッジ (インクカートリッジ)

プリントヘッドとインクタンクを一体化した交換可能なカートリッジです。

(3) FINE カートリッジホルダー

FINE カートリッジを取り付けます。

左側にカラー FINE カートリッジ、右側にブラック FINE カートリッジを取り付けます。

(4) ヘッドカバー

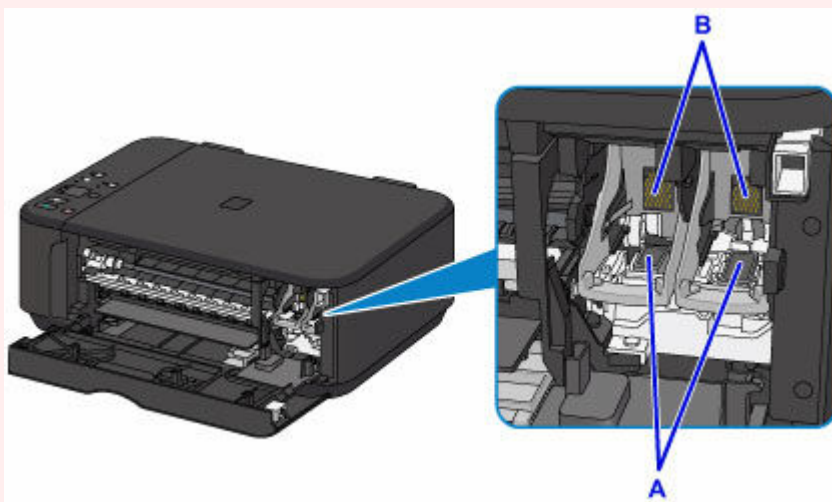
FINE カートリッジを交換するときに開きます。排紙カバーを開くと、自動的に開きます。

参考

- FINE カートリッジの交換方法は、「[FINE カートリッジを交換する](#)」を参照してください。

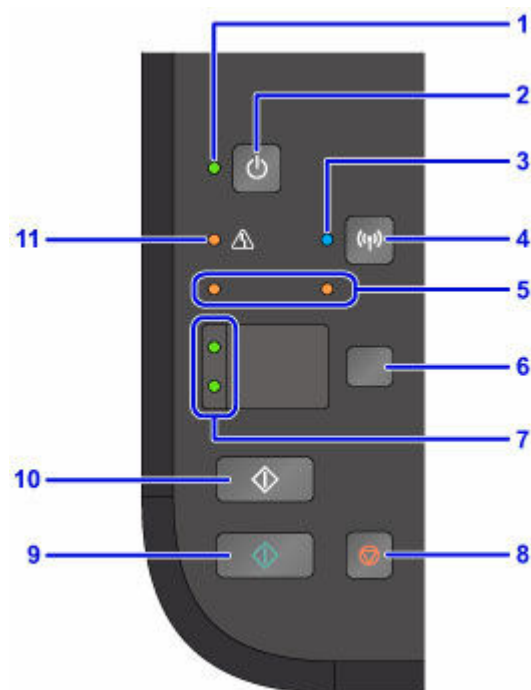
重要

- A の周辺にインクが飛び散ることがありますが、本製品の動作に影響はありません。
- A の部分や B の端子には手を触れないでください。正しく印刷できなくなる場合があります。



操作パネル

※下の図は、操作パネルのランプがすべて点灯している状態です。



(1) 電源ランプ

電源を入れると点滅した後、点灯します。

▶▶▶ 参考

- 電源ランプ／エラーランプの表示により、本製品の状態を確認できます。
 - 電源ランプが消灯：電源がオフ状態です。
 - 電源ランプが点灯：印刷が可能です。
 - 電源ランプが点滅：準備動作中、または印刷中です。
 - エラーランプが点滅：エラーが発生し、印刷できません。
 - 電源ランプとエラーランプが交互に 1 回ずつ点滅：サービスを必要とするエラーが起きている可能性があります。

➡ [トラブルが発生したときは](#)

(2) 電源ボタン

電源を入れる／切るときに押します。電源を入れるときは、原稿台カバーを閉じてください。

➡ [電源を入れる／切る](#)

(3) Wi-Fi ランプ

点灯または点滅して、無線 LAN のネットワークの状態を表示します。

点灯：

無線 LAN が有効のときに点灯します。

点滅：

無線 LAN のネットワーク経由で印刷やスキャンしているときに点滅します。また、無線 LAN のセットアップをしているときにも点滅します。

(4) Wi-Fi ボタン

無線 LAN 設定を自動で行うときに長押しします。

(5) インクランプ

インクがなくなったときなどに点灯または点滅します。

左側のランプがカラー FINE カートリッジの状態を表示し、右側のランプがブラック FINE カートリッジの状態を表示します。

(6) 用紙選択ボタン

用紙のサイズ／種類を切り替えるときに押します。

(7) 用紙ランプ

用紙選択ボタンで選んだ用紙のサイズ／種類が点灯します。

(8) ストップボタン

印刷中やコピー中、スキャン中に押すと、それぞれの動作を中止します。また、ストップボタンを押し続けると、メンテナンスや本体設定を行うことができます。

(9) カラーボタン*

カラーコピーをするときに押します。また、設定項目を確定します。

(10) モノクロボタン*

モノクロコピーをするときに押します。また、設定項目を確定します。

(11) エラーランプ

エラーが発生したときに点灯または点滅します。また、メンテナンスや本体設定を行うとき、エラーランプの点滅回数で機能を選ぶことができます。

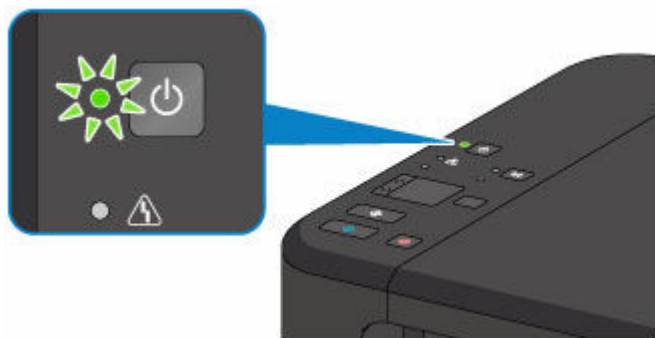
* アプリケーションソフトや説明書によっては、カラーボタンとモノクロボタンをまとめて、スタートボタンや OK ボタンと表していることがあります。

本製品の電源について

- ▶ 電源が入っているか確認する
- ▶ 電源を入れる／切る
- ▶ 電源プラグ／電源コードについて
- ▶ 電源プラグを抜く

電源が入っているか確認する

電源が入っているときは、電源ランプが点灯します。



参考

- 電源を入れた直後は、印刷が開始されるまで少し時間がかかります。

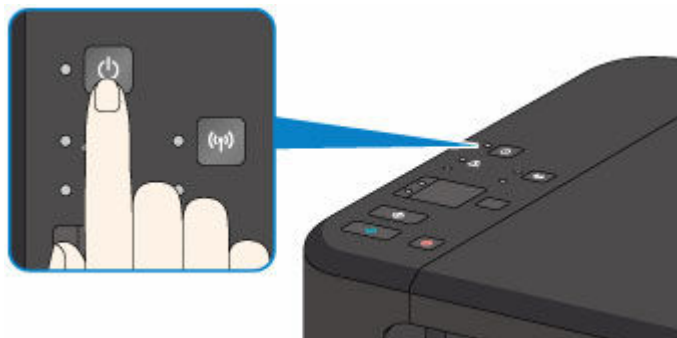
電源を入れる／切る

電源を入れる

1. 本製品の電源ボタンを押して、電源を入れる

電源ランプが点滅した後、点灯します。

➡ [電源が入っているか確認する](#)



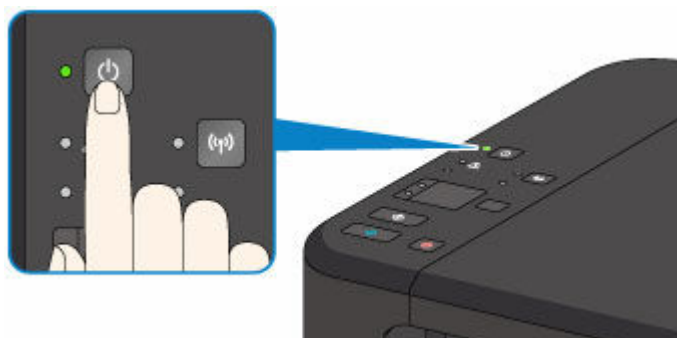
参考

- 電源を入れた直後は、印刷が開始されるまで少し時間がかかります。
- エラーランプが点灯または点滅している場合は、「[トラブルが発生したときは](#)」を参照してください。
- USB 接続または無線 LAN のネットワーク経由で印刷やスキャンなどを開始したとき、自動的に本製品の電源が入るように設定することができます。お買い上げ時は、自動で電源が入る設定にはなっていません。
 - ➡ [プリンターの電源を操作する \(Windows\)](#)
 - ➡ [プリンターの電源を操作する \(Mac OS\)](#)

電源を切る

1. 本製品の電源ボタンを押して、電源を切る

電源ランプの点滅が終わると電源が切れます。



重要

- 電源を切ったあと[電源プラグを抜く](#)ときは、電源ランプが消えたことを確認してください。

▶▶ 参考

- 一定時間、本製品の操作をしなかったり、パソコンなどから印刷が開始されなかったりする場合は、自動的に電源を切るように設定することができます。お買い上げ時は、自動で電源を切る設定になっています。

- ➡ [プリンターの電源を操作する](#) (Windows)
- ➡ プリンターの電源を操作する (Mac OS)

電源プラグ／電源コードについて

電源プラグや電源コードは1ヶ月に一度コンセントを抜いて、下記のような異常な状態になっていないか確認してください。

- 発熱していないか
- さびていないか
- 曲がっていないか
- 擦れていないか
- 裂けていないか

注意

- 電源プラグや電源コードが上記のように異常な状態になっている場合は、そのまま使用すると火災や感電の原因となることがあります。[電源プラグをコンセントから抜き](#)、キヤノンサポートホームページまたはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

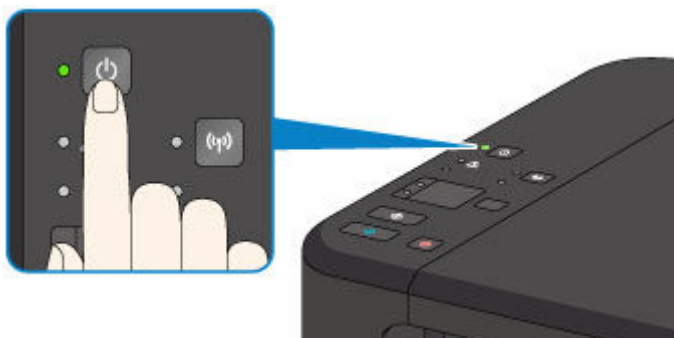
電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くときは、かならず以下の手順に従ってください。

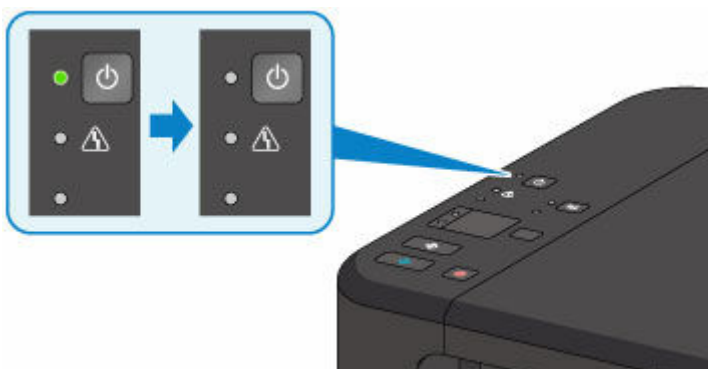
重要

- 電源プラグは、電源ボタンを押して電源ランプが消えたことを確認してから抜いてください。電源ランプが点灯または点滅中に電源プラグを抜くと、プリントヘッドの乾燥や目づまりの原因となり、きれいに印刷できなくなる場合があります。

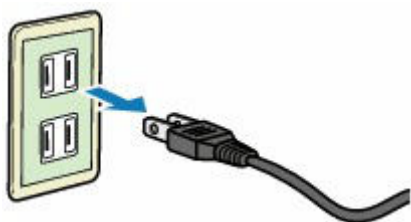
1. 本製品の電源ボタンを押して、電源を切る



2. 電源ランプが消えたことを確認する



3. 電源プラグをコンセントから抜く



本製品の設定を変更する

- ▶ [パソコンで設定を変更する（Windows）](#)
- ▶ [パソコンで設定を変更する（Mac OS）](#)
- ▶ [本製品の操作パネルで設定を変更する](#)
- ▶ [本製品の設定を初期化する](#)
- ▶ [本製品の無線 LAN 機能を無効にする](#)

パソコンで設定を変更する（Windows）

- ▶ 印刷オプションの設定を変更する
- ▶ よく使う印刷設定を登録する
- ▶ 使用するインクカートリッジを設定する
- ▶ プリンターの電源を操作する
- ▶ プリンターの動作音を抑える
- ▶ プリンターの設定を変更する

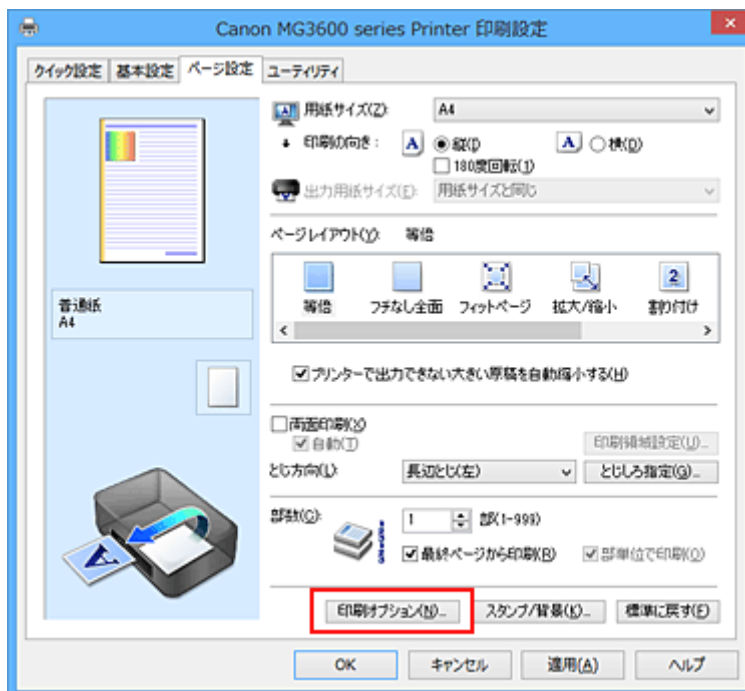
印刷オプションの設定を変更する

アプリケーションソフトから送信される印刷データに対して、プリンタードライバーの詳細設定を変更します。

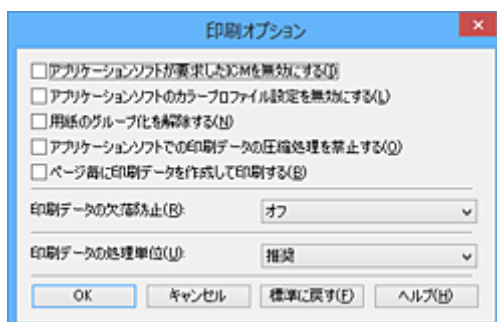
画像データが抜け落ちるなど、うまく印刷できない場合に設定してください。

印刷オプションを設定する手順を説明します。

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く
2. [ページ設定] シートの [印刷オプション...] をクリック



[印刷オプション] ダイアログボックスが表示されます。



参考

- XPS プリンタードライバーをお使いの場合は、使用できる機能が異なります。

3. 各設定を変更

必要に応じて各項目の設定を変更し、[OK] をクリックします。

[ページ設定] シートに戻ります。

よく使う印刷設定を登録する

よく使う印刷設定を、[クイック設定] シートの [よく使う設定] に登録して使用することが可能です。不要になった印刷設定は削除できます。

印刷設定を登録する手順を説明します。

印刷設定を登録する

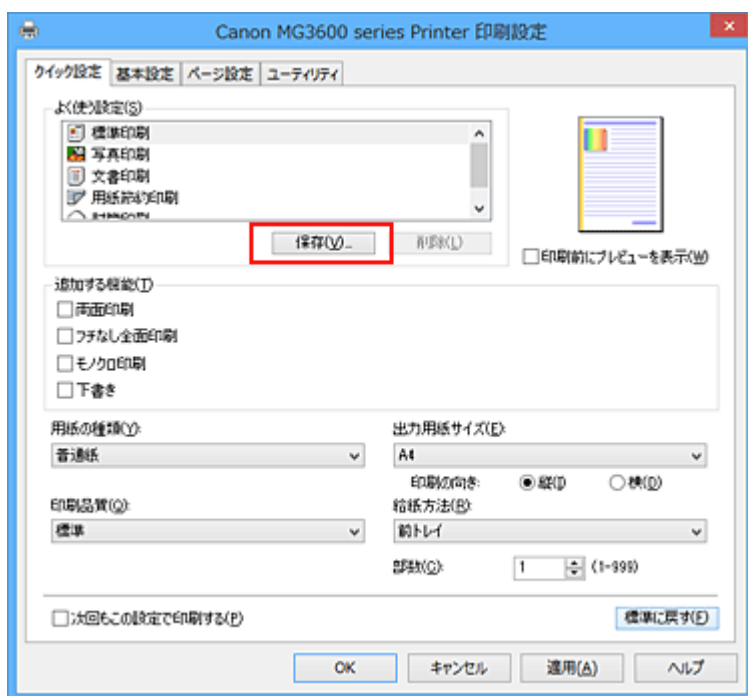
1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く

2. 必要な項目を設定

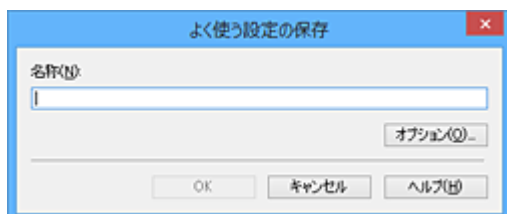
[クイック設定] シートの [よく使う設定] で使用する印刷設定を選び、必要に応じて [追加する機能] 以降を変更します。

[基本設定] シート、[ページ設定] シートの設定も登録できます。

3. [保存...] をクリック



[よく使う設定の保存] ダイアログボックスが表示されます。



4. 設定を保存

[名称] を入力します。必要に応じて [オプション...] をクリックし、各項目を設定して、[OK] をクリックしてください。

[よく使う設定の保存] ダイアログボックスで [OK] をクリックすると、印刷設定が保存され、[クイック設定] シートに戻ります。

[よく使う設定] に名称とアイコンが表示されます。

重要

- 各シートで設定した用紙サイズ、印刷の向き、部数を保存するには、[オプション...] をクリックして、各項目にチェックマークを付ける必要があります。

参考

- プリンタードライバーの再インストールやバージョンアップを行うと、登録した印刷設定は[よく使う設定] から削除されます。
また、登録した印刷設定だけを保存することはできません。削除された場合は、印刷設定の登録をやり直してください。

不要になった印刷設定を削除する

1. 削除する印刷設定を選択

[クイック設定] シートの [よく使う設定] から、削除したい印刷設定の名前を選びます。

2. 印刷設定を削除

[削除] をクリックし、メッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
選んだ印刷設定が [よく使う設定] から削除されます。

参考

- 初期設定で登録されている印刷設定は削除できません。

使用するインクカートリッジを設定する

取り付けている FINE カートリッジの中から使用する FINE カートリッジを指定し、使い分ける機能です。どちらかの FINE カートリッジが空になり、すぐに新しい FINE カートリッジに取り替えられない場合、インクが残っている FINE カートリッジを指定して、印刷を続けることができます。

FINE カートリッジを指定する手順を説明します。



【インクカートリッジ設定】

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く
2. [ユーティリティ] シートの [インクカートリッジ設定] をクリック

[インクカートリッジ設定] ダイアログボックスが表示されます。

3. 使用する FINE カートリッジを選択

印刷に使用する FINE カートリッジを選び、[OK] をクリックします。

次の印刷から、指定した FINE カートリッジを使用して印刷されます。

重要

- 次の設定を行っている場合は、カラーの FINE カートリッジを使用して印刷を行うため、[ブラックのみ] は機能しません。
 - [基本設定] シートの [用紙の種類] で [普通紙]、[封筒]、[インクジェットはがき(あて名面)]、[インクジェット写真用はがき(あて名面)]、[はがき(あて名面)]、[はがき] 以外を選んでいるとき
 - [ページ設定] シートの [ページレイアウト] で [フチなし全面] を選んでいるとき
- プリンターに取り付けた FINE カートリッジは取り外さないでください。FINE カートリッジを取り外した状態では印刷できません。

プリンターの電源を操作する

プリンタードライバーから、プリンターの電源を操作します。

電源を操作する手順を説明します。



【電源オフ】

【電源オフ】は、プリンターの電源を切る機能です。プリンタードライバーからプリンターの電源を再度入れることはできません。

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く

2. 電源オフを実行

【ユーティリティ】シートの【電源オフ】をクリックし、確認のメッセージが表示されたら、【OK】をクリックします。

プリンターの電源がオフになり、【ユーティリティ】シートに戻ります。



【自動電源設定】

【自動電源設定】では、【自動電源オン】、【自動電源オフ】の設定を行うことができます。

【自動電源オン】は、データが送られてくると自動的にプリンターの電源が入る機能です。

【自動電源オフ】は、プリンタードライバーやプリンターからの操作が一定時間行われていないときに、自動的にプリンターの電源を切る機能です。

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く

2. プリンターの電源が入っていることを確認して、【ユーティリティ】シートの【自動電源設定】をクリック

【自動電源設定】ダイアログボックスが表示されます。

▶▶▶ 参考

- プリンターの電源が入っていなかったり、プリンターとパソコンの通信をしない設定にしていると、パソコンはプリンターの情報を取得できず、エラーメッセージが表示されることがあります。
この場合、【OK】をクリックすると、お使いのパソコンで最後に設定した内容が表示されます。

3. 必要に応じて、以下の項目を設定

【自動電源オン】

一覧から【有効】を指定します。データが送られてくると自動的にプリンターの電源が入るようになります。

【自動電源オフ】

一覧から設定したい時間を指定します。プリンタードライバーやプリンターからの操作が指定した時間内に行われなかったとき、プリンターの電源が自動的に切れるようになります。

▶▶▶ 参考

- 自動電源オンを有効にしたり、自動電源オフを無効または時間を長く設定したりすると、消費電力が増加します。

4. 設定を適用

[OK] をクリックし、確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

[ユーティリティ] シートに戻ります。

これ以降は設定が有効になります。これらの機能がなくなっただけの場合は、同様の手順でそれぞれの一覧から [無効] を選んでください。

▶▶▶ 参考

- [自動電源オン] の設定によって、プリンターの電源が入っていない場合の Canon IJ ステータスマニタのメッセージが異なります。
設定が [有効] のときは『プリンターは待機中です』と表示され、[無効] のときは『プリンターはオフラインです』と表示されます。

プリンターの動作音を抑える

低騒音化モードを使用すると、プリンターの動作音を抑えることができます。夜間に印刷する場合など、動作音が気になるときに使用してください。

この機能を使用すると、印刷速度が低下することがあります。

低騒音化モードを使用する手順を説明します。



【低騒音化設定】

1. [プリンタードライバの設定画面](#)を開く
2. [ユーティリティ] シートの [低騒音化設定] をクリック

[低騒音化設定] ダイアログボックスが表示されます。

参考

- プリンターの電源が入っていなかったり、プリンターとパソコンの通信をしない設定にしていると、パソコンはプリンターの情報を取得できず、エラーメッセージが表示されることがあります。

3. 低騒音化モードを設定

必要に応じて、以下の項目のいずれかを指定します。

【低騒音化モードで使用しない】

プリンターの動作音を通常の状態で使用するときを選びます。

【常に低騒音化モードで使用する】

プリンターの動作音を抑えるときを選びます。

【指定した時間だけ低騒音化モードで使用する】

特定の時間帯だけプリンターの動作音を抑えるときを選びます。

低騒音化モードを使用する [開始時刻] と [終了時刻] を設定してください。同じ時刻に設定した場合は、低騒音化モードは機能しません。

重要

- 低騒音化モードは、プリンターの操作パネルやプリンタードライバ、ScanGear（スキャナードライバ）から設定することができます。
いずれの方法で設定した場合でも、プリンターの操作パネルからの操作や、パソコンからの印刷・スキャンを行うときなどに適用されます。
- 【指定した時間だけ低騒音化モードで使用する】で時間を指定した場合は、プリンターからの操作（コピー、ダイレクト印刷など）に低騒音化モードは適用されません。

4. 設定を適用

プリンターの電源が入っていることを確認して、[OK] をクリックします。

確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

これ以降、設定が有効になります。

▶▶ 参考

- 印刷品位の設定によっては、低騒音化モードの効果が少ない場合があります。

プリンターの設定を変更する

必要に応じてプリンターの設定を変更します。

〔特殊設定〕を行う手順を説明します。



〔特殊設定〕

1. [プリンタードライバの設定画面](#)を開く
2. プリンターの電源が入っていることを確認して、〔ユーティリティ〕シートの〔特殊設定〕をクリック

〔特殊設定〕ダイアログボックスが表示されます。

参考

- プリンターの電源が入っていなかったり、プリンターとパソコンの通信をしない設定にしていたりすると、パソコンはプリンターの情報を取得できず、エラーメッセージが表示されることがあります。
この場合、〔OK〕をクリックすると、お使いのパソコンで最後に設定した内容が表示されます。

3. 必要に応じて、次の項目を設定

〔用紙のこすれを改善する〕

高濃度のページを印刷する場合に、プリントヘッドと用紙の間隔を広げて、用紙のこすれを改善することができます。

用紙のこすれを改善するときはチェックマークを付けます。

〔手動でヘッド位置を調整する〕

通常、〔ユーティリティ〕シートの〔ヘッド位置調整〕の機能は、自動ヘッド位置調整に設定されていますが、手動ヘッド位置調整に変更することができます。

自動ヘッド位置調整を行っても印刷結果が思わしくない場合は、[手動ヘッド位置調整](#)を行ってください。

手動ヘッド位置調整に変更するときはチェックマークを付け、自動ヘッド位置調整を行うときはチェックマークを外します。

〔重複給紙を改善する〕

普通紙が重複して給紙される場合にのみ、チェックマークを付けます。

重要

- この機能を使用すると、印刷速度が遅くなります。

〔印刷の向き〔横〕の回転方向を左 90 度にする〕

〔ページ設定〕シートの〔印刷の向き〕の〔横〕に対する回転方向を変更することができます。

左 90 度に回転させて印刷するときはチェックマークを付け、右 90 度に回転させて印刷するときはチェックマークを外します。

重要

- 印刷ジョブが印刷待ち一覧に表示されている間は、設定を変更しないでください。印字が欠けたり、レイアウトが崩れたりする場合があります。

【パソコンからの印刷時に用紙の幅を検知する】

パソコンからの印刷時にプリンターにセットした用紙の幅を判別します。

プリンターが判別した用紙の幅が、[ページ設定] シートの [用紙サイズ] で設定した用紙の幅と異なる場合、メッセージを表示します。

パソコンからの印刷時に用紙の幅を検知するときはチェックマークを付けます。

重要

- ユーザー定義用紙を使用する場合は、プリンターにセットする用紙のサイズを [ユーザー定義用紙] ダイアログボックスで正しく設定してください。
設定と同じサイズの用紙をセットしているのに、エラーメッセージが表示される場合は、チェックマークを外してください。

【インク乾燥待ち時間】

次ページの印刷開始までに、プリンターが休止する時間の長さを設定できます。スライドバーを右にドラッグするほど長く、左にドラッグするほど短くなります。

印刷面が完全に乾かないうちに次ページが排紙されて、用紙が汚れるような場合は、インク乾燥待ち時間を長く設定してください。

短く設定した場合は、印刷時間が速くなります。

4. 設定を適用

[OK] をクリックし、確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

これ以降、プリンターは変更した設定で動作するようになります。

本製品の操作パネルで設定を変更する

- ▶ 低騒音化設定について
- ▶ 本製品の電源を自動でオン／オフする

低騒音化設定について

夜間など、本製品の動作音が気になるときに、動作音をおさえることができます。

以下の手順で設定します。

1. [本製品の電源が入っていることを確認する](#)
2. ストップボタンを押し続け、エラーランプが 9 回点滅したら離す
3. カラーボタンを押す

低騒音化設定を解除する場合はモノクロボタンを押します。

重要

- 低騒音化設定を使用していないときに比べ、動作が遅くなります。

参考

- 低騒音化モードは、本製品の操作パネルやプリンタードライバーから設定することができます。いずれの方法で設定した場合でも、本製品の操作パネルからの操作や、パソコンからの印刷・スキャンを行うときなどに適用されます。
- Windows をご使用の場合は、ScanGear（スキャナードライバー）からも低騒音化モードの設定をすることができます。

本製品の電源を自動でオン／オフする

自動的に本製品の電源をオン／オフするといった、環境に配慮した使用方法を設定することができます。

➡ [本製品の電源を自動でオンする](#)

➡ [本製品の電源を自動でオフする](#)

参考

- 設定を変更すると、消費電力が多くなる場合があります。

本製品の電源を自動でオンする

印刷データが送られたり、パソコンからスキャンの動作がされたりしたときに、自動的に本製品の電源が入るように設定することができます。

1. [本製品の電源が入っていることを確認する](#)
2. ストップボタンを押し続け、エラーランプが 14 回点滅したら離す
3. カラーボタンを押す

設定を解除する場合はモノクロボタンを押します。

参考

- 自動電源オンは、本製品の操作パネルやプリンタードライバーから設定することができます。いずれの方法で設定した場合でも、パソコンからの印刷・スキャンを行うときなどに適用されます。
- Windows をご使用の場合は、ScanGear（スキャナードライバー）からも自動電源オンの設定をすることができます。

本製品の電源を自動でオフする

一定の時間本製品を操作しなかった場合や、印刷データが送られなかった場合に、自動的に本製品の電源が切れるように設定することができます。

1. [本製品の電源が入っていることを確認する](#)
2. ストップボタンを押し続け、エラーランプが 13 回点滅したら離す
3. カラーボタンを押す

設定を解除する場合はモノクロボタンを押します。

参考

- 自動電源オフは、本製品の操作パネルやプリンタードライバーから設定することができます。また、プリンタードライバーからは、自動電源オフするまでの時間を設定することができます。
- Windows をご使用の場合は、ScanGear（スキャナードライバー）からも自動電源オフおよび自動電源オフするまでの時間を設定することができます。

本製品の設定を初期化する

本製品の設定を初期化して、ご購入時の設定に戻すことができます。

重要

- Windows をご使用の場合：

本製品を無線 LAN 接続でご使用の場合は、設定を初期化すると本製品の LAN 接続情報がすべて削除され、印刷できなくなります。再度、無線 LAN 接続でご使用になる場合はセットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。初期化を行う際には、十分注意してください。

- Mac OS、スマートフォン、タブレットをご使用の場合：

本製品を無線 LAN 接続でご使用の場合は、設定を初期化すると本製品の LAN 接続情報がすべて削除され、印刷できなくなります。再度、無線 LAN 接続でご使用になる場合は、ウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。初期化を行う際には、十分注意してください。

本製品の設定を初期化するには、ストップボタンを押し続け、エラーランプが 21 回点滅したら離してください。

すべての設定情報が初期化されます。IJ Network Tool（アイジェイ・ネットワーク・ツール）で設定した管理パスワードは、初期設定に戻ります。

本製品の設定を初期化したあとは、必要に応じてセットアップをやり直してください。

参考

- 次の設定項目は、ご購入時の設定には戻りません。
 - プリントヘッド位置調整結果
 - SSL/TLS（暗号通信）設定の CSR（証明書署名要求）の生成状態

本製品の無線 LAN 機能を無効にする

以下の手順で、本製品の無線 LAN 機能を無効にすることができます。

1. [本製品の電源が入っていることを確認する](#)
2. Wi-Fi ボタンを押し続け、電源ランプが点滅したら離す
3. モノクロボタンを 2 回押し、Wi-Fi ボタンを押す

電源ランプが点滅から点灯に変わり、Wi-Fi ランプが消灯し、無線 LAN が無効になります。

▶▶▶ 参考

- 無線 LAN 機能を有効にするには、カラーボタン、モノクロボタン、Wi-Fi ボタンの順に押します。

ネットワーク接続に関する情報

- ▶ [ネットワーク接続で役立つ情報](#)

ネットワーク接続で役立つ情報

- ▶ 工場出荷時初期値（ネットワーク）
- ▶ [プリンターの接続] 画面／[ケーブルの接続] 画面から先に進めない
- ▶ 同じ名前のプリンターを検出したときは
- ▶ 他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り換える
- ▶ 本製品のネットワーク設定情報を印刷する

工場出荷時初期値（ネットワーク）

LAN 接続の初期値

項目名	初期値
無線 LAN の有効/無効	有効
SSID	BJNPSETUP
通信モード	インフラストラクチャー
無線 LAN セキュリティ	無効
IPv4 IP アドレス	自動設定
IPv6 IP アドレス	自動設定
プリンター名設定	XXXXXX000000
IPv6 の有効/無効	有効
WSD の有効/無効（WSD 設定）	有効
タイムアウト設定（WSD 設定）	1 分
Bonjour の有効/無効（Bonjour 設定）	有効
サービス名（Bonjour 設定）	Canon MG3600 series
LPR プロトコル設定	有効
PictBridge 通信設定	有効

（XXXXXX は本製品の MAC アドレスの下 6 桁）

アクセスポイントモードの初期値

項目名	初期値
SSID（アクセスポイント名）*1	XXXXXX-MG3600series
セキュリティ設定	WPA2-PSK（AES）
パスワード*2	本製品のシリアルナンバー

*1 "XXXXXX"は本製品の MAC アドレスの下 6 桁

*2 ご使用のプリンターにより異なります。

同じ名前のプリンターを検出したときは

本製品を検出したときに、検出結果で同じ名前のプリンターが複数表示される場合があります。

本製品の設定と検出結果を照合して、使用するプリンターを選んでください。

- Windows をご使用の場合：

本製品に設定されている MAC アドレスや本製品のシリアルナンバーと、検出結果の画面に表示されている MAC アドレスやシリアルナンバーを照合して、使用するプリンターを選んでください。

- Mac OS をご使用の場合：

検出結果の画面のプリンター名は、プリンター名の末尾に MAC アドレスが付加されて表示される、または Bonjour を使用して設定したプリンター名で表示されます。

本製品に設定されている MAC アドレス、Bonjour を使用して設定したプリンター名や本製品のシリアルナンバーと、検出結果の画面に表示されている MAC アドレス、Bonjour を使用して設定したプリンター名やシリアルナンバーを照合して、使用するプリンターを選んでください。

▶▶▶ 参考

- 検出結果の画面にシリアルナンバーが表示されない場合があります。

本製品の MAC アドレスやシリアルナンバーは、本製品の操作パネルからネットワーク設定情報を印刷して確認することができます。

➡ [本製品のネットワーク設定情報を印刷する](#)

他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り換える

➡ [Windows をご使用の場合：](#)

➡ [Mac OS をご使用の場合：](#)

Windows をご使用の場合：

本製品と LAN 接続するパソコンを追加したい場合や、本製品を USB 接続で使用しているときに LAN 接続に切り換える場合は、セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従ってセットアップを行います。

Mac OS をご使用の場合：

本製品と LAN 接続するパソコンを追加したい場合や、本製品を USB 接続で使用しているときに LAN 接続に切り換える場合は、ウェブページの指示に従ってセットアップを行います。

本製品のネットワーク設定情報を印刷する

本製品の操作パネルから、現在の LAN 設定を印刷して確認することができます。

重要

- ネットワーク設定情報を印刷した用紙には、お使いのネットワークに関する重要な情報が記載されています。お取り扱いには、十分ご注意ください。

- [1. 本製品の電源が入っていることを確認する](#)
- [2. A4 サイズの普通紙を 2 枚セットする](#)
- Wi-Fi ボタンを押し続け、電源ランプが点滅したら離す
- もう一度 Wi-Fi ボタンを押す

ネットワーク設定情報の印刷が開始されます。

確認できる項目は以下のとおりです。

項目	項目の内容	現在の状態
Product Information	製品情報	—
Product Name	製品名	XXXXXXXX
ROM Version	ROM バージョン	XXXXXXXX
Serial Number	シリアルナンバー	XXXXXXXX
Wireless LAN	無線 LAN の動作モード	Enable (有効) / Disable (無効)
MAC Address	MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
WPS PIN CODE	WPS PIN コード	XXXXXXXX
Infrastructure	インフラストラクチャー	Enable (有効) / Disable (無効)
Connection	接続状態	Active (有効) / Inactive (無効)
SSID	SSID	無線 LAN の SSID
Channel *1	無線チャンネル	XX (1~13)
Encryption	暗号方式の種類	none / WEP / TKIP / AES
WEP Key Length	WEP の bit 数	Inactive / 128 / 64
Authentication	認証方式の種類	none (なし) / auto (自動) / open (オープン) / shared / WPA-PSK / WPA2-PSK
Signal Strength	電波強度	0~100 (%)
TCP/IPv4	TCP/IPv4 の動作モード	Enable (有効)
IP Address	IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX

Subnet Mask	サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XXX
Default Gateway	デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX
TCP/IPv6	TCP/IPv6 の動作モード	Enable (有効) / Disable (無効)
IP Address *2	IP アドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Subnet Prefix Length *2	サブネットプレフィックス長	XXX
Default Gateway *2	デフォルトゲートウェイ	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
IPsec *3	IPsec 設定	Active
Security Protocol *3	セキュリティ方法	ESP / ESP & AH / AH
Access Point Mode	アクセスポイントモードの動作モード	Enable (有効) / Disable (無効)
Connection	接続状態	Active (有効) / Inactive (無効)
SSID	SSID	アクセスポイントモードの SSID
Password	パスワード	アクセスポイントモードのパスワード (半角英数字で 8~10 文字)
Channel	無線チャンネル	3
Encryption	暗号方式の種類	AES
Authentication	認証方式の種類	WPA2-PSK
TCP/IPv4	TCP/IPv4 の動作モード	Enable (有効)
IP Address	IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
Subnet Mask	サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XXX
Default Gateway	デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX
TCP/IPv6	TCP/IPv6 の動作モード	Enable (有効) / Disable (無効)
IP Address *2	IP アドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Subnet Prefix Length *2	サブネットプレフィックス長	XXX
Default Gateway *2	デフォルトゲートウェイ	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
IPsec *3	IPsec 設定	Active
Security Protocol *3	セキュリティ方法	—
Other Settings	その他の設定	—

Printer Name	プリンター名	プリンター名（半角英数字で最大 15 文字）
WSD Printing	WSD 印刷設定	Enable（有効）／Disable（無効）
WSD Timeout	タイムアウト時間	1／5／10／15／20（分）
LPD Printing	LPD 印刷設定	Enable（有効）／Disable（無効）
Bonjour	Bonjour 設定	Enable（有効）／Disable（無効）
Bonjour Service Name	Bonjour のサービス名	Bonjour のサービス名（半角英数字で最大 52 文字）
PictBridge Commun.	PictBridge 通信設定	Enable（有効）／Disable（無効）
DNS Server	DNS サーバーの自動取得	Auto／Manual
Primary Server	プライマリサーバーアドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
Secondary Server	セカンダリサーバーアドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
Proxy Server	プロキシサーバー	Enable（使用する）／Disable（使用しない）
Proxy Address	プロキシアドレス	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
Proxy Port	ポート指定	1～65535

（XX は英数字を示す）

*1 ご購入の国や地域によっては、1 から 11 のいずれかのチャンネルが印刷されます。

*2 IPv6 が有効のときのみ、ネットワークの状態が印刷されます。

*3 IPv6 と IPsec の設定が有効のときのみ、ネットワークの状態が印刷されます。

ネットワーク通信について（Windows）

- ▶ ネットワーク設定を変更／確認する
- ▶ IJ Network Tool の画面の説明（ネットワーク接続）
- ▶ IJ Network Tool の画面の説明（その他）
- ▶ 役立つ情報（ネットワーク）

ネットワーク設定を変更／確認する

- ▶ IJ Network Tool について
- ▶ [無線 LAN] シートの設定を変更する
- ▶ WEP の詳細設定を変更する
- ▶ WPA／WPA2 の詳細設定を変更する
- ▶ [有線 LAN] シートの設定を変更する
- ▶ [管理パスワード] シートの設定を変更する
- ▶ 無線 LAN の通信状況を確認する
- ▶ ダイレクト接続の設定を変更する
- ▶ 本製品のネットワーク設定情報を初期化する
- ▶ 設定内容を確認する

IJ Network Tool について

IJ Network Tool（アイジェイ・ネットワーク・ツール）は、本製品のネットワーク設定を表示または変更するためのユーティリティです。本製品のセットアップ時にインストールされます。

重要

- 本製品を LAN 接続でお使いになる場合は、無線 LAN ルーターや LAN ケーブルなど、利用形態に応じて接続環境を準備してください。
- 印刷中に IJ Network Tool を起動しないでください。
- IJ Network Tool を起動中に印刷しないでください。
- セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を使用している場合、キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージが表示される場合があります。警告メッセージが表示されたら、アクセスを常に許可するように設定してください。
- IJ Network Tool は Windows XP での動作を確認していますが、Windows XP の簡易ユーザー切り替え機能には対応していません。ユーザーの切り替えを行う場合は、あらかじめ IJ Network Tool を終了してから行うことをお勧めします。

IJ Network Tool を起動する

1. 以下のように IJ Network Tool を起動する

- Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、スタート画面上の [IJ Network Tool] を選びます。[IJ Network Tool] が表示されない場合は、[検索] チャームを選び、「IJ Network Tool」を検索してください。
- Windows 7、Windows Vista または Windows XP をご使用の場合は、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [Canon Utilities] → [IJ Network Tool] → [IJ Network Tool] を選びます。

機種によっては、ご購入時の状態で管理パスワードが設定されています。ネットワークの設定を変更するには、管理パスワードの認証が必要となります。

詳細は以下を参照してください。

➡ [管理用のパスワードについて](#)

安全性の向上のため、管理パスワードの変更をおすすめします。

➡ [\[管理パスワード\] シートの設定を変更する](#)

[無線 LAN] シートの設定を変更する

詳細設定を変更する場合は、パソコンと本製品を一時的に USB ケーブルで接続して行うことをお勧めします。無線 LAN 接続で設定を行うと、設定内容により本製品と通信できなくなることがあります。

参考

- この機能は機種によっては対応していません。
- [無線 LAN] シートの設定を変更するときは、本製品で無線 LAN を使用できる設定を選んでください。

1. [IJ Network Tool \(アイジェイ・ネットワーク・ツール\)](#) を起動する

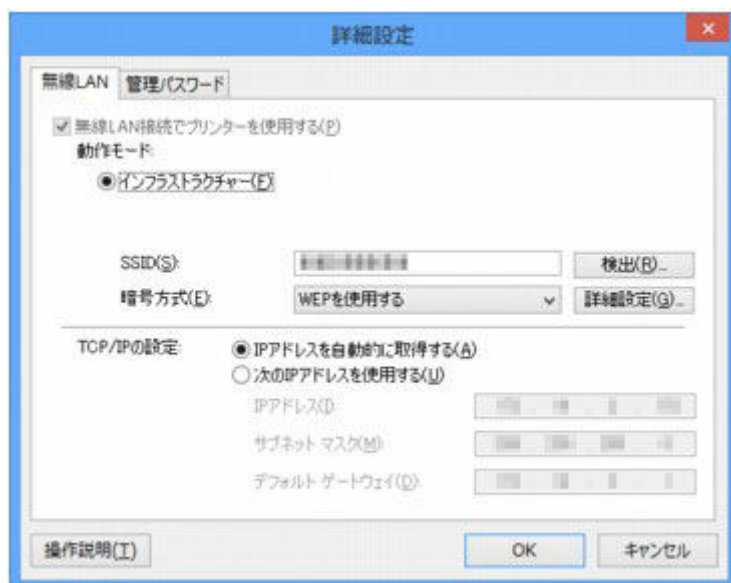
2. [プリンター:] から設定を変更するプリンターを選ぶ

パソコンと一時的に USB ケーブルで接続した場合は、[ポート名] が「USBnnn」(“n”は数字) と表示されているプリンターを選びます。

3. [設定] メニューから [詳細設定...] を選ぶ

4. [無線 LAN] タブをクリックする

[無線 LAN] シートが表示されます。



[無線 LAN] シートの詳細については、「[\[無線 LAN\] シート](#)」を参照してください。

5. 設定を変更／確認する

SSID:

接続したい無線 LAN ルーターに設定されている SSID を入力します。

USB 接続されている場合は、[検出...] ボタンをクリックすると [検出] 画面が表示されます。検出された無線 LAN ルーターか接続する無線 LAN ルーターを選ぶと、その SSID をセットすることができます。

➡ [\[検出\] 画面](#)

▶▶▶ 参考

- SSID は、無線 LAN ルーターで設定している値と同じ値を入力してください。SSID は大文字と小文字が区別されます。

暗号方式:

無線 LAN で使用する暗号方式を選びます。

[WEP を使用する] を選び [詳細設定...] をクリックすると、WEP キーを設定することができます。

➡ [WEP の詳細設定を変更する](#)

[WPA/WPA2 を使用する] を選び [詳細設定...] をクリックすると、WPA/WPA2 キーを設定することができます。

➡ [WPA/WPA2 の詳細設定を変更する](#)

▶▶▶ 重要

- ネットワークに接続しているすべての無線ネットワーク機器（無線 LAN ルーター、プリンター、パソコン）の暗号方式の設定が一致していない場合、通信ができなくなります。プリンターの暗号方式の設定を変更した後にパソコンとプリンターが通信できなくなった場合は、無線 LAN ルーターとパソコンの暗号方式の設定がプリンターの設定と一致しているか確認してください。
- セキュリティで保護されていないネットワーク環境に接続する場合は、お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。十分、ご注意ください。

TCP/IP の設定:

LAN 接続で使用するプリンターの IP アドレスを設定します。ご使用のネットワーク環境に応じて設定してください。

6. [OK] ボタンをクリックする

詳細設定を変更した場合は、設定内容をプリンターに送信するか確認する画面が表示されます。[はい] ボタンをクリックすると、[送信された設定内容] 画面が表示され、変更内容を確認できます。

▶▶▶ 参考

- 一時的に USB ケーブルでネットワーク設定を変更したことで通常使うプリンターが変更された場合は、通常使いたいプリンターを [通常使うプリンターに設定] に指定してください。

WEP の詳細設定を変更する

参考

- この機能は機種によっては対応していません。

詳細設定を変更する場合は、パソコンと本製品を一時的に USB ケーブルで接続して行うことをお勧めします。無線 LAN 接続で設定を行うと、設定内容により本製品と通信できなくなることがあります。

1. [IJ Network Tool \(アイジェイ・ネットワーク・ツール\)](#) を起動する

2. [プリンター:] から設定を変更するプリンターを選ぶ

パソコンと一時的に USB ケーブルで接続した場合は、[ポート名] が「USBnnn」(“n”は数字) と表示されているプリンターを選びます。

3. [設定] メニューから [詳細設定...] を選ぶ

4. [無線 LAN] タブをクリックする

5. [暗号方式:] で [WEP を使用する] を選び、[詳細設定...] ボタンをクリックする

[WEP 詳細] 画面が表示されます。

6. 設定を変更/確認する

WEP キーを変更する場合は、無線 LAN ルーターの WEP キーも同じく変更する必要があります。



1. WEP キー:

無線 LAN ルーターと同じ値を入力してください。

キーの長ささとキーの書式の組み合わせにより、入力できる文字数と文字種が異なります。

		キーの長さ	
		64 ビット	128 ビット
キーの書式	文字	5 文字	13 文字
	16 進数	10 桁	26 桁

2. キーの長さ:

[64 ビット] または [128 ビット] から選びます。

3. キーの書式:

[文字] または [16 進数] から選びます。

4. 使用するキー:

無線 LAN ルーターに設定されている WEP キーの番号を選びます。

5. 認証方式:

認証動作の方式を選びます。認証動作はプリンターを無線 LAN ルーターと通信できる状態にするために行います。

通常は〔自動〕を選んでください。無線 LAN ルーターの設定に合わせて〔オープン〕または〔共有キー〕からも選べます。

7. [OK] ボタンをクリックする

重要

- プリンターの暗号方式の設定を変更した後にパソコンとプリンターが通信できなくなった場合は、無線 LAN ルーターとパソコンの暗号方式の設定がプリンターの設定と一致しているか確認してください。

参考

- 一時的に USB ケーブルでネットワーク設定を変更したことで通常使うプリンターが変更された場合は、通常使いたいプリンターを〔通常使うプリンターに設定〕に指定してください。

WPA/WPA2 の詳細設定を変更する

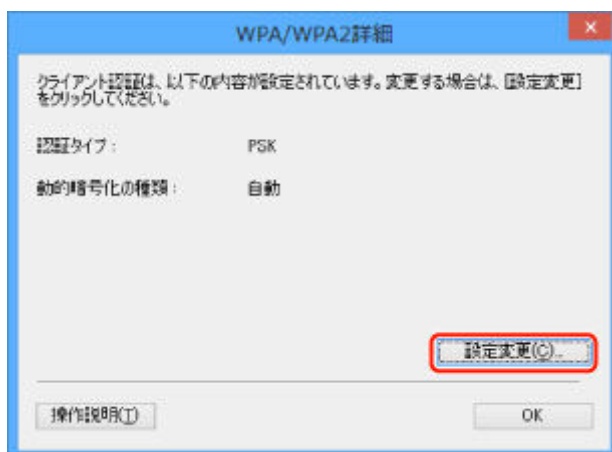
参考

- この機能は機種によっては対応していません。

詳細設定を変更する場合は、パソコンと本製品を一時的に USB ケーブルで接続して行うことをお勧めします。無線 LAN 接続で設定を行うと、設定内容により本製品と通信できなくなることがあります。

ここでは WPA の詳細設定を変更するときの画面を例に説明しています。

1. [IJ Network Tool \(アイジェイ・ネットワーク・ツール\)](#) を起動する
2. [プリンター:] から設定を変更するプリンターを選ぶ
パソコンと一時的に USB ケーブルで接続した場合は、[ポート名] が「USBnnn」(“n”は数字) と表示されているプリンターを選びます。
3. [設定] メニューから [詳細設定...] を選ぶ
4. [無線 LAN] タブをクリックする
5. [暗号方式] で [WPA/WPA2 を使用する] を選び、[詳細設定...] ボタンをクリックする
[WPA/WPA2 詳細] 画面が表示されます。
プリンターの暗号方式が設定されていない場合は、[認証タイプの確認] 画面が表示されます。手順 7 に進んでください。
6. [設定変更...] ボタンをクリックする



7. 認証タイプを確認し、[次へ>] ボタンをクリックする



8. パスフレーズを入力し、[次へ>] ボタンをクリックする

無線 LAN ルーターで設定したパスフレーズを、8 文字以上 63 文字以内の半角英数字または 64 桁の 16 進数で入力してください。

パスフレーズが不明な場合の確認方法は、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

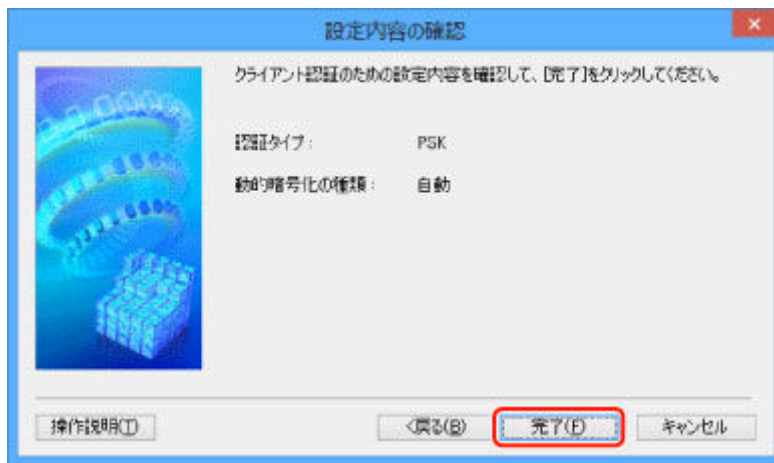
動的暗号化の種類（暗号化方式）は、TKIP（基本的な暗号化）または AES（強固な暗号化）のどちらかが自動で選ばれます。

重要

- [動的暗号化の種類:] で [自動] が表示されない場合は、[TKIP(基本的な暗号化)] または [AES(強固な暗号化)] を選んでください。



9. [完了] ボタンをクリックする



重要

- プリンターの暗号方式の設定を変更した後にパソコンとプリンターが通信できなくなった場合は、無線 LAN ルーターとパソコンの暗号方式の設定がプリンターの設定と一致しているか確認してください。

参考

- 一時的に USB ケーブルでネットワーク設定を変更したことで通常使うプリンターが変更された場合は、通常使いたいプリンターを「通常使うプリンターに設定」に指定してください。

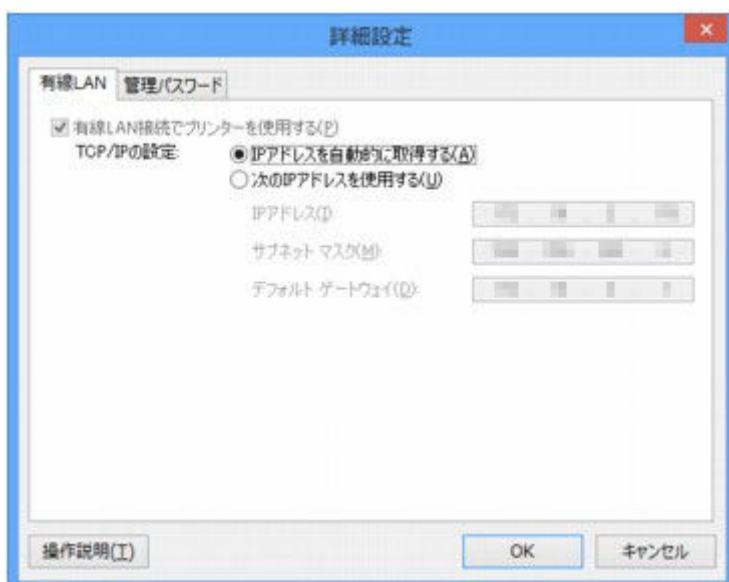
[有線 LAN] シートの設定を変更する

▶▶▶ 参考

- この機能は機種によっては対応していません。
- [有線 LAN] シートの設定を変更するときは、本製品で有線 LAN を使用できる設定を選んでください。

1. [IJ Network Tool \(アイジェイ・ネットワーク・ツール\)](#) を起動する
2. [プリンター:] から設定を変更するプリンターを選ぶ
3. [設定] メニューから [詳細設定...] を選ぶ
4. [有線 LAN] タブをクリックする

[有線 LAN] シートが表示されます。



[有線 LAN] シートの詳細については、「[\[有線 LAN\] シート](#)」を参照してください。

5. 設定を変更／確認する

LAN 接続で使用するプリンターの IP アドレスを設定します。ご使用のネットワーク環境に応じて設定してください。

6. [OK] ボタンをクリックする

詳細設定を変更した場合は、設定内容をプリンターに送信するか確認する画面が表示されます。[はい] ボタンをクリックすると、[送信された設定内容] 画面が表示され、変更内容を確認できます。

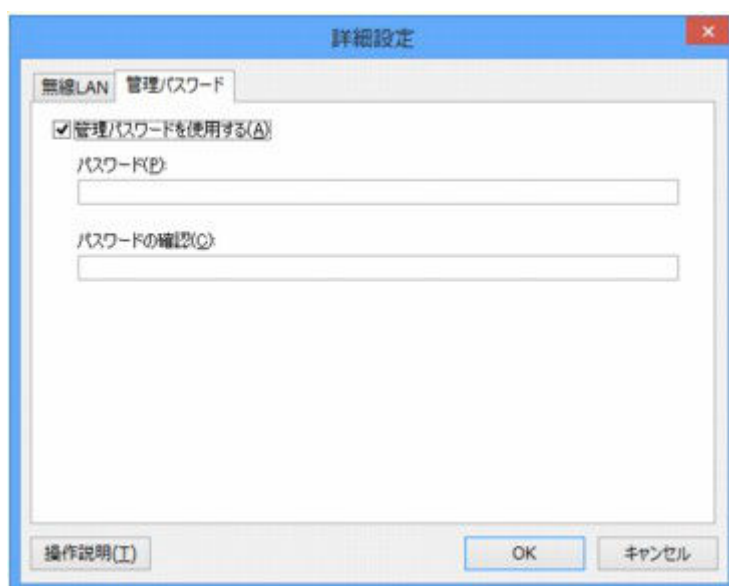
【管理パスワード】 シートの設定を変更する

▶▶▶ 参考

- ダイレクト接続（アクセスポイントモード）で使用しているときは、設定を変更できません。

1. [IJ Network Tool（アイジェイ・ネットワーク・ツール）](#) を起動する
2. [プリンター:] から設定を変更するプリンターを選ぶ
3. [設定] メニューから [詳細設定...] を選ぶ
4. [管理パスワード] タブをクリックする

[管理パスワード] シートが表示されます。



[管理パスワード] シートの詳細については、「[【管理パスワード】 シート](#)」を参照してください。

5. 設定を変更／確認する

管理パスワードを使用する場合は、[管理パスワードを使用する] にチェックマークを付けてパスワードを入力してください。

▶▶▶ 重要

- パスワードは半角英数字 4～32 文字以内で設定してください。大文字小文字は区別されます。設定したパスワードは、忘れないようにしてください。
設定した管理パスワードを忘れた場合は、本製品を初期化すると、管理パスワードが初期設定に戻ります。

6. [OK] ボタンをクリックする

設定内容をプリンターに送信するか確認する画面が表示されます。[はい] ボタンをクリックすると、[送信された設定内容] 画面が表示され、変更内容を確認できます。

無線 LAN の通信状況を確認する

参考

- この機能は機種によっては対応していません。
- 有線 LAN で本製品をご使用の場合は、通信状況を確認することはできません。

1. [IJ Network Tool（アイジェイ・ネットワーク・ツール）](#) を起動する
2. [プリンター:] から通信状況を確認するプリンターを選ぶ
3. [表示] メニューから [通信状況] を選ぶ

[通信状況] 画面が表示され、プリンターの状態と無線 LAN の通信状況を確認できます。



1. [電波強度:]

プリンターの受信している電波の強さが 0% から 100% の値で表示されます。

2. [通信レベル:]

ノイズを除いた電波の状態が 0% から 100% の値で表示されます。

重要

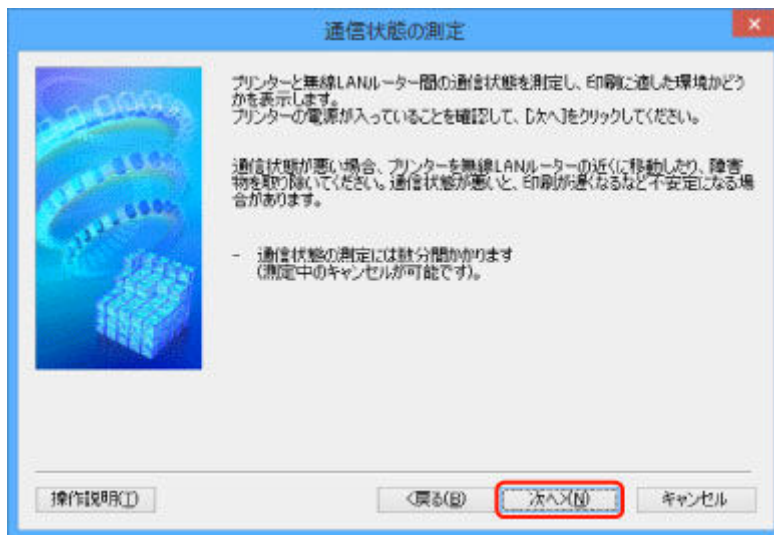
- 値が少ない場合は、プリンターを無線 LAN ルーターの近くに移動させてください。

4. 詳細測定をする場合は、[詳細測定...] ボタンをクリックする

[通信状態の測定] 画面が表示されます。

5. [次へ>] ボタンをクリックする

通信状態の詳細測定が開始され、測定状況が表示されます。この測定には数分間かかります。



6. 測定結果を確認する

測定が終了すると、測定結果が表示されます。



[プリンターと無線 LAN ルーター間の通信状態:] に  が表示された場合は、通信可能な状態です。その他のマークが表示された場合は、表示されているメッセージや以下の項目を確認し、通信状態を改善してから [再測定] ボタンをクリックしてください。

- プリンターと無線 LAN ルーターが、無線通信可能な見通しのいい場所に設置されているか
- プリンターと無線 LAN ルーターの距離が離れすぎていないか
適正な距離（屋内の約 50 m/164 ft 以内）に近づけてください。
- プリンターと無線 LAN ルーターの間に遮蔽物がないか
壁越し、フロア間での通信は、一般に通信状況が悪くなります。設置位置を調整してください。
- プリンターや無線 LAN ルーターの近くに電波干渉源がないか
電子レンジ等などの電波発生源と同じ周波数帯を使用していることがありますので、それら電波干渉源からできるだけ離して設置してください。
- ご使用の無線 LAN ルーターの無線チャンネルが、周辺の無線 LAN ルーターから離れているか

無線チャンネルが、周辺の無線 LAN ルーターに近い場合は通信状態が不安定になる場合があります。無線 LAN ルーターの無線チャンネルを確認して、離れた無線チャンネルをご使用ください。

- プリンターや無線 LAN ルーターが向き合っているか

無線通信機器は、設置されている向きによって通信状態が変化する場合があります。プリンターや無線 LAN ルーターの向きを調整してください。

- 他のパソコンがプリンターへアクセスしていないか

測定結果で  が表示された場合は、他のパソコンがプリンターへアクセスしていないか確認してください。

上記の項目を試しても、測定結果で  が表示される場合は、いったん測定を終了し、再度 IJ Network Tool を起動してから測定をやり直してください。

7. [完了] ボタンをクリックする

▶▶▶ 参考

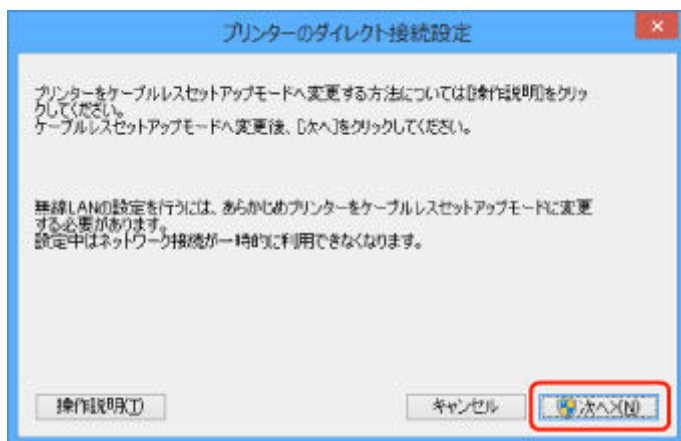
- [ネットワーク全体の状態:] についてメッセージが表示された場合は、画面の指示に従ってプリンターと無線 LAN ルーターの設置場所を改善してください。

ダイレクト接続の設定を変更する

参考

- この機能は機種によっては対応していません。
- ご使用の機種によっては、「ダイレクト接続」は取扱説明書などで「アクセスポイントモード」と呼ばれている場合があります。
- ご使用のパソコンが無線 LAN に対応している場合のみ使用できます。

1. [IJ Network Tool \(アイジェイ・ネットワーク・ツール\)](#) を起動する
2. [設定] メニューから [プリンターのダイレクト接続の設定を行う...] を選ぶ
[プリンターのダイレクト接続設定] 画面が表示されます。
3. 画面に表示されているメッセージを確認して、[次へ] ボタンをクリックする

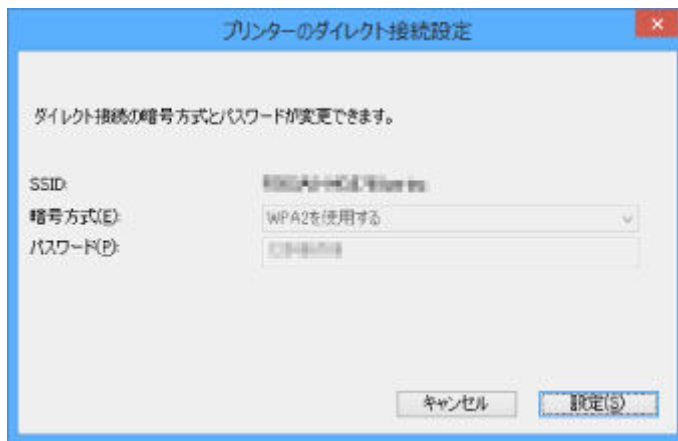


4. [ユーザー アカウント制御] 画面が表示された場合は、[はい] ボタンをクリックする
[プリンターの選択] 画面が表示されます。

参考

- 設定の変更ができるプリンターが 1 台の場合は、[プリンターのダイレクト接続設定] 画面が表示されます。手順 7 に進んでください。

5. [プリンターの選択] 画面から設定を変更するプリンターを選び、[OK] ボタンをクリックする
[プリンターのダイレクト接続設定] 画面に、設定されている SSID (アクセスポイント名)、暗号方式、パスワードが表示されます。
6. 必要に応じて暗号方式、パスワードを変更する



重要

- 機種によっては、暗号方式、パスワードを変更できません。
- 暗号方式、パスワードを変更できない機種は、本体の操作パネルで SSID とパスワードをセットで自動更新することができます。(暗号方式は変更できません。)
- 詳細は、ご使用の機種のオンラインマニュアルで「UG500」 / 「UG501」を検索し、表示される説明をご覧ください。

7. [設定] ボタンをクリックする

プリンターに情報が送信されます。

本製品のネットワーク設定情報を初期化する

重要

- 初期化を行うと本製品の LAN 接続情報がすべて削除され、パソコンからの印刷、スキャンができなくなります。再度、LAN 接続でご使用になる場合は、セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。初期化を行う際には、十分注意してください。

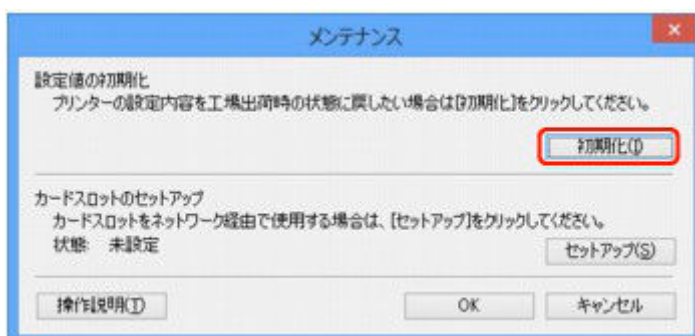
1. [IJ Network Tool \(アイジェイ・ネットワーク・ツール\)](#) を起動する

2. [プリンター:] から設定情報を初期化するプリンターを選ぶ

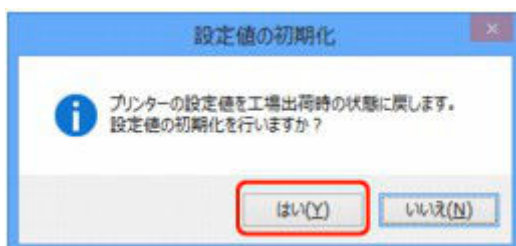
3. [設定] メニューから [メンテナンス...] を選ぶ

[メンテナンス] 画面が表示されます。

4. [初期化] ボタンをクリックする



5. 確認メッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックする



プリンターのネットワーク設定情報の初期化を行います。

初期化中は、プリンターの電源を切らないでください。

初期化が完了したら、[OK] ボタンをクリックしてください。

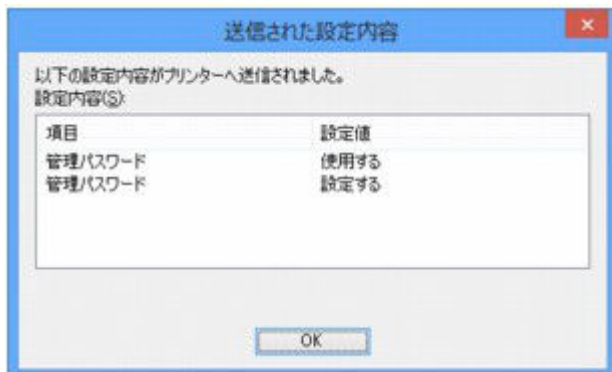
無線 LAN で接続していた場合、初期化を行うと通信ができなくなりますので、セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。

参考

- 本製品の LAN の設定を初期化したあとも、USB 接続で IJ Network Tool を使用して本製品のネットワーク設定を行うことができます。その場合は、本製品の LAN 設定を有効にしてから、ネットワーク設定を行ってください。

設定内容を確認する

〔詳細設定〕画面で設定を変更後〔OK〕ボタンをクリックすると、設定内容をプリンターに送信するか確認する画面が表示されます。〔はい〕ボタンをクリックすると、以下の画面が表示され、変更内容を確認できます。



IJ Network Tool の画面の説明（ネットワーク接続）

- [Canon IJ Network Tool] 画面
- [詳細設定] 画面
- [無線 LAN] シート
- [検出] 画面
- [WEP 詳細] 画面
- [WPA/WPA2 詳細] 画面
- [認証タイプの確認] 画面
- [PSK : パスフレーズと動的暗号化の設定] 画面
- [設定内容の確認] 画面
- [有線 LAN] シート
- [管理パスワード] シート
- [ネットワーク情報] 画面
- [アクセス制限] シート
- [アクセス可能な MAC アドレスの編集] 画面／[アクセス可能な MAC アドレスの追加] 画面
- [アクセス可能な IP アドレスの編集] 画面／[アクセス可能な IP アドレスの追加] 画面

[Canon IJ Network Tool] 画面

ここでは、[Canon IJ Network Tool] 画面の項目やメニューについて説明しています。

⇒ [\[Canon IJ Network Tool\] 画面の項目](#)

⇒ [\[Canon IJ Network Tool\] 画面のメニュー](#)

[Canon IJ Network Tool] 画面の項目

[Canon IJ Network Tool] 画面には、以下の項目があります。



1. [プリンター:]

名前や状態、モデル、ポート名を確認できます。

[名前] 欄にチェックマークが付いている場合は、通常使うプリンターに設定されていることを示しています。

選択された（反転表示されている）プリンターを対象に各種設定を行います。

2. [更新]

再度、プリンターの検出を行います。設定を変更するプリンターが一覧に表示されない場合に行います。

重要

- IJ Network Tool（アイジェイ・ネットワーク・ツール）でプリンターの設定を変更するには、LAN 接続でセットアップされている必要があります。
- 名前に「ドライバー無し」と表示されている場合は、[設定] メニューの「ポートの関連付け」を選び、ポートとプリンターの関連付けをしてください。
 - ⇒ [ポートが関連付けられていないとき](#)
- 状態に「通信不可」と表示されている場合は、以下のことを確認してください。
 - 無線 LAN ルーターの電源が入っている
 - 有線 LAN 接続の場合、LAN ケーブルが正しく接続されている
- ネットワーク上のプリンターが一覧に表示されない場合は、プリンターの電源が入っていることを確認して「更新」ボタンをクリックしてください。プリンターが一覧に表示されるまで数分かかる場合があります。それでもプリンターが一覧に表示されない場合は、パソコンと本製品を USB ケーブルで接続してから「更新」ボタンをクリックしてください。

- ほかのパソコンなどからプリンターが使用されている場合は、プリンターが使用中であることをお知らせする画面が表示されます。

参考

- [表示] メニューの [\[最新の情報に更新\]](#) と同じ機能です。

3. [詳細設定...]

[詳細設定] 画面が表示され、選んだプリンターについての詳細設定を行えます。

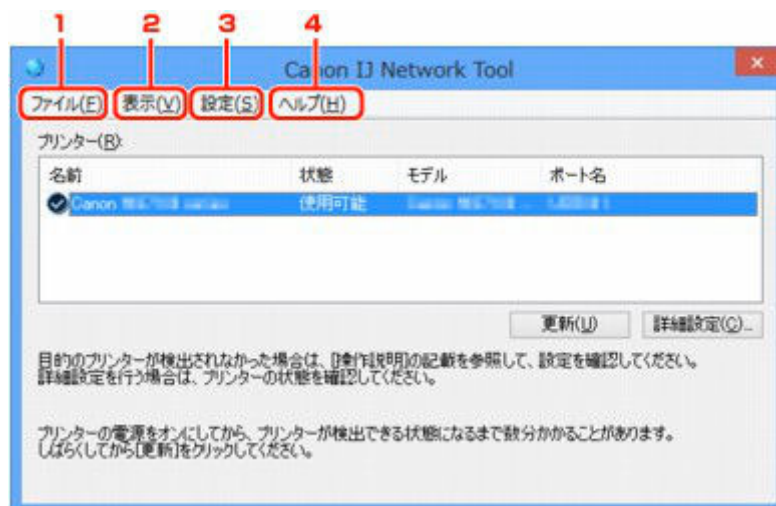
➡ [\[詳細設定\] 画面](#)

参考

- [通信不可] の状態のプリンターについては、詳細設定を行うことはできません。
- [設定] メニューの [\[詳細設定...\]](#) と同じ機能です。

[Canon IJ Network Tool] 画面のメニュー

[Canon IJ Network Tool] 画面には、以下のメニューがあります。



1. [ファイル] メニュー

【終了】

IJ Network Tool (アイジェイ・ネットワーク・ツール) を終了します。

2. [表示] メニュー

【通信状況】

[通信状況] 画面が表示され、プリンターの状態と無線 LAN の通信状況を確認できます。

ダイレクト接続時（アクセスポイントモード時）はグレーアウト表示になり、通信状況を確認できません。

➡ [\[通信状況\] 画面](#)

【最新の情報に更新】

[Canon IJ Network Tool] 画面で表示されている [プリンター:] の内容を最新の情報にします。

重要

- IJ Network Tool でプリンターの設定を変更するには、LAN 接続でセットアップされている必要があります。
- 名前に「[ドライバー無し]」と表示されている場合は、[設定] メニューの「[ポートの関連付け...]」を選び、ポートとプリンターの関連付けをしてください。

➡ [ポートが関連付けられていないとき](#)

- 状態に「[通信不可]」と表示されている場合は、以下のことを確認してください。
 - 無線 LAN ルーターの電源が入っている
 - 有線 LAN 接続の場合、LAN ケーブルが正しく接続されている
- ネットワーク上のプリンターが一覧に表示されない場合は、プリンターの電源が入っていることを確認して「[最新の情報に更新]」を選んでください。プリンターが一覧に表示されるまで数分かかる場合があります。それでもプリンターが一覧に表示されない場合は、パソコンと本製品を USB ケーブルで接続してから「[最新の情報に更新]」を選んでください。
- ほかのパソコンなどからプリンターが使用されている場合は、プリンターが使用中であることをお知らせする画面が表示されます。

参考

- [Canon IJ Network Tool] 画面の [\[更新\]](#) ボタンと同じ機能です。

【ネットワーク情報】

【ネットワーク情報】画面が表示され、プリンターやパソコンに設定されているネットワークの情報を確認できます。

➡ [【ネットワーク情報】画面](#)

【警告発生時に自動で表示】

操作説明画面を自動で表示するかしないかを切り替えます。

メニューにチェックマークが表示されていると、印刷可能ではないポートが 1 つ以上ある場合に操作説明画面が表示されます。

3. [設定] メニュー

【詳細設定...】

【詳細設定】画面が表示され、選んだプリンターについての詳細設定を行えます。

➡ [【詳細設定】画面](#)

参考

- [Canon IJ Network Tool] 画面の [【詳細設定...】](#) ボタンと同じ機能です。

【プリンター使用時の切り替え機能を有効にする】

ご使用のプリンターが利用できなくなった場合、ネットワーク上の同じ機種種のプリンターへ利用を切り替えることができます。プリンター切り替え機能を有効にすると、利用できなくなったときに、ネットワーク上の同じ機種種のプリンターを検索するかを確認する画面が表示されます。メッセージに従って操作してください。

参考

- プリンター切り替え機能を有効にしているときは、メニューにチェックマークが表示されます。

【今すぐプリンター切り替えを行う】

使用するプリンターを、ネットワーク上の同じ機種プリンターに今すぐに切り替えることができます。クリックするとネットワーク上の同じ機種プリンターを検索し、[プリンターの選択] 画面に検索結果が表示されます。使用するプリンターを選んでください。

【ポートの関連付け...】

[ポートの関連付け] 画面が表示され、ポートとプリンターの関連付けを行えます。

⇒ [【ポートの関連付け】 画面](#)

選んだプリンターが [ドライバー無し] と表示されているときのみ選ぶことができ、ポートとプリンターが関連付けられると、印刷ができるようになります。

【メンテナンス...】

[メンテナンス] 画面が表示され、プリンターのネットワーク設定情報を工場出荷時の状態に戻したり、ネットワークドライブとしてカードスロットを設定することができます。

⇒ [【メンテナンス】 画面](#)

【プリンターのダイレクト接続の設定を行う...】

ダイレクト接続（アクセスポイントモード）の設定を変更または確認することができます。

⇒ [ダイレクト接続の設定を変更する](#)

4. [ヘルプ] メニュー

【操作説明】

本マニュアルが表示されます。

【バージョン情報】

IJ Network Tool のバージョンを確認できます。

【詳細設定】画面

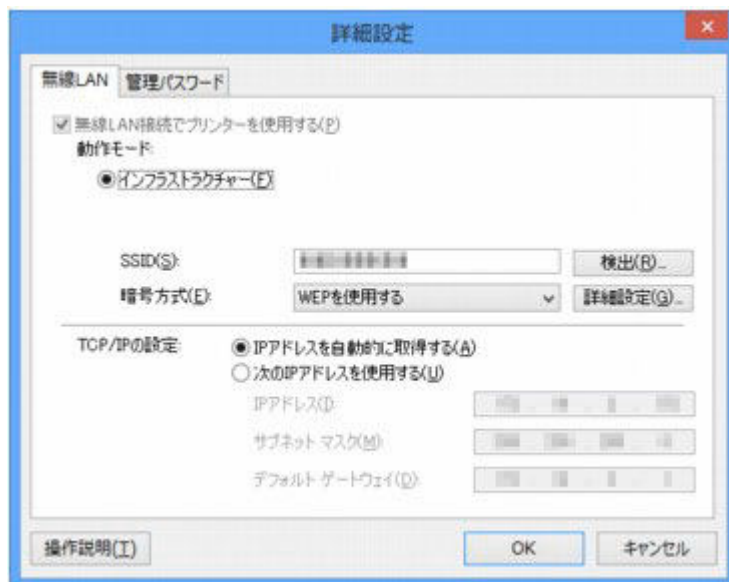
【Canon IJ Network Tool】画面で選んだプリンターの詳細設定を行えます。

タブをクリックして、設定を行うシートを選んでください。

以下の画面は無線 LAN 接続時の画面を例に説明しています。

参考

- この機能は機種によっては対応していません。



各シートの詳細については、以下を参照してください。

➡ [\[無線 LAN\] シート](#)

➡ [\[有線 LAN\] シート](#)

➡ [\[管理パスワード\] シート](#)

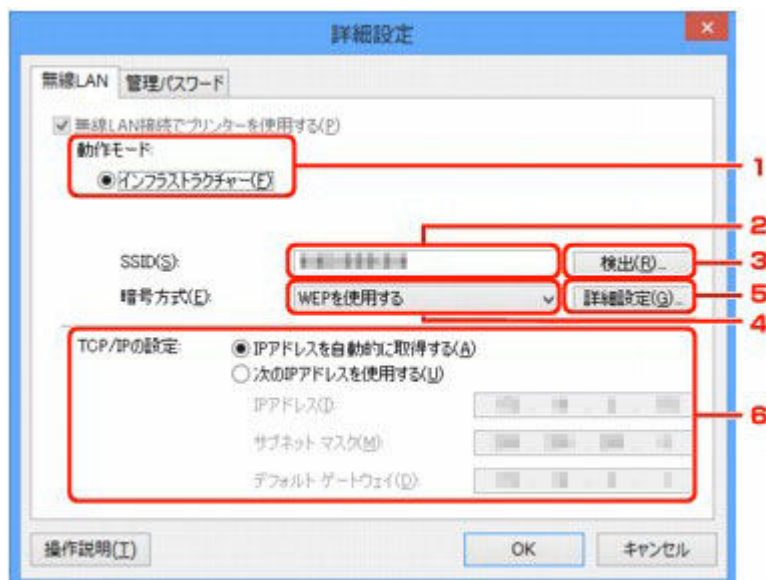
[無線 LAN] シート

参考

- この機能は機種によっては対応していません。

無線 LAN 接続でプリンターを使用する設定を行います。

[詳細設定] 画面で [無線 LAN] タブをクリックすると表示されます。



1. [動作モード:]

現在設定している無線 LAN の動作モードが表示されます。

[インフラストラクチャー]

無線 LAN ルーターを使用して無線でネットワークに接続します。

[ダイレクト接続]

本製品をアクセスポイント（無線 LAN ルーター）として使用し、外部無線通信端末（パソコン、スマートフォン、タブレットなど）と接続します。

参考

- [動作モード] で [ダイレクト接続] と表示されているときは、[無線 LAN] シートの各設定や [管理パスワード] シートの設定を変更できません。
- プリンターをダイレクト接続（アクセスポイントモード）で使用する時の設定を変更または確認する場合は、[設定] メニューの [プリンターのダイレクト接続の設定を行う...] から行います。

➡ [ダイレクト接続の設定を変更する](#)

2. [SSID:]

接続されている無線 LAN のネットワークの名前（SSID）が表示されます。

参考

- SSID は、無線 LAN ルーターで設定している値と同じ値を入力してください。SSID は大文字と小文字が区別されます。

ダイレクト接続時（アクセスポイントモード時）は、本製品をアクセスポイント（無線 LAN ルーター）として使用する時のアクセスポイント名（SSID）が表示されます。

初期設定であらかじめ固定の値が入力されています。

3. [検出...]

[検出] 画面が表示され、接続する無線 LAN ルーターを選べます。

➡ [\[検出\] 画面](#)

参考

- LAN 接続で IJ Network Tool を起動している場合は、グレイアウト表示になり設定できません。設定を行う場合はパソコンと本製品を一時的に USB ケーブルで接続してください。

4. [暗号方式:]

無線 LAN で使用する暗号方式を選びます。

[使用しない]

暗号化を使用しないときに選びます。

[WEP を使用する]

WEP キーを設定し、通信内容の暗号化を行います。

WEP キーを設定していない場合は、[WEP 詳細] 画面が自動的に表示されます。すでに設定されている WEP キーを変更する場合は、[詳細設定...] ボタンをクリックします。

➡ [WEP の詳細設定を変更する](#)

[WPA/WPA2 を使用する]

WPA/WPA2 キーを設定し、通信内容の暗号化を行います。

WEP 方式よりセキュリティが強化されます。

WPA/WPA2 キーを設定していない場合は、詳細を設定する画面が自動的に表示されます。すでに設定されている WPA/WPA2 キーを変更する場合は、[詳細設定...] ボタンをクリックします。

➡ [WPA/WPA2 の詳細設定を変更する](#)

5. [詳細設定...]

詳細を設定する画面が表示され、[暗号方式:] で選んだ WEP キーまたは WPA/WPA2 キーの確認や変更ができます。

[WEP を使用する] を選んだ場合

➡ [WEP の詳細設定を変更する](#)

[WPA/WPA2 を使用する] を選んだ場合

➡ [WPA/WPA2 の詳細設定を変更する](#)

6. [TCP/IP の設定:]

LAN 接続で使用するプリンターの IP アドレスをネットワーク環境に応じて設定します。

[IP アドレスを自動的に取得する]

DHCP サーバー機能によって自動的に割り振られる IP アドレスを使用する場合に選びます。ルーターの DHCP サーバー機能が有効になっている必要があります。

【次の IP アドレスを使用する】

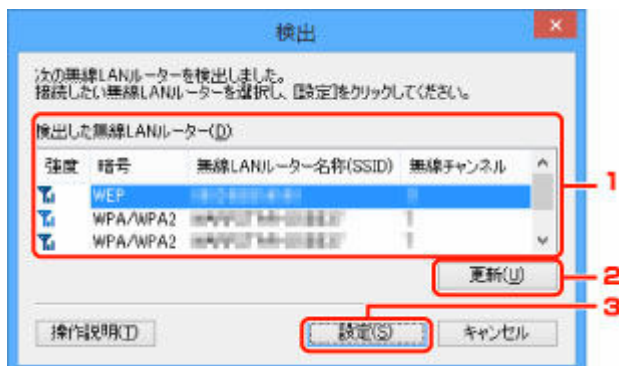
プリンターを使用する環境に DHCP サーバー機能がない場合や、特定の IP アドレスまたは固定 IP アドレスをプリンターに設定したい場合など、プリンターに手動で IP アドレスを設定する場合に選
びます。

[検出] 画面

参考

- この機能は機種によっては対応していません。

検出された無線 LAN ルーターが一覧で表示されます。



1. [検出した無線 LAN ルーター:]

無線 LAN ルーターからの電波の強さや暗号方式、無線 LAN ルーター名称 (SSID)、無線チャンネルを確認できます。

重要

- セキュリティで保護されていないネットワーク環境に接続する場合は、お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。十分、ご注意ください。

参考

- 電波の強さは、アンテナと一緒に表示される電波の本数で表されます。

: 強い

: 中くらい

: 弱い

- 設定されている暗号方式が文字で表示されます。

空白 : 暗号方式の設定なし

WEP : WEP キーあり

WPA/WPA2 : WPA/WPA2 キーあり

2. [更新]

使用したい無線 LAN ルーターが検出されない場合にクリックしてください。再度、無線 LAN ルーターの検出を行います。

ステルス機能を使用している場合は、[キャンセル] ボタンをクリックし、[無線 LAN] シートで無線 LAN ルーターに合わせて [SSID:] を設定してください。

➡ [\[無線 LAN\] シート](#)

▶▶▶ 参考

- 無線 LAN ルーターを検出するときは、無線 LAN ルーターの電源が入っていることを確認してください。

3. [設定]

選んだ無線 LAN ルーターの SSID を [無線 LAN] シートの [SSID:] に設定します。

▶▶▶ 参考

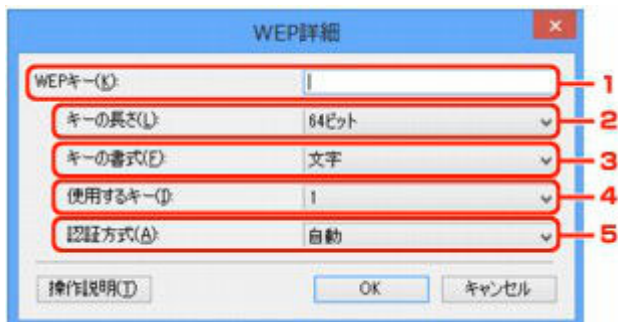
- 選んだ無線 LAN ルーターに暗号化が設定されている場合は、設定されている暗号方式に従って [WPA/WPA2 詳細] 画面または [WEP 詳細] 画面が表示されます。この場合は、無線 LAN ルーターの暗号化の設定と同じ内容を設定してください。
- 設定されている暗号化の方式が異なるなどの理由で、本製品から利用できない無線 LAN ルーターはグレーアウト表示になり、設定できません。

[WEP 詳細] 画面

参考

- この機能は機種によっては対応していません。

プリンターに WEP キーを設定します。



参考

- プリンターの WEP キーを変更する場合は、無線 LAN ルーターの WEP キーも同じく変更する必要があります。

1. [WEP キー:]

無線 LAN ルーターと同じ値を入力します。

キーの長さとキーの書式の組み合わせにより、入力できる文字数と文字種が異なります。

		キーの長さ	
		64 ビット	128 ビット
キーの書式	文字	5 文字	13 文字
	16 進数	10 桁	26 桁

2. [キーの長さ:]

[64 ビット] または [128 ビット] から選びます。

3. [キーの書式:]

[文字] または [16 進数] から選びます。

4. [使用するキー:]

無線 LAN ルーターに設定されている WEP キーの番号を選びます。

5. [認証方式:]

認証動作の方式を選びます。認証動作はプリンターを無線 LAN ルーターと通信できる状態にするために行います。

[自動] [オープン] [共有キー] から選びます。

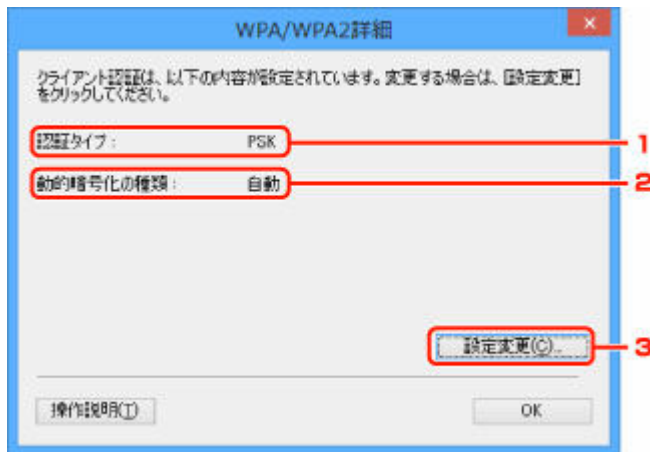
[WPA/WPA2 詳細] 画面

参考

- この機能は機種によっては対応していません。

プリンターに WPA/WPA2 キーを設定します。

表示される項目は、現在の設定内容により異なります。



1. [認証タイプ :]

クライアント認証のための認証タイプが表示されます。本製品は PSK をサポートしています。

2. [動的暗号化の種類 :]

動的暗号化の種類が表示されます。

3. [設定変更...]

[認証タイプの確認] 画面が表示されます。

➡ [\[認証タイプの確認\] 画面](#)

【認証タイプの確認】画面

参考

- この機能は機種によっては対応していません。

クライアント認証のための認証タイプが表示されます。



1. 【認証タイプ】

クライアント認証のための認証タイプが表示されます。

【PSK】

本製品は認証タイプとして【PSK】をサポートしています。

【PSK】とは、【パスフレーズ】を使って認証を行う方式です。

〔PSK：パスフレーズと動的暗号化の設定〕 画面

参考

- この機能は機種によっては対応していません。

パスフレーズと動的暗号化の種類を設定します。



1. 〔パスフレーズ:〕

無線 LAN ルーターで設定したパスフレーズを、8 文字以上 63 文字以内の半角英数字または 64 桁の 16 進数で入力してください。

パスフレーズが不明な場合の確認方法は、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

2. 〔動的暗号化の種類〕

TKIP（基本的な暗号化）または AES（強固な暗号化）が自動で選ばれます。

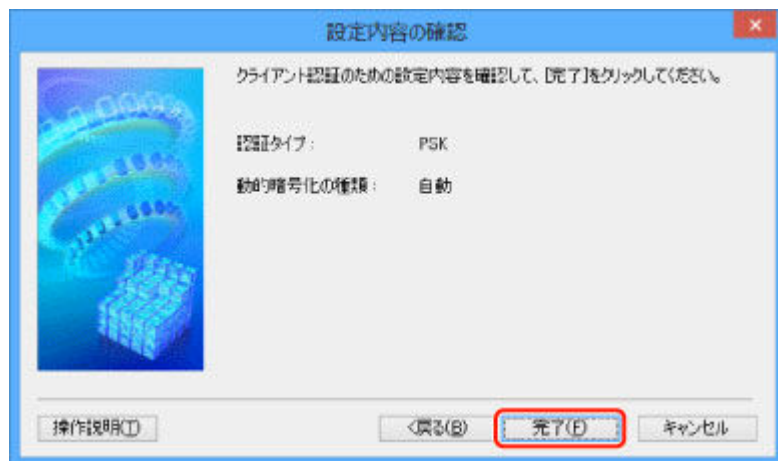
【設定内容の確認】画面

参考

- この機能は機種によっては対応していません。

クライアント認証のための設定内容が表示されます。

設定内容を確認し、[完了] をクリックします。



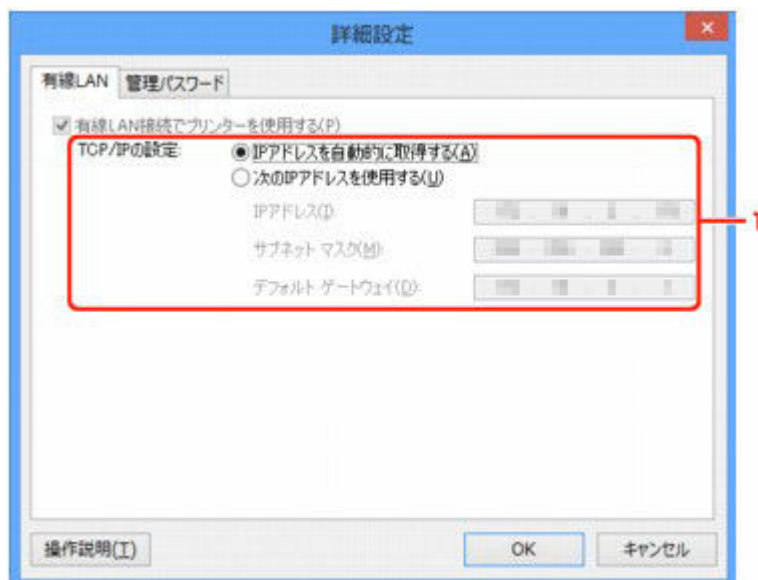
[有線 LAN] シート

参考

- この機能は機種によっては対応していません。

有線 LAN 接続でプリンターを使用する設定を行います。

[詳細設定] 画面で [有線 LAN] タブをクリックすると表示されます。



1. [TCP/IP の設定:]

LAN 接続で使用するプリンターの IP アドレスを設定します。ご使用のネットワーク環境に応じて設定してください。

[IP アドレスを自動的に取得する]

DHCP サーバー機能によって自動的に割り振られる IP アドレスを使用する場合に選びます。ルーターの DHCP サーバー機能が有効になっている必要があります。

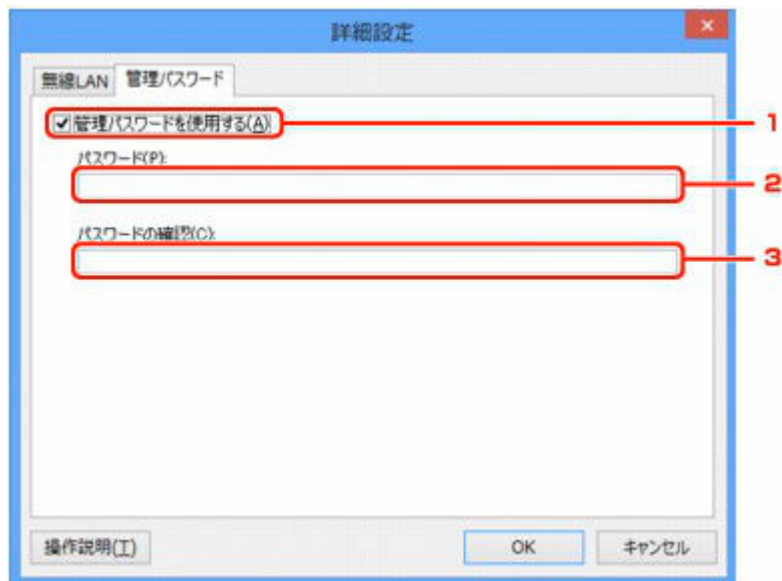
[次の IP アドレスを使用する]

プリンターを使用する環境に DHCP サーバー機能がない場合や、特定の IP アドレスまたは固定 IP アドレスをプリンターに設定したい場合など、プリンターに手動で IP アドレスを設定する場合に選びます。

【管理パスワード】 シート

セットアップや詳細設定を行う人を限定するために、プリンターにパスワードを設定します。

【詳細設定】画面で【管理パスワード】タブをクリックすると表示されます。



1. 【管理パスワードを使用する】

プリンターのセットアップや詳細設定を行うユーザーを限定するために、プリンターにパスワードを設定します。管理パスワードを使用する場合は、チェックマークを付けてパスワードを入力してください。

2. 【パスワード:】

設定するパスワードを入力します。

3. 【パスワードの確認:】

確認のため、もう一度同じパスワードを入力します。

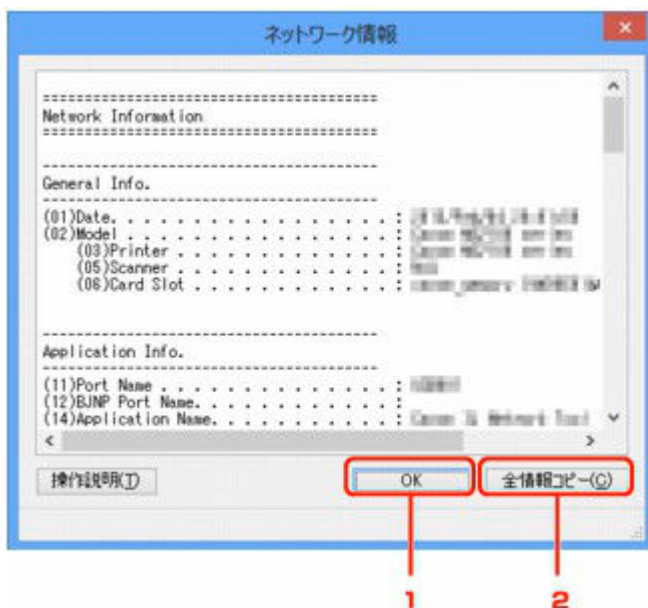
重要

- 設定した管理パスワードを忘れた場合は、本製品を初期化すると、管理パスワードが初期設定に戻ります。

【ネットワーク情報】画面

プリンターやパソコンに設定されているネットワークの情報を確認できます。

【表示】メニューから【ネットワーク情報】を選ぶと表示されます。



1. 【OK】

【Canon IJ Network Tool】画面に戻ります。

2. 【全情報コピー】

表示されているすべてのネットワーク情報がクリップボードにコピーされます。

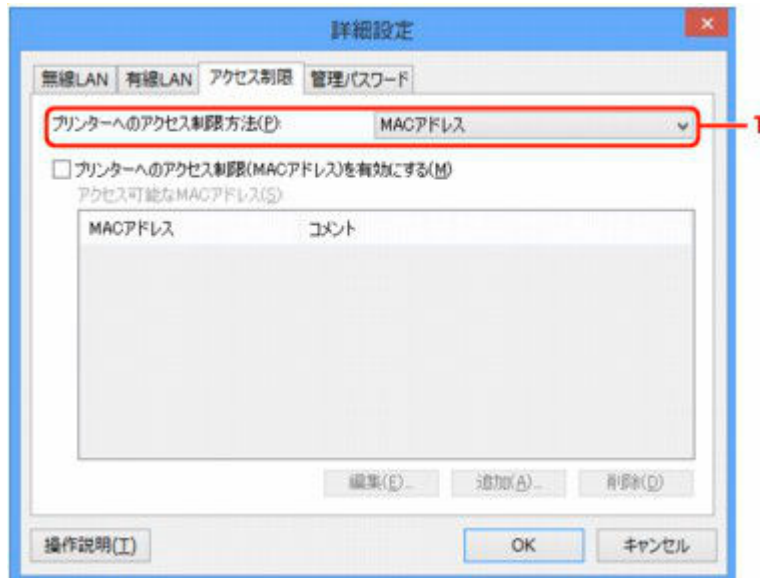
〔アクセス制限〕 シート

参考

- この機能は機種によっては対応していません。

プリンターと通信するパソコンやネットワーク機器からのアクセスを制限することができます。

〔詳細設定〕画面で〔アクセス制限〕タブをクリックすると表示されます。



1. 〔プリンターへのアクセス制限方法:〕

プリンターとネットワーク接続で通信できるパソコンやネットワーク機器を制限するための方法を選びます。

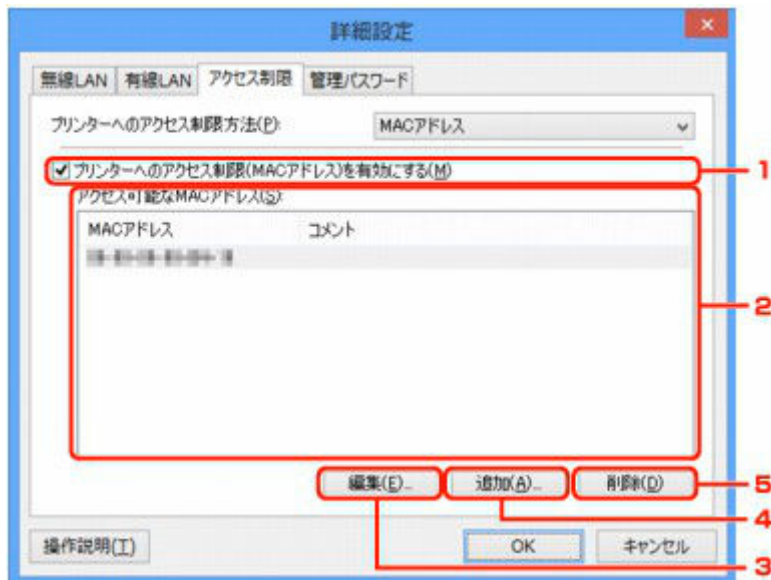
アクセス制限方法によって項目が異なります。

➡ [〔MAC アドレス〕を選んだ場合](#)

➡ [〔IP アドレス〕を選んだ場合](#)

〔MAC アドレス〕を選んだ場合

パソコンやネットワーク機器の MAC アドレスを登録すると、MAC アドレスを登録したパソコンやネットワーク機器が、プリンターとネットワーク接続で通信できるようになります。



1. [プリンターへのアクセス制限（MAC アドレス）を有効にする]

プリンターへのアクセス制限をする場合は、チェックマークを付けます。

参考

- プリンターへのアクセス制限は MAC アドレスと IP アドレスで併用できます。
[プリンターへのアクセス制限を有効にする] にチェックマークを付け、MAC アドレスまたは IP アドレスどちらかを登録していれば、[プリンターへのアクセス制限方法:] で表示されているアクセス制限方法にかかわらず、アクセス制限が有効になります。
- プリンターへのアクセス制限が MAC アドレスと IP アドレスの両方とも有効な場合は、アクセス可能なアドレスにパソコンやネットワーク機器の MAC アドレスまたは IP アドレスのどちらかが登録されていれば、プリンターと通信できます。

2. [アクセス可能な MAC アドレス:]

登録されている MAC アドレスとコメントを確認できます。

3. [編集...]

[アクセス可能な MAC アドレスの編集] 画面が表示され、[アクセス可能な MAC アドレス:] で選択した設定を変更できます。

➡ [\[アクセス可能な MAC アドレスの編集\] 画面](#) / [\[アクセス可能な MAC アドレスの追加\] 画面](#)

4. [追加...]

[アクセス可能な MAC アドレスの追加] 画面が表示され、ネットワークで接続できるパソコンやネットワーク機器の MAC アドレスを追加します。

重要

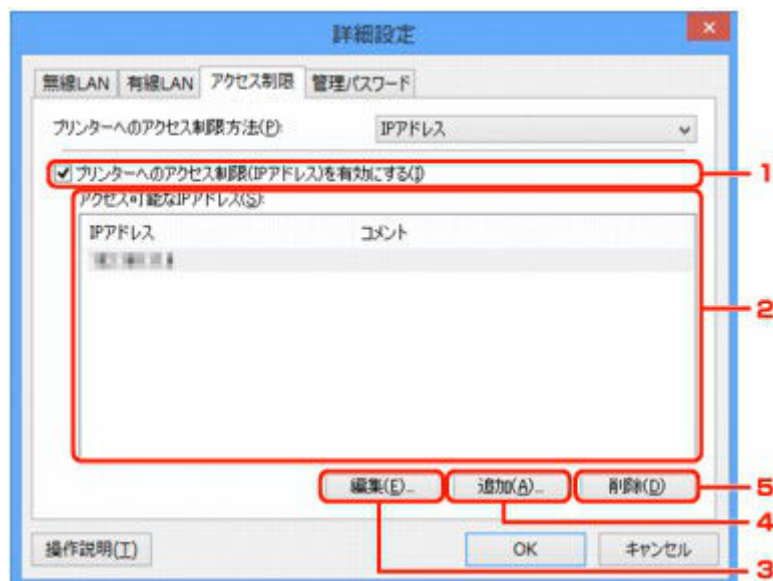
- ネットワークからプリンターに接続するすべてのパソコンやネットワーク機器の MAC アドレスを登録してください。登録していないパソコンやネットワーク機器からは通信できなくなります。

5. [削除]

登録された MAC アドレス一覧から選んだ MAC アドレスを削除します。

【IP アドレス】を選んだ場合

パソコンやネットワーク機器の IP アドレスを登録すると、IP アドレスを登録したパソコンやネットワーク機器が、プリンターとネットワーク接続で通信できるようになります。



1. 【プリンターへのアクセス制限（IP アドレス）を有効にする】

プリンターへのアクセス制限をする場合は、チェックマークを付けます。

参考

- プリンターへのアクセス制限は MAC アドレスと IP アドレスで併用できます。
【プリンターへのアクセス制限を有効にする】にチェックマークを付け、MAC アドレスまたは IP アドレスどちらかを登録していれば、【プリンターへのアクセス制限方法:】で表示されているアクセス制限方法にかかわらず、アクセス制限が有効になります。
- プリンターへのアクセス制限が MAC アドレスと IP アドレスの両方とも有効な場合は、アクセス可能なアドレスにパソコンやネットワーク機器の MAC アドレスまたは IP アドレスのどちらかが登録されていれば、プリンターと通信できます。

2. 【アクセス可能な IP アドレス:】

登録されている IP アドレスとコメントを確認できます。

3. 【編集...】

【アクセス可能な IP アドレスの編集】画面が表示され、【アクセス可能な IP アドレス:】で選択した設定を変更できます。

➡ [【アクセス可能な MAC アドレスの編集】画面](#) / [【アクセス可能な MAC アドレスの追加】画面](#)

4. 【追加...】

【アクセス可能な IP アドレスの追加】画面が表示され、ネットワークで接続できるパソコンやネットワーク機器の IP アドレスを追加します。

重要

- ネットワークからプリンターに接続するすべてのパソコンやネットワーク機器の IP アドレスを登録してください。登録していないパソコンやネットワーク機器からは通信できなくなります。
- 16 件まで設定できます。範囲指定は 1 件と見なされますので、IP アドレスを 17 個以上設定したい場合は、範囲指定を利用してください。

5. [削除]

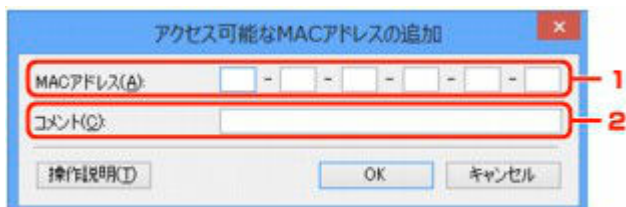
登録された IP アドレス一覧から選んだ IP アドレスを削除します。

【アクセス可能な MAC アドレスの編集】画面／【アクセス可能な MAC アドレスの追加】画面

参考

- この機能は機種によっては対応していません。

ここでは【アクセス可能な MAC アドレスの追加】画面で説明しています。



1. 【MAC アドレス:】

パソコンやネットワーク機器の MAC アドレスを 2 桁ずつ入力してください。

2. 【コメント:】

パソコンやネットワーク機器の名称など、任意の識別情報を入力できます。

重要

- コメントは、入力したパソコンでのみ確認できます。

【アクセス可能な IP アドレスの編集】画面／【アクセス可能な IP アドレスの追加】画面

参考

- この機能は機種によっては対応していません。

ここでは【アクセス可能な IP アドレスの追加】画面で説明しています。

1. 【指定方法:】

IP アドレスの指定方法を【個別指定】または【範囲指定】から選びます。

【個別指定】

IP アドレスを個別に登録します。

【範囲指定】

連続した IP アドレスを範囲で指定します。

2. 【IP アドレス:】

【指定方法:】で【個別指定】を選んだときに入力できます。

IP アドレスは 0 から 255 の間の 4 つの数字を入力します。

【開始 IP アドレス:】

【指定方法:】で【範囲指定】を選んだときに入力できます。

アクセスを可能にしたい複数のパソコンやネットワーク機器の連続する IP アドレスの最小の値を指定します。

IP アドレスは 0 から 255 の間の 4 つの数字を入力します。

【終了 IP アドレス:】

【指定方法:】で【範囲指定】を選んだときに入力できます。

アクセスを可能にしたい複数のパソコンやネットワーク機器の連続する IP アドレスの最大の値を指定します。

IP アドレスは 0 から 255 の間の 4 つの数字を入力します。

参考

- 【開始 IP アドレス:】は【終了 IP アドレス:】よりも小さい値にしてください。

3. 【コメント:】

パソコンやネットワーク機器の名称など、任意の識別情報を入力できます。

重要

- コメントは、入力したパソコンでのみ確認できます。

IJ Network Tool の画面の説明（その他）

- [\[Canon IJ Network Tool\] 画面](#)
- [\[通信状況\] 画面](#)
- [\[通信状態の測定\] 画面](#)
- [\[メンテナンス\] 画面](#)
- [\[カードスロットのセットアップ\] 画面](#)
- [\[ポートの関連付け\] 画面](#)
- [\[ネットワーク情報\] 画面](#)

[Canon IJ Network Tool] 画面

ここでは、[Canon IJ Network Tool] 画面の項目やメニューについて説明しています。

⇒ [\[Canon IJ Network Tool\] 画面の項目](#)

⇒ [\[Canon IJ Network Tool\] 画面のメニュー](#)

[Canon IJ Network Tool] 画面の項目

[Canon IJ Network Tool] 画面には、以下の項目があります。



1. [プリンター:]

名前や状態、モデル、ポート名を確認できます。

[名前] 欄にチェックマークが付いている場合は、通常使うプリンターに設定されていることを示しています。

選択された（反転表示されている）プリンターを対象に各種設定を行います。

2. [更新]

再度、プリンターの検出を行います。設定を変更するプリンターが一覧に表示されない場合に行います。

重要

- IJ Network Tool（アイジェイ・ネットワーク・ツール）でプリンターの設定を変更するには、LAN 接続でセットアップされている必要があります。
- 名前に「ドライバー無し」と表示されている場合は、[設定] メニューの「ポートの関連付け」を選び、ポートとプリンターの関連付けをしてください。
 - ⇒ [ポートが関連付けられていないとき](#)
- 状態に「通信不可」と表示されている場合は、以下のことを確認してください。
 - 無線 LAN ルーターの電源が入っている
 - 有線 LAN 接続の場合、LAN ケーブルが正しく接続されている
- ネットワーク上のプリンターが一覧に表示されない場合は、プリンターの電源が入っていることを確認して「更新」ボタンをクリックしてください。プリンターが一覧に表示されるまで数分かかる場合があります。それでもプリンターが一覧に表示されない場合は、パソコンと本製品を USB ケーブルで接続してから「更新」ボタンをクリックしてください。

- ほかのパソコンなどからプリンターが使用されている場合は、プリンターが使用中であることをお知らせする画面が表示されます。

参考

- [表示] メニューの [\[最新の情報に更新\]](#) と同じ機能です。

3. [詳細設定...]

[詳細設定] 画面が表示され、選んだプリンターについての詳細設定を行えます。

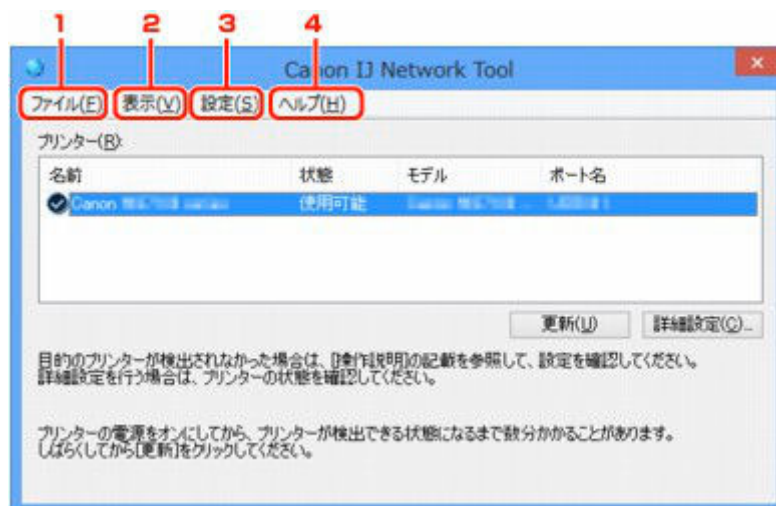
➡ [\[詳細設定\] 画面](#)

参考

- [通信不可] の状態のプリンターについては、詳細設定を行うことはできません。
- [設定] メニューの [\[詳細設定...\]](#) と同じ機能です。

[Canon IJ Network Tool] 画面のメニュー

[Canon IJ Network Tool] 画面には、以下のメニューがあります。



1. [ファイル] メニュー

【終了】

IJ Network Tool (アイジェイ・ネットワーク・ツール) を終了します。

2. [表示] メニュー

【通信状況】

[通信状況] 画面が表示され、プリンターの状態と無線 LAN の通信状況を確認できます。

ダイレクト接続時（アクセスポイントモード時）はグレイアウト表示になり、通信状況を確認できません。

➡ [\[通信状況\] 画面](#)

【最新の情報に更新】

[Canon IJ Network Tool] 画面で表示されている [プリンター:] の内容を最新の情報にします。

重要

- IJ Network Tool でプリンターの設定を変更するには、LAN 接続でセットアップされている必要があります。
- 名前に「[ドライバー無し]」と表示されている場合は、[設定] メニューの「[ポートの関連付け...]」を選び、ポートとプリンターの関連付けをしてください。

➡ [ポートが関連付けられていないとき](#)

- 状態に「[通信不可]」と表示されている場合は、以下のことを確認してください。
 - 無線 LAN ルーターの電源が入っている
 - 有線 LAN 接続の場合、LAN ケーブルが正しく接続されている
- ネットワーク上のプリンターが一覧に表示されない場合は、プリンターの電源が入っていることを確認して「[最新の情報に更新]」を選んでください。プリンターが一覧に表示されるまで数分かかる場合があります。それでもプリンターが一覧に表示されない場合は、パソコンと本製品を USB ケーブルで接続してから「[最新の情報に更新]」を選んでください。
- ほかのパソコンなどからプリンターが使用されている場合は、プリンターが使用中であることをお知らせする画面が表示されます。

参考

- [Canon IJ Network Tool] 画面の [\[更新\]](#) ボタンと同じ機能です。

【ネットワーク情報】

【ネットワーク情報】画面が表示され、プリンターやパソコンに設定されているネットワークの情報を確認できます。

➡ [【ネットワーク情報】画面](#)

【警告発生時に自動で表示】

操作説明画面を自動で表示するかしないかを切り替えます。

メニューにチェックマークが表示されていると、印刷可能ではないポートが 1 つ以上ある場合に操作説明画面が表示されます。

3. [設定] メニュー

【詳細設定...】

【詳細設定】画面が表示され、選んだプリンターについての詳細設定を行えます。

➡ [【詳細設定】画面](#)

参考

- [Canon IJ Network Tool] 画面の [【詳細設定...】](#) ボタンと同じ機能です。

【プリンター使用時の切り替え機能を有効にする】

ご使用のプリンターが利用できなくなった場合、ネットワーク上の同じ機種種のプリンターへ利用を切り替えることができます。プリンター切り替え機能を有効にすると、利用できなくなったときに、ネットワーク上の同じ機種種のプリンターを検索するかを確認する画面が表示されます。メッセージに従って操作してください。

参考

- プリンター切り替え機能を有効にしているときは、メニューにチェックマークが表示されます。

【今すぐプリンター切り替えを行う】

使用するプリンターを、ネットワーク上の同じ機種プリンターに今すぐに切り替えることができます。クリックするとネットワーク上の同じ機種プリンターを検索し、[プリンターの選択] 画面に検索結果が表示されます。使用するプリンターを選んでください。

【ポートの関連付け...】

[ポートの関連付け] 画面が表示され、ポートとプリンターの関連付けを行えます。

⇒ [【ポートの関連付け】 画面](#)

選んだプリンターが [ドライバー無し] と表示されているときのみ選ぶことができ、ポートとプリンターが関連付けられると、印刷ができるようになります。

【メンテナンス...】

[メンテナンス] 画面が表示され、プリンターのネットワーク設定情報を工場出荷時の状態に戻したり、ネットワークドライブとしてカードスロットを設定することができます。

⇒ [【メンテナンス】 画面](#)

【プリンターのダイレクト接続の設定を行う...】

ダイレクト接続（アクセスポイントモード）の設定を変更または確認することができます。

⇒ [ダイレクト接続の設定を変更する](#)

4. [ヘルプ] メニュー

【操作説明】

本マニュアルが表示されます。

【バージョン情報】

IJ Network Tool のバージョンを確認できます。

〔通信状況〕 画面

プリンターの状態と通信状況を確認できます。

〔表示〕メニューから〔通信状況〕を選ぶと表示されます。

参考

- この機能は機種によっては対応していません。
- 有線 LAN の場合は〔電波強度:〕、〔通信レベル:〕、〔詳細測定...〕を使用できません。



1. 〔動作状態:〕

本製品との接続状況を〔使用可能〕／〔使用不可〕で表示します。

2. 〔電波強度:〕

プリンターの受信している電波の強さを 0%から 100%の値で表示します。

3. 〔通信レベル:〕

ノイズ（妨害電波）を除いた電波の状態を 0%から 100%の値で表示します。

4. 〔詳細測定...〕

ご使用の無線 LAN 環境での本製品と無線 LAN ルーター間、本製品とパソコン間の通信状態を、詳しく測定します。

クリックすると、〔通信状態の測定〕画面が表示されます。

➡ [〔通信状態の測定〕画面](#)

〔通信状態の測定〕 画面

参考

- この機能は機種によっては対応していません。

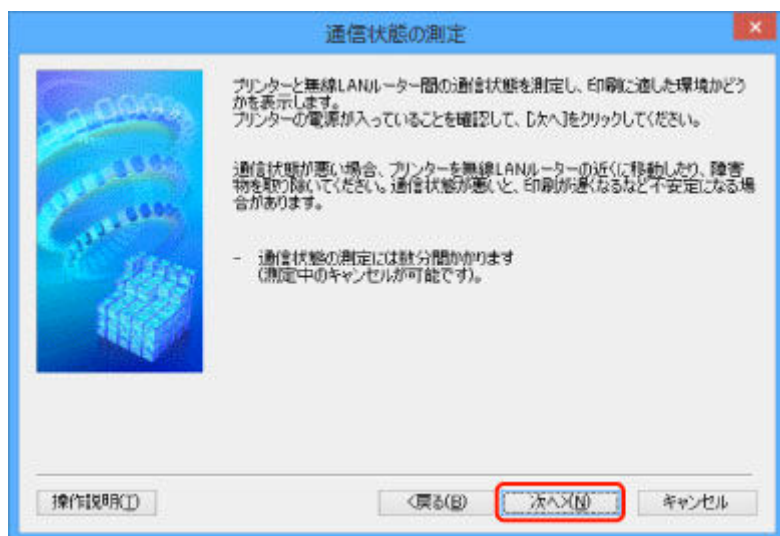
通信状態を測定するときに表示されます。

➡ [〔通信状態の測定〕 画面（測定開始）](#)

➡ [〔通信状態の測定〕 画面（測定完了）](#)

〔通信状態の測定〕 画面（測定開始）

〔次へ>〕 ボタンをクリックすると、測定が開始されます。



〔通信状態の測定〕 画面（測定完了）

測定が完了すると表示されます。



1. [プリンターと無線 LAN ルーター間の通信状態:]

プリンターと無線 LAN ルーター間の通信状態の測定結果をマークで表示します。

 : 通信状態は良好です。

 : 通信状態が不安定です。

 : 通信ができません。

 : 測定を途中でキャンセルしたか、または測定できません。

2. [再測定]

通信状態を再度測定します。

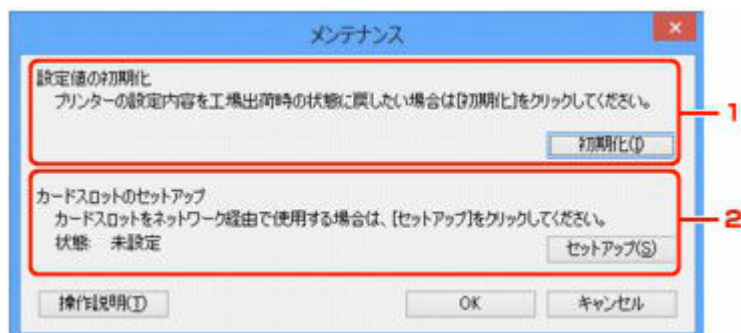
参考

- [ネットワーク全体の状態:] についてメッセージが表示された場合は、画面の指示に従ってプリンターと無線 LAN ルーターの設置場所を改善してください。

【メンテナンス】画面

【設定値の初期化】と【カードスロットのセットアップ】を行うことができます。

【設定】メニューから【メンテナンス】を選ぶと表示されます。



1. 【設定値の初期化】

プリンターのネットワーク設定情報をすべて工場出荷時の状態に戻します。【初期化】ボタンをクリックすると、【設定値の初期化】画面が表示されます。【はい】ボタンをクリックすると、プリンターのネットワーク設定情報の初期化を行います。初期化中は、プリンターの電源を切らないでください。初期化が完了したら、【OK】ボタンをクリックしてください。

無線 LAN で接続していた場合、初期化を行うと通信ができなくなりますので、セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。

2. 【カードスロットのセットアップ】

▶▶▶ 参考

- この機能は機種によっては対応していません。

【状態】は、カードスロットがネットワークドライブとして割り当てられているかを示しています。クリックすると、【カードスロットのセットアップ】画面が表示されます。

➡ [【カードスロットのセットアップ】画面](#)

【カードスロットのセットアップ】 画面

参考

- この機能は機種によっては対応していません。ご使用の機種がこの機能に対応しているかどうかは、[機種別機能一覧](#)を参照してください。

ネットワーク上にあるカードスロットの設定状態を表示したり、パソコンにネットワークドライブとして割り当てたりします。

【メンテナンス】画面で【セットアップ】ボタンをクリックすると表示されます。

➡ [【カードスロットのセットアップ】画面（セットアップ画面）](#)

➡ [【カードスロットのセットアップ】画面（セットアップ失敗画面）](#)

参考

- 本製品の LAN の設定を初期化したあとでも、USB 接続で IJ Network Tool を使用して本製品のネットワーク設定を行うことができます。その場合は、本製品の LAN 設定を有効にする設定にしてから、ネットワーク設定を行ってください。

【カードスロットのセットアップ】 画面（セットアップ画面）



1. 【ドライブ:】

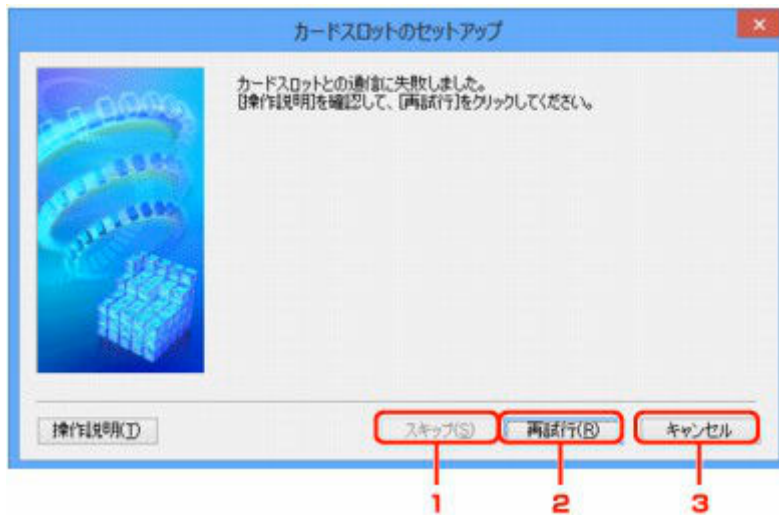
ネットワークドライブに割り当てるドライブ文字を選びます。

2. 【更新】

【コンピューター】（Windows XP をご使用の場合は【マイ コンピュータ】）で割り当てられていないドライブ文字を再取得して【ドライブ:】に表示します。

【カードスロットのセットアップ】 画面（セットアップ失敗画面）

セットアップができなかったときに表示されます。



1. [スキップ]

カードスロットをネットワークドライブに割り当てずに、セットアップを終了します。

2. [再試行]

[カードスロットのセットアップ] 画面（セットアップ画面）に戻り、再度ネットワークドライブの割り当てを実行します。

3. [キャンセル]

セットアップを中断します。LAN 接続で IJ Network Tool を起動している場合は、グレースアウト表示になりクリックできません。

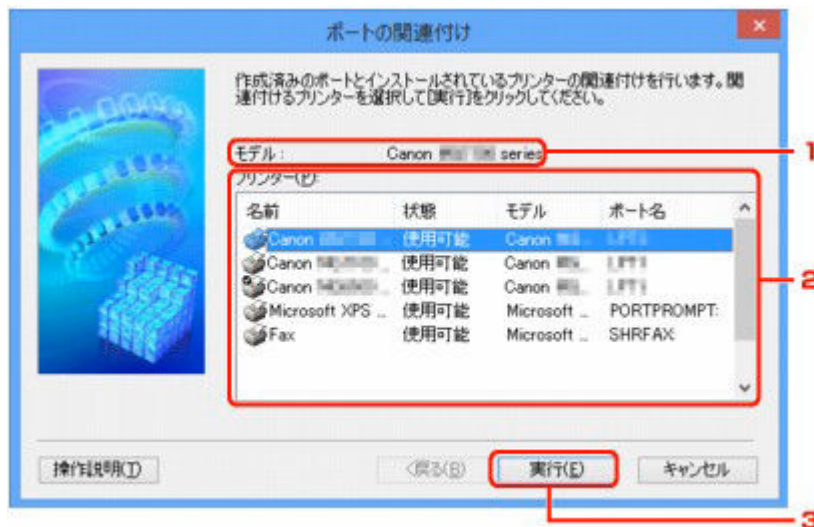
〔ポートの関連付け〕 画面

作成済みのポートとプリンタードライバを関連付けることができます。

関連付けを変更したいプリンターを選んで〔実行〕をクリックします。

参考

- プリンタードライバとポートが関連付けられていないと、そのプリンターを使用して印刷ができません。



1. 〔モデル :〕

ポートの出力先となる機器の名前が表示されます。

機器の名前が取得できない場合は空白となります。

2. 〔プリンター:〕

ご使用のパソコンにインストールされているプリンタードライバの一覧です。

ポートと関連付けるプリンタードライバを選びます。

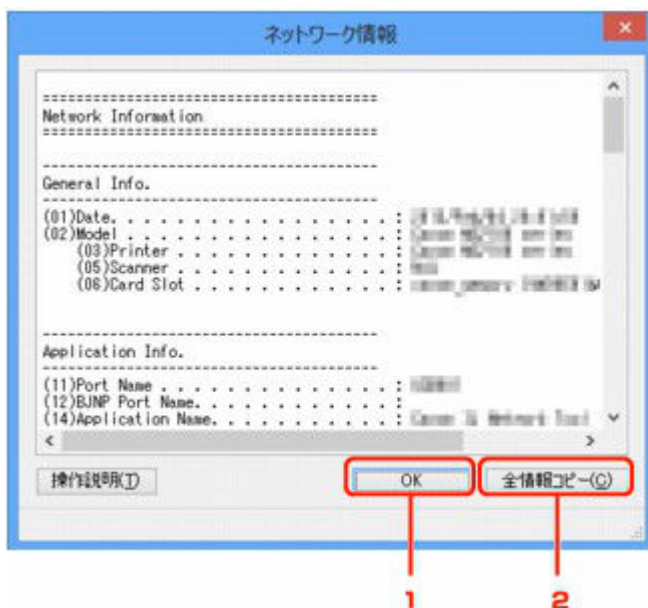
3. 〔実行〕

関連付けを実行します。

[ネットワーク情報] 画面

プリンターやパソコンに設定されているネットワークの情報を確認できます。

[表示] メニューから [ネットワーク情報] を選ぶと表示されます。



1. [OK]

[Canon IJ Network Tool] 画面に戻ります。

2. [全情報コピー]

表示されているすべてのネットワーク情報がクリップボードにコピーされます。

役立つ情報（ネットワーク）

- ▶ ネットワーク経由でカードスロットを使う
- ▶ ポートが関連付けられていないとき
- ▶ 用語について
- ▶ 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意
- ▶ 制限事項
- ▶ ファイアウォールについて

ネットワーク経由でカードスロットを使う

参考

- この機能は機種によっては対応していません。ご使用の機種がこの機能に対応しているかどうかは、[機種別機能一覧](#)を参照してください。

➡ [ネットワークドライブとしてカードスロットを設定する](#)

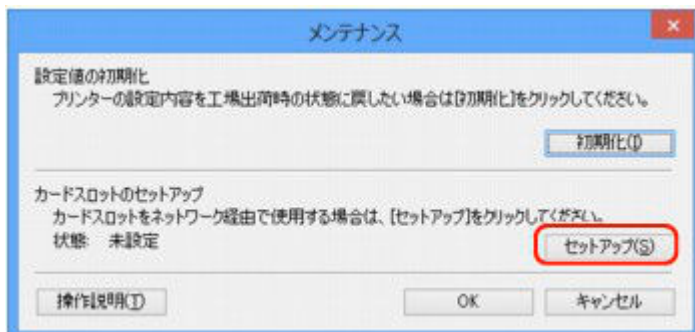
➡ [ネットワーク経由でカードスロットを使用するときの制限について](#)

ネットワークドライブとしてカードスロットを設定する

ネットワーク経由でカードスロットを使用するには、カードスロットが設定されていなければなりません。

以下の手順でカードスロットをネットワークドライブとして設定してください。

1. 本製品のカードスロットにメモリーカードをセットする
2. [IJ Network Tool \(アイジェイ・ネットワーク・ツール\)](#) を起動する
3. [プリンター:] から本製品を選ぶ
4. [設定] メニューで [メンテナンス] を選ぶ
5. [セットアップ] をクリックする

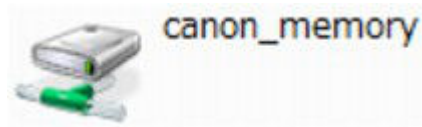


6. ドライブ名を指定し、[OK] をクリックする



7. カードスロットが設定されたか確認する

カードスロットが設定されていると、[コンピューター]（または [マイ コンピュータ]）に以下のアイコンが表示されます。



ネットワーク経由でカードスロットを使用するときの制限について

- 本製品がネットワークに接続されていると、複数のパソコンで本製品のカードスロットを共有でき、同時に1つのファイルを複数のパソコンから読み込むことができます。ただし、メモリーカードへ書き込み中のファイルは、複数のパソコンから同時にアクセスすることはできません。
- ドメインを設定しているパソコンでは、カードスロットをネットワークドライブとして設定できない場合があります。
- サイズが大きいファイルや、大量のファイルが保存されているカードを使用した場合、パソコンのOSによるカードアクセスが大量に発生することがあります。その際、カード内のファイル操作ができなかったり遅くなることがあります。本製品のアクセスランプが点灯してから操作してください。

- ネットワーク経由でカードスロットのネットワークドライブにアクセスするときは、8文字以下（拡張子は除く）の小文字からなるファイル名が大文字で表示される場合があります。

たとえば、「abcdefg.doc」というファイル名は「ABCDEFGH.DOC」となり、「AbcdeFG.doc」というファイル名と同じ表示になります。

ファイル名は表示が変更されるだけで、実際のファイル名は変更されません。

- 本製品のカードスロットを、USB 接続されたパソコンからのみカード書き込みが可能な設定にしている場合は、ネットワーク経由ではカードスロットにアクセスできません。また、ネットワーク接続されたパソコンからのみカード書き込みが可能な設定にしている場合は、USB 接続のパソコンからはカードスロットを認識できません。カード書き込みの設定がご使用の接続方法に応じて適切に設定されていることを確認してください。

USB 接続でもネットワーク経由でもファイルの読み取りができるようにするには、本製品のカードスロットを、パソコンからカード書き込みができない設定にしてください。ただし、この設定では、どちらの接続でもメモリーカードへファイルを書き込むことはできません。

- 本製品のカードスロットを、ネットワーク接続されたパソコンからのみカード書き込みが可能な設定にすると、ネットワークに接続されているパソコンからメモリーカードへの書き込みができるようになりますが、メモリーカード内のデータがウィルスに感染したり、不正に操作される危険が高くなります。

インターネットとの接続にはルーターを経由するなどの対策をお勧めします。ルーターについてはご契約のプロバイダーまたはネットワーク機器メーカーにお問い合わせください。

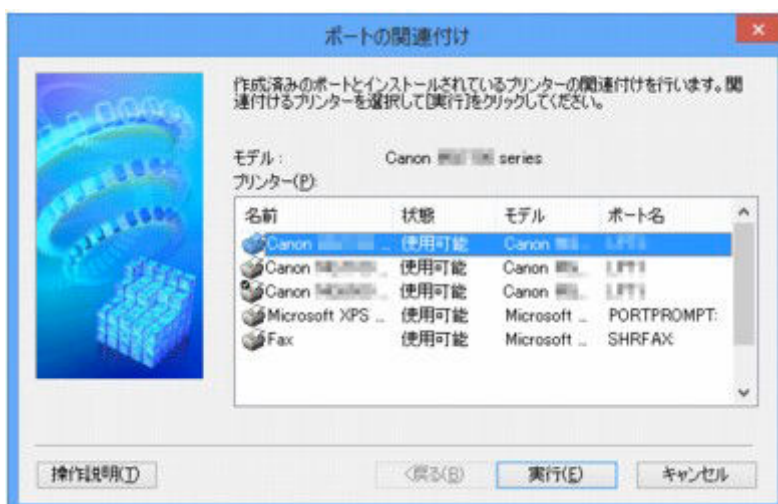
- IJ Network Scanner Selector EX（アイジェイ・ネットワーク・スキャナー・セレクター・イーエックス）が起動していないときにネットワーク経由でメモリーカードにファイルを書き込むと、ファイルの（更新）日付が正しく設定されません。ネットワーク経由でメモリーカードにファイル書き込みを行う前に、かならず IJ Network Scanner Selector EX が起動していることを確認してください。詳しくはオンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「IJ Network Scanner Selector EX のメニューと設定画面」を参照してください。

ポートが関連付けられていないとき

Canon IJ Network Tool 画面の [プリンター:] の [名前] で [ドライバー無し] と表示されている場合は、作成済みのポートとプリンタードライバーが関連付けられていません。

以下の手順でポートとプリンターを関連付けしてください。

1. [IJ Network Tool \(アイジェイ・ネットワーク・ツール\) を起動する](#)
2. [プリンター:] の一覧から、[名前] に [ドライバー無し] と表示されているプリンターを選ぶ
3. [設定] メニューから [ポートの関連付け...] を選ぶ
[ポートの関連付け] 画面が開きます。



4. 関連付けするプリンターを選ぶ
[プリンター:] にはプリンタードライバーがインストールされているプリンターの一覧が表示されます。
作成済みのポートと関連付けするプリンターを選んでください。
5. [実行] ボタンをクリックする

用語について

LAN に関連する用語について説明します。

⇒ [英数字](#)

⇒ [あ](#)

⇒ [か](#)

⇒ [さ](#)

⇒ [た](#)

⇒ [な](#)

⇒ [は](#)

⇒ [ま](#)

⇒ [ら](#)

英数字

- **AES**

セキュリティ方式の一種で、WPA/WPA2 でも利用できる暗号化方式の一種です。米国政府内での情報処理用に採用された強固な暗号化方式です。

- **AOSS (AirStation One-Touch Secure System)**

無線 LAN でのネットワーク接続をワンタッチで設定できるサービスです。

- **Bonjour**

Mac OS に搭載されている機能で、ネットワーク上にある通信可能な機器を自動的に検出するサービスです。

- **DHCP サーバー機能**

ルーターの機能で、ネットワーク上のプリンターやパソコンが起動すると、その都度ルーターから、IP アドレスなどのネットワーク利用に必要な設定情報をプリンターやパソコンに自動的に割り当てます。

- **DNS サーバー**

機器の名称を IP アドレスに変換するサーバーです。手動で IP アドレスを設定する場合は、プライマリサーバーとセカンダリサーバーの IP アドレスを設定します。

- **IEEE 802.11b**

周波数 2.4GHz の帯域を使う無線 LAN の国際規格です。最大 11Mbps の転送速度で、数十メートルの範囲にある複数の端末が通信を行うことができます。

- **IEEE 802.11g**

周波数 2.4GHz の帯域を使う無線 LAN の国際規格です。最大 54Mbps の転送速度で、数十メートルの範囲にある複数の端末が通信を行うことができます。

IEEE 802.11b との互換性もあります。

- **IEEE 802.11n**

周波数 2.4GHz の帯域に加え 5GHz の帯域の両方を使う無線 LAN の国際規格です。複数のアンテナを同時に利用したり、通信に使用するチャンネルを複数同時に利用することで従来よりも大きな転送

速度を実現しますが、組み合わせる機器により通信速度が左右されることがあります。最大 600Mbps の転送速度で数十メートルの範囲にある複数の端末が通信を行うことができます。

IEEE 802.11b や IEEE 802.11g と相互接続ができます。

- **IPv4/IPv6**

インターネットで利用されているインターネットプロトコル (IP) です。IPv4 はアドレス資源を 32 ビットで管理、IPv6 はアドレス資源を 128 ビットで管理しています。

- **IP アドレス**

パソコンやプリンターなどの機器ごとに割り振られた固有の番号で、データのやりとりをする場合に送り先の機器を指定するために使われます。特に TCP/IP を使用しているインターネットでは、すべての機器に固有の IP アドレスが必要です。

通常、IP アドレスはルーターの DHCP サーバー機能により自動で割り当てられます。

- **LPR (Line Printer daemon protocol)**

TCP/IP 上で動作するプラットフォームに依存しない印刷プロトコルです。双方向通信はサポートしていません。

- **MAC アドレス**

データをやり取りするための機器に付属する固有の番号です。機器の製造元の各社でそれぞれ固有の番号を割り当てるため、同じ MAC アドレスを持つ製品は存在しません。

- **PSK**

WPA / WPA2 で採用された認証方式の一種です。

- **SSID**

SSID とは無線 LAN の識別子です。ネットワーク名、無線 LAN ルーター名と表記されることもあります。

無線 LAN では近隣の無線 LAN とデータが混信する場合があるため、通信したい機器同士を識別するために SSID が使われます。

ご使用になる無線 LAN 機器 (無線 LAN ルーター、パソコン、プリンターなど) には同じ SSID を設定します。SSID は半角英数字 32 文字以内で指定します。大文字小文字は区別されます。

- **TCP/IP**

インターネットや LAN の標準プロトコルです。ネットワークを介してパソコンやプリンターなどの機器同士が通信を行うための通信規約です。

- **TKIP**

WPA / WPA2 で採用された暗号化プロトコルの一種です。

- **USB**

パソコンと周辺機器を接続するための規格です。電源を入れたまま抜き差しできるメリットがあります。この規格に適合したケーブルを USB ケーブルと言います。

- **WCN (Windows Connect Now)**

Windows Vista 以降に搭載されている機能で、PIN コードを入力し無線で直接設定情報を取得します (WCN-NET)。

- **WEP／WEP キー／パスワード（WEP キー）**

WEP とは IEEE 802.11 で採用されているセキュリティ方式の一種です。無線 LAN ルーターとクライアント（パソコンやプリンター）の両方に同じ WEP キーを設定し、通信相手を認証すると同時に、通信内容の暗号化と復号化を行ってデータの安全性を確保します。

本製品では、WEP キーの長さとして 64 ビットと 128 ビットがあり、キーの書式として文字と 16 進数があります。また、使用するキーの番号として 1 から 4 があります。

- **Wi-Fi（ワイ・ファイ）**

Wi-Fi Alliance による無線 LAN 規格のマーケティング上のブランドネームです。Wi-Fi Alliance の相互接続性テストに合格した製品のみにも与えられます。

本製品は Wi-Fi 認定製品です。

- **WPA**

Wi-Fi Alliance が 2002 年 10 月に発表した無線 LAN のセキュリティ方式の一種です。WEP よりもセキュリティ強度が向上しています。

- 認証

WPA の認証方式には、認証サーバーがない環境でも使用できる「PSK」と、認証サーバーを必要とする「EAP/802.1x」（エンタープライズともいいます）があります。

本製品では、WPA-PSK をサポートしています。

- パスフレーズ

WPA-PSK 認証で使用する暗号化キーです。

8 文字から 63 文字の ASCII 文字、または 64 ビットの 16 進数で入力します。

- **WPA2**

Wi-Fi Alliance が 2004 年 9 月に発表したセキュリティ方式の一種です。WPA の新バージョンで、IEEE 802.11i が採用した暗号化方式「AES（Advanced Encryption Standard：高度暗号化規格）」に対応しています。

- 認証

WPA2 の認証方式には、認証サーバーがない環境でも使用できる「PSK」と、認証サーバーを必要とする「EAP/802.1x」があります。

本製品では、WPA2-PSK をサポートしています。

- パスフレーズ

WPA2-PSK 認証で使用する暗号化キーです。

8 文字から 63 文字の ASCII 文字、または 64 ビットの 16 進数で入力します。

- **WPS（Wi-Fi Protected Setup）**

無線 LAN 機器の接続とセキュリティの設定を簡単に実行するための規格です。無線 LAN ルーターと安全な無線 LAN 通信を行うための暗号化を行うためのセキュリティ設定を簡単にできるように、特定の ID（4 桁から 8 桁の数字）を入力すれば設定が完了する PIN 方式や、設定時にボタンを押すだけで設定が完了するプッシュボタン方式があります。

あ

• アクセスポイントモード

アクセスポイント（無線 LAN ルーター）がない環境で、本製品をアクセスポイントとして使用し、本製品と外部無線通信端末（パソコン、スマートフォン、タブレットなど）を接続します。

本製品のアクセスポイントモード（ダイレクト接続）を使用すると、最大 5 台の無線通信端末を本製品に接続することができます。

• アドホック

無線 LAN の通信方式の 1 つです。同じ SSID の名前を設定した無線通信端末（パソコン、プリンターなど）が直接データ通信を行う方式です。無線 LAN ルーターを必要としないのが特長です。その際、無線通信端末同士はピアツーピアで接続され、お互いのリソースを共有できます。本製品ではご使用になれません。

• インフラストラクチャー

無線 LAN の通信方式の 1 つです。無線通信端末（パソコン、プリンターなど）と無線 LAN ルーターを経由してネットワークに接続する方式です。

か

• 管理パスワード

IJ Network Tool でプリンターのネットワーク設定を変更するための管理用パスワードです。

• キーの長さ

WEP キーの長さです。[64 ビット] または [128 ビット] から選びます。キーの長さは長い方がより複雑な WEP キーを設定できます。

• キーの書式

WEP キーの書式を、[文字] または [16 進数] から選びます。選んだキーの書式により、使用できる文字が異なります。

◦ 文字

半角英数字、またはアンダーバー「_」を含む 5 文字または 13 文字の文字列で指定してください。大文字小文字は区別されます。

◦ 16 進数

10 桁または 26 桁の 0～9、A～F、a～f（16 進数）で指定してください。

さ

• サブネットマスク、サブネットワークアドレス

IP アドレスはネットワークアドレス番号とホストアドレス番号に分けられますが、そのうち、IP アドレスからサブネットワークアドレスを割り出すための値をサブネットマスクといいます。通常、サブネットマスクはルーターの DHCP サーバー機能により自動で割り当てられます。

例：

IP アドレス：192.168.127.123

サブネットマスク：255.255.255.0

上記例のサブネットワークアドレス：192.168.127.0

- **ステルス機能**

無線 LAN ルーターが SSID 情報を含んだデータを公開しないことでその存在を隠す機能です。ステルス機能が設定された無線 LAN ルーターは無線 LAN ルーター一覧に表示されないため SSID を直接入力する必要があります。

た

- **ダイレクト接続（アクセスポイントモード）**

アクセスポイント（無線 LAN ルーター）がない環境で、本製品をアクセスポイントとして使用し、本製品と外部無線通信端末（パソコン、スマートフォン、タブレットなど）を接続します。

本製品のダイレクト接続（アクセスポイントモード）を使用すると、最大 5 台の無線通信端末を本製品に接続することができます。

- **通信状況**

無線 LAN ルーターとプリンターの接続状況を確認できます。

- **通信レベル**

プリンターが無線 LAN ルーターから受信しているノイズ（妨害電波）を除いた電波の状態が 0～100% で表示されます。

- **デフォルトゲートウェイ**

異なるネットワークと通信する際に中継となるコンピューターやルーターなどの機器のことです。

- **電波強度**

プリンターが無線 LAN ルーターから受信している電波の強さが 0～100% で表示されます。

- **動作状態**

プリンターを使用できるかどうかの現在の動作状態が表示されます。

な

- **認証方式**

無線 LAN ルーターとプリンターが無線 LAN 通信を行う際に相手を確認するための方式です。無線 LAN ルーターとプリンターの設定を合わせる必要があります。

セキュリティ方式が WEP に設定されているときは、IJ Network Tool から本製品の設定を［オープン］または［共有キー］に固定することもできます。

WPA/WPA2 の際は PSK を使用します。

- 自動

無線 LAN ルーターの認証方式に合わせて認証を行います。

- オープン

［WEP を使用する］を選んでいても、認証時のみ WEP キーを使用せずに、通信相手として認証する方式です。

- 共有キー

［WEP を使用する］を選び、使用するキーとして設定した WEP キーにより暗号化して認証する方式です。

は

- **ファイアウォール**

ネットワークにおける不正な侵入を防ぐシステムです。

ブロードバンドルーターやお使いのパソコンにインストールされているオペレーティングシステムやセキュリティソフトウェアに用意されています。

- **プロキシサーバー**

LAN 接続されたコンピュータとインターネットを中継するサーバーです。プロキシサーバーを使用する場合は、プロキシサーバーのアドレスとポート番号を設定します。

ま

- **無線 LAN**

配線を必要としない LAN (Local Area Network) のことです。

1 つの建物内や敷地内など、比較的狭い範囲で電波などを使用してネットワークを構築します。

IEEE 802.11 に準拠したシステムを利用すると、ケーブルを使わずパソコンや周辺機器、ネットワークを共有できます。

- **無線 LAN ルーター**

無線 LAN のネットワークを構築するときにネットワークと無線通信端末（パソコンなど）を接続し、データ通信の中継をする装置です。

インフラストラクチャーモードでの通信の中継点となります。

パソコンとプリンターは無線 LAN ルーターを経由して通信します。

- **無線チャンネル**

無線 LAN では、使用する周波数帯域を分割し無線チャンネルと呼んでいます。

インフラストラクチャーの場合、無線チャンネルは無線 LAN ルーターに自動的に合わせられます。

本製品では、1 から 13 チャンネルが利用可能です。（ご購入の国や地域によっては、12、13 チャンネルは利用できません。）

同じフロアや隣接した場所に、SSID／ネットワークの名前は異なるが同一の無線チャンネルを使用している複数の無線 LAN がある場合は、相互干渉により通信速度が遅くなることがあります。この場合は、それぞれの無線 LAN ごとに使用する無線チャンネルを離して設定すると、相互干渉が抑えられ通信速度が上がります。

ら

- **らくらく無線スタート**

無線 LAN でのネットワーク接続をワンタッチで設定できるサービスです。

- **ルーター**

異なるネットワークと通信する際に中継となる機器のことです。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線 LAN ルーター間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- **通信内容を盗み見られる**

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

- **不正に侵入される**

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線 LAN ルーターは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

制限事項

無線 LAN 接続で本製品を使用する場合は、無線ネットワークに WEP や WPA/WPA2 といったセキュリティを設定することをお勧めします。また、Wi-Fi に準拠しない製品との無線通信の保証はいたしかねますのでご了承ください。

本製品に接続するパソコンの台数が多すぎると印刷速度などパフォーマンスが低下する場合があります。

ファイアウォールについて

ファイアウォールは、ご使用のパソコンにインストールされているオペレーティングシステムやセキュリティソフトウェアが持つ機能の一つで、外部からネットワーク内への不正侵入を防ぐためのシステムです。

ファイアウォール使用時のご注意

- ファイアウォール機能を使用すると、本製品とパソコン間の通信が制限され、本製品のセットアップや通信が行えない場合があります。
- オペレーティングシステムやセキュリティソフトウェアによっては、セットアップの途中で通信の許可を求める確認画面が表示されます。表示されたら通信を許可してください。
- セキュリティソフトウェアによっては、IJ Network Tool を使用する際に通信の許可を求める確認画面が表示されます。表示されたら通信を許可してください。
- 本製品をセットアップできない場合は、ファイアウォール機能を一時的にオフにしてください。

重要

- ファイアウォールを無効にした場合は、ネットワークをインターネットから切断してください。
 - 一部、強制的にファイアウォール機能をオンにするアプリケーション（ネットワーク設定ソフトウェアなど）があります。あらかじめアプリケーションの設定をご確認ください。
 - 本製品の IP アドレスが [IP アドレスを自動的に取得する] に設定されている場合、IP アドレスが変化し、ファイアウォールの設定によっては本製品のセットアップや通信ができなくなる場合があります。ファイアウォールの設定を変更するか、IJ Network Tool で本製品に固定の IP アドレスを設定してください。
- ⇒ [\[無線 LAN\] シートの設定を変更する](#)
- ⇒ [\[有線 LAN\] シートの設定を変更する](#)

本製品に固定の IP アドレスを設定する場合は、コンピューターと通信できる IP アドレスを設定する必要があります。

参考

- オペレーティングシステムやセキュリティソフトウェアのファイアウォールの設定については、ご使用の機器やソフトウェアの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

きれいに印刷するためのヒント集

- インクについて知っておきたいこと
- 印刷を失敗しないためのポイント
- 用紙をセットしたあとは、用紙の設定を忘れずに
- 印刷を中止するときは
- いつもきれいな印刷を楽しむためのポイント
- 本製品を移送するときの注意

インクについて知っておきたいこと

印刷以外にもインクが使われる？

意外かもしれませんが、インクは印刷以外にも使われることがあります。それは、きれいな印刷を保つために行うクリーニングのとき。

本製品には、インクがふき出されるノズルを自動的にクリーニングし、目づまりを防ぐ機能が付いています。クリーニングの際は、わずかな量ですがインクが消費されます。

重要

- 消費されたインクは、製品内部の「インク吸収体」に吸収されます。インク吸収体は満杯になると交換が必要です。お客様ご自身での交換はできませんので、満杯になる前に、エラーランプが8回点滅して交換をお知らせします。お早めにキヤノンサポートホームページまたはパーソナル機器修理受付センターへ交換をご依頼ください。

⇒ [トラブルが発生したときは](#)

モノクロ印刷でもカラーインクが使われる？

モノクロ印刷でも、印刷する用紙の種類やプリンタードライバーの設定によってブラック以外のインクが使われることがあります。モノクロでしか印刷していなくてもカラーインクが減るのはそのためです。

印刷を失敗しないためのポイント

印刷前に本製品の状態を確認する

- プリントヘッドの状態は大丈夫？

印刷がかすれてはせっかくの用紙が無駄に……。ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認しておきましょう。

➡ [お手入れの手順について](#)

- 本製品の内部がインクで汚れていませんか？

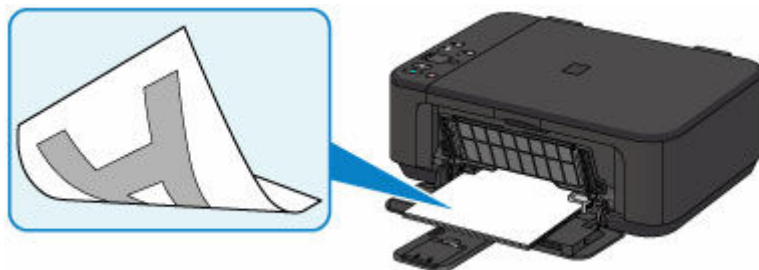
大量に印刷したあとやフチなし印刷をしたあとは、用紙の通過した部分がインクで汚れていることがあります。[インクふき取りクリーニング](#)で内部のそうじをしましょう。

用紙のセット方法を確認する

- 用紙の向きは大丈夫？

印刷したい面を下にしてセットします。

➡ [用紙をセットする](#)



- はがきはどちらの面を先に印刷？

はがきの両面に印刷するときは、通信面から先に印刷すると、よりキレイに仕上がります。

➡ [はがきに印刷するときの注意](#)

- その用紙、反っていませんか？

反った用紙は紙づまりの原因に。用紙は平らにしてからセットしてください。

➡ [印刷面が汚れる／こすれる](#)の「反りのある用紙は、反りを直してから使用してください」

用紙をセットしたあとは、用紙の設定を忘れずに

用紙の種類を設定しないと、せっかく正しく用紙をセットしても満足な印刷結果が得られないことがあります。用紙のセットが済んだら、かならずセットした用紙の種類を設定してください。

➡ [コピー／印刷結果に満足できない](#)

用紙には、写真がきれいに印刷できるよう表面に特殊なコーティングが施されたものや、文書に適したものなどさまざまな種類があります。

それぞれの用紙に最適な画質で印刷できるよう、用紙の種類の設定には、あらかじめ用紙ごとに異なる設定（インクの使いかた、インクのふき出し方法、ノズルとの間隔など）がされています。

そのため、セットした用紙に合った設定を選ぶことで、それぞれの用紙に適した印刷ができるのです。

印刷を中止するときは

電源ボタンは押さないで！

印刷中に電源ボタンを押してしまうと、パソコンから送られた印刷データなどが本製品にたまって印刷できなくなることがあります。

印刷を中止したいときは、ストップボタンを押してください。

いつもきれいな印刷を楽しむためのポイント

きれいな印刷を保つカギは、プリントヘッドの乾燥と目づまりを防ぐこと。そのために次のことを守って、いつもきれいな印刷を楽しんでください。

参考

- 用紙によっては、印刷した部分を蛍光ペンや水性ペンでなぞったり、水や汗が付着したりすると、インクがにじむことがあります。

電源が切れるまで電源プラグは抜かない

電源ボタンを押して電源を切ると、本製品は自動的にプリントヘッド（インクのふき出し口）にキャップをして乾燥を防ぐようになっています。ところが、電源ランプが消える前にコンセントから電源プラグを抜いてしまうと、プリントヘッドが正しくキャップされずに乾燥や目づまりの原因となります。

[電源プラグを抜く](#)ときは電源ランプが消えていることを確認してください。

定期的に印刷しよう

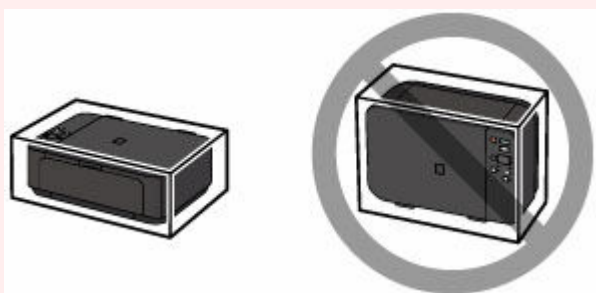
サインペンは長期間使われないと、キャップをしていてもペン先が乾いて書けなくなることがあります。同様に、プリントヘッドも印刷をしないと乾燥して目づまりを起こす場合があります。最低でも、月に1回程度は印刷することをお勧めします。

本製品を移送するときの注意

引越しや修理などで本製品を別の場所に移送するときは、次のことに注意してください。

重要

- 丈夫な箱に本製品の底面が下になるように入れ、保護材を十分につめて梱包し、本製品が安全に移送されるようにしてください。
- FINE カートリッジは取り付けた状態で、本製品の電源ボタンを押して電源をお切りください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため自動的にキャップをして保護します。
- 梱包後は、箱を傾けたり、立てたり、逆さにしたりしないでください。輸送中にインクが漏れるおそれがあります。
- 運送業者に輸送を依頼するときは、本製品の底面を下にした状態で、「精密機器」および「天地無用」を指定してください。



1. 本製品の電源を切る
2. 電源ランプが消えていることを確認して、[電源プラグをコンセントから抜く](#)

重要

- 電源ランプが点灯／点滅しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。本製品の不良や故障の原因になり、印刷できなくなることがあります。

3. 排紙トレイと排紙サポートを収納し、用紙サポートと補助トレイを収納する
4. フロントカバーを閉じる
5. 接続ケーブルと電源コードを取り外す
6. 各カバー類が開かないようにテープを貼って固定し、袋に入れる
7. 本製品の周囲を保護材ではさんで箱に入れる

原稿をスキャンするときの注意事項

以下を原稿としてスキャンするか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合をのぞき違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題になることがあります。

通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしい物を作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 郵便為替証書
- 株券、社債券
- 定期券、回数券、乗車券
- 国債証券、地方債証券
- 郵便切手、印紙
- 手形、小切手
- その他の有価証券

公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許書、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

[関係法律]

- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

仕様

装置の概要

印刷解像度 (dpi)	4800* (横) × 1200 (縦) * 最小 1/4800 インチのドット (インク滴) 間隔で印刷します。
インターフェース	プリンター接続部： Hi-Speed USB *1 LAN 接続部： 無線 LAN IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b *2 *1 Hi-Speed USB でのご使用は、パソコン側が Hi-Speed USB に対応している必要があります。 また、Hi-Speed USB インターフェースは USB 1.1 の完全上位互換ですので、パソコン側のインターフェースが USB 1.1 でも接続してご使用いただけます。 *2 AOSS、らくらく無線スタート、WPS (Wi-Fi Protected Setup)、WCN (Windows Connect Now)、ケーブルレスセットアップによる設定で接続が可能です。 USB と LAN は同時に使用することができます。
印字幅	最長 203.2 mm (フチなし時：最長 216 mm)
動作環境	温度： 5 ～ 35 ℃ 湿度： 10 ～ 90 % RH (結露しないこと) ※温度・湿度条件によっては、プリンターの性能を発揮できず、印刷品質の低下が起きる場合があります。 推奨環境は、以下のとおりです。 温度： 15 ～ 30 ℃ 湿度： 10 ～ 80 % RH (結露しないこと) ※写真印刷用紙などの温度・湿度条件については、用紙のパッケージまたは用紙に付属の取扱説明書を参照してください。
保存環境	温度： 0 ～ 40 ℃ 湿度： 5 ～ 95 % RH (結露しないこと)
電源	AC 100 V 50/60 Hz (付属の電源コードは AC 100 V 用です)
消費電力	印刷時 (コピー時)： 約 16 W *1 待機時 (スリープ時)： 約 1.4 W *1*2 電源 OFF 時： 約 0.1 W *3 *1 無線 LAN 有効時 *2 スリープへの移行時間は変更できません。 *3 電源を切った状態でも若干の電力が消費されています。電力消費をなくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
外形寸法	約 449 mm (横) × 304 mm (奥行き) × 152 mm (高さ) ※フロントカバーを格納した状態
質量	本体 約 5.4 kg

	※FINE カートリッジを取り付けた状態
キヤノン FINE カートリッジ	BC-340 / BC-340XL (ブラックカートリッジ) BC-341 / BC-341XL (カラーカートリッジ) 1792 ノズル (BK 640 ノズル、C / M / Y 各 384 ノズル)

コピー仕様

連続コピー枚数	最大 21 枚
拡大/縮小	自動変倍

スキャナー仕様

スキャナードライバー	Windows : TWAIN 1.9 Specification に準拠、WIA Mac OS : ICA
最大原稿サイズ	A4/レター、216 x 297 mm
読み取り解像度	光学 (主走査、副走査) 最大 : 1200 x 2400 dpi *1 ソフトウェア補間 (主走査、副走査) 最大 : 19200 x 19200 dpi *2 *1 光学解像度は、ISO 14473 規格をもとに、原稿を読み取る際の最大のサンプリングレートを表しています。 *2 読み取り解像度が高解像度になると読み取り範囲は制限されます。
読み取り階調 (入力/出力)	グレースケール : 16 bit/8 bit カラー : 48 bit/24 bit (RGB 各色 16 bit/8 bit)

ネットワーク仕様

通信プロトコル	TCP/IP
無線 LAN 部	準拠規格 : IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b 周波数帯域 : 2.4 GHz 帯 チャンネル : 1-13 有効範囲 : 屋内 50 m (164 フィート) ※環境条件により異なります。 セキュリティ : WEP (64/128 bit) WPA-PSK (TKIP/AES) WPA2-PSK (TKIP/AES) セットアップ : AOSS らくらく無線スタート WPS (プッシュボタン方式/PIN コード方式) WCN (WCN-NET) ケーブルレスセットアップ

動作条件

OS の動作条件が高い場合はそれに準じます。

Windows

対応 OS	Windows 8.1*、Windows 8 Windows 7、Windows 7 SP1 Windows Vista SP2 Windows XP SP3（32-bit のみ） * Windows 8.1 は Windows 8.1 Update を含みます。
ハードディスク空き容量	3.1 GB 以上 注） 付属のソフトウェアのインストールに必要な容量。 容量は予告なく変更となる場合があります。
表示環境	XGA 1024 x 768 以上

Mac OS

対応 OS	OS X v10.7.5 - OS X v10.10
ハードディスク空き容量	1.5 GB 以上 注） 付属のソフトウェアのインストールに必要な容量。 容量は予告なく変更となる場合があります。
表示環境	XGA 1024 x 768 以上

その他

iOS、Android、Windows RT で使用できる機能に制限があります。
詳細は、キヤノンのホームページでご確認ください。

モバイル印刷機能

Apple AirPrint
Google Cloud Print
PIXUS クラウドリンク

- オンラインマニュアルの使用および読取革命 Lite、お知らせメッセージャー、Easy-WebPrint EX のインストールには、インターネット接続が必要です。
- Windows OS でご使用になる場合、.NET Framework 4 または 4.5 のインストールが必要です。
- Windows OS でご使用になる場合、ソフトウェアのインストールには、CD-ROM ドライブまたはネットワーク接続が必要になります。
- Windows XP でご使用になる場合、XPS Essentials Pack が必要です。
- Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows XP のいずれかがプレインストールされているコンピューターが必要です。
- Windows Media Center では、一部の制限があります。

- 読取革命 Lite は Windows XP に対応していません。
- Easy-WebPrint EX をご使用になる場合は、Internet Explorer 8/9/10/11（Windows）が必要です。
- Mac OS でご使用になる場合、ソフトウェアのインストールには、ネットワーク接続が必要になります。
- TWAIN ドライバー（ScanGear）は TWAIN 規格 V1.9 に準拠しています。

TWAIN ドライバー（ScanGear）を使用する場合は OS 提供の Data Source Manager が必要です。

- 企業内ネットワーク環境でご使用になる場合、5222 ポートが解放されている必要があります。確認方法については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

このマニュアルの内容は、予告なく変更することがあります。

用紙に関する情報

▶ 使用できる用紙について

- 用紙の最大積載枚数

▶ 使用できない用紙について

▶ 印刷できる範囲

- 印刷できる範囲について
- レター、リーガル、封筒以外のサイズ of 用紙
- レター、リーガル
- 封筒

使用できる用紙について

最適な印刷結果を得るために、印刷に適した用紙をお選びください。キヤノンでは、写真や文書のための用紙はもちろん、シール紙やはがきなど、印刷の楽しさを広げるさまざまな種類の用紙をご用意しています。大切な写真の印刷には、キヤノン純正紙のご使用をお勧めします。

用紙の種類

市販の用紙

- 普通紙（再生紙を含む）[*1](#)
- はがき／年賀はがき[*2](#)
- インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき[*2](#)
- インクジェット光沢はがき／写真用年賀はがき[*3](#)
- 往復はがき[*2](#)
- 封筒[*2](#)
- Tシャツ転写紙[*2](#)

キヤノン純正紙

<型番>のあるものは、キヤノン純正紙です。用紙の裏表や使用上の注意については、各用紙の取扱説明書を参照してください。また、種類によって取り扱っているサイズが異なります。詳しくは、キヤノンのホームページをご覧ください。

書類の印刷に適する用紙：

- キヤノン普通紙・ホワイト <SW-101>[*1](#)
- キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口 <SW-201>[*1](#)
- キヤノン普通紙・ビジネス <FB-101>[*1](#)

写真の印刷に適する用紙：

- キヤノン写真用紙・光沢 プロ [プラチナグレード] <PT-201>
- キヤノン写真用紙・光沢 スタンダード <SD-201>
- キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド <GL-101>[*1](#)
- キヤノン写真用紙・微粒面光沢 ラスター <LU-101>
- キヤノン写真用紙・絹目調 <SG-201>
- マットフォトペーパー <MP-101>[*2](#)

年賀状、挨拶状の印刷に適する用紙：

- キヤノン写真はがき・マット <MH-101>[*2](#)
- キヤノン写真はがき・光沢 <KH-401>[*3](#)

ビジネス文書に適する用紙：

- 高品位専用紙 <HR-101S>[*2](#)

オリジナルグッズが作れる用紙：

- ピクサスプチシール <PS-101>（16面光沢フォトシール）
- ピクサスプチシール・フリーカット <PS-201>
- フォトシールセット <PSHRS>（2面/4面/9面/16面）

*1 本製品でのコピー操作時に、本製品の用紙選択ボタンで指定できる用紙です。ただし、普通紙はA4またはレターサイズ、写真用紙はL判サイズのみ指定できます。

*2 PictBridge（Wireless LAN）対応機器からの印刷には対応していません。

*3 あて名面は、PictBridge（Wireless LAN）対応機器からの印刷には対応していません。

- ➡ [用紙の最大積載枚数](#)
- ➡ [プリンタードライバーでの用紙の設定](#)（Windows）
- ➡ [プリンタードライバーでの用紙の設定](#)（Mac OS）

参考

- PictBridge（Wireless LAN）対応機器の写真を印刷するときは、用紙サイズと用紙の種類を設定してください。
- ➡ [デジタルカメラから印刷してみよう](#)

サイズ

使用できる用紙サイズは、以下のとおりです。

参考

- ご使用の OS により、使用できる用紙サイズや用紙の種類は異なります。
- 以下の用紙サイズ以外は、操作パネルを使った印刷には対応していません。
 - A4、レター、L 判
- 以下の用紙サイズは、PictBridge（Wireless LAN）対応機器からの印刷には対応していません。
 - B5、A5、レター、リーガル、5 x 7、往復はがき、封筒

定型：

- レター
- リーガル
- A5
- A4
- B5
- KG
- 六切
- L 判
- 2L 判／5 x 7
- はがき
- 往復はがき
- 封筒（長形 3 号／長形 4 号）*
- 封筒（洋形 4 号／洋形 6 号）

* Windows のみ

非定型：

以下の範囲内で、定型サイズ以外の用紙に印刷できます。

- 最小サイズ：89.0 mm x 127.0 mm（3.50 inches x 5.00 inches）
- 最大サイズ：215.9 mm x 676.0 mm（8.50 inches x 26.61 inches）

重さ

使用できる用紙の重さは以下のとおりです。

- 64～105 g /m²（キヤノン純正紙以外の普通紙）

この範囲外の重さの用紙（キヤノン純正紙以外）は、紙づまりの原因となりますので使用しないでください。

保管上の注意について

- 用紙は印刷する直前に、印刷する枚数だけをパッケージから取り出して使用してください。
- 反りを防ぐため、使用しない用紙は用紙が入っていたパッケージに入れ、水平に置いて保管してください。また、高温・多湿・直射日光を避けて保管してください。

用紙の最大積載枚数

市販の用紙

用紙の名称	前トレイ	排紙トレイ
普通紙（再生紙を含む） *1	約 100 枚 (リーガル：10 枚)	約 50 枚 (リーガル：10 枚)
はがき／年賀はがき	40 枚	20 枚
インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき	20 枚	20 枚
インクジェット光沢はがき／写真用年賀はがき	20 枚	20 枚
往復はがき *1	20 枚	*2
封筒	5 枚	*2
T シャツ転写紙	A4：1 枚	*2

キヤノン純正紙

書類の印刷に適する用紙：

用紙の名称 <型番>	前トレイ	排紙トレイ
キヤノン普通紙・ホワイト <SW-101>	約 90 枚	約 50 枚
キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口 <SW-201>	約 80 枚	約 50 枚
キヤノン普通紙・ビジネス <FB-101>	約 100 枚	約 50 枚

写真の印刷に適する用紙：

用紙の名称 <型番>	前トレイ	排紙トレイ
キヤノン写真用紙・光沢 プロ〔プラチナグレード〕 <PT-201> *3	A4、2L 判、六切：10 枚 L 判、KG：20 枚	*2
キヤノン写真用紙・光沢 スタンダード <SD-201> *3	A4、2L 判：10 枚 L 判：20 枚	*2
キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド <GL-101> *3	A4、2L 判、六切：10 枚 L 判、KG、はがき：20 枚	*2
キヤノン写真用紙・微粒面光沢 ラスター <LU-101> *3	A4：10 枚	*2
キヤノン写真用紙・絹目調 <SG-201> *3	A4、2L 判、六切：10 枚 L 判：20 枚	*2
マットフォトペーパー <MP-101>	A4：10 枚 L 判：20 枚	*2

年賀状、挨拶状の印刷に適する用紙：

用紙の名称 <型番>	前トレイ	排紙トレイ
キヤノン写真はがき・マット <MH-101>	20 枚	20 枚
キヤノン写真はがき・光沢 <KH-401>	20 枚	20 枚

ビジネス文書の印刷に適する用紙：

用紙の名称 <型番>	前トレイ	排紙トレイ
------------	------	-------

高品位専用紙 <HR-101S>	80 枚	50 枚
------------------	------	------

オリジナルグッズ作りに適する用紙：

用紙の名称 <型番>	前トレイ	排紙トレイ
ピクサスプチシール <PS-101>（16 面光沢フォトシール）	1 枚	*2
ピクサスプチシール・フリーカット <PS-201>	1 枚	*2
フォトシールセット <PSHRS>（2 面/4 面/9 面/16 面）	1 枚	*2

*1 用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を半分に減らしてください。

*2 にじみや変色を防ぐため、続けて印刷するときは、先に印刷した用紙を排紙トレイから取り出すことをお勧めします。

*3 用紙を重ねてセットすると、用紙を引き込む際に印刷面に跡が付いたり、用紙がうまく送られなかったりする場合があります。その場合は、用紙を 1 枚ずつセットしてください。

使用できない用紙について

以下の用紙は使用しないでください。きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。

- 折れている／反りのある／しわが付いている用紙
- 濡れている用紙
- 薄すぎる用紙（重さ 64 g /m² 未満）
- 厚すぎる用紙（キヤノン純正紙以外の普通紙で重さ 105 g /m² を超えるもの）
- はがきより薄い紙、普通紙やメモ用紙を裁断した用紙（はがき／L 判など、A5 サイズより小さい用紙に印刷する場合）
- 絵はがき
- 一度折り曲げた往復はがき
- 写真付きはがきやステッカーを貼ったはがき
- 角形封筒
- ふたが二重になっている封筒
- ふたがシールになっている長形封筒
- 型押しやコーティングなどの加工された封筒
- ふた部分の乾燥糊が湿って、粘着性が出てしまった封筒
- 穴のあいている用紙
- 長方形以外の形状の用紙
- ホチキスや粘着剤などでとじている用紙
- 粘着剤の付いた用紙
- 表面にラメなどが付いている用紙

印刷できる範囲

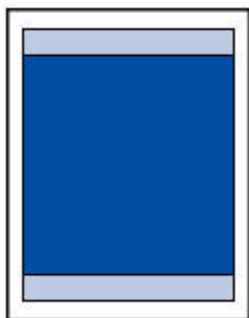
- ▶ 印刷できる範囲について
- ▶ レター、リーガル、封筒以外のサイズ of 用紙
- ▶ レター、リーガル
- ▶ 封筒

印刷できる範囲について

印刷の品質を維持するため、用紙の上下左右に余白を設けています。実際に印刷できる範囲は、これらの余白を除いた部分となります。

印刷推奨領域  : この範囲に印刷することをお勧めします。

印刷可能領域  : 印刷できる範囲です。ただし、印刷の品質または用紙送りの精度が低下することがあります。



参考

- 自動両面印刷では、用紙の上辺の印刷可能領域が通常より 2 mm (0.08 inch) 分狭くなります。
- フチなし全面印刷を設定すると、余白のない印刷が可能になります。
- フチなし全面印刷を行うと、画像は用紙全体に印刷されるように拡大されるため、画像の周囲がわずかに欠けます。
- フチなし全面印刷には、以下の用紙をご使用ください。
 - キヤノン写真用紙・光沢 プロ [プラチナグレード] <PT-201>
 - キヤノン写真用紙・光沢 スタンダード <SD-201>
 - キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド <GL-101>
 - キヤノン写真用紙・微粒面光沢 ラスター <LU-101>
 - キヤノン写真用紙・絹目調 <SG-201>
 - マットフォトペーパー <MP-101>
 - キヤノン写真はがき・マット <MH-101>
 - キヤノン写真はがき・光沢 <KH-401>
 - はがき
 - インクジェットはがき
 - インクジェット光沢はがき

上記以外の用紙では印刷品質が著しく低下したり、色味が変わったりすることがあります。

普通紙では印刷品質がやや低下することがありますので、試し印刷などにご使用ください。なお、操作パネルを使った印刷、および PictBridge (Wireless LAN) 対応機器からの印刷では、普通紙にフチなし全面印刷はできません。

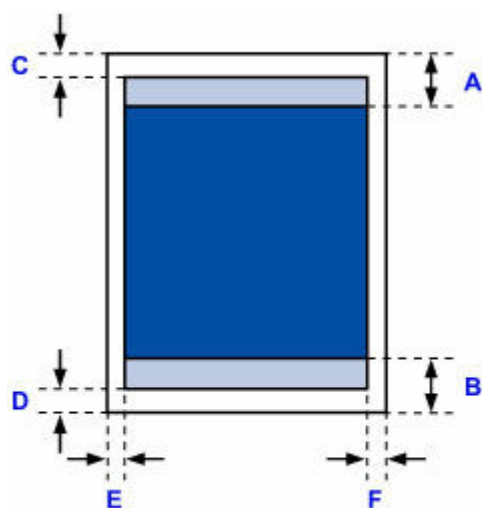
- リーガル/A5/B5 サイズの用紙と往復はがき、封筒にはフチなし全面印刷はできません。
- 使用している用紙によっては、フチなし全面印刷を行うと用紙の上端や下端部分の印刷品質がやや低下したり、汚れが発生したりすることがあります。

レター、リーガル、封筒以外のサイズ用の紙

参考

- ご使用の OS により、使用できる用紙サイズや用紙の種類は異なります。

サイズ	印刷可能領域 (幅 x 長さ)
A5	141.2 mm x 202.0 mm (5.56 inches x 7.95 inches)
A4	203.2 mm x 289.0 mm (8.00 inches x 11.38 inches)
B5	175.2 mm x 249.0 mm (6.90 inches x 9.80 inches)
KG	94.8 mm x 144.4 mm (3.73 inches x 5.69 inches)
5 x 7	120.2 mm x 169.8 mm (4.73 inches x 6.69 inches)
六切	196.4 mm x 246.0 mm (7.73 inches x 9.69 inches)
L 判	82.2 mm x 119.0 mm (3.24 inches x 4.69 inches)
2L 判	120.2 mm x 170.0 mm (4.73 inches x 6.69 inches)
はがき	93.2 mm x 140.0 mm (3.67 inches x 5.51 inches)
往復はがき	193.2 mm x 140.0 mm (7.61 inches x 5.51 inches)



印刷推奨領域

A : 32.5 mm (1.28 inches)

B : 33.5 mm (1.32 inches)

印刷可能領域

C : 3.0 mm (0.12 inch)

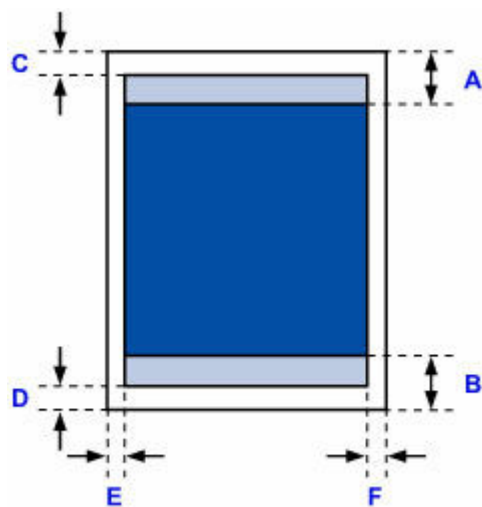
D : 5.0 mm (0.20 inch)

E : 3.4 mm (0.13 inch)

F : 3.4 mm (0.13 inch)

レター、リーガル

サイズ	印刷可能領域（幅 x 長さ）
レター	203.2 mm x 271.4 mm (8.00 inches x 10.69 inches)
リーガル	203.2 mm x 347.6 mm (8.00 inches x 13.69 inches)



■ 印刷推奨領域

A : 32.5 mm (1.28 inches)

B : 33.5 mm (1.32 inches)

■ 印刷可能領域

C : 3.0 mm (0.12 inch)

D : 5.0 mm (0.20 inch)

E : 6.4 mm (0.25 inch)

F : 6.3 mm (0.25 inch)

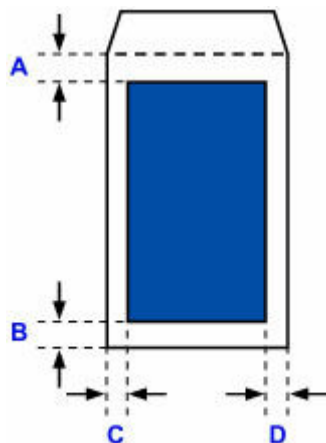
封筒

参考

- ご使用の OS により、使用できる用紙サイズや用紙の種類は異なります。

封筒（長形 3 号／長形 4 号）

サイズ	印刷推奨領域（幅 x 長さ）
長形 3 号	108.8 mm x 222.0 mm (4.28 inches x 8.74 inches)
長形 4 号	78.8 mm x 192.0 mm (3.10 inches x 7.55 inches)



印刷推奨領域

A : 8.0 mm (0.31 inch)

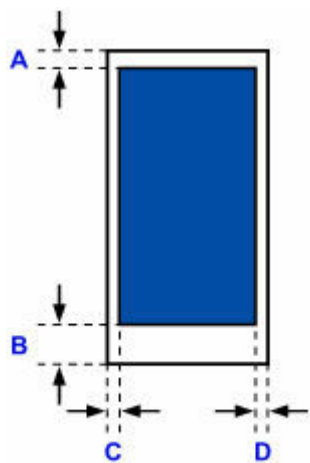
B : 5.0 mm (0.20 inch)

C : 5.6 mm (0.22 inch)

D : 5.6 mm (0.22 inch)

封筒（洋形 4 号／洋形 6 号）

サイズ	印刷推奨領域（幅 x 長さ）
洋形 4 号	93.8 mm x 198.0 mm (3.69 inches x 7.80 inches)
洋形 6 号	86.8 mm x 153.0 mm (3.41 inches x 6.02 inches)



印刷推奨領域

A : 8.0 mm (0.31 inch)

B : 29.0 mm (1.14 inches)

C : 5.6 mm (0.22 inch)

D : 5.6 mm (0.22 inch)

管理用のパスワードについて

機種によっては、ご購入時からパスワードが設定されています。

設定されている場合、パスワードは「canon」または本製品のシリアルナンバーのどちらかになります。

パスワードが「canon」に設定されている機種

- 下記の機種は、パスワードが「canon」に設定されています。
MG7500 series、MG6700 series、MG6600 series、MG5600 series、
MG2900 series、MX490 series、MB5300 series、MB5000 series、
MB2300 series、MB2000 series、E480 series、E460 series、
iP110 series、iB4000 series、PRO-100S series、PRO-10S series
- 上記の機種は、ご購入時から「ADMIN」というユーザー名も設定されています。
- パスワードを変更するときは、以下の文字制限があります。
 - 0～32 文字で設定してください。
 - 使用可能な文字は半角英数字です。
 - セキュリティの観点から、パスワードは半角英数字を組み合わせで 6 文字以上にすることをお勧めします。

パスワードが本製品のシリアルナンバーに設定されている機種

- 上記の機種以外は、パスワードが本製品のシリアルナンバーに設定されています。
➡ [本製品のシリアルナンバーの記載箇所について](#)
- パスワードを変更するときは、以下の文字制限があります。
 - 4～32 文字で設定してください。
 - 使用可能な文字は半角英数字です。
 - セキュリティの観点から、パスワードは半角英数字を組み合わせで 6 文字以上にすることをお勧めします。

重要

- パスワードは以下のいずれかを利用して変更できます。（ご使用の機種によっては、ご利用になれない場合があります。）
 - 本製品の操作パネル
 - IJ Network Tool（アイジェイ・ネットワーク・ツール）
 - 一部のキヤノン製アプリケーションソフトで表示できるプリンター情報の画面
- 本製品を多人数で共有してご使用の場合、パスワードが変更されて分からなくなってしまったときは、使用している製品の管理者にお問い合わせください。
- 本製品の設定を初期化すると、パスワードはご購入時の状態に戻ります。

本製品の設定を初期化する方法については、ご使用の機種のオンラインマニュアルで「UG067」または「UG505」を検索し、ページを参照してください。

認証について

認証画面が表示されたら、パスワードを入力してください。

➡[管理用のパスワードについて](#)

機種によってはユーザー名の入力が必要な場合があります。ユーザー名については、上記のリンク先を参照してご確認ください。

➡➡ 重要

- 機種によっては認証画面が表示される前に、サーバーの識別情報が検証できないことをお知らせする警告が表示される場合があります。
- パスワードはセキュリティの観点から、固有のパスワードに変更することをお勧めします。

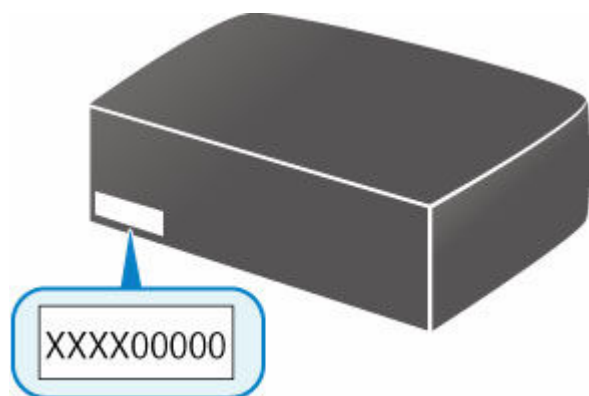
➡➡ 参考

- リモート UI は、以下の OS とウェブブラウザで利用できます。
 - iOS 機器 :
OS : iOS 6.1 以上
ウェブブラウザ : iOS 機器標準搭載のブラウザ (Mobile Safari)
 - Android 機器 :
OS : Android 2.3.3 以上
ウェブブラウザ : Android 機器標準搭載のブラウザ (ブラウザまたは Chrome)
 - Mac OS 機器 :
OS : Mac OS X v.10.6 以上
ウェブブラウザ : Safari 5.1 以上
 - Windows 機器 :
OS : Windows XP 以上
ウェブブラウザ : Internet Explorer 8 以上、Google Chrome 38.0.2125.104m 以上、Mozilla Firefox 33.0 以上

本製品のシリアルナンバーの記載箇所について

本製品のシリアルナンバーは 9 文字（前半 4 文字がアルファベット、後半 5 文字が数字）で、本体のシールに記載されています。

例：



参考

- 本製品のシリアルナンバーは、保証書にも記載されています。
- 機種によっては、本製品の操作パネルからネットワーク設定情報を印刷して、シリアルナンバーを確認することもできます。印刷方法については、ご使用の機種のオンラインマニュアルで「NR044」を検索し、ページを参照してください。

機種別機能一覧

⇒ [MG series](#)

⇒ [MX series / MB series / E series / P series / iP series / iX series / iB series / PRO series / G series](#)

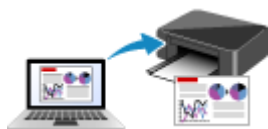
MG series

機種名	ネットワーク経由でのカードスロットの使用
MG7700 series	×
MG7500 series	○
MG7100 series	○
MG6900 series	×
MG6800 series	×
MG6700 series	○
MG6600 series	○
MG6500 series	○
MG6400 series	○
MG5700 series	カードスロット無し
MG5600 series	カードスロット無し
MG5500 series	カードスロット無し
MG3600 series	カードスロット無し
MG3500 series	カードスロット無し
MG2900 series	カードスロット無し
MG2500 series	カードスロット無し
MG2400 series	カードスロット無し

MX series / MB series / E series / P series / iP series / iX series / iB series / PRO series

機種名	ネットワーク経由でのカードスロットの使用
MX series	カードスロット無し
MB series	カードスロット無し
E series	カードスロット無し
P series	カードスロット無し
iP series	カードスロット無し
iX series	カードスロット無し
iB series	カードスロット無し
PRO series	カードスロット無し
G series	カードスロット無し

プリント



パソコンから印刷してみよう



スマートフォン／タブレットから印刷してみよう



デジタルカメラから印刷してみよう

パソコンから印刷してみよう

- ▶ お使いのアプリケーションソフトで印刷する（Windows プリンタードライバー）
- ▶ お使いのアプリケーションソフトで印刷する（Mac OS プリンタードライバー）
- ▶ キヤノンのアプリケーションソフトを使って印刷してみよう
- ▶ ウェブサービスを使って印刷してみよう
- ▶ Mac を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう

お使いのアプリケーションソフトで印刷する（Windows プリンタードライバ）

- ▶ **かんたんな設定で印刷を行う** 📌 **基本**
- ▶ **いろいろな印刷**
- ▶ **印刷品質の変更や画像データの補正**
- ▶ **プリンタードライバの概要**
- ▶ **プリンタードライバの画面説明**
- ▶ **MP ドライバの更新**

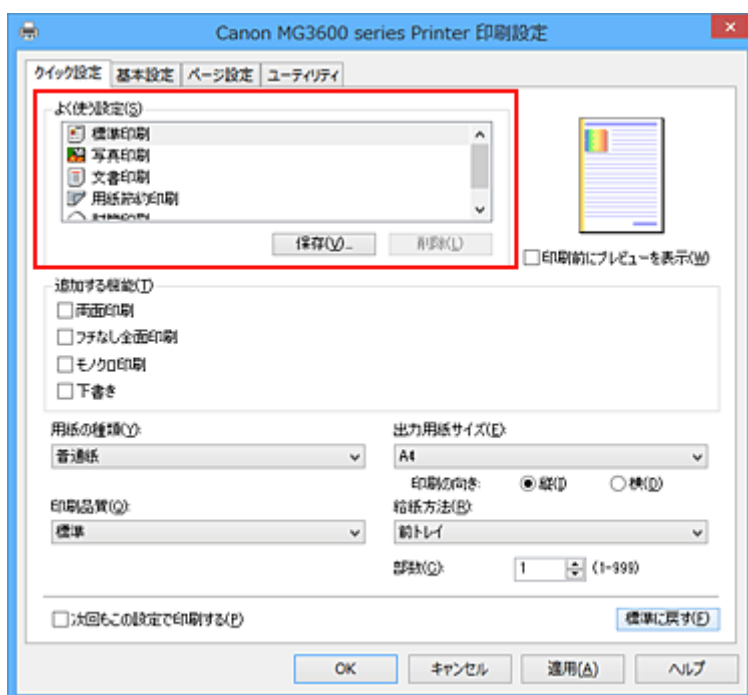
かんたんな設定で印刷を行う

プリンターで適切な印刷を行うために、[\[クイック設定\] シート](#)の設定でかんたんな手順を説明します。

1. プリンターの[電源が入っていることを確認](#)
2. プリンターに[用紙をセット](#)
3. [プリンタードライバの設定画面](#)を開く
4. よく使う設定を選択

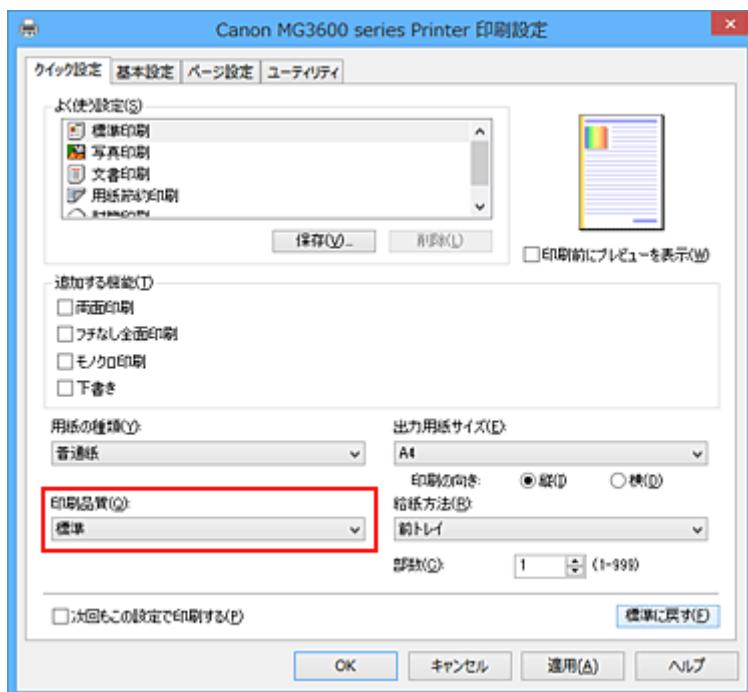
[クイック設定] シートの [よく使う設定] で、目的に合った印刷設定を選びます。

印刷設定を選ぶと、[追加する機能]、[用紙の種類]、[出力用紙サイズ] があらかじめ設定された内容に自動的に切り替わります。



5. 印刷品質を選択

[印刷品質] で、[きれい]、[標準]、[下書き]の中から目的に合ったものを選びます。



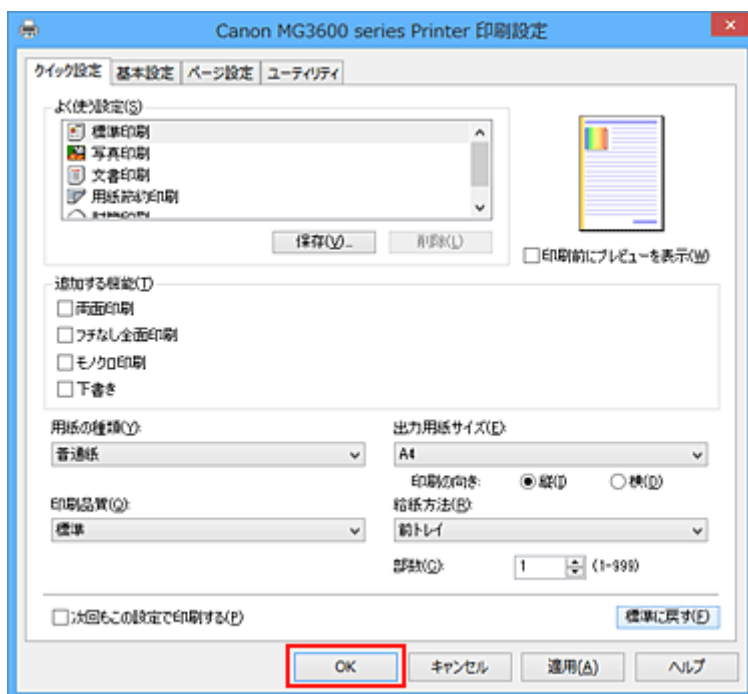
重要

- 印刷設定によっては、選べる印刷品質が異なります。

6. 設定を完了

[OK] をクリックします。

印刷を実行すると、目的に合った設定で印刷を行います。



重要

- [次回もこの設定で印刷する] にチェックマークを付けると、[クイック設定] シート、[基本設定] シート、および [ページ設定] シートで設定した内容が保存され、同じ設定で次回以降も印刷できます。
- [よく使う設定] の [保存...] をクリックすると、[設定した内容を登録](#)できます。

プリンタードライバーでの用紙の設定

プリンターを使用するときは、最適な印刷結果を得るために、印刷に適した用紙を選んでください。
プリンターでは以下の用紙が使用できます。

市販の用紙

用紙の名称	プリンタードライバーでの【用紙の種類】
普通紙（再生紙を含む）	[普通紙]
はがき／年賀はがき	通信面：[はがき] あて名面：[はがき(あて名面)] / [はがき]
インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき	通信面：[インクジェットはがき(通信面)] あて名面：[インクジェットはがき(あて名面)] / [はがき]
インクジェット光沢はがき／写真用年賀はがき	通信面：[インクジェット写真用はがき(通信面)] あて名面：[インクジェット写真用はがき(あて名面)] / [はがき]
往復はがき	[はがき]
封筒	[封筒]
海外膨潤メディア	[膨潤紙]
T シャツ転写紙	[T シャツ転写紙]

キヤノン純正紙（書類の印刷）

用紙の名称 <型番>	プリンタードライバーでの【用紙の種類】
キヤノン普通紙・ホワイト <SW-101>	[普通紙]
キヤノン普通紙・ホワイト両面厚口 <SW-201>	[普通紙]
キヤノン普通紙・ビジネス <FB-101>	[普通紙]

キヤノン純正紙（写真の印刷）

用紙の名称 <型番>	プリンタードライバーでの【用紙の種類】
キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド <GL-101>	[写真用紙 光沢ゴールド]
キヤノン写真用紙・光沢 プロ [プラチナグレード] <PT-201>	[光沢プロ プラチナグレード]
キヤノン写真用紙・微粒面光沢 ラスター <LU-101>	[写真用紙 微粒面光沢 ラスター]
キヤノン写真用紙・絹目調 <SG-201>	[写真用紙 絹目調]
キヤノン写真用紙・光沢 スタンダード <SD-201>	[写真用紙 光沢 スタンダード]
マットフォトペーパー <MP-101>	[マットフォトペーパー]

キヤノン純正紙（年賀状、挨拶状の印刷）

用紙の名称 <型番>	プリンタードライバーでの【用紙の種類】
------------	---------------------

キヤノン写真はがき・マット <MH-101>	通信面：[インクジェットはがき(通信面)] あて名面：[インクジェットはがき(あて名面)] / [はがき]
キヤノン写真はがき・光沢 <KH-401>	通信面：[インクジェット写真用はがき(通信面)] あて名面：[インクジェット写真用はがき(あて名面)] / [はがき]

キヤノン純正紙（ビジネス文書の印刷）

用紙の名称 <型番>	プリンタードライバーでの【用紙の種類】
高品位専用紙 <HR-101S>	[高品位専用紙]

キヤノン純正紙（オリジナルグッズ作り）

用紙の名称 <型番>	プリンタードライバーでの【用紙の種類】
ピクサスプチシール（16 面光沢フォトシール） <PS-101>	[写真用紙 光沢 スタンダード]
ピクサスプチシール・フリーカット <PS-201>	[写真用紙 光沢 スタンダード]
フォトシールセット <PSHRS>（2 面/4 面/9 面/16 面）	[写真用紙 光沢 スタンダード]

いろいろな印刷

- ▶ 用紙サイズと印刷の向きを設定する
- ▶ 部数と印刷順序を設定する
- ▶ とじしろを設定する
- ▶ フチなし全面印刷を行う
- ▶ フィットページ印刷を行う
- ▶ 拡大/縮小印刷を行う
- ▶ 割り付け印刷を行う
- ▶ 分割/ポスター印刷を行う
- ▶ 冊子印刷を行う
- ▶ 両面印刷を行う
- ▶ スタンプ付き、背景付き印刷を行う
- ▶ スタンプを登録する
- ▶ 背景として使用する画像データを登録する
- ▶ 封筒に印刷する
- ▶ はがきに印刷する
- ▶ 印刷前に印刷結果を表示する
- ▶ 用紙の縦横サイズを設定する（ユーザー定義用紙）
- ▶ 印刷ドキュメントの編集や印刷履歴の再印刷を行う

用紙サイズと印刷の向きを設定する

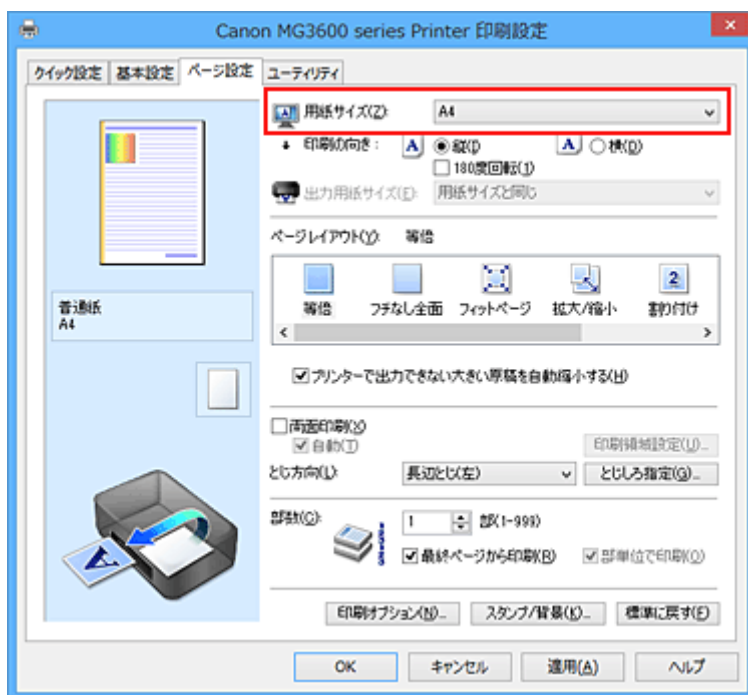
用紙のサイズや印刷の向きの設定は、基本的にアプリケーションソフトで行います。[ページ設定] シートの [用紙サイズ]、[印刷の向き] の設定が、アプリケーションソフトの設定と同じであれば、特に設定する必要はありません。

アプリケーションソフトで設定できないときは、次の手順で設定してください。
用紙サイズと印刷の向きは [クイック設定] シートで設定することも可能です。

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く

2. 用紙サイズを選択

[ページ設定] シートの [用紙サイズ] で使用する用紙サイズを選びます。



3. [印刷の向き] を設定

[印刷の向き] で [縦] または [横] を選びます。原稿を 180 度回転させて印刷したいときは、[180 度回転] にチェックマークを付けます。

4. 設定を完了

[OK] をクリックします。

印刷を実行すると、設定した用紙サイズと印刷の向きで印刷されます。

参考

- [ページレイアウト] で [等倍] を選んでいる場合は [プリンターで出力できない大きい原稿を自動縮小する] が表示されます。
通常はチェックマークを付けたままで構いません。プリンターで出力できない大きさの原稿を印刷するときに縮小したくない場合は、チェックマークを外してください。

部数と印刷順序を設定する

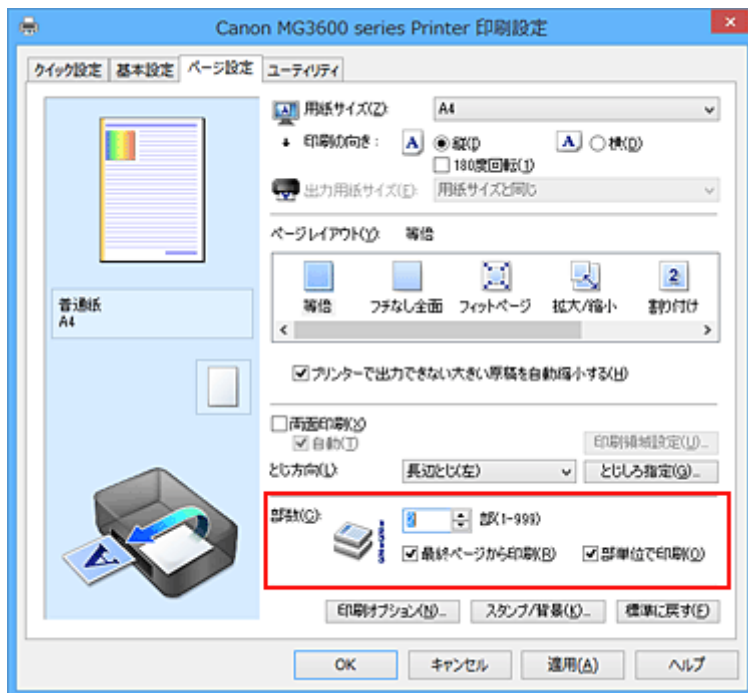
部数と印刷する順序を設定する手順を説明します。

部数は「クイック設定」シートで設定することも可能です。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 部数を設定

「ページ設定」シートの「部数」で印刷する部数を設定します。

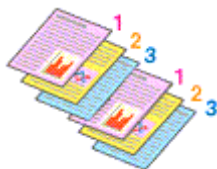


3. 印刷順序を設定

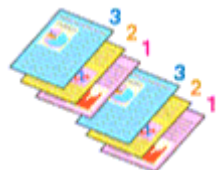
最終ページから印刷したいときは「最終ページから印刷」にチェックマークを付け、先頭ページから印刷したいときはチェックマークを外します。

2部以上印刷する場合で、1部ずつまとまるように印刷したいときは「部単位で印刷」にチェックマークを付け、同一ページでまとまるように印刷したいときはチェックマークを外します。

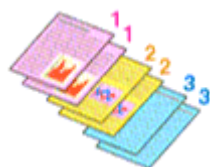
- 「最終ページから印刷」： ☒ / 「部単位で印刷」： ☒



- 「最終ページから印刷」： ☐ / 「部単位で印刷」： ☒



- 「最終ページから印刷」： ☒ / 「部単位で印刷」： ☐



- [最終ページから印刷] : ☐ / [部単位で印刷] : ☐



4. 設定を完了

[OK] をクリックします。

印刷を実行すると、設定した部数や印刷順序で印刷されます。

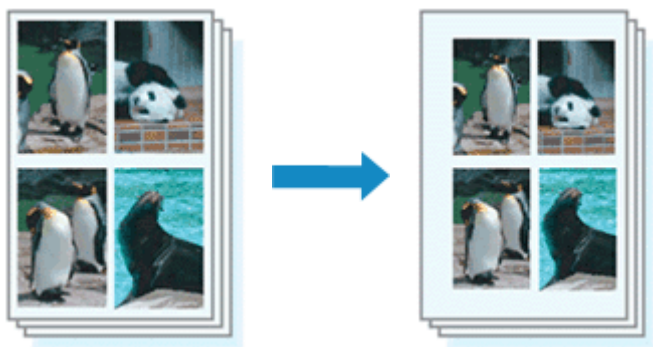
重要

- 原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、プリンタードライバーで設定を行ってください。印刷結果が思わしくない場合は、アプリケーションソフトで設定を行ってください。両方で設定すると、印刷枚数が2つの設定をかけた数になったり、印刷順序の指定が無効になったりすることがあります。
- [ページレイアウト] で [分割/ポスター] を選んでいる場合、[最終ページから印刷] はグレー表示となり、設定できません。
- [ページレイアウト] で [冊子] を選んでいる場合、[最終ページから印刷] と [部単位で印刷] はグレー表示となり、設定できません。
- [両面印刷] にチェックを入れている場合、[最終ページから印刷] はグレー表示となり、設定できません。

参考

- [最終ページから印刷] と [部単位で印刷] を同時に設定することで、ページ順に1部ずつまとめて印刷できます。
この設定は、[等倍]、[フチなし全面]、[フィットページ]、[拡大/縮小]、または [割り付け] と組み合わせて使用できます。

とじしろを設定する

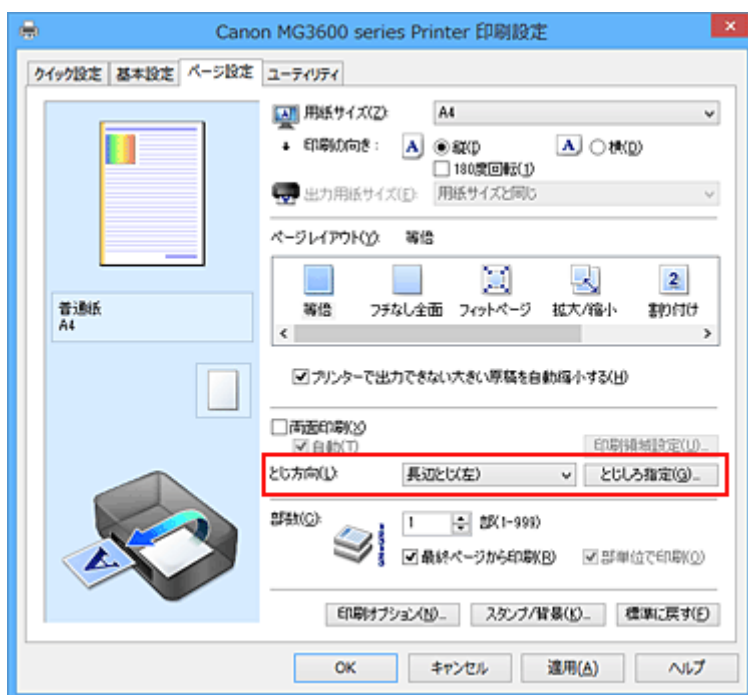


とじ方向ととじしろの幅を設定する手順を説明します。

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く
2. とじしろの位置を確認

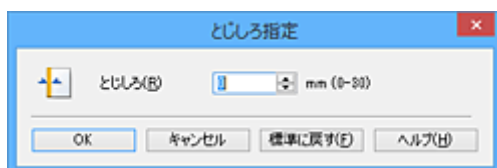
[ページ設定] シートの [とじ方向] でとじしろの位置を確認します。

[印刷の向き] や [ページレイアウト] の設定から、最適なとじしろの位置が自動的に選ばれています。
変更する場合は、一覧から選びます。



3. とじしろの幅を設定

必要に応じて、[とじしろ指定...] をクリックし、とじしろの幅を指定して [OK] をクリックします。



参考

- とじしろの幅によって、印刷領域は自動的に縮小します。

4. 設定を完了

[ページ設定] シートの [OK] をクリックします。

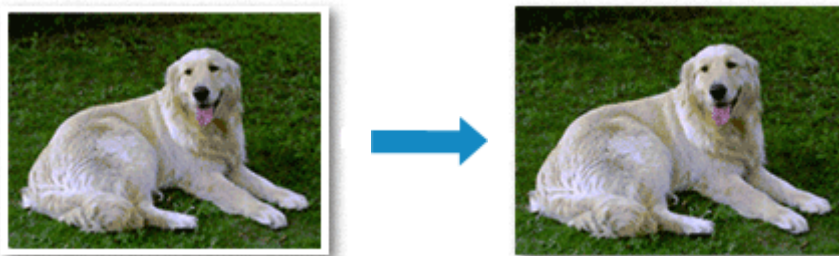
印刷を実行すると、指定したとじ方向ととじしろの幅で印刷されます。

重要

- 次の設定を行っている場合は、[とじ方向] と [とじしろ指定...] はグレー表示となり、設定できません。
 - [ページレイアウト] で [フチなし全面]、[分割/ポスター]、[冊子] を選んでいるとき
 - [ページレイアウト] で [拡大/縮小] を選んでいるとき（[両面印刷] を同時に設定したときは [とじ方向] のみ設定できます。）

フチなし全面印刷を行う

フチなし全面印刷は、用紙からわずかにみ出す大きさに原稿を拡大して、紙面いっぱいに印刷する機能です。通常の印刷は原稿の周囲に余白ができますが、フチなし全面印刷ではこの余白ができません。写真などを用紙の全面に印刷したいときに設定してください。



フチなし全面印刷の手順を説明します。

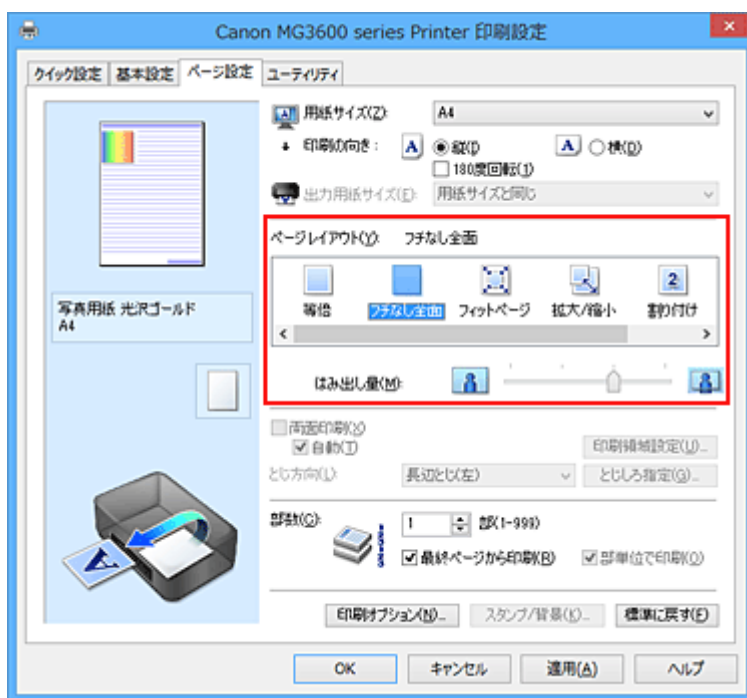
フチなし全面印刷は「クイック設定」シートの「追加する機能」で設定することも可能です。

フチなし全面印刷の設定

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く

2. フチなし全面印刷を設定

「ページ設定」シートの「ページレイアウト」で「フチなし全面」を選びます。



確認メッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

用紙の種類の変更を促すメッセージが表示されたら、使用する用紙の種類を一覧から選び、[OK] をクリックします。

3. 用紙サイズを確認

「用紙サイズ」を確認し、変更する場合は一覧から選びます。一覧にはフチなし全面印刷ができるサイズのみ表示されます。

4. 用紙からはみ出す量を調整

必要に応じて、[はみ出し量] を調整します。

スライダーを右にドラッグするほどはみ出し量は多く、左にドラッグするほど少なくなります。

通常は、右から2番目に設定することをお勧めします。



重要

- [はみ出し量] のスライダーの位置を右端に設定した場合、用紙の裏面が汚れることがあります。

5. 設定を完了

[OK] をクリックします。

印刷を実行すると、紙面いっぱいに原稿が印刷されます。

重要

- フチなし全面印刷ができない用紙サイズを選んでいる場合は、フチなし全面印刷ができるサイズに変更されます。
- [フチなし全面] を選ぶと、[ページ設定] シートの [出力用紙サイズ]、[両面印刷]、[とじ方向]、[スタンプ/背景...] ([スタンプ...]) はグレー表示となり、設定できなくなります。
- [基本設定] シートの [用紙の種類] で [封筒]、[高品位専用紙]、[T シャツ転写紙] を選んでいる場合、フチなし全面印刷は実行できません。
- 用紙の種類によっては、フチなし全面印刷を行うと用紙の上端や下端の印刷品質が低下したり、汚れが発生したりすることがあります。
- 用紙サイズによっては、画像データとの縦横の比率が異なるため、画像の一部が用紙に納まらないことがあります。
その場合は、用紙サイズに合わせてアプリケーションソフトで画像データをトリミングしてください。

参考

- [基本設定] シートの [用紙の種類] で [普通紙] を選んでいる場合は、フチなし全面印刷を推奨しません。そのため、用紙の種類を選ぶメッセージが表示されます。
試し印刷などで普通紙を使用する場合は、[普通紙] を選び、[OK] をクリックしてください。

印刷範囲を広げたいときは

確実にフチなし全面印刷を実行するためには、原稿のはみ出し量を多くしておけば安心ですが、はみ出した部分の原稿は紙面に印刷されません。そのため、端のほうにある被写体が用紙に納まらないことがあります。

フチなし全面印刷の結果に満足できなかった場合は、はみ出し量を少なくしてください。[はみ出し量] のスライダーを左にドラッグするほど、はみ出し量が少なくなります。

重要

- はみ出し量を少なくした場合は、用紙のサイズによっては余白ができることがあります。

参考

- [はみ出し量] のスライダーを左端に設定すると、画像データは原寸で印刷されます。はがきのあて名面を印刷する場合に設定すると、差出人の郵便番号が正しい位置に印刷されます。

- [基本設定] シートの [印刷前にプレビューを表示] にチェックマークを付けると、余白が残らないか印刷前に確認できます。

フィットページ印刷を行う

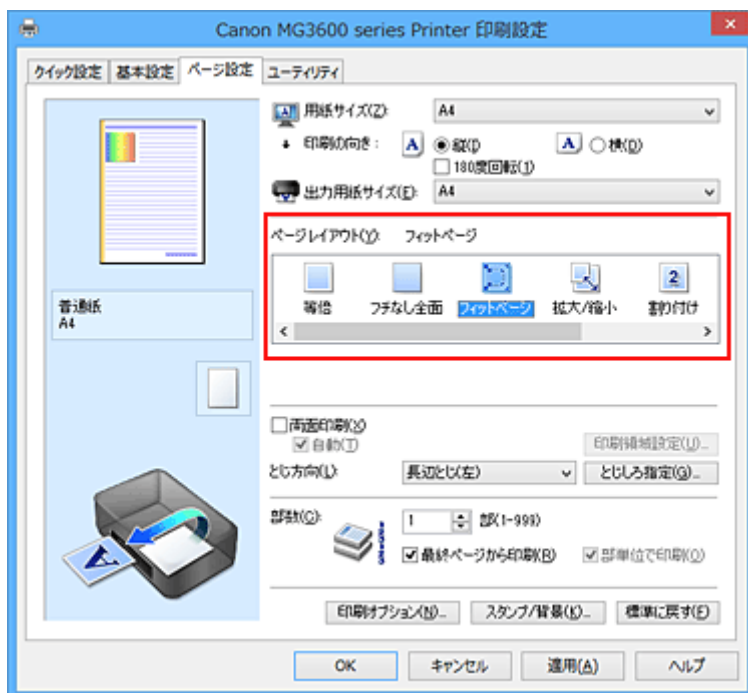


使用する用紙に合わせて原稿を自動的に拡大または縮小して印刷する手順を説明します。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. フィットページ印刷を設定

［ページ設定］シートの［ページレイアウト］で［フィットページ］を選びます。



3. 原稿の用紙サイズを選択

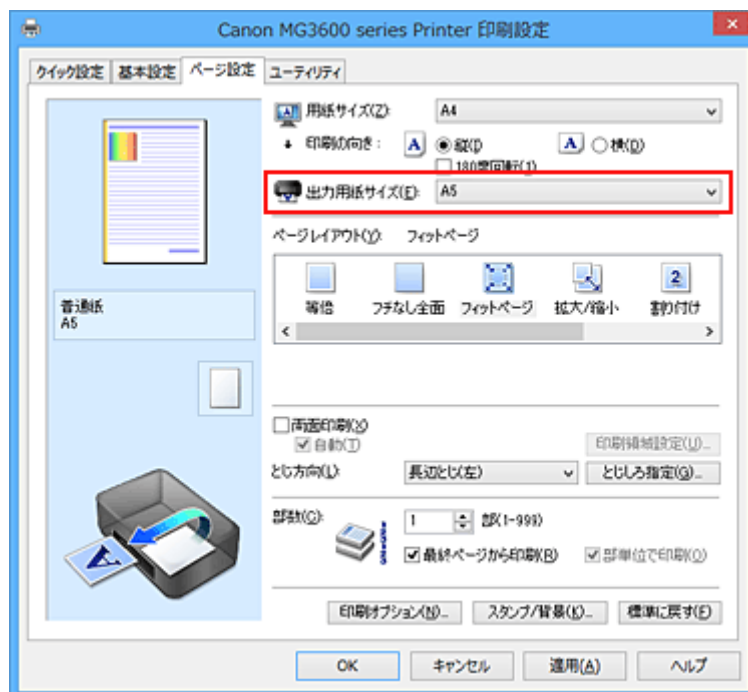
［用紙サイズ］で、アプリケーションソフトで指定した用紙サイズを選びます。

4. 印刷する用紙サイズを選択

［出力用紙サイズ］で実際にプリンターにセットしている用紙サイズを選びます。

［用紙サイズ］より小さいサイズを選ぶと縮小して印刷され、大きいサイズを選ぶと拡大して印刷されます。

設定の状態は、左側の設定ビューに表示されます。

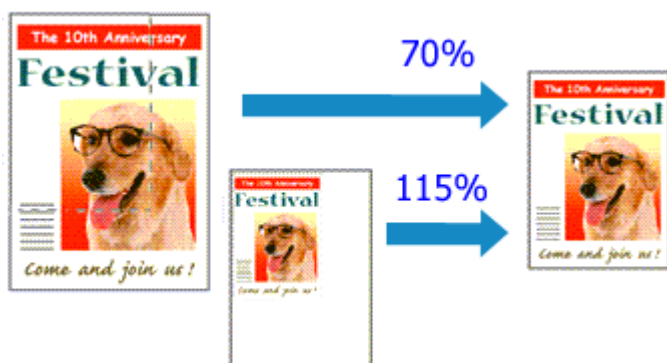


5. 設定を完了

[OK] をクリックします。

印刷を実行すると、原稿は用紙に合わせて拡大または縮小して印刷されます。

拡大/縮小印刷を行う

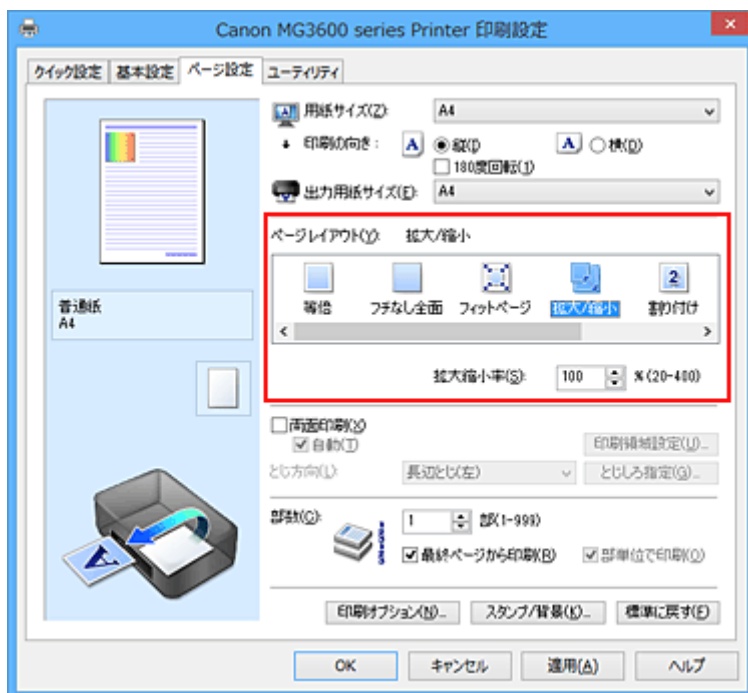


原稿を拡大または縮小して印刷する手順を説明します。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 拡大/縮小印刷を設定

〔ページ設定〕シートの〔ページレイアウト〕で〔拡大/縮小〕を選びます。



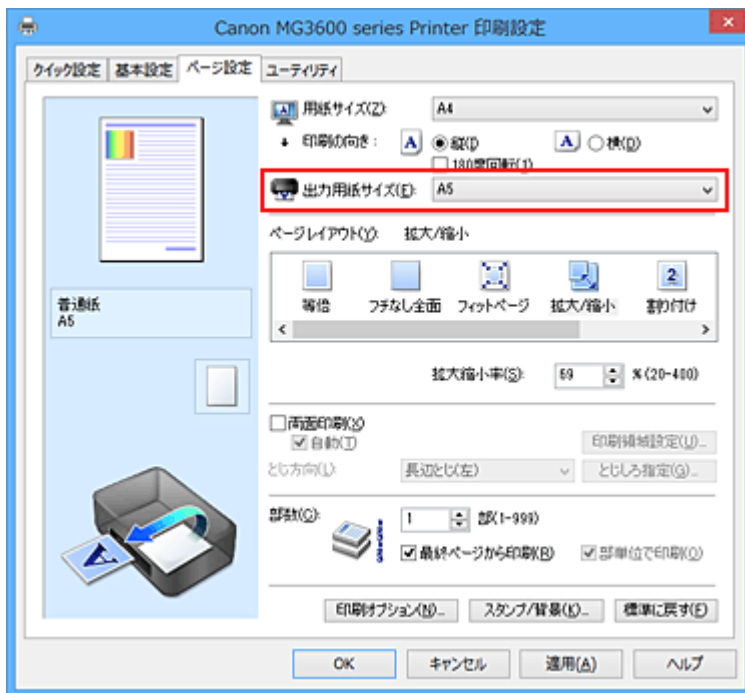
3. 原稿の用紙サイズを選択

〔用紙サイズ〕でアプリケーションソフトで指定した用紙サイズを選びます。

4. 次のいずれかの方法で倍率を設定

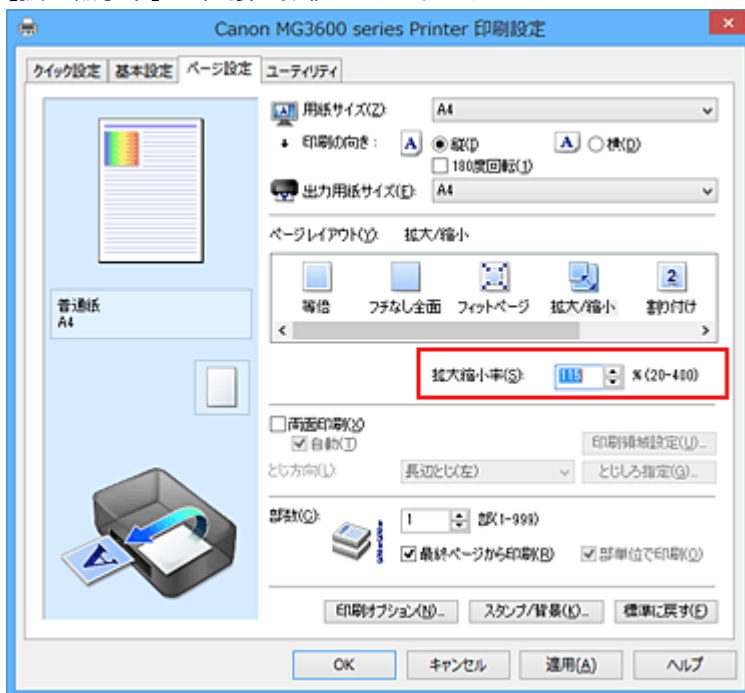
- 〔出力用紙サイズ〕を選ぶ

〔用紙サイズ〕より小さいサイズを選ぶと縮小、大きいサイズを選ぶと拡大して印刷されます。



- 倍率を指定する

「拡大縮小率」に直接、数値を入力します。



設定の状態は、左側の設定ビューに表示されます。

5. 設定を完了

「OK」をクリックします。

印刷を実行すると、拡大または縮小して印刷されます。

重要

- 原稿を作成したアプリケーションソフトに拡大縮小印刷機能がある場合は、アプリケーションソフトで設定してください。プリンタードライバーで設定する必要はありません。

▶▶ 参考

- [拡大/縮小] を選ぶと、原稿の印刷可能範囲が変わります。

割り付け印刷を行う

1 枚の用紙に複数ページの原稿を並べて印刷します。

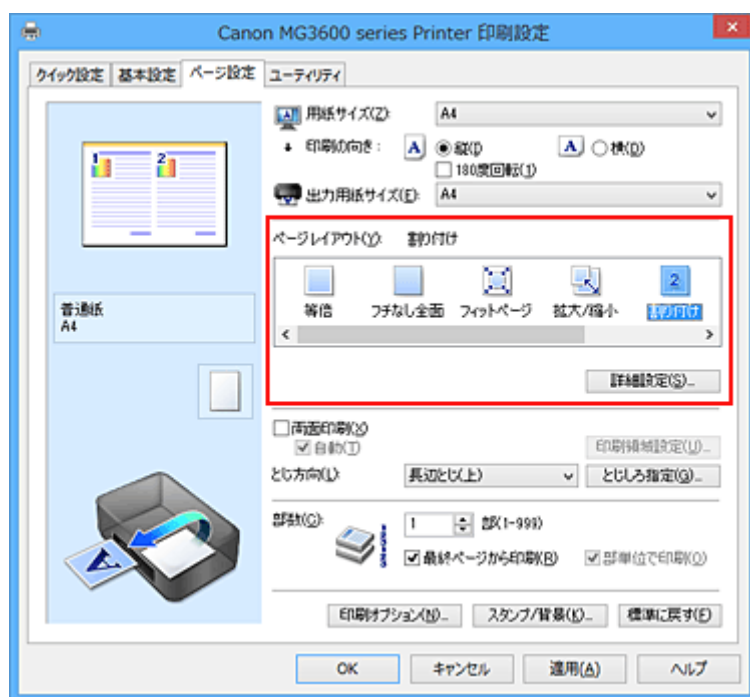


割り付け印刷の手順を説明します。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 割り付け印刷を設定

[ページ設定] シートの [ページレイアウト] で [割り付け] を選びます。
設定の状態は、左側の設定ビューに表示されます。

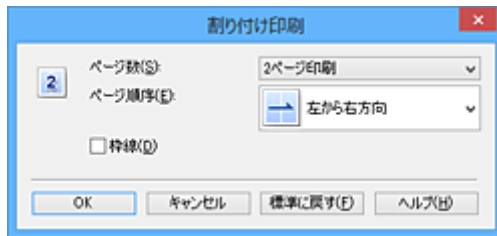


3. 印刷する用紙サイズを選択

[出力用紙サイズ] で実際にプリンターにセットしている用紙サイズを選びます。

4. 1 枚の用紙に納めるページ数やページ順序を設定

必要に応じて、[詳細設定...] をクリックし、[割り付け印刷] ダイアログボックスで以下の項目を設定して、[OK] をクリックします。



【ページ数】

1 枚の用紙に納めるページ数を変更するときは、一覧からページ数を選びます。

【ページ順序】

原稿を配置する順序を変えるときは、一覧から配置のしかたを選びます。

【枠線】

原稿のページのまわりを枠線で囲むときは、チェックマークを付けます。

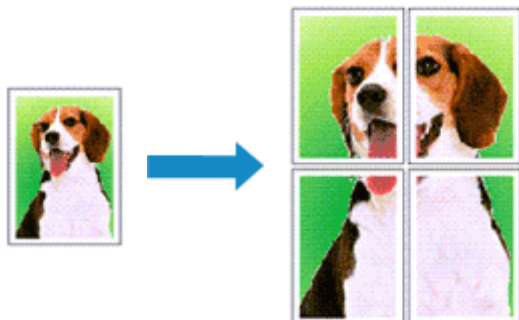
5. 設定を完了

[ページ設定] シートの [OK] をクリックします。

印刷を実行すると、指定したページ数、ページ順序で原稿が割り付けられます。

分割/ポスター印刷を行う

印刷する画像データを拡大し、複数の用紙に分割して印刷する機能です。用紙を貼り合わせると、ポスターのような大判の印刷物に仕上げることもできます。

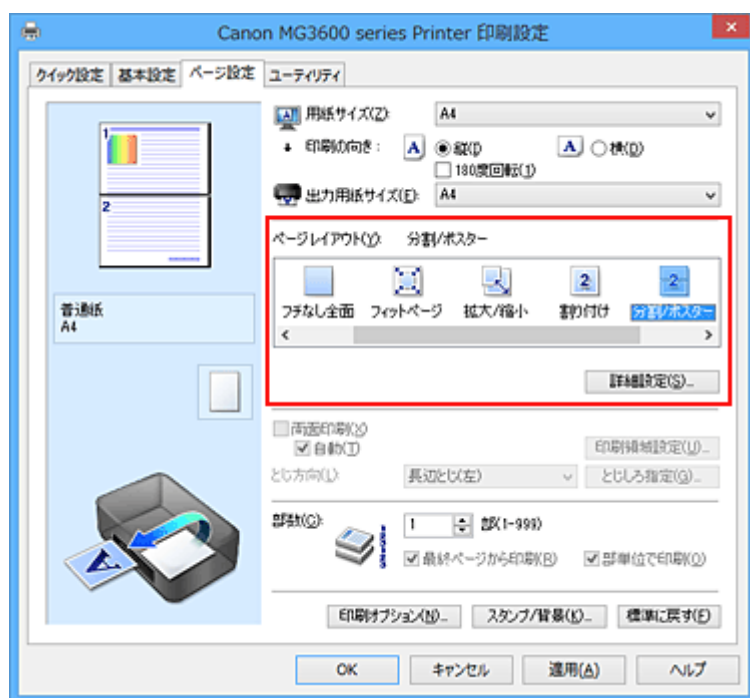


分割/ポスター印刷の手順を説明します。

分割/ポスター印刷の設定

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く
2. 分割/ポスター印刷を設定

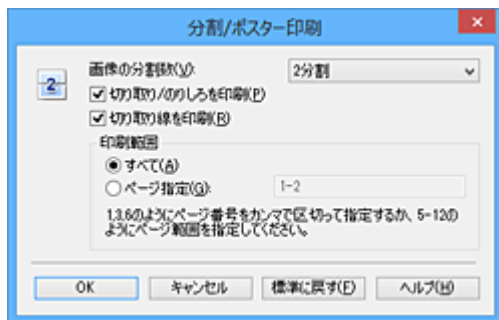
［ページ設定］シートの［ページレイアウト］で［分割/ポスター］を選びます。
設定の状態は、左側の設定ビューに表示されます。



3. 印刷する用紙サイズを選択
4. 画像の分割数や印刷するページなどを設定

［出力用紙サイズ］で実際にプリンターにセットしている用紙サイズを選びます。

必要に応じて、［詳細設定...］をクリックし、［分割/ポスター印刷］ダイアログボックスで以下を設定して［OK］をクリックします。



【画像の分割数】

縦×横の分割数を選びます。

数字が大きいほど印刷に使用する用紙の枚数が増えます。ポスターとして貼り合わせる場合は、分割数を多くするほど大きなポスターを作成できます。

【切り取り/のりしろを印刷】

「切り取り」や「のりしろ」の文字を印刷したくないときは、チェックマークを外します。

参考

- お使いのプリンタードライバーの種類や環境によっては、この機能は使用できないことがあります。

【切り取り線を印刷】

切り取り線を印刷したくないときは、チェックマークを外します。

【印刷範囲】

印刷範囲を指定します。通常は「すべて」を選びます。

特定のページのみ印刷し直すときは「ページ指定」を選び、印刷したいページ番号を入力します。複数ページを指定する場合は、カンマ (,) で区切ってページ番号を入力するか、ページ番号の間にハイフン (-) を入力します。

参考

- 設定ビュー上でページをクリックしても印刷範囲を指定できます。

5. 設定を完了

【ページ設定】シートの【OK】をクリックします。

印刷を実行すると、原稿は分割して印刷されます。

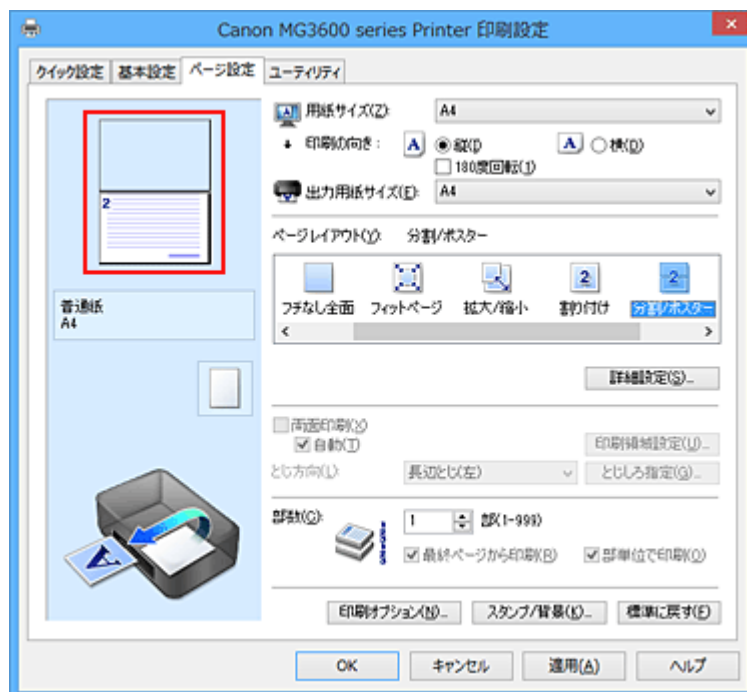
特定のページのみ印刷するには

途中で印刷がかすれたり、インクがなくなったりした場合は、次の手順で特定のページのみ印刷し直すことができます。

1. 印刷範囲を設定

【ページ設定】シート左側の設定ビュー上で、印刷したくないページをクリックします。

クリックしたページの表示が消えて、印刷するページだけが表示されます。



▶▶▶ 参考

- 表示が消えたページをクリックすると、再度表示させることができます。
- 設定ビュー上を右クリックすると、[全ページ選択]、[全ページ削除] が選べます。

2. 設定を完了

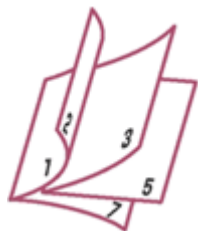
印刷するページが確定したら、[OK] をクリックします。
印刷を実行すると、特定のページのみ印刷されます。

▶▶▶ 重要

- 分割/ポスター印刷では原稿を拡大して印刷するため、印刷結果が粗くなることがあります。

冊子印刷を行う

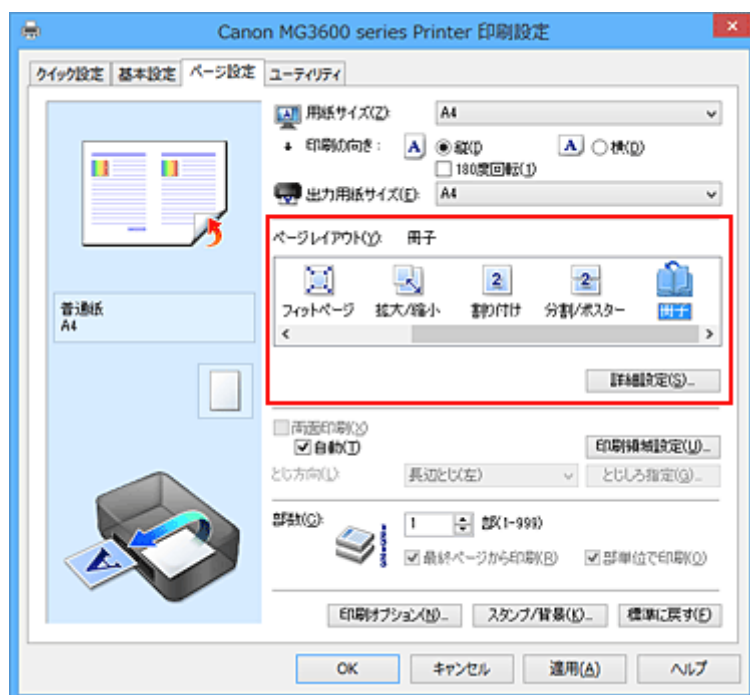
冊子印刷は小冊子を作成するときに便利な機能です。中央で折ってとじたときにページの順番が揃うように、ページを配分しながら両面印刷します。



冊子印刷の手順を説明します。

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く
2. 冊子印刷を設定

[ページ設定] シートの [ページレイアウト] で [冊子] を選びます。
設定の状態は、左側の設定ビューに表示されます。



3. 印刷する用紙サイズを選択

[出力用紙サイズ] で実際にプリンターにセットしている用紙サイズを選びます。

4. とじかたやとじしろなどを設定

[詳細設定...] をクリックし、[冊子印刷] ダイアログボックスで以下の項目を設定して [OK] をクリックします。



【とじかた】

小冊子に仕上げたときにどちら側をとじるかを選びます。

【白ページを挿入】

とじたときに片側のページが白紙になるようにする場合はチェックマークを付け、どちら側を白紙にするかを選びます。

【とじしろ】

とじしろの幅を入力します。用紙の中央から指定した幅が 1 ページ分のとじしろとなります。

【枠線】

原稿のまわりを枠線で囲むときはチェックマークを付けます。

5. 設定を完了

[ページ設定] シートの [OK] をクリックします。

印刷を実行すると、まず用紙の片面が印刷され、次に反対側の面が自動で印刷されます。

印刷が完了したら、とじしろの中央で折ってとじ、小冊子を作成します。

重要

- [基本設定] シートの [用紙の種類] で [普通紙] 以外を選んでいる場合は、[冊子] は選べません。

参考

- 冊子印刷の [白ページを挿入] で挿入された白紙ページには、スタンプや背景は印刷されません。

両面印刷を行う



用紙の両面に印刷する手順を説明します。

両面印刷は［クイック設定］シートの［追加する機能］で設定することも可能です。

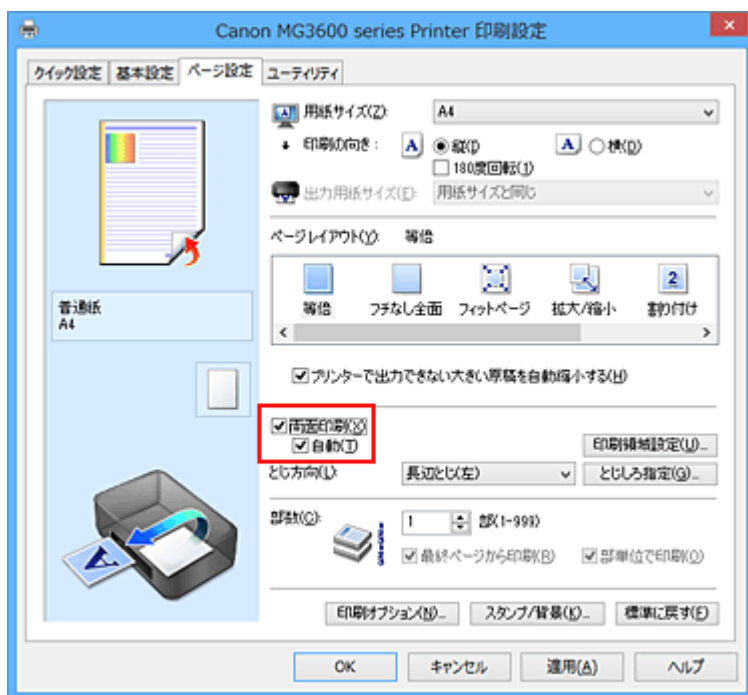
自動両面印刷を行う

用紙を差し替えることなく両面に印刷することができます。

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く

2. 自動両面印刷を設定

［ページ設定］シートの［両面印刷］にチェックマークを付け、［自動］にチェックマークが付いていることを確認します。



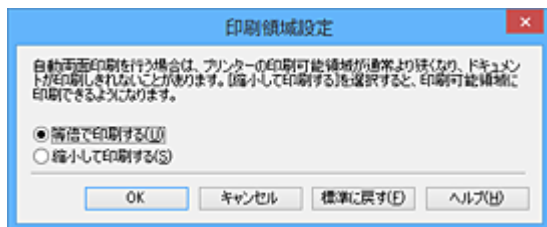
3. レイアウトを選択

［ページレイアウト］で［等倍］、［フィットページ］、［拡大/縮小］、または［割り付け］を選びます。

4. 印刷領域を設定

両面印刷では、原稿の印刷領域が通常よりわずかに狭くなり、原稿が 1 ページに入りきらないことがあります。

［印刷領域設定...］をクリックし、以下から処理方法を選んで［OK］をクリックします。



【等倍で印刷する】

ページを縮小せずに印刷します。

【縮小して印刷する】

ページをわずかに縮小して印刷します。

5. とじしろの位置を確認

【印刷の向き】や【ページレイアウト】の設定から、最適な【とじ方向】が自動的に選ばれています。変更する場合は、一覧から選びます。

6. とじしろの幅を設定

必要に応じて【とじしろ指定...】をクリックし、とじしろの幅を指定して【OK】をクリックします。

7. 設定を完了

【ページ設定】シートの【OK】をクリックします。
印刷を実行すると、両面印刷が開始されます。

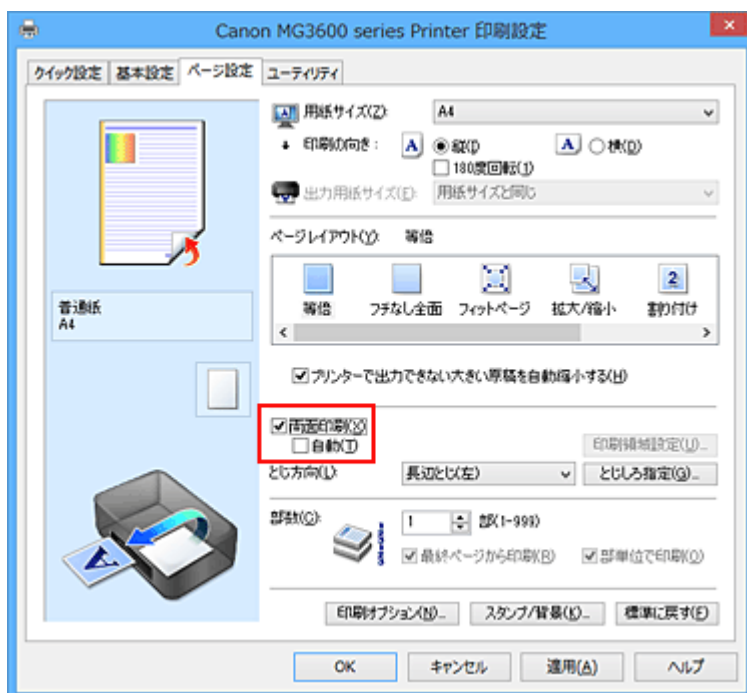
手動で両面印刷を行う

手動で用紙の両面に印刷します。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 両面印刷を設定

【ページ設定】シートの【両面印刷】にチェックマークを付け、【自動】のチェックマークを外します。



3. レイアウトを選択

［ページレイアウト］で［等倍］、［フィットページ］、［拡大/縮小］、または［割り付け］を選びます。

4. とじしろの位置を確認

［印刷の向き］や［ページレイアウト］の設定から、最適な［とじ方向］が自動的に選ばれています。変更する場合は、一覧から選びます。

5. とじしろの幅を設定

必要に応じて［とじしろ指定...］をクリックし、とじしろの幅を指定して［OK］をクリックします。

6. 設定を完了

［ページ設定］シートの［OK］をクリックします。

印刷を実行すると、まず用紙の片面が印刷されます。完了したら、メッセージに従って用紙を正しくセットしてください。

［印刷開始］をクリックすると、反対側の面が印刷されます。

重要

- [基本設定] シートの [用紙の種類] で [普通紙] 以外を選んでいる場合は、[両面印刷] はグレー表示となり、設定できません。
- [ページレイアウト] で [フチなし全面]、[分割/ポスター]、または [冊子] を選んでいる場合は、[両面印刷]、[とじ方向] はグレー表示となり、設定できません。
- [ページ設定] シートの [用紙サイズ] で以下のサイズが選ばれている場合のみ、[両面印刷] が実行できます。
 - [レター]、[A4]
- 表面の印刷が終わってから裏面の印刷を開始するまでの間に、インクの乾燥待ち時間があります（動作が一時停止します）。このとき、用紙に触れないでください。インクの乾燥待ち時間は、[ユーティリティ] シートの [特殊設定] から変更することができます。

参考

- 両面印刷時に用紙の裏面が汚れる場合は、[ユーティリティ] シートの [インクふき取りクリーニング] を実行してください。

関連項目

- ➡ [プリンター内部をクリーニングする](#)
- ➡ [プリンターの設定を変更する](#)

スタンプ付き、背景付き印刷を行う

お使いのプリンタードライバーの種類や環境によっては、[スタンプ] と [背景] が使用できないことがあります。

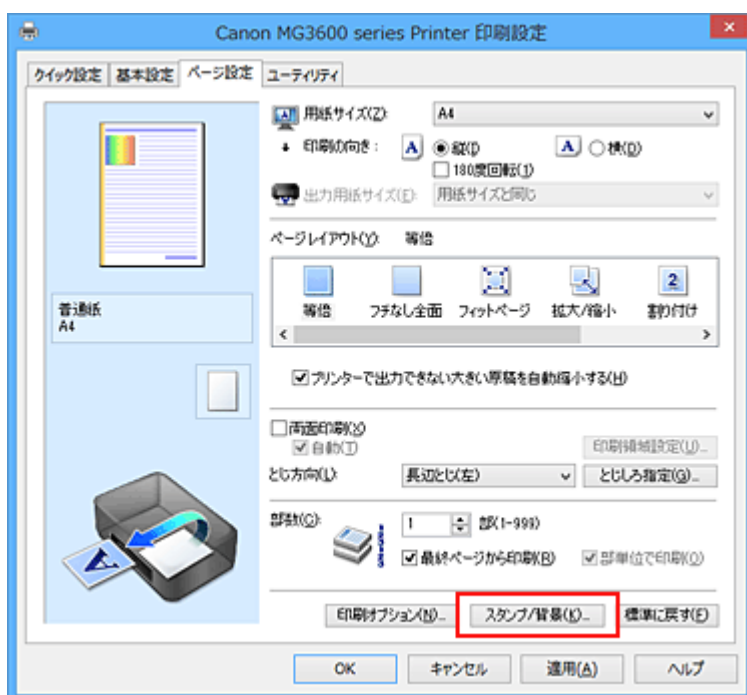
[スタンプ] は、原稿データに重ねて特定の文字列やビットマップを印刷する機能です。日付や時刻、ユーザー名を印刷することもできます。[背景] は、原稿データの下地にイラストなどを印刷する機能です。

スタンプ付き、背景付き印刷の手順を説明します。

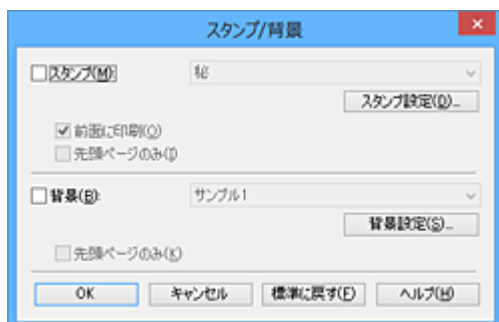
スタンプを印刷する

会社でよく使う「マル秘」や「重要」などのスタンプがあらかじめ登録されています。

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く
2. [ページ設定] シートの [スタンプ/背景...] ([スタンプ...]) をクリック



[スタンプ/背景] ([スタンプ]) ダイアログボックスが表示されます。



参考

- [スタンプ/背景...] は、XPS プリンタードライバーでは [スタンプ...] となり、スタンプ機能のみ使用できます。

3. スタンプを選択

[スタンプ] にチェックマークを付け、一覧から使用するスタンプを選びます。
設定の状態は、[ページ設定] シート左側の設定ビューに表示されます。

4. スタンプの詳細を設定

必要に応じて、以下の項目を設定し、[OK] をクリックします。

【スタンプ設定...】

[使用する文字列や色、ビットマップ、配置方法などを変更](#)したいときにクリックします。

【前面に印刷】

スタンプを原稿の前面に印刷したいときは、チェックマークを付けます。

▶▶▶ 参考

- スタンプは原稿データの上に印刷されるため、重なり合った部分ではスタンプが優先的に表示されます。チェックマークを外すと、スタンプは原稿データの後ろに印刷されるため、使用しているアプリケーションソフトによっては、重なり合った部分のスタンプが隠れてしまうことがあります。
- XPS プリンタードライバーをお使いの場合は、[前面に印刷] は使用できません。
XPS プリンタードライバーでは、スタンプは常に原稿の前面に印刷されます。

【半透明で印刷する】

原稿の上にスタンプを半透明で印刷するときは、チェックマークを付けます。

この機能は、XPS プリンタードライバーでのみ使用できます。

【先頭ページのみ】

最初のページだけにスタンプを印刷したいときは、チェックマークを付けます。

5. 設定を完了

[ページ設定] シートの [OK] をクリックします。

印刷を実行すると、設定したスタンプが印刷されます。

背景を印刷する

サンプルとして 2 種類の背景があらかじめ登録されています。

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く

2. [ページ設定] シートの [スタンプ/背景...] をクリック

[スタンプ/背景] ダイアログボックスが表示されます。

3. 背景を選択

[背景] にチェックマークを付け、一覧から使用する背景を選びます。

設定の状態は、[ページ設定] シート左側の設定ビューに表示されます。

4. 背景の詳細を設定

必要に応じて、以下の項目を設定し、[OK] をクリックします。

【背景設定...】

[別の背景を使用したいとき、または配置方法や濃度などを変更](#)したいときにクリックします。

【先頭ページのみ】

最初のページだけに背景を印刷したいときは、チェックマークを付けます。

5. 設定を完了

「ページ設定」シートの「OK」をクリックします。
印刷を実行すると、設定した背景が印刷されます。

重要

- 「フチなし全面」を選ぶと、「スタンプ/背景...」（「スタンプ...」）はグレー表示となり、設定できません。

参考

- スタンプや背景は、冊子印刷の「白ページを挿入」で挿入された白紙ページには印刷されません。

関連項目

- ⇒ [スタンプを登録する](#)
- ⇒ [背景として使用する画像データを登録する](#)

スタンプを登録する

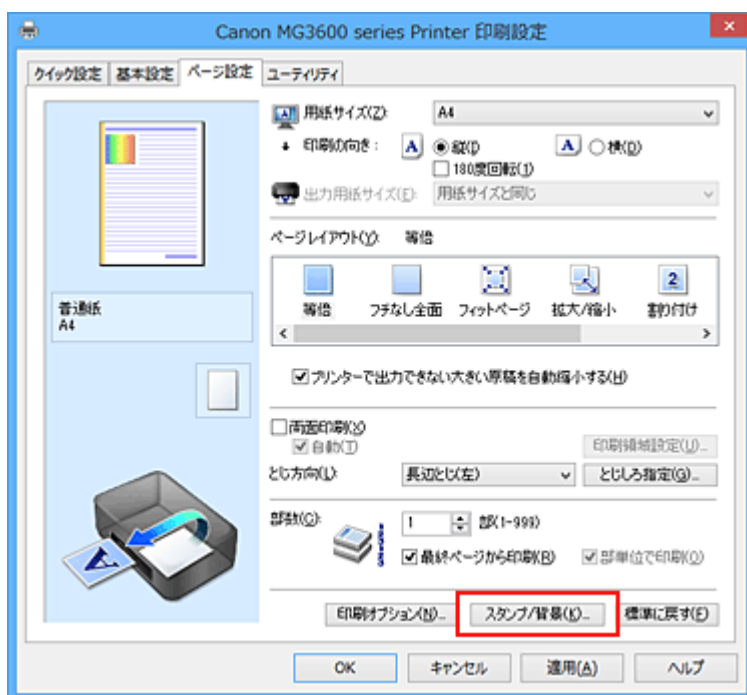
お使いのプリンタードライバの種類や環境によっては、この機能は使用できないことがあります。

新しいスタンプを作成して登録できます。また、登録したスタンプの設定を一部変更して再登録することも可能です。不要になったスタンプは削除できます。

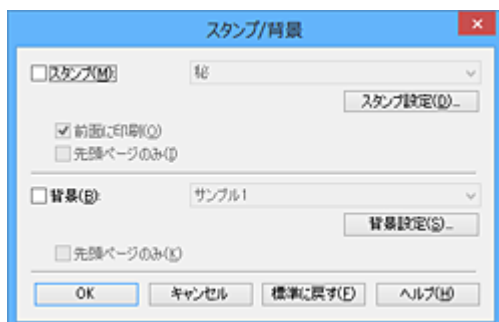
スタンプを登録する手順を説明します。

新しいスタンプを登録する

1. [プリンタードライバの設定画面](#)を開く
2. [ページ設定] シートの [スタンプ/背景...] ([スタンプ...]) をクリック



[スタンプ/背景] ([スタンプ]) ダイアログボックスが表示されます。

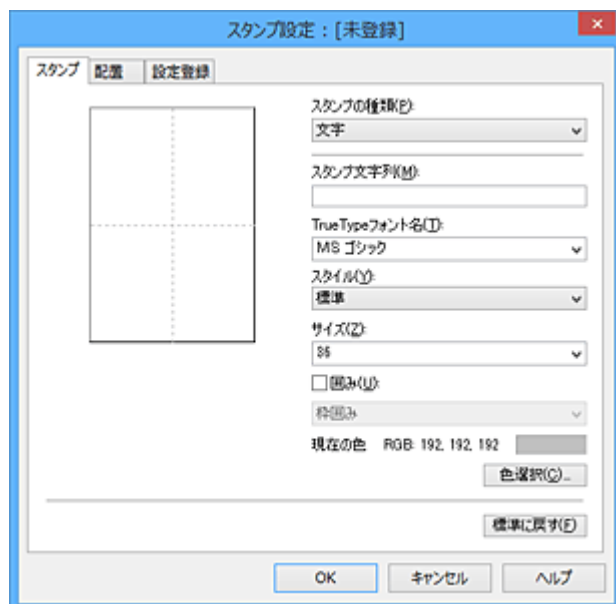


参考

- [スタンプ/背景...] は、XPS プリンタードライバでは [スタンプ...] となり、スタンプ機能のみ使用できます。

3. [スタンプ設定...] をクリック

[スタンプ設定] ダイアログボックスが表示されます。



4. プレビューを見ながら各シートの項目を設定

• [スタンプ] シート

[スタンプの種類] で [文字]、[ビットマップ]、[日付/時刻/ユーザー名] の中から目的に合ったものを選びます。

- [文字] の場合は、[スタンプ文字列] にかならず文字が入力されている必要があります。必要に応じて [TrueType フォント名]、[スタイル]、[サイズ]、[囲み] の設定を変更してください。[色選択...] をクリックするとスタンプの色を選べます。
- [ビットマップ] の場合は、[ファイル選択...] をクリックして、使用するビットマップファイル (.bmp) を選びます。必要に応じて、[サイズ]、[白い部分を透過する] の設定を変更してください。
- [日付/時刻/ユーザー名] の場合は、[スタンプ文字列] に印刷物の作成日時とユーザー名が表示されます。必要に応じて [TrueType フォント名]、[スタイル]、[サイズ]、[囲み] の設定を変更してください。[色選択...] をクリックするとスタンプの色を選べます。

重要

- [日付/時刻/ユーザー名] を選んでいる場合、[スタンプ文字列] はグレー表示となり、変更できません。

• [配置] シート

スタンプを配置する場所を [位置] から選びます。[位置] で [座標指定] を選ぶと、[横]、[縦] に数値を入力して座標を設定できます。

プレビュー上のスタンプを直接ドラッグして、位置を変更することも可能です。

[回転角度] に数値を入力すると、スタンプの配置角度が変わります。

重要

- [スタンプ] シートの [スタンプの種類] で [ビットマップ] を選んでいる場合、[回転角度] は変更できません。

5. スタンプを保存

[設定登録] シートで [タイトル] にスタンプのタイトルを入力し、[新規保存] をクリックします。確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

- タイトルの先頭と末尾に、半角スペース、全角スペース、タブ、改行は入力できません。

6. 設定を完了

[OK] をクリックすると [スタンプ/背景] ([スタンプ]) ダイアログボックスに戻ります。
登録したスタンプのタイトルは、[スタンプ] の一覧に表示されます。

スタンプの設定を一部変更して登録する

1. 設定を変更するスタンプを選択

[スタンプ/背景] ([スタンプ]) ダイアログボックスの [スタンプ] にチェックマークを付け、一覧から設定を変更するスタンプのタイトルを選びます。

2. [スタンプ設定...] をクリック

[スタンプ設定] ダイアログボックスが表示されます。

3. プレビューを見ながら各シートの項目を設定

4. スタンプを上書き保存

[設定登録] シートで [上書き保存] をクリックします。
別のタイトルで保存したい場合は、[タイトル] に新しいスタンプのタイトルを入力し、[新規保存] をクリックします。
確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

5. 設定を完了

[OK] をクリックすると [スタンプ/背景] ([スタンプ]) ダイアログボックスに戻ります。
登録したスタンプのタイトルは、[スタンプ] の一覧に表示されます。

不要になったスタンプを削除する

1. [スタンプ/背景] ([スタンプ]) ダイアログボックスの [スタンプ設定...] をクリック

[スタンプ設定] ダイアログボックスが表示されます。

2. 削除するスタンプを選択

[設定登録] シートで [スタンプ一覧] から削除したいタイトルを選び、[削除] をクリックします。
確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

3. 設定を完了

[OK] をクリックすると [スタンプ/背景] ([スタンプ]) ダイアログボックスに戻ります。

背景として使用する画像データを登録する

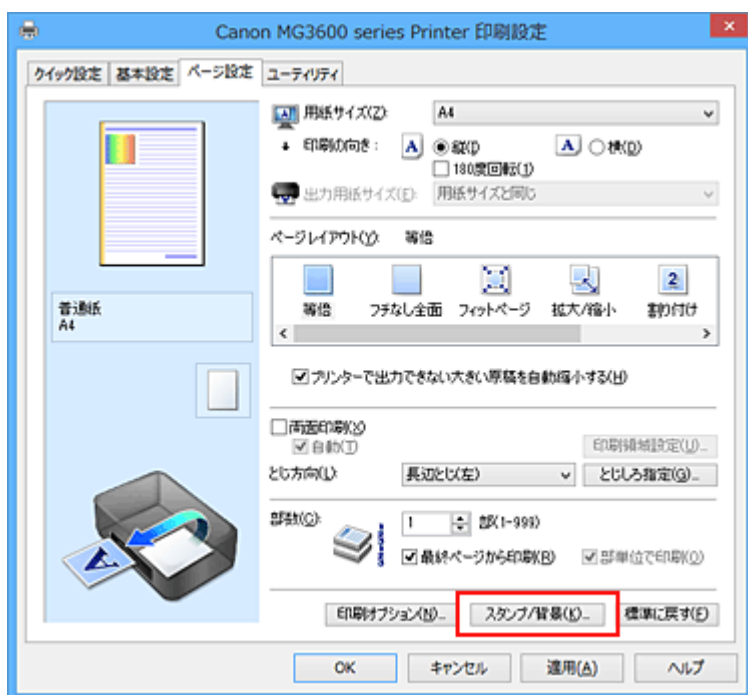
お使いのプリンタードライバーの種類や環境によっては、この機能は使用できないことがあります。

任意のビットマップファイル（.bmp）を選んで、新しい背景として登録できます。また、登録した背景の設定を一部変更して再登録することも可能です。不要になった背景は削除できます。

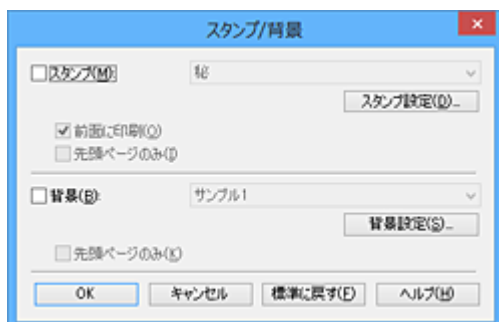
背景として使用する画像データを登録する手順を説明します。

新しい背景を登録する

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く
2. [ページ設定] シートの [スタンプ/背景...] をクリック



[スタンプ/背景] ダイアログボックスが表示されます。

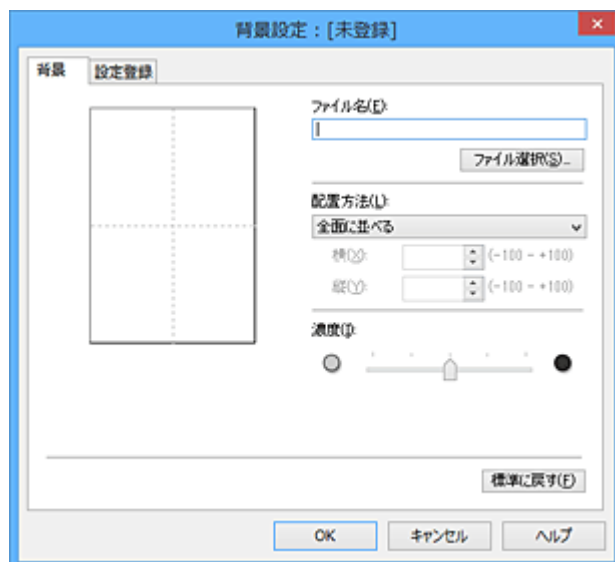


参考

- [スタンプ/背景...] は、XPS プリンタードライバーでは [スタンプ...] となり、[背景] は使用できません。

3. [背景設定...] をクリック

[背景設定] ダイアログボックスが表示されます。



4. 背景に登録する画像データを選択

「ファイル選択...」をクリックし、目的のビットマップファイル（.bmp）を選んで「開く」をクリックします。

5. プレビューを見ながら、以下の項目を設定

【配置方法】

背景となるビットマップの配置のしかたを選びます。

「座標指定する」を選んだ場合は、「横」、「縦」に数値を入力して座標を設定できます。

プレビュー上の画像を直接ドラッグして位置を変更することもできます。

【濃度】

背景となるビットマップの濃度を、「濃度」のスライダーで設定します。右にドラッグするほど濃く、左にドラッグするほど薄くなります。元のビットマップの濃度で印刷したいときは、スライダーを右端にドラッグしてください。

6. 背景を保存

「設定登録」シートで「タイトル」に背景のタイトルを入力し、「新規保存」をクリックします。確認のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。

参考

- タイトルの先頭と末尾に、半角スペース、全角スペース、タブ、改行は入力できません。

7. 設定を完了

「OK」をクリックすると「スタンプ/背景」ダイアログボックスに戻ります。

登録した背景のタイトルは、「背景」の一覧に表示されます。

背景の設定を一部変更して登録する

1. 設定を変更する背景を選択

「スタンプ/背景」ダイアログボックスの「背景」にチェックマークを付け、一覧から設定を変更する背景のタイトルを選びます。

2. 「背景設定...」をクリック

〔背景設定〕ダイアログボックスが表示されます。

3. プレビューを見ながら〔背景〕シートの各項目を設定

4. 背景を上書き保存

〔設定登録〕シートで〔上書き保存〕をクリックします。別のタイトルで保存したい場合は、〔タイトル〕に新しい背景のタイトルを入力し、〔新規保存〕をクリックします。

確認のメッセージが表示されたら、〔OK〕をクリックします。

5. 設定を完了

〔OK〕をクリックすると〔スタンプ/背景〕ダイアログボックスに戻ります。

登録した背景のタイトルは、〔背景〕の一覧に表示されます。

不要になった背景を削除する

1. 〔スタンプ/背景〕ダイアログボックスの〔背景設定...〕をクリック

〔背景設定〕ダイアログボックスが表示されます。

2. 削除する背景を選択

〔設定登録〕シートで〔背景一覧〕から削除したいタイトルを選び、〔削除〕をクリックします。

確認のメッセージが表示されたら、〔OK〕をクリックします。

3. 設定を完了

〔OK〕をクリックすると〔スタンプ/背景〕ダイアログボックスに戻ります。

封筒に印刷する

封筒印刷の手順を説明します。

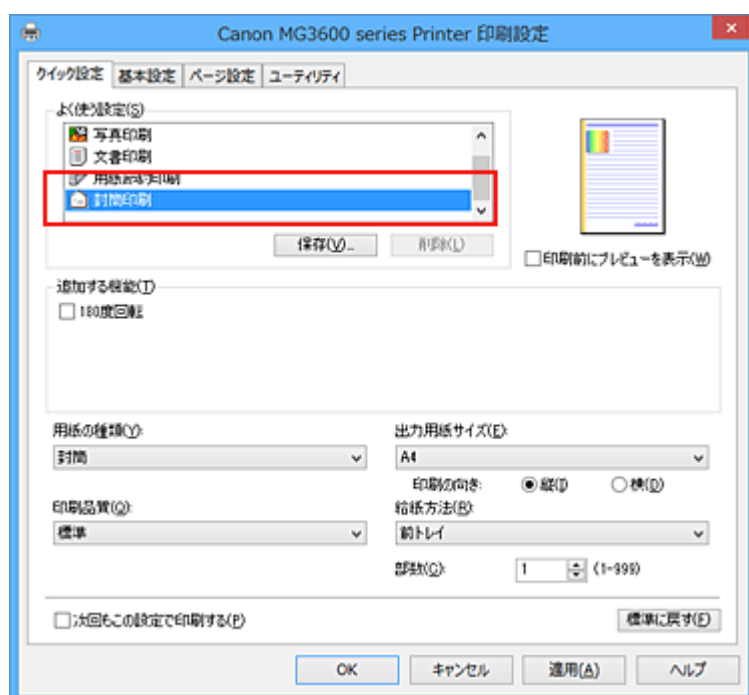
長形封筒と洋形封筒で、印刷方法が異なります。

長形封筒に印刷する場合

原稿が自動的に 180 度回転され、はがきのあて名を印刷するときとは上下逆向きに印刷されます。

1. プリンターに[封筒をセット](#)
2. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く
3. 用紙の種類を選択

［クイック設定］シートの［よく使う設定］で［封筒印刷］を選びます。



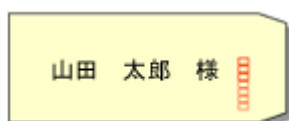
4. 用紙サイズを選択

［封筒サイズの設定］ダイアログボックスが表示された場合は［長形 3 号］または［長形 4 号］を選び、［OK］をクリックします。

5. 必要に応じて、次の項目を設定

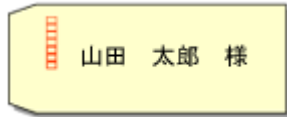
- あて名を横書きにして、ふたの位置を右側にして印刷したいとき

［印刷の向き］で［横］を選び、［追加する機能］で［180 度回転］にチェックマークを付けます。



- あて名を横書きにして、ふたの位置を左側にして印刷したいとき

〔印刷の向き〕で〔横〕を選び、〔追加する機能〕で〔180度回転〕のチェックマークを外します。



6. 印刷品質を選択

〔印刷品質〕で、〔きれい〕、〔標準〕の中から目的に合ったものを選びます。

7. 設定を完了

〔OK〕をクリックします。

印刷を実行すると、長形封筒に印刷されます。

重要

- 封筒のサイズや印刷の向きを正しく選ばないと、上下逆さまに印刷されたり、90度回転して印刷されたりします。
- 使用しているアプリケーションソフトによっては、原稿が自動的に回転されず、上下逆向きに印刷されることがあります。その場合は、〔追加する機能〕で〔180度回転〕にチェックマークを付けてください。

洋形封筒に印刷する場合

通常の印刷と同じ向きに印刷されます。

1. プリンターに[封筒をセット](#)
2. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く

3. 用紙の種類を選択

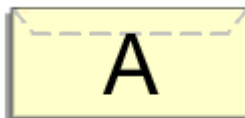
〔クイック設定〕シートの〔よく使う設定〕で〔封筒印刷〕を選びます。

4. 用紙サイズを選択

〔封筒サイズの設定〕ダイアログボックスが表示された場合は〔洋形4号〕、〔洋形6号〕、〔商用10号封筒〕、または〔DL封筒〕を選び、〔OK〕をクリックします。

5. 印刷の向きを設定

あて名を横書きで印刷する場合は、〔印刷の向き〕で〔横〕を選びます。



6. 印刷品質を選択

〔印刷品質〕で、〔きれい〕、〔標準〕の中から目的に合ったものを選びます。

7. 設定を完了

[OK] をクリックします。
印刷を実行すると、洋形封筒に印刷されます。

重要

- 封筒印刷を実行すると、ガイドメッセージが表示される場合があります。
このガイドメッセージは、[今後、このメッセージを表示しない] にチェックマークを付けると、表示されなくなります。
ガイドを再び表示するには、[ユーティリティ] シートの [プリンター状態の確認] をクリックし、Canon IJ ステータスマニタを起動します。
[オプション] メニューの [ガイドメッセージを表示] から [封筒印刷] をクリックして、設定を有効にしてください。

はがきに印刷する

はがき印刷の手順を説明します。

1. プリンターに[はがきをセット](#)
2. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く

3. よく使う設定を選択

［クイック設定］シートの［よく使う設定］で［標準印刷］を選びます。

4. 用紙の種類を選択

［用紙の種類］で、［インクジェットはがき(あて名面)］、［インクジェットはがき(通信面)］、［インクジェット写真用はがき(あて名面)］、［インクジェット写真用はがき(通信面)］、［はがき(あて名面)］、または［はがき］を選びます。

重要

- 写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。
- はがきの両面に1面ずつ印刷するときは、きれいに印刷するために、通信面を印刷したあとにあて名面を印刷することをお勧めします。

5. 用紙サイズを選択

［出力用紙サイズ］で［はがき］または［往復はがき］を選びます。

重要

- 往復はがきは、パソコンからの印刷にのみ使用できます。
- 往復はがきに印刷するときは、お使いのアプリケーションソフトおよびプリンタードライバーで用紙サイズをかならず［往復はがき］に設定してください。
- 往復はがきは折り曲げないでください。折り目が付くと、正しく給紙できず印字ずれや紙づまりの原因になります。
- 往復はがきにフチなし全面印刷はできません。

6. 印刷の向きを設定

あて名を横書きで印刷する場合は、［印刷の向き］で［横］を選びます。

7. 印刷品質を選択

［印刷品質］で、［きれい］、［標準］の中から目的に合ったものを選びます。

8. 設定を完了

［OK］をクリックします。

印刷を実行すると、はがきに印刷されます。

重要

- はがき印刷を実行すると、ガイドメッセージが表示されます。
このガイドメッセージは、［今後、このメッセージを表示しない］にチェックマークを付けると、表示されなくなります。
ガイドを再び表示するには、［ユーティリティ］シートの［プリンター状態の確認］をクリックし、

Canon IJ ステータスマニタを起動します。

[オプション] メニューの [ガイドメッセージを表示] から [はがき印刷] をクリックして、設定を有効にしてください。

- はがき以外の用紙に印刷する場合は、その用紙の使用方法に従ってセットし、[印刷開始] をクリックしてください。

印刷前に印刷結果を表示する

XPS プリンタードライバをお使いの場合は、「Canon IJ プレビュー」を「Canon IJ XPS プレビュー」としてお読みください。

印刷する前に、どのような印刷結果になるかを表示し、確認することができます。

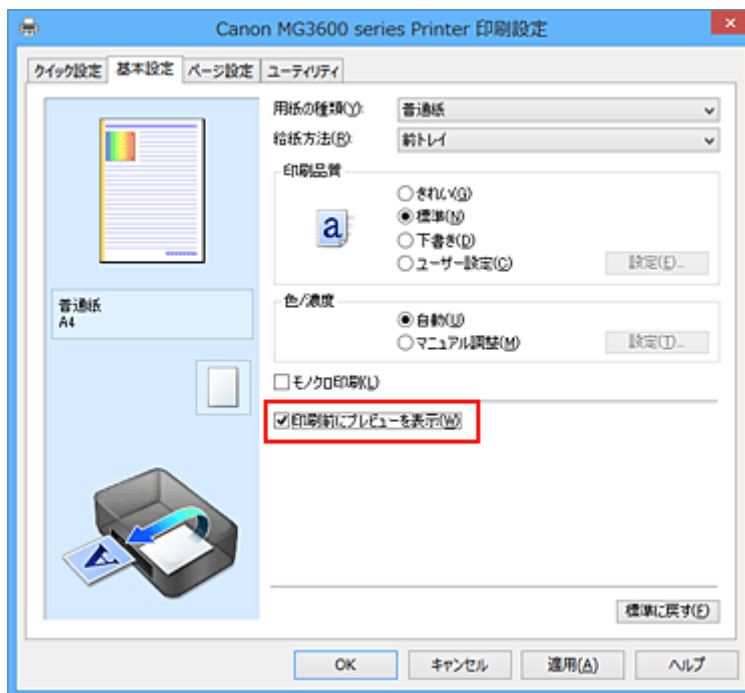
印刷前に印刷結果を表示する手順を説明します。

印刷結果の表示は［クイック設定］シートで設定することも可能です。

1. [プリンタードライバの設定画面](#)を開く

2. プレビュー表示を設定

［基本設定］シートの［印刷前にプレビューを表示］にチェックマークを付けます。



3. 設定を完了

［OK］をクリックします。

印刷を実行すると、Canon IJ プレビューが起動し、印刷結果を表示します。

重要

- ・［マニュアル色調整］ダイアログボックスの［色調整］シートで［色調整用のパターンを印刷する］にチェックマークが付いているときは、［印刷前にプレビューを表示］はグレー表示となり、設定できません。

関連項目

➡ [Canon IJ プレビュー](#)

用紙の縦横サイズを設定する（ユーザー定義用紙）

〔用紙サイズ〕で選べないサイズの用紙を使用する場合は、縦、横のサイズを任意に指定することができます。このような用紙サイズのことを「ユーザー定義用紙」といいます。

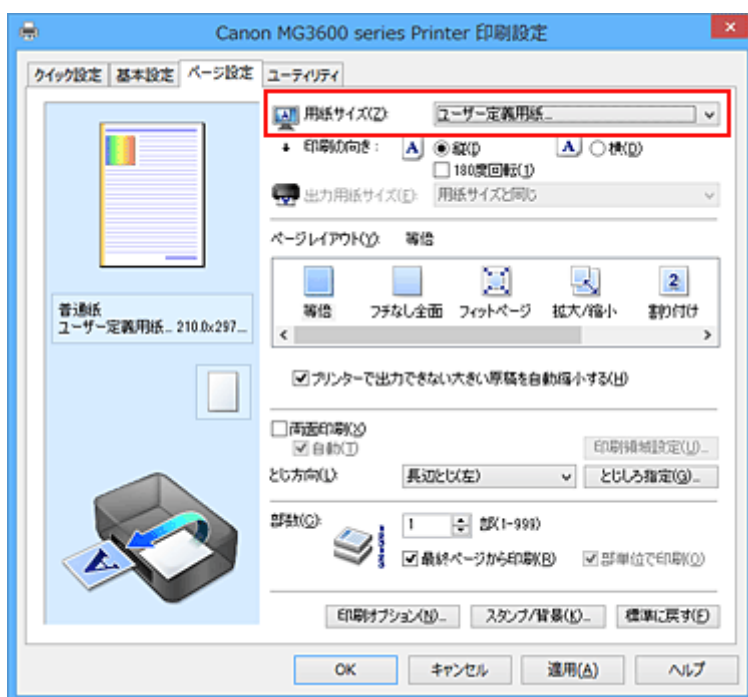
ユーザー定義用紙のサイズを設定する手順を説明します。

ユーザー定義用紙は〔クイック設定〕シートの〔出力用紙サイズ〕で設定することも可能です。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 用紙サイズを選択

〔ページ設定〕シートの〔用紙サイズ〕で〔ユーザー定義用紙...〕を選びます。



〔ユーザー定義用紙〕ダイアログボックスが表示されます。



3. ユーザー定義用紙のサイズを設定

〔単位〕を指定し、使用する用紙の〔幅〕と〔長さ〕を入力して〔OK〕をクリックします。

4. 設定を完了

〔ページ設定〕シートの〔OK〕をクリックします。

印刷を実行すると、指定した用紙のサイズで印刷されます。

重要

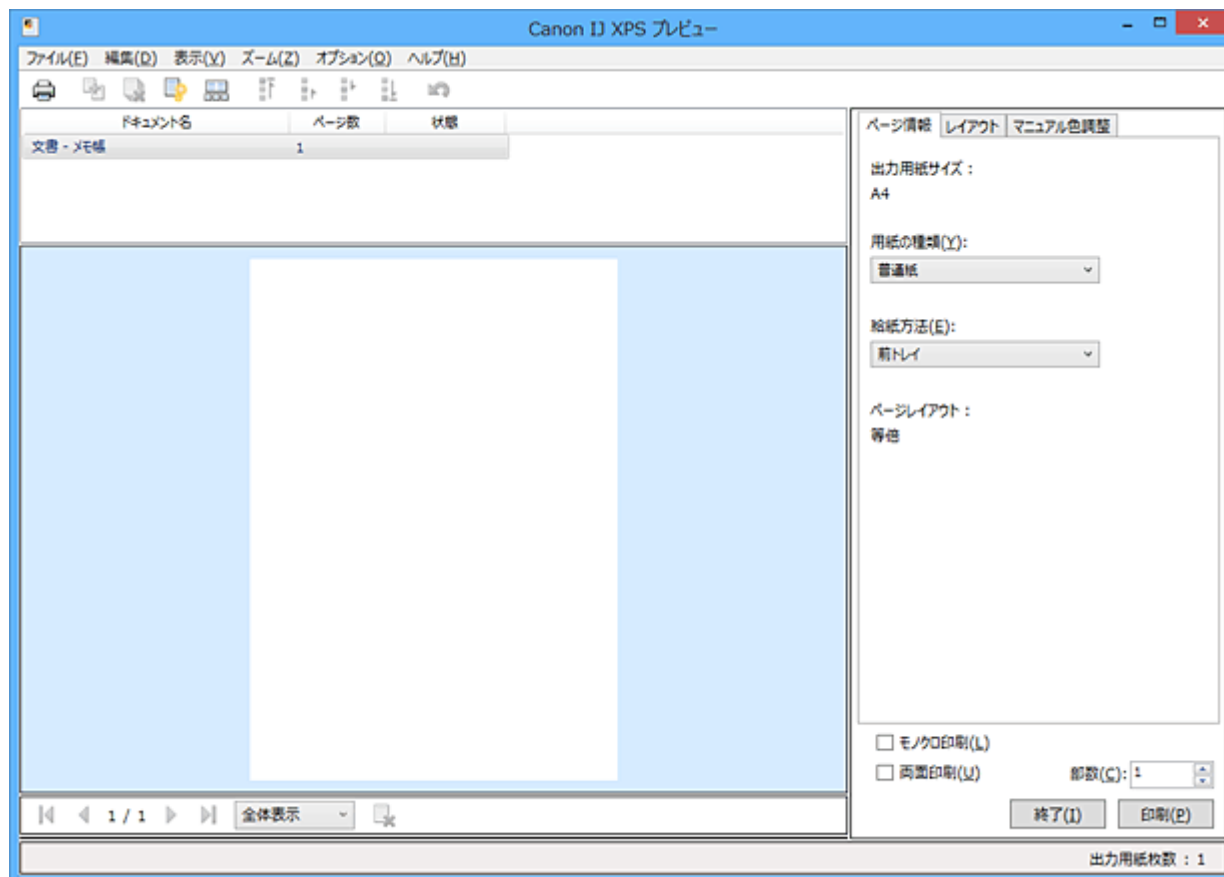
- 原稿を作成したアプリケーションソフトに縦、横のサイズを指定する機能がある場合は、アプリケーションソフトで設定してください。アプリケーションソフトで設定できないときや、正常に印刷されないときは、プリンタードライバーから上記の手順で設定してください。
- 指定したユーザー定義用紙のサイズによっては、印刷できない場合があります。
ユーザー定義用紙で印刷できるサイズについては「[使用できる用紙について](#)」を参照してください。

印刷ドキュメントの編集や印刷履歴の再印刷を行う

通常の IJ プリンタードライバーをお使いの場合は、この機能は使用できません。

Canon IJ XPS プレビュー上で印刷ドキュメントの編集をしたり、印刷した履歴を呼び出して再度印刷を行ったりすることができます。

Canon IJ XPS プレビューを使用する手順を説明します。



- | | |
|---|--------------|
|  | [印刷] |
|  | [ドキュメントの結合] |
|  | [ドキュメントの削除] |
|  | [ドキュメントの初期化] |
|  | [サムネイルを表示] |
|  | ドキュメントの移動 |
|  | [元に戻す] |
|  | 表示ページ切り替え |
|  | [ページの削除] |

参考

-  [サムネイルを表示] をクリックすると、[ドキュメント名] の一覧で選んでいる印刷ドキュメントのサムネイルを表示したり、非表示にしたりすることができます。
-  [元に戻す] をクリックすると、直前に行った変更を元に戻すことができます。

印刷ドキュメントを編集して印刷する

複数のドキュメントやページを印刷するときに、原稿をひとつにまとめたり、ドキュメントやページの順序変更または削除を行ったりすることができます。

1. [プリンタードライバの設定画面](#)を開く

2. プレビュー表示を設定

〔基本設定〕シートの〔印刷前にプレビューを表示〕にチェックマークを付けます。

3. 設定を完了

〔OK〕をクリックします。

印刷を実行すると、Canon IJ XPS プレビューが起動し、印刷結果を表示します。

4. 印刷ドキュメントや印刷ページの編集

● 印刷ドキュメントの結合

複数の印刷ドキュメントを、ひとつの原稿にまとめることができます。印刷ドキュメントを結合することで、両面印刷や割り付け印刷を行ったときに白紙ページが挿入されるのを防ぐことができます。

〔ドキュメント名〕の一覧から結合したいドキュメントを選び、〔編集〕メニューの〔ドキュメント〕から〔ドキュメントの結合〕を選ぶと、一覧の順で結合されます。

複数の印刷ドキュメントを選ぶには、Ctrl キーを押したまま結合したいドキュメントをクリックするか、Shift キーを押したまま上矢印キーまたは下矢印キーを押してください。ドキュメント一覧の空白の領域からドラッグして複数の印刷ドキュメントを選ぶこともできます。

結合を行うと、結合前に選んだドキュメントは一覧から削除され、結合されたドキュメントが追加されます。

● 印刷ドキュメントや印刷ページの順序変更

○ 印刷ドキュメントの順序を変更する場合は、〔ドキュメント名〕の一覧から順序を変更したい印刷ドキュメントを選びます。〔編集〕メニューの〔ドキュメント〕から〔ドキュメントの移動〕を選び、目的に合ったものを選んでください。印刷ドキュメントをドラッグして順序を変更することもできます。

○ 印刷ページの順序を変更する場合は、〔オプション〕メニューの〔サムネイルを表示〕をクリックしてから、順序を変更したい印刷ページを選びます。〔編集〕メニューの〔ページ〕から〔ページの移動〕を選び、目的に合ったものを選んでください。印刷ページをドラッグして順序を変更することもできます。

● 印刷ドキュメントや印刷ページの削除

○ 印刷ドキュメントを削除する場合は、〔ドキュメント名〕の一覧から削除したい印刷ドキュメントを選びます。〔編集〕メニューの〔ドキュメント〕から〔ドキュメントの削除〕を選んでください。

○ 印刷ページを削除する場合は、〔オプション〕メニューの〔サムネイルを表示〕をクリックしてから、削除したい印刷ページを選びます。〔編集〕メニューの〔ページ〕から〔ページの削除〕を選んでください。

● 印刷ページの復元

〔ページの削除〕によって削除されたページを復元することができます。

ページの復元を行うには、〔オプション〕メニューの〔削除されたページを表示〕にチェックマークを付けて、サムネイルに表示されたページの中から復元させたいページを選びます。〔編集〕メニューの〔ページ〕から〔ページの復元〕を選んでください。

印刷ドキュメントや印刷ページの編集後、必要に応じて [ページ情報] シート、[レイアウト] シート、[マニュアル色調整] シートから印刷設定を変更することができます。

重要

- 複数のドキュメントを一覧に表示するには、プレビューを起動した状態で再度印刷を実行してください。
- 印刷ドキュメントをプレビューでの編集前の状態に戻すには、[編集] メニューの [ドキュメント] から [ドキュメントの初期化] を選んでください。
- 印刷設定の異なるドキュメントを結合する場合、メッセージが表示されることがあります。表示されるメッセージの内容を確認してから結合を行ってください。
- 出力用紙サイズの異なる印刷ドキュメントを結合し、両面印刷や割り付け印刷を行う場合は、印刷ページによっては期待したような出力結果にならない場合があります。印刷前にプレビューを確認してください。
- 印刷ドキュメントの印刷設定の内容によっては、Canon IJ XPS プレビュー上では選べない機能があります。

参考

- [ドキュメント名] は任意の名称に変更することができます。

5. 印刷を実行

[印刷] をクリックします。

印刷を実行すると、設定した内容で印刷されます。

印刷履歴からの再印刷

[ファイル] メニューの [印刷履歴を保存] をクリックして設定を有効にすると、プレビューから印刷を行ったドキュメントが保存され、同じ設定で再度印刷を行うことができます。

1. 印刷履歴を表示

[プリンタードライバーの設定画面](#)を開き、[ユーティリティ] シートの [印刷履歴を表示] をクリックします。

保存された印刷ドキュメントがプレビューに表示されます。

重要

- [ファイル] メニューの [保存する履歴の件数] で、印刷履歴の登録数の上限を設定することができます。
- 登録数の上限を超えると、印刷履歴の古いものから削除されます。

2. 印刷ドキュメントを選択

[ドキュメント名] の一覧から、印刷を行うドキュメントを選びます。

3. 印刷を実行

[印刷] をクリックします。

関連項目

➡ [印刷前に印刷結果を表示する](#)

印刷品質の変更や画像データの補正

- ▶ 印刷品質を設定する（ユーザー設定）
- ▶ カラーの原稿をモノクロで印刷する
- ▶ 色補正の方法を指定する
- ▶ 画像データに適した写真印刷を行うには
- ▶ プリンタードライバーで色の補正を行う
- ▶ ICC プロファイルを使用して印刷する
- ▶ カラーバランスを調整する
- ▶ パターンを見て、カラーバランスを調整する（プリンタードライバー）
- ▶ 明るさを調整する
- ▶ 濃度を調整する
- ▶ コントラストを調整する
- ▶ パターンを見て、濃度/コントラストを調整する（プリンタードライバー）

印刷品質を設定する（ユーザー設定）

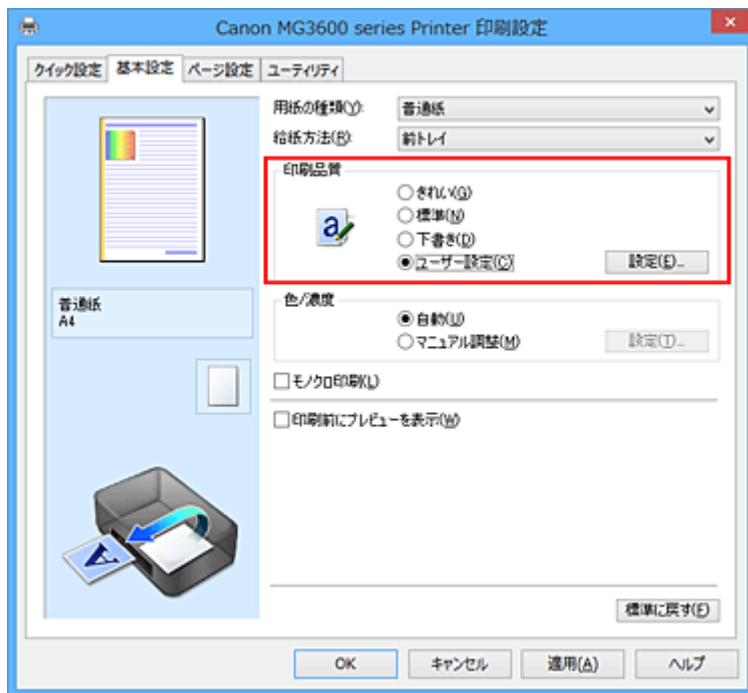
〔ユーザー設定〕で、印刷品質のレベルを設定することができます。

印刷品質のレベルを設定する手順を説明します。

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く

2. 印刷品質を選択

〔基本設定〕シートの〔印刷品質〕で〔ユーザー設定〕を選び、〔設定...〕をクリックします。



〔ユーザー設定〕ダイアログボックスが表示されます。



3. 印刷品質のレベルを設定

スライダーをドラッグし、印刷品質のレベルを選び、〔OK〕をクリックします。

4. 設定を完了

〔基本設定〕シートの〔OK〕をクリックします。

印刷を実行すると、選んだ印刷品質のレベルで印刷されます。

重要

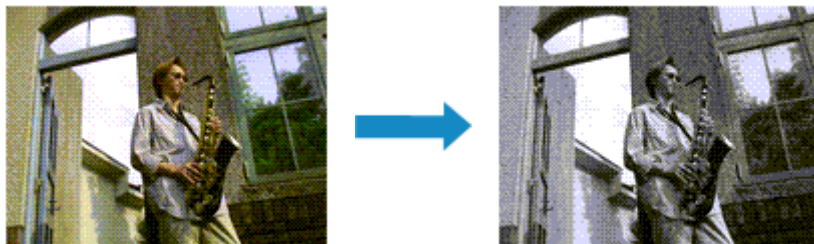
- 〔用紙の種類〕で選んでいる用紙によっては、選べない印刷品質のレベルがあります。

関連項目

➡ [色補正の方法を指定する](#)

- ⇒ [カラーバランスを調整する](#)
- ⇒ [明るさを調整する](#)
- ⇒ [濃度を調整する](#)
- ⇒ [コントラストを調整する](#)

カラーの原稿をモノクロで印刷する



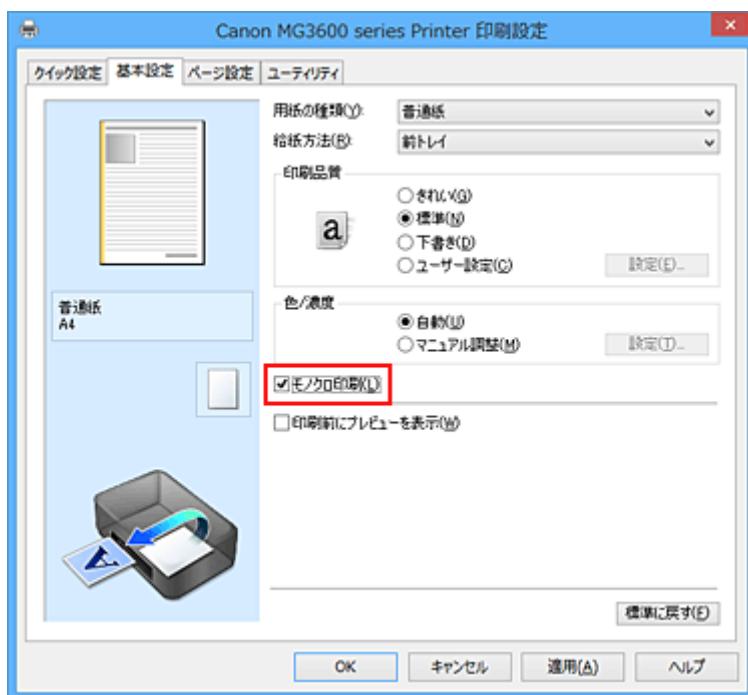
カラーで作成した原稿を、モノクロで印刷する手順を説明します。

モノクロ印刷は［クイック設定］シートの［追加する機能］で設定することも可能です。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. モノクロ印刷を設定

［基本設定］シートの［モノクロ印刷］にチェックマークを付けます。



3. 設定を完了

［OK］をクリックします。

印刷を実行すると、原稿はモノクロのデータに変換され、カラーの原稿もモノクロで印刷されます。

重要

- [モノクロ印刷] にチェックマークが付いているとき、プリンタードライバーは印刷データを sRGB データとして処理するため、印刷結果が画像データの色合いと異なることがあります。
Adobe RGB データをモノクロで印刷する場合は、アプリケーションソフトで sRGB データに変換してから印刷してください。

参考

- [モノクロ印刷] では、ブラックインク以外のインクも使用して印刷を行う場合があります。

色補正の方法を指定する

印刷する原稿の種類に合わせて、色補正の方法を指定することができます。
通常は、プリンタードライバーで色の補正が自動で行われて印刷されます。

画像データの色空間（sRGB）を有効活用して印刷する場合は [ICM]（[ICC プロファイル補正]）を、アプリケーションソフトで印刷用の ICC プロファイルを指定して印刷する場合は [なし] を選ぶ必要があります。

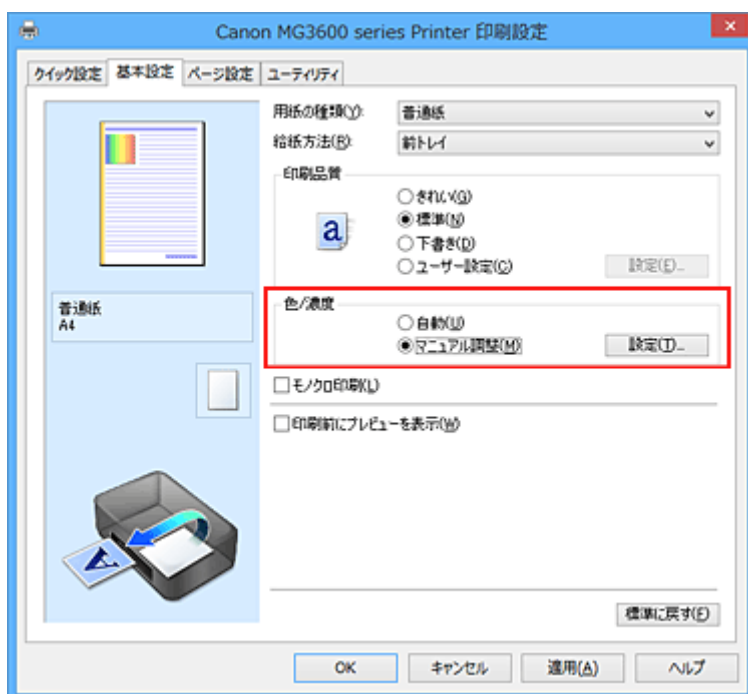
色補正の方法を指定する手順を説明します。

色補正は、[クイック設定] シートの [よく使う設定] で [写真印刷] を選び、[追加する機能] の [色/濃度のマニュアル調整] から設定することも可能です。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. マニュアル色調整を選択

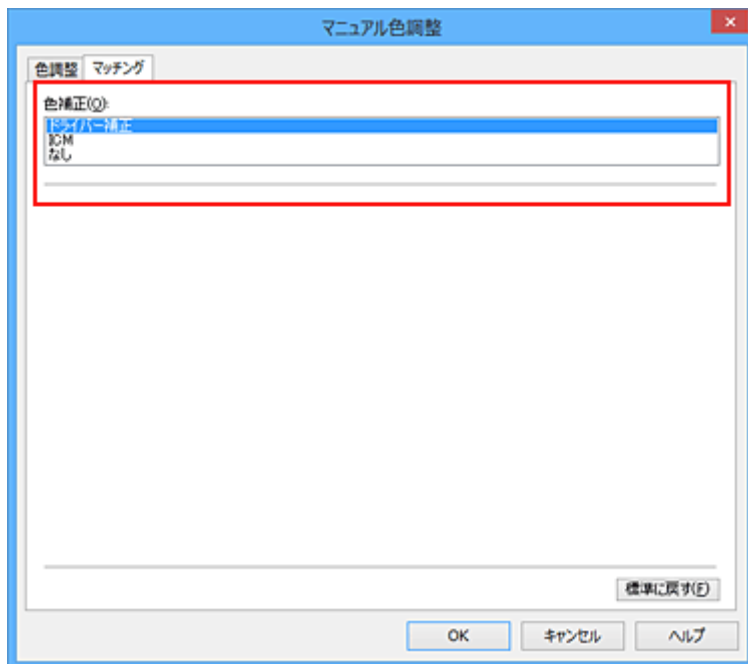
[基本設定] シートの [色/濃度] で [マニュアル調整] を選び、[設定...] をクリックします。



[マニュアル色調整] ダイアログボックスが表示されます。

3. 色補正の方法を選択

[マッチング] タブをクリックし、[色補正] で以下から目的に合ったものを選び、[OK] をクリックします。



【ドライバー補正】

sRGB データを、キャノンデジタルフォトカラーにより、人が好ましいと感じる色合いで印刷することができます。

【ICM】（【ICC プロファイル補正】）

印刷時に ICC プロファイルを利用して色の補正を行います。
使用する入力プロファイルを指定してください。

【なし】

プリンタードライバーは色補正をしません。個人で作成した印刷用の ICC プロファイルを、アプリケーションソフトで指定して印刷する場合に選んでください。

4. 設定を完了

【基本設定】シートの【OK】をクリックします。
印刷を実行すると、指定した色補正の方法で印刷されます。

重要

- アプリケーションソフトで ICM を使用しない設定にしている場合、【色補正】の【ICM】は機能しません。また、正常に印刷できないことがあります。
- 【基本設定】シートの【モノクロ印刷】にチェックマークが付いているとき、【色補正】はグレー表示となり、設定できません。

関連項目

- ⇒ [画像データに適した写真印刷を行うには](#)
- ⇒ [プリンタードライバーで色の補正を行う](#)
- ⇒ [ICC プロファイルを使用して印刷する](#)

画像データに適した写真印刷を行うには

デジタルカメラで撮影した画像を印刷すると、撮影したイメージや、モニターに表示される色と違う色で印刷されていると感ずることがあります。

印刷結果を希望する色合いに近づけるには、使用するアプリケーションソフトや目的に応じて適切な印刷方法を選ぶ必要があります。

カラーマネジメントとは

デジタルカメラ、スキャナー、モニター、プリンターなど、それぞれの機器で取り扱える色が異なります。それぞれの機器ごとに持っている固有の「色」を、共通の色空間で管理するための方法がカラーマネジメント（カラーマツチング）です。

カラーマネジメントシステムは、Windows では「ICM」という名称で OS に内蔵されています。共通の色空間として多く使用されているものに sRGB があります。

それぞれの機器の持つ固有の「色」を、共通の色空間に変換するのに必要なものが、ICC プロファイルです。ICC プロファイルを利用してカラーマネジメントを行うことで、画像データが持っている色空間をプリンターで表現できる色再現領域内で引き出すことが可能になります。

画像データに適した印刷方法を選ぶ

画像データの色空間（sRGB）や使用するアプリケーションソフトによって、推奨する印刷方法が異なります。

代表的なものに次の 2 つの印刷方法があります。

画像データの色空間（sRGB）と使用するアプリケーションソフトを確認し、目的に合った印刷方法を選んでください。

プリンタードライバで色の補正を行う

sRGB データをプリンタードライバの色補正機能を指定して印刷する方法を説明しています。

- キヤノンデジタルフォトカラーで印刷したいとき

立体感やメリハリの効いた高いコントラストを実現しながら、画像データの色を再現し、人が好ましいと感ずる色合いで印刷します。

- アプリケーションソフトで編集、レタッチした結果をそのまま反映して印刷したいとき

最も暗い部分と最も白い部分を維持した状態で、暗い部分と白い部分の微妙な色の差を出して印刷します。

アプリケーションソフトで明るさを調整したときなど、細かな調整結果も反映して印刷します。

ICC プロファイルを使用して印刷する

sRGB の色空間を有効活用して印刷する方法を説明しています。

アプリケーションソフトやプリンタードライバで画像データの入力 ICC プロファイルに合わせたカラーマネジメントを設定することで共通の色空間で印刷できます。

使用するアプリケーションソフトによって、プリンタードライバでの設定方法が異なります。

プリンタードライバーで色の補正を行う

sRGB データを、キヤノンデジタルフォトカラーにより人が好ましいと感じる色合いで印刷する場合は、プリンタードライバーの色補正機能を指定します。

ICC プロファイルを識別、指定できるアプリケーションソフトから印刷する場合は、アプリケーションソフトで印刷用の ICC プロファイルを使用してカラーマネジメントを行う設定項目を選んでください。

プリンタードライバーで色の補正を行う手順を説明します。

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く

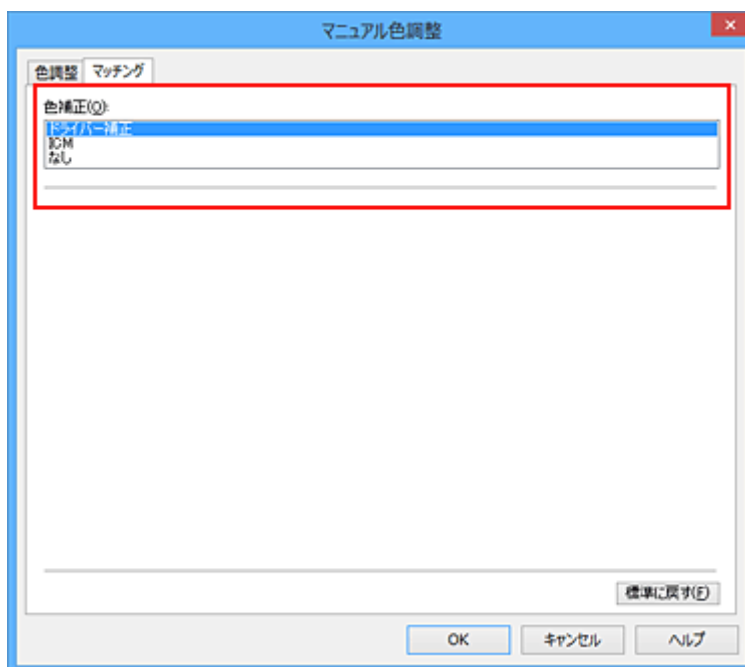
2. マニュアル色調整を選択

[基本設定] シートの [色/濃度] で [マニュアル調整] を選び、[設定...] をクリックします。

[マニュアル色調整] ダイアログボックスが表示されます。

3. 色補正を選択

[マッチング] タブをクリックし、[色補正] で [ドライバー補正] を選びます。



4. そのほかの項目を設定

必要に応じて [色調整] タブをクリックし、カラーバランス ([シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]) や、[明るさ]、[濃度]、[コントラスト] を調整して、[OK] をクリックします。

5. 設定を完了

[基本設定] シートの [OK] をクリックします。

印刷を実行すると、プリンタードライバーで色を補正して印刷されます。

関連項目

- ➡ [印刷品質を設定する \(ユーザー設定\)](#)
- ➡ [色補正の方法を指定する](#)
- ➡ [カラーバランスを調整する](#)
- ➡ [明るさを調整する](#)

- ⇒ [濃度を調整する](#)
- ⇒ [コントラストを調整する](#)

ICC プロファイルを使用して印刷する

入力 ICC プロファイルが設定されている画像データは、データの色空間（sRGB）を有効活用して印刷することができます。

使用するアプリケーションソフトによって、プリンタードライバーでの設定方法が異なります。

アプリケーションソフトで ICC プロファイルを指定して印刷する

Adobe Photoshop や Canon Digital Photo Professional などの、入力 ICC プロファイルと印刷用の ICC プロファイルを指定できるアプリケーションソフトから編集、レタッチした結果を、画像データが持つ入力 ICC プロファイルの色空間を有効活用して印刷することができます。

この印刷方法では、お使いのアプリケーションソフトでカラーマネジメントする設定項目を選び、画像データに入力 ICC プロファイルと印刷用の ICC プロファイルを指定しておく必要があります。

個人で作成した印刷用の ICC プロファイルを使用して印刷する場合も、アプリケーションソフトでカラーマネジメントする設定項目を選んでください。

指定する方法については、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

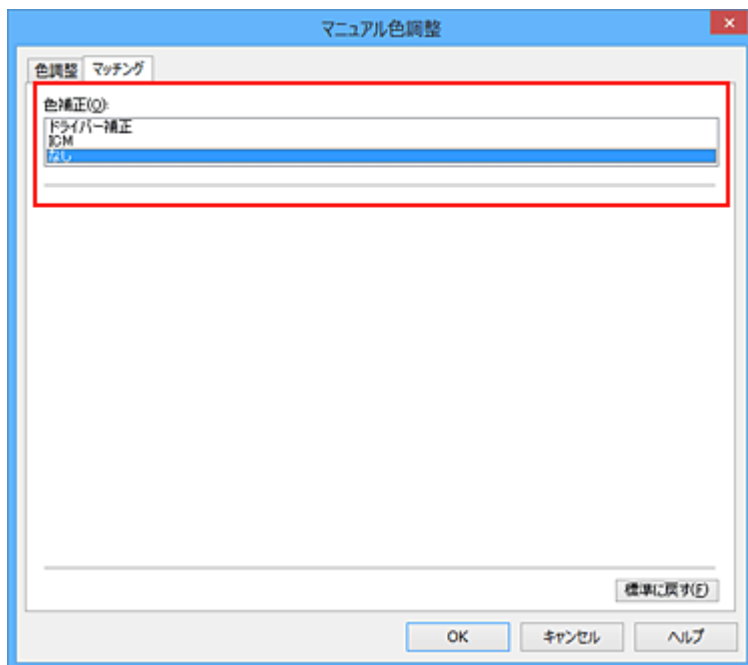
1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く

2. マニュアル色調整を選択

[基本設定] シートの [色/濃度] で [マニュアル調整] を選び、[設定...] をクリックします。
[マニュアル色調整] ダイアログボックスが表示されます。

3. 色補正を選択

[マッチング] タブをクリックし、[色補正] で [なし] を選びます。



4. そのほかの項目を設定

必要に応じて [色調整] タブをクリックし、カラーバランス ([シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]) や、[明るさ]、[濃度]、[コントラスト] を調整して、[OK] をクリックします。

5. 設定を完了

[基本設定] シートの [OK] をクリックします。
印刷を実行すると、画像データの色空間で印刷されます。

プリンタードライバーで ICC プロファイルを指定して印刷する

入力 ICC プロファイルを識別・指定できないアプリケーションソフトから、データの入力 ICC プロファイル (sRGB) の色空間で印刷します。

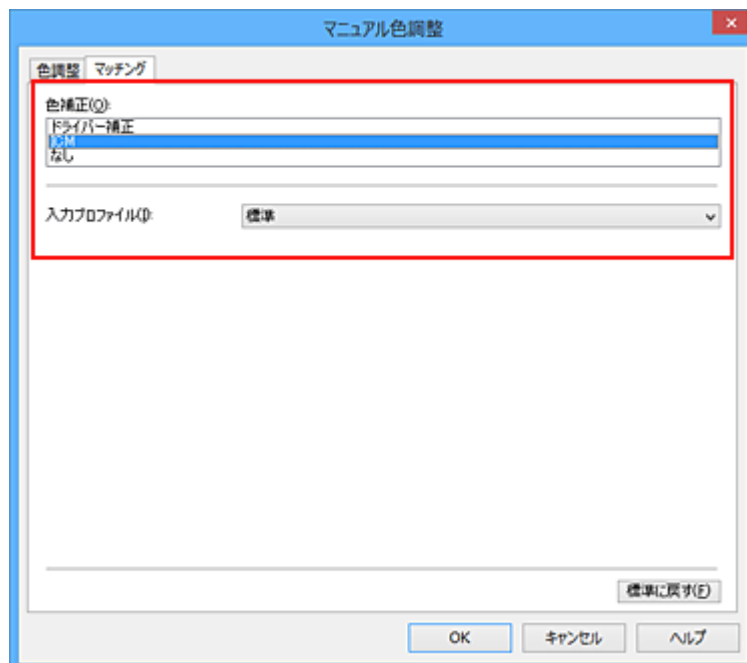
1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く

2. マニュアル色調整を選択

[基本設定] シートの [色/濃度] で [マニュアル調整] を選び、[設定...] をクリックします。
[マニュアル色調整] ダイアログボックスが表示されます。

3. 色補正を選択

[マッチング] タブをクリックし、[色補正] で [ICM] ([ICC プロファイル補正]) を選びます。



4. [入力プロファイル] で [標準] を選択

重要

- アプリケーションソフトで入力プロファイルを指定する場合は、プリンタードライバーで指定した入力プロファイルは無効となります。

5. そのほかの項目を設定

必要に応じて [色調整] タブをクリックし、[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[明るさ]、[濃度]、[コントラスト] を調整して、[OK] をクリックします。

6. 設定を完了

[基本設定] シートの [OK] をクリックします。
印刷を実行すると、画像データの色空間で印刷されます。

関連項目

- ➡ [印刷品質を設定する（ユーザー設定）](#)
- ➡ [色補正の方法を指定する](#)
- ➡ [カラーバランスを調整する](#)
- ➡ [明るさを調整する](#)
- ➡ [濃度を調整する](#)
- ➡ [コントラストを調整する](#)

カラーバランスを調整する

印刷時にプリントの色合いを調整することができます。

各色のインク量のバランスを変更してカラーバランスの調整を行うため、原稿全体の色相が変化します。大きく色相を変えたい場合は、アプリケーションソフトで行い、プリンタードライバーでは微調整にとどめてください。

下のサンプルでは、全体の色が均一に変化するようにシアンを強くし、イエローを弱くして印刷した場合を表示しています。



補正なし カラーバランスを調整

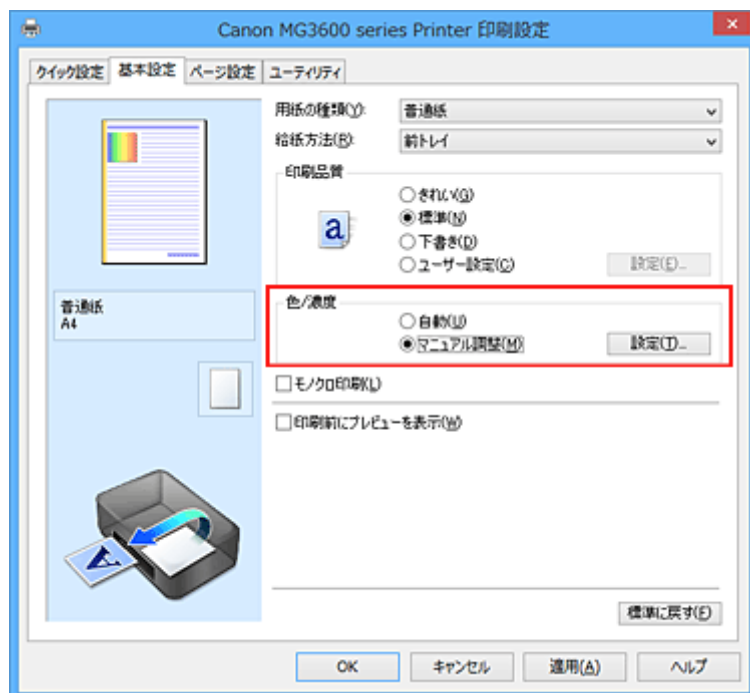
カラーバランスを調整する手順を説明します。

カラーバランスは[クイック設定]シートの[よく使う設定]で[写真印刷]を選び、[追加する機能]の[色/濃度のマニュアル調整]から設定することも可能です。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. マニュアル色調整を選択

[基本設定]シートの[色/濃度]で[マニュアル調整]を選び、[設定...]をクリックします。

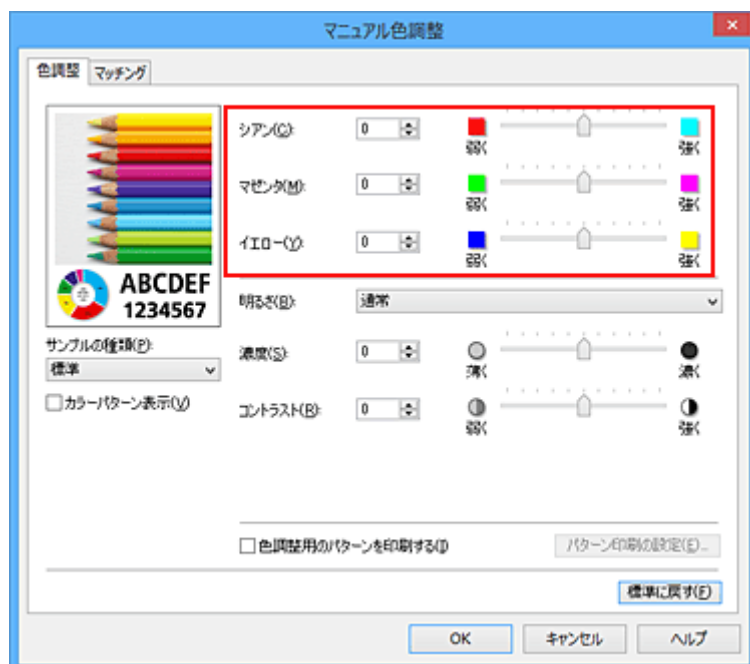


[マニュアル色調整] ダイアログボックスが表示されます。

3. カラーバランスを調整

[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー] の色別のスライダーがあり、それぞれの色は右に動かすほど強く、左に動かすほど弱くなります。例えば、シアンを弱くすると補色であるレッドが強くなります。スライダーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。設定の状態は左側のプレビュー画像に表示されます。

各色の調整が終わったら、[OK] をクリックします。



4. 設定を完了

[基本設定] シートの [OK] をクリックします。

印刷を実行すると、調整したカラーバランスで印刷されます。

重要

- [基本設定] シートの [モノクロ印刷] にチェックマークが付いているとき、カラーバランス ([シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]) はグレー表示となり設定できません。

関連項目

- ➡ [印刷品質を設定する \(ユーザー設定\)](#)
- ➡ [色補正の方法を指定する](#)
- ➡ [パターンを見て、カラーバランスを調整する \(プリンタードライバー\)](#)
- ➡ [明るさを調整する](#)
- ➡ [濃度を調整する](#)
- ➡ [コントラストを調整する](#)
- ➡ [パターンを見て、濃度/コントラストを調整する \(プリンタードライバー\)](#)

パターンを見て、カラーバランスを調整する（プリンタードライバー）

パターン印刷の印刷結果を見て、カラーバランスを調整することができます。

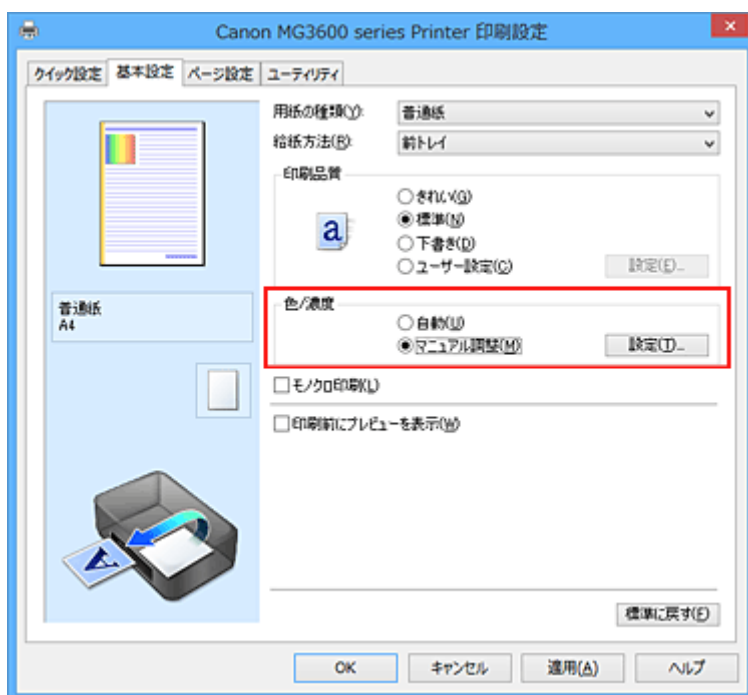
パターン印刷とは、原稿のカラーバランスや濃度/コントラストを変更した場合の調整結果を、調整値と合わせて一覧に印刷する機能です。

パターンを見て、カラーバランスを調整する手順を説明します。

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く

2. マニュアル色調整を選択

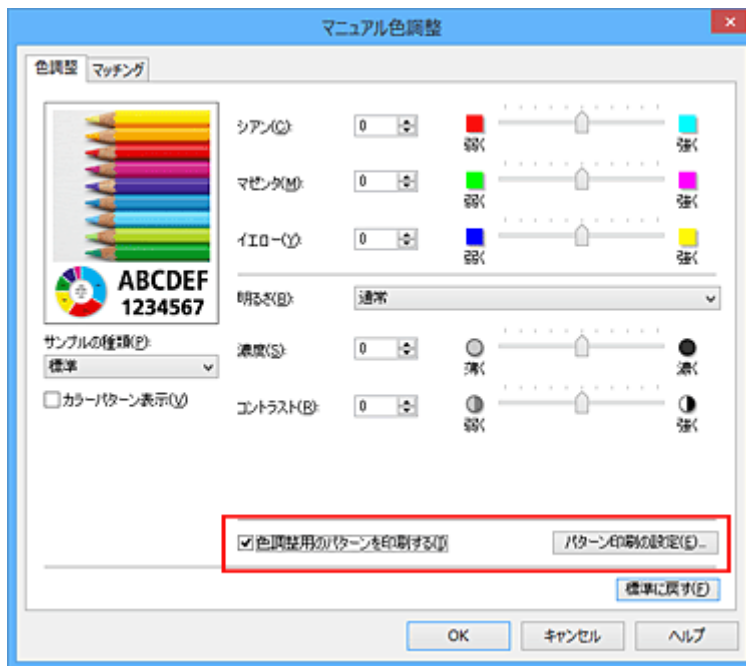
[基本設定] シートの [色/濃度] で [マニュアル調整] を選び、[設定...] をクリックします。



[マニュアル色調整] ダイアログボックスが表示されます。

3. パターン印刷を選択

[色調整] シートの [色調整用のパターンを印刷する] にチェックマークを付け、[パターン印刷の設定...] をクリックします。



4. パターン印刷を設定

【パターン印刷】 ダイアログボックスで以下の項目を設定して、【OK】をクリックします。



【調整項目】

【シアン/マゼンタ/イエロー】を選びます。

重要

- 【基本設定】シートの【モノクロ印刷】にチェックマークが付いているとき、【シアン/マゼンタ/イエロー】はグレー表示となり、設定できません。

【出力用紙サイズ】

パターン印刷に使用する用紙サイズを選びます。

参考

- 【ページ設定】シートで選んだ用紙サイズによっては選べないサイズがあります。

【パターンの数】

【多い】、【やや多い】、【少ない】から印刷するパターンの数を設定します。

参考

- 【多い】、【やや多い】は、選んでいる用紙サイズ、出力用紙サイズによっては選べません。

【パターン間の色の変化量】

隣接するパターン間の色の変化量を設定します。

参考

- 【大】は【中】の2倍程度、【小】は【中】の1/2程度の変化量の幅があります。

5. パターン印刷の印刷結果を確認

[色調整] シートの [OK] をクリックし、[マニュアル色調整] ダイアログボックスを閉じます。

[基本設定] シートの [OK] をクリックし、印刷を実行すると、設定したカラーバランスを中心値としたパターンが印刷されます。



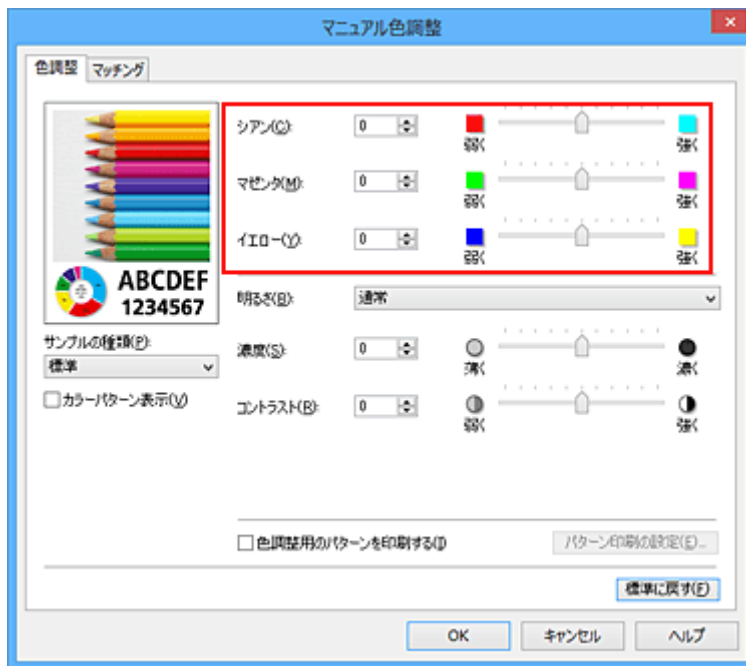
重要

- 通常、パターン印刷は設定したカラーバランスを中心値に印刷されますが、[ユーティリティ] シートの [インクカートリッジ設定] で [ブラックのみ] を選んでいる場合は、カラーバランスの設定はパターン印刷に反映されません。

6. カラーバランスの調整

印刷結果の中から好みの画像を選び、その画像の下に記載されているカラーバランスの数値を、[色調整] シートの [シアン]、[マゼンタ]、[イエロー] に入力します。

[色調整用のパターンを印刷する] のチェックマークを外し、[OK] をクリックします。



▶▶▶ 参考

- カラーバランスは［クイック設定］シートの［よく使う設定］で［写真印刷］を選び、［追加する機能］の［色/濃度のマニュアル調整］から設定することも可能です。

7. 設定を完了

［基本設定］シートの［OK］をクリックします。

印刷を実行すると、パターン印刷で調整したカラーバランスで印刷されます。

▶▶▶ 重要

- [色調整] シートの [色調整用のパターンを印刷する] にチェックマークが付いているときは、次の項目はグレー表示となり、設定できません。
 - [基本設定] シートの [印刷前にプレビューを表示]
 - [ページ設定] シートの [とじ方向] と [とじしろ指定...] ([両面印刷] を設定したときは [とじ方向] のみ設定できます。)
- [ページ設定] シートの [ページレイアウト] で [等倍]、[フチなし全面] が選ばれている場合のみ、パターン印刷が実行できます。
- [基本設定] シートの [モノクロ印刷] にチェックマークが付いているとき、[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー] はグレー表示となり、設定できません。
- お使いのアプリケーションソフトによっては、この機能が使えない場合があります。

関連項目

- ➡ [カラーバランスを調整する](#)
- ➡ [濃度を調整する](#)
- ➡ [コントラストを調整する](#)
- ➡ [パターンを見て、濃度/コントラストを調整する \(プリンタードライバー\)](#)

明るさを調整する

印刷時に画像データ全体の明るさを変えることができます。
完全な白と黒は変化せず、その中間の色の明るさを変化させます。
下のサンプルでは、明るさの設定を変えて印刷した場合を表示しています。



〔明るく〕に設定



〔通常〕に設定



〔暗く〕に設定

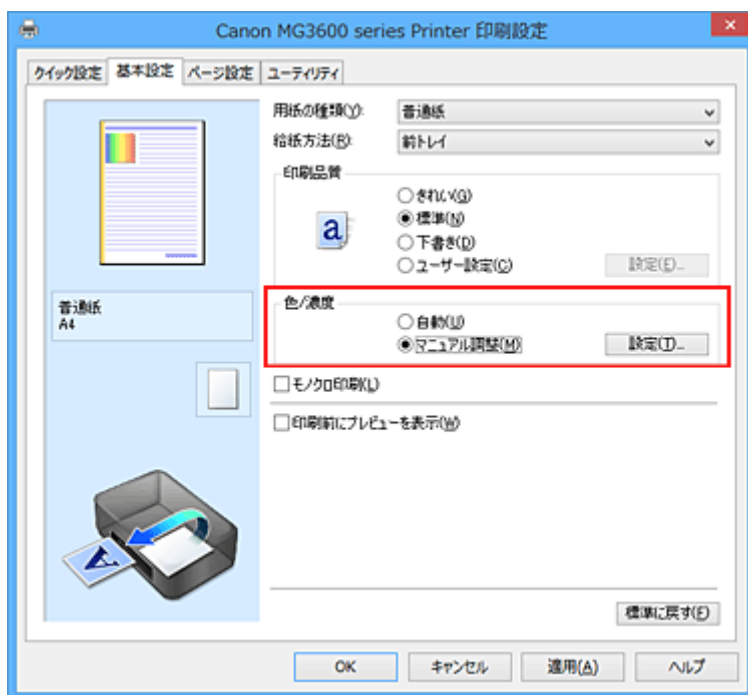
明るさを調整する手順を説明します。

明るさは〔クイック設定〕シートの〔よく使う設定〕で〔写真印刷〕を選び、〔追加する機能〕の〔色/濃度のマニュアル調整〕から設定することも可能です。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. マニュアル色調整を選択

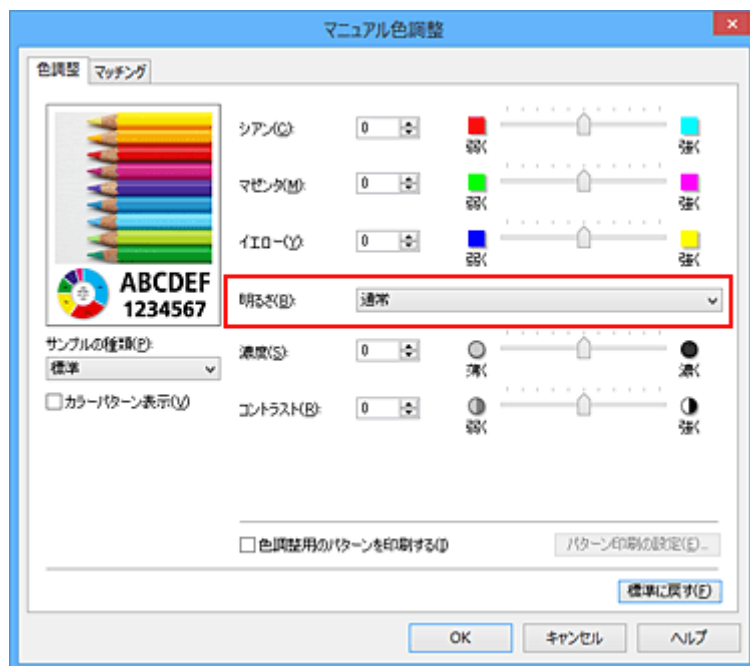
〔基本設定〕シートの〔色/濃度〕で〔マニュアル調整〕を選び、〔設定...〕をクリックします。



〔マニュアル色調整〕ダイアログボックスが表示されます。

3. 明るさを指定

〔明るさ〕で〔明るく〕、〔通常〕、または〔暗く〕を選んで、〔OK〕をクリックします。設定の状態は左側のプレビュー画像に表示されます。



4. 設定を完了

[基本設定] シートの [OK] をクリックします。
印刷を実行すると、指定した明るさで印刷されます。

関連項目

- ➡ [印刷品質を設定する \(ユーザー設定\)](#)
- ➡ [色補正の方法を指定する](#)
- ➡ [カラーバランスを調整する](#)
- ➡ [濃度を調整する](#)
- ➡ [コントラストを調整する](#)

濃度を調整する

印刷時に画像データ全体の色を薄く（明るく）または濃く（暗く）することができます。
下のサンプルでは、全体の色が濃くなるように、濃度を上げて印刷した場合を表示しています。



補正なし



濃度を濃く調整

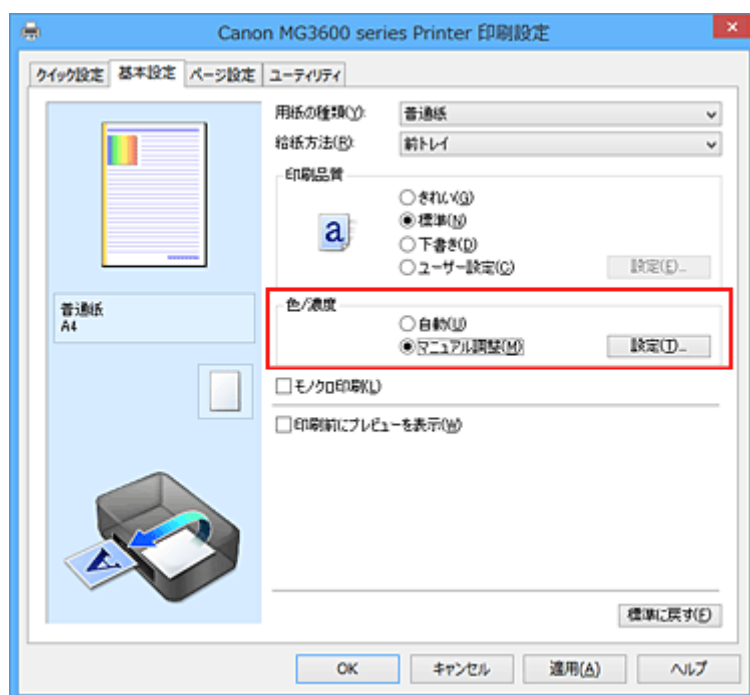
濃度を調整する手順を説明します。

濃度は[クイック設定]シートの[よく使う設定]で[写真印刷]を選び、[追加する機能]の[色/濃度のマニュアル調整]から設定することも可能です。

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く

2. マニュアル色調整を選択

[基本設定]シートの[色/濃度]で[マニュアル調整]を選び、[設定...]をクリックします。

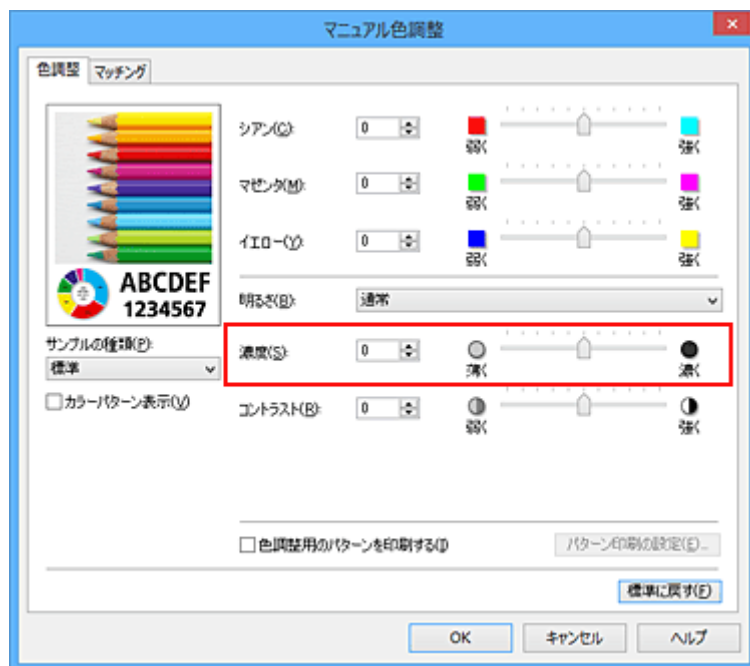


[マニュアル色調整] ダイアログボックスが表示されます。

3. 濃度を調整

[濃度]のスライダーを右に動かすほど濃く（暗く）、左に動かすほど薄く（明るく）なります。
スライダーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50の範囲で設定してください。設定の状態は左側のプレビュー画像に表示されます。

調整が終わったら、[OK]をクリックします。



4. 設定を完了

[基本設定] シートの [OK] をクリックします。
印刷を実行すると、調整した濃度で印刷されます。

関連項目

- ➡ [印刷品質を設定する \(ユーザー設定\)](#)
- ➡ [色補正の方法を指定する](#)
- ➡ [カラーバランスを調整する](#)
- ➡ [パターンを見て、カラーバランスを調整する \(プリンタードライバー\)](#)
- ➡ [明るさを調整する](#)
- ➡ [コントラストを調整する](#)
- ➡ [パターンを見て、濃度/コントラストを調整する \(プリンタードライバー\)](#)

コントラストを調整する

印刷時に画像のコントラストを調整することができます。

画像の明るい部分と暗い部分の差を大きく、はっきりさせたい場合はコントラストを強くします。反対に、明るい部分と暗い部分の差を縮めて、ぼんやりさせたい場合はコントラストを弱くします。



補正なし

コントラストを調整

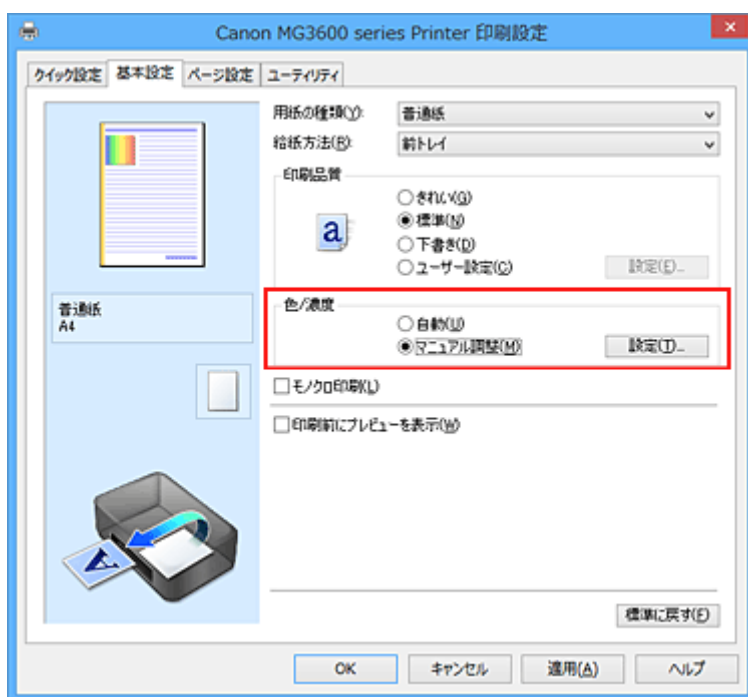
コントラストを調整する手順を説明します。

コントラストは[クイック設定]シートの[よく使う設定]で[写真印刷]を選び、[追加する機能]の[色/濃度のマニュアル調整]から設定することも可能です。

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く

2. マニュアル色調整を選択

[基本設定]シートの[色/濃度]で[マニュアル調整]を選び、[設定...]をクリックします。

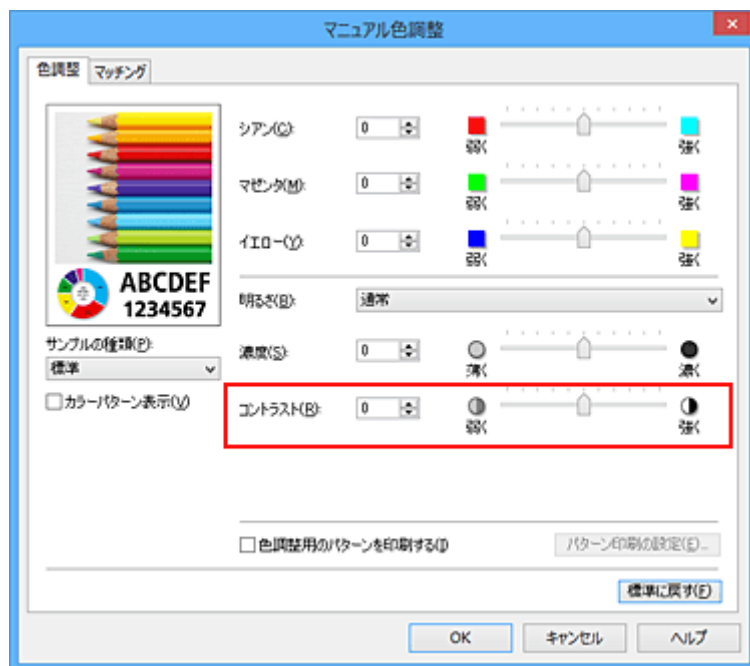


[マニュアル色調整]ダイアログボックスが表示されます。

3. コントラストを調整

[コントラスト]のスライダーを右に動かすほどコントラストが強く、左に動かすほど弱くなります。スライダーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50の範囲で設定してください。設定の状態は左側のプレビュー画像に表示されます。

調整が終わったら、[OK]をクリックします。



4. 設定を完了

[基本設定] シートの [OK] をクリックします。

印刷を実行すると、調整したコントラストで印刷されます。

関連項目

- ➡ [印刷品質を設定する \(ユーザー設定\)](#)
- ➡ [色補正の方法を指定する](#)
- ➡ [カラーバランスを調整する](#)
- ➡ [パターンを見て、カラーバランスを調整する \(プリンタードライバー\)](#)
- ➡ [明るさを調整する](#)
- ➡ [濃度を調整する](#)
- ➡ [パターンを見て、濃度/コントラストを調整する \(プリンタードライバー\)](#)

パターンを見て、濃度/コントラストを調整する（プリンタードライバー）

パターン印刷の印刷結果を見て、濃度/コントラストを調整することができます。

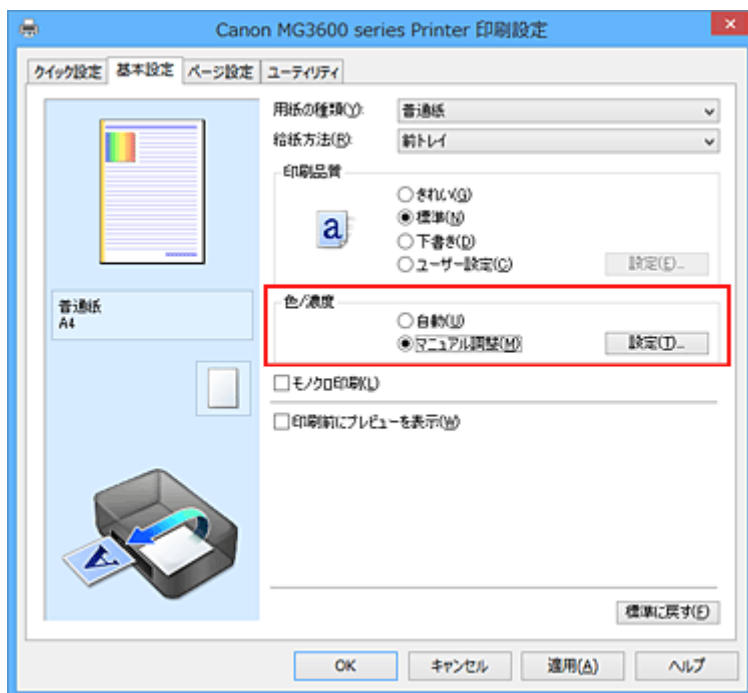
パターン印刷とは、原稿のカラーバランスや濃度/コントラストを変更した場合の調整結果を、調整値と合わせて一覧に印刷する機能です。

パターンを見て、濃度/コントラストを調整する手順を説明します。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. マニュアル色調整を選択

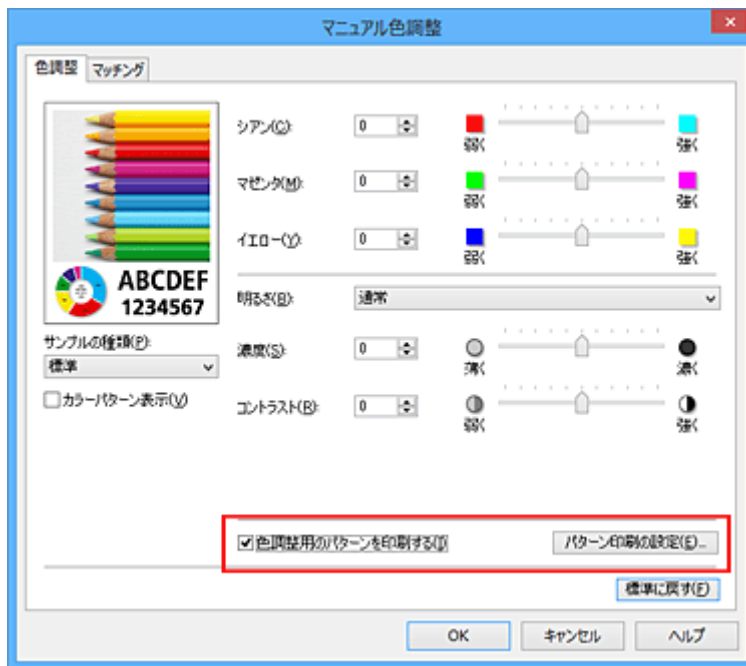
[基本設定] シートの [色/濃度] で [マニュアル調整] を選び、[設定...] をクリックします。



[マニュアル色調整] ダイアログボックスが表示されます。

3. パターン印刷を選択

[色調整] シートの [色調整用のパターンを印刷する] にチェックマークを付け、[パターン印刷の設定...] をクリックします。



4. パターン印刷を設定

【パターン印刷】 ダイアログボックスで以下の項目を設定して、【OK】をクリックします。



【調整項目】

【濃度/コントラスト】を選びます。

【出力用紙サイズ】

パターン印刷に使用する用紙サイズを選びます。

▶▶▶ 参考

- 【ページ設定】シートで選んだ用紙サイズによっては選べないサイズがあります。

【パターンの数】

【多い】、【やや多い】、【少ない】から印刷するパターンの数を設定します。

▶▶▶ 参考

- 【多い】、【やや多い】は、選んでいる用紙サイズ、出力用紙サイズによっては選べません。

【パターン間の色の変化量】

隣接するパターン間の色の変化量を設定します。

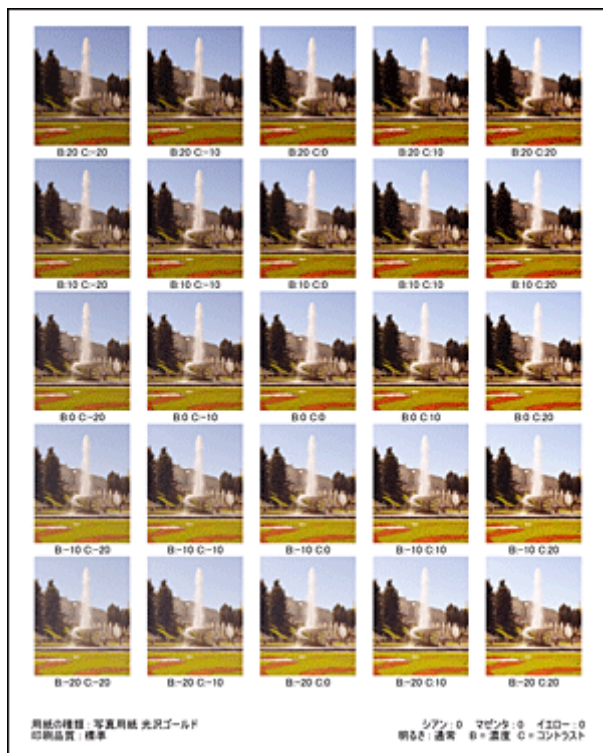
▶▶▶ 参考

- 【大】は【中】の2倍程度、【小】は【中】の1/2程度の変化量の幅があります。

5. パターン印刷の印刷結果を確認

【色調整】シートの【OK】をクリックし、【マニュアル色調整】ダイアログボックスを閉じます。

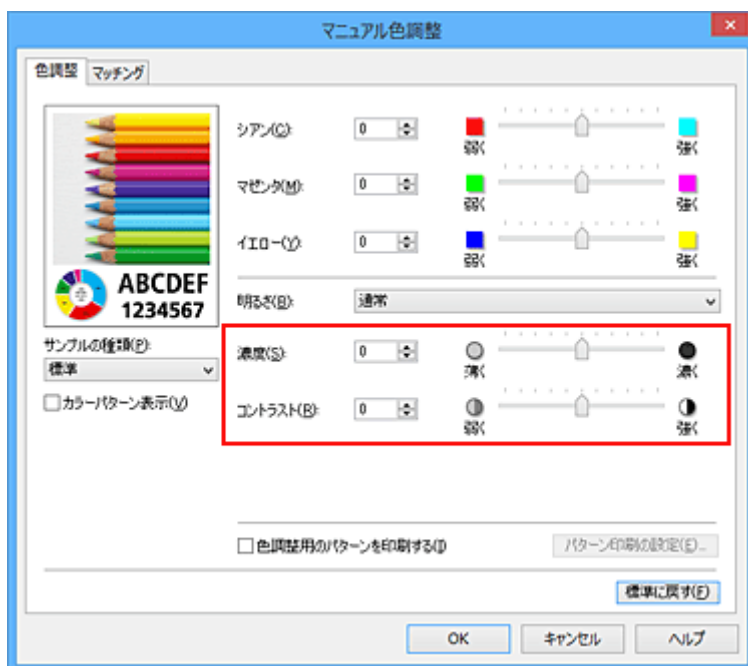
【基本設定】シートの【OK】をクリックし、印刷を実行すると、設定した濃度/コントラストを中心値としたパターンが印刷されます。



6. 濃度/コントラストの調整

印刷結果の中から好みの画像を選び、その画像の下に記載されている濃度/コントラストの数値を、[色調整] シートの、[濃度]、[コントラスト] に入力します。

[色調整用のパターンを印刷する] のチェックマークを外し、[OK] をクリックします。



参考

- 濃度/コントラストは [クイック設定] シートの [よく使う設定] で [写真印刷] を選び、[追加する機能] の [色/濃度のマニュアル調整] から設定することも可能です。

7. 設定を完了

[基本設定] シートの [OK] をクリックします。

印刷を実行すると、パターン印刷で調整した濃度/コントラストで印刷されます。

重要

- [色調整] シートの [色調整用のパターンを印刷する] にチェックマークが付いているときは、次の項目はグレー表示となり、設定できません。
 - [基本設定] シートの [印刷前にプレビューを表示]
 - [ページ設定] シートの [とじ方向] と [とじしろ指定...] ([両面印刷] を設定したときは [とじ方向] のみ設定できます。)
- [ページ設定] シートの [ページレイアウト] で [等倍]、[フチなし全面] が選ばれている場合のみ、パターン印刷が実行できます。
- お使いのアプリケーションソフトによっては、この機能が使えない場合があります。

関連項目

- ⇒ [カラーバランスを調整する](#)
- ⇒ [パターンを見て、カラーバランスを調整する \(プリンタードライバー\)](#)
- ⇒ [濃度を調整する](#)
- ⇒ [コントラストを調整する](#)

プリンタードライバーの概要

- ▶ Canon IJ プリンタードライバー
- ▶ プリンタードライバーの設定画面の開きかた
- ▶ Canon IJ ステータスマニタ
- ▶ パソコンでインクの状態を確認する
- ▶ Canon IJ プレビュー
- ▶ 不要になった印刷ジョブを削除する
- ▶ 使用上の注意（プリンタードライバー）

Canon IJ プリンタードライバー

Canon IJ プリンタードライバー（以下、プリンタードライバーといいます。）は、プリンターで印刷を行うためにパソコンにインストールするソフトウェアです。

プリンタードライバーは、アプリケーションソフトが作成した印刷データを、プリンターが認識できるデータ形式に変換してプリンターに送ります。

印刷できるデータの形式はプリンターによって違うため、使用するプリンターに対応するプリンタードライバーが必要になります。

プリンタードライバーの種類

Windows Vista SP1 以降では、通常のプリンタードライバーに加えて、XPS プリンタードライバーをインストールすることができます。

XPS プリンタードライバーは、XPS 印刷をサポートするアプリケーションソフトからの印刷に適しています。

重要

- XPS プリンタードライバーを使用するには、通常のプリンタードライバーがインストールされている必要があります。
- 「キヤノンピクサスかんたん印刷」は、XPS プリンタードライバーでは使用できません。

プリンタードライバーをインストールする

- 通常のプリンタードライバーをインストールする場合は、プリンターに付属のセットアップ CD-ROM の [セットアップからやり直す] からインストールしてください。
- XPS プリンタードライバーをインストールする場合は、プリンターに付属のセットアップ CD-ROM の [ソフトウェアを追加する] から [XPS ドライバー] を選んでインストールしてください。

プリンタードライバーを指定する

プリンタードライバーを指定するには、お使いのアプリケーションソフトの [印刷] ダイアログボックスを開き、通常のプリンタードライバーを指定する場合は「XXX Printer」（「XXX」は機種名）を、XPS プリンタードライバーを指定する場合は「XXX Printer XPS」（「XXX」は機種名）を選んでください。

プリンタードライバーからマニュアルを表示する

プリンタードライバーの設定画面から、各シートにある [ヘルプ] をクリックすると、シートの説明が表示されます。

関連項目

- ➡ [プリンタードライバーの設定画面の開きかた](#)

プリンタードライバーの設定画面の開きかた

プリンタードライバーの設定画面は、お使いのアプリケーションソフトまたはプリンターのアイコンから表示できます。

プリンタードライバーの設定画面をアプリケーションソフトから開く

印刷時に印刷設定を行う場合、この方法を使います。

1. アプリケーションソフトで印刷を実行するコマンドを選択

一般的に、[ファイル] メニューから [印刷] を選ぶと、[印刷] ダイアログボックスを開くことができます。

2. 「お使いの機種名」を選び、[詳細設定]（または [プロパティ]）をクリック

プリンタードライバーの設定画面が表示されます。

参考

- 使用しているアプリケーションソフトによっては、コマンド名やメニュー名が異なったり、手順が多くなったりする場合があります。詳しい操作方法については、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

プリンタードライバーの設定画面をプリンターのアイコンから開く

プリントヘッドのクリーニングなど、プリンターのメンテナンス操作を行う場合や、すべてのアプリケーションソフトに共通する印刷設定を行う場合、この方法を使います。

1. 以下のように選択

- Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、デスクトップのチャームから [設定] → [コントロール パネル] → [ハードウェアとサウンド] → [デバイスとプリンター] を選びます。
- Windows 7 をご使用の場合は、[スタート] メニューから [デバイスとプリンター] を選びます。
- Windows Vista をご使用の場合は、[スタート] メニューから [コントロール パネル] → [ハードウェアとサウンド] → [プリンタ] を選びます。
- Windows XP をご使用の場合は、[スタート] メニューから [コントロール パネル] → [プリンタとその他のハードウェア] → [プリンタと FAX] を選びます。

2. 「お使いの機種名」アイコンを右クリックし、表示されたメニューから [印刷設定] を選択

プリンタードライバーの設定画面が表示されます。

重要

- プリンタードライバーの設定画面を [プリンターのプロパティ] (Windows 8.1、Windows 8、Windows 7) または [プロパティ] (Windows Vista、Windows XP) から開くと、[ポート]（または [詳細設定]）シートなど、Windows の機能に関するシートが表示されます。それらのシートは、[印刷設定] やアプリケーションソフトから開いたときには表示されません。Windows の機能に関するシートについては、Windows の取扱説明書を参照してください。

プリンタードライバーの設定画面をマイ プリンタから開く

マイ プリンタをインストールしている場合は、以下の手順でもプリンタードライバーの設定画面を開くことができます。

1. マイ プリンタを起動

- Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、デスクトップのチャームから [スタート] をクリックし、[アプリ] から [マイ プリンタ] をクリックします。
- Windows7、Windows Vista、または Windows XP をご使用の場合は、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [Canon Utilities] → [マイ プリンタ] → [マイ プリンタ] をクリックします。

2. [プリンター名] にお使いの機種名が表示されていることを確認して、[プリンターの設定] をクリック

プリンタードライバーの設定画面が表示されます。

▶▶▶ 参考

- [プリンター名] に表示されている機種名がお使いの機種名と異なる場合は、[設定] をクリックしてお使いの機種名に変更してください。

Canon IJ ステータスマニタ

Canon IJ ステータスマニタは、プリンターの状態や印刷の進行状況を表示します。絵やアイコン、メッセージでプリンターの状態を知ることができます。

Canon IJ ステータスマニタの起動

印刷データがプリンターに送られると、Canon IJ ステータスマニタは自動的に起動します。起動すると、ステータスマニタのボタンがタスクバーに表示されます。



タスクバーに表示されているステータスマニタのボタンをクリックすると、Canon IJ ステータスマニタが表示されます。



参考

- 印刷していないときに Canon IJ ステータスマニタを開くには、[プリンタードライバーの設定画面](#)から、[ユーティリティ] シートの [プリンター状態の確認] をクリックします。

エラーが発生したとき

用紙がなくなったり、インクの量が少なくなったりするなどのエラーが発生すると、Canon IJ ステータスマニタは自動的に表示されます。



その場合は、画面に表示された方法に従って操作してください。

パソコンでインクの状態を確認する

インクの残量や、お使いの機種に合った FINE カートリッジの名称などを確認できます。

1. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開く

2. Canon IJ ステータスモニタの起動

［ユーティリティ］シートの［プリンター状態の確認］をクリックします。

Canon IJ ステータスモニタが起動し、インクの状態がイラストで表示されます。



参考

- インクの残量についてお知らせがあるときは、インクのイラストの上部にマークが表示されます。
例：
インクが少なくなっています。新しいインクカートリッジをご用意ください。
この状態で印刷を続けると、十分な印刷品位が得られなくなるおそれがあります。

3. 必要に応じて、［インク詳細情報］をクリック

インクに関する情報を確認できます。

インクの残量に関する警告やエラーが発生すると、［インク詳細情報］ダイアログボックスのイラストの上部にアイコンを表示して知らせます。

その場合は、画面に表示された方法に従って操作してください。

参考

- ［インク詳細情報］ダイアログボックスは、Canon IJ ステータスモニタのインクのイラストをクリックしても表示できます。

Canon IJ プレビュー

Canon IJ プレビューは、実際に印刷を行う前に、どのような印刷結果になるかを表示するためのアプリケーションソフトです。

プリンタードライバーで設定した内容が反映されたプレビューで、レイアウト、印刷順序、ページ数などを確認することができます。また、用紙の種類の設定を変更することもできます。

印刷前にプレビューを表示するときは、[プリンタードライバーの設定画面](#)を開き、[基本設定] シートで [印刷前にプレビューを表示] にチェックマークを付けてください。

表示しないときは、チェックマークを外してください。

重要

- XPS プリンタードライバーをお使いの場合は、「[印刷ドキュメントの編集や印刷履歴の再印刷を行う](#)」を参照してください。

関連項目

➡ [印刷前に印刷結果を表示する](#)

不要になった印刷ジョブを削除する

XPS プリンタードライバーをお使いの場合は、「Canon IJ ステータスマニタ」を「Canon IJ XPS ステータスマニタ」としてお読みください。

印刷が開始されない場合、途中で印刷をやめたり、印刷に失敗したりしたときのデータが残っている可能性があります。

Canon IJ ステータスマニタを使用して、不要になった印刷ジョブを削除してください。

1. Canon IJ ステータスマニタを表示

タスクバーに表示されている Canon IJ ステータスマニタのアイコンをクリックします。
Canon IJ ステータスマニタが表示されます。

2. 印刷ジョブを表示

「印刷待ち一覧を表示」をクリックします。
印刷待ちの一覧が表示されます。

3. 印刷ジョブを削除

「プリンター」メニューから「すべてのドキュメントの取り消し」を選びます。
確認メッセージが表示されたら「はい」をクリックします。
以上で印刷ジョブが削除されます。

重要

- プリンター管理のアクセス許可が与えられていないユーザーは、ほかのユーザーの印刷ジョブの削除はできません。

参考

- この操作を行うと、すべての印刷ジョブが削除されます。必要な印刷ジョブが印刷待ちの一覧に含まれていた場合は、印刷をやり直してください。

使用上の注意（プリンタードライバー）

このプリンタードライバーの使用および印刷に際しては、以下のような制限事項があります。使用にあたっては、あらかじめこれらの点に注意してください。

プリンタードライバーの制限事項

- 一部のアプリケーションソフトでは、プリンタードライバーで設定した [ページ設定] シートの [部数] が正しく機能しないことがあります。
この場合、アプリケーションソフトの [印刷] ダイアログボックスで部数を設定してください。
- [ユーティリティ] シートの [バージョン情報] ダイアログボックスの [言語] で OS 言語と異なる言語を選べると、プリンタードライバーの設定画面が正しく表示されないことがあります。
- プリンターのプロパティで [詳細設定] シートの項目を変更しないでください。変更すると、以下の機能が正しく使用できなくなります。
また、アプリケーションソフトの [印刷] ダイアログボックスで [ファイルへ出力] を選んだ場合や、Adobe Photoshop LE、MS Photo Editor など EMF スプールを禁止する一部のアプリケーションソフトでは、以下の機能は働きません。
 - [基本設定] シートの [印刷前にプレビューを表示]
 - [ページ設定] シートの [印刷オプション] ダイアログボックスの [印刷データの欠落防止]
 - [ページ設定] シートの [割り付け]、[分割/ポスター]、[冊子]、[両面印刷]、[とじしろ指定...]、[最終ページから印刷]、[部単位で印刷]、[スタンプ/背景...] ([スタンプ...])
 - [マニュアル色調整] ダイアログボックスの [色調整] シートの [色調整用のパターンを印刷する]
- プレビュー表示時の解像度は、印刷時の解像度と異なるため、プレビュー上の文章や細線などの表示が印刷結果と異なる場合があります。
- 一部のアプリケーションソフトでは、印刷が複数の印刷ジョブに分割される場合があります。
印刷を中止する場合は、分割されたすべての印刷ジョブを削除してください。
- 画像などが正常に印刷されない場合は、[ページ設定] シートの [印刷オプション] ダイアログボックスで [アプリケーションソフトが要求した ICM を無効にする] の設定を変更すると、回避できることがあります。

参考

- XPS プリンタードライバーをお使いの場合は、[アプリケーションソフトが要求した ICM を無効にする] は使用できません。

- 印刷中に Canon IJ Network Tool を起動しないでください。
- Canon IJ Network Tool を起動中に印刷しないでください。

ご使用の際に制限のあるアプリケーションソフトについて

- Microsoft Word（マイクロソフト株式会社）では以下の制限があります。
 - プリンタードライバーと同じ印刷機能がある場合は、プリンタードライバーでは設定せずに Word で設定してください。
 - プリンタードライバーから [ページ設定] シートの [ページレイアウト] で [フィットページ]、[拡大/縮小]、[割り付け] を使用する場合、Word のバージョンによっては、正常に印刷されないことがあります。
 - Word で [用紙サイズ] を「XXX (拡大縮小)」に設定している場合、Word のバージョンによっては正常に印刷されないことがあります。
この場合は、以下の操作を行ってください。
 - Word の [印刷] ダイアログボックスを開きます。

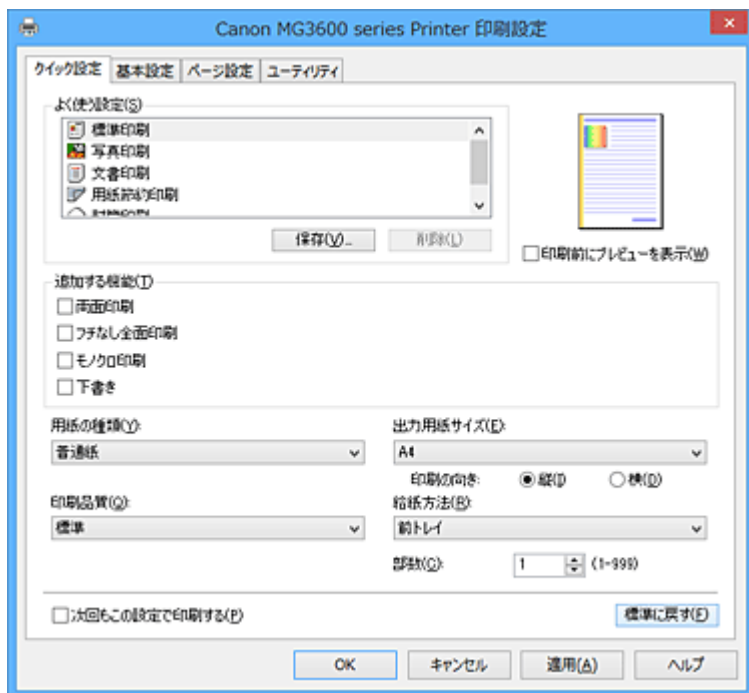
2. [プリンタードライバーの設定画面](#)を開き、[ページ設定] シートの [用紙サイズ] に Word で指定した用紙サイズと同じものを選びます。
 3. 希望する [ページレイアウト] を設定し、[OK] をクリックして閉じます。
 4. 印刷を実行しないで、いったん [印刷] ダイアログボックスを閉じます。
 5. もう一度、Word の [印刷] ダイアログボックスを開きます。
 6. プリンタードライバーの設定画面を開き、[OK] をクリックして閉じます。
 7. 印刷を実行します。
- Adobe Illustrator（アドビ システムズ株式会社）では、ビットマッププリントを有効にしていると、印刷に時間がかかったり、データの一部が印刷されなかったりすることがあります。[プリント] ダイアログボックスの [ビットマッププリント] のチェックマークを外してから印刷してください。

プリンタードライバーの画面説明

- ▶ [\[クイック設定\] シートの画面説明](#)
- ▶ [\[基本設定\] シートの画面説明](#)
- ▶ [\[ページ設定\] シートの画面説明](#)
- ▶ [\[ユーティリティ\] シートの画面説明](#)
- ▶ [Canon IJ プレビューの画面説明](#)
- ▶ [Canon IJ XPS プレビューの画面説明](#)
- ▶ [Canon IJ ステータスマニタの画面説明](#)

【クイック設定】シートの画面説明

【クイック設定】シートには、一般的に使う印刷設定が登録されています。登録された設定を選ぶと、あらかじめ設定された内容に自動的に切り替わります。



【よく使う設定】

一般的によく使う印刷設定の名称とアイコンが登録してあります。目的に応じて印刷設定を選ぶと、それに合った設定が適用されます。

また、選んだ印刷設定に対して便利な機能が「追加する機能」に表示されます。

印刷設定を変更し、名称を付けて登録することもできます。登録した印刷設定は削除できます。

各設定をドラッグするか、Ctrl キーを押したまま上矢印キーまたは下矢印キーを押すと、並び替えることができます。

【標準印刷】

工場出荷時の設定です。

アプリケーションソフトから「用紙サイズ」、「印刷の向き」、「部数」の設定を行っている場合は、その設定が優先されます。

【写真印刷】

写真を印刷するときに選ぶと、一般的に使用される写真用紙と写真サイズが設定されます。「フチなし全面印刷」にチェックマークが付きます。

アプリケーションソフトから「印刷の向き」や「部数」の設定を行っている場合は、その設定が優先されます。

【文書印刷】

一般的な文書を印刷するときに選びます。

アプリケーションソフトから「用紙サイズ」、「印刷の向き」、「部数」の設定を行っている場合は、その設定が優先されます。

【用紙節約印刷】

一般的な文書を、用紙を節約して印刷するときに選びます。「2 in 1 印刷」、「両面印刷」にチェックマークが付きます。

アプリケーションソフトから「用紙サイズ」、「印刷の向き」、「部数」の設定を行っている場合は、その設定が優先されます。

【封筒印刷】

封筒印刷するときに選ぶと、自動的に【用紙の種類】が【封筒】に設定されます。【封筒サイズの設定】ダイアログボックスで、使用する封筒のサイズを選んでください。

参考

- 保存するときに選んでいた印刷設定で表示される【追加する機能】の組み合わせが、追加した印刷設定を選んだときにも表示されます。

【保存...】

【よく使う設定の保存】ダイアログボックスを表示します。

【クイック設定】シート、【基本設定】シート、および【ページ設定】シートで設定した内容を【よく使う設定】に保存したいときにクリックしてください。

【削除】

登録されている印刷設定を削除します。

【よく使う設定】から削除したい設定の名称を選び、【削除】をクリックすると確認のメッセージが表示されます。【OK】をクリックすると、指定した印刷設定は削除されます。

参考

- 初期設定で登録されている印刷設定は削除できません。

設定ビュー

用紙のイラストは、原稿が用紙にどのようにレイアウトされるかを表示しています。
全体のレイアウトをおおまかなイメージで確認することができます。

【印刷前にプレビューを表示】

印刷を実行する前に、どのような印刷結果になるかを表示します。

印刷前にプレビューを表示するときは、チェックマークを付けてください。

プレビューを表示しないときは、チェックマークを外してください。

重要

- Canon IJ XPS プレビューを使用するためには、お使いのパソコンに Microsoft .NET Framework 4 Client Profile がインストールされている必要があります。

【追加する機能】

【クイック設定】シートの【よく使う設定】で選んだ印刷設定に応じて、よく使われる便利な機能を表示します。

変更可能な機能にマウスポインターを近づけると、機能の説明が表示されます。

各機能を有効にする場合はチェックマークを付けてください。

機能によっては、【基本設定】シート、【ページ設定】シートから詳細な設定を行うことができます。

重要

- 印刷設定によっては、グレー表示となり変更できない機能があります。

【2 in 1 印刷】

1 枚の用紙に 2 ページの原稿を並べて印刷します。

ページ順序を変更する場合は、【ページ設定】シートの【ページレイアウト】で【割り付け】を選び、【詳細設定...】をクリックします。表示される【割り付け印刷】ダイアログボックスで【ページ順序】を指定してください。

【4 in 1 印刷】

1 枚の用紙に 4 ページの原稿を並べて印刷します。

ページ順序を変更する場合は、【ページ設定】シートの【ページレイアウト】で【割り付け】を選び、【詳細設定...】をクリックします。表示される【割り付け印刷】ダイアログボックスで【ページ順序】を指定してください。

【両面印刷】

用紙の両面に印刷するか、片面に印刷するかを選びます。

とじ方向やとじしろを変更する場合は、[ページ設定] シートから設定してください。

【フチなし全面印刷】

用紙に余白部分のないフチなし全面印刷を行います。

フチなし全面印刷では、用紙からわずかにみ出す大きさに原稿が拡大されます。そのため、余白部分（フチ）ができない印刷が可能になります。

用紙からはみ出す原稿の量を調整する場合は、[ページ設定] シートで [フチなし全面] を選び、[はみ出し量] から設定してください。

【モノクロ印刷】

印刷時に原稿をモノクロのデータに変換して印刷する機能です。

【下書き】

試し印刷に適しています。

【180 度回転】

用紙の紙送りに対して、原稿を 180 度回転させて印刷します。

アプリケーションソフトで設定した印刷領域の幅とはみ出し量の上下、左右がそれぞれ逆になります。

【色/濃度のマニュアル調整】

[色補正] の方法を選んだり、[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[明るさ]、[濃度]、[コントラスト]などを個別に設定したりするときに選びます。

【用紙の種類】

印刷に使用する用紙の種類を選びます。

実際にプリンターにセットしているものと一致させるようにしてください。その用紙の材質に合った印刷ができるようになります。

【出力用紙サイズ】

実際にプリンターにセットしている用紙サイズを選びます。

通常は出力用紙サイズの設定に合わせて用紙サイズが自動的に設定され、等倍で印刷されます。

[追加する機能] の [2 in 1 印刷]、[4 in 1 印刷] を設定した場合、[ページ設定] シートの [用紙サイズ] で原稿のサイズを個別に設定することができます。

[用紙サイズ] より小さいサイズを選ぶと用紙に合わせて原稿を縮小して印刷し、大きいサイズを選ぶと拡大して印刷します。

また、[ユーザー定義用紙...] を選ぶと [\[ユーザー定義用紙\] ダイアログボックス](#) が表示され、用紙の縦、横のサイズを任意に指定することができます。

【印刷の向き】

用紙に対する印刷方向を選びます。

原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、アプリケーションソフトと同じものを選んでください。

【縦】

紙送りに対して、原稿の上下が変わらないように印刷します。通常はこの設定になっています。

【横】

紙送りに対して、原稿を 90 度回転させて印刷します。

回転方向は、[ユーティリティ] シートの [特殊設定] ダイアログボックスの [印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする] で変更することができます。

左 90 度に回転させて印刷するときは、[印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする] のチェックマークを付けてください。

【印刷品質】

目的に合った印刷の品質を選びます。

いずれかを選ぶと、目的にふさわしい印刷品質のレベルが設定されます。

印刷品質のレベルを個別に設定するときは、[基本設定] シートの [印刷品質] で [ユーザー設定] を選びます。[設定...] が有効になり、[【ユーザー設定】ダイアログボックス](#)を開いて、設定ができるようになります。

【きれい】

印刷のスピードよりも品位を優先して印刷します。

【標準】

標準的なスピードと品位で印刷します。

【下書き】

試し印刷に適しています。

【給紙方法】

用紙の給紙方法を表示しています。

【前トレイ】

常に前トレイから給紙を行います。

【部数】

印刷する部数を指定します。1～999 部まで指定可能です。

重要

- 原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、プリンタードライバーで設定を行ってください。印刷結果が思わしくない場合は、アプリケーションソフトで設定を行ってください。

【次回もこの設定で印刷する】

現在の設定で次回以降も印刷を行います。

この機能にチェックマークを付けてから[プリンタードライバーの設定画面](#)を閉じると、[クイック設定] シート、[基本設定] シート、および [ページ設定] シートで設定した内容が保存され、同じ設定で次回以降も印刷できます。

重要

- 別のユーザー名でログオンした場合は、この機能にチェックマークを付けたときの設定は反映されません。
- アプリケーションソフトで設定を行っている場合は、その設定が優先されます。

【標準に戻す】

変更した設定を、標準の設定に戻します。

クリックすると、[クイック設定] シート、[基本設定] シート、[ページ設定] シートのすべての設定は、標準の設定（工場出荷時の設定）に戻ります。

【よく使う設定の保存】ダイアログボックス

[クイック設定] シート、[基本設定] シート、[ページ設定] シートで設定した内容を保存して、[クイック設定] シートの [よく使う設定] に追加します。

【名称】

登録する印刷設定の名称を入力します。

半角、全角ともに 255 文字まで入力できます。

入力した名称はアイコンとともに、[クイック設定] シートの [よく使う設定] に表示されます。

【オプション...】

[【よく使う設定の保存】ダイアログボックス](#)を表示します。

保存する印刷設定の詳細を変更します。

【よく使う設定の保存】ダイアログボックス

【よく使う設定】に登録する印刷設定のアイコンを選んだり、印刷設定に保存する項目を変更したりします。

【アイコン】

登録する印刷設定のアイコンを選びます。

選んだアイコンは名称とともに、【クイック設定】シートの【よく使う設定】に表示されます。

【用紙サイズを保存する】

【よく使う設定】の印刷設定に用紙サイズを保存します。

印刷設定を選んだとき、保存された用紙サイズを適用したい場合はチェックマークを付けます。

チェックマークを外すと、用紙サイズは保存されないため、印刷設定を選んだときに用紙サイズの設定は適用されません。アプリケーションソフトで指定した用紙サイズで印刷します。

【印刷の向きを保存する】

【よく使う設定】の印刷設定に【印刷の向き】を保存します。

印刷設定を選んだとき、保存された印刷の向きを適用したい場合はチェックマークを付けます。

チェックマークを外すと、印刷の向きは保存されないため、印刷設定を選んだときに【印刷の向き】の設定は適用されません。アプリケーションソフトで選んだ印刷の向きで印刷します。

【部数を保存する】

【よく使う設定】の印刷設定に【部数】を保存します。

印刷設定を選んだとき、保存された部数を適用したい場合はチェックマークを付けます。

チェックマークを外すと、部数は保存されないため、印刷設定を選んだときに【部数】の設定は適用されません。アプリケーションソフトで設定した部数で印刷します。

【ユーザー定義用紙】ダイアログボックス

使用する用紙の横の幅と縦の長さを入力します。

【単位】

ユーザー定義用紙のサイズを入力する単位を選びます。

【用紙サイズ】

用紙の【幅】と【長さ】を指定します。単位は【単位】で選ばれた状態で表示されます。

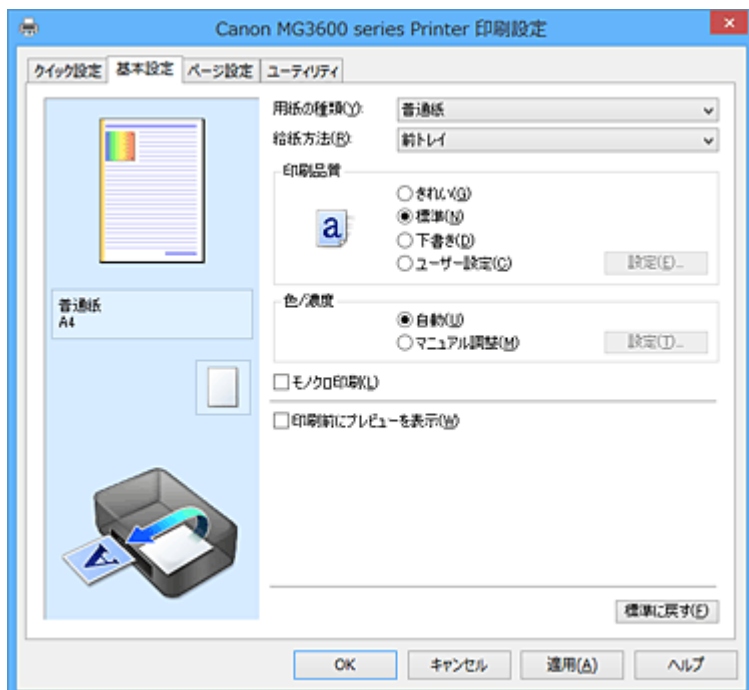
関連項目

- ➡ [かんたんな設定で印刷を行う](#)
- ➡ [用紙サイズと印刷の向きを設定する](#)
- ➡ [部数と印刷順序を設定する](#)
- ➡ [フチなし全面印刷を行う](#)
- ➡ [両面印刷を行う](#)
- ➡ [封筒に印刷する](#)
- ➡ [はがきに印刷する](#)
- ➡ [印刷前に印刷結果を表示する](#)
- ➡ [用紙の縦横サイズを設定する（ユーザー定義用紙）](#)
- ➡ [カラーの原稿をモノクロで印刷する](#)
- ➡ [色補正の方法を指定する](#)

- ➡ [カラーバランスを調整する](#)
- ➡ [パターンを見て、カラーバランスを調整する（プリンタードライバー）](#)
- ➡ [明るさを調整する](#)
- ➡ [濃度を調整する](#)
- ➡ [コントラストを調整する](#)
- ➡ [パターンを見て、濃度/コントラストを調整する（プリンタードライバー）](#)
- ➡ [よく使う印刷設定を登録する](#)

【基本設定】シートの画面説明

【基本設定】シートでは、プリンターにセットしている用紙の種類に合わせて、基本的な印刷設定を行います。特殊な印刷をしない限り、このシートの項目だけ設定すれば、通常の印刷を行うことができます。



設定ビュー

用紙のイラストは、原稿が用紙にどのようにレイアウトされるかを表示しています。全体のレイアウトをおおまかなイメージで確認することができます。

【用紙の種類】

印刷に使用する用紙の種類を選びます。
実際にプリンターにセットしているものと一致させるようにしてください。その用紙の材質に合った印刷ができるようになります。

【給紙方法】

用紙の給紙方法を表示しています。

【前トレイ】

常に前トレイから給紙を行います。

【印刷品質】

目的に合った印刷の品質を選びます。
いずれかを選ぶと、目的にふさわしい印刷品質のレベルが設定されます。

▶▶▶ 重要

- 【用紙の種類】の設定によっては、【印刷品質】を変更しても同じ印刷結果になることがあります。

【きれい】

印刷のスピードよりも品位を優先して印刷します。

【標準】

標準的なスピードと品位で印刷します。

【下書き】

試し印刷に適しています。

【ユーザー設定】

印刷品質のレベルを個別に設定するときに選びます。

【設定...】

【印刷品質】で【ユーザー設定】を選ぶと、クリックできるようになります。

[【ユーザー設定】ダイアログボックス](#)を開いて、印刷品質のレベルを個別に設定することができます。

【色/濃度】

色の調整のしかたを選びます。

【自動】

【シアン】、【マゼンタ】、【イエロー】、【明るさ】、【濃度】、【コントラスト】などを自動的に調整します。

【マニュアル調整】

【シアン】、【マゼンタ】、【イエロー】、【明るさ】、【濃度】、【コントラスト】などを個別に設定したり、【色補正】の方法を選んだりするときに選びます。

【設定...】

【色/濃度】で【マニュアル調整】を選ぶと、クリックできるようになります。

【マニュアル色調整】ダイアログボックスの[【色調整】シート](#)で【シアン】、【マゼンタ】、【イエロー】、【明るさ】、【濃度】、【コントラスト】などの色に関する設定を個別に調整したり、[【マッチング】シート](#)で【色補正】の方法を選んだりすることができます。

参考

- ICC プロファイルを利用して色の補正をしたい場合は、【マニュアル色調整】ダイアログボックスで設定できます。

【モノクロ印刷】

印刷時に原稿をモノクロのデータに変換して印刷する機能です。

カラーの原稿をモノクロで印刷するときは、チェックマークを付けてください。

【印刷前にプレビューを表示】

印刷を実行する前に、どのような印刷結果になるかを表示します。

印刷前にプレビューを表示するときは、チェックマークを付けてください。

重要

- Canon IJ XPS プレビューを使用するためには、お使いのパソコンに Microsoft .NET Framework 4 Client Profile がインストールされている必要があります。

【標準に戻す】

変更した設定を、標準の設定に戻します。

クリックすると、この画面のすべての設定は、標準の設定（工場出荷時の設定）に戻ります。

【ユーザー設定】ダイアログボックス

品位を設定して、好みの印刷品質を選びます。

品位

スライダーを使用して印刷の品位レベルを調整できます。

重要

- 【用紙の種類】で選んでいる用紙によっては、選べない印刷品質のレベルがあります。

参考

- スライダーに連動して【きれい】、【標準】、【下書き】の品位と数値が左に表示されます。これは、【基本設定】シートの【印刷品質】で該当するラジオボタンを選んだ場合と同じであることを示しています。

【色調整】シート

印刷の色合いを決定する [シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[明るさ]、[濃度]、[コントラスト] などの設定を変更して、好みの色に調整します。

プレビュー画像

現在の色調整の状態を表示します。

各項目を調整すると、色や明るさが変わります。[サンプルの種類] で印刷する結果に近いプレビュー画像に変更することで、色調整の状態が確認しやすくなります。

参考

- [モノクロ印刷] にチェックマークが付いているときは、モノクロで表示されます。

【サンプルの種類】

[色調整] シートに表示されるプレビュー画像を選びます。

必要に応じて、[標準]、[風景]、[グラフィックス] の中から印刷結果に近いプレビュー画像を選んでください。

【カラーパターン表示】

色調整による色の変化量が確認できるパターンを表示します。

プレビュー画像をカラーパターンで表示するときは、チェックマークを付けてください。

【シアン】、【マゼンタ】、【イエロー】

[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー] の強弱を調整します。

スライダーを右にドラッグするほど強く、左にドラッグするほど弱くなります。

スライダーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。

調整を行うと、各色のインク量のバランスが変わるため、原稿全体の色相が変わります。大きく色相を変えたい場合は、アプリケーションソフトで行い、プリンタードライバーでは微調整にとどめてください。

重要

- [基本設定] シートの [モノクロ印刷] にチェックマークが付いているとき、[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー] はグレー表示となり設定できません。

【明るさ】

印刷結果の明るさを選びます。

完全な白と黒は変化せず、その中間の色の明るさが変わります。

【濃度】

印刷の濃度を調整します。

スライダーを右にドラッグするほど濃く、左にドラッグするほど薄くなります。

スライダーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。

【コントラスト】

印刷する画像の明暗の差を調整します。

スライダーを右にドラッグするほど明暗の差が大きく、左にドラッグするほど明暗の差が小さくなります。

スライダーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。

【色調整用のパターンを印刷する】

パターン印刷とは、原稿のカラーバランスや濃度/コントラストを変更した場合の調整結果を、調整値と合わせて一覧に印刷する機能です。

色調整用のパターンを印刷するときはチェックマークを付けてください。

【パターン印刷の設定...】

【色調整用のパターンを印刷する】にチェックマークを付けると、クリックできるようになります。

[【パターン印刷】ダイアログボックス](#)を表示し、パターン印刷に関する設定ができます。

【パターン印刷】ダイアログボックス

原稿のカラーバランスや濃度/コントラストを確認できるパターンを印刷するための設定を行ないます。

【調整項目】

パターン印刷で確認したい項目を選びます。

【シアン/マゼンタ/イエロー】

シアン/マゼンタ/イエローのバランスを確認できるパターンを印刷します。

重要

- 【基本設定】シートの【モノクロ印刷】にチェックマークが付いているとき、【シアン/マゼンタ/イエロー】はグレー表示となり設定できません。

【濃度/コントラスト】

濃度/コントラストを確認できるパターンを印刷します。

【出力用紙サイズ】

パターン印刷に使用する用紙のサイズを選びます。

【ページ設定】シートの【出力用紙サイズ】と連動しています。

参考

- 【ページ設定】シートで選んだ用紙サイズによっては選べないサイズがあります。

【パターンの数】

印刷するパターンの数を設定します。

【多い】、【やや多い】、【少ない】から選べます。各パターンサイズを選んだ場合に印刷されるパターン数は、以下のとおりです。

参考

- 【多い】、【やや多い】は、選んでいる用紙サイズ、出力用紙サイズによっては選べません。
- 【基本設定】シートの設定ビューにレイアウトを表示しています。全体のレイアウトをおおまかなイメージで確認することができます。

【多い】

【シアン/マゼンタ/イエロー】 37

【濃度/コントラスト】 49

【やや多い】

【シアン/マゼンタ/イエロー】 19

【濃度/コントラスト】 25

【少ない】

【シアン/マゼンタ/イエロー】 7

【濃度/コントラスト】 9

【パターン間の色の変化量】

隣接するパターン間の色の変化量を設定します。

【大】、【中】、【小】から選べます。【大】は変化量が大きく、【小】は変化量が小さくなります。

参考

- 【大】は【中】の2倍程度、【小】は【中】の1/2程度の変化量の幅があります。

【マッチング】シート

印刷する原稿の種類に合った色の補正方法を選びます。

【色補正】

【ドライバー補正】、【ICM】（【ICC プロファイル補正】）、【なし】の中から目的に合ったものを選びます。

重要

- 【基本設定】シートの【モノクロ印刷】にチェックマークが付いているとき、【色補正】はグレー表示となり設定できません。

【ドライバー補正】

sRGB データを、キヤノンデジタルフォトカラーにより、人が好ましいと感じる色合いで印刷します。

【ICM】（【ICC プロファイル補正】）

印刷時に ICC プロファイルを利用して色の補正を行います。
使用する入力プロファイルを指定してください。

重要

- アプリケーションソフトで ICM を使用しない設定にしている場合、【色補正】の【ICM】（【ICC プロファイル補正】）は機能しません。また、正常に印刷できないことがあります。

【なし】

プリンタードライバーで色の補正を行いません。

【入力プロファイル】

【色補正】で【ICM】（【ICC プロファイル補正】）を選んだときに使用する入力プロファイルを指定します。

【標準】

ICM の色空間に対応した標準のプリンタープロファイル（sRGB）を使用します。通常はこの設定になっています。

参考

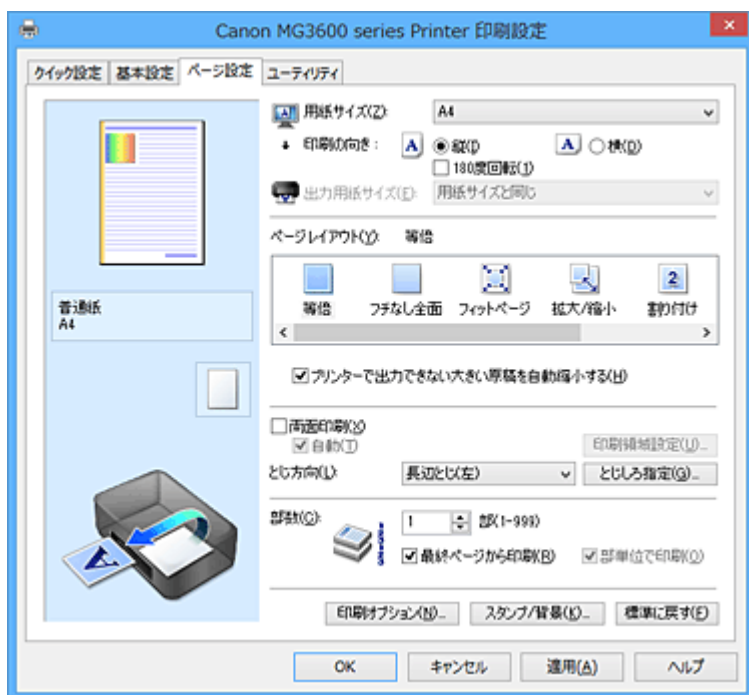
- 【ICM】は、XPS プリンタードライバーでは【ICC プロファイル補正】となります。

関連項目

- ⇒ [印刷品質を設定する（ユーザー設定）](#)
- ⇒ [カラーバランスを調整する](#)
- ⇒ [明るさを調整する](#)
- ⇒ [濃度を調整する](#)
- ⇒ [コントラストを調整する](#)
- ⇒ [パターンを見て、カラーバランスを調整する（プリンタードライバー）](#)
- ⇒ [パターンを見て、濃度/コントラストを調整する（プリンタードライバー）](#)
- ⇒ [色補正の方法を指定する](#)
- ⇒ [プリンタードライバーで色の補正を行う](#)
- ⇒ [ICC プロファイルを使用して印刷する](#)
- ⇒ [カラーの原稿をモノクロで印刷する](#)
- ⇒ [印刷前に印刷結果を表示する](#)

【ページ設定】シートの画面説明

【ページ設定】シートでは、原稿を用紙にどのように配置するかを設定します。また印刷する部数や順序の設定もできます。原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、アプリケーションソフトで指定してください。



設定ビュー

用紙のイラストは、原稿が用紙にどのようにレイアウトされるかを表示しています。全体のレイアウトをおおまかなイメージで確認することができます。

【用紙サイズ】

用紙サイズを選びます。

アプリケーションソフトで指定した用紙サイズと同じものを選んでください。

【ユーザー定義用紙...】を選ぶと [【ユーザー定義用紙】ダイアログボックス](#) が表示され、用紙の縦、横のサイズを任意に指定することができます。

【印刷の向き】

用紙に対する印刷方向を選びます。

原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、アプリケーションソフトと同じものを選んでください。

【縦】

紙送りに対して、原稿の上下が変わらないように印刷します。通常はこの設定になっています。

【横】

紙送りに対して、原稿を 90 度回転させて印刷します。

回転方向は、【ユーティリティ】シートの【特殊設定】ダイアログボックスの【印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする】で変更することができます。

左 90 度に回転させて印刷するときは、【印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする】のチェックマークを付けてください。

【180 度回転】

用紙の紙送りに対して、原稿を 180 度回転させて印刷します。

アプリケーションソフトで設定した印刷領域の幅とはみ出し量の上下、左右がそれぞれ逆になります。

【出力用紙サイズ】

実際にプリンターにセットする用紙サイズを選びます。

通常は「用紙サイズと同じ」と表示され、等倍で印刷する設定になっています。

「ページレイアウト」から「フィットページ」、[「拡大/縮小」](#)、[「割り付け」](#)、[「分割/ポスター」](#)、[「冊子」](#)を選ぶと設定できるようになります。

「用紙サイズ」より小さいサイズを選ぶと用紙に合わせて原稿を縮小して印刷し、大きいサイズを選ぶと拡大して印刷します。

また、「ユーザー定義用紙...」を選ぶと[「ユーザー定義用紙」ダイアログボックス](#)が表示され、用紙の縦、横のサイズを任意に指定することができます。

【ページレイアウト】

原稿をどのような大きさと、どのように用紙に配置して印刷するかを選びます。

【等倍】

通常の印刷方法です。特定のページレイアウトを設定しない場合に選んでください。

【プリンターで出力できない大きい原稿を自動縮小する】

プリンターで出力できない用紙サイズの原稿を、自動で縮小して印刷します。

縮小して印刷するときは、チェックマークを付けてください。

【フチなし全面】

用紙に余白部分のないフチなし全面印刷を行うか、余白部分のある印刷を行うかを選びます。

フチなし全面印刷では、用紙からわずかにはみ出す大きさに原稿が拡大されます。そのため、余白部分（フチ）ができない印刷が可能になります。

「はみ出し量」で、フチなし全面印刷時に用紙からはみ出す原稿の量を調整します。

【はみ出し量】

フチなし全面印刷時に用紙からはみ出す原稿の量を調整します。

右にドラッグするほどはみ出し量が多くなり、確実にフチのない印刷をすることができます。

左にドラッグするほどはみ出し量が少なくなり、印刷できる原稿の範囲が広がります。

【フィットページ】

アプリケーションソフトで指定した用紙サイズを変更せずに、プリンターにセットした用紙サイズに合わせて原稿を拡大または縮小して印刷します。

【拡大/縮小】

原稿を拡大または縮小して印刷することができます。

「出力用紙サイズ」を指定するか、「拡大縮小率」に倍率を入力します。

【拡大縮小率】

原稿を拡大または縮小するときの倍率を指定します。

【割り付け】

1 枚の用紙に複数ページの原稿を並べて印刷します。

【詳細設定...】

[「割り付け印刷」ダイアログボックス](#)を表示します。

割り付け印刷について詳細な設定を行うことができます。

【分割/ポスター】

印刷する画像データを拡大して、複数の用紙に分割して印刷する機能です。用紙を貼り合わせると、ポスターのような大判の印刷物に仕上げることもできます。

【詳細設定...】

[「分割/ポスター印刷」ダイアログボックス](#)を表示します。

分割/ポスター印刷について詳細な設定を行うことができます。

【冊子】

冊子印刷は小冊子を作成するとき便利な機能です。中央で折ってとじたときにページの順番が揃うように、ページを配分しながら両面印刷します。

【詳細設定...】

[【冊子印刷】ダイアログボックス](#)を表示します。

冊子印刷について詳細な設定を行うことができます。

【両面印刷】

用紙の両面に印刷するか、片面に印刷するかを選びます。

両面に印刷するときは、チェックマークを付けてください。

この機能は【用紙の種類】で【普通紙】を選んでいて、【等倍】、【フィットページ】、【拡大/縮小】、【割り付け】のいずれかを選んでいるときに設定できます。

【自動】

自動で両面印刷するか、手動で両面印刷するかを選びます。

【ページレイアウト】で【冊子】を選ぶか、【両面印刷】にチェックマークを付けると、有効になります。

自動で両面印刷するときは、チェックマークを付けてください。

手動で両面印刷するときは、チェックマークを外してください。

【印刷領域設定...】

[【印刷領域設定】ダイアログボックス](#)を開いて、自動両面印刷時の印刷領域を設定できます。

【フチなし全面】を選んでいない場合に、自動両面印刷の設定を行うと有効になります。

【とじ方向】

とじしろの位置を設定します。

【印刷の向き】や【ページレイアウト】の設定を判別し、自動的に最適なとじしろの位置が選ばれます。

【とじ方向】を確認し、変更する場合は、一覧から選びます。

【とじしろ指定...】

[【とじしろ指定】ダイアログボックス](#)を表示します。

とじしろの幅を指定することができます。

【部数】

印刷する部数を指定します。1～999 部まで指定可能です。

▶▶▶ 重要

- 原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、ここでは指定しないでアプリケーションソフトで指定してください。

【最終ページから印刷】

最終ページから印刷したいときは、チェックマークを付けてください。この場合は、印刷後にページの順番を並べ替える手間がかかりません。

先頭ページから印刷するときは、チェックマークを外してください。

【部単位で印刷】

2 部以上の印刷を行うときに 1 部ずつまとまるように印刷したいときは、チェックマークを付けてください。

同一ページでまとまるように印刷したいときは、チェックマークを外してください。

▶▶▶ 重要

- 原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、プリンタードライバーでの設定を優先し、印刷結果が思わしくない場合はアプリケーションソフトで設定を行ってください。両方で設定すると、印刷枚数が 2 つの設定をかけた数になったり、印刷順序の指定が無効になったりすることがあります。

【印刷オプション...】

[【印刷オプション】ダイアログボックス](#)を表示します。

アプリケーションソフトから送信される印刷データに対して、プリンタードライバーの詳細設定を変更します。

【スタンプ/背景...】（【スタンプ...】）

[【スタンプ/背景】（【スタンプ】）ダイアログボックス](#)を表示します。

【スタンプ】は、原稿データに重ねて特定の文字列やビットマップを印刷する機能です。日付や時刻、ユーザー名を印刷することもできます。【背景】は、原稿データの下地にイラストなどを印刷する機能です。

▶▶▶ 参考

- 【スタンプ/背景...】は、XPS プリンタードライバーでは【スタンプ...】となり、スタンプ機能のみ使用できます。

お使いのプリンタードライバーの種類や環境によっては、【スタンプ】と【背景】が使用できないことがあります。

【ユーザー定義用紙】ダイアログボックス

使用する用紙の横の幅と縦の長さを入力します。

【単位】

ユーザー定義用紙のサイズを入力する単位を選びます。

【用紙サイズ】

用紙の【幅】と【長さ】を指定します。単位は【単位】で選ばれた状態で表示されます。

【割り付け印刷】ダイアログボックス

1 枚の用紙に配置する原稿のページ数、ページ順序、枠線の有無を選びます。

ここで設定した内容はプリンタードライバーの設定ビューで確認できます。

プレビューアイコン

【割り付け印刷】ダイアログボックスの設定状態を表します。

どのような体裁で印刷されるか確認できます。

【ページ数】

1 枚の用紙に納める原稿のページ数を指定します。

【ページ順序】

1 枚の用紙に印刷する原稿の配置方向を指定します。

【枠線】

原稿のページを囲むように枠線を印刷します。

枠線を印刷するときは、チェックマークを付けてください。

【分割/ポスター印刷】ダイアログボックス

印刷される画像の大きさを選びます。また、ポスターとして貼り合わせるときに便利な切り取り線/のりしろの印刷も設定できます。

ここで設定した内容はプリンタードライバーの設定ビューで確認できます。

プレビューアイコン

【分割/ポスター印刷】ダイアログボックスの設定状態を表します。

印刷結果がどのような体裁になるかを確認できます。

【画像の分割数】

縦×横の分割数を選びます。

数字が大きいほど印刷に使用する用紙の枚数が増えます。ポスターとして貼り合わせの場合は、分割数を多くするほど大きなポスターを作成できます。

【切り取り/のりしろを印刷】

ポスターとして貼り合わせるときに目安となる「切り取り」や「のりしろ」の文字を印刷します。文字を印刷するときは、チェックマークを付けてください。

▶▶▶ 参考

- お使いのプリンタードライバーの種類や環境によっては、この機能は使用できないことがあります。

【切り取り線を印刷】

ポスターとして貼り合わせるときに目安となる切り取り線を印刷します。切り取り線を印刷するときは、チェックマークを付けてください。

【印刷範囲】

印刷範囲を指定します。通常は「すべて」を選んでください。
「ページ指定」を選ぶと、特定のページや範囲を指定できます。

▶▶▶ 参考

- 一部のページがうまく印刷できなかったときは、「ページ設定」シートの設定ビューで、印刷したくないページをクリックして指定してください。印刷を実行すると、表示されているページのみを印刷できます。

【冊子印刷】 ダイアログボックス

冊子に仕上げたときのとじかたを設定します。また、原稿を片面だけに印刷したり、枠線を付ける設定をしたりすることもできます。

ここで設定した内容はプリンタードライバーの設定ビューで確認できます。

プレビューアイコン

「冊子印刷」ダイアログボックスの設定状態を表します。
小冊子に仕上げたとき、どのような体裁になるか確認できます。

【とじかた】

小冊子に仕上げたときに、どちら側をとじるか指定します。

【白ページを挿入】

小冊子に仕上げたとき、原稿を片側だけに印刷するか、両面に印刷するかを選びます。
片側だけに原稿を印刷する場合は、チェックマークを付け、一覧から白紙にする側を選びます。

【とじしろ】

とじしろの幅を指定します。
指定した幅が用紙の中央からのとじしろとなります。

【枠線】

原稿のページを囲むように枠線を印刷します。
枠線を印刷するときは、チェックマークを付けてください。

【印刷領域設定】 ダイアログボックス

両面印刷する場合、原稿の印刷領域が通常よりわずかに狭くなります。このため、余白の少ない原稿を印刷すると、原稿が 1 ページに入りきれないことがあります。

「印刷領域設定」ダイアログボックスでは、原稿が 1 ページに収まるように、原稿を縮小して印刷するかどうかを設定します。

【等倍で印刷する】

原稿のページを縮小せずに印刷します。通常はこの設定になっています。

【縮小して印刷する】

原稿のページをわずかに縮小して、1 ページに収まるように印刷します。
余白の少ない原稿を自動両面印刷するときに選んでください。

【とじしろ指定】 ダイアログボックス

とじ方向で指定した辺のとじしろの幅を指定します。原稿のページが 1 ページに入りきらない場合は、原稿が縮小されて印刷されます。

【とじしろ】

とじしろの幅を指定します。
【とじ方向】で指定した辺の幅がとじしろとなります。

【印刷オプション】 ダイアログボックス

プリンターに送信される印刷データについての変更を設定します。

お使いのプリンタードライバの種類や環境によっては、使用できない場合があります。

【アプリケーションソフトが要求した ICM を無効にする】

アプリケーションソフトが Windows に要求した ICM を無効にします。
アプリケーションソフトが Windows の ICM を使って印刷した場合、印刷結果が意図しない色合いになったり、印刷速度が低下したりすることがあります。その場合にチェックマークを付けると、問題を改善できる場合があります。

重要

- 通常はチェックマークを外した状態で使用してください。
- この機能は、【マニュアル色調整】ダイアログボックスの【マッチング】シートで【色補正】から【ICM】を選んだ場合は機能しません。

参考

- 【アプリケーションソフトが要求した ICM を無効にする】は、XPS プリンタードライバでは使用できません。

【アプリケーションソフトのカラープロファイル設定を無効にする】

アプリケーションソフトで設定されたカラープロファイルの情報を無効にします。
アプリケーションソフトで設定されたカラープロファイルの情報がプリンタードライバに出力されると、印刷結果が意図しない色合いになることがあります。その場合にチェックマークを付けると、問題を解決できる場合があります。

重要

- チェックマークを付けても、カラープロファイルの一部の情報を無効にするだけで、カラープロファイルを使用した印刷は可能です。
- 通常はチェックマークを外した状態で使用してください。

【用紙のグループ化を解除する】

【用紙の種類】、【用紙サイズ】、【出力用紙サイズ】の表示方法を設定します。
グループ化しないで表示するときは、チェックマークを付けてください。
グループ化して表示するときは、チェックマークを外してください。

【アプリケーションソフトでの印刷データの圧縮処理を禁止する】

アプリケーションソフトの印刷データの圧縮処理を禁止します。
印刷結果の画像データが抜け落ちたり、意図しない色合いになる場合があります。その場合にチェックマークを付けると、問題を改善できる場合があります。

重要

- 通常はチェックマークを外した状態で使用してください。

参考

- [アプリケーションソフトでの印刷データの圧縮処理を禁止する] は、XPS プリンタードライバーでは使用できません。

[ページ毎に印刷データを作成して印刷する]

印刷データの作成をページ単位で行い、1 ページ分の印刷データの処理が終了してから印刷を開始します。

印刷結果にすじがみられるなど、意図しない結果の場合にチェックマークを付けると、問題を改善できる場合があります。

重要

- 通常はチェックマークを外した状態で使用してください。

[画像を単純補間処理で拡大/縮小する]

画像を拡大または縮小して印刷する場合、単純補間処理を用いて画像の拡大または縮小を行います。印刷結果の画像データが鮮明に印刷されない場合にチェックマークを付けると、問題を改善できる場合があります。

重要

- 通常はチェックマークを外した状態で使用してください。

参考

- [画像を単純補間処理で拡大/縮小する] は、XPS プリンタードライバーでのみ使用できます。

[印刷データの欠落防止]

アプリケーションソフトで作成した印刷データのサイズを小さくして印刷することができます。アプリケーションソフトによっては、画像データが抜け落ちるなどして、うまく印刷できない場合があります。その場合は[オン]を選んでください。この機能を使用しない場合は[オフ]を選びます。

重要

- この機能を使用すると、印刷データによっては、印刷品質が低下することがあります。

[印刷データの処理単位]

プリンターに送られる印刷データの処理単位を選びます。

通常は[推奨]の状態で使用してください。

重要

- 選んだ項目によっては、メモリーを大量に使用します。
メモリーの少ないパソコンでは設定を変更しないでください。

参考

- [印刷データの処理単位] は、XPS プリンタードライバーでは使用できません。

[スタンプ/背景] ([スタンプ]) ダイアログボックス

[スタンプ/背景] ([スタンプ]) ダイアログボックスでは、原稿データに重ねてスタンプや背景を印刷する設定ができます。あらかじめ用意されているものだけでなく、オリジナルのスタンプや背景を登録して使用することもできます。

▶▶▶ 参考

- [スタンプ/背景...] は、XPS プリンタードライバーでは [スタンプ...] となり、スタンプ機能のみ使用できます。

【スタンプ】

スタンプ印刷は、原稿に重ねてスタンプを印刷する機能です。

スタンプを印刷するときは、チェックマークを付けて一覧からタイトルを選んでください。

【スタンプ設定...】

[\[スタンプ設定\] ダイアログボックス](#)を表示します。

選んだスタンプの詳細な内容の確認や、新しいスタンプの登録を行います。

【前面に印刷】

スタンプをどのように原稿に重ねて印刷するかを設定します。

[スタンプ] にチェックマークを付けると、選べるようになります。

原稿の上にスタンプを重ねて印刷するときは、チェックマークを付けてください。この場合は、印刷データが欠けてしまうことがあります。

スタンプの上に原稿を重ねて印刷するときは、チェックマークを外してください。この場合は、印刷データが欠けてしまうことはありませんが、原稿と重なり合った部分のスタンプが隠れてしまうことがあります。

【半透明で印刷する】

スタンプをどのように原稿に重ねて印刷するかを設定します。

[スタンプ] にチェックマークを付けると、選べるようになります。

原稿の上にスタンプを半透明で印刷するときは、チェックマークを付けてください。

原稿の上にスタンプを重ねて印刷するときは、チェックマークを外してください。この場合は、印刷データが欠けてしまうことがあります。

▶▶▶ 参考

- [半透明で印刷する] は、XPS プリンタードライバーでのみ使用できます。

【先頭ページのみ】

複数ページの原稿の場合、スタンプを 1 ページ目だけに印刷するか、すべてのページに印刷するかを選びます。

[スタンプ] にチェックマークを付けると、選べるようになります。

1 ページ目だけに印刷するときは、チェックマークを付けてください。

【背景】

背景印刷は、原稿の下地にイラストなど（ビットマップ）を印刷する機能です。

背景を印刷するときは、チェックマークを付けて一覧からタイトルを選んでください。

【背景設定...】

[\[背景設定\] ダイアログボックス](#)を表示します。

ビットマップを背景として登録したり、選んだ背景の配置方法や濃度を変更したりすることができます。

【先頭ページのみ】

複数ページの原稿の場合、背景を 1 ページ目だけに印刷するか、すべてのページに印刷するかを選びます。

[背景] にチェックマークを付けると、クリックできるようになります。

1 ページ目だけに印刷するときは、チェックマークを付けてください。

【スタンプ】 シート

スタンプに使用する文字列やビットマップファイル（.bmp）を設定します。

プレビュー

各シートで設定したスタンプの状態が表示されます。

【スタンプの種類】

スタンプの種類を選びます。

文字を入力して作成する場合は【文字】、ビットマップファイル（.bmp）を使用する場合は【ビットマップ】、印刷物の作成日時とユーザー名を表示する場合は【日付/時刻/ユーザー名】を選びます。
選んだ項目によって【スタンプ】シートの設定項目が変わります。

【スタンプの種類】が【文字】、【日付/時刻/ユーザー名】の場合

【スタンプ文字列】

スタンプに使用する文字を入力します。

半角、全角ともに 64 文字まで入力できます。

【日付/時刻/ユーザー名】の場合は、印刷物の作成日時とユーザー名が表示されます。

重要

- 【日付/時刻/ユーザー名】を選んでいる場合、【スタンプ文字列】はグレー表示となり、変更できません。

【TrueType フォント名】

スタンプ文字列のフォントの種類を選びます。

【スタイル】

スタンプ文字列のフォントスタイルを選びます。

【サイズ】

スタンプ文字列のフォントサイズを選びます。

【囲み】

スタンプ文字列を囲む枠を選びます。

【サイズ】で大きなフォントサイズを選んでいると、囲みから文字列がはみ出してしまうことがあります。

【現在の色】 / 【色選択...】

現在のスタンプの色が表示されます。

異なる色を選びたい場合は、【色選択...】で【色の設定】ダイアログボックスを表示し、スタンプとして使用する色を選ぶ、または作成してください。

【スタンプの種類】が【ビットマップ】の場合

【ファイル名】

スタンプとして使用するビットマップのファイル名（.bmp）を入力します。

【ファイル選択...】

ファイルを開くダイアログボックスを表示します。

スタンプとして使用するビットマップファイル（.bmp）を選ぶときにクリックしてください。

【サイズ】

スタンプとして使用するビットマップのサイズを調整します。

スライダーを右にドラッグするほど大きくなり、左にドラッグするほど小さくなります。

【白い部分を透過する】

ビットマップの白い部分を透過します。

白い部分を透過するときは、チェックマークを付けてください。

参考

- ・[標準に戻す] をクリックすると、[スタンプの種類] は文字、[スタンプ文字列] は空白、[TrueType フォント名] は MS ゴシック、[スタイル] は標準、[サイズ] は 36 ポイント、[囲み] のチェックマークは外され、[現在の色] は RGB が (192,192,192) の灰色に設定されます。

【配置】シート

スタンプを用紙のどの場所に印刷するかを設定します。

プレビュー

各シートで設定したスタンプの状態が表示されます。

【位置】

スタンプの位置を指定します。

一覧から[座標指定] を選ぶと、[横] と [縦] の座標に直接数値を指定できるようになります。

【回転角度】

スタンプの回転角度を指定します。回転角度は、直接数値を入力することもできます。

回転角度の数値の前にマイナス符号 (－) を付けると、スタンプは時計回りに回転します。

参考

- ・[回転角度] は、[スタンプ] シートの [スタンプの種類] で [文字] または [日付/時刻/ユーザー名] を選んだ場合のみ設定できます。

参考

- ・[標準に戻す] をクリックすると、スタンプ位置は [中央] に、回転角度は「0」に設定されます。

【設定登録】シート

新しいスタンプの登録や、不要になったスタンプの削除を行います。

【タイトル】

作成したスタンプを保存するときにスタンプのタイトルを入力します。

半角、全角ともに 64 文字まで入力できます。

参考

- ・タイトルの先頭と末尾に、半角スペース、全角スペース、タブ、改行は入力できません。

【スタンプ一覧】

現在登録されているスタンプのタイトルを一覧で表示します。

いずれかのタイトルを指定すると、その文字列が [タイトル] に表示されます。

【新規保存】 / 【上書き保存】

スタンプを保存します。

[タイトル] を入力後に、クリックしてください。

【削除】

不要になったスタンプを削除します。

[スタンプ一覧] で不要になったスタンプのタイトルを指定し、クリックしてください。

【背景】シート

背景として使用するビットマップファイル (.bmp) を選んだり、背景をどのように印刷したりするかを設定します。

プレビュー

【背景】シートで設定したビットマップの状態が表示されます。

【ファイル名】

背景として使用するビットマップのファイル名（.bmp）を入力します。

【ファイル選択...】

ファイルを開くダイアログボックスを表示します。

背景として使用するビットマップファイル（.bmp）を選ぶときにクリックしてください。

【配置方法】

背景として使用するビットマップを、用紙に配置する方法を指定します。

【座標指定する】を選んだ場合は、【横】、【縦】に数値を入力して座標を設定できます。

【濃度】

背景として使用するビットマップの濃度を調整します。

スライダーを右にドラッグするほど濃く、左にドラッグするほど薄くなります。元のビットマップの濃度で印刷したいときは、スライダーを右端にドラッグしてください。

参考

- お使いのプリンタードライバーの種類や環境によっては、使用できない場合があります。
- 【標準に戻す】をクリックすると、【ファイル名】は空白、【配置方法】は【全面に並べる】、【濃度】のスライダーは中央に設定されます。

【設定登録】 シート

新しい背景の登録や、不要になった背景の削除を行います。

【タイトル】

設定した背景を保存するときにタイトルを入力します。

半角、全角ともに 64 文字まで入力できます。

参考

- タイトルの先頭と末尾に、半角スペース、全角スペース、タブ、改行は入力できません。

【背景一覧】

現在登録されている背景のタイトルを一覧で表示します。

いずれかのタイトルを指定すると、その文字列が【タイトル】に表示されます。

【新規保存】 / 【上書き保存】

背景を保存します。

【タイトル】を入力後、クリックしてください。

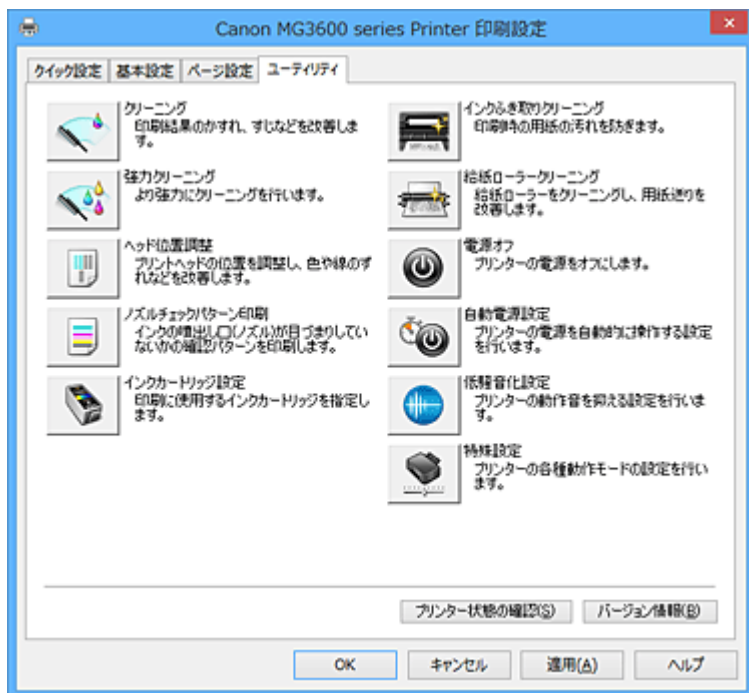
【削除】

不要になった背景を削除します。

【背景一覧】で不要になった背景のタイトルを指定し、クリックしてください。

【ユーティリティ】シートの画面説明

【ユーティリティ】シートでは、プリンターのメンテナンスを行ったり、プリンターの設定を変更したりすることができます。



【クリーニング】

プリントヘッドのクリーニングを行います。

クリーニングを行うとプリントヘッドのノズルの目づまりを改善します。

インクは十分あるのにかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりしたときに実行してください。



【強力クリーニング】

強力クリーニングを行います。

クリーニングを2回繰り返してもプリントヘッドの状態が改善しないときに実行してください。

参考

- ・【強力クリーニング】は、【クリーニング】よりも多くのインクを使用します。
頻繁に行うと、インクが早く消費されます。必要な場合のみ実行してください。

【インクグループ】

【クリーニング】または【強力クリーニング】をクリックすると【インクグループ】が表示されます。
プリントヘッドのクリーニングを実行するインクグループを選びます。

[【確認事項】](#)をクリックすると、クリーニングまたは強力クリーニングの実行前に確認する項目が表示されます。



【ヘッド位置調整】

ヘッド位置調整を行うと、プリントヘッドの取り付け位置の誤差が補正され、色や線のずれなどを改善します。

プリントヘッドを取り付けた直後に、ヘッド位置調整を行ってください。

【ヘッド位置調整】をクリックすると [【ヘッド位置調整開始】ダイアログボックス](#)が表示されます。



【ノズルチェックパターン印刷】

ノズルチェックパターンを印刷します。

印刷がかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりしたときに実行してください。ノズルチェックパターンを印刷し、プリントヘッドの状態を確認することができます。

かすれていたり、印刷されない部分があったりする場合は、**【クリーニング】** をクリックして、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

【確認事項】 をクリックすると、ノズルチェックパターン印刷前に確認する項目が表示されます。

【確認パターン印刷】

インク噴き出し口（ノズル）が目詰まりしていないかを確認するパターンを印刷します。

【確認パターン印刷】 をクリックし、確認のメッセージで **【OK】** をクリックすると **【パターンの確認】** ダイアログボックスが表示されます。

左側ビットマップ（良い例）

ノズルは目づまりしていません。

右側ビットマップ（悪い例）

ノズルが目づまりしている可能性があります。

【終了】

【パターンの確認】 ダイアログボックスを終了して、**【ユーティリティ】** シートに戻ります。

【クリーニング】

プリントヘッドのクリーニングを行います。

クリーニングを行うとプリントヘッドのノズルの目づまりを改善します。

インクは十分あるのにかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりしたときに実行してください。



【インクカートリッジ設定】

【インクカートリッジ設定】 ダイアログボックスを表示します。

印刷に使用する FINE カートリッジを指定するときに実行します。



【インクふき取りクリーニング】

インクふき取りクリーニングを行います。

両面印刷の前に、用紙の裏面の汚れを防ぐために **【インクふき取りクリーニング】** を行ってください。

印刷時に、用紙に印刷データ以外の汚れが付いたりするときにも実行してください。



【給紙ローラークリーニング】

給紙ローラーのクリーニングを行います。

プリンター内部の給紙ローラーに紙粉が付着すると、用紙が正しく送られなくなることがあります。その場合は、給紙ローラーのクリーニングを行うと改善します。



【電源オフ】

プリンタードライバーから、プリンターの電源を切ります。

プリンターが離れた位置にあって、すぐに電源ボタンを押せないときなどに実行してください。

この操作を実行したあとで、再度電源を入れるときは、プリンターの電源ボタンを押してください。プリンタードライバーからプリンターの電源を再度入れることはできません。



【自動電源設定】

[\[自動電源設定\] ダイアログボックス](#)を表示します。

プリンターの電源を自動で操作する設定を行います。自動電源設定を変更したいときに実行してください。

参考

- プリンターの電源が入っていなかったり、プリンターとパソコンの通信をしない設定にしていたりすると、パソコンはプリンターの情報を取得できず、エラーメッセージが表示されることがあります。
この場合、[OK] をクリックすると、お使いのパソコンで最後に設定した内容が表示されます。



【低騒音化設定】

[\[低騒音化設定\] ダイアログボックス](#)を表示します。

[低騒音化設定] ダイアログボックスでは、プリンターの動作音を抑える設定を行います。夜間の印刷など、プリンターの動作音が気になるときに便利です。低騒音化機能の設定を変更するときに実行してください。

参考

- プリンターの電源が入っていなかったり、プリンターとパソコンの通信をしない設定にしていたりすると、パソコンはプリンターの情報を取得できず、エラーメッセージが表示されることがあります。



【特殊設定】

[\[特殊設定\] ダイアログボックス](#)を表示します。

プリンターの設定を切り替えるときに実行してください。

参考

- プリンターの電源が入っていなかったり、プリンターとパソコンの通信をしない設定にしていたりすると、パソコンはプリンターの情報を取得できず、エラーメッセージが表示されることがあります。
この場合、[OK] をクリックすると、お使いのパソコンで最後に設定した内容が表示されます。

【印刷履歴を表示】

Canon IJ XPS プレビューが起動し、印刷履歴を表示します。

参考

- この機能は、XPS プリンタードライバーでのみ使用できます。

【プリンター状態の確認】

Canon IJ ステータスマニタを起動します。

プリンターの状態や印刷の進行状況を確認するときにクリックしてください。

参考

- XPS プリンタードライバーをお使いの場合、「Canon IJ ステータスマニタ」は「Canon IJ XPS ステータスマニタ」となります。

【バージョン情報】

[【バージョン情報】ダイアログボックス](#)を表示します。

プリンタードライバーのバージョンや著作権などの情報を確認できます。

また、使用する言語を切り替えることができます。

【確認事項】

【クリーニング】や【強力クリーニング】を行う前に、プリンターの電源が入っていることを確認し、プリンターのカバーを開きます。

各インクについて次の項目をチェックしてください。

- [インクの残量を確認](#)してください。
- 音がするまでしっかりと装着されていることを確認してください。
- オレンジ色のテープがある場合は、テープをきれいにはがしてください。
テープが残っているとインクが出にくくなります。
- インクの装着位置が正しいことを確認してください。

【ヘッド位置調整開始】ダイアログボックス

プリントヘッドの取り付け位置を調整したり、現在のヘッド位置の設定値を印刷したりします。

【ヘッド位置調整】

ヘッド位置調整を実行します。

ヘッド位置調整を行うと、プリントヘッドの取り付け位置の誤差が補正され、色や線のずれなどを改善します。

プリントヘッドを取り付けた直後に、ヘッド位置調整を行ってください。

【調整値の印刷】

現在のヘッド位置の設定値を確認したいときにクリックします。

現在の設定値を印刷します。

【ヘッド位置調整】ダイアログボックス

手動ヘッド位置調整を行う場合に、【ヘッド位置調整開始】ダイアログボックスの【ヘッド位置調整】をクリックし、メッセージに従って操作すると【ヘッド位置調整】ダイアログボックスが表示されます。印刷されたパターンを確認して、プリントヘッドの位置を調整します。

プレビュー

【ヘッド位置調整】のパターンを表示し、選んだパターンの位置を確認できます。

画面上のパターンを直接クリックして、設定を変更することもできます。

調整値の入力

印刷された調整パターンの中から、すじまたは横しまが最も目立たないパターンの数値を対応するボックスに入力します。

▶▶▶ 参考

- 印刷されたパターンの見かたがわからない場合は、[プリントヘッドの位置を調整する](#)を参照してください。

【確認事項】

【ノズルチェックパターン印刷】を行う前に、プリンターの電源が入っていることを確認し、プリンターのカバーを開きます。

各インクについて次の項目をチェックしてください。

- [インクの残量を確認](#)してください。
- 音がするまでしっかりと装着されていることを確認してください。
- オレンジ色のテープがある場合は、テープをきれいにはがしてください。
テープが残っているとインクが出にくくなります。
- インクの装着位置が正しいことを確認してください。

【インクカートリッジ設定】 ダイアログボックス

【インクカートリッジ設定】をクリックすると【インクカートリッジ設定】ダイアログボックスが表示されます。

取り付けしている FINE カートリッジの中から使用する FINE カートリッジを指定し、使い分ける機能です。どちらかの FINE カートリッジが空になり、すぐに新しい FINE カートリッジに取り替えられない場合、インクが残っている FINE カートリッジを指定して、印刷を続けることができます。

【インクカートリッジ】

印刷に使用する FINE カートリッジを選びます。

【カラーのみ】

カラーの FINE カートリッジのみを使用して印刷します。

【ブラックのみ】

ブラックの FINE カートリッジのみを使用して印刷します。

【両方】

プリンターに取り付けられているカラーとブラックの FINE カートリッジを使用して印刷します。

重要

- 次の設定を行っている場合は、カラーの FINE カートリッジを使用して印刷を行うため、【ブラックのみ】は機能しません。
 - 【基本設定】シートの【用紙の種類】で【普通紙】、【封筒】、【インクジェットはがき(あて名面)】、【インクジェット写真用はがき(あて名面)】、【はがき(あて名面)】、【はがき】以外を選んでいるとき
 - 【ページ設定】シートの【ページレイアウト】で【フチなし全面】を選んでいるとき
- プリンターに取り付けた FINE カートリッジは取り外さないでください。FINE カートリッジを取り外した状態では印刷できません。

【自動電源設定】 ダイアログボックス

【自動電源設定】をクリックすると【自動電源設定】ダイアログボックスが表示されます。プリンタードライバーから、プリンターの電源を操作します。

【自動電源オン】

自動電源オンの設定を選びます。

【無効】を指定すると、自動電源オンは機能しません。

最後にプリンターの電源が入っていることを確認して、【OK】をクリックすると、プリンターの設定が変更されます。

【有効】を指定すると、プリンターに印刷データが送られてくると自動的にプリンターの電源が入るようになります。

【自動電源オフ】

自動電源オフの設定を選びます。

プリンタードライバーやプリンターからの操作が指定した時間内に行われなかったとき、プリンターの電源が切れるようになります。

▶▶▶ 参考

- 自動電源オンを有効にしたり、自動電源オフを無効または時間を長く設定したりすると、消費電力が増加します。

【低騒音化設定】ダイアログボックス

【低騒音化設定】をクリックすると【低騒音化設定】ダイアログボックスが表示されます。

【低騒音化設定】ダイアログボックスでは、プリンターの動作音を抑える設定を行います。

夜間に印刷する場合など、動作音が気になるときに使用してください。

この機能を使用すると、印刷速度が低下することがあります。

【低騒音化モードで使用しない】

プリンターの動作音を通常の状態を使用するときに選びます。

【常に低騒音化モードで使用する】

プリンターの動作音を抑えるときに選びます。

【指定した時間だけ低騒音化モードで使用する】

特定の時間帯だけプリンターの動作音を抑えるときに選びます。

低騒音化モードを使用する【開始時刻】と【終了時刻】を設定してください。同じ時刻に設定した場合は、低騒音化モードは機能しません。

▶▶▶ 重要

- 低騒音化モードは、プリンターの操作パネルやプリンタードライバー、ScanGear（スキャナードライバー）から設定することができます。
いずれの方法で設定した場合でも、プリンターの操作パネルからの操作や、パソコンからの印刷・スキャンを行うときなどに適用されます。
- 【指定した時間だけ低騒音化モードで使用する】で時間を指定した場合は、プリンターからの操作（コピー、ダイレクト印刷など）に低騒音化モードは適用されません。

【特殊設定】ダイアログボックス

【特殊設定】をクリックすると【特殊設定】ダイアログボックスが表示されます。

必要に応じてプリンターの設定を変更します。

【用紙のこすれを改善する】

高濃度のページを印刷する場合に、プリントヘッドと用紙の間隔を広げて、用紙のこすれを改善することができます。

用紙のこすれを改善するときは、チェックマークを付けてください。

【手動でヘッド位置を調整する】

通常、【ユーティリティ】シートの【ヘッド位置調整】の機能は、自動ヘッド位置調整に設定されていますが、手動ヘッド位置調整に変更することができます。

自動ヘッド位置調整を行っても印刷結果が思わしくない場合は、[手動ヘッド位置調整](#)を行ってください。

手動でヘッド位置の調整を行うときは、チェックマークを付けてください。

【重複給紙を改善する】

普通紙が重複して給紙される場合にのみ、チェックマークを付けます。

▶▶▶ 重要

- この機能を使用すると、印刷速度が遅くなります。

【印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする】

【ページ設定】シートの【印刷の向き】の【横】に対する回転方向を変更することができます。
左 90 度に回転させて印刷するときは、チェックマークを付けてください。

【パソコンからの印刷時に用紙の幅を検知する】

パソコンからの印刷時にプリンターにセットした用紙の幅を判別します。
プリンターが判別した用紙の幅が、【ページ設定】シートの【用紙サイズ】で設定した用紙の幅と異なる場合、メッセージを表示します。
パソコンからの印刷時に用紙の幅を検知するときはチェックマークを付けます。

重要

- ユーザー定義用紙を使用する場合は、プリンターにセットする用紙のサイズを【ユーザー定義用紙】ダイアログボックスで正しく設定してください。
設定と同じサイズの用紙をセットしているのに、エラーメッセージが表示される場合は、チェックマークを外してください。

【インク乾燥待ち時間】

次ページの印刷開始までに、プリンターが休止する時間の長さを設定できます。スライドバーを右にドラッグするほど長く、左にドラッグするほど短くなります。
印刷面が完全に乾かないうちに次ページが排紙されて、用紙が汚れるような場合は、インク乾燥待ち時間を長く設定してください。
短く設定した場合は、印刷時間が速くなります。

【バージョン情報】ダイアログボックス

【バージョン情報】をクリックすると【バージョン情報】ダイアログボックスが表示されます。
プリンタードライバのバージョンや著作権、モジュール一覧を表示します。使用する言語を選んで設定画面の表示言語を切り替えます。

モジュール一覧

プリンタードライバのモジュール一覧です。

【言語】

[プリンタードライバの設定画面](#)で使用する言語を切り替えることができます。

重要

- 選んだ言語を表示させるために必要なフォントがシステムにインストールされていない場合は、設定画面は文字化けします。

関連項目

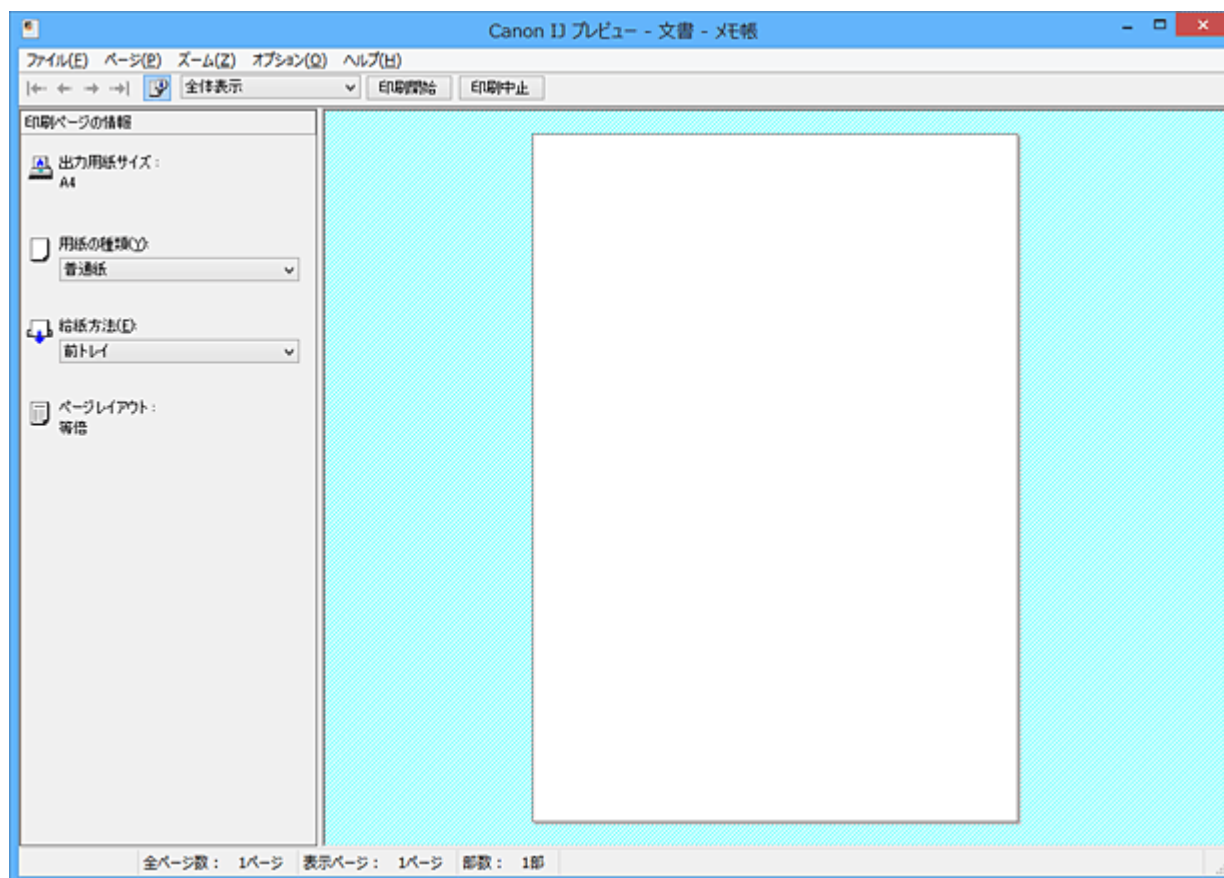
- ⇒ [プリントヘッドをクリーニングする](#)
- ⇒ [プリントヘッドの位置を調整する](#)
- ⇒ [ノズルチェックパターンを印刷する](#)
- ⇒ [使用するインクカートリッジを設定する](#)
- ⇒ [プリンター内部をクリーニングする](#)
- ⇒ [給紙ローラーをクリーニングする](#)
- ⇒ [プリンターの電源を操作する](#)
- ⇒ [プリンターの動作音を抑える](#)
- ⇒ [プリンターの設定を変更する](#)

Canon IJ プレビューの画面説明

Canon IJ プレビューは、実際に印刷を行う前に、どのような印刷結果になるかを表示するためのアプリケーションソフトです。

プリンタドライバで設定した内容が反映されたプレビューで、レイアウト、印刷順序、ページ数などを確認することができます。また、用紙の種類や給紙方法の設定を変更することもできます。

印刷前にプレビューを表示するときは、[プリンタドライバの設定画面](#)を開き、[基本設定] シートで [印刷前にプレビューを表示] にチェックマークを付けてください。



【ファイル】メニュー

印刷時の動作を選びます。

【印刷開始】

Canon IJ プレビューを終了してから、現在プレビュー表示している文書の印刷を開始します。
ツールバーの [印刷開始] と同じ機能です。

【印刷中止】

Canon IJ プレビューを終了し、現在プレビュー表示している文書の印刷を中止します。
ツールバーの [印刷中止] と同じ機能です。

【終了】

Canon IJ プレビューを終了します。

【ページ】メニュー

次のコマンドで、表示するページを選びます。

[ページの指定] を除いて、ツールバーでも選べます。

参考

- スプール中の場合、スプール済みの最後のページが最終ページとなります。

- [ページ設定] シートの [ページレイアウト] で [割り付け]、[分割/ポスター]、または [冊子] が指定されている場合、ページ数はアプリケーションソフトで作成した原稿のページ数ではなく、印刷時の用紙の枚数になります。
- 手動両面印刷の場合、先に印刷される表のページをまとめて表示してから、裏のページが表示されます。

[先頭ページ]

文書の先頭ページを表示します。

現在表示されているページが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

[前のページ]

現在表示されているページの前のページを表示します。

現在表示されているページが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

[次のページ]

現在表示されているページの次のページを表示します。

現在表示されているページが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

[最終ページ]

文書の最終ページを表示します。

現在表示されているページが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

[ページの指定]

[ページの指定] ダイアログボックスを表示します。

表示するページをページ番号で指定することができます。

[ズーム] メニュー

実際に用紙に印刷されるサイズと、プレビューの表示サイズの比率を選びます。

ツールバーのドロップダウンリストボックスからも選べます。

[全体表示]

用紙 1 枚分を 1 ページとして、ページ全体を表示します。

[50%]

実際に用紙に印刷されるサイズの 50% に縮小して表示します。

[100%]

実際に用紙に印刷されるサイズで表示します。

[200%]

実際に用紙に印刷されるサイズの 200% に拡大して表示します。

[400%]

実際に用紙に印刷されるサイズの 400% に拡大して表示します。

[オプション] メニュー

コマンドを選ぶと、次の情報を表示します。

[印刷ページの情報を表示する]

プレビュー画面の左側に、印刷時の設定情報（出力用紙サイズ、用紙の種類、ページレイアウトなど）をページごとに表示します。

この画面では、用紙の種類や給紙方法の設定を変更できます。

[ヘルプ] メニュー

このメニューを選ぶと、Canon IJ プレビューのヘルプを表示したり、バージョンや著作権情報を確認したりすることができます。

[印刷開始]

Canon IJ プレビューを終了してから、現在プレビュー表示している文書の印刷を開始します。

スプール中でも、クリックできます。

【印刷中止】

Canon IJ プレビューを終了し、現在プレビュー表示している文書の印刷を中止します。
スプール中でも、クリックできます。

【印刷ページの情報】 画面

プレビュー画面の左側に、印刷時の設定情報をページごとに表示します。
この画面では、用紙の種類や給紙方法の設定を変更できます。

▶▶▶ 重要

- アプリケーションソフトから用紙の種類や給紙方法の設定を行っている場合は、その設定が優先され、設定の変更が無効になることがあります。

【出力用紙サイズ】

印刷する文書の用紙のサイズを表示します。

【用紙の種類】

印刷する文書の用紙の種類を選ぶことができます。

【給紙方法】

印刷する文書の給紙方法を選ぶことができます。

【ページレイアウト】

印刷する文書のページレイアウトを表示します。

Canon IJ XPS プレビューの画面説明

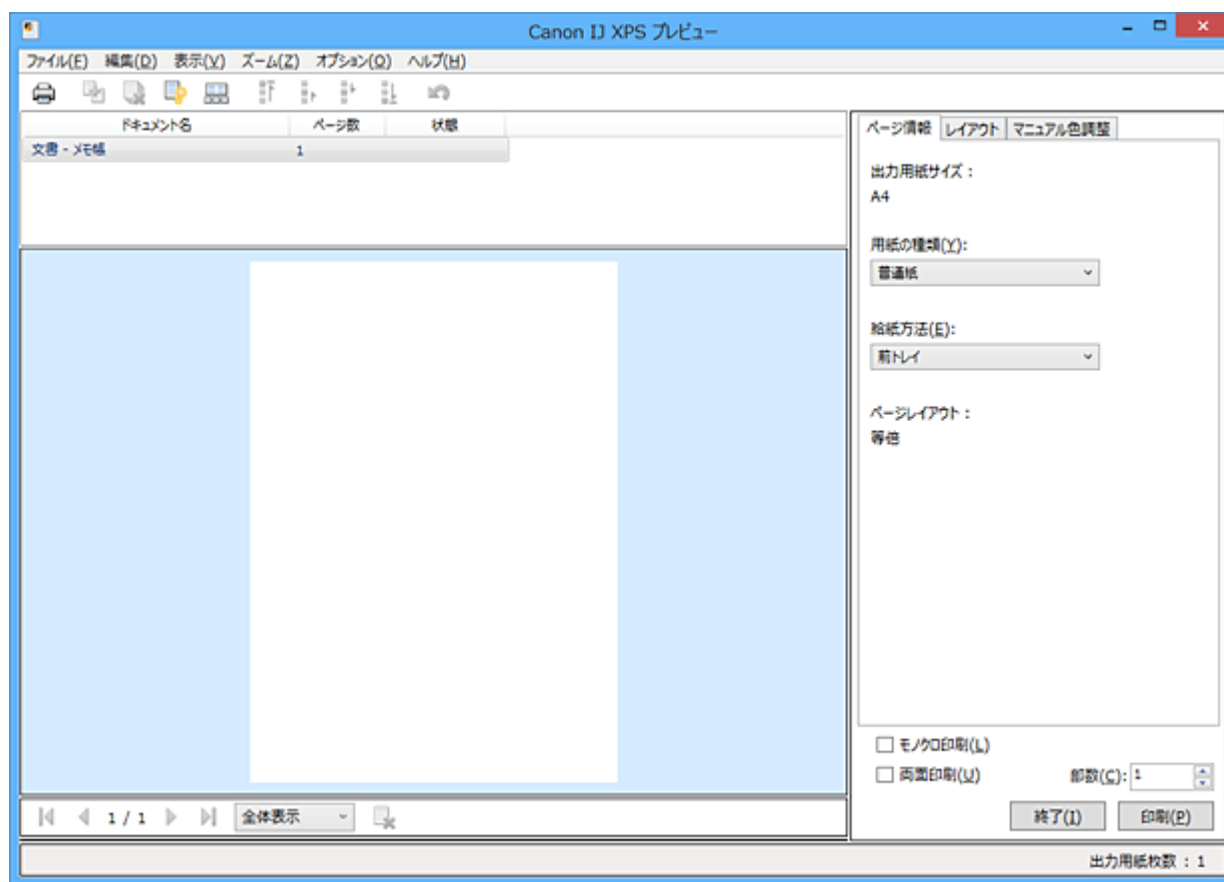
Canon IJ XPS プレビューは、実際に印刷を行う前に、どのような印刷結果になるかを表示するためのアプリケーションソフトです。

プリンタードライバーで設定した内容が反映されたプレビューで、レイアウト、印刷順序、ページ数などを確認することができます。また、印刷ドキュメントの編集や印刷ページの編集、印刷設定の変更などを行うことができます。

印刷前にプレビューを表示するときは、[プリンタードライバーの設定画面](#)を開き、[基本設定] シートで [印刷前にプレビューを表示] にチェックマークを付けてください。

重要

- Canon IJ XPS プレビューを使用するためには、お使いのパソコンに Microsoft .NET Framework 4 Client Profile がインストールされている必要があります。



【ファイル】メニュー

印刷時の動作や印刷履歴の設定を選びます。

【印刷】

ドキュメント一覧で選んだドキュメントを印刷します。

印刷したドキュメントは一覧から削除され、すべてのドキュメントが印刷されると Canon IJ XPS プレビューを終了します。

ツールバーの  (印刷)、印刷設定エリアの [印刷] と同じ機能です。

【すべてのドキュメントを印刷】

ドキュメント一覧にあるすべてのドキュメントを印刷し、Canon IJ XPS プレビューを終了します。

【印刷履歴を保存】

Canon IJ XPS プレビューから印刷されたドキュメントを印刷履歴に保存するかを切り替えます。

【保存する履歴の件数】

印刷履歴の登録数の上限を切り替えます。

[10 件]、[30 件]、[100 件] のいずれかを選びます。

▶▶▶ 重要

- 登録数の上限を超えると、印刷履歴の古いものから削除されます。

【履歴ドキュメントを追加】

印刷履歴に保存されたドキュメントをドキュメント一覧に追加します。

【終了】

Canon IJ XPS プレビューを終了します。ドキュメント一覧に残ったドキュメントは、一覧から削除されます。

印刷設定エリアの [終了] と同じ機能です。

【編集】メニュー

複数のドキュメントやページを編集する方法を選びます。

【元に戻す】

直前に行った変更を元に戻します。

変更を元に戻せない場合は、グレー表示となり、選べません。

ツールバーの  (元に戻す) と同じ機能です。

【ドキュメント】

印刷ドキュメントを編集する方法を選びます。

【ドキュメントの結合】

ドキュメント一覧で選んだ複数のドキュメントを、まとめてひとつの原稿にします。

選んだドキュメントがひとつの場合、グレー表示となり、設定できません。

ツールバーの  (ドキュメントの結合) と同じ機能です。

【ドキュメントの初期化】

ドキュメント一覧で選んだドキュメントを、Canon IJ XPS プレビューに追加されたときの状態に戻します。

結合されたドキュメントは分離されて、元のドキュメントに戻ります。

ツールバーの  (ドキュメントの初期化) と同じ機能です。

【ドキュメントの移動】

次のコマンドで、ドキュメント一覧で選んだドキュメントの順序を変更します。

【先頭へ移動】

選んだ印刷ドキュメントをドキュメント一覧の先頭に移動します。

現在選んでいるドキュメントが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

【1 つ上へ移動】

選んだ印刷ドキュメントを現在の位置からひとつ上へ移動します。

現在選んでいるドキュメントが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

【1 つ下へ移動】

選んだ印刷ドキュメントを現在の位置からひとつ下へ移動します。

現在選んでいるドキュメントが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

【最後へ移動】

選んだ印刷ドキュメントをドキュメント一覧の最後に移動します。

現在選んでいるドキュメントが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

【ドキュメントの削除】

選んだドキュメントをドキュメント一覧から削除します。

ドキュメント一覧にあるドキュメントがひとつの場合、グレー表示となり、選べません。

ツールバーの  (ドキュメントの削除) と同じ機能です。

【モノクロ印刷】

モノクロ印刷設定を変更します。

印刷設定エリアの【モノクロ印刷】チェックボックスと同じ機能です。

【割り付け印刷...】

【割り付け印刷】ダイアログボックスを開きます。

【割り付け印刷】ダイアログボックスでは、【割り付け印刷】、【ページ数】、【ページ順序】、【枠線】の設定ができます。

【両面印刷...】

【両面印刷】ダイアログボックスを開きます。

【両面印刷】ダイアログボックスでは【両面印刷】、【自動】、【とじ方向】、【とじしろ】の設定ができます。

【部数...】

【部数】ダイアログボックスを開きます。

【部数】ダイアログボックスでは【部数】、【部単位で印刷】、【最終ページから印刷】の設定ができます。

【ページ】

印刷ページを編集する方法を選びます。

【ページの削除】

選んでいるページを削除します。

割り付け印刷設定を行っている場合、赤枠で囲まれたページが削除されます。

ツールバーの  (ページの削除) と同じ機能です。

【ページの復元】

【ページの削除】によって削除されたページを復元します。

ページの復元を行うには、【オプション】メニューの【削除されたページを表示】にチェックマークを付けて、削除されたページをサムネイルに表示させておく必要があります。

【ページの移動】

次のコマンドで、選んでいるページの順序を変更します。

【先頭へ移動】

選んでいるページをドキュメントの先頭に移動します。

現在選んでいるページが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

【1つ前へ移動】

選んでいるページを現在の位置からひとつ前へ移動します。

現在選んでいるページが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

【1つ後ろへ移動】

選んでいるページを現在の位置からひとつ後へ移動します。

現在選んでいるページが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

【最後へ移動】

選んでいるページをドキュメントの最後に移動します。

現在選んでいるページが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

【表示】メニュー

表示するドキュメントやページを選びます。

【ドキュメント】

次のコマンドで、表示するドキュメントを選びます。

【先頭のドキュメント】

ドキュメント一覧の先頭にあるドキュメントを表示します。

現在選んでいるドキュメントが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

【前のドキュメント】

現在表示されているドキュメントの前のドキュメントを表示します。

現在選んでいるドキュメントが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

【次のドキュメント】

現在表示されているドキュメントの次のドキュメントを表示します。

現在選んでいるドキュメントが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

【最後のドキュメント】

ドキュメント一覧の最後にあるドキュメントを表示します。

現在選んでいるドキュメントが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

【ページ】

次のコマンドで、表示するページを選びます。

▶▶▶ 参考

- プリンタードライバーの【ページレイアウト】で【分割/ポスター】または【冊子】が指定されている場合、ページ数はアプリケーションソフトで作成した原稿のページ数ではなく、印刷時の用紙の枚数になります。

【先頭ページ】

文書の先頭ページを表示します。

現在表示されているページが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

【前のページ】

現在表示されているページの前のページを表示します。

現在表示されているページが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

【次のページ】

現在表示されているページの次のページを表示します。

現在表示されているページが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

【最終ページ】

文書の最終ページを表示します。

現在表示されているページが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

【ページの指定...】

【ページの指定】ダイアログボックスを表示します。

表示するページをページ番号で指定することができます。

【ズーム】メニュー

実際に用紙に印刷されるサイズと、プレビューの表示サイズの比率を選びます。

ツールバーのドロップダウンリストボックスからも選べます。

【全体表示】

用紙 1 枚分を 1 ページとして、ページ全体を表示します。

【50%】

実際に用紙に印刷されるサイズの 50%に縮小して表示します。

【100%】

実際に用紙に印刷されるサイズで表示します。

[200%]

実際に用紙に印刷されるサイズの 200%に拡大して表示します。

[400%]

実際に用紙に印刷されるサイズの 400%に拡大して表示します。

[オプション] メニュー

次の情報の表示/非表示を切り替えます。

[サムネイルを表示]

ドキュメント一覧で選んだドキュメントの全ページを、プレビュー画面の下側に縮小して表示します。

ツールバーの  (サムネイルを表示) と同じ機能です。

[ドキュメント一覧を表示]

プレビュー画面の上側に、印刷ドキュメントの一覧を表示します。

[印刷設定エリアを表示]

プレビュー画面の右側に、印刷設定エリアを表示します。

[削除されたページを表示]

サムネイルを表示しているときに、[ページの削除] によって削除されたページを表示します。
削除されたページを確認するには、[サムネイルを表示] にチェックマークを付けておく必要があります。

[印刷したドキュメントを残す]

印刷したドキュメントをドキュメント一覧に残します。

[起動時に表示する印刷設定]

Canon IJ XPS プレビューの起動時に表示される印刷設定エリアのシートを切り替えます。

[ページ情報]、[レイアウト]、または [マニュアル色調整] のいずれかを選びます。

[ヘルプ] メニュー

このメニューを選ぶと、Canon IJ XPS プレビューのヘルプを表示したり、バージョンや著作権情報を確認したりすることができます。



(印刷)

ドキュメント一覧で選んだドキュメントを印刷します。

印刷したドキュメントは一覧から削除され、すべてのドキュメントが印刷されると Canon IJ XPS プレビューを終了します。



(ドキュメントの結合)

ドキュメント一覧で選んだ複数のドキュメントを、まとめてひとつの原稿にします。

選んだドキュメントがひとつの場合、グレー表示となり、選べません。



(ドキュメントの削除)

選んだドキュメントをドキュメント一覧から削除します。

ドキュメント一覧にあるドキュメントがひとつの場合、グレー表示となり、選べません。



(ドキュメントの初期化)

ドキュメント一覧で選んだドキュメントを、Canon IJ XPS プレビューに追加されたときの状態に戻します。

結合されたドキュメントは分離されて、元のドキュメントに戻ります。



(サムネイルを表示)

ドキュメント一覧で選んだドキュメントの全ページを、プレビュー画面の下側に縮小して表示します。
非表示にする場合は、再度 [サムネイルを表示] をクリックしてください。



(先頭へ移動)

選んだ印刷ドキュメントをドキュメント一覧の先頭に移動します。

現在選んでいるドキュメントが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。



(1つ上へ移動)

選んだ印刷ドキュメントを現在の位置からひとつ上へ移動します。

現在選んでいるドキュメントが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。



(1つ下へ移動)

選んだ印刷ドキュメントを現在の位置からひとつ下へ移動します。

現在選んでいるドキュメントが最後の場合、グレー表示となり、選べません。



(最後へ移動)

選んだ印刷ドキュメントをドキュメント一覧の最後に移動します。

現在選んでいるドキュメントが最後の場合、グレー表示となり、選べません。



(元に戻す)

直前に行った変更を元に戻します。

変更を元に戻せない場合は、グレー表示となり、選べません。



(ページの削除)

選んでいるページを削除します。

割り付け印刷設定を行っている場合、赤枠で囲まれたページが削除されます。

ドキュメントの一覧

印刷ドキュメントの一覧を表示します。

ドキュメント一覧で選んだドキュメントが、プレビュー表示や編集の対象となります。

[ドキュメント名]

印刷ドキュメントの名称を表示します。

選んだ印刷ドキュメントをクリックすると、テキストボックスが表示され、任意の名称に変更することができます。

[ページ数]

印刷ドキュメントのページ数を表示します。

重要

- [ページ数] で表示される数値と出力用紙枚数は異なります。
- 出力用紙枚数を確認する場合は、プレビュー画面の下側にあるステータスバーをご確認ください。

[状態]

印刷ドキュメントの状態を表示します。

データ処理中のドキュメントは、[データ処理中] と表示されます。

重要

- [データ処理中] と表示されているドキュメントは印刷や編集を行うことができません。データ処理が終了するまでお待ちください。

印刷設定エリア画面

ドキュメント一覧で選んだドキュメントの、印刷設定の確認や変更ができます。

印刷設定エリアは、プレビュー画面の右側に表示されます。

[ページ情報] シート

印刷時の設定情報をページごとに表示します。

用紙の種類や給紙方法の設定を変更できます。

【出力用紙サイズ】

印刷する文書の用紙のサイズを表示します。

【用紙の種類】

印刷する文書の用紙の種類を選ぶことができます。

【給紙方法】

印刷する文書の給紙方法を選ぶことができます。

【ページレイアウト】

印刷する文書のページレイアウトを表示します。

【レイアウト】 シート

割り付け印刷設定を行うことができます。

行った設定は【適用】を押すことで反映されます。

割り付け印刷設定を変更できない印刷ドキュメントでは、各項目がグレー表示となり、設定できません。

【マニュアル色調整】 シート

印刷の色合いを決定する【シアン】、【マゼンタ】、【イエロー】、【明るさ】、【濃度】、【コントラスト】などの設定を変更して、好みの色に調整します。

【シアン】、【マゼンタ】、【イエロー】

【シアン】、【マゼンタ】、【イエロー】の強弱を調整します。

スライダーを右にドラッグするほど強く、左にドラッグするほど弱くなります。

スライダーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50の範囲で設定してください。

調整を行うと、各色のインク量のバランスが変わるため、原稿全体の色相が変わります。大きく色相を変えたい場合は、アプリケーションソフトで行い、プリンタードライバーでは微調整にとどめてください。

重要

- 【モノクロ印刷】にチェックマークが付いているとき、【シアン】、【マゼンタ】、【イエロー】はグレー表示となり設定できません。

【明るさ】

印刷結果の明るさを選びます。

完全な白と黒は変化せず、その中間の色の明るさが変わります。

【濃度】

印刷の濃度を調整します。

スライダーを右にドラッグするほど濃く、左にドラッグするほど薄くなります。

スライダーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50の範囲で設定してください。

【コントラスト】

印刷する画像の明暗の差を調整します。

スライダーを右にドラッグするほど明暗の差が大きく、左にドラッグするほど明暗の差が小さくなります。

スライダーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50の範囲で設定してください。

【標準に戻す】

変更した設定を、標準の設定に戻します。

クリックすると、このシート内のすべての設定は、標準の設定（工場出荷時の設定）に戻ります。

【モノクロ印刷】

モノクロ印刷設定を変更できます。

【両面印刷】

用紙の両面に印刷するか、片面に印刷するかを選びます。

両面印刷設定を変更できない印刷ドキュメントの場合、グレー表示となり設定できません。

▶▶▶ 重要

- 【ページレイアウト】で【冊子】を選ぶと、印刷設定エリアの【両面印刷】が自動的に設定されます。この場合は、【両面印刷】はグレー表示となり、設定できません。

【部数】

印刷する部数を指定します。1～999 部まで指定可能です。

部数を変更できない印刷ドキュメントの場合、グレー表示となり設定できません。

【終了】

Canon IJ XPS プレビューを終了します。

ドキュメント一覧に残ったドキュメントは、一覧から削除されます。

【印刷】

ドキュメント一覧で選んだドキュメントを印刷します。

印刷したドキュメントは一覧から削除され、すべてのドキュメントが印刷されると Canon IJ XPS プレビューを終了します。

Canon IJ ステータスマニタの画面説明

Canon IJ ステータスマニタは、プリンターの状態や印刷の進行状況を表示します。絵やアイコン、メッセージでプリンターの状態を知ることができます。



Canon IJ ステータスマニタの特長

Canon IJ ステータスマニタには、次のような機能があります。

プリンターの状態を画面上で確認

プリンターの状態をリアルタイムに表示します。
印刷文書（印刷ジョブ）ごとの進行状況を確認できます。

エラーの内容と対処方法の表示

プリンターにエラーが発生したときに表示します。
どのような対処方法をしたらよいか即座に確認できます。

インク状態の確認

FINE カートリッジの種類や推定インクレベルを絵で表示します。
インクが残り少なくなると、アイコンやメッセージで知らせます（インク残量警告）。

Canon IJ ステータスマニタの概要

プリンターの状態やインクの状態を、絵とメッセージで表示します。
印刷中は印刷文書に関する情報や進行状況を確認できます。
エラーが発生すると、その内容と対処方法を表示しますので、メッセージに従ってください。

プリンター

プリンターに警告やエラーが発生すると、アイコンを表示して知らせます。
⚠️：警告（オペレーターコールエラー）が発生しているか、何らかの操作をプリンターで行っている途中の状態であることを示しています。
❌：修理の必要なエラーが発生しています。

FINE カートリッジ

インク残量警告やインクなしエラーが発生すると、アイコンを表示して知らせます。
また、FINE カートリッジの推定インクレベルを絵で表示します。
その場合は、絵をクリックすると「インク詳細情報」ダイアログボックスを表示し、インクの残量やプリンターに合った FINE カートリッジの名称などの詳細情報を確認できます。
カラーインクは一番残量の少ない色に合わせて全色同じレベルで表示されます。

【ドキュメント名】

印刷中の文書の名称を表示します。

【所有者】

印刷中の文書の所有者名を表示します。

【印刷ページ】

印刷中のページ数/総ページ数を表示します。

【印刷待ち一覧を表示】

印刷中のドキュメントや印刷待ちのドキュメントを管理する、印刷キューを表示します。

【印刷中止】

進行中の印刷を中止します。

重要

- 【印刷中止】は、印刷データをプリンターに転送している間だけ有効です。印刷データの転送が終わると、グレー表示となり、無効になります。

【オプション】メニュー

【ステータスマニタを使用】を選ぶと、プリンター関連のメッセージが発生した場合、Canon IJ ステータスマニタを起動します。

【ステータスマニタを使用】を選ぶ場合、次のコマンドを使用できます。

【印刷中に表示】

印刷中にかならず Canon IJ ステータスマニタを表示します。

【常に手前に表示】

Canon IJ ステータスマニタを常に最前面に表示します。

【ガイドメッセージを表示】

用紙のセット方法がわかりにくい操作のガイドを表示します。

【封筒印刷】

封筒印刷開始時、ガイドメッセージを表示します。

このガイドメッセージは、【今後、このメッセージを表示しない】にチェックマークを付けると、非表示にすることができます。

ガイドを再び表示するには、【オプション】メニューの【ガイドメッセージを表示】から【封筒印刷】をクリックして、設定を有効にしてください。

【はがき印刷】

はがきの印刷を開始する前に、ガイドメッセージを表示します。

このガイドメッセージは、【今後、このメッセージを表示しない】にチェックマークを付けると、非表示にすることができます。

ガイドを再び表示するには、【オプション】メニューの【ガイドメッセージを表示】から【はがき印刷】をクリックして、設定を有効にしてください。

【用紙のセット方法】

普通紙以外の印刷開始時でほかのガイドが表示されない場合に、ガイドメッセージを表示します。

このガイドメッセージは、【今後、このメッセージを表示しない】にチェックマークを付けると、非表示にすることができます。

ガイドを再び表示するには、【オプション】メニューの【ガイドメッセージを表示】から【用紙のセット方法】をクリックして、設定を有効にしてください。

【警告発生時に自動的に表示】

【インク残量警告のとき】

インク残量警告が発生したとき、Canon IJ ステータスマニタを自動的に起動し、ほかのウィンドウよりも手前に表示します。

【Windows と同時に起動】

Windows を起動したとき、Canon IJ ステータスマニタが自動的に起動します。

【インク詳細情報】メニュー

このメニューを選ぶと、【インク詳細情報】ダイアログボックスが表示され、インクの残量やプリンターに合った FINE カートリッジの名称などの詳細情報を確認できます。

【インク詳細情報】ダイアログボックス

FINE カートリッジの種類や推定インクレベルを絵とメッセージで表示します。

インク情報欄（左側に表示）

FINE カートリッジの種類を絵で表示します。

インクの残量に関する警告やエラーが発生すると、アイコンを表示して知らせます。

その場合は、画面に表示された方法に従って操作してください。

メッセージ欄（右側に表示）

インクの状態や色などの情報を、文章で表示します。

【インクの型番情報】

プリンターに合った FINE カートリッジを調べることができます。

【閉じる】

【インク詳細情報】ダイアログボックスを閉じ、Canon IJ ステータスマニタに戻ります。

【ヘルプ】メニュー

このメニューを選ぶと、Canon IJ ステータスマニタのヘルプを表示したり、バージョンや著作権情報を確認したりすることができます。

MP ドライバーの更新

- 最新の MP ドライバーを入手する
- 不要になった MP ドライバーを削除する
- MP ドライバーをインストールする前に
- MP ドライバーをインストールする

最新の MP ドライバーを入手する

MP ドライバーには、プリンタードライバー、ScanGear（スキャナードライバー）が含まれています。

現在使用している MP ドライバーから、最新の MP ドライバーにバージョンアップすると、今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。

最新の MP ドライバーを入手するには、キヤノンのホームページにアクセスし、お使いの機種種の MP ドライバーをダウンロードしてください。

重要

- MP ドライバーは無料でダウンロードできますが、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。
- 最新の MP ドライバーは、[前のバージョンを削除](#)してからインストールしてください。

関連項目

- ➡ [MP ドライバーをインストールする前に](#)
- ➡ [MP ドライバーをインストールする](#)

不要になった MP ドライバーを削除する

使わなくなった MP ドライバーは削除することができます。

MP ドライバーを削除するときは、使用中のアプリケーションソフトをすべて終了させてください。

不要になった MP ドライバーを削除する手順を説明します。

1. アンインストーラーを起動

- Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、デスクトップのチャームから [設定] → [コントロール パネル] → [プログラム] → [プログラムと機能] の順に選びます。
プログラムの一覧から「XXX MP Drivers」（「XXX」は機種名）を選び、[アンインストール] をクリックします。
- Windows 7、Windows Vista をご使用の場合は、[スタート] メニューから [コントロール パネル] → [プログラム] → [プログラムと機能] の順に選びます。
プログラムの一覧から「XXX MP Drivers」（「XXX」は機種名）を選び、[アンインストール] をクリックします。
- Windows XP をご使用の場合は、[スタート] メニューから [コントロール パネル] → [プログラムの追加と削除] の順に選びます。
プログラムの一覧から「XXX MP Drivers」（「XXX」は機種名）を選び、[削除] をクリックします。

アンインストールする機種を確認する画面が表示されます。

重要

- Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、または Windows Vista では、ソフトウェアを起動したり、インストールやアンインストールを行ったりした場合、確認や警告のダイアログボックスが表示されることがあります。
このダイアログボックスは、ユーザーの管理者権限を確認する画面です。
管理者の権限を持つユーザーでログオンした場合は、[はい]（または [続行]、[許可]）をクリックして、操作を続けてください。
ソフトウェアによっては、管理者の権限を持つユーザー以外は操作が続行できない場合があります。この場合は、管理者の権限を持つユーザーに切り替え、操作をやり直してください。

2. アンインストールを実行

[実行] をクリックし、確認メッセージが表示されたら [はい] をクリックします。

すべてのファイルが削除されたら [完了] をクリックします。

以上で MP ドライバーが削除されます。

重要

- MP ドライバーをアンインストールすると、プリンタードライバー、XPS プリンタードライバー、ScanGear（スキャナードライバー）が削除されます。

MP ドライバーをインストールする前に

MP ドライバーをインストールする前に、確認すべき内容を説明します。MP ドライバーがインストールできない場合にも参照してください。

プリンターの状態を確認する

- プリンターの電源はオフにしてください。

パソコンの設定を確認する

- 起動中のアプリケーションソフトはすべて終了してください。
- 管理者の権限を持つユーザーとしてログオンしてください。

重要

- 最新の MP ドライバーは、[前のバージョンを削除](#)してからインストールしてください。

関連項目

- ⇒ [最新の MP ドライバーを入手する](#)
- ⇒ [MP ドライバーをインストールする](#)

MP ドライバーをインストールする

インターネット経由で、キヤノンのホームページにアクセスすると、最新の MP ドライバーや XPS プリンタードライバーをダウンロードすることができます。

入手した MP ドライバーをインストールする手順を説明します。

1. プリンターの電源を切る

2. インストーラーを起動

入手したファイルのアイコンをダブルクリックします。
インストールプログラムが起動します。

重要

- Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、または Windows Vista では、ソフトウェアを起動したり、インストールやアンインストールを行ったりした場合、確認や警告のダイアログボックスが表示されることがあります。
このダイアログボックスは、ユーザーの管理者権限を確認する画面です。
管理者の権限を持つユーザーでログオンした場合は、[はい]（または [続行]、[許可]）をクリックして、操作を続けてください。
ソフトウェアによっては、管理者の権限を持つユーザー以外は操作が続行できない場合があります。この場合は、管理者の権限を持つユーザーに切り替え、操作をやり直してください。

3. MP ドライバーをインストール

画面の指示に従って操作します。

4. インストールを完了

[完了] をクリックします。

お使いの環境によっては、パソコンの再起動を促すメッセージが表示されます。正しくインストールを完了するために、再起動してください。

重要

- XPS プリンタードライバーは、MP ドライバーと同様の手順でインストールすることができます。ただし、XPS プリンタードライバーをインストールする場合は、あらかじめ MP ドライバーのインストールを完了させてください。
- MP ドライバーや XPS プリンタードライバーは無料でダウンロードできますが、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。
- 最新の MP ドライバーは、[前のバージョンを削除](#)してからインストールしてください。

関連項目

- ➡ [最新の MP ドライバーを入手する](#)
- ➡ [不要になった MP ドライバーを削除する](#)
- ➡ [MP ドライバーをインストールする前に](#)

キヤノンのアプリケーションソフトを使って印刷してみよう

- ▶ [My Image Garden ガイド](#)
- ▶ [Easy-PhotoPrint+ガイド](#)

My Image Garden ガイド

My Image Garden の操作手順や画面説明をご覧ください。
ます。



Windows をご使用の場合

最新バージョン

My Image Garden V3.3.x/V3.2.x

最新バージョンのアプリケーションソフトのご使用をお勧めします。

キヤノンのホームページにアクセスし、最新のアプリケーションソフトをダウンロードしてください。

[バージョンの確認方法](#) ▶

過去バージョン

ご使用の My Image Garden のバージョンを選んでください。

- ➡ V3.1.x/V3.0.x
- ➡ V2.1.x
- ➡ V2.0.x
- ➡ V1.1.x

Mac OS をご使用の場合

最新バージョン

My Image Garden V3.3.x/V3.2.x

最新バージョンのアプリケーションソフトのご使用をお勧めします。

キヤノンのホームページにアクセスし、最新のアプリケーションソフトをダウンロードしてください。

[バージョンの確認方法](#) ▶

過去バージョン

ご使用の My Image Garden のバージョンを選んでください。

- ➡ V3.1.x/V3.0.x
- ➡ V2.1.x
- ➡ V2.0.x
- ➡ V1.1.x

ウェブサービスを使って印刷してみよう

- ▶ [PIXUS/MAXIFY クラウドリンク](#)を利用する
- ▶ [Google Cloud Print](#) を利用して印刷してみよう

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用すれば、CANON iIMAGE GATEWAY や Evernote、Twitter などのクラウドサービスと連携して、パソコンを使わずに以下の機能がご利用になれます。

- 写真共有サービスの画像を印刷
- データ保管サービスのドキュメントを印刷
- データ保管サービスにスキャンした画像を保存する
- 紙なしやインク残量が少なくなきなどプリンターの状態を Twitter でお知らせ

さらに各種クラウドサービスと連携したアプリを追加で登録することで、さまざまな機能を使用できます。

- ➡ プリンターから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する
- ➡ [スマートフォン・タブレット・パソコンから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する](#)



重要

- 国または地域によっては、PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用できない場合や使用できるアプリが異なる場合があります。
- 一部のアプリでは、ご使用の前にサービスのアカウントが必要になることがあります。その場合は、事前にアカウントを取得してください。
- PIXUS/MAXIFY クラウドリンクの対象機種は、キヤノンホームページでご確認ください。
- 画面表示は、予告なく変更になる可能性があります。

Google Cloud Print を利用して印刷してみよう

本製品は Google Inc.が提供するサービス Google Cloud Print™に対応しています。

Google Cloud Print を利用すると、Google Cloud Print に対応したアプリやサービスで、どこからでも印刷できます。

インターネットを介して印刷データを送信して印刷



いったん Google Cloud Print に本製品を登録すると、インターネットに接続しなくても Google Cloud Print に対応したアプリやサービスから印刷できます。

インターネットを介さずに印刷データを送信して印刷



重要

- お客様がお住まいの国と地域によっては、この機能をご利用になれない場合があります。
 - Google Cloud Print を利用するには、事前に Google アカウントを取得し、Google Cloud Print に本製品を登録する必要があります。
- また、Google Cloud Print に本製品を登録するときは、本製品が LAN 接続されていて、LAN 環境がインターネットに接続されている必要があります。また、インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

1. [Google アカウントを取得する](#)
2. [Google Cloud Print に本製品を登録する](#)
3. [パソコンやスマートフォンから Google Cloud Print を利用して印刷する](#)

重要

- 本製品の所有者が変わる場合は、Google Cloud Print から本製品の登録を削除してください。
➡ [Google Cloud Print から本製品の登録を削除する](#)

Google Cloud Print から本製品の登録を削除するときも、本製品が LAN 接続されていて、LAN 環境がインターネットに接続されている必要があります。また、インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

Google アカウントを取得する

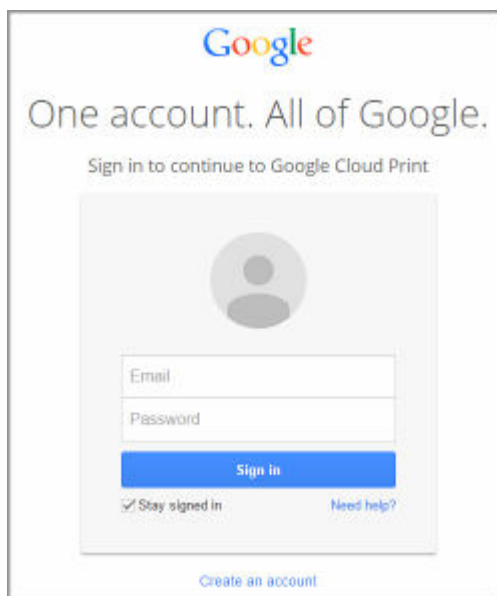
Google Cloud Print を利用して印刷するには、事前に Google アカウントを取得し、Google Cloud Print に本製品を登録する必要があります。

▶▶▶ 参考

- すでに Google アカウントをお持ちの場合は、Google Cloud Print に本製品を登録してください。

[Google Cloud Print に本製品を登録する](#)

パソコンなどのウェブブラウザで Google Cloud Print のウェブサイトアクセスして、必要な情報の登録を行ってください。



*上の表示画面は変更される可能性があります。

Google Cloud Print に本製品を登録する

Google Cloud Print に本製品を登録する方法は 2 通りあります。

- ➡ [Google Chrome を使用して登録する](#)
- ➡ [他のウェブブラウザを使用して登録する](#)

重要

- Google アカウントを取得していない場合は、Google アカウント取得してください。
[Google アカウントを取得する](#)
- 本製品の所有者が変わる場合は、Google Cloud Print から本製品の登録を削除してください。
➡ [Google Cloud Print から本製品の登録を削除する](#)
- 本製品を登録するときや本製品の登録を削除するときは、本製品が LAN 接続されていて、LAN 環境がインターネットに接続されている必要があります。また、インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

Google Chrome を使用して登録する

1. パソコンで Google Chrome ブラウザーを起動する
2.  (Chrome メニュー) から [Chrome にログイン...] を選ぶ
3. Google アカウントへログインする
4.  (Chrome メニュー) から [設定] を選ぶ
5. [詳細設定を表示...] で情報を表示する
6. [Google クラウドプリント] の [管理] を選ぶ
7. 新しいデバイスとして [Canon MG3600 series] と [登録] ボタンが表示されたら、[登録] を選ぶ
8. 本製品を登録するか確認するメッセージが表示されたら [はい] を選ぶ
9. 本製品の Wi-Fi ランプが 3 回点滅したら、Wi-Fi ボタンを押す
本製品の登録が完了します。

他のウェブブラウザを使用して登録する

1. [本製品の電源が入っていることを確認する](#)
2. [ウェブブラウザでプリンター情報を表示する](#)

3. [Web サービス接続設定] → [Google Cloud Print 設定] → [Google Cloud Print への登録] を選ぶ

参考

- すでに Google Cloud Print に本製品を登録している場合は、再登録の確認メッセージが表示されます。

4. 本製品を登録するか確認するメッセージが表示されたら [はい] を選ぶ
5. Google Cloud Print の印刷設定で表示する言語を選ぶ
6. 認証処理を行う
7. 登録完了のメッセージが表示されたら、[OK] を選ぶ

パソコンやスマートフォンから Google Cloud Print を利用して印刷する

Google Cloud Print を利用して印刷データを送信すると、本製品は自動的に印刷データを受信して印刷します。

スマートフォン、タブレットまたはパソコンなどの外部機器から Google Cloud Print を利用して印刷するときは、あらかじめ用紙を本製品にセットしてください。

Google Cloud Print を利用して印刷する方法は以下の 2 通りあります。

- インターネットを介して印刷する

本製品が LAN 接続されていて、LAN 環境がインターネットに接続されている必要があります。

➡ [インターネットを介して印刷データを送信する](#)

- インターネットを介せずに印刷する

ローカルネットワークに接続されている、または本製品をアクセスポイントモードにしている必要があります。また、本製品の Bonjour 設定がされている必要があります。

➡ [インターネットを介せずに印刷データを送信する](#)

参考

- 通信状況によっては、印刷開始まで時間がかかる、または印刷データを受信できない場合があります。
- 本製品を操作しているときやエラーが発生しているなど、本製品の状態によっては Google Cloud Print を利用して印刷している途中で印刷が中止される場合があります。印刷を再開するときは本製品の状態を確認してから、再度 Google Cloud Print を利用して印刷してください。
- 印刷設定について：
 - 用紙の種類として普通紙以外を選んだ場合、または用紙のサイズとして A4 サイズ／レターサイズ以外を選んだ場合は、両面印刷設定を選んでいても、片面で印刷されます。
 - 用紙の種類として普通紙を選んだ場合、または用紙のサイズとして B5 サイズ／A5 サイズを選んだ場合は、フチなし印刷設定を選んでいても、フチありで印刷されます。
 - 印刷データによっては、印刷イメージと印刷結果が異なる場合があります。
 - 印刷指示をする端末によっては、Google Cloud Print を利用して印刷データを送信するときに印刷設定ができない場合があります。

インターネットを介して印刷データを送信する

ここでは、パソコンの Google Chrome ブラウザーから印刷データを送信する操作について説明します。機器やアプリ、サービスによって、操作は異なります。

重要

- インターネットを介して印刷データを送信するときは、本製品が LAN 接続されていて、LAN 環境がインターネットに接続されている必要があります。また、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。

1. [本製品の電源が入っていることを確認する](#)

参考

- 本製品の自動電源オン設定を有効にしている場合は、印刷ジョブを受信すると本製品は自動的に電源がオンになります。

2. パソコンで Google Chrome ブラウザーを起動する

3.  (Chrome メニュー) から [Chrome にログイン...] を選ぶ

4. Google アカウントへログインする

5.  (Chrome メニュー) から [印刷] を選ぶ



6. [送信先] の [変更] を選ぶ



7. [Google クラウドプリント] で [Canon MG3600 series] を選ぶ

8. [印刷] を選ぶ

Google Cloud Print を利用するための準備が整っていて、本製品の電源が入っていると、本製品は自動的に印刷データを受信して印刷します。

インターネットを介さずに印刷データを送信する

ここでは、パソコンの Google Chrome ブラウザーから印刷データを送信する操作について説明します。機器やアプリ、サービスによって、操作は異なります。

重要

- 本製品がローカルネットワークに接続されている、または本製品をアクセスポイントモードにしている必要があります。
- 本製品の Bonjour 設定がされている必要があります。

1. [本製品の電源が入っていることを確認する](#)

参考

- 本製品の自動電源オン設定を有効にしている場合は、印刷ジョブを受信すると本製品は自動的に電源がオンになります。

2. パソコンで Google Chrome ブラウザーを起動する

3. (Chrome メニュー) から [Chrome にログイン...] を選ぶ

4. Google アカウントへログインする

5. (Chrome メニュー) から [印刷] を選ぶ



6. [送信先] の [変更] を選ぶ



7. [ローカルの送信先] で [Canon MG3600 series] を選ぶ

8. [印刷] を選ぶ

Google Cloud Print を利用するための準備が整っていて、本製品の電源が入っていると、本製品は自動的に印刷データを受信して印刷します。

Google Cloud Print から本製品の登録を削除する

本製品の所有者が変わる場合や、本製品を登録し直す場合は、以下の手順で Google Cloud Print から本製品の登録を削除してください。

Google Cloud Print から本製品の登録を削除する方法は 2 通りあります。

- ➡ [Google Chrome を使用して削除する](#)
- ➡ [他のウェブブラウザを削除して登録する](#)

重要

- 本製品の登録を削除するときは、本製品が LAN 接続されていて、LAN 環境がインターネットに接続されている必要があります。また、インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

Google Chrome を使用して削除する

1. パソコンで Google Chrome ブラウザーを起動する
2.  (Chrome メニュー) から [Chrome にログイン...] を選ぶ
3. Google アカウントへログインする
4.  (Chrome メニュー) から [設定] を選ぶ
5. [詳細設定を表示...] で情報を表示する
6. [Google クラウドプリント] の [管理] を選ぶ
7. デバイスのリストから [Canon MG3600 series] の [管理] を選ぶ
8. [削除] を選ぶ
9. 本製品を削除するか確認するメッセージが表示されたら [OK] を選ぶ

他のウェブブラウザを削除して登録する

1. [本製品の電源が入っていることを確認する](#)
2. [ウェブブラウザでプリンター情報を表示する](#)
3. [Web サービス接続設定] → [Google Cloud Print 設定] → [Google Cloud Print から削除] を選ぶ
4. 本製品を削除するか確認するメッセージが表示されたら [はい] を選ぶ

Mac を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう

AirPrint を使用して、iPhone、iPad、iPod touch などの iOS 機器や Mac から印刷できます。

AirPrint では、プリンタードライバーのインストールやアプリのダウンロードをせずとも、写真、E メール、ウェブページ、文書などを iOS 機器または Mac から印刷することができます。

参考

- iOS 機器から AirPrint を使用して印刷する場合は、以下を参照してください。

➡ [iOS 機器を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう](#)



お使いの環境を確認する

はじめに、お使いの環境を確認してください。

• AirPrint の動作環境

- 最新バージョンの iOS がインストールされている iPhone、iPad、および iPod touch
- 最新バージョンの OS がインストールされている Mac

• 接続方法

iOS 機器または Mac が、同一のネットワーク上でプリンターと LAN 接続されているか、無線 LAN ルーターを介さずに直接接続されていること。

ご使用の Mac に本製品を AirPrint プリンターとして追加する

1. ご使用の Mac で [システム環境設定] を開き、[プリンタとスキャナ]（[プリントとスキャン]）を選ぶ
2. [+] をクリックして、プリンターリストを表示する
3. [Bonjour マルチファンクション] と表示されている本製品の機種名を選ぶ
4. [ドライバ] から [Secure AirPrint] または [AirPrint] を選ぶ
5. [追加] を選ぶ

Mac から AirPrint で印刷する

1. [本製品の電源が入っていることを確認する](#)

参考

- 本製品の自動電源オン設定を有効にしている場合は、印刷ジョブを受信すると本製品は自動的に電源がオンになります。

2. [用紙をセットする](#)

3. お使いのアプリケーションソフトで印刷を開始する

プリントダイアログが表示されます。

4. プリントダイアログの [プリンタ] で AirPrint プリンターとして追加した本製品名を選ぶ

5. 必要に応じて用紙サイズや用紙種類、その他の設定を行う

6. [プリント] を選ぶ

印刷を実行すると、設定どおりに印刷を行います。

参考

• 無線 LAN 接続しているときは：

- 本製品の電源が入ってから無線 LAN 接続で通信できるようになるまで、数分かかる可能性があります。本製品がネットワークに接続されていることを確認してから、印刷を試してください。
- 本製品の Bonjour 設定が無効の場合は、AirPrint を使用することができません。本製品の LAN 設定を確認し、Bonjour 設定を有効にしてください。

• そのほか、AirPrint で印刷しているときのトラブルについては、以下を参照してください。

➡ [AirPrint で印刷できない](#)

印刷状況を確認する

➡ 印刷の進行状況を確認する

印刷ジョブを削除する

AirPrint で印刷ジョブを削除するには、次の 2 つの方法があります。

- 本製品からの場合：本製品のストップボタンを使用して、印刷ジョブをキャンセルします。
- iOS 機器からの場合：不要になった印刷ジョブを削除する

スマートフォン／タブレットから印刷してみよう

- ▶ スマートフォン／タブレットから直接印刷してみよう
- ▶ ウェブサービスを使って印刷してみよう

スマートフォン／タブレットから直接印刷してみよう

- ▶ **Android 機器から印刷してみよう**
- ▶ **iOS 機器を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう**
- ▶ **本製品をアクセスポイントモードで使用する**

Android 機器から印刷してみよう

Canon 製プラグインを利用して印刷してみよう

Canon Print Service は、Android 4.4.2 以上を搭載した端末向けの印刷用プラグインです。Google Play から無料でダウンロードすることができます。インストールして有効化すると、お使いの Android スマートフォンやタブレットから無線 LAN のネットワークを経由してキヤノン製プリンターで印刷することができます。

Mopria を利用して印刷してみよう

Mopria を使用して、お使いの Android スマートフォンやタブレットから無線 LAN のネットワークを経由してキヤノン製プリンターで印刷することができます。

MopriaTM(認証済み端末含む)については <http://www.mopria.org> をご覧ください。

iOS 機器を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう

AirPrint を使用して、iPhone、iPad、iPod touch などの iOS 機器や Mac から印刷できます。

AirPrint では、プリンタードライバーのインストールやアプリのダウンロードをせずとも、写真、E メール、ウェブページ、文書などを iOS 機器または Mac から印刷することができます。

参考

- Mac から AirPrint を使用して印刷する場合は、以下を参照してください。

➡ [Mac を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう](#)



お使いの環境を確認する

はじめに、お使いの環境を確認してください。

• AirPrint の動作環境

- 最新バージョンの iOS がインストールされている iPhone、iPad、および iPod touch
- 最新バージョンの OS がインストールされている Mac

• 接続方法

iOS 機器または Mac が、同一のネットワーク上でプリンターと LAN 接続されているか、無線 LAN ルーターを介さずに直接接続されていること。

iOS 機器から AirPrint で印刷する

1. [本製品の電源が入っていることを確認する](#)

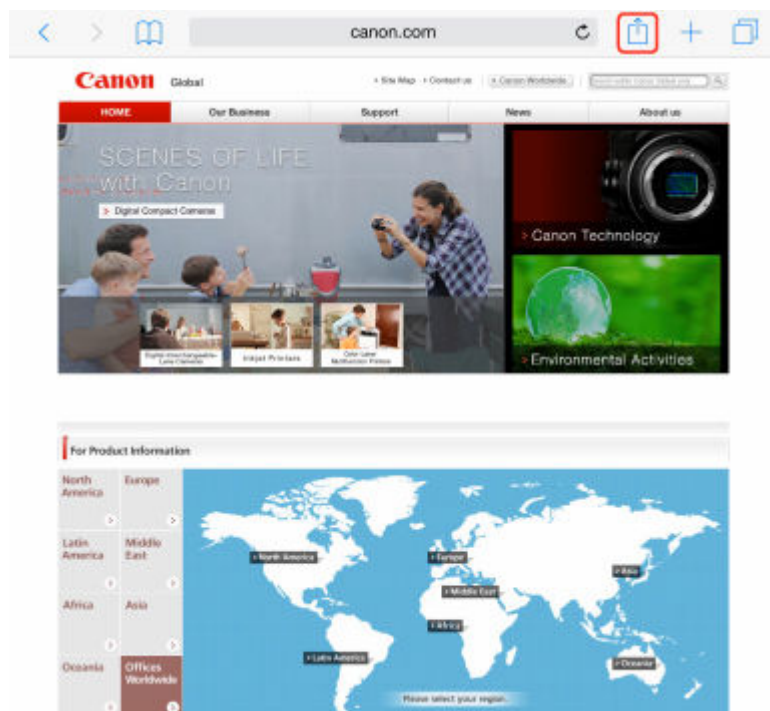
参考

- 本製品の自動電源オン設定を有効にしている場合は、印刷ジョブを受信すると本製品は自動的に電源がオンになります。

2. [用紙をセットする](#)

3. お使いの iOS 機器のアプリで、操作アイコンをタップしてメニューオプションを表示する

下の図は、iPad のウェブブラウザから印刷するときの画面の例です。機器やアプリによって印刷するときの画面は異なります。



4. メニューオプションから「プリント」をタップする



5. 「プリンタオプション」の「プリンタ」から、ご使用のプリンター名を選ぶ

重要

- 一部のアプリでは、AirPrint に対応していないため、「プリンタオプション」が表示されない場合があります。プリンターオプションが利用できない場合は、そのアプリから印刷することはできません。

▶▶▶ 参考

- プリンターオプションは、使用するアプリによって異なります。

6. PDF など複数のページがあるファイルを印刷する場合、[範囲] をタップして [すべてのページ] をタップするか、印刷したいページの範囲を選ぶ
7. [1 部] の隣の、[+] または [-] を必要な印刷部数に応じてタップする
8. [両面印刷] の隣の [オン] をタップして両面印刷を有効にするか、[オフ] をタップして両面印刷を無効にする
9. [プリント] をタップする

印刷を実行すると、設定どおりに印刷を行います。

▶▶▶ 参考

- 無線 LAN 接続しているときは：
 - 本製品の電源が入ってから無線 LAN 接続で通信できるようになるまで、数分かかる可能性があります。本製品がネットワークに接続されていることを確認してから、印刷を試してください。
 - 本製品の Bonjour 設定が無効の場合は、AirPrint を使用することができません。本製品の LAN 設定を確認し、Bonjour 設定を有効にしてください。
- そのほか、AirPrint で印刷しているときのトラブルについては、以下を参照してください。

➡ [AirPrint で印刷できない](#)

用紙のサイズ

AirPrint では iOS 機器で使用しているアプリ、AirPrint を使用する地域に応じて用紙サイズは自動的に選ばれます。

主に写真を扱うアプリでは、日本では L 判がデフォルト用紙サイズとなり、それ以外の国や地域では 4"x6"または KG がデフォルト用紙サイズとなります。

主に文書を扱うアプリでは、米国地域などではレターサイズがデフォルト用紙サイズとなり、日本や欧州などでは A4 がデフォルト用紙サイズとなります。

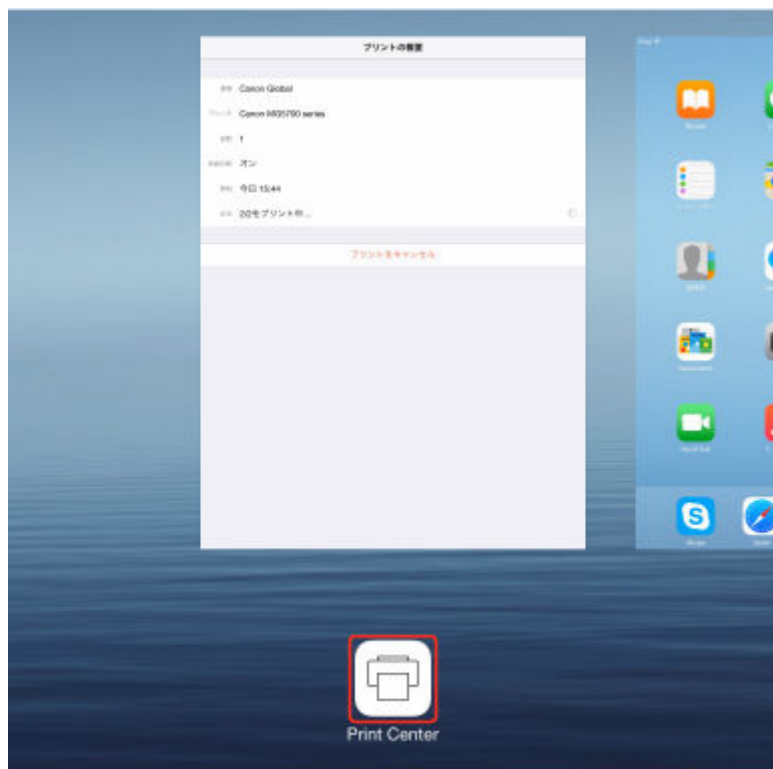
▶▶▶ 重要

- 機器や OS によっては、デフォルトの用紙サイズが上記と異なる場合があります。
試し印刷することをお勧めします。
- お使いのアプリによって、使用できる用紙サイズが異なります。

印刷状況を確認する

印刷中、最近使用したアプリの一覧に [Print Center] のアイコンが表示され、印刷の進行状況を確認することができます。

iOS 機器の [ホーム] ボタンを 2 回押してマルチタスキングモードにし、右にスワイプすると [Print Center] アイコンとプリントの概要が表示されます。



印刷ジョブを削除する

AirPrint で印刷ジョブを削除するには、次の 2 つの方法があります。

- 本製品からの場合：本製品のストップボタンを使用して、印刷ジョブをキャンセルします。
- iOS 機器からの場合：iOS 機器の [ホーム] ボタンを 2 回押してマルチタスティングモードにし、右にスワイプします。[Print Center] アイコンをタップし、プリントの概要を表示させます。キャンセルする印刷ジョブをタップし、[プリントをキャンセル] をタップします。

本製品をアクセスポイントモードで使用する

無線 LAN ルーターがない環境で本製品と無線通信機器（パソコンやスマートフォン、タブレットなど）を、直接無線で接続して印刷やスキャンをすることができます。また、無線 LAN ルーターがある環境で無線 LAN ルーターを介さずに、本製品と機器を無線で接続することもできます。

ここでは、アクセスポイントモードを有効にする方法、およびアクセスポイント名（SSID）やセキュリティの設定を説明しています。

➡ [アクセスポイントモードを有効にする](#)

➡ [アクセスポイントモードで印刷／スキャンする](#)

➡ [アクセスポイントモードを終了する](#)

➡ [アクセスポイントモードの設定](#)

重要

- 本製品をアクセスポイントモードで使用する前に、制限事項を確認してからアクセスポイントモードへの切り換えを行ってください。

➡ [制限事項について](#)

- 長時間アクセスポイントモードでご使用になる場合は、セキュリティの観点から、あらかじめ設定されているパスワードを任意の数字とアルファベットの組み合わせに変更することをお勧めします。

アクセスポイントモードを有効にする

以下の手順で、アクセスポイントモードを有効にします。

1. [本製品の電源が入っていることを確認する](#)
2. Wi-Fi ボタンを押し続け、電源ランプが点滅したら離す
3. モノクロボタン、カラーボタン、Wi-Fi ボタンの順に押す

電源ランプが点滅から点灯に切り替わり、アクセスポイントモードが有効となります。

参考

- 現在本製品に設定されているアクセスポイントモードの設定は、ネットワーク設定情報を印刷して確認することができます。

➡ [本製品のネットワーク設定情報を印刷する](#)

- セキュリティ設定は任意で変更することができます。

➡ [アクセスポイントモードの設定](#)

アクセスポイントモードで印刷／スキャンする

以下の手順で無線通信機器の設定を変更したあとに、本製品と接続して印刷／スキャンを行います。

参考

- 無線通信機器と本製品を接続する前に、本製品に設定されているアクセスポイントモード時のアクセスポイント名（SSID）とパスワードを確認しておくことをお勧めします。
- 本製品に設定されているアクセスポイント名（SSID）とパスワードは、設定情報を印刷して確認できます。

1. 無線通信機器の無線 LAN 機能を有効にする

無線通信機器の「設定」メニューなどにある、「Wi-Fi」を有効にします。

無線 LAN 機能を有効にする手順については、ご使用の機器の取扱説明書を参照してください。

2. 無線通信機器に表示されるリストから、「XXXXXX-MG3600series」（XXXXXX は MAC アドレスの下 6 桁）を選ぶ

3. パスワードを入力する

無線通信機器と本製品が接続されます。

4. 無線通信機器から印刷またはスキャンを開始する

➡➡➡ 参考

- 無線通信機器からの印刷／スキャン方法については、お使いの機器やアプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

アクセスポイントモードを終了する

通常ご使用になるパソコンなどと無線 LAN 接続で接続していた環境では、一時的なアクセスポイントモードでの使用が終了した場合、以下の手順で無線 LAN 接続に戻してください。

1. Wi-Fi ボタンを押し続け、電源ランプが点滅したら離す

2. カラーボタン、モノクロボタン、Wi-Fi ボタンの順に押す

電源ランプが点滅から点灯に変わり、Wi-Fi ランプが点灯し、無線 LAN が有効になります。

➡➡➡ 参考

- 本製品をアクセスポイントモードでも無線 LAN 接続でも使用しないときは：
以下の手順で、アクセスポイントモードおよび無線 LAN 接続を無効にしてください。
 - Wi-Fi ボタンを押し続け、電源ランプが点滅したら離す
 - モノクロボタンを 2 回押し、Wi-Fi ボタンを押す
電源ランプが点滅から点灯に変わり、Wi-Fi ランプが消灯し、無線 LAN が無効になります。

アクセスポイントモードの設定

アクセスポイントモードの初期設定は以下のように設定されています。

SSID（アクセスポイント名）	XXXXXX-MG3600series * “XXXXXX”は MAC アドレス下 6 桁
セキュリティ設定	WPA2-PSK（AES）
パスワード	本製品のシリアルナンバー

本製品のシリアルナンバーは 9 文字（前半 4 文字がアルファベット、後半 5 文字が数字）で、本体背面のシールに記載されています。

▶▶ 参考

- 本製品の MAC アドレスおよびシリアルナンバーは、ネットワーク設定情報を印刷して確認することができます。

➡ [本製品のネットワーク設定情報を印刷する](#)

- セキュリティ設定やパスワードは IJ Network Tool（アイジェイ・ネットワーク・ツール）を利用して、変更できます。

本製品のアクセスポイントモードの設定を変更した場合は、無線通信機器でも接続先の設定を変更してください。

ウェブサービスを使って印刷してみよう

- ▶ [PIXUS/MAXIFY クラウドリンク](#)を利用する
- ▶ [Google Cloud Print](#) を利用して印刷してみよう

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用すれば、CANON iIMAGE GATEWAY や Evernote、Twitter などのクラウドサービスと連携して、パソコンを使わずに以下の機能がご利用になれます。

- 写真共有サービスの画像を印刷
- データ保管サービスのドキュメントを印刷
- データ保管サービスにスキャンした画像を保存する
- 紙なしやインク残量が少ないときなどプリンターの状態を Twitter でお知らせ

さらに各種クラウドサービスと連携したアプリを追加で登録することで、さまざまな機能を使用できます。

- ➡ プリンターから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する
- ➡ [スマートフォン・タブレット・パソコンから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する](#)



重要

- 国または地域によっては、PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用できない場合や使用できるアプリが異なる場合があります。
- 一部のアプリでは、ご使用前にサービスのアカウントが必要になることがあります。その場合は、事前にアカウントを取得してください。
- PIXUS/MAXIFY クラウドリンクの対象機種は、キヤノンホームページでご確認ください。
- 画面表示は、予告なく変更になる可能性があります。

Google Cloud Print を利用して印刷してみよう

本製品は Google Inc.が提供するサービス Google Cloud Print™に対応しています。

Google Cloud Print を利用すると、Google Cloud Print に対応したアプリやサービスで、どこからでも印刷できます。

インターネットを介して印刷データを送信して印刷



いったん Google Cloud Print に本製品を登録すると、インターネットに接続しなくても Google Cloud Print に対応したアプリやサービスから印刷できます。

インターネットを介さずに印刷データを送信して印刷



重要

- お客様がお住まいの国と地域によっては、この機能をご利用になれない場合があります。
 - Google Cloud Print を利用するには、事前に Google アカウントを取得し、Google Cloud Print に本製品を登録する必要があります。
- また、Google Cloud Print に本製品を登録するときは、本製品が LAN 接続されていて、LAN 環境がインターネットに接続されている必要があります。また、インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

1. [Google アカウントを取得する](#)
2. [Google Cloud Print に本製品を登録する](#)
3. [パソコンやスマートフォンから Google Cloud Print を利用して印刷する](#)

重要

- 本製品の所有者が変わる場合は、Google Cloud Print から本製品の登録を削除してください。
➡ [Google Cloud Print から本製品の登録を削除する](#)

Google Cloud Print から本製品の登録を削除するときも、本製品が LAN 接続されていて、LAN 環境がインターネットに接続されている必要があります。また、インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

デジタルカメラから印刷してみよう

- ▶ [PictBridge（Wireless LAN）対応機器から印刷する](#)
- ▶ [PictBridge（Wireless LAN）の印刷設定について](#)

PictBridge（Wireless LAN）対応機器から印刷する

PictBridge（Wireless LAN）に対応したデジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などを本製品と無線 LAN 接続して、直接写真を印刷することができます。

本製品に接続可能な機器について：

PictBridge（Wireless LAN）対応機器

印刷可能な画像データについて：

DCF Ver.1.0/2.0 規格のデジタルカメラで撮影した画像データ（Exif ver.2.2/2.21/2.3 準拠）、または PNG データを印刷することができます。

重要

- この機能を利用するには、本製品が無線 LAN 接続されている必要があります。

参考

- PictBridge は、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などで撮影した画像をパソコンを介さずに直接プリンターで印刷するための規格です。
本マニュアルでは、無線 LAN 接続を利用した PictBridge 印刷を「PictBridge（Wireless LAN）」と表現しています。
- PictBridge（Wireless LAN）対応機器を接続して印刷する場合、PictBridge（Wireless LAN）対応機器の電源は、家庭用電源をご使用になることをお勧めします。バッテリーをご使用になるときは、フル充電されたバッテリーをご使用ください。
- ご使用の機種により、接続する前に PictBridge（Wireless LAN）対応機器で印刷するモードに切り替える必要があります。また接続後、手動で電源を入れる、または再生モードにする必要があります。
PictBridge（Wireless LAN）対応機器に付属の取扱説明書を参照のうえ、接続前に必要な操作を行ってください。

1. [本製品の電源が入っていることを確認する](#)

2. [用紙をセットする](#)

3. 本製品と PictBridge（Wireless LAN）対応機器を接続する

PictBridge（Wireless LAN）対応機器で本製品を検出し、無線 LAN 接続します。

参考

- PictBridge（Wireless LAN）対応機器で本製品を検出する方法については、PictBridge（Wireless LAN）対応機器に付属の取扱説明書を参照してください。

4. 印刷する用紙やレイアウトを設定する

PictBridge（Wireless LAN）対応機器の液晶モニターで、本製品にセットした用紙と同じ設定にしてください。

➡ [PictBridge（Wireless LAN）対応機器側で印刷設定を変更する](#)

5. PictBridge（Wireless LAN）対応機器から印刷を開始する

PictBridge (Wireless LAN) の印刷設定について

PictBridge (Wireless LAN) 対応機器側で印刷設定を変更する

ここでは本製品で対応している PictBridge (Wireless LAN) 機能について説明します。PictBridge (Wireless LAN) 対応機器での印刷設定方法については、対応機器に付属の取扱説明書を参照してください。

参考

- 本製品とキヤノン製 PictBridge (Wireless LAN) 対応機器を接続したときに表示される名称を例に説明しています。PictBridge (Wireless LAN) 対応機器により設定項目の名称が異なる場合があります。
- PictBridge (Wireless LAN) 対応機器によっては、説明している項目が設定できない場合があります。その場合は、以下の設定に従って印刷されます。

用紙サイズ (ペーパーサイズ) : L 判

用紙タイプ (ペーパータイプ) : フォト

レイアウト: 1 ページに一面フチなしで印刷されます。

日付/画像番号 (ファイル番号) : 日付/画像番号は印刷されません。

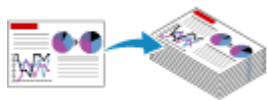
イメージオプティマイズ : 自動写真補正機能で適切な補正を行って印刷されます。

PictBridge (Wireless LAN) 対応機器から印刷するときに使用できる設定は、次のとおりです。

用紙サイズ (ペーパーサイズ)	L 判、2L 判、はがき、六切、A4、KG 4 x 6* * ご使用の PictBridge (Wireless LAN) 対応機器によっては、[10x15] と表示される場合があります。
用紙タイプ (ペーパータイプ)	● 標準設定: キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド/キヤノン写真用紙・光沢/キヤノン写真用紙・絹目調/キヤノン写真用紙・微粒面光沢 ラスター ● フォト: キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド/ピクサスブチシール*/ピクサスブチシール・フリーカット*/フォトシールセット* * シール紙に印刷する場合は、[用紙サイズ] (または [ペーパーサイズ]) で [はがき] を選んでください。また [レイアウト] で [フチなし] を選ばないでください。 ● 高級フォト: キヤノン写真用紙・光沢 プロ [プラチナグレード] ○ 普通紙: A4 サイズの普通紙 [普通紙] が選ばれていると [レイアウト] で [フチなし] を選んでもフチありで印刷されます。
レイアウト	標準設定 (フチなし)、インデックス、フチなし、フチあり、複数面印刷 (2 面、4 面、9 面、16 面) *1、20 面配置*2、35 面配置*3 *1 A4 サイズの用紙またはキヤノン純正シール紙に対応したレイアウトです。 -A4 サイズの用紙: 4 面 -シール紙: 2 面、4 面、9 面、16 面

	*2 キヤノン製 PictBridge (Wireless LAN) 対応機器をご使用の場合、「i マーク」が表示されている項目を選ぶと、撮影時の Exif 情報を一覧 (20 面配置) や指定写真 (1 面配置) の余白に印刷できます (機種によっては設定できない場合があります)。 *3 35 mm フィルムサイズ (べた焼きサイズ) で印刷されます。キヤノン製 PictBridge (Wireless LAN) 対応機器のみ設定できます (機種によっては設定できない場合があります)。
日付／画像番号 (ファイル番号) 印刷	標準設定 (切:印刷しない)、日付、画像番号 (ファイル番号)、両方、切
イメージオプティマイズ (画像補正)	標準設定 (自動写真補正) *1、入 (自動写真補正) *1、切、赤目補正*2 *1 撮影された写真のシーンや被写体の顔などを認識して、それぞれの写真に最適な補正が自動的行われます。逆光などで暗くなった人物の顔を明るくしたり、風景、夜景、人物などのシーンを解析し、各シーンに最適な色あい、明るさ、コントラストに自動的に補正したりして印刷が行われます。 *2 キヤノン製 PictBridge (Wireless LAN) 対応機器のみ設定できます (機種によっては設定できない場合があります)。
トリミング	標準設定 (切:トリミングなし)、入 (カメラ側の設定に従う)、切

コピー



普通紙にコピーする 📄 基本



写真用紙にコピーする



A4 サイズとレターサイズを切り替える



スマートフォン/タブレットを使ってコピー
する

普通紙にコピーする

コピーしたい原稿を原稿台ガラスにセットして、A4 サイズの普通紙にコピーします。

1. [本製品の電源が入っていることを確認する](#)
2. [A4 サイズの普通紙をセットする](#)
3. [原稿台ガラスに原稿をセットする](#)
4. 用紙選択ボタンを押して、上側の用紙ランプを点灯させる



参考

- A4 サイズをレターサイズに変更することもできます。

➡ [A4 サイズとレターサイズを切り替える](#)

5. カラーコピーをする場合はカラーボタンを押す
白黒コピーをする場合はモノクロボタンを押す

コピーが開始されます。

コピー終了後、原稿台ガラスから原稿を取り出してください。

• 2 部以上コピーする場合

コピーする部数だけ、カラーボタンまたはモノクロボタンを繰り返し押してください。

最初に押したボタン（カラーボタンまたはモノクロボタン）と同じボタンを押してください。

• コピーを中止する場合：

ストップボタンを押してください。

重要

- 原稿の読み取りが終わるまで原稿台カバーを開けたり、原稿を原稿台ガラスから取り出したりしないでください。

原稿を読み取っている間は、電源ランプが点滅します。

参考

- 印刷品質を「下書き」（速度優先）に設定してコピーする場合

以下の手順で印刷品質を「下書き」（速度優先）に設定してコピーできます。

1. 手順 5 でカラーボタンまたはモノクロボタンを 2 秒以上押します。

電源ランプが一度点滅します。

2. 押したボタンを離します。

コピーが開始されます。

印刷品質を「下書き」（速度優先）に設定すると、画質よりも速度が優先されます。画質を優先するには、カラーボタンまたはモノクロボタンから 2 秒以下で指を離し、印刷品質を「標準」でコピーしてください。

写真用紙にコピーする

セットした原稿を自動的に拡大／縮小して、L判の写真用紙にフチなしでコピーします。

1. [本製品の電源が入っていることを確認する](#)
2. [L判の写真用紙をセットする](#)
3. [原稿台ガラスに原稿をセットする](#)
4. 用紙選択ボタンを押して、下側の用紙ランプを点灯させる



5. カラーコピーをする場合はカラーボタンを押す
白黒コピーをする場合はモノクロボタンを押す
コピーが開始されます。
コピー終了後、原稿台ガラスから原稿を取り出してください。

- **2部以上コピーする場合**

コピーする部数だけ、カラーボタンまたはモノクロボタンを繰り返し押してください。

最初に押したボタン（カラーボタンまたはモノクロボタン）と同じボタンを押してください。

- **コピーを中止する場合：**

ストップボタンを押してください。

重要

- 原稿の読み取りが終わるまで原稿台カバーを開けたり、原稿を原稿台ガラスから取り出したりしないでください。
原稿を読み取っている間は、電源ランプが点滅します。

参考

- 原稿は用紙全体にコピーされるように少し拡大されるため、画像の周囲がわずかに欠けます。

A4 サイズとレターサイズを切り替える

セットする用紙サイズを、A4 サイズまたはレターサイズに切り替えることができます。

以下の操作を行うと、用紙サイズがレターサイズになります。

1. [本製品の電源が入っていることを確認する](#)
2. ストップボタンを押し続け、エラーランプが 10 回点滅したら離す
電源ランプが点滅します。
3. カラーボタンを押す
電源ランプが点滅から点灯に変わり、用紙サイズが変更されます。

▶▶▶ 参考

- A4 サイズに戻すには、手順 3 でモノクロボタンを押します。
- いったん設定した用紙サイズは、電源を入れ直しても保持されます。

スマートフォン／タブレットを使ってコピーする

Canon PRINT Inkjet/SELPHY をご使用のスマートフォン／タブレットにインストールすると、ご使用のスマートフォン／タブレットの画面で、設定を確認しながらコピーの操作をすることができます。

Canon PRINT Inkjet/SELPHY は App Store や Google Play からダウンロードできます。

1. [本製品の電源が入っていることを確認する](#)
2. [用紙をセットする](#)
3. 本製品とご使用のスマートフォン／タブレットを無線 LAN 接続する
 - 無線 LAN ルーターを使用して接続する場合：
 ➡無線 LAN 接続
 - 無線 LAN ルーターを使用しないで接続する場合：
 ➡[本製品をアクセスポイントモードで使用する](#)
4. ご使用のスマートフォン／タブレットで Canon PRINT Inkjet/SELPHY を起動する
5. Canon PRINT Inkjet/SELPHY で本製品名が表示されていることを確認する
 本製品名が表示されていない場合は、本製品の登録を行ってください。
6. [コピー] をタップする
7. 必要に応じて設定する
 以下の項目を設定することができます。
 - コピーする部数
 - 用紙の種類
 - 用紙のサイズ
 - 倍率
 - 品位
8. [原稿台ガラスに原稿をセットする](#)
9. カラーコピーをする場合は [カラー] をタップする
 白黒コピーをする場合は [モノクロ] をタップする
10. パスワードの入力画面が表示された場合は、パスワードを入力し [OK] をタップする
 コピーが開始されます。

▶▶▶ 参考

- ご購入時には、本製品のシリアルナンバーがパスワードとして設定されています。
 ➡[管理用のパスワードについて](#)

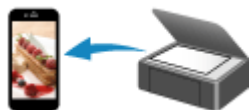
スキャン



パソコンからスキャンしてみよう
(Windows)



パソコンからスキャンしてみよう (Mac OS)



スマートフォン／タブレットを使ってスキ
ャンしてみよう

パソコンからスキャンしてみよう（Windows）

- ▶ IJ Scan Utility でスキャンする
- ▶ お使いのアプリケーションソフトでスキャンする（ScanGear）
- ▶ そのほかのスキャンのしかた
- ▶ IJ Network Scanner Selector EX のメニューと設定画面
- ▶ スキャンの役立つ情報
- ▶ 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）
- ▶ ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法

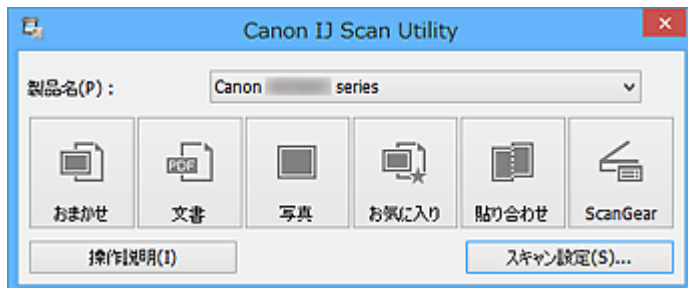
IJ Scan Utility でスキャンする

- ▶ スキャナー用ソフト「IJ Scan Utility」とは
- ▶ IJ Scan Utility を起動する
- ▶ おまかせスキャンでかんたんにスキャンする 🍷基本
- ▶ 文書をスキャンする
- ▶ 写真をスキャンする
- ▶ お気に入りの設定でスキャンする
- ▶ 原稿台より大きな原稿をスキャンする（画像の貼り合わせ）
 - [画像貼り合わせ] ウィンドウでクロップ枠を調整する
- ▶ 複数の原稿を一度にスキャンする
- ▶ スキャン結果を確認して保存する
- ▶ スキャンした画像を E メールに添付して送信する
- ▶ スキャンした画像から文字列を抜き出す（OCR）
- ▶ IJ Scan Utility の画面説明

スキャナー用ソフト「IJ Scan Utility」とは

IJ Scan Utility（アイジェイ・スキャン・ユーティリティー）は、文書や写真などを手軽にスキャンできるアプリケーションソフトです。

IJ Scan Utility 基本画面で目的のアイコンをクリックするだけで、スキャンから保存までを一度に行うことができます。



IJ Scan Utility でできること

目的に合わせてかんたんにスキャン

かんたんにスキャンしたいときは「おまかせ」、文書や雑誌の文字をくっきりさせてスキャンしたいときは「文書」、写真に適した設定でスキャンしたいときは「写真」など、原稿の種類や目的に合ったアイコンをクリックするだけでスキャンできます。

参考

- IJ Scan Utility 基本画面について、詳しくは、「[IJ Scan Utility 基本画面](#)」を参照してください。

スキャンした画像を自動で保存

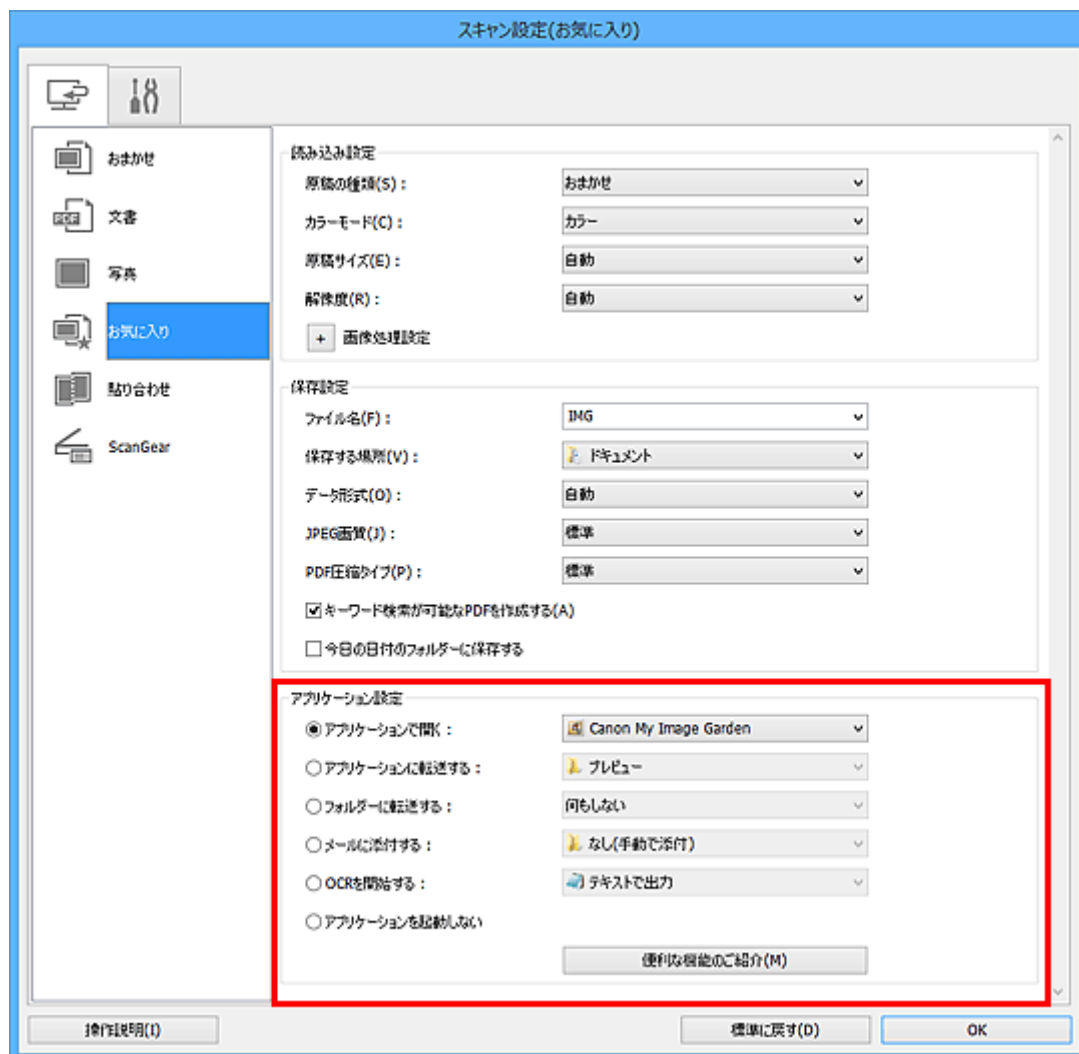
スキャンした画像は、あらかじめ指定されているフォルダーに自動で保存されます。保存先を変更することも可能です。

参考

- 初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。
 - Windows 8.1 : [ドキュメント] フォルダー
 - Windows 8 : [マイ ドキュメント] フォルダー
 - Windows 7 : [マイ ドキュメント] フォルダー
 - Windows Vista : [ドキュメント] フォルダー
 - Windows XP : [マイ ドキュメント] フォルダー
- 保存先の指定方法については、「[スキャン設定ダイアログボックス](#)」を参照してください。

アプリケーションソフトとの連携

スキャンした画像をお好みのアプリケーションソフトで表示したり、メールに添付したり、画像から文字をテキストとして抽出したりするなど、ほかのアプリケーションソフトと連携してスキャン画像を活用することができます。



重要

- いくつかの機能については、My Image Garden がインストールされている場合のみ使用できます。

参考

- 連携するアプリケーションソフトの設定方法については、「[スキャン設定ダイアログボックス](#)」を参照してください。

IJ Scan Utility を起動する

▶▶▶ 参考

- 複数台のスキャナーをお持ちの場合や USB 接続からネットワーク接続へ接続方法を変更した場合は、IJ Scan Utility からネットワーク環境の設定を行ってください。

➡ [ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法](#)

以下の手順に従って、IJ Scan Utility を起動してください。

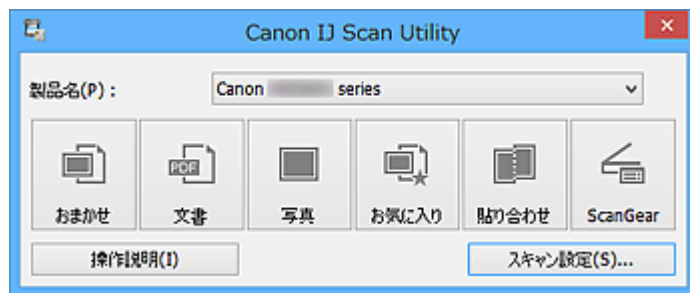
Windows 8.1/Windows 8 の場合：

スタート画面上の [IJ Scan Utility] を選ぶと、IJ Scan Utility が起動します。

スタート画面に [IJ Scan Utility] が表示されない場合は、[検索] チャームを選び、「IJ Scan Utility」を検索してください。

Windows 7/Windows Vista/Windows XP の場合：

[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [Canon Utilities] → [IJ Scan Utility] → [IJ Scan Utility] の順に選ぶと、IJ Scan Utility が起動します。



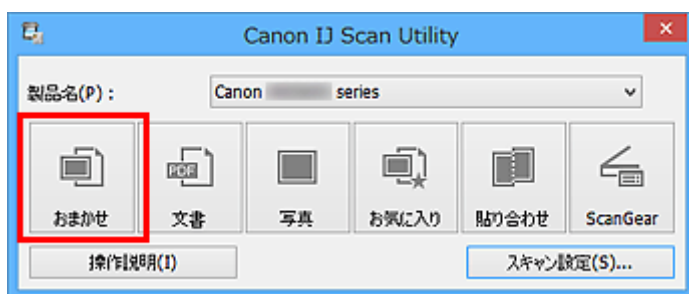
おまかせスキャンでかんたんにスキャンする

原稿の種類を自動で判別し、かんたんにスキャンできます。

重要

- 次のような原稿は、正しくスキャンできないことがあります。その場合は、ScanGear（スキャナードライバー）の全体表示でクロップ枠（スキャンする範囲）を調整して、再度スキャンしてください。
 - 周囲が白っぽい写真
 - 白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など
 - 薄い原稿
 - 厚みのある原稿

1. ご使用のスキャナーまたはプリンターの電源が入っていることを確認
2. ご使用のスキャナーまたはプリンターの原稿台に原稿をセット
➡ [原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）](#)
3. [IJ Scan Utility](#) を起動
4. [おまかせ] をクリック



スキャンが開始されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。
- 原稿の種類に合わせた最適な補正を行いたい場合は、[スキャン設定...] をクリックし、[スキャン設定(おまかせ)] ダイアログボックスで [おすすめの画像補正で処理する] にチェックマークを付けてください。
- スキャンした画像は、[スキャン設定...] をクリックして表示される [\[スキャン設定\(おまかせ\)\] ダイアログボックス](#) で、[保存する場所] に設定したフォルダーに保存されます。[スキャン設定(おまかせ)] ダイアログボックスでは、スキャンするときの詳細な設定もできます。
- 原稿の種類を指定してスキャンしたいときは、以下のページを参照してください。
 - ➡ [写真をスキャンする](#)
 - ➡ [文書をスキャンする](#)
 - ➡ [お気に入りの設定でスキャンする](#)

文書をスキャンする

原稿台にセットされた原稿を、文書に適した設定でスキャンできます。

1. 原稿台に原稿をセット

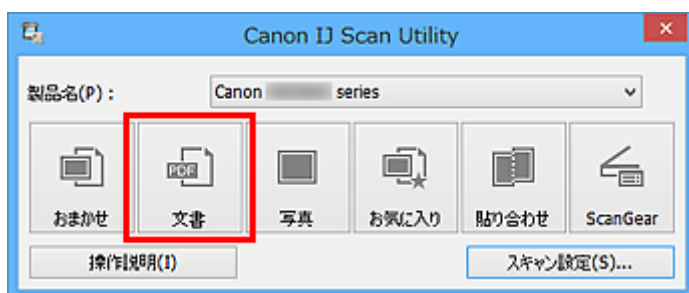
➡ [原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）](#)

2. [IJ Scan Utility](#) を起動

3. 必要に応じて「スキャン設定...」をクリックし、[「スキャン設定\(文書\)」](#) ダイアログボックスで、原稿サイズや解像度などを設定

設定が完了したら「OK」をクリックしてください。

4. 「文書」をクリック



スキャンが開始されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、「キャンセル」をクリックします。
- スキャンした画像は、「スキャン設定...」をクリックして表示される[「スキャン設定\(文書\)」](#)ダイアログボックスで、「保存する場所」に設定したフォルダーに保存されます。「スキャン設定(文書)」ダイアログボックスでは、スキャンするときの詳細な設定もできます。

写真をスキャンする

原稿台にセットされた写真を、写真に適した設定でスキャンできます。

1. 原稿台に写真をセット

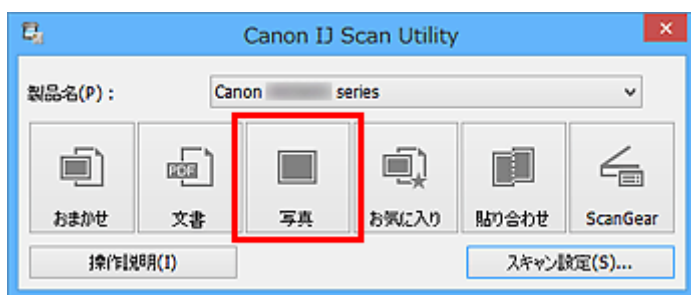
➡ [原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）](#)

2. [IJ Scan Utility](#) を起動

3. 必要に応じて「スキャン設定...」をクリックし、[「スキャン設定\(写真\)」](#) ダイアログボックスで、原稿サイズや解像度などを設定

設定が完了したら「OK」をクリックしてください。

4. 「写真」をクリック



スキャンが開始されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、「キャンセル」をクリックします。
- スキャンした画像は、「スキャン設定...」をクリックして表示される[「スキャン設定\(写真\)」](#)ダイアログボックスで、「保存する場所」に設定したフォルダーに保存されます。「スキャン設定(写真)」ダイアログボックスでは、スキャンするときの詳細な設定もできます。

お気に入りの設定でスキャンする

原稿台にセットされた原稿を、あらかじめ登録しておいたお好みの設定でスキャンできます。

よく使用する設定を登録しておいたり、スキャンの設定を細かく指定したりするときに便利です。

1. [IJ Scan Utility](#) を起動

2. [スキャン設定...] をクリックし、[\[スキャン設定\(お気に入り\)\] ダイアログボックス](#)で、原稿の種類や解像度などを設定

設定が完了したら [OK] をクリックしてください。

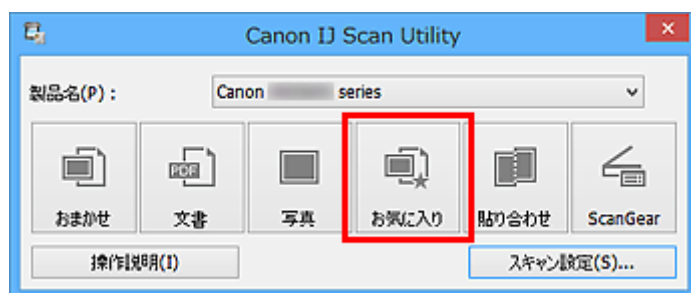
参考

- 1 度設定しておくで、次回以降も同じ設定でスキャンできます。

3. 原稿台に原稿をセット

➡ [原稿のセットのしかた \(パソコンからスキャンする場合\)](#)

4. [お気に入り] をクリック



スキャンが開始されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。
- スキャンした画像は、[スキャン設定...] をクリックして表示される [\[スキャン設定\(お気に入り\)\] ダイアログボックス](#)で、[保存する場所] に設定したフォルダーに保存されます。[スキャン設定(お気に入り)] ダイアログボックスでは、スキャンするときの詳細な設定もできます。

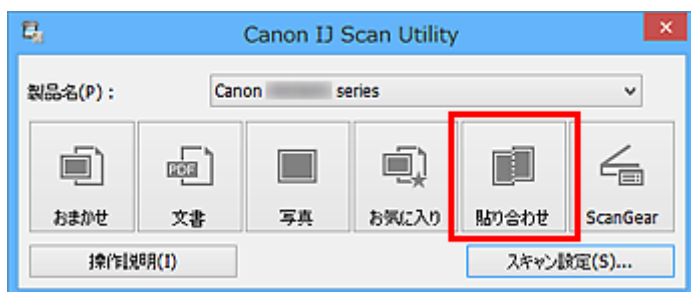
原稿台より大きな原稿をスキャンする（画像の貼り合わせ）

原稿台よりも大きなサイズの原稿を左右に分けてスキャンし、1つの画像に貼り合わせるすることができます。原稿台の約2倍のサイズの原稿まで対応できます。

▶▶▶ 参考

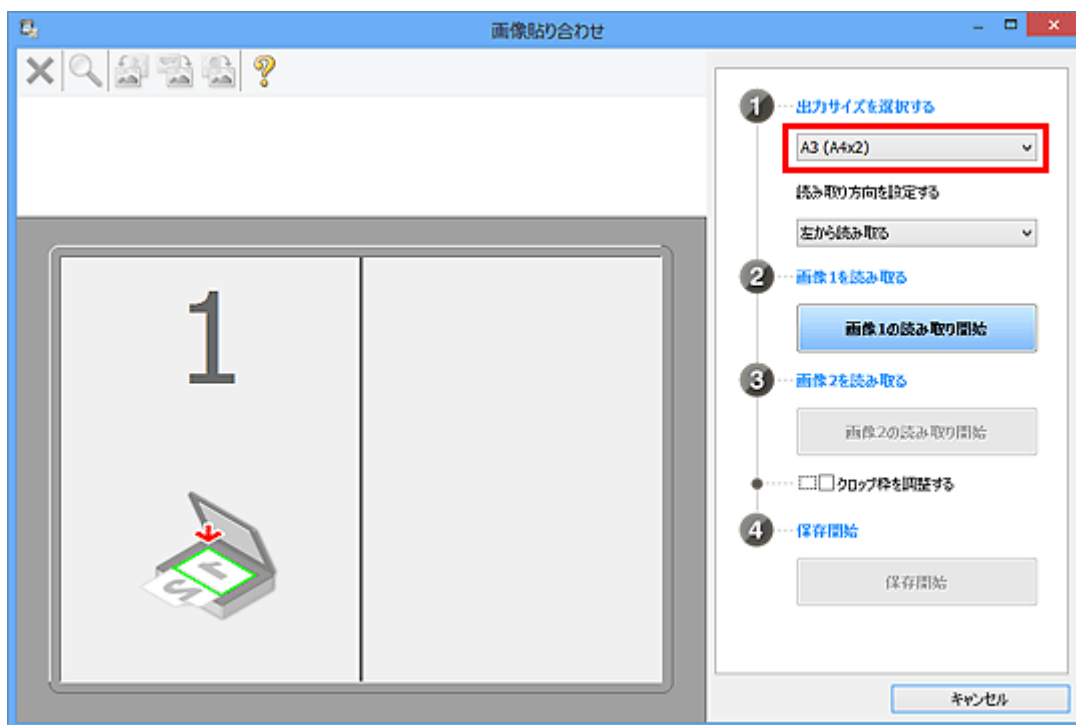
- ここでは、左側に配置する原稿から読み取る手順で説明します。

1. [IJ Scan Utility](#) を起動
2. 必要に応じて「スキャン設定...」をクリックし、[「スキャン設定\(貼り合わせ\)」ダイアログボックス](#)で、原稿の種類や解像度などを設定
設定が完了したら「OK」をクリックしてください。
3. 「貼り合わせ」をクリック

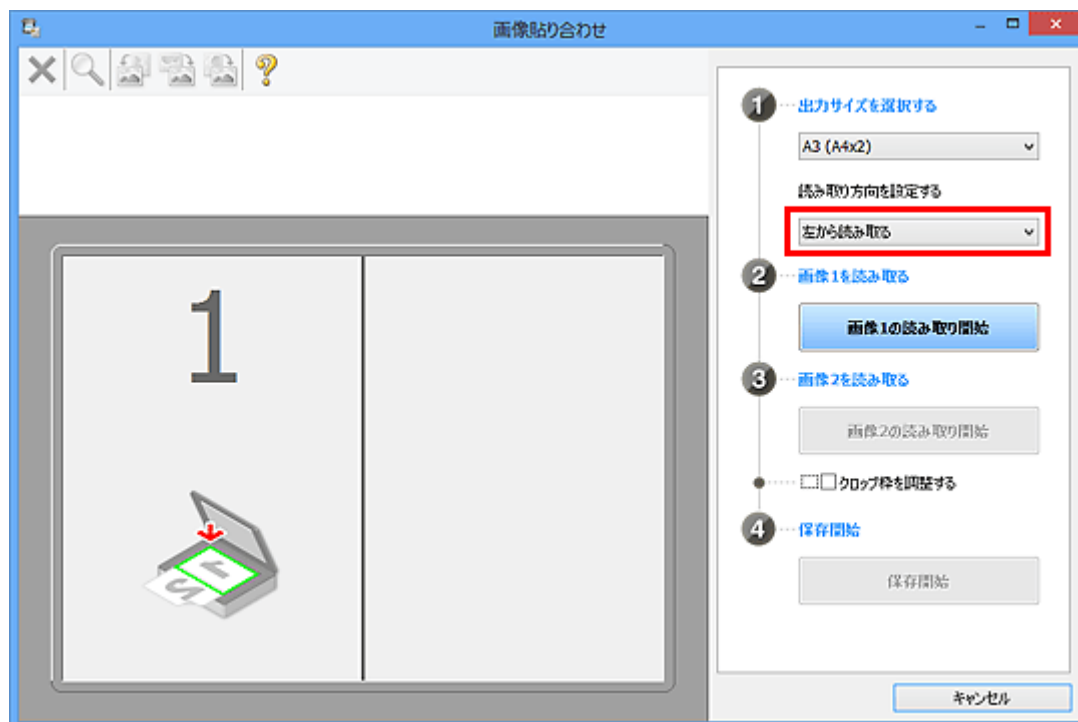


「画像貼り合わせ」ウィンドウが表示されます。

4. 「出力サイズを選択する」で、原稿のサイズに合わせて出力サイズを選択

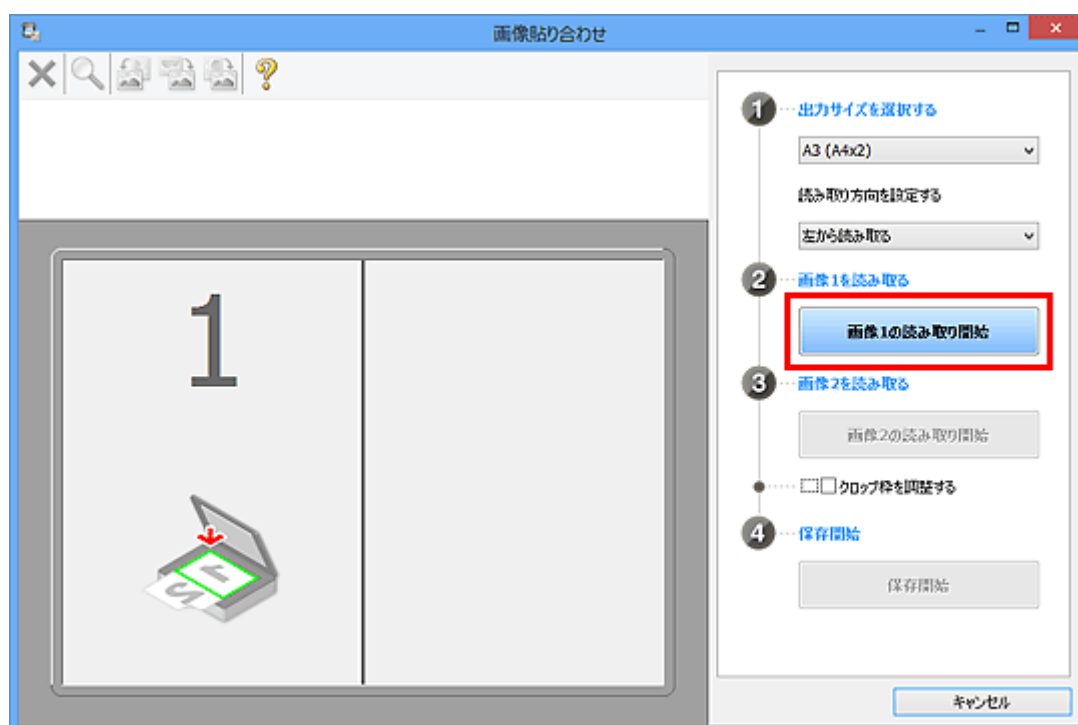


5. 「読み取り方向を設定する」で「左から読み取る」が選ばれていることを確認



6. 画面の左側に配置する原稿を、スキャンする面を下にして原稿台にセット

7. [画像 1 の読み取り開始] をクリック



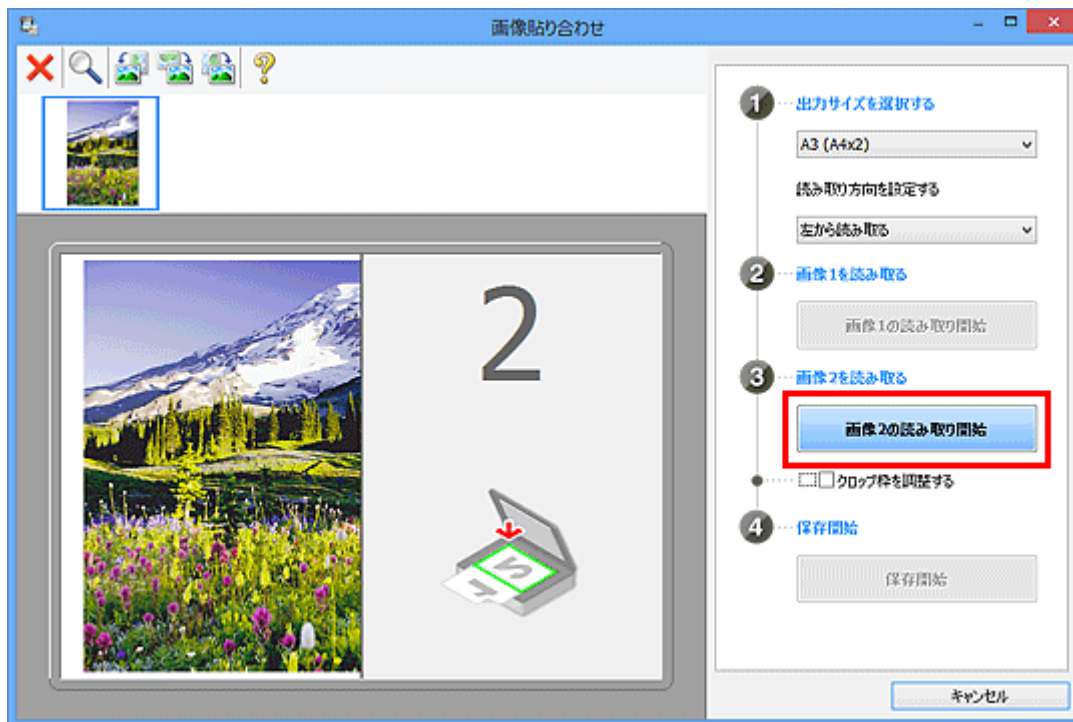
1 枚目の原稿がスキャンされ、[1] に表示されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。

8. 画面の右側に配置する原稿を、スキャンする面を下にして原稿台にセット

9. [画像 2 の読み取り開始] をクリック



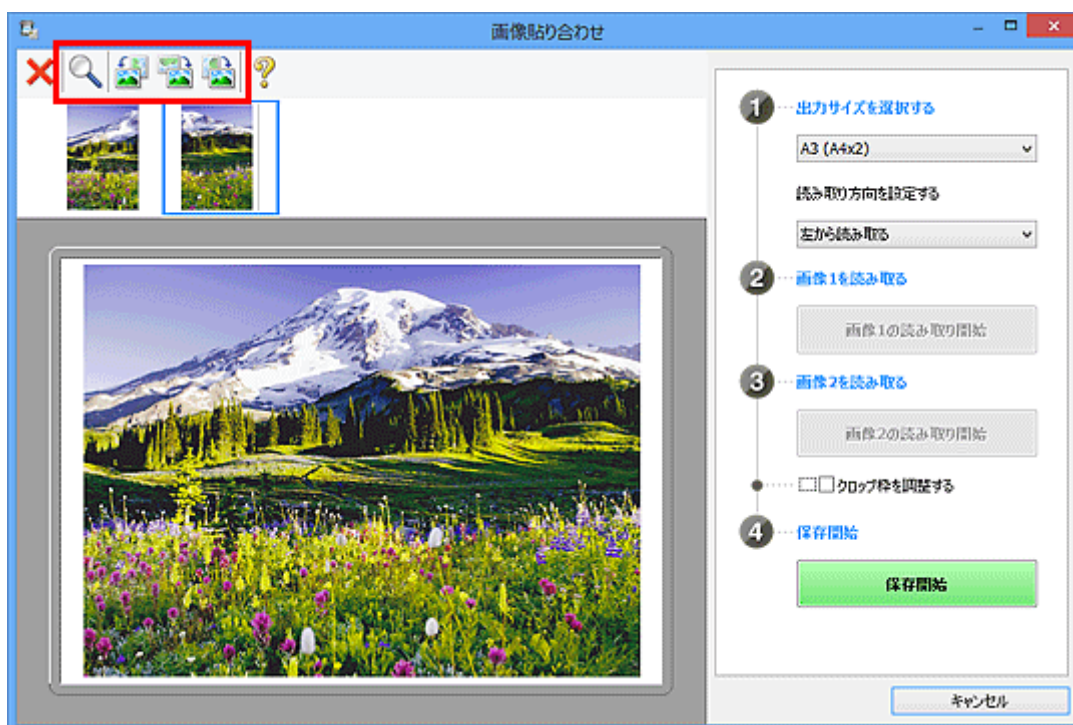
2 枚目の原稿がスキャンされ、[2] に表示されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。

10. 必要に応じて、取り込んだ画像を調整

ツールバーを使用して回転や拡大／縮小表示したり、画像をドラッグして配置を調整したりします。



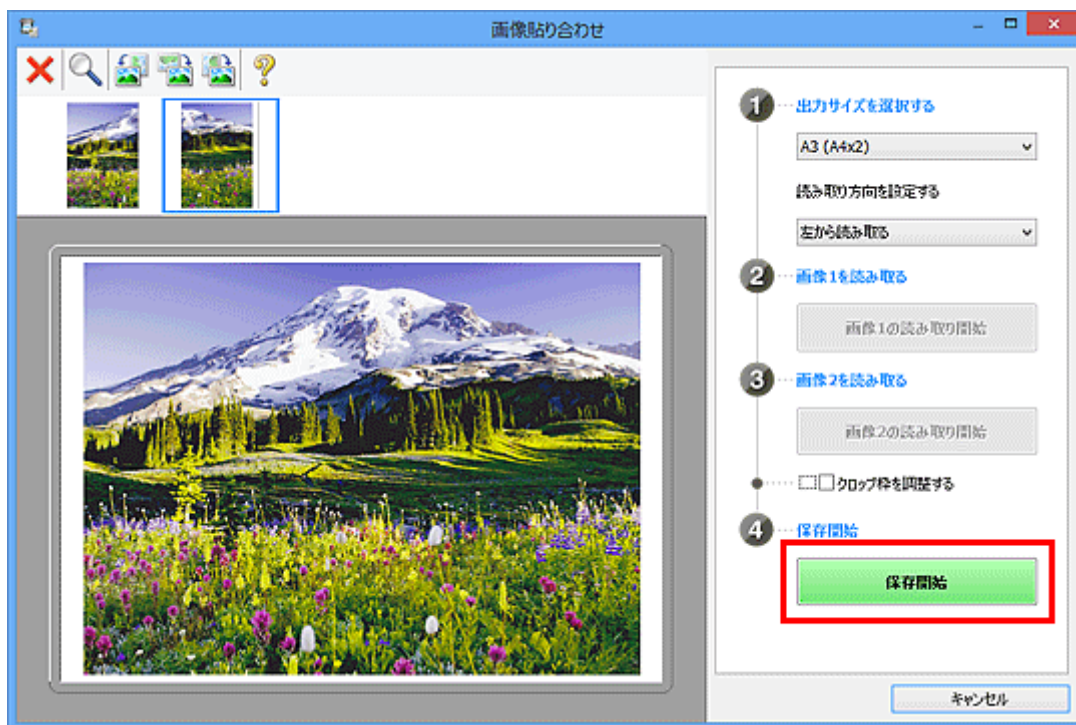
参考

- [クロップ枠を調整する] にチェックマークを付けると、保存する範囲を指定することができます。

➡ [\[画像貼り合わせ\] ウィンドウでクロップ枠を調整する](#)

- 原稿をスキャンし直したい場合は、プレビュー領域の画像または画面上側のサムネイル画像を選び、（削除）をクリックしてください。選んだ画像が削除され、再度原稿をスキャンできるようになります。

11. [保存開始] をクリック



貼り合わせた画像が保存されます。

参考

- [画像貼り合わせ] ウィンドウについて、詳しくは、「[\[画像貼り合わせ\] ウィンドウ](#)」を参照してください。
- [スキャン設定...] をクリックして表示される [\[スキャン設定\(貼り合わせ\)\] ダイアログボックス](#)で、スキャンするときの詳細な設定ができます。

「画像貼り合わせ」ウィンドウでクロップ枠を調整する

画像の必要な範囲だけを選び、スキャンするときに不要な部分を取り除くことを「クロップ」といいます。

「画像貼り合わせ」ウィンドウでは、プレビュー領域に表示された画像に対してクロップ枠を指定できます。

参考

- ScanGear（スキャナードライバー）でクロップ枠を調整する方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）」を参照してください。

クロップ枠の初期状態

クロップ枠は指定されていません。[クロップ枠を調整する] にチェックマークを付けると、プレビュー領域内の画像の周囲にアクティブなクロップ枠が自動で指定されます。クロップ枠をドラッグして、範囲を指定することもできます。

スキャンを実行すると、クロップ枠で指定された範囲の画像が読み込まれます。

クロップ枠の調整

カーソルをクロップ枠上に合わせると、形状が （矢印）に変わります。そのままマウスをドラッグすると、クロップ枠が拡大／縮小します。



カーソルをクロップ枠の内側に合わせると、形状が （プラスの矢印）に変わります。そのままマウスをドラッグすると、クロップ枠全体が移動します。



クロップ枠の削除

クロップ枠を削除するには、[クロップ枠を調整する] のチェックマークを外します。

複数の原稿を一度にスキャンする

原稿台にセットした 2 枚以上の写真（小さいサイズの前稿）を一度にまとめてスキャンし、画像を 1 枚ずつ保存できます。

重要

- 次のような原稿は、正しくスキャンできないことがあります。その場合は、ScanGear（スキャナードライバー）の全体表示でクロップ枠（スキャンする範囲）を調整して、再度スキャンしてください。
 - 周囲が白っぽい写真
 - 白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など
 - 薄い原稿
 - 厚みのある原稿

詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「ScanGear（スキャナードライバー）」で複数の原稿を一度にスキャンする」を参照してください。

おまかせスキャンの場合：

原稿が複数あるかどうかは自動で判別されます。IJ Scan Utility 基本画面で「おまかせ」をクリックし、スキャンしてください。

➡ [おまかせスキャンでかんたんにスキャンする](#)

おまかせスキャン以外の場合：

スキャン設定ダイアログボックスで、「原稿サイズ」を「自動読取」に設定し、スキャンしてください。

参考

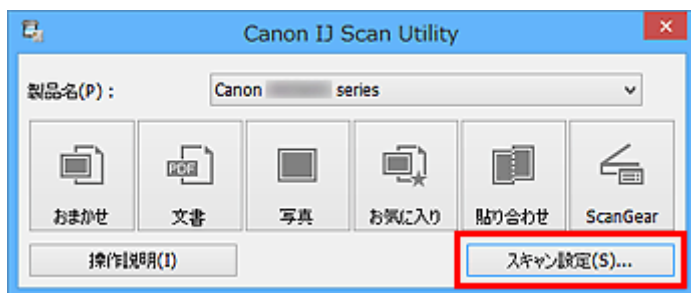
- お気に入りの設定でスキャンするときに表示される画面を例に説明しています。

1. 原稿台に原稿をセット

➡ [原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）](#)

2. IJ Scan Utility を起動

3. 「スキャン設定...」をクリック

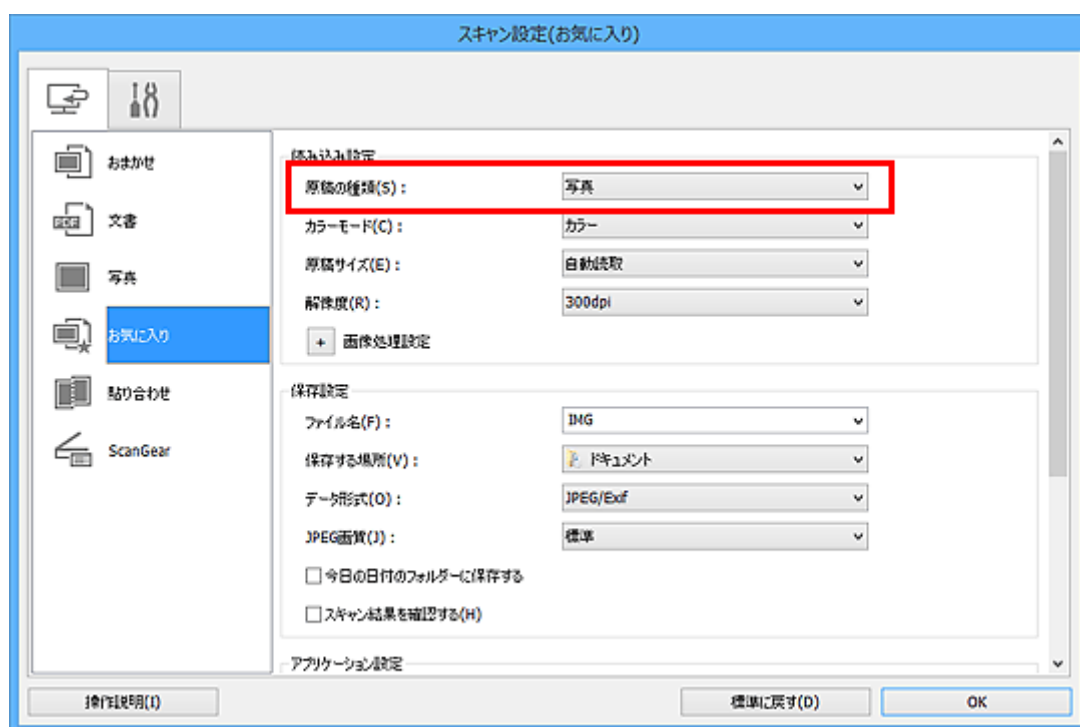


スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。

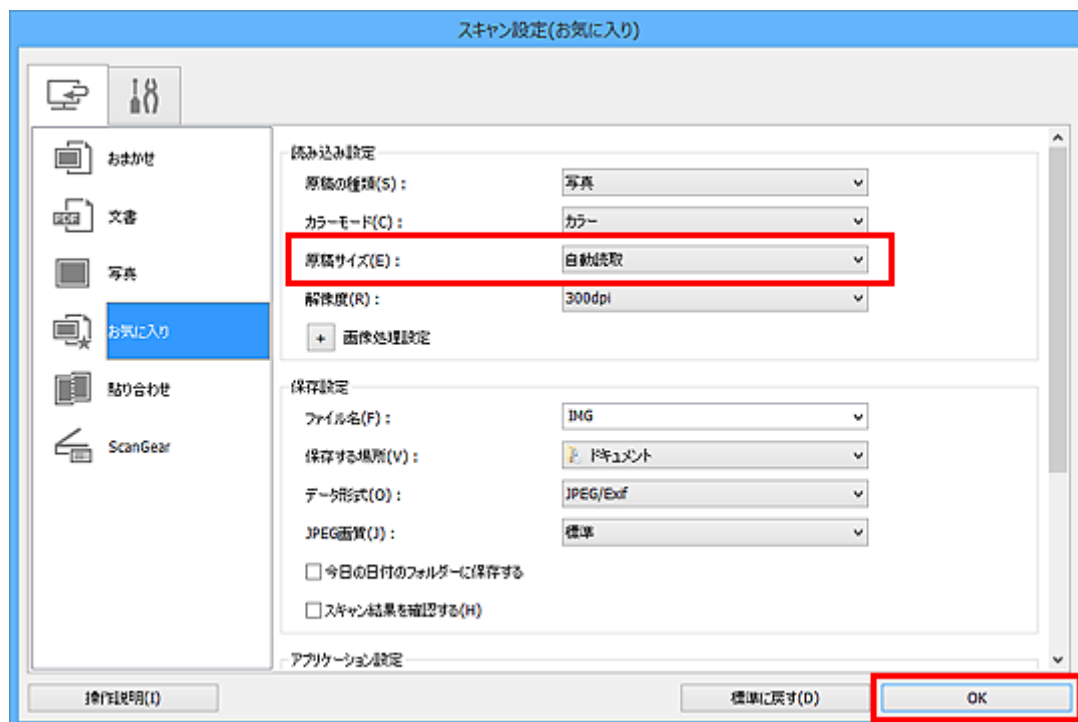
4. 「お気に入り」をクリック



5. スキャンする原稿に合わせて、[原稿の種類] を選択



6. [原稿サイズ] で [自動読取] を選択し、[OK] をクリック

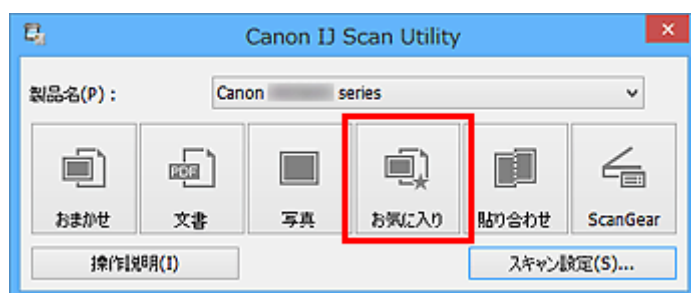


IJ Scan Utility 基本画面が表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの設定項目について、詳しくは以下のページを参照してください。
 - ➡ [\[スキャン設定\(文書\)\] ダイアログボックス](#)
 - ➡ [\[スキャン設定\(写真\)\] ダイアログボックス](#)
 - ➡ [\[スキャン設定\(お気に入り\)\] ダイアログボックス](#)

7. [お気に入り] をクリック



複数の原稿が一度にまとめてスキャンされます。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。
- スキャンした画像は、[スキャン設定...] をクリックして表示される各スキャン設定ダイアログボックスで、[保存する場所] に設定したフォルダーに保存されます。各スキャン設定ダイアログボックスでは、スキャンするときの詳細な設定もできます。

スキャン結果を確認して保存する

スキャン結果を確認して画像をパソコンに保存することができます。

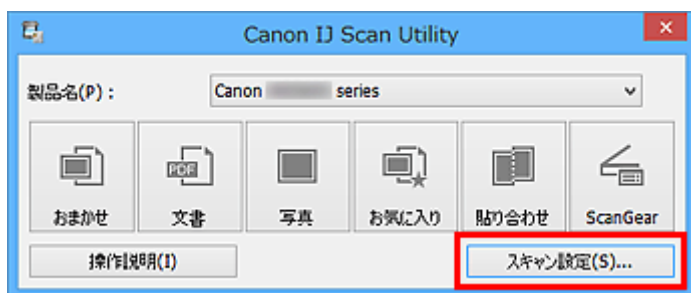
重要

- [おまかせ] スキャンからスキャンした場合は、スキャン結果を確認して保存することはできません。

参考

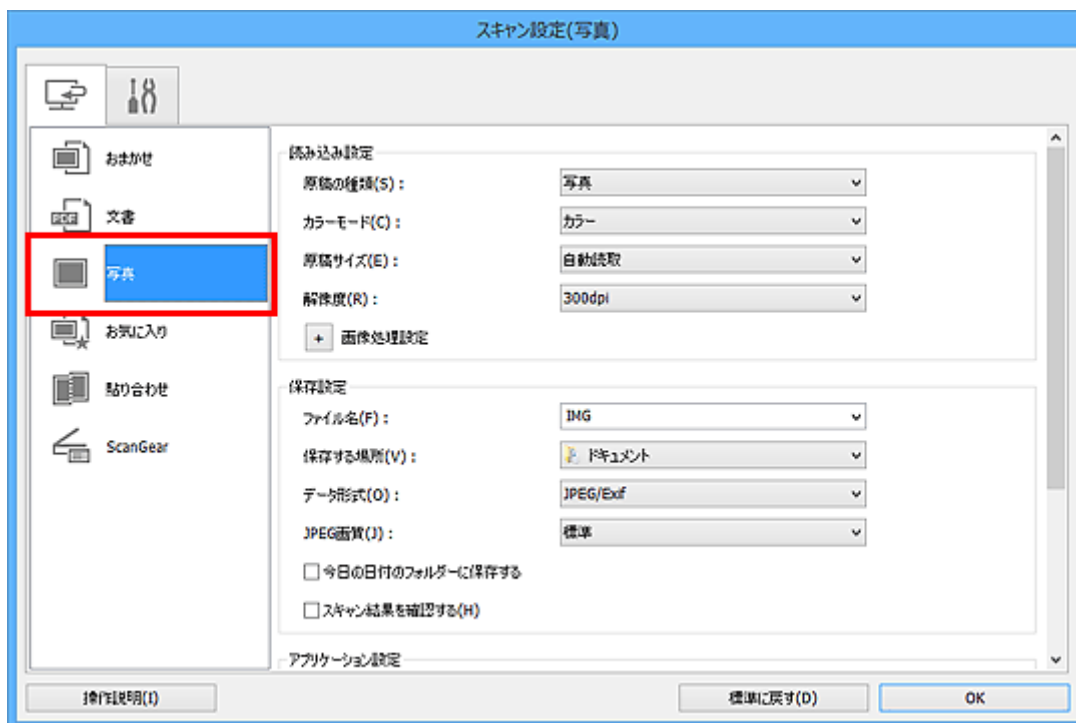
- 写真をスキャンするときに表示される画面を例に説明しています。

1. [IJ Scan Utility](#) を起動
2. [スキャン設定...] をクリック



[スキャン設定ダイアログボックス](#)が表示されます。

3. [写真] をクリック



4. [スキャン結果を確認する] にチェックマークを付け、[OK] をクリック

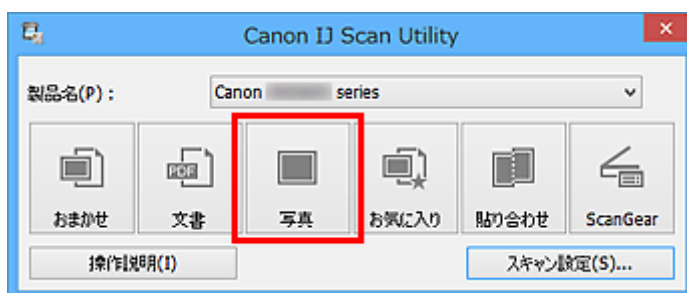


IJ Scan Utility 基本画面が表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの設定項目について、詳しくは以下のページを参照してください。
 - ➡ [\[スキャン設定\(文書\)\] ダイアログボックス](#)
 - ➡ [\[スキャン設定\(写真\)\] ダイアログボックス](#)
 - ➡ [\[スキャン設定\(お気に入り\)\] ダイアログボックス](#)
 - ➡ [\[スキャン設定\(貼り合わせ\)\] ダイアログボックス](#)
 - ➡ [\[スキャン設定\(ScanGear\)\] ダイアログボックス](#)

5. [写真] をクリック



スキャンが開始されます。

スキャン終了後に、[保存設定] ダイアログボックスが表示されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。

6. 必要に応じて画像の順番やファイルの保存方法を変更

[\[保存設定\] ダイアログボックス](#)で、画像の順番やファイルの保存方法を変更することができます。

参考

- 初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。
 - Windows 8.1 : [ドキュメント] フォルダー
 - Windows 8 : [マイ ドキュメント] フォルダー
 - Windows 7 : [マイ ドキュメント] フォルダー
 - Windows Vista : [ドキュメント] フォルダー
 - Windows XP : [マイ ドキュメント] フォルダー

7. [OK] をクリック

スキャンした画像が設定どおりに保存されます。

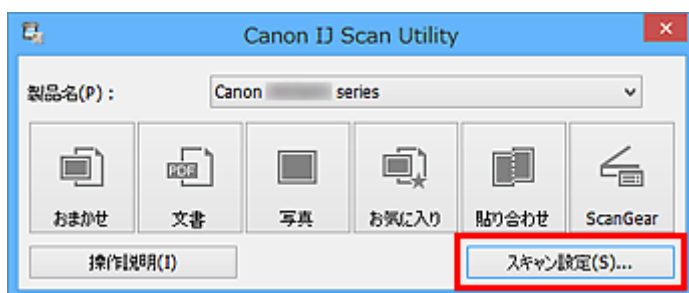
スキャンした画像を E メールに添付して送信する

スキャンした画像データを E メールに添付して送信することができます。

参考

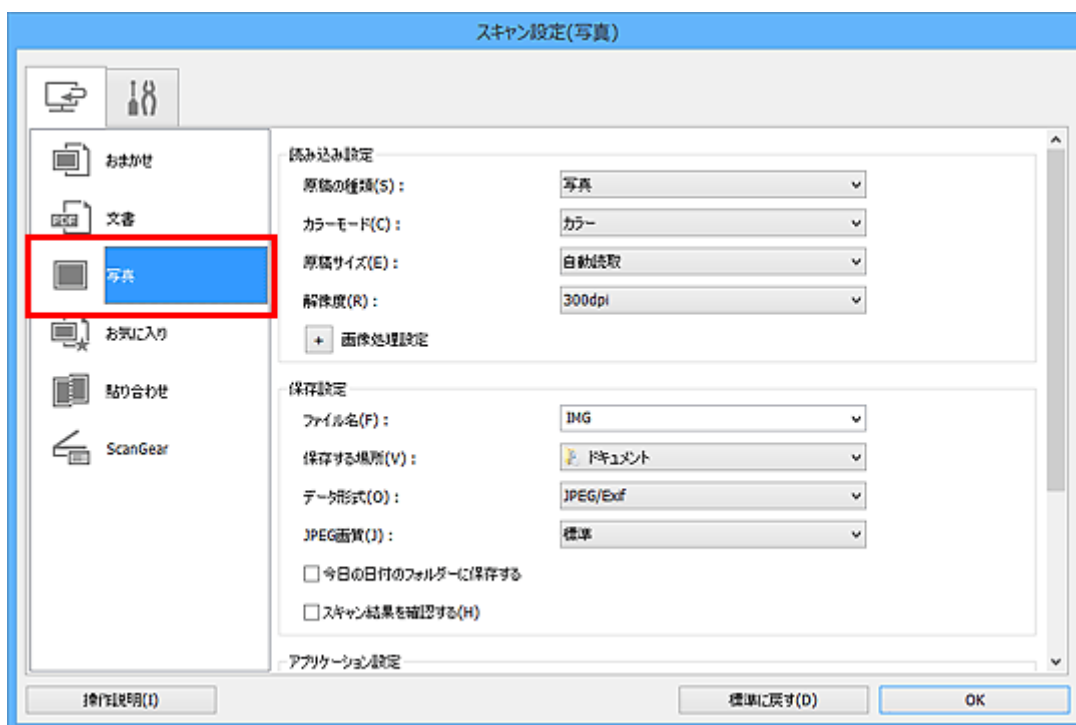
- 写真をスキャンするときに表示される画面を例に説明しています。

1. [IJ Scan Utility を起動](#)
2. [スキャン設定...] をクリック

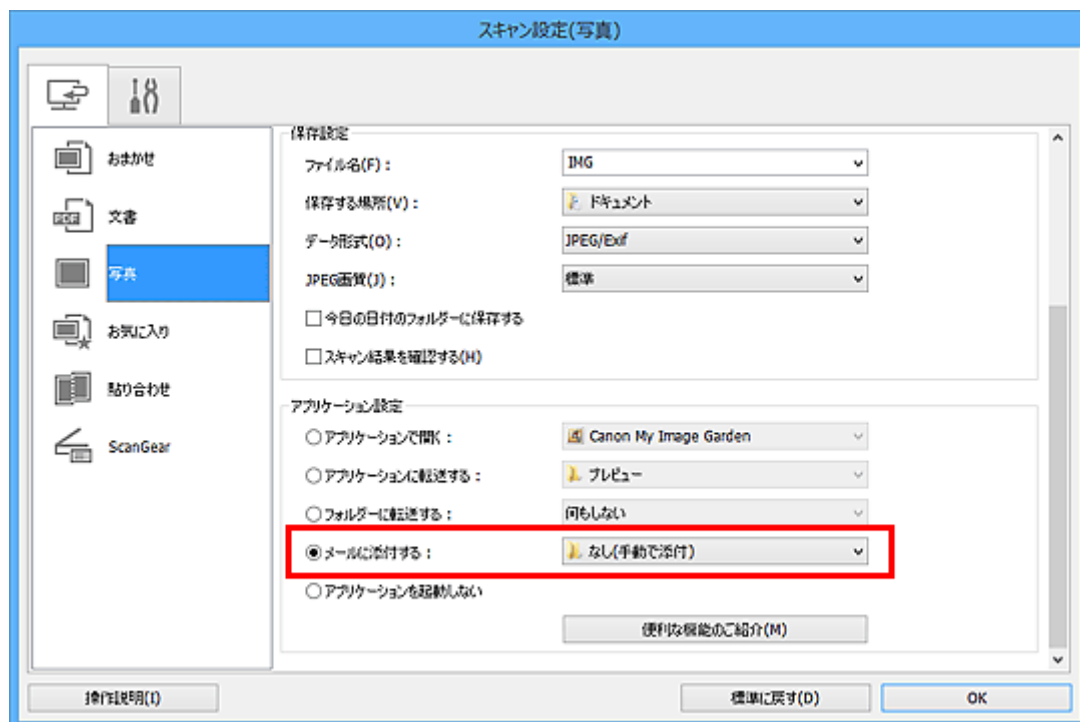


[スキャン設定ダイアログボックス](#)が表示されます。

3. [写真] をクリック



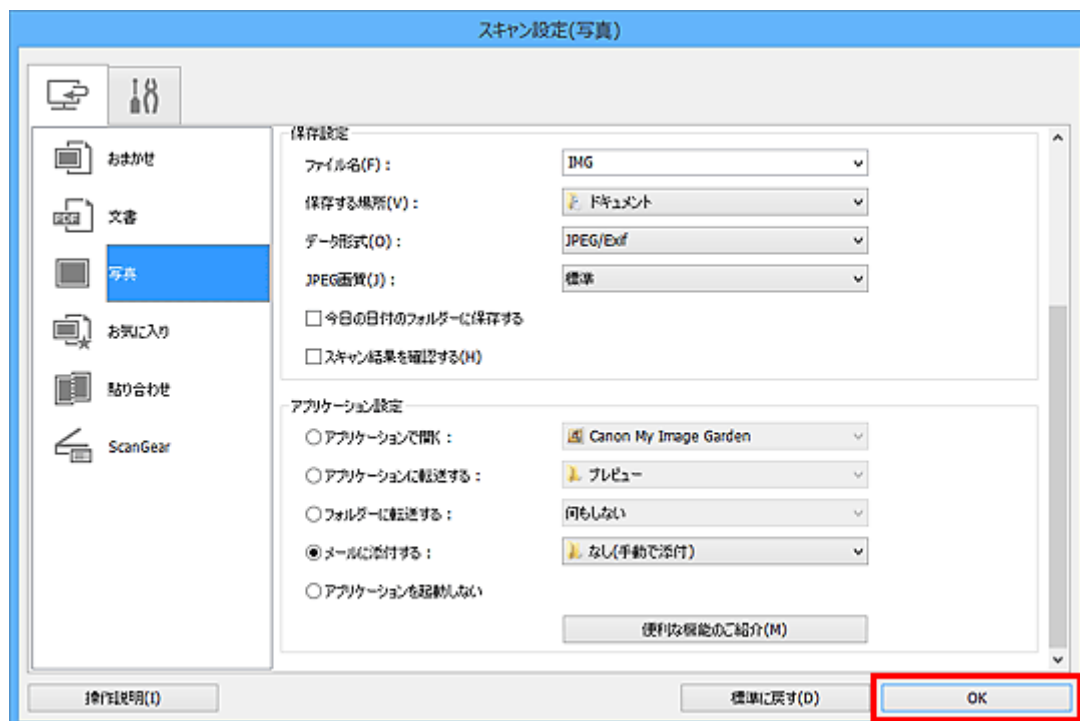
4. [アプリケーション設定] で [メールに添付する] を選び、メールソフトを選択



参考

- プルダウンメニューから添付するメールソフトを追加することもできます。
- [なし(手動で添付)] を選択した場合、スキャン後に保存された画像を手動でメールに添付してください。

5. [OK] をクリック



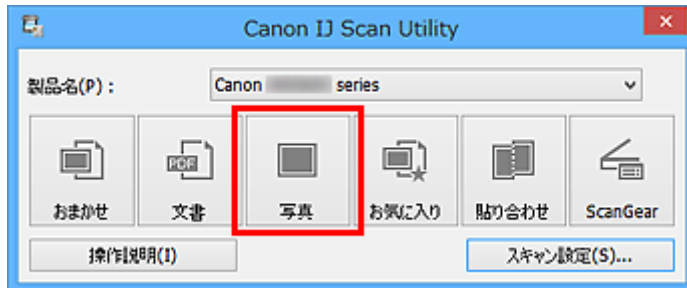
IJ Scan Utility 基本画面が表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの設定項目について、詳しくは以下のページを参照してください。

- ➡ [\[スキャン設定\(おまかせ\)\] ダイアログボックス](#)
- ➡ [\[スキャン設定\(文書\)\] ダイアログボックス](#)
- ➡ [\[スキャン設定\(写真\)\] ダイアログボックス](#)
- ➡ [\[スキャン設定\(お気に入り\)\] ダイアログボックス](#)
- ➡ [\[スキャン設定\(ScanGear\)\] ダイアログボックス](#)

6. [写真] をクリック



スキャンが開始されます。

スキャン終了後、指定したメールソフトが起動し、新規メールに画像が添付されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。
- スキャン画像は、スキャン設定ダイアログボックスに設定した内容で保存されます。
- スキャン設定ダイアログボックスで、[スキャン結果を確認する] にチェックマークを付けた場合、[\[保存設定\] ダイアログボックス](#)が表示されます。保存方法を設定し、[OK] をクリックすると、スキャン画像が保存され、自動で指定したメールソフトの新規メールに添付されます。

7. 宛先を指定し、件名や本文を入力してメールを送信

メールの設定については、ご使用のメールソフトの取扱説明書を参照してください。

スキャンした画像から文字列を抜き出す（OCR）

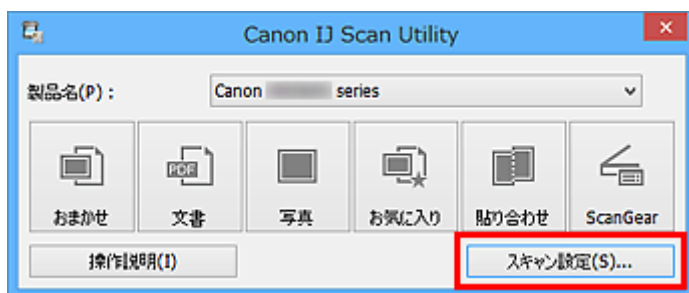
画像としてスキャンした雑誌や新聞などの活字を、ワープロソフトなどで編集可能なテキスト（文字）データに変換することができます。

参考

- [文書]、[お気に入り]、または [ScanGear] でスキャンするときに、文字列を抜き出すことができます。
- 文書をスキャンするときに表示される画面を例に説明しています。

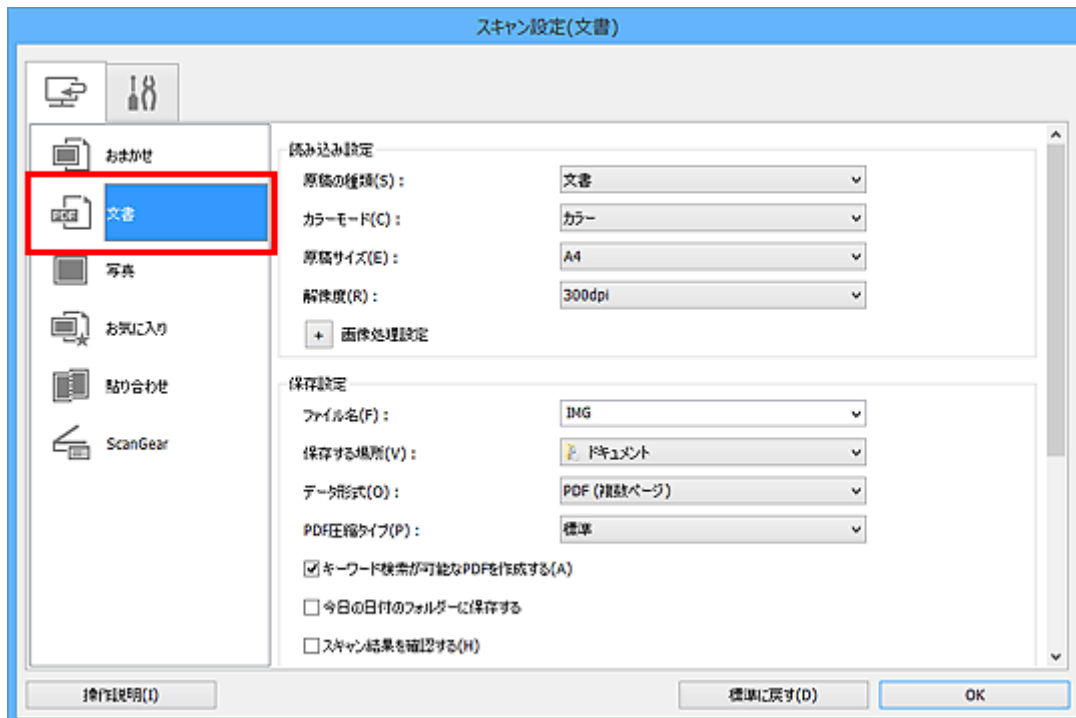
1. [IJ Scan Utility](#) を起動

2. [スキャン設定...] をクリック



[スキャン設定ダイアログボックス](#)が表示されます。

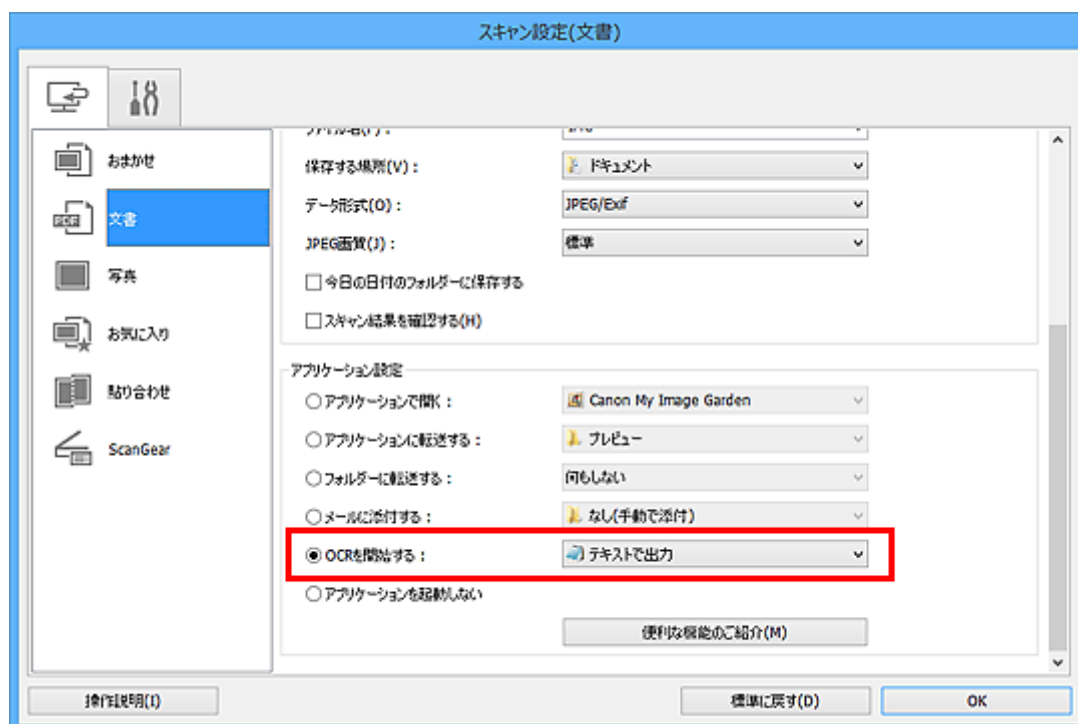
3. [文書] をクリック



参考

- [解像度] は、[アプリケーション設定] で [OCR を開始する] を選ぶと、[300dpi] または [400dpi] のみ設定できます。

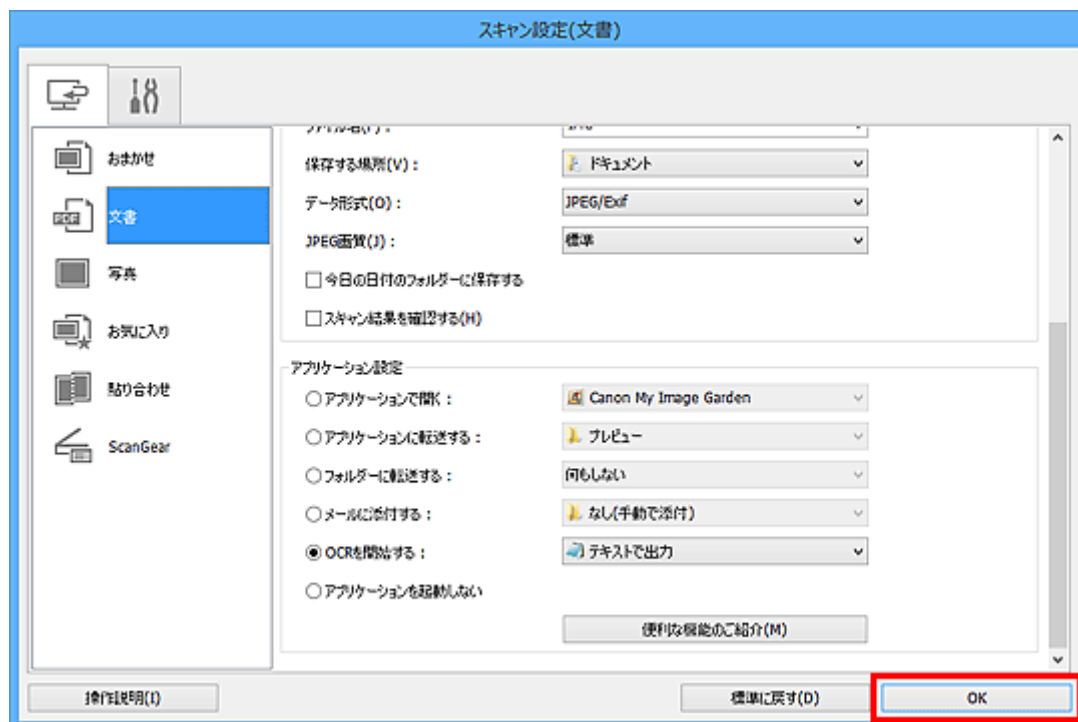
4. [アプリケーション設定] で [OCR を開始する] を選択し、結果を表示させたいアプリケーションソフトを選択



参考

- 対応するアプリケーションソフトがインストールされていない場合は、画像内の文字列を抽出し、ご使用のテキストエディタに表示します。
表示される文字列は、[\[スキャン設定\(基本設定\)\] ダイアログボックス](#)の「文書の言語」を基準としています。「文書の言語」で、抽出したい言語を選んでからスキャンしてください。
- プルダウンメニューからアプリケーションソフトを追加することもできます。

5. [OK] をクリック

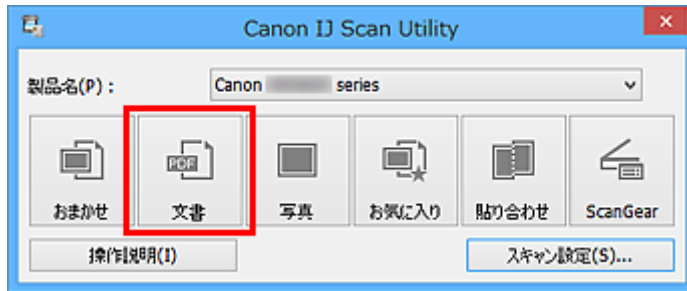


IJ Scan Utility 基本画面が表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの設定項目について、詳しくは以下のページを参照してください。
 - ➡ [\[スキャン設定\(文書\)\] ダイアログボックス](#)
 - ➡ [\[スキャン設定\(お気に入り\)\] ダイアログボックス](#)
 - ➡ [\[スキャン設定\(ScanGear\)\] ダイアログボックス](#)

6. [文書] をクリック



スキャンが開始されます。

スキャン終了後、設定した内容でスキャン画像が保存され、指定したアプリケーションソフトに抜き出された文字列が表示されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。
- ご使用のテキストエディタに表示される文字列は簡易的なものであり、次のような原稿は、画像内の文字を正しく認識できない場合があります。
 - 文字サイズが 8 ポイント～40 ポイント（300 dpi 時）の範囲外の文字を含む原稿
 - 傾いた原稿
 - 上下が逆になっている原稿や文字が横になっているなど、文字の方向が正しくない原稿
 - 特殊なフォント、飾り文字、斜体（イタリック）、手書きの文字を含む原稿
 - 文字の行間が狭い原稿
 - 文字の背景に色がついた原稿
 - 複数の言語を含む原稿

IJ Scan Utility の画面説明

➤ IJ Scan Utility 基本画面

➤ スキャン設定ダイアログボックス

- [スキャン設定(おまかせ)] ダイアログボックス
- [スキャン設定(文書)] ダイアログボックス
- [スキャン設定(写真)] ダイアログボックス
- [スキャン設定(お気に入り)] ダイアログボックス
- [スキャン設定(貼り合わせ)] ダイアログボックス
- [スキャン設定(ScanGear)] ダイアログボックス
- [スキャン設定(基本設定)] ダイアログボックス

➤ [保存設定] ダイアログボックス

➤ [画像貼り合わせ] ウィンドウ

IJ Scan Utility 基本画面

以下の手順に従って、IJ Scan Utility を起動してください。

Windows 8.1/Windows 8 の場合：

スタート画面上の [IJ Scan Utility] を選ぶと、IJ Scan Utility が起動します。

スタート画面に [IJ Scan Utility] が表示されない場合は、[検索] チャームを選び、「IJ Scan Utility」を検索してください。

Windows 7/Windows Vista/Windows XP の場合：

[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [Canon Utilities] → [IJ Scan Utility] → [IJ Scan Utility] の順に選ぶと、IJ Scan Utility が起動します。

目的のアイコンをクリックするだけで、スキャンから保存までを一度に行うことができます。



【製品名】

現在 IJ Scan Utility に設定されている製品名が表示されます。

ほかの製品名が表示されている場合は、ご使用になる製品名を選んでください。

また、ネットワーク接続を使用する場合は、一覧から製品名の後ろに「Network」が表示されている項目を選んでください。

▶▶▶ 参考

- ネットワーク環境の設定方法は、「[ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法](#)」を参照してください。

【おまかせ】

原稿の種類を自動で判別し、パソコンに保存します。保存するデータ形式も自動で設定されます。

[\[スキャン設定\(おまかせ\)\] ダイアログボックス](#)で、保存の詳細やスキャン後の動作を設定することができます。

【文書】

原稿を文書としてスキャンし、パソコンに保存します。

[\[スキャン設定\(文書\)\] ダイアログボックス](#)で、スキャンや保存の詳細、スキャン後の動作を設定することができます。

【写真】

原稿を写真としてスキャンし、パソコンに保存します。

[\[スキャン設定\(写真\)\] ダイアログボックス](#)で、スキャンや保存の詳細、スキャン後の動作を設定することができます。

【お気に入り】

お好みの設定で原稿をスキャンし、パソコンに画像を保存します。原稿の種類を自動で判別することもできます。

[\[スキャン設定\(お気に入り\)\] ダイアログボックス](#)で、スキャンや保存の詳細、スキャン後の動作を設定することができます。

[貼り合わせ]

【画像貼り合わせ】 ウィンドウが表示され、原稿台よりも大きいサイズの原稿を、左右に分けてスキャンし、画像を貼り合わせて 1 つの画像にすることができます。

[\[スキャン設定\(貼り合わせ\)\] ダイアログボックス](#)で、スキャンや保存の詳細、スキャン後の動作を設定することができます。

[ScanGear]

ScanGear（スキャナードライバー）を起動し、画像補正や色調整を行ってきれいにスキャンすることができます。

[\[スキャン設定\(ScanGear\)\] ダイアログボックス](#)で、スキャンや保存の詳細、アプリケーションソフトを設定することができます。

[操作説明]

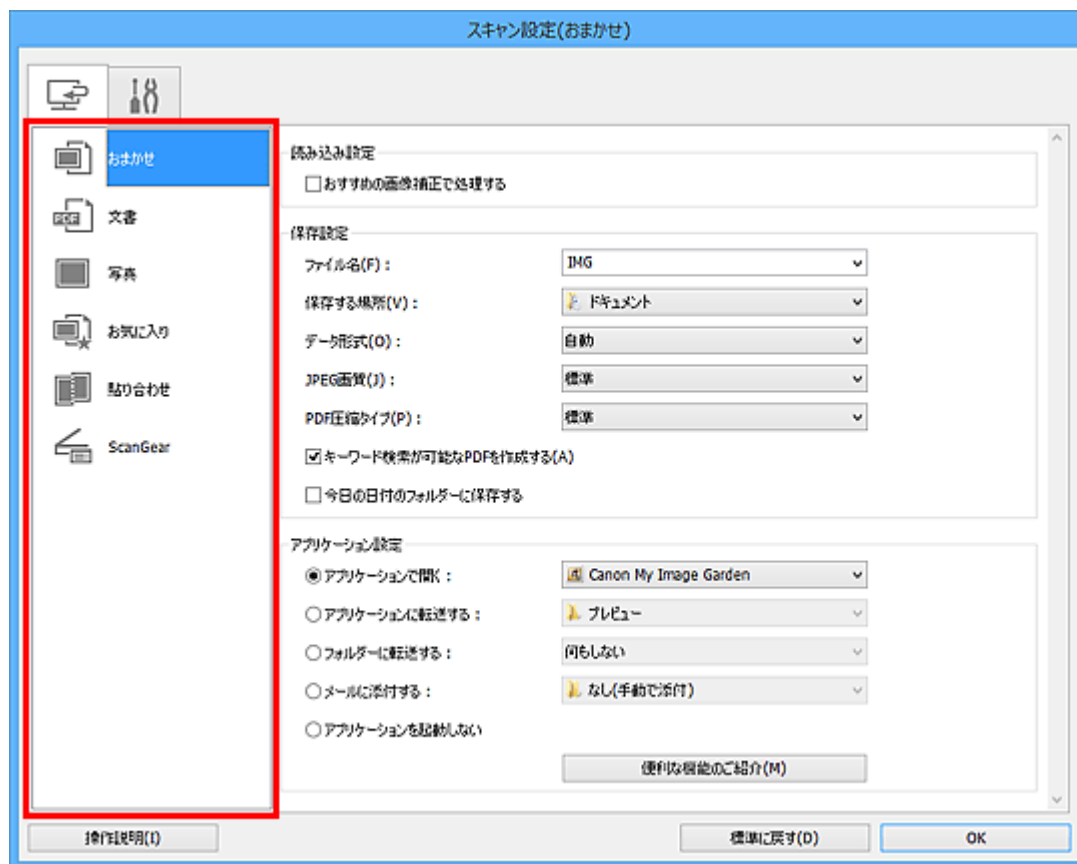
本マニュアルを表示します。

[スキャン設定...]

[スキャン設定ダイアログボックス](#)が表示され、スキャンや保存の詳細、スキャン後の動作を設定することができます。

スキャン設定ダイアログボックス

スキャン設定ダイアログボックスには、 (パソコンからスキャン)、 (基本設定) の2つのシートがあります。それぞれのタブをクリックすると、赤枠内の表示が切り替わり、各シートで機能ごとの詳細な設定ができます。



(パソコンからスキャン) シート

IJ Scan Utility や My Image Garden からスキャンするときの動作を設定することができます。

- ➡ [\[スキャン設定\(おまかせ\)\] ダイアログボックス](#)
- ➡ [\[スキャン設定\(文書\)\] ダイアログボックス](#)
- ➡ [\[スキャン設定\(写真\)\] ダイアログボックス](#)
- ➡ [\[スキャン設定\(お気に入り\)\] ダイアログボックス](#)
- ➡ [\[スキャン設定\(貼り合わせ\)\] ダイアログボックス](#)
- ➡ [\[スキャン設定\(ScanGear\)\] ダイアログボックス](#)

(基本設定) シート

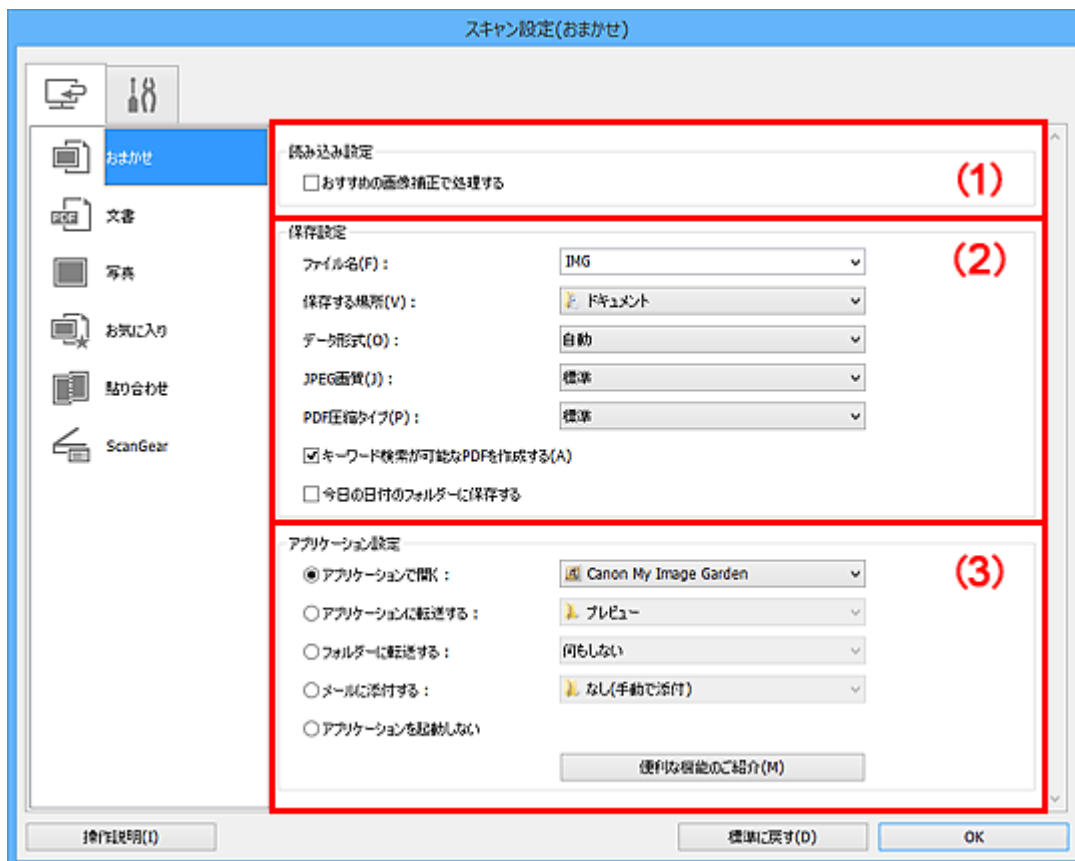
ご使用になる製品、メールに添付するファイルのサイズ制限、画像内の文字列を認識させるための言語、および画像を一時的に保存するフォルダーを設定することができます。

- ➡ [\[スキャン設定\(基本設定\)\] ダイアログボックス](#)

[スキャン設定(おまかせ)] ダイアログボックス

 (パソコンからスキャン) シートで [おまかせ] をクリックすると、[スキャン設定(おまかせ)] ダイアログボックスが表示されます。

[スキャン設定(おまかせ)] ダイアログボックスでは、原稿を自動で判別してスキャンするときの詳細な設定をすることができます。



- ⇒ [\(1\) 読み込み設定エリア](#)
- ⇒ [\(2\) 保存設定エリア](#)
- ⇒ [\(3\) アプリケーション設定エリア](#)

重要

- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、[アプリケーション設定] の設定項目は表示されません。

利用できる原稿

写真、はがき、名刺、雑誌、新聞、文書、BD/DVD/CD

重要

- 次のような原稿は、[スキャン設定(文書)] ダイアログボックスや [スキャン設定(写真)] ダイアログボックス、[スキャン設定(お気に入り)] ダイアログボックスで原稿の種類やサイズを指定し、IJ Scan Utility 基本画面で [文書] や [写真]、[お気に入り] をクリックしてスキャンしてください。[おまかせ] では、正しくスキャンすることができません。
 - A4 サイズの写真
 - 2L 判 (127 mm x 178 mm) (5 inches x 7 inches) より小さいサイズの文書原稿 (例、文庫本の背表紙を切り落とした原稿など)
 - 下地が白く、紙質が薄い原稿

- パノラマ写真などの細長い原稿
 - ディスクのレーベル面が鏡面状の場合、期待どおりにスキャンできないことがあります。
 - スキャンする原稿は、原稿台に正しくセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては正しくスキャンできない場合があります。
- 原稿をセットする方法については、「[原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）](#)」を参照してください。

参考

- モアレを少なくしてスキャンしたい場合は、[スキャン設定(文書)] ダイアログボックスや [スキャン設定(お気に入り)] ダイアログボックスで [原稿の種類] を [雑誌] に設定し、IJ Scan Utility 基本画面で [文書] や [お気に入り] をクリックしてスキャンしてください。

(1) 読み込み設定エリア

【おすすめの画像補正で処理する】

原稿の種類に合わせた最適な補正を自動で行います。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

(2) 保存設定エリア

【ファイル名】

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と4桁の数字が付きます。

参考

- [今日の日付のフォルダーに保存する] にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、4桁の数字が付きます。

【保存する場所】

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから [追加...] を選んで表示される [保存フォルダーの選択] ダイアログボックスで [追加] をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- Windows 8.1 : [ドキュメント] フォルダー
- Windows 8 : [マイ ドキュメント] フォルダー
- Windows 7 : [マイ ドキュメント] フォルダー
- Windows Vista : [ドキュメント] フォルダー
- Windows XP : [マイ ドキュメント] フォルダー

重要

- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、この項目は表示されません。

【データ形式】

【自動】が選択されています。原稿の種類に合わせて以下のデータ形式に自動で保存されます。

- 写真、はがき、BD/DVD/CD、名刺：JPEG
- 雑誌、新聞、文書：PDF

重要

- 原稿の置きかたによっては、保存される形式が異なることがあります。

➡ [原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）](#)

【JPEG 画質】

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

【PDF 圧縮タイプ】

PDF ファイルを保存するときの圧縮タイプを選びます。

【標準】

通常は、この設定をお勧めします。

【高圧縮】

ファイルのデータ容量を圧縮して保存するため、ネットワークやサーバーへの負担を軽減することができます。

【キーワード検索が可能な PDF を作成する】

チェックマークを付けると、画像内の文字がテキストデータに変換され、キーワード検索ができる PDF ファイルを作成できます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの （基本設定）シートにある【文書の言語】で選ばれている言語で検索できる PDF ファイルが作成されます。

【今日の日付のフォルダーに保存する】

チェックマークを付けると、【保存する場所】で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、【保存する場所】で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

(3) アプリケーション設定エリア

【アプリケーションで開く】

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

【アプリケーションに転送する】

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

【フォルダーに転送する】

スキャンした画像を【保存する場所】で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。

プルダウンメニューからフォルダーを指定できます。

【メールに添付する】

スキャンした画像を添付してメールを送信するときに選びます。

プルダウンメニューから起動したいメールソフトを指定できます。

【アプリケーションを起動しない】

【保存する場所】で設定したフォルダーに保存されます。

▶▶▶ 参考

- プルダウンメニューから「追加...」を選んで表示される「アプリケーションの選択」、または「保存フォルダーの選択」ダイアログボックスで「追加」をクリックし、アプリケーションソフトやフォルダーを指定すると、プルダウンメニューに追加されます。

【操作説明】

本マニュアルを表示します。

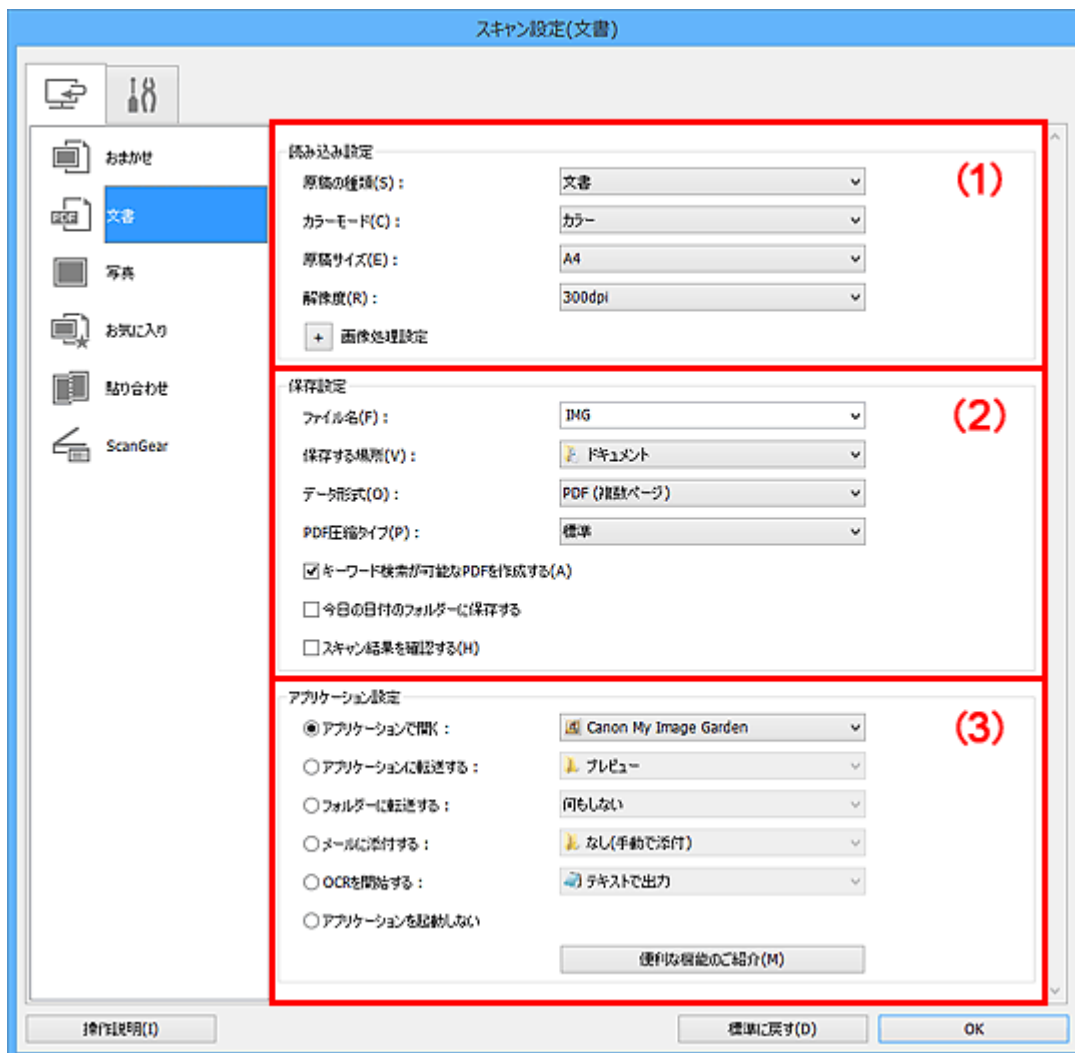
【標準に戻す】

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

[スキャン設定(文書)] ダイアログボックス

 (パソコンからスキャン) シートで [文書] をクリックすると、[スキャン設定(文書)] ダイアログボックスが表示されます。

[スキャン設定(文書)] ダイアログボックスでは、原稿を文書としてスキャンするときの詳細な設定をすることができます。



- ➡ [\(1\) 読み込み設定エリア](#)
- ➡ [\(2\) 保存設定エリア](#)
- ➡ [\(3\) アプリケーション設定エリア](#)

重要

- My Image Garden のスキャン画面からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、[アプリケーション設定] の設定項目は表示されません。

(1) 読み込み設定エリア

[原稿の種類]

スキャンする原稿の種類を選びます。

- 文書原稿をスキャンする場合：[文書]
- 雑誌の原稿をスキャンする場合：[雑誌]

【カラーモード】

どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

【原稿サイズ】

スキャンする原稿のサイズを選びます。

【ユーザー定義用紙】を選ぶと、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。【単位】を選んでから、【幅】と【高さ】を入力し、【OK】をクリックしてください。

参考

- 【標準に戻す】をクリックすると、設定した内容が初期設定に戻ります。

【解像度】

スキャンする原稿の解像度を選びます。

解像度が高い（数字が大きい）ほど、きめ細かい画像になります。

➡ [解像度について](#)

参考

- 【アプリケーション設定】で【OCRを開始する】を選ぶと、【300dpi】または【400dpi】のみ設定できます。

【画像処理設定】

（プラス）をクリックすると、次の項目を設定できます。

参考

- 【カラーモード】が【白黒】の場合は、【とじ部の影を補正する】、【文字原稿の傾きを補正する】、【文字原稿の向きを検知して、画像を回転する】のみ表示されます。

【自動文書補正をかける】

チェックマークを付けると、文書や雑誌の文字をくっきりさせ、見やすくなるように補正します。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

【輪郭を強調する】

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

【裏写りを低減する】

原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させたりすることができます。

【モアレを低減する】

モアレを少なくしてスキャンできます。

印刷物は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象のことをいいます。

参考

- 【モアレを低減する】を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

【とじ部の影を補正する】

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を目立たなくします。

参考

- サイズが不定形な原稿をスキャンする場合や、範囲を指定してスキャンする場合にとじ部の影を補正したいときは、ScanGear（スキャナードライバー）の【拡張モード】シートを使用してください。
詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「【とじ部の影補正】」を参照してください。
- この機能を設定すると、ネットワーク接続でご使用の場合、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

【文字原稿の傾きを補正する】

スキャンした文字を認識して、原稿の傾き ± 0.1 度から10度までを補正します。

重要

- 次のような原稿は、文字が正しく認識されないため、正しく補正できない場合があります。
 - テキストの行が10度以上傾いている、または傾きの角度が行によって異なる原稿
 - 縦書きと横書きのテキストが混在する原稿
 - 文字サイズが極端に大きいまたは小さい原稿
 - 文字数が少ない原稿
 - 図形や画像の含まれる原稿
 - 手書きの原稿
 - 縦と横の罫線が混在する原稿（表組み）

参考

- 【文字原稿の傾きを補正する】を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

【文字原稿の向きを検知して、画像を回転する】

スキャンした原稿内の文字から画像の向きを検知し、正しい向きに自動で回転します。

重要

- [【スキャン設定\(基本設定\)】ダイアログボックス](#)の【文書の言語】で選ばれている言語の文字原稿のみ有効です。
- 次のような設定や原稿は、文字を正しく認識できないため、方向を検知できない場合があります。
 - 解像度が300 dpi～600 dpiの範囲外
 - 文字サイズが8ポイント～48ポイントの範囲外
 - 特殊なフォント、飾り文字、斜体（イタリック）、手書きの文字を含む原稿
 - 下地に模様（地紋）がある原稿

このときは、[スキャン結果を確認する] にチェックを付け、[\[保存設定\] ダイアログボックス](#)で画像を回転してください。

(2) 保存設定エリア

[ファイル名]

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と4桁の数字が付きます。

参考

- [今日の日付のフォルダーに保存する] にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、4桁の数字が付きます。

[保存する場所]

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから[追加...]を選んで表示される[保存フォルダーの選択]ダイアログボックスで[追加]をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- Windows 8.1 : [ドキュメント] フォルダー
- Windows 8 : [マイ ドキュメント] フォルダー
- Windows 7 : [マイ ドキュメント] フォルダー
- Windows Vista : [ドキュメント] フォルダー
- Windows XP : [マイ ドキュメント] フォルダー

重要

- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、この項目は表示されません。

[データ形式]

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

[JPEG/Exif]、[TIFF]、[PNG]、[PDF]、[PDF (複数ページ)] が選べます。

重要

- [カラーモード] で [白黒] を選んでいるときは、[JPEG/Exif] は選べません。
- [アプリケーション設定] で [OCR を開始する] を選んでいるときは、[PDF]、[PDF (複数ページ)] は選べません。

参考

- ネットワーク接続でご使用の場合、[データ形式] で [TIFF] または [PNG] を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

[PDF 圧縮タイプ]

PDF ファイルを保存するときの圧縮タイプを選びます。

[標準]

通常は、この設定をお勧めします。

[高圧縮]

ファイルのデータ容量を圧縮して保存するため、ネットワークやサーバーへの負担を軽減することができます。

重要

- [データ形式] で [PDF] または [PDF (複数ページ)] を選んでいるときのみ表示されます。
- [カラーモード] で [白黒] を選んでいるときは、この項目は表示されません。

[JPEG 画質]

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

重要

- [データ形式] で [JPEG/Exif] を選んでいるときのみ表示されます。

[キーワード検索が可能な PDF を作成する]

チェックマークを付けると、画像内の文字がテキストデータに変換され、キーワード検索ができる PDF ファイルを作成できます。

重要

- [データ形式] で [PDF] または [PDF (複数ページ)] を選んでいるときのみ表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの  (基本設定) シートにある [文書の言語] で選ばれている言語で検索できる PDF ファイルが作成されます。

[今日の日付のフォルダーに保存する]

チェックマークを付けると、[保存する場所] で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、[保存する場所] で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

[スキャン結果を確認する]

スキャン後に [\[保存設定\] ダイアログボックス](#) が表示されます。

重要

- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、この項目は表示されません。

(3) アプリケーション設定エリア

[アプリケーションで開く]

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

[アプリケーションに転送する]

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

[フォルダーに転送する]

スキャンした画像を [保存する場所] で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。

プルダウンメニューからフォルダーを指定できます。

【メールに添付する】

スキャンした画像を添付してメールを送信するときに選びます。

プルダウンメニューから起動したいメールソフトを指定できます。

【OCRを開始する】

スキャンした画像内の文字をテキストデータに変換したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

【アプリケーションを起動しない】

【保存する場所】で設定したフォルダーに保存されます。

▶▶ 参考

- プルダウンメニューから【追加...】を選んで表示される【アプリケーションの選択】、または【保存フォルダーの選択】ダイアログボックスで【追加】をクリックし、アプリケーションソフトやフォルダーを指定すると、プルダウンメニューに追加されます。

【操作説明】

本マニュアルを表示します。

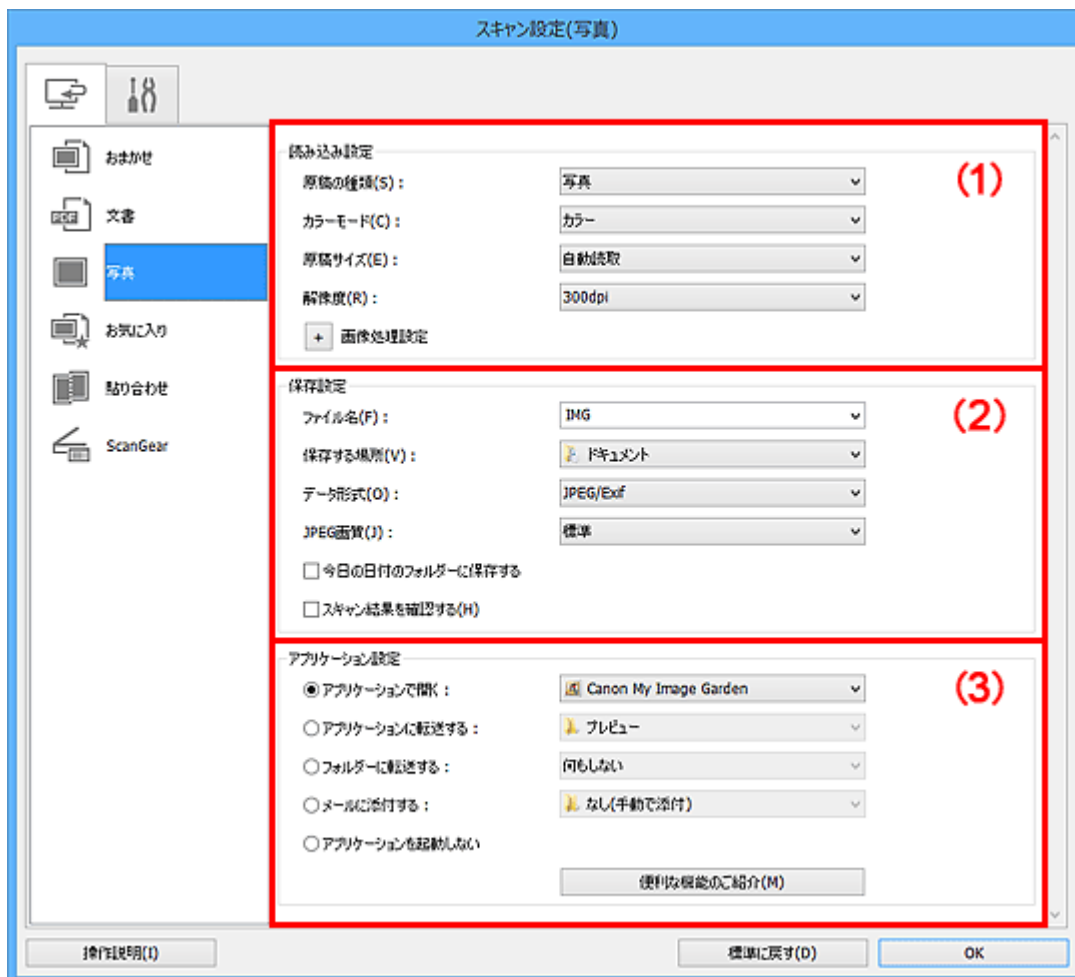
【標準に戻す】

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

[スキャン設定(写真)] ダイアログボックス

 (パソコンからスキャン) シートで [写真] をクリックすると、[スキャン設定(写真)] ダイアログボックスが表示されます。

[スキャン設定(写真)] ダイアログボックスでは、原稿を写真としてスキャンするときの詳細な設定をすることができます。



- ➡ [\(1\) 読み込み設定エリア](#)
- ➡ [\(2\) 保存設定エリア](#)
- ➡ [\(3\) アプリケーション設定エリア](#)

重要

- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、[アプリケーション設定] の設定項目は表示されません。

(1) 読み込み設定エリア

[原稿の種類]

[写真] が選択されています。

[カラーモード]

どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

[原稿サイズ]

スキャンする原稿のサイズを選びます。

〔ユーザー定義用紙〕を選ぶと、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。〔単位〕を選んでから、〔幅〕と〔高さ〕を入力し、〔OK〕をクリックしてください。

参考

- 〔標準に戻す〕をクリックすると、設定した内容が初期設定に戻ります。

〔解像度〕

スキャンする原稿の解像度を選びます。

解像度が高い（数字が大きい）ほど、きめ細かい画像になります。

➡ [解像度について](#)

〔画像処理設定〕

 (プラス) をクリックすると、次の項目を設定できます。

重要

- 〔カラーモード〕が〔白黒〕の場合は、〔画像処理設定〕を行うことはできません。

〔輪郭を強調する〕

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

(2) 保存設定エリア

〔ファイル名〕

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と4桁の数字が付きます。

参考

- 〔今日の日付のフォルダーに保存する〕にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、4桁の数字が付きます。

〔保存する場所〕

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから〔追加...〕を選んで表示される〔保存フォルダーの選択〕ダイアログボックスで〔追加〕をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- Windows 8.1 : 〔ドキュメント〕フォルダー
- Windows 8 : 〔マイ ドキュメント〕フォルダー
- Windows 7 : 〔マイ ドキュメント〕フォルダー
- Windows Vista : 〔ドキュメント〕フォルダー
- Windows XP : 〔マイ ドキュメント〕フォルダー

重要

- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、この項目は表示されません。

【データ形式】

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

[JPEG/Exif]、[TIFF]、または [PNG] が選べます。

重要

- [カラーモード] で [白黒] を選んでいるときは、[JPEG/Exif] は選べません。

参考

- ネットワーク接続でご使用の場合、[データ形式] で [TIFF] または [PNG] を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

【JPEG 画質】

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

重要

- [データ形式] で [JPEG/Exif] を選んでいるときのみ表示されます。

【今日の日付のフォルダーに保存する】

チェックマークを付けると、[保存する場所] で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、[保存する場所] で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

【スキャン結果を確認する】

スキャン後に [\[保存設定\] ダイアログボックス](#) が表示されます。

重要

- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、この項目は表示されません。

(3) アプリケーション設定エリア

【アプリケーションで開く】

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

【アプリケーションに転送する】

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

【フォルダーに転送する】

スキャンした画像を [保存する場所] で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。

プルダウンメニューからフォルダーを指定できます。

【メールに添付する】

スキャンした画像を添付してメールを送信するときに選びます。

プルダウンメニューから起動したいメールソフトを指定できます。

【アプリケーションを起動しない】

「保存する場所」で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- プルダウンメニューから「追加...」を選んで表示される「アプリケーションの選択」、または「保存フォルダーの選択」ダイアログボックスで「追加」をクリックし、アプリケーションソフトやフォルダーを指定すると、プルダウンメニューに追加されます。

【操作説明】

本マニュアルを表示します。

【標準に戻す】

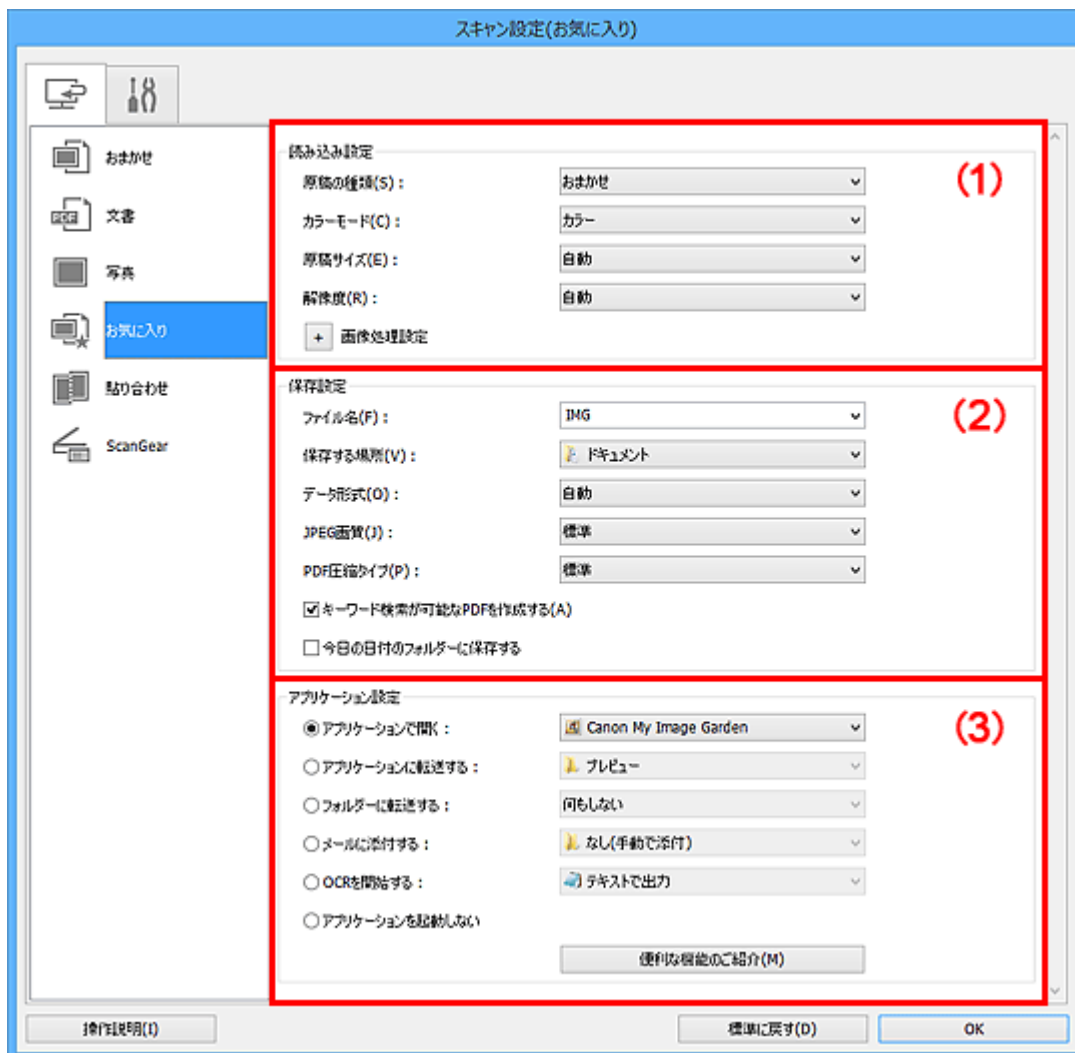
表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

[スキャン設定(お気に入り)] ダイアログボックス



(パソコンからスキャン) シートで [お気に入り] をクリックすると、[スキャン設定(お気に入り)] ダイアログボックスが表示されます。

[スキャン設定(お気に入り)] ダイアログボックスでは、お好みに合わせて原稿をスキャンするときの詳細な設定をすることができます。



- ➡ [\(1\) 読み込み設定エリア](#)
- ➡ [\(2\) 保存設定エリア](#)
- ➡ [\(3\) アプリケーション設定エリア](#)

重要

- My Image Garden のスキャン画面からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、[アプリケーション設定] の設定項目は表示されません。

(1) 読み込み設定エリア

[原稿の種類]

スキャンする原稿の種類を選びます。[おまかせ] を選ぶと、スキャンする原稿の種類を自動で判別し、[カラーモード]、[原稿サイズ]、[解像度] も自動で設定されます。

重要

- [おまかせ] で利用できる原稿の種類は、写真、はがき、名刺、雑誌、新聞、文書、BD/DVD/CD です。
- 次のような原稿は、原稿の種類やサイズを指定してスキャンしてください。[おまかせ] では、正しくスキャンすることができません。
 - A4 サイズの写真
 - 2L 判 (127 mm x 178 mm) (5 inches x 7 inches) より小さいサイズの文書原稿 (例、文庫本の背表紙を切り落とした原稿など)
 - 下地が白く、紙質が薄い原稿
 - パノラマ写真などの細長い原稿
- ディスクのレーベル面が鏡面状の場合、期待どおりにスキャンできないことがあります。
- スキャンする原稿の種類に合わせて正しくセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては正しくスキャンできない場合があります。

原稿をセットする方法については、「[原稿のセットのしかた \(パソコンからスキャンする場合\)](#)」を参照してください。

参考

- スキャン後に文字列をテキストデータに変換したい場合は、[おまかせ] を選ばずに、[原稿の種類] を指定してスキャンしてください。
- モアレを少なくしてスキャンしたい場合は、[原稿の種類] を [雑誌] に設定するか、[画像処理設定] の [モアレを低減する] にチェックマークを付けてスキャンしてください。

[カラーモード]

どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

参考

- [原稿の種類] が [おまかせ] の場合は、[カラー] のみ設定できます。

[原稿サイズ]

スキャンする原稿のサイズを選びます。

[ユーザー定義用紙] を選ぶと、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。[単位] を選んでから、[幅] と [高さ] を入力し、[OK] をクリックしてください。



The image shows a dialog box titled "原稿サイズの設定" (Set Original Size). It has a close button (X) in the top right corner. Inside, there are three input fields: "幅:" (Width) with a value of "210.0" and a range "mm (25.4 - 215.9)", "高さ:" (Height) with a value of "297.0" and a range "mm (25.4 - 297.0)", and "単位:" (Unit) with a dropdown menu set to "mm". At the bottom, there are three buttons: "OK", "標準に戻す(D)" (Reset to Default), and "キャンセル" (Cancel).

参考

- [原稿の種類] が [おまかせ] の場合は、[自動] のみ設定できます。
- 原稿のサイズを設定する画面で [標準に戻す] をクリックすると、設定した内容が初期設定に戻ります。

[解像度]

スキャンする原稿の解像度を選びます。

解像度が高い（数字が大きい）ほど、きめ細かい画像になります。

➡ [解像度について](#)

参考

- [原稿の種類] が [おまかせ] の場合は、[自動] のみ設定できます。
- [アプリケーション設定] で [OCR を開始する] を選ぶと、[300dpi] または [400dpi] のみ設定できます。

[画像処理設定]



（プラス）をクリックすると、次の項目を設定できます。設定できる項目は [原稿の種類] によって異なります。

- [原稿の種類] が [おまかせ] の場合：

[おすすめの画像補正で処理する]

原稿の種類に合わせた最適な補正を自動で行います。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

- [原稿の種類] が [写真] の場合：

重要

- [カラーモード] が [白黒] の場合は、[画像処理設定] を行うことはできません。

[輪郭を強調する]

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

- [原稿の種類] が [雑誌] または [文書] の場合：

参考

- [カラーモード] が [白黒] の場合は、[とじ部の影を補正する]、[文字原稿の傾きを補正する]、[文字原稿の向きを検知して、画像を回転する] のみ表示されます。

[自動文書補正をかける]

チェックマークを付けると、文書や雑誌の文字をくっきりさせ、見やすくなるように補正します。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

[輪郭を強調する]

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

【裏写りを低減する】

原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させたりすることができます。

【モアレを低減する】

モアレを少なくしてスキャンできます。

印刷物は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象のことをいいます。

参考

- 【モアレを低減する】を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

【とじ部の影を補正する】

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を目立たなくします。

参考

- サイズが不定形な原稿をスキャンする場合や、範囲を指定してスキャンする場合にとじ部の影を補正したいときは、ScanGear（スキャナードライバー）の【拡張モード】シートを使用してください。
詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種 of 「【とじ部の影補正】」を参照してください。
- この機能を設定すると、ネットワーク接続でご使用の場合、スキャンの時間が通常よりも長くなる場合があります。

【文字原稿の傾きを補正する】

スキャンした文字を認識して、原稿の傾き ± 0.1 度から 10 度までを補正します。

重要

- 次のような原稿は、文字が正しく認識されないため、正しく補正できない場合があります。
 - テキストの行が 10 度以上傾いている、または傾きの角度が行によって異なる原稿
 - 縦書きと横書きのテキストが混在する原稿
 - 文字サイズが極端に大きいまたは小さい原稿
 - 文字数が少ない原稿
 - 図形や画像の含まれる原稿
 - 手書きの原稿
 - 縦と横の罫線が混在する原稿（表組み）

参考

- 【文字原稿の傾きを補正する】を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

【文字原稿の向きを検知して、画像を回転する】

スキャンした原稿内の文字から画像の向きを検知し、正しい向きに自動で回転します。

重要

- [【スキャン設定\(基本設定\)】ダイアログボックス](#)の【文書の言語】で選択できる言語の文字原稿のみ有効です。
- 次のような設定や原稿は、文字を正しく認識できないため、方向を検知できない場合があります。
 - 解像度が 300 dpi～600 dpi の範囲外
 - 文字サイズが 8 ポイント～48 ポイントの範囲外

- 特殊なフォント、飾り文字、斜体（イタリック）、手書きの文字を含む原稿
- 下地に模様（地紋）がある原稿

このときは、[スキャン結果を確認する] にチェックを付け、[\[保存設定\] ダイアログボックス](#)で画像を回転してください。

（２）保存設定エリア

【ファイル名】

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と 4 桁の数字が付きます。

参考

- [今日の日付のフォルダーに保存する] にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、4 桁の数字が付きます。

【保存する場所】

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから [追加...] を選んで表示される [保存フォルダーの選択] ダイアログボックスで [追加] をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- Windows 8.1 : [ドキュメント] フォルダー
- Windows 8 : [マイ ドキュメント] フォルダー
- Windows 7 : [マイ ドキュメント] フォルダー
- Windows Vista : [ドキュメント] フォルダー
- Windows XP : [マイ ドキュメント] フォルダー

重要

- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、この項目は表示されません。

【データ形式】

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

[JPEG/Exif]、[TIFF]、[PNG]、[PDF]、[PDF (複数ページ)]、[自動] が選べます。

重要

- [自動] を選んだ場合、原稿の置きかたによって保存される形式が異なることがあります。
 - ➡ [原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）](#)
- [カラーモード] で [白黒] を選んでいるときは、[JPEG/Exif] は選べません。
- [アプリケーション設定] で [OCR を開始する] を選んでいるときは、[PDF]、[PDF (複数ページ)]、または [自動] は選べません。

参考

- [原稿の種類] で [おまかせ] を選択しているときのみ [自動] が表示されます。
- ネットワーク接続でご使用の場合、[データ形式] で [TIFF] または [PNG] を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなる場合があります。

【JPEG 画質】

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

重要

- [データ形式] で [JPEG/Exif] または [自動] を選んでいるときのみ表示されます。

【PDF 圧縮タイプ】

PDF ファイルを保存するときの圧縮タイプを選びます。

【標準】

通常は、この設定をお勧めします。

【高圧縮】

ファイルのデータ容量を圧縮して保存するため、ネットワークやサーバーへの負担を軽減することができます。

重要

- [データ形式] で [PDF]、[PDF (複数ページ)] または [自動] を選んでいるときのみ表示されます。
- [カラーモード] で [白黒] を選んでいるときは、この項目は表示されません。

【キーワード検索が可能な PDF を作成する】

チェックマークを付けると、画像内の文字がテキストデータに変換され、キーワード検索ができる PDF ファイルを作成できます。

重要

- [データ形式] で [PDF]、[PDF (複数ページ)] または [自動] を選んでいるときのみ表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの  (基本設定) シートにある [文書の言語] で選ばれている言語で検索できる PDF ファイルが作成されます。

【今日の日付のフォルダーに保存する】

チェックマークを付けると、[保存する場所] で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、[保存する場所] で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

【スキャン結果を確認する】

スキャン後に [\[保存設定\] ダイアログボックス](#) が表示されます。

重要

- [原稿の種類] が [おまかせ] の場合は表示されません。
- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、この項目は表示されません。

(3) アプリケーション設定エリア

【アプリケーションで開く】

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

【アプリケーションに転送する】

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

【フォルダーに転送する】

スキャンした画像を【保存する場所】で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。

プルダウンメニューからフォルダーを指定できます。

【メールに添付する】

スキャンした画像を添付してメールを送信するときに選びます。

プルダウンメニューから起動したいメールソフトを指定できます。

【OCRを開始する】

スキャンした画像内の文字をテキストデータに変換したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

【アプリケーションを起動しない】

【保存する場所】で設定したフォルダーに保存されます。

▶▶▶ 参考

- プルダウンメニューから【追加...】を選んで表示される【アプリケーションの選択】、または【保存フォルダーの選択】ダイアログボックスで【追加】をクリックし、アプリケーションソフトやフォルダーを指定すると、プルダウンメニューに追加されます。

【操作説明】

本マニュアルを表示します。

【標準に戻す】

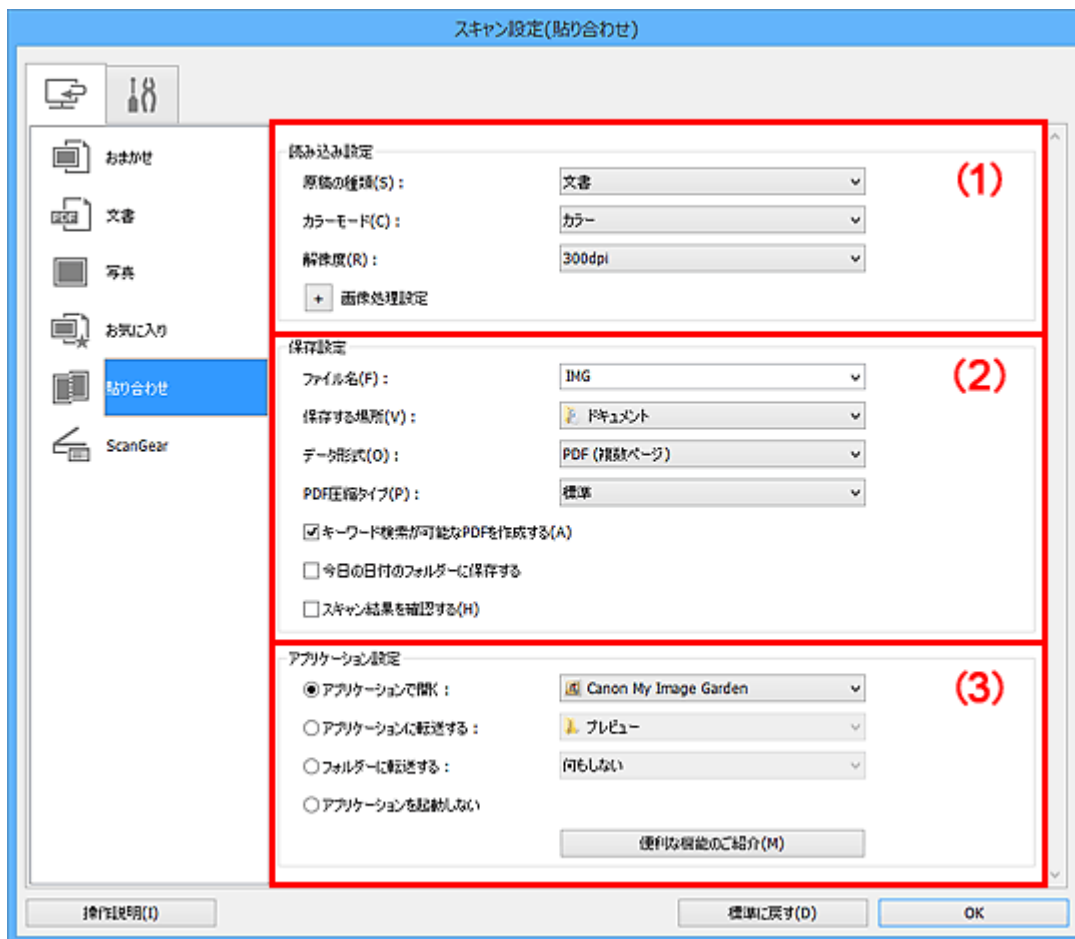
表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

[スキャン設定(貼り合わせ)] ダイアログボックス



(パソコンからスキャン) シートで [貼り合わせ] をクリックすると、[スキャン設定(貼り合わせ)] ダイアログボックスが表示されます。

[スキャン設定(貼り合わせ)] ダイアログボックスでは、原稿台よりも大きなサイズの原稿をスキャンするときの詳細な設定をすることができます。



- ➡ [\(1\) 読み込み設定エリア](#)
- ➡ [\(2\) 保存設定エリア](#)
- ➡ [\(3\) アプリケーション設定エリア](#)

重要

- My Image Garden のスキャン画面からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、[アプリケーション設定] の設定項目は表示されません。

(1) 読み込み設定エリア

[原稿の種類]

スキャンする原稿の種類を選びます。

- 写真原稿をスキャンする場合：[写真]
- 文書原稿をスキャンする場合：[文書]
- 雑誌の原稿をスキャンする場合：[雑誌]

参考

- モアレを少なくしてスキャンしたい場合は、[原稿の種類] を [雑誌] に設定するか、[画像処理設定] の [モアレを低減する] にチェックマークを付けてスキャンしてください。

【カラーモード】

どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

【解像度】

スキャンする原稿の解像度を選びます。

解像度が高い（数字が大きい）ほど、きめ細かい画像になります。

➡ [解像度について](#)

【画像処理設定】

（プラス）をクリックすると、次の項目を設定できます。設定できる項目は【原稿の種類】によって異なります。

重要

- 【カラーモード】が【白黒】の場合は、【画像処理設定】を行うことはできません。

- 【原稿の種類】が【写真】の場合：

【輪郭を強調する】

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

- 【原稿の種類】が【雑誌】または【文書】の場合：

【輪郭を強調する】

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

【裏写りを低減する】

原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させたりすることができます。

【モアレを低減する】

モアレを少なくしてスキャンできます。

印刷物は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象のことをいいます。

参考

- 【モアレを低減する】を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

（2）保存設定エリア

【ファイル名】

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と4桁の数字が付きます。

参考

- 【今日の日付のフォルダーに保存する】にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、4桁の数字が付きます。

【保存する場所】

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから【追加...】を選んで表示される【保存フォルダーの選択】ダイアログボックスで【追加】をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- Windows 8.1：【ドキュメント】フォルダー
- Windows 8：【マイ ドキュメント】フォルダー

- Windows 7 : [マイ ドキュメント] フォルダー
- Windows Vista : [ドキュメント] フォルダー
- Windows XP : [マイ ドキュメント] フォルダー

重要

- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、この項目は表示されません。

[データ形式]

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

[JPEG/Exif]、[TIFF]、[PNG]、[PDF]、[PDF (複数ページ)] が選べます。

重要

- [カラーモード] で [白黒] を選んでいるときは、[JPEG/Exif] は選べません。

参考

- ネットワーク接続でご使用の場合、[データ形式] で [TIFF] または [PNG] を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

[PDF 圧縮タイプ]

PDF ファイルを保存するときの圧縮タイプを選びます。

[標準]

通常は、この設定をお勧めします。

[高圧縮]

ファイルのデータ容量を圧縮して保存するため、ネットワークやサーバーへの負担を軽減することができます。

重要

- [データ形式] で [PDF] または [PDF (複数ページ)] を選んでいるときのみ表示されます。
- [カラーモード] で [白黒] を選んでいるときは、この項目は表示されません。

[キーワード検索が可能な PDF を作成する]

チェックマークを付けると、画像内の文字がテキストデータに変換され、キーワード検索ができる PDF ファイルを作成できます。

重要

- [データ形式] で [PDF] または [PDF (複数ページ)] を選んでいるときのみ表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの  (基本設定) シートにある [文書の言語] で選ばれている言語で検索できる PDF ファイルが作成されます。

[JPEG 画質]

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

重要

- [データ形式] で [JPEG/Exif] を選んでいるときのみ表示されます。

【今日の日付のフォルダーに保存する】

チェックマークを付けると、[保存する場所] で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、[保存する場所] で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

【スキャン結果を確認する】

スキャン後に [\[保存設定\] ダイアログボックス](#) が表示されます。

重要

- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、この項目は表示されません。

(3) アプリケーション設定エリア

【アプリケーションで開く】

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

【アプリケーションに転送する】

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

【フォルダーに転送する】

スキャンした画像を [保存する場所] で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。

プルダウンメニューからフォルダーを指定できます。

【アプリケーションを起動しない】

[保存する場所] で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- プルダウンメニューから [追加...] を選んで表示される [アプリケーションの選択]、または [保存フォルダーの選択] ダイアログボックスで [追加] をクリックし、アプリケーションソフトやフォルダーを指定すると、プルダウンメニューに追加されます。

【操作説明】

本マニュアルを表示します。

【標準に戻す】

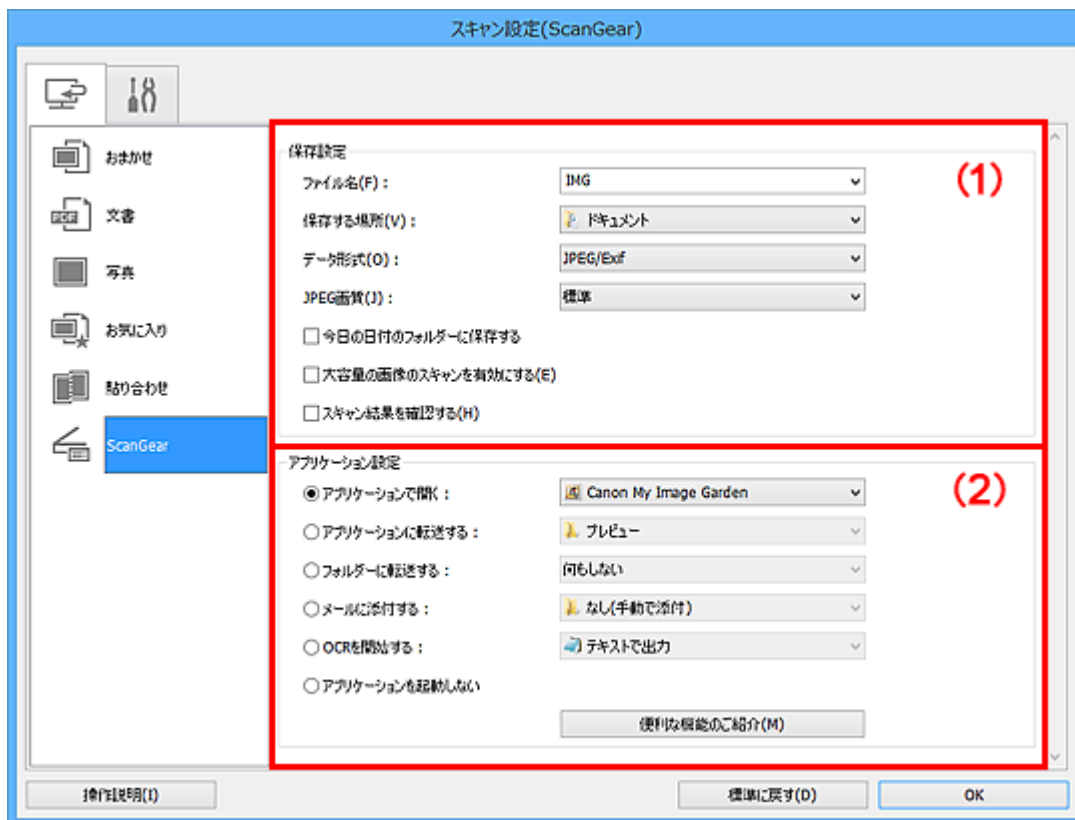
表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

[スキャン設定(ScanGear)] ダイアログボックス



(パソコンからスキャン) シートで [ScanGear] をクリックすると、[スキャン設定(ScanGear)] ダイアログボックスが表示されます。

[スキャン設定(ScanGear)] ダイアログボックスでは、ScanGear (スキャナードライバー) を呼び出して原稿をスキャンするときの画像の保存のしかたや、保存後の動作を設定できます。



⇒ (1) 保存設定エリア

⇒ (2) アプリケーション設定エリア

重要

- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、[アプリケーション設定] の設定項目は表示されません。

(1) 保存設定エリア

[ファイル名]

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と 4 桁の数字が付きます。

参考

- [今日の日付のフォルダーに保存する] にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、4 桁の数字が付きます。

[保存する場所]

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから [追加...] を選んで表示される [保存フォルダーの選択] ダイアログボックスで [追加] をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- Windows 8.1 : [ドキュメント] フォルダ
- Windows 8 : [マイ ドキュメント] フォルダ
- Windows 7 : [マイ ドキュメント] フォルダ
- Windows Vista : [ドキュメント] フォルダ
- Windows XP : [マイ ドキュメント] フォルダ

重要

- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、この項目は表示されません。

[データ形式]

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

[JPEG/Exif]、[TIFF]、[PNG]、[PDF]、[PDF (複数ページ)] が選べます。

参考

- [PDF]、[PDF (複数ページ)] を選んだ場合は、9600 pixels x 9600 pixels までの画像をスキャンすることができます。
- [保存設定] で [大容量の画像のスキャンを有効にする] にチェックマークを付けているとき、または [アプリケーション設定] で [OCR を開始する] を選んでいるときは、[JPEG/Exif]、[TIFF]、[PNG] が選べます。
- ネットワーク接続でご使用の場合、[データ形式] で [TIFF] または [PNG] を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

[JPEG 画質]

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

重要

- [データ形式] で [JPEG/Exif] を選んでいるときのみ表示されます。

[PDF 圧縮タイプ]

PDF ファイルを保存するときの圧縮タイプを選びます。

[標準]

通常は、この設定をお勧めします。

[高圧縮]

ファイルのデータ容量を圧縮して保存するため、ネットワークやサーバーへの負担を軽減することができます。

重要

- [データ形式] で [PDF] または [PDF (複数ページ)] を選んでいるときのみ表示されます。

[キーワード検索が可能な PDF を作成する]

チェックマークを付けると、画像内の文字がテキストデータに変換され、キーワード検索ができる PDF ファイルを作成できます。

重要

- [データ形式] で [PDF] または [PDF (複数ページ)] を選んでいるときのみ表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの  (基本設定) シートにある [文書の言語] で選ばれている言語で検索できる PDF ファイルが作成されます。

【今日の日付のフォルダーに保存する】

チェックマークを付けると、[保存する場所] で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、[保存する場所] で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

【大容量の画像のスキャンを有効にする】

チェックマークを付けると、縦横のピクセル数が最大 21000 pixels x 30000 pixels、1.8 GB までの画像をスキャンすることができます。

重要

- チェックマークを付けているときは、[アプリケーションに転送する]、[フォルダーに転送する]、[メールに添付する]、[OCR を開始する] は選べません。
- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、この項目は表示されません。

参考

- チェックを外しているときは、最大 10208 pixels x 14032 pixels までの画像をスキャンできます。

【スキャン結果を確認する】

スキャン後に [\[保存設定\] ダイアログボックス](#) が表示されます。

重要

- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、この項目は表示されません。

(2) アプリケーション設定エリア

【アプリケーションで開く】

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

【アプリケーションに転送する】

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

【フォルダーに転送する】

スキャンした画像を [保存する場所] で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。

プルダウンメニューからフォルダーを指定できます。

【メールに添付する】

スキャンした画像を添付してメールを送信するときに選びます。

プルダウンメニューから起動したいメールソフトを指定できます。

【OCR を開始する】

スキャンした画像内の文字をテキストデータに変換したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

【アプリケーションを起動しない】

[保存する場所] で設定したフォルダーに保存されます。

▶▶ 参考

- ブルダウンメニューから「追加...」を選んで表示される「アプリケーションの選択」、または「保存フォルダーの選択」ダイアログボックスで「追加」をクリックし、アプリケーションソフトやフォルダーを指定すると、ブルダウンメニューに追加されます。

【操作説明】

本マニュアルを表示します。

【標準に戻す】

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

「スキャン設定(基本設定)」ダイアログボックス

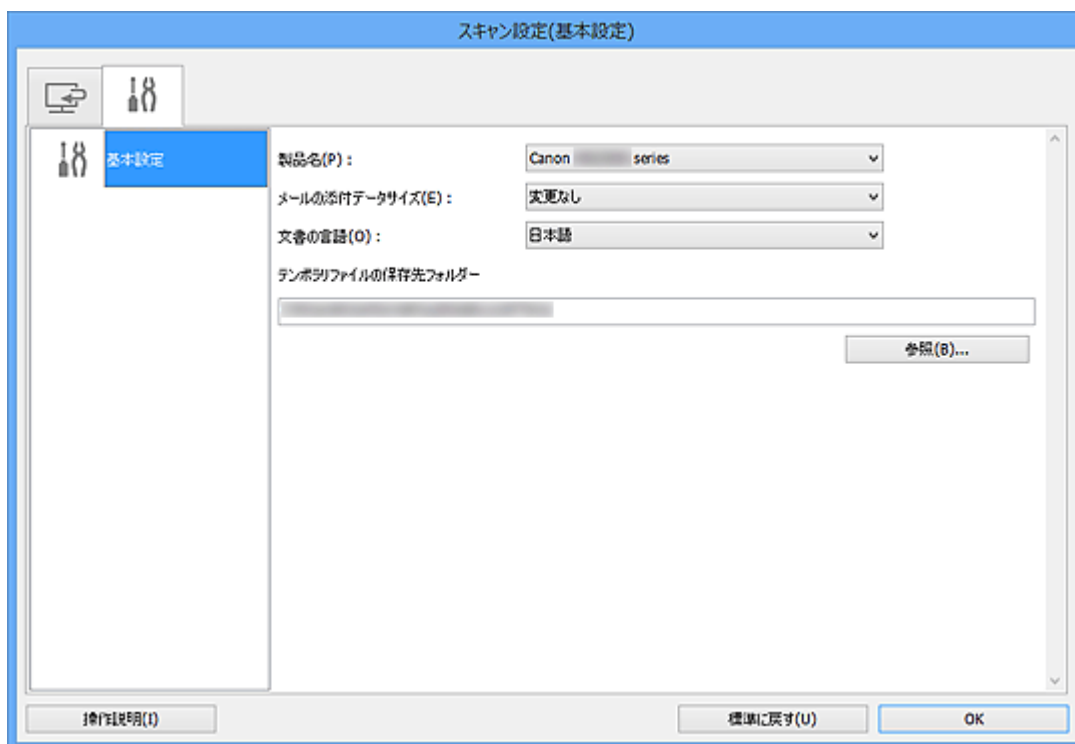


(基本設定) シートをクリックすると、「スキャン設定(基本設定)」ダイアログボックスが表示されます。

「スキャン設定(基本設定)」ダイアログボックスでは、ご使用になる製品、メールに添付するファイルのサイズ制限、画像内の文字列を認識させるための言語、および画像を一時的に保存するフォルダーを設定することができます。

重要

- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示すると、項目によっては表示されない場合があります。



【製品名】

現在 IJ Scan Utility に設定されている製品名が表示されます。

ほかの製品名が表示されている場合は、ご使用になる製品名を選んでください。

また、ネットワーク接続を使用する場合は、一覧から製品名の後ろに「Network」が表示されている項目を選んでください。

参考

- ネットワーク接続の場合、製品名の右側に「選択」が表示されます。「選択」をクリックすると、IJ Network Scanner Selector EX が表示され、使用するスキャナーを変更できます。設定方法については、「[ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法](#)」を参照してください。

【メールの添付データサイズ】

スキャンした画像をメールに添付するときのサイズを制限することができます。

「小(640x480 ウィンドウに合う)」、[中(800x600 ウィンドウに合う)]、[大(1024x768 ウィンドウに合う)]、[変更なし] が選べます。

【文書の言語】

画像内の文字列を認識させるための言語や、キーワード検索可能な PDF ファイルを作成したときに検索に使用できる言語を選べます。

【テンポラリファイルの保存先フォルダー】

画像を一時的に保存するフォルダーが表示されます。[参照...] をクリックして、保存先のフォルダーを指定します。

【操作説明】

本マニュアルを表示します。

【標準に戻す】

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

〔保存設定〕 ダイアログボックス

スキャン設定ダイアログボックスの〔保存設定〕にある〔スキャン結果を確認する〕にチェックマークを付けてスキャンすると、〔保存設定〕ダイアログボックスが表示されます。

スキャン結果のサムネイル（縮小版）画像を確認しながら、データ形式や保存先を指定することができます。

重要

- My Image Garden からスキャンした場合、スキャン後に〔保存設定〕ダイアログボックスは表示されません。



- ➡ (1) プレビュー操作ボタン
- ➡ (2) スキャン結果表示領域
- ➡ (3) 保存設定エリア

(1) プレビュー操作ボタン



（左回りに 90 度回転）／（右回りに 90 度回転）

スキャンした画像を左または右に 90 度回転することができます。

回転させたい画像を選び、（左回りに 90 度回転）または （右回りに 90 度回転）をクリックします。

重要

- 〔スキャン設定(ScanGear)〕ダイアログボックスで〔大容量の画像のスキャンを有効にする〕にチェックマークを付けているときは、プレビュー操作ボタンは表示されません。

(2) スキャン結果表示領域

スキャンした画像のサムネイルを表示します。ドラッグ&ドロップで画像を保存する順番を変更できます。サムネイル画像の下に保存するときのファイル名が表示されます。

(3) 保存設定エリア

【ファイル名】

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と4桁の数字が付きます。

参考

- [今日の日付のフォルダーに保存する] にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、4桁の数字が付きます。

【保存する場所】

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから[追加...]を選んで表示される[保存フォルダーの選択]ダイアログボックスで[追加]をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- Windows 8.1 : [ドキュメント] フォルダー
- Windows 8 : [マイ ドキュメント] フォルダー
- Windows 7 : [マイ ドキュメント] フォルダー
- Windows Vista : [ドキュメント] フォルダー
- Windows XP : [マイ ドキュメント] フォルダー

【データ形式】

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

[JPEG/Exif]、[TIFF]、[PNG]、[PDF]、[PDF (複数ページ)] が選べます。

重要

- 以下のいずれかに該当する場合、[PDF]、[PDF (複数ページ)] を選択できません。
 - IJ Scan Utility 基本画面から[写真]をクリックしてスキャンしたとき
 - [スキャン設定(ScanGear)] ダイアログボックスの[保存設定]で[大容量の画像のスキャンを有効にする]にチェックマークを付けている
 - [スキャン設定(文書)]、[スキャン設定(お気に入り)]、[スキャン設定(ScanGear)] ダイアログボックスの[アプリケーション設定]で[OCRを開始する]を選んでいる
- [カラーモード]で[白黒]を選んでいるときは、[JPEG/Exif]は選べません。

参考

- ネットワーク接続でご使用の場合、[データ形式]で[TIFF]または[PNG]を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

【JPEG 画質】

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

重要

- [データ形式]で[JPEG/Exif]を選んでいるときのみ表示されます。

【PDF 圧縮タイプ】

PDF ファイルを保存するときの圧縮タイプを選びます。

【標準】

通常は、この設定をお勧めします。

【高圧縮】

ファイルのデータ容量を圧縮して保存するため、ネットワークやサーバーへの負担を軽減することができます。

重要

- [データ形式] で [PDF] または [PDF (複数ページ)] を選んでいるときのみ表示されます。
- [カラーモード] で [白黒] を選んでいるときは、この項目は表示されません。

【キーワード検索が可能な PDF を作成する】

チェックマークを付けると、画像内の文字がテキストデータに変換され、キーワード検索ができる PDF ファイルを作成できます。

重要

- [データ形式] で [PDF] または [PDF (複数ページ)] を選んでいるときのみ表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの  (基本設定) シートにある [文書の言語] で選ばれている言語で検索できる PDF ファイルが作成されます。

【今日の日付のフォルダーに保存する】

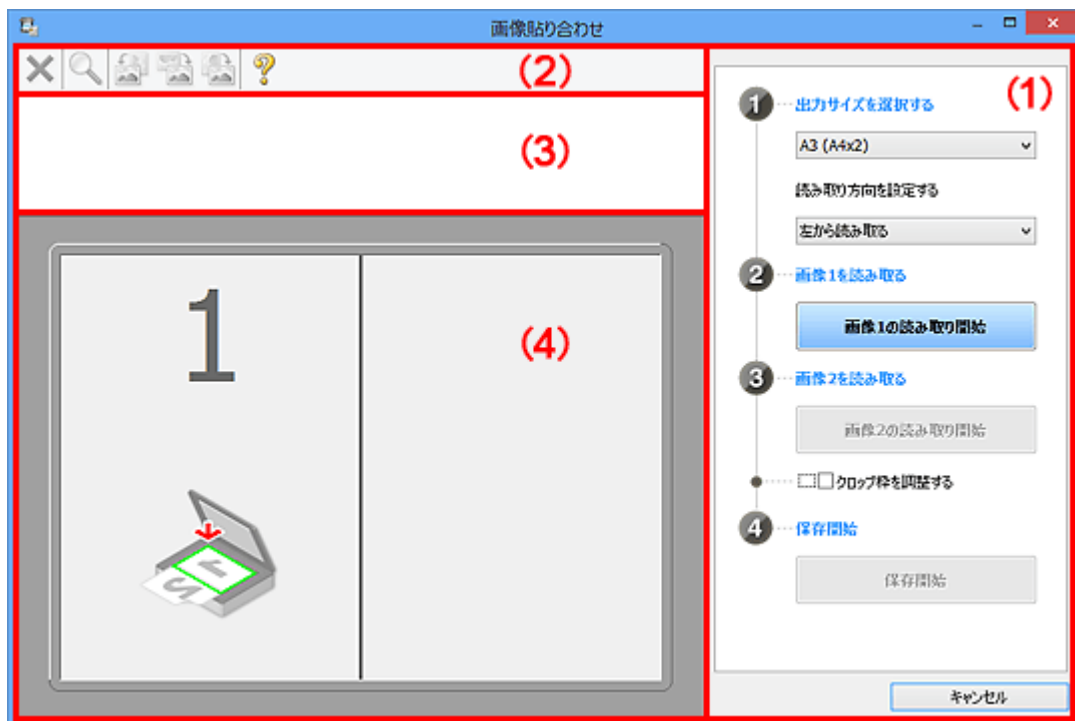
チェックマークを付けると、[保存する場所] で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、[保存する場所] で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

【画像貼り合わせ】 ウィンドウ

IJ Scan Utility 基本画面の【貼り合わせ】をクリックすると、【画像貼り合わせ】ウィンドウが表示されます。

原稿台よりも大きなサイズの原稿を左右に分けてスキャンし、1つの画像に貼り合わせることができます。最大で原稿台の約2倍のサイズまでスキャンすることが可能です。



- ➡ [\(1\) 設定項目と操作ボタン](#)
- ➡ [\(2\) ツールバー](#)
- ➡ [\(3\) サムネイル表示領域](#)
- ➡ [\(4\) プレビュー領域](#)

参考

- 表示される項目は、原稿の種類や表示方法によって異なります。

(1) 設定項目と操作ボタン

【出力サイズを選択する】

【B4 (B5x2)】

B4 サイズの原稿を左右に分けてスキャンします。

【A3 (A4x2)】

A3 サイズの原稿を左右に分けてスキャンします。

【11x17 (レター x2)】

レターサイズの2倍のサイズの原稿を左右に分けてスキャンします。

【原稿台全面 x2】

原稿台の2倍のサイズの原稿を左右に分けてスキャンします。

【読み取り方向を設定する】

【左から読み取る】

最初にスキャンした画像が左側に表示されます。

【右から読み取る】

最初にスキャンした画像が右側に表示されます。

【画像 1 を読み取る】

【画像 1 の読み取り開始】

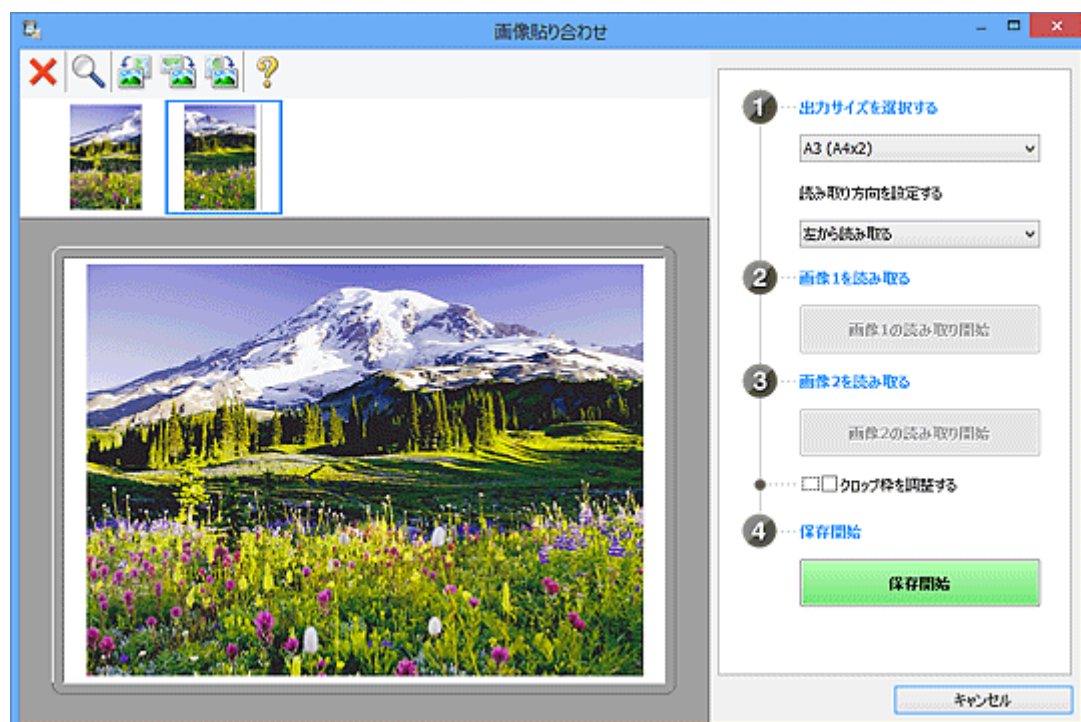
1 枚目の原稿をスキャンします。



【画像 2 を読み取る】

【画像 2 の読み取り開始】

2 枚目の原稿をスキャンします。



【クロップ枠を調整する】

読み取り範囲をプレビュー上で調整することができます。

範囲を指定しない場合は、[出力サイズを選択する] で選んだ原稿サイズの画像が保存されます。範囲を指定した場合は、クロップ枠内の画像だけが読み込まれ、保存されます。

➡ [\[画像貼り合わせ\] ウィンドウでクロップ枠を調整する](#)

【保存開始】

【保存開始】

スキャンした 2 枚の画像を、1 枚の画像として保存します。

【キャンセル】

【貼り合わせ】 スキャンをキャンセルします。

(2) ツールバー

スキャンした画像を取り消したり、プレビューした画像を調整したりすることができます。



(削除)

サムネイル表示領域で選んでいる画像を削除します。



(拡大／縮小)

プレビュー領域上の画像を拡大／縮小できるようになります。

プレビュー領域を左クリックすると、表示画像が拡大されます。

プレビュー領域を右クリックすると、表示画像が縮小されます。



(左回転)

プレビュー領域の画像が左に 90 度回転します。



(180 度回転)

プレビュー領域の画像が 180 度回転します。



(右回転)

プレビュー領域の画像が右に 90 度回転します。



(操作説明表示)

このページが表示されます。

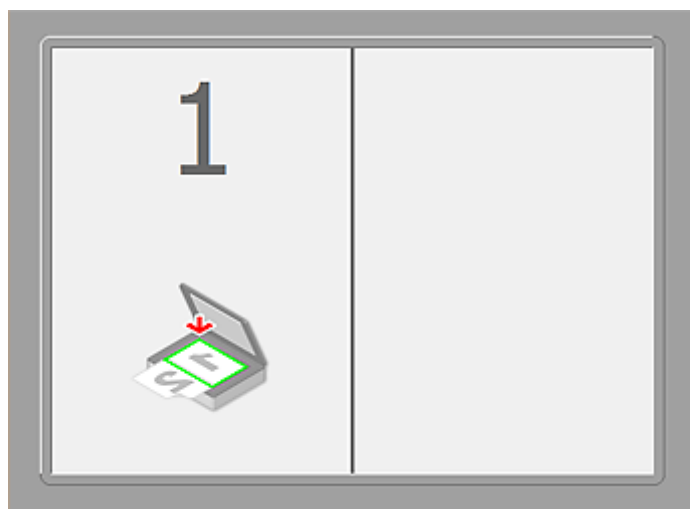
(3) サムネイル表示領域

スキャンした画像のサムネイルを表示します。スキャンしていないときは、空欄になります。

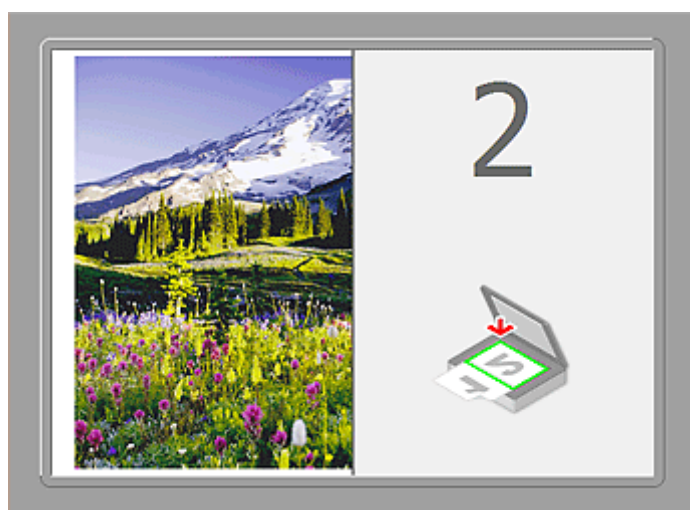
(4) プレビュー領域

スキャンされた画像を表示します。スキャン画像をドラッグして配置を調整したり、「[\(1\) 設定項目と操作ボタン](#)」で設定した内容を確認したりすることができます。

画像をスキャンしていない場合：



【画像 1 の読み取り開始】をクリックし、1 枚目の原稿をスキャンした場合：



【読み取り方向を設定する】で、設定した方向に画像がスキャンされ、その隣に【2】が表示されます。

【画像 2 の読み取り開始】をクリックし、2 枚目の原稿をスキャンした場合：



スキャンした 2 枚の画像が表示されます。

関連項目

- ➡ [原稿台より大きな原稿をスキャンする（画像の貼り合わせ）](#)

お使いのアプリケーションソフトでスキャンする (ScanGear)

- ▶ ScanGear (スキャナードライバー) とは
- ▶ ScanGear (スキャナードライバー) で細かく設定してスキャンしよう
- ▶ ScanGear (スキャナードライバー) を起動する
- ▶ 「基本モード」でスキャンする
- ▶ 「拡張モード」でスキャンする
- ▶ 「拡張モード」で ADF (自動原稿給紙装置) から複数の原稿をスキャンする
- ▶ ScanGear (スキャナードライバー) で複数の原稿を一度にスキャンする
- ▶ ScanGear (スキャナードライバー) で画像補正や色調整をしてみよう
- ▶ ScanGear (スキャナードライバー) の画面説明
- ▶ 原稿のセットのしかた (パソコンからスキャンする場合)
- ▶ クロップ枠の調整のしかた (ScanGear)
- ▶ 使用上の注意 (スキャナードライバー)

重要

- ご使用のスキャナーまたはプリンターによって、使用できる機能や設定できる項目は異なります。

ScanGear（スキャナードライバー）とは

ScanGear（スキャナードライバー）とは、原稿をスキャンするために必要なソフトウェアです。出力サイズや画像補正などを細かく設定してスキャンすることができます。

ScanGear は IJ Scan Utility（アイジェイ・スキャン・ユーティリティ）や TWAIN（トウェイン）という業界標準規格に対応したアプリケーションソフトから起動して使用できます。（ScanGear は TWAIN 対応ドライバーです。）

このソフトウェアでできること

プレビュー（仮読み込み）で原稿がどのように読み込まれるかを確認したり、原稿や出力サイズなどを細かく設定したりしてスキャンすることができます。さまざまな補正機能の設定や、明るさ、コントラストなどの詳細な調整ができるので、お好みの色あいでスキャンしたいときに便利です。

画面紹介

基本モード、拡張モードの 2 つのモードがあります。

モードは画面右上にある各タブをクリックして切り替えます。

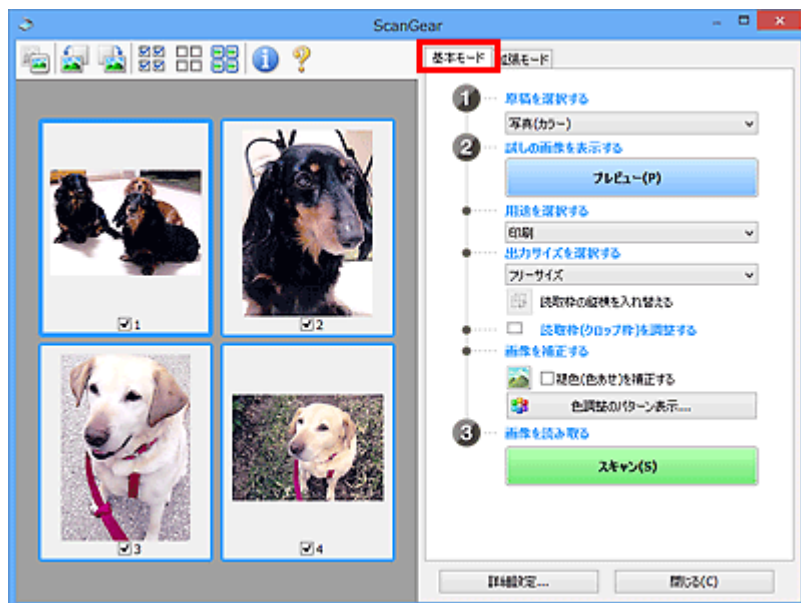
基本モード 拡張モード

参考

- モードを切り替えたあとに ScanGear を終了した場合、次回起動時の画面は、終了したときと同じモードになります。
- モードの切り替えをした場合、設定した内容は引き継がれません。

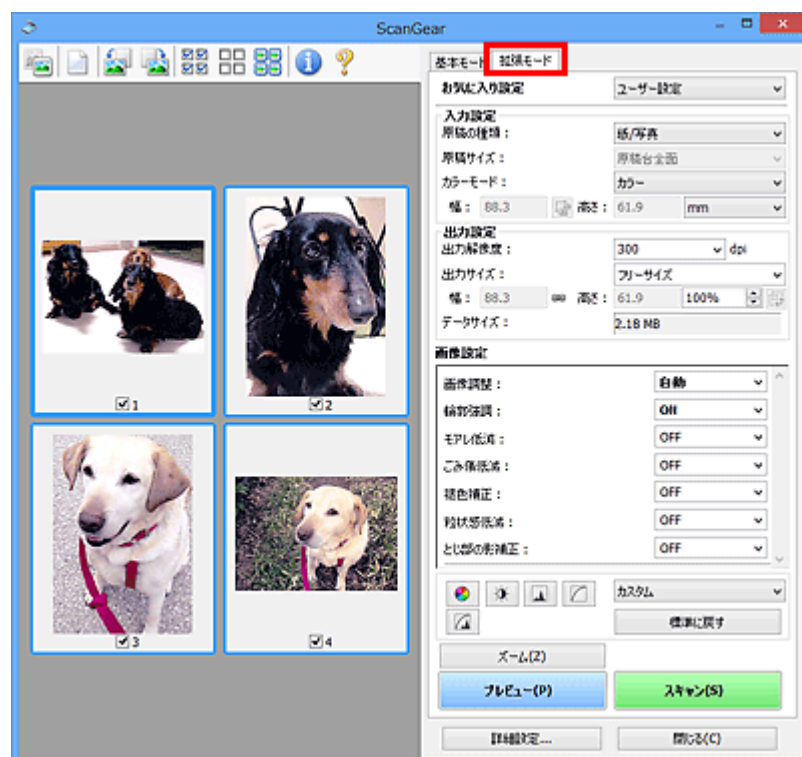
基本モード

〔基本モード〕シートでは、画面に表示されるシンプルな 3 ステップ（**1**、**2**、**3**）に従って設定、実行するだけで、簡単にスキャンすることができます。



拡張モード

〔拡張モード〕シートでは、カラーモードや出力解像度、画像の明るさ、色あいなどを細かく設定してスキャンすることができます。



ScanGear（スキャナードライバー）で細かく設定してスキャンしよう

- ▶ ScanGear（スキャナードライバー）を起動する
- ▶ 「基本モード」でスキャンする
- ▶ 「拡張モード」でスキャンする
- ▶ 「拡張モード」で ADF（自動原稿給紙装置）から複数の原稿をスキャンする
- ▶ ScanGear（スキャナードライバー）で複数の原稿を一度にスキャンする

ScanGear（スキャナードライバー）を起動する

ScanGear（スキャナードライバー）を使用すると、画像補正や色調整を行ってきれいにスキャンすることができます。ScanGear は、IJ Scan Utility またはアプリケーションソフトから起動します。

▶▶▶ 参考

- 複数台のスキャナーをお持ちの場合や、ネットワーク対応の機種で USB 接続からネットワーク接続へ接続方法を変更した場合は、ネットワーク環境の設定を行ってください。

IJ Scan Utility から起動する

IJ Scan Utility から ScanGear を起動する手順を説明します。

1. IJ Scan Utility を起動

IJ Scan Utility の起動方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「IJ Scan Utility を起動する」を参照してください。

2. IJ Scan Utility 基本画面で [ScanGear] をクリック

ScanGear の画面が表示されます。

アプリケーションソフトから起動する

アプリケーションソフトから ScanGear を起動する手順の一例を説明します。

この操作は、アプリケーションソフトによって異なります。詳しくは、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1. アプリケーションソフトを起動

2. アプリケーションソフトのメニューで本製品を選択

▶▶▶ 参考

- ネットワーク対応の機種を、ネットワークに接続して使用したい場合は、製品名の後ろに「Network」が表示されている項目を選びます。

3. 原稿をスキャンするための操作を行う

ScanGear の画面が表示されます。

「基本モード」でスキャンする

「基本モード」シートでは、画面に表示される手順に従って操作するだけで、簡単にスキャンすることができます。

原稿台から複数の原稿を一度にスキャンしたい場合は、「[ScanGear（スキャナードライバー）で複数の原稿を一度にスキャンする](#)」を参照してください。

ADF（自動原稿給紙装置）から原稿をスキャンするときは、プレビューせずにスキャンします。

重要

- 次のような原稿は、正しくスキャンできないことがあります。その場合は、ツールバーの （サムネイル）をクリックし、全体表示に切り替えてスキャンしてください。
 - 周囲が白っぽい写真
 - 白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など
 - 薄い原稿
 - 厚みのある原稿
- 次のような原稿は、正しくスキャンすることができません。
 - 3 cm（1.2 inches）四方より小さい原稿
 - いろいろな形に切り抜いた写真

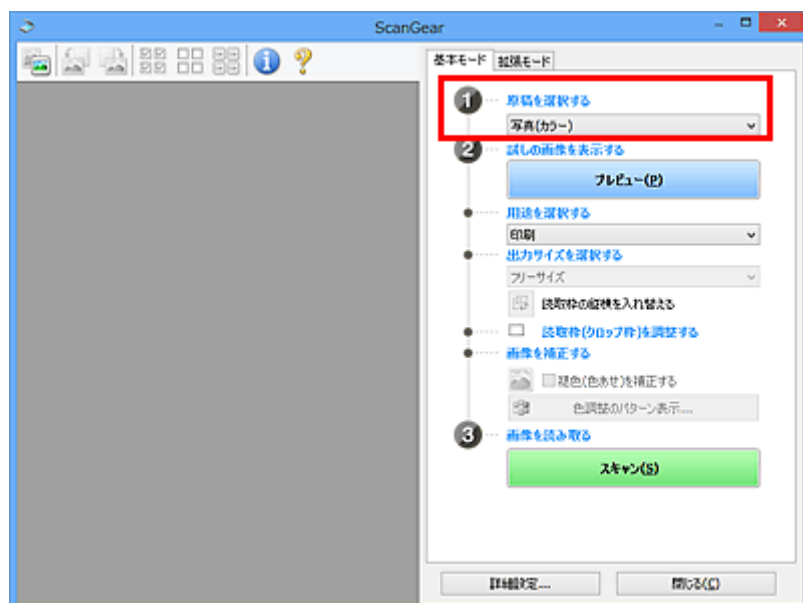
参考

- ADF 両面スキャンに対応している機種をご使用の場合は、ADF から原稿の両面を自動で読み込むことができます。

1. 本製品の原稿台または ADF に原稿をセットし、ScanGear（スキャナードライバー）を起動

- ➡ [原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）](#)
- ➡ [ScanGear（スキャナードライバー）を起動する](#)

2. セットした原稿に合わせて、「[原稿を選択する]」を設定



重要

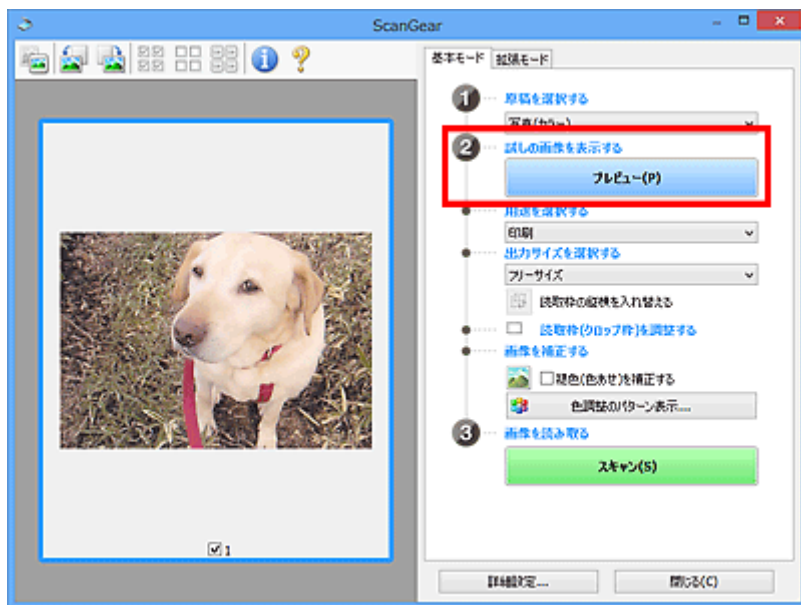
- アプリケーションソフトによっては、ADF からの連続読み込みに対応していないことがあります。詳しくは、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

参考

- カラー写真の多い雑誌をスキャンする場合は、[雑誌(カラー)] を選択してください。

3. [プレビュー] をクリック

プレビュー領域に試しでスキャンされた画像が表示されます。



重要

- [原稿を選択する] で ADF 原稿を選択した場合は、[プレビュー] は表示されません。

参考

- [原稿を選択する] で選択した原稿に合わせた色調整が行われます。

4. [用途を選択する] を設定

参考

- [原稿を選択する] で ADF 原稿を選択した場合は、手順 7 に進んでください。

5. 目的に応じて、[出力サイズを選択する] を設定

[用途を選択する] で選択した項目によって、選べる出力サイズが異なります。

6. 必要に応じて、クロップ枠（スキャンする範囲）を調整

プレビュー画像のクロップ枠の大きさや位置を調整します。

➡ [クロップ枠の調整のしかた \(ScanGear\)](#)

7. 必要に応じて、[画像を補正する] を設定

8. [スキャン] をクリック

スキャンが開始されます。

参考

-  (情報) をクリックすると、表示されたダイアログボックスで原稿の種類などスキャンするときの詳細な設定を確認できます。
- [詳細設定] ダイアログボックスにある [\[スキャン\] シート](#) の [スキャン終了後の ScanGear の画面] で、スキャン終了後の動作を設定することができます。

関連項目

➡ [\[基本モード\] シート](#)

「拡張モード」でスキャンする

「拡張モード」シートでは、カラーモードや出力解像度、画像の明るさ、色あいなどを細かく設定してスキャンすることができます。

複数の原稿を一度にスキャンしたい場合は、「[ScanGear（スキャナードライバー）で複数の原稿を一度にスキャンする](#)」を参照してください。

ADF（自動原稿給紙装置）にセットした複数の原稿をスキャンしたい場合は、「[「拡張モード」で ADF（自動原稿給紙装置）から複数の原稿をスキャンする](#)」を参照してください。

重要

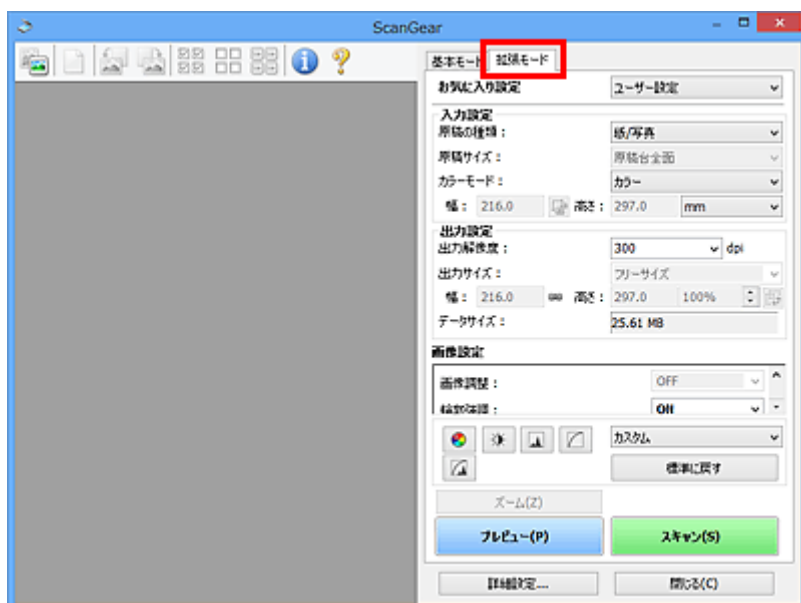
- 次のような原稿は、正しくスキャンできないことがあります。その場合は、ツールバーの （サムネイル）をクリックし、全体表示に切り替えてスキャンしてください。
 - 周囲が白っぽい写真
 - 白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など
 - 薄い原稿
 - 厚みのある原稿
- 次のような原稿は、正しくスキャンすることができません。
 - 3 cm（1.2 inches）四方より小さい原稿
 - いろいろな形に切り抜いた写真

1. 本製品の原稿台に原稿をセットし、ScanGear（スキャナードライバー）を起動

- ➡ [原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）](#)
- ➡ [ScanGear（スキャナードライバー）を起動する](#)

2. 「拡張モード」タブをクリック

「拡張モード」シートに切り替わります。



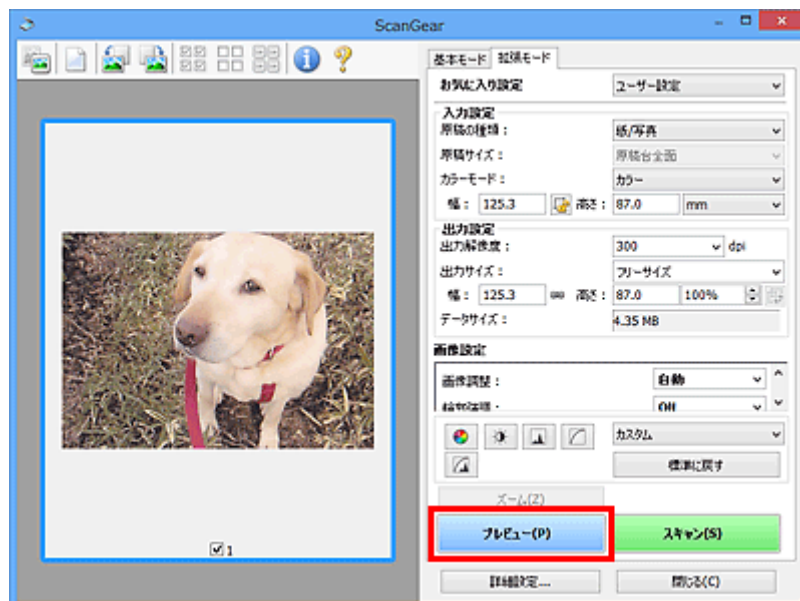
参考

- モードの切り替えをした場合、設定した内容は引き継がれません。

3. 原稿や目的に合わせて、[\[入力設定\]](#)を設定

4. [\[プレビュー\]](#) をクリック

プレビュー領域に試しでスキャンされた画像が表示されます。



5. [\[出力設定\]](#)を設定

6. 必要に応じて、クロップ枠（スキャンする範囲）の調整や画像補正、色調整を行う

- ➡ [クロップ枠の調整のしかた \(ScanGear\)](#)
- ➡ [\[画像設定\]](#)
- ➡ [色調整ボタン](#)

7. [\[スキャン\]](#) をクリック

スキャンが開始されます。

参考

-  (情報) をクリックすると、表示されたダイアログボックスで原稿の種類などスキャンするときの詳細な設定を確認できます。
- [詳細設定] ダイアログボックスにある [\[スキャン\] シート](#) の [スキャン終了後の ScanGear の画面] で、スキャン終了後の動作を設定することができます。

関連項目

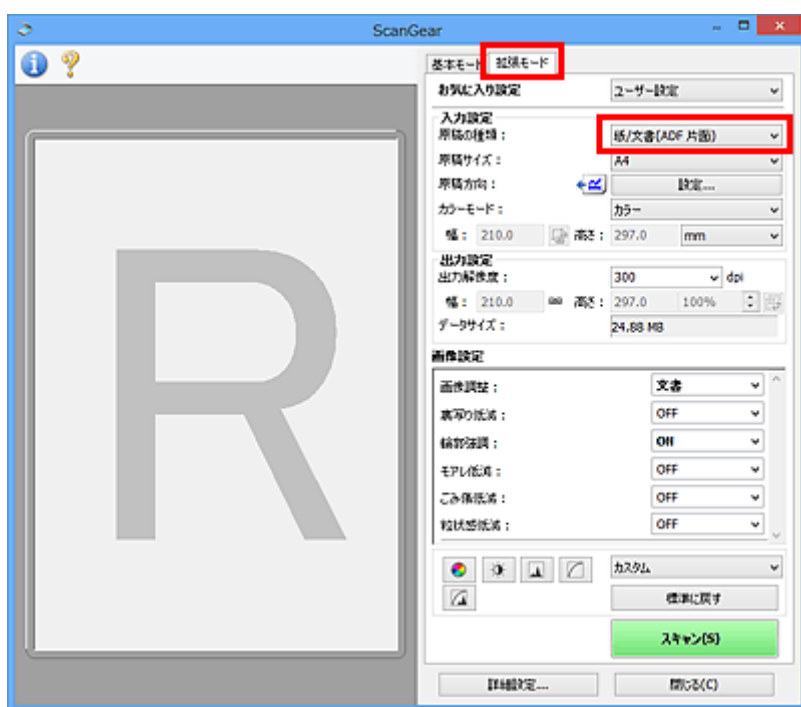
- ➡ [\[拡張モード\] シート](#)

「拡張モード」で ADF（自動原稿給紙装置）から複数の原稿をスキャンする

「拡張モード」シートでは、ADF（自動原稿給紙装置）にセットした複数枚の原稿を、画像の明るさや色あいなどを細かく設定して一度にまとめてスキャンすることができます。ADF 両面スキャンに対応している機種をご使用の場合は、ADF から原稿の両面を自動で読み込むことができます。

ADF から原稿をスキャンするときは、プレビューせずにスキャンします。

1. 本製品の ADF に原稿をセットし、ScanGear（スキャナードライバー）を起動
 - ➡ [原稿のセットのしかた（ADF（自動原稿給紙装置））](#)
 - ➡ [ScanGear（スキャナードライバー）を起動する](#)
2. 「拡張モード」タブをクリックし、「原稿の種類」で「紙/文書(ADF 片面)」または「紙/文書(ADF 両面)」を選択



参考

- モードの切り替えをした場合、設定した内容は引き継がれません。
- ADF 両面スキャンに対応している機種をご使用の場合は、「紙/文書(ADF 両面)」が選択できます。

3. 原稿や目的に合わせて、[「入力設定」](#)を設定
4. [「出力設定」](#)を設定
5. 必要に応じて、画像補正や色調整を行う
 - ➡ [「画像設定」](#)
 - ➡ [色調整ボタン](#)
6. 「スキャン」をクリック
スキャンが開始されます。

参考

-  (情報) をクリックすると、表示されたダイアログボックスで原稿の種類などスキャンするときの詳細な設定を確認できます。
- [詳細設定] ダイアログボックスにある [\[スキャン\] シート](#) の [スキャン終了後の ScanGear の画面] で、スキャン終了後の動作を設定することができます。

関連項目

➡ [\[拡張モード\] シート](#)

ScanGear（スキャナードライバー）で複数の原稿を一度にスキャンする

〔基本モード〕シート、〔拡張モード〕シートでは、原稿台にセットした2枚以上の写真（小さいサイズの原稿）を、一度にまとめてスキャンすることができます。

ここでは、〔基本モード〕シートで複数の原稿をスキャンする例を説明します。

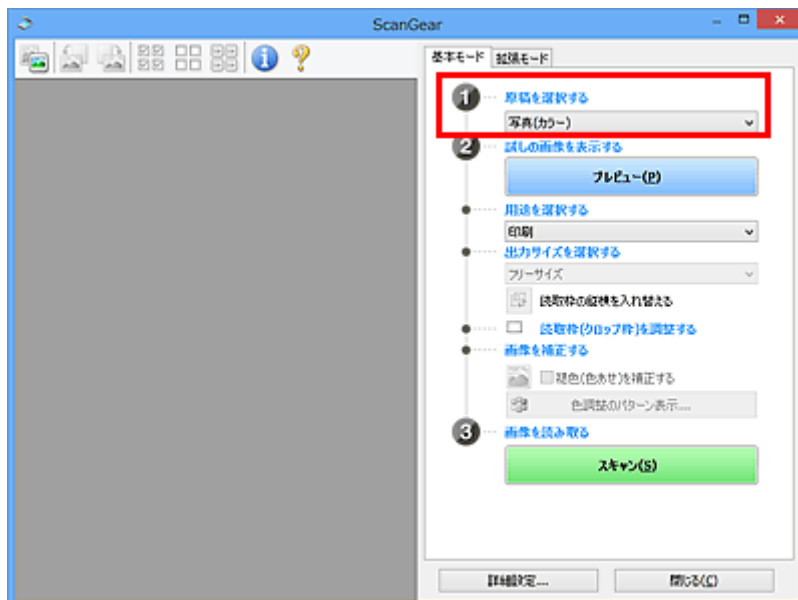
重要

- 複数の原稿を1枚の画像でスキャンしたい場合は、全体表示でスキャンしてください。
 - 次のような原稿は、正しく切り抜けないことがあります。その場合は、全体表示でクロップ枠（スキャンする範囲）を調節して、スキャンしてください。
 - 周囲が白っぽい写真
 - 白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など
 - 薄い原稿
 - 厚みのある原稿
- ⇒ [全体表示で複数の原稿をスキャンする](#)
- 次のような原稿は、正しくスキャンすることができません。
 - 3 cm（1.2 inches）四方より小さい原稿
 - いろいろな形に切り抜いた写真

参考

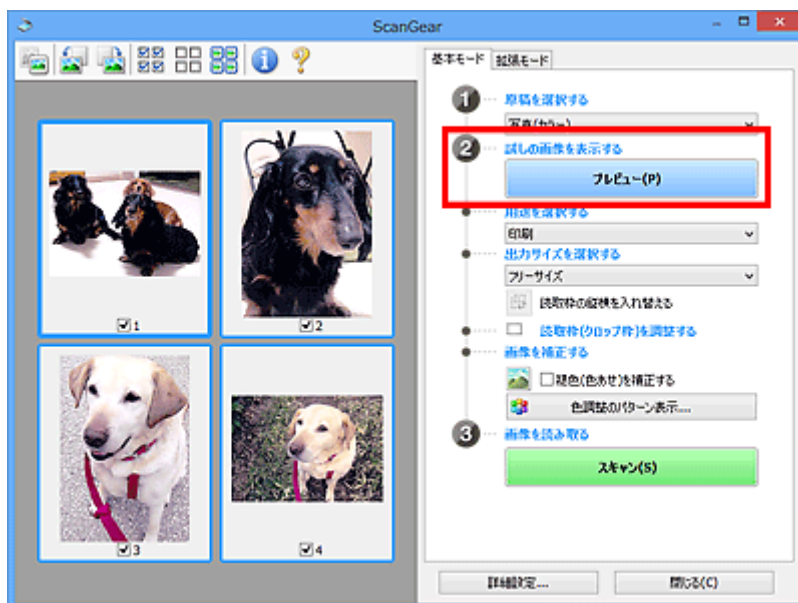
- 〔拡張モード〕シートでも同じように複数の原稿を一度にスキャンできます。カラーモードや出力解像度、画像の明るさ、色あいなどを細かく設定してスキャンしたい場合は、〔拡張モード〕シートをご使用ください。
- 〔基本モード〕シート、〔拡張モード〕シートの詳細については、以下を参照してください。
 - ⇒ [〔基本モード〕シート](#)
 - ⇒ [〔拡張モード〕シート](#)

1. 本製品の原稿台に原稿をセットし、ScanGear（スキャナードライバー）を起動
 - ⇒ [原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）](#)
 - ⇒ [ScanGear（スキャナードライバー）を起動する](#)
2. セットした原稿に合わせて、〔原稿を選択する〕を設定



3. [プレビュー] をクリック

プレビュー領域に試しでスキャンされた画像がサムネイル（縮小版）表示されます。原稿のサイズに合わせて、自動的にクロップ枠が指定されます。



4. [用途を選択する] を設定

5. 目的に応じて、[出力サイズを選択する] を設定

6. 必要に応じて、クロップ枠の調整や[画像を補正する] を設定

▶▶▶ 参考

- 読み込んだ画像ごとに補正することができます。補正したいコマを選んでください。
- サムネイル（縮小版）表示では、クロップ枠を1コマにつき1つしか作成できません。1枚の画像に複数のクロップ枠を作成したい場合は、全体表示でスキャンしてください。

➡ [全体表示で複数の原稿をスキャンする](#)

7. スキャンしたい画像を選択

スキャンしたい画像のチェックボックスにチェックマークを付けます。

8. [スキャン] をクリック

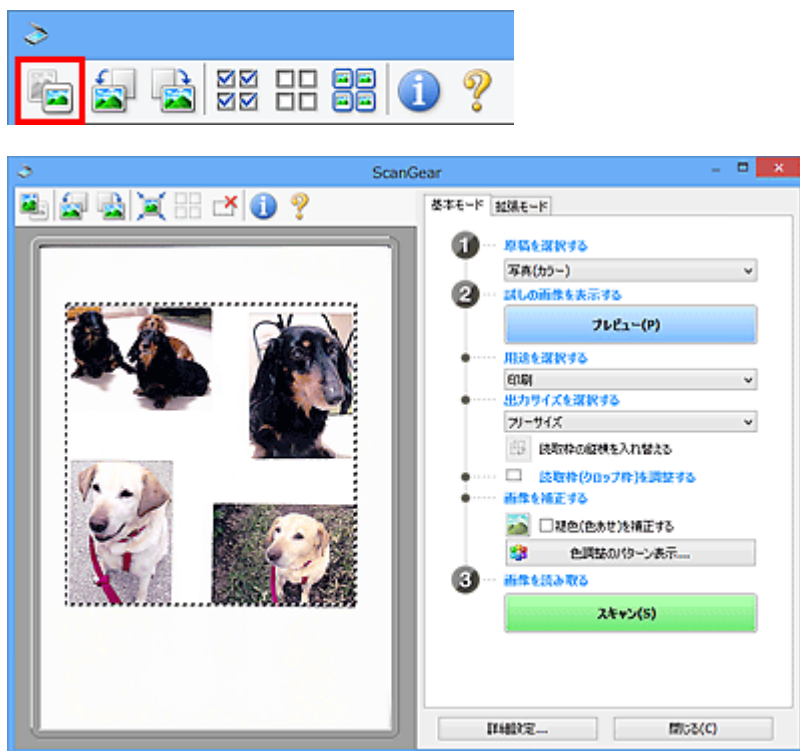
全体表示で複数の原稿をスキャンする

プレビューしたときに、正常にサムネイル（縮小版）表示されない場合や、複数の原稿を 1 枚の画像でスキャンしたい場合は、以下の手順を行ってください。

参考

- 全体表示では、原稿の傾きは補正されません。

1. 画像をプレビュー後、ツールバーの （サムネイル）をクリック
全体表示にします。



参考

- 全体を表示しているときは、アイコンが （全体表示）に変わります。

2. [用途を選択する] を設定

3. 目的に応じて、[出力サイズを選択する] を設定

[出力サイズを選択する] が、[フリーサイズ] 以外のとき [読取枠の縦横を入れ替える] が有効となります。このボタンをクリックすると、クロップ枠の縦横比を切り替えます。もう一度クリックすると元に戻ります。

4. クロップ枠を調整

プレビュー画像のクロップ枠の大きさや位置を調整します。また、クロップ枠を複数作成することもできます。

範囲を指定しない場合は、原稿サイズ（オートクロップ）で読み込まれます。範囲を指定した場合は、その範囲の画像だけが読み込まれます。

➡ [クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）](#)

5. 必要に応じて、[画像を補正する] を設定

6. [スキャン] をクリック

点線で囲まれた原稿がスキャンされます。

▶▶▶ 参考

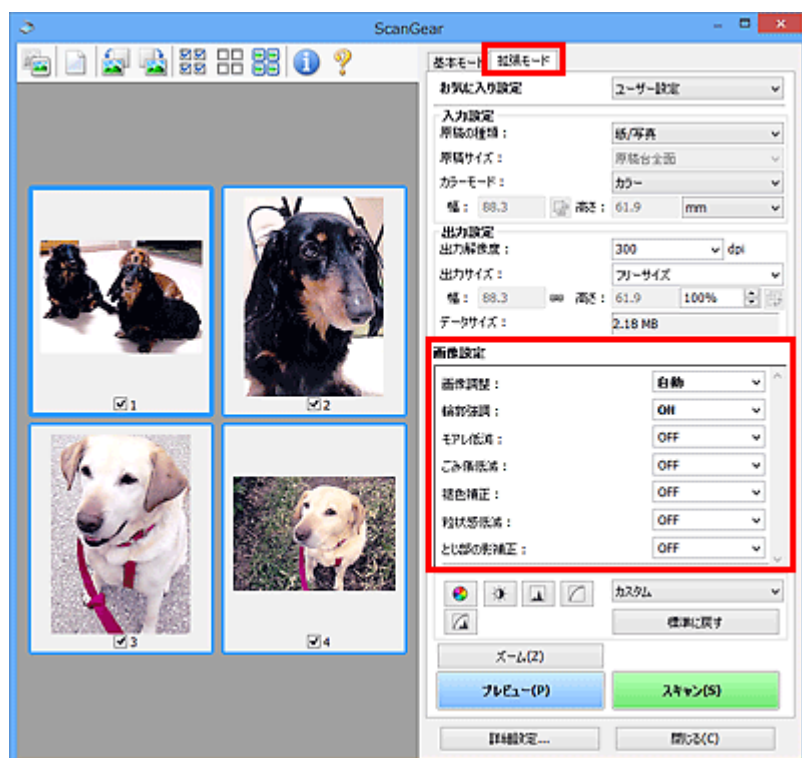
- [詳細設定] ダイアログボックスにある [\[スキャン\] シート](#) の [スキャン終了後の ScanGear の画面] で、スキャン終了後の動作を設定することができます。

ScanGear（スキャナードライバー）で画像補正や色調整を試みよう

- ▶ 画像補正のしかた（輪郭強調・ごみ傷低減・褪色補正など）
- ▶ 色調整パターンを使った色調整のしかた
- ▶ 彩度・カラーバランスの調整のしかた
- ▶ 明るさ・コントラストの調整のしかた
- ▶ ヒストグラムの調整のしかた
- ▶ トーンカーブの調整のしかた
- ▶ 白黒設定のしかた

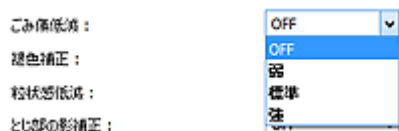
画像補正のしかた（輪郭強調・ごみ傷低減・褪色補正など）

ScanGear（スキャナードライバー）の「拡張モード」シートの「画像設定」の機能を使用すると、画像の輪郭を強調したり、ごみ傷や色褪せを目立たなくしたりしてスキャンすることができます。



設定のしかた

各機能の （矢印）をクリックし、プルダウンメニューから項目を選びます。



重要

- モアレ、ごみ傷、色褪せなどが発生していない原稿に対して、これらの機能を使用しないでください。色あいがおかしくなることがあります。
- 各機能の詳細や注意事項などは、「[\[画像設定\]](#)」を参照してください。

参考

- ScanGear の「拡張モード」シートの起動方法、スキャンする手順については、「[\[拡張モード\]でスキャンする](#)」を参照してください。

画像の明るさや色あいを調整したい

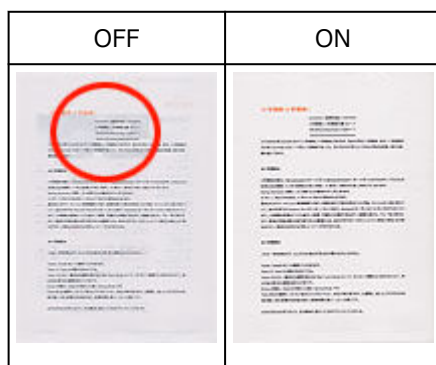
「画像調整」を、原稿の種類に応じて「自動」、「写真」、「雑誌」、「文書」のいずれかに設定します。

OFF	自動
-----	----



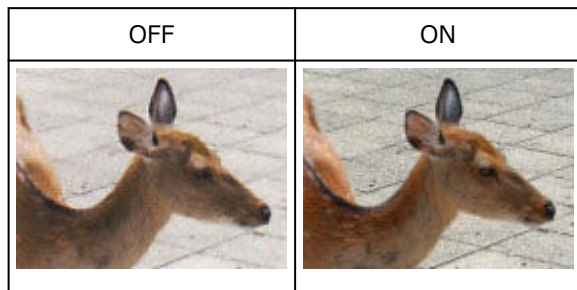
原稿をスキャンするときに、文字原稿の裏写りや、再生紙や新聞などの下地の色を軽減したい

〔裏写り低減〕を〔ON〕にします。



ぼやけ気味の画像をもっとくっきりした画質にしたい

〔輪郭強調〕を〔ON〕にします。



濃淡のむらや縞模様を低減したい

〔モアレ低減〕を〔ON〕にします。



参考

- 印刷された写真や絵は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象です。〔モアレ低減〕は、このモアレを少なくする機能です。

ごみや傷を少なくしてスキャンしたい

〔ごみ傷低減〕を、程度に応じて〔弱〕、〔標準〕、〔強〕のいずれかに設定します。



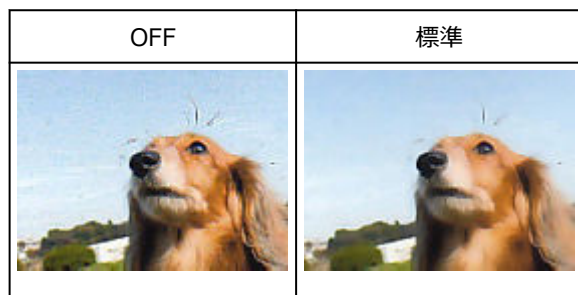
褪色や、色かぶりした写真の色を補正したい

〔褪色補正〕を、程度に応じて〔弱〕、〔標準〕、〔強〕のいずれかに設定します。



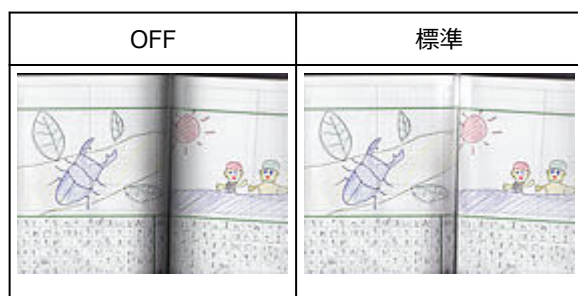
粒状感を低減したい

〔粒状感低減〕を、程度に応じて〔弱〕、〔標準〕、〔強〕のいずれかに設定します。



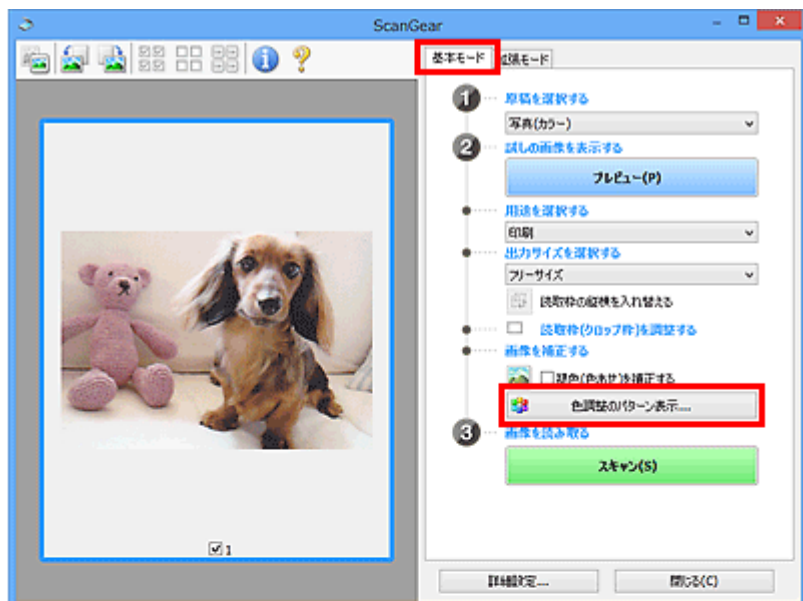
冊子などを見開きでスキャンするときにとじ部にできる影を補正したい

〔とじ部の影補正〕を、程度に応じて〔弱〕、〔標準〕、〔強〕のいずれかに設定します。



色調整パターンを使った色調整のしかた

ScanGear（スキャナードライバー）の「基本モード」シートで色調整パターンを使用すると、色の变化をプレビューで確認しながら自然な色あいに近づけることができます。



色の調整

褪色や色かぶりによって損なわれた画像の色を補正します。「色かぶり」とは、天候や周囲の強い色などで、ある特定の色が写真全体に影響を与えてしまう現象です。

「色調整」の各色の矢印をクリックして、それぞれの色あいを強くすることができます。

シアン－レッド、マゼンタ－グリーン、イエロー－ブルー、これらは互いに補色（混ぜ合わせると無彩色になる色）であり、色かぶりした色を弱め、反対に補色を強めることで本来の自然な色調に近づけることができます。

画像の中で本来白である部分を見つけ、その部分が白になるように色を調整すると、上手に補正できます。

中心にはプレビューが表示されます。プレビューで色の変化を確認しながら調整できます。



青みがかってしまった画像の補正例を次に示します。

【ブルー】や【グリーン】が強いので、【イエロー】と【マゼンタ】の矢印をクリックし色あいを強くすると上手に補正できます。

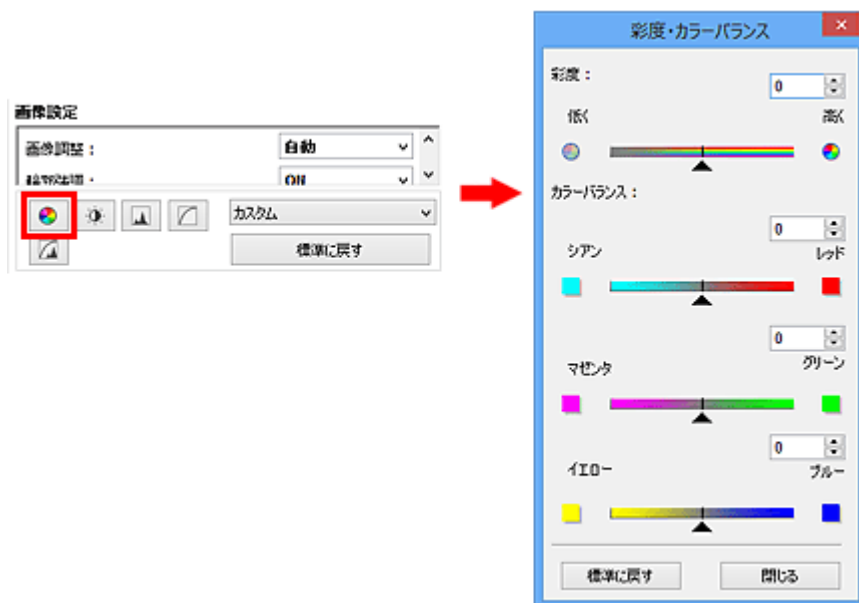
調整前	調整後

参考

- クロップ枠（スキャンする範囲）で選んだ範囲またはサムネイル表示で選択したコマのみ、色調整が適用されます。
- Ctrl キーを押しながらクロップ枠やコマをクリックすると、複数のクロップ枠または複数のコマを同時に選択状態にすることができます。
- 【色調整パターン】では、画面左のパターンから好みの色調を選ぶこともできます。
- わざと色あいを変えて、画像に雰囲気を加えることもできます。マゼンタ寄りに調整すると優しく温かい雰囲気を、ブルー寄りに調整すると涼しげでクールな雰囲気を演出することができます。

彩度・カラーバランスの調整のしかた

ScanGear（スキャナードライバー）の〔拡張モード〕シートで （彩度・カラーバランス）を使用すると、色かぶりや褪色によって損なわれた色彩を鮮やかに調整できます。



参考

- ・〔標準に戻す〕をクリックすると、表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態に戻ります。

彩度の調整

画像の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。褪色などで損なわれた色彩を鮮やかに調整できます。

〔彩度〕の （スライダー）を左に動かすと彩度が低く（色が薄く）なり、右に動かすと彩度が高く（色が鮮やかに）なります。数値（-127～127）を直接入力して指定することもできます。



彩度を低くした画像	未調整の画像	彩度を高くした画像
		

参考

- ・彩度を高くしすぎると、元の画像が持つ自然な色調が失われることがあります。

カラーバランスの調整

色かぶりした画像を調整します。「色かぶり」とは、天候や周囲の強い色などで、ある特定の色が写真全体に影響を与えてしまう現象です。

「カラーバランス」の ▲（スライダー）を左右に動かして、それぞれの色あいを強くすることができます。

シアン - レッド

マゼンタ - グリーン

イエロー - ブルー

これらは互いに補色（混ぜ合わせると無彩色になる色）であり、色かぶりした色を弱め、反対に補色を強めることで本来の自然な色調に近づけることができます。

1組の色を調整するだけでは補正しきれないことが多いので、画像の中で本来白である部分を見つけ、その部分が白になるように3組の色を調整すると、上手に補正できます。

また数値（-127～127）を直接入力して指定することもできます。

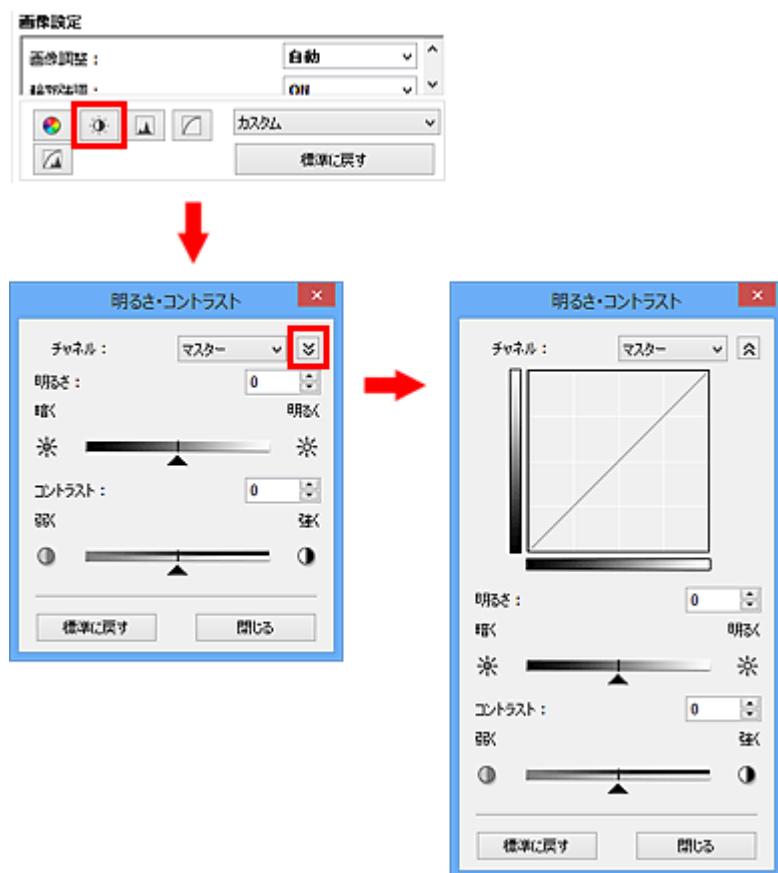
「シアン - レッド」を調整した画像の例を次に示します。



シアンが強い画像	レッドが強い画像
	

明るさ・コントラストの調整のしかた

ScanGear（スキャナードライバー）の〔拡張モード〕シートで （明るさ・コントラスト）を使用すると、暗すぎたり明るすぎたりする画像や、明暗差がなくフラットな画像の色を調整できます。



参考

- （下矢印）をクリックすると、詳細な画面に切り替わります。（上矢印）をクリックすると元に戻ります。
- [標準に戻す] をクリックすると、表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態に戻ります。

チャンネルとは

画像の各ドットの色は、レッド、グリーン、ブルーをさまざまな割合（階調）で調整することにより表現されています。これらの色は個別に調整することができ、このとき利用するのが「チャンネル」です。

【マスター】

レッド、グリーン、ブルーを統合した状態での調整／設定を行います。

【レッド】

画像のうち、赤の要素だけの調整／設定を行います。

【グリーン】

画像のうち、緑の要素だけの調整／設定を行います。

【ブルー】

画像のうち、青の要素だけの調整／設定を行います。

参考

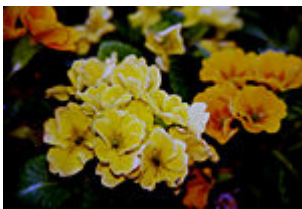
- [カラーモード] が [グレースケール] のときは、[チャンネル] は [グレイ] のみになります。

明るさの調整

画像の明るさを調整します。

[明るさ] の ▲ (スライダー) を左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。数値 (-127 ~ 127) を直接入力して指定することもできます。



暗くした画像	未調整の画像	明るくした画像
		

参考

- 明るさの値を大きくしすぎるとハイライト部分が飛んでしまい、明るさの値を小さくしすぎるとシャドウ部分がつぶれてしまうことがあります。

コントラストの調整

「コントラスト」とは、画像の明暗差のことです。コントラストの値を大きくすると、画像の明暗の差が大きくなり、はっきりとした画像になります。コントラストの値を小さくすると、画像の明暗の差が小さくなり、ぼんやりとした画像になります。

[コントラスト] の ▲ (スライダー) を左に動かすとコントラストの値が小さくなり、右に動かすとコントラストの値が大きくなります。数値 (-127 ~ 127) を直接入力して指定することもできます。



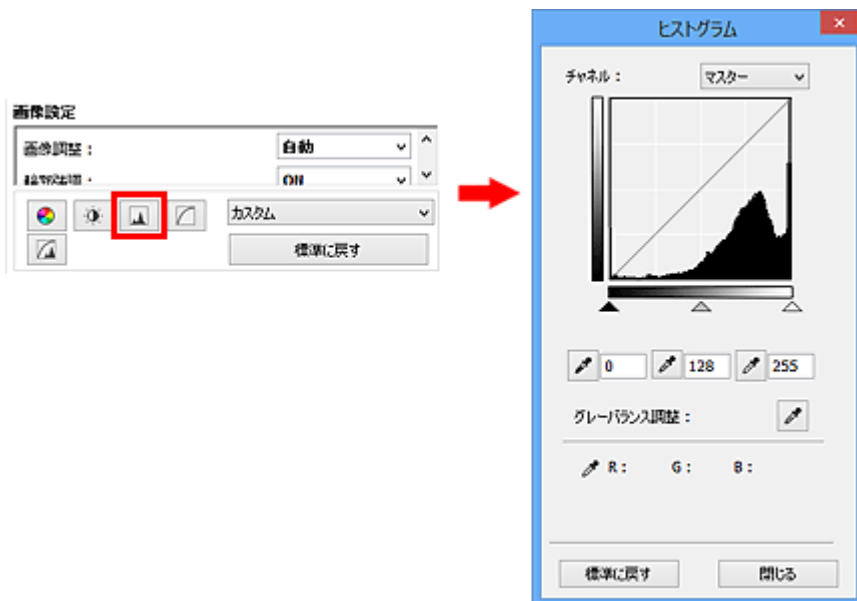
コントラストを弱くした画像	未調整の画像	コントラストを強くした画像
		

参考

- 画像が薄くぼんやりしているようなときにコントラストの値を大きくすると、画像にメリハリが出て効果的です。ただし、コントラストの値を大きくしすぎると、シャドウ部分がつぶれてしまったり、ハイライトの部分が飛んでしまったりします。

ヒストグラムの調整のしかた

ScanGear（スキャナードライバー）の〔拡張モード〕シートで （ヒストグラム）を使用すると、明るさの分布を示すグラフ（ヒストグラム）で画像の色あいを調整できます。



参考

- [標準に戻す] をクリックすると、表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態に戻ります。

チャンネルとは

画像の各ドットの色は、レッド、グリーン、ブルーをさまざまな割合（階調）で調整することにより表現されています。これらの色は個別に調整することができ、このとき利用するのが「チャンネル」です。

【マスター】

レッド、グリーン、ブルーを統合した状態での調整／設定を行います。

【レッド】

画像のうち、赤の要素だけの調整／設定を行います。

【グリーン】

画像のうち、緑の要素だけの調整／設定を行います。

【ブルー】

画像のうち、青の要素だけの調整／設定を行います。

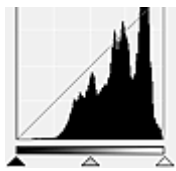
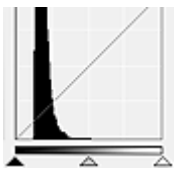
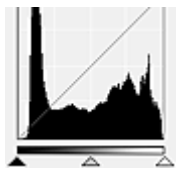
参考

- [カラーモード] が [グレースケール] のときは、[チャンネル] は [グレイ] のみになります。

ヒストグラムの見かた

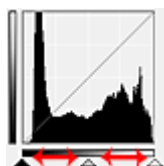
[チャンネル] ごとに、指定した範囲のヒストグラムを見ることができます。ヒストグラムの山が高いほど、そのレベルにデータがたくさん分布しています。



(1) 明るい部分	(2) 暗い部分	(3) 全体
		
ハイライト寄りに多くのデータが分布	シャドウ寄りに多くのデータが分布	シャドウとハイライトの間に広くデータが分布

ヒストグラムの調整（スライダーを使用）

[チャンネル] を選び、ヒストグラムの下にある ▲（暗点スライダー）と △（明点スライダー）の位置を移動して、どのレベルをシャドウまたはハイライトにするかを調整します。



- ▲（暗点スライダー）より左に指定した部分は、すべて黒（レベル 0）になります。
- △（中間点スライダー）に指定した部分が、暗点と明点のちょうど中間の色になります。
- △（明点スライダー）より右の部分は、すべて白（レベル 255）になります。

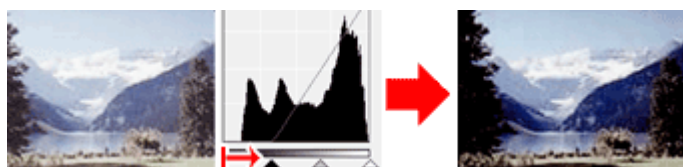
[画像調整] が [OFF] 以外の場合、下図のような調整が自動的行われます。

暗点・明点スライダーを移動させる

暗点スライダーまたは明点スライダーを移動させて、明るさを調整します。

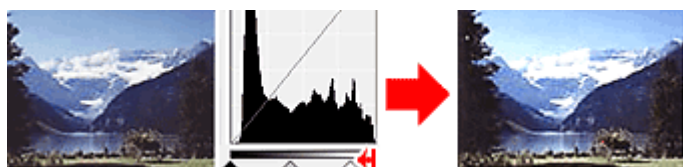
ハイライト寄りにデータがかたよっている画像

暗点スライダーの位置をハイライト寄りに移動



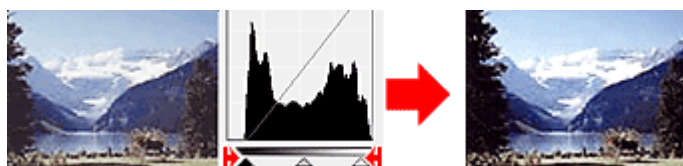
シャドウ寄りにデータがかたよっている画像

明点スライダーの位置をシャドウ寄りに移動



広くデータが分布している画像

暗点スライダーの位置をハイライト寄りに、明点スライダーの位置をシャドウ寄りに移動

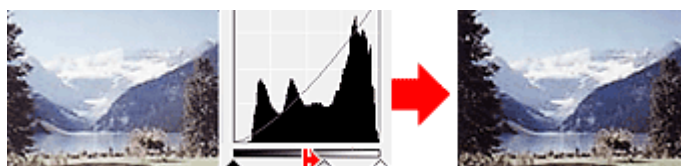


中間点スライダーを移動させる

中間点スライダーを移動させて、どのくらいの明るさを中間の明るさとするかを設定することもできます。

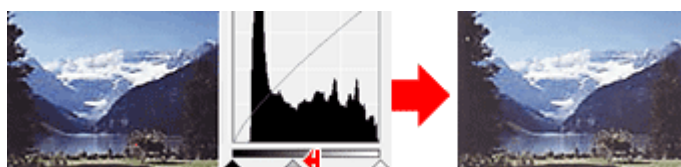
ハイライト寄りにデータがかたよっている画像

中間点スライダーの位置をハイライト寄りに移動



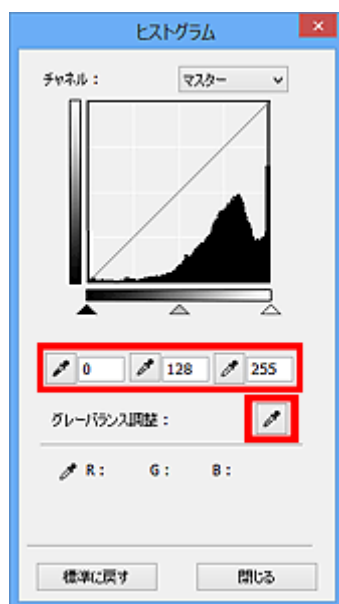
シャドウ寄りにデータがかたよっている画像

中間点スライダーの位置をシャドウ寄りに移動



ヒストグラムの調整（ピッカー使用）

[チャンネル] を選び、暗点ピッカー、中間点ピッカー、または明点ピッカーをクリックすると、プレビュー画像上のカーソルの形状がスポイトになります。ヒストグラムの下にあるスポイトをクリックし、設定を変更します。



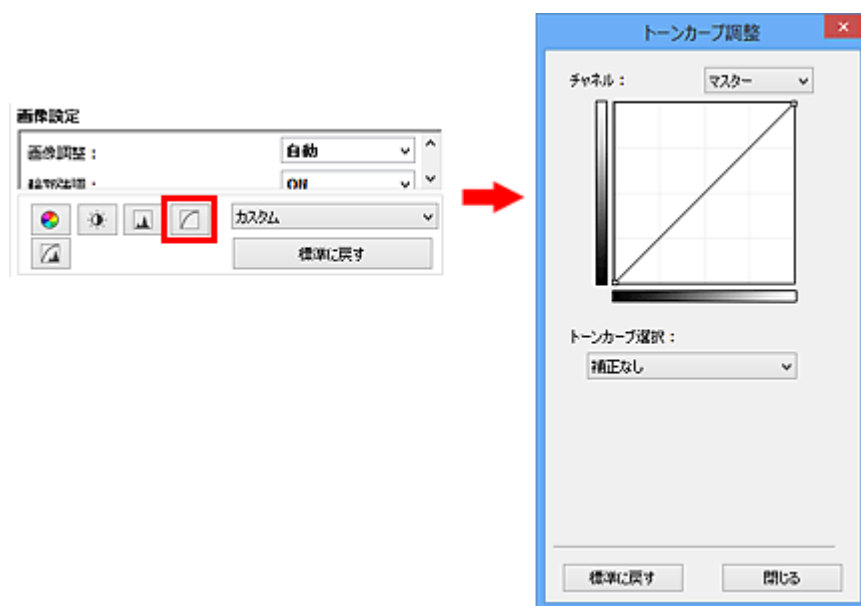
-  （暗点ピッカー）でクリックしたところが、いちばん暗くなります。数値（0～245）を入力して設定することもできます。
-  （中間点ピッカー）でクリックしたところが、白と黒の中間の色になります。数値（5～250）を入力して設定することもできます。
-  （明点ピッカー）でクリックしたところが、いちばん明るくなります。数値（10～255）を入力して設定することもできます。

- [グレーバランス調整] の  (ピッカー) をクリックし、プレビュー画像で色を調整したい部分をクリックします。

クリックした点を無彩色にし、それに応じて画像全体に色調整を行います。たとえば、雪に青みがかっている写真などで青みを取りたい部分をクリックすると、画像全体の調整を行い自然の色調に近づけることができます。

トーンカーブの調整のしかた

ScanGear（スキャナードライバー）の[拡張モード]シートで （トーンカーブ調整）を使用すると、明暗の入力と出力のバランスを示したグラフ（トーンカーブ）の種類を選んで、画像の明るさを調整できます。



参考

- [標準に戻す] をクリックすると、表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態に戻ります。

チャンネルとは

画像の各ドットの色は、レッド、グリーン、ブルーをさまざまな割合（階調）で調整することにより表現されています。これらの色は個別に調整することができ、このとき利用するのが「チャンネル」です。

【マスター】

レッド、グリーン、ブルーを統合した状態での調整／設定を行います。

【レッド】

画像のうち、赤の要素だけの調整／設定を行います。

【グリーン】

画像のうち、緑の要素だけの調整／設定を行います。

【ブルー】

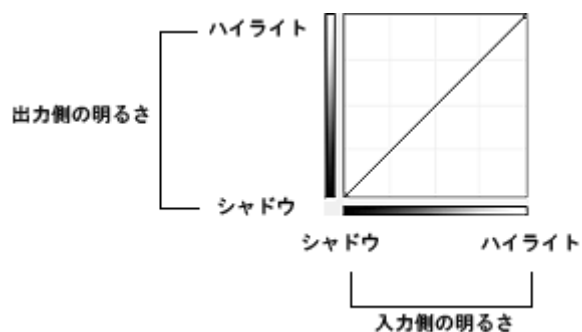
画像のうち、青の要素だけの調整／設定を行います。

参考

- [カラーモード] が [グレースケール] のときは、[チャンネル] は [グレイ] のみになります。

トーンカーブの見かた

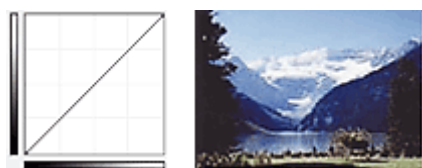
ScanGear では、スキャナーからの画像の読み取りが入力、モニターへの表示が出力となります。この入力と出力の明暗のバランスを [チャンネル] ごとに示したものが、「トーンカーブ」です。



トーンカーブの調整

〔トーンカーブ選択〕でトーンカーブを〔補正なし〕、〔露出オーバーにする〕、〔露出アンダーにする〕、〔ハイコントラストにする〕、〔ネガポジを反転する〕、〔カスタムカーブを作成〕から選びます。

〔補正なし〕を選択（未調整）



〔露出オーバーにする〕を選択（上膨らみの曲線）

入力側の中間長のデータが出力側のハイライト寄りの形になるので、モニターの表示は明るい感じの色調に調整されます。



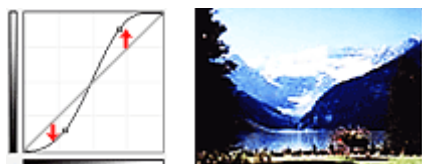
〔露出アンダーにする〕を選択（下膨らみの曲線）

入力側の中間長のデータが出力側のシャドウ寄りの形になるので、モニターの表示は暗い感じの色調に調整されます。



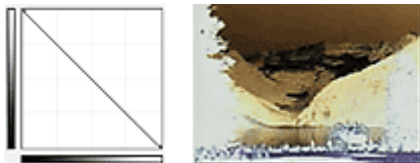
〔ハイコントラストにする〕を選択（S字形の曲線）

入力側のハイライトとシャドウが強調されるため、コントラストが強調された画像になります。



〔ネガポジを反転する〕を選択（右下がりの曲線）

入力側と出力側が反転するので、ネガポジの反転した画像になります。

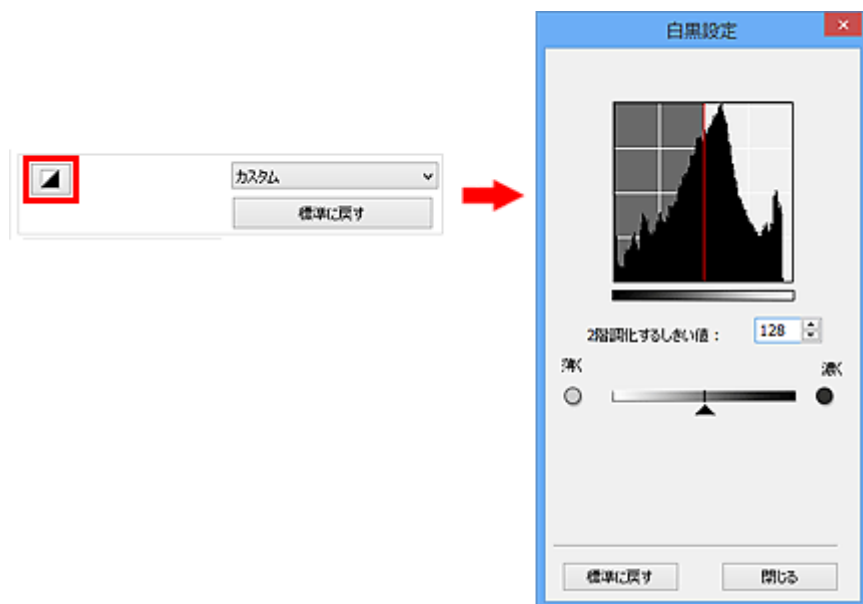


【カスタムカーブを作成】を選択

トーンカーブの任意の点をドラッグして、特定の領域の明るさをきめ細かく調整することができます。

白黒設定のしかた

ScanGear（スキャナードライバー）の〔拡張モード〕シートで （白黒設定）を使用すると、しきい値を調整して、原稿の文字をくっきりさせたり、新聞の裏写りを軽減させたりすることができます。



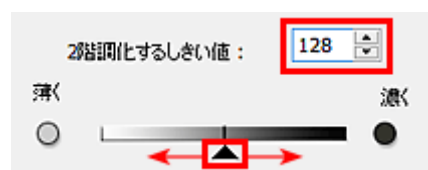
参考

- [カラーモード] が [白黒] のときに有効です。
- [標準に戻す] をクリックすると、表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態に戻ります。

しきい値の調整

カラーやグレースケールの画像は、明るさを 0～255 の数値で表現しますが、白黒の場合は、中間色の部分も白（255）と黒（0）のどちらかに分けます。このときの白と黒の境目が「しきい値」です。

このしきい値の （スライダー）を右に動かして数値を大きくすると、黒になる部分が多くなり、左に動かして数値を小さくすると、白になる部分が多くなります。数値（0～255）を直接入力して指定することもできます。



ScanGear（スキャナードライバー）の画面説明

- ▶ **〔基本モード〕 シート**
- ▶ **〔拡張モード〕 シート**
 - 〔入力設定〕
 - 〔出力設定〕
 - 〔画像設定〕
 - 色調整ボタン
- ▶ **〔詳細設定〕 ダイアログボックス**
 - 〔スキャナー〕 シート
 - 〔プレビュー〕 シート
 - 〔スキャン〕 シート
 - 〔色の設定〕 シート

〔基本モード〕 シート

画面に表示される手順に従って操作するだけで、簡単にスキャンできるモードです。

〔基本モード〕 シートの各項目や、機能を説明します。



- ⇒ [\(1\) 設定項目と操作ボタン](#)
- ⇒ [\(2\) ツールバー](#)
- ⇒ [\(3\) プレビュー領域](#)

参考

- 表示される項目は、原稿の種類や表示方法によって異なります。
- ADF（自動原稿給紙装置）から原稿をスキャンするときは、プレビュー機能は使用できません。

(1) 設定項目と操作ボタン

〔原稿を選択する〕

〔写真(カラー)〕

カラー写真をスキャンします。

〔雑誌(カラー)〕

カラーの印刷物をスキャンします。

〔文書(カラー)〕

原稿をカラーでスキャンします。

〔文書(グレー)〕

原稿をモノクロでスキャンします。

〔文書(カラー) ADF 片面〕

ADF から、原稿をカラーでスキャンします。

〔文書(グレー) ADF 片面〕

ADF から、原稿をモノクロでスキャンします。

〔文書(カラー) ADF 両面〕 (ADF 両面スキャンに対応している機種の場合)

ADF から、原稿の両面をカラーでスキャンします。

〔文書(グレー) ADF 両面〕 (ADF 両面スキャンに対応している機種の場合)

ADF から、原稿の両面をモノクロでスキャンします。

重要

- アプリケーションソフトによっては、ADF からの連続読み込みに対応していないことがあります。詳しくは、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

参考

- 原稿の種類を選ぶと、輪郭強調機能がはたらきます。
- ADF 以外の原稿を選ぶと、原稿の種類に合わせた画像調整機能がはたらきます。
- 〔雑誌(カラー)〕を選ぶと、モアレ低減機能がはたらきます。

〔試しの画像を表示する〕

〔プレビュー〕

試して原稿をスキャンします。



参考

- 本製品をはじめて使う場合、自動的にスキャナーの補正（キャリブレーション）が行われます。続いてプレビュー画像が表示されるまでしばらくお待ちください。

〔用途を選択する〕

スキャンした画像の用途に合わせて選びます。

〔印刷〕

スキャンした画像をプリンターで印刷するときに選びます。

〔画面表示〕

スキャンした画像をモニターで見るときに選びます。

〔OCR〕

スキャンした画像を OCR ソフトウェアなどで使用するときを選びます。

「OCR ソフトウェア」とは、画像として読み込んだ活字を、ワープロソフトなどで編集可能なテキスト（文字）データに変換するアプリケーションソフトです。

〔出力サイズを選択する〕

スキャンする画像の出力サイズを選びます。

〔用途を選択する〕で選択した項目によって、選べる出力サイズが異なります。

〔フリーサイズ〕

クロップ枠（スキャンする範囲）を自由に変更できます。

サムネイル表示の場合：

サムネイルの中でマウスをドラッグすると、クロップ枠が表示されます。クロップ枠が表示されているときは、クロップ枠の範囲をスキャンします。クロップ枠が表示されていないときは、1コマずつサムネイル全体をスキャンします。

全体表示の場合：

クロップ枠が表示されていないときは、プレビュー領域全体をスキャンします。クロップ枠が表示されているときは、クロップ枠の範囲をスキャンします。

用紙のサイズ（L判、A4 など）

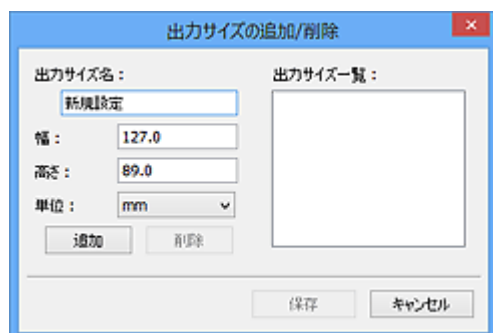
出力サイズを用紙サイズで選びます。クロップ枠の範囲を、選んだ用紙サイズと同じ大きさになるように、自動的に拡大／縮小してスキャンします。クロップ枠は縦横比が保たれたままドラッグして拡大／縮小することができます。

モニターのサイズ（1024 x 768 pixels など）

出力サイズを縦横のピクセル数で選びます。選んだモニターサイズのクロップ枠が表示され、クロップ枠の範囲をスキャンします。クロップ枠は縦横比が保たれたままドラッグして拡大／縮小することができます。

〔追加/削除...〕

〔出力サイズの追加/削除〕ダイアログボックスが表示され、任意の出力サイズを設定することができます。〔用途を選択する〕が〔印刷〕または〔画面表示〕のときに選択できます。



〔出力サイズの追加/削除〕ダイアログボックスでは、複数の出力サイズを設定し、一度に保存することができます。保存した出力サイズは、〔出力サイズを選択する〕の選択項目に登録され、既存の項目と同様に選択できます。

追加する場合：

〔出力サイズ名〕、〔幅〕、〔高さ〕を入力し、〔追加〕をクリックします。〔単位〕は、〔用途を選択する〕が〔印刷〕のときは〔mm〕または〔inches〕、〔画面表示〕のときは〔pixels〕のみとなります。追加した出力サイズは〔出力サイズ一覧〕に表示されます。〔保存〕をクリックして、〔出力サイズ一覧〕に表示されている出力サイズを登録します。

削除する場合：

〔出力サイズ一覧〕で削除したい出力サイズを選び、〔削除〕をクリックします。〔保存〕をクリックして、〔出力サイズ一覧〕に表示されている出力サイズを登録します。

重要

- 〔A4〕、〔1024 x 768 pixels〕など、はじめから用意されている出力サイズを削除することはできません。

参考

- 最大 10 個まで設定を保存できます。

- 設定範囲外の数値を入力すると、エラーメッセージが表示されます。設定範囲内の数値を入力してください。

参考

- プレビュー直後のクロップ枠の表示については、[詳細設定] ダイアログボックスにある「[\[プレビュー\] シート](#)」の「プレビュー後のクロップ枠の設定」を参照してください。



【読取枠の縦横を入れ替える】

「出力サイズを選択する」が、「フリーサイズ」以外のときに使用できる機能です。

このボタンをクリックすると、クロップ枠の縦横比を切り替えます。もう一度クリックすると元に戻ります。

【読取枠(クロップ枠)を調整する】

読み取り範囲をプレビュー上で調整することができます。

範囲を指定しない場合は、原稿サイズ（オートクロップ）で読み込まれます。範囲を指定した場合は、クロップ枠の範囲だけが読み込まれます。

➡ [クロップ枠の調整のしかた \(ScanGear\)](#)

【画像を補正する】

スキャンする画像を補正します。

重要

- 「自動文書補正をかける」、「褪色(色あせ)を補正する」は、[詳細設定] ダイアログボックスの「色の設定」シートで「推奨」が選ばれているときに、設定できます。

参考

- 「原稿を選択する」で選択した原稿の種類によって、設定できる機能が異なります。

【自動文書補正をかける】

文書や雑誌の文字をくっきりさせ、見やすくなるように補正してスキャンします。

重要

- この補正機能をオンにすると、スキャンの時間が通常よりも長くなる場合があります。
- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。
- スキャンする範囲が小さすぎると、正しく補正できない場合があります。

【褪色(色あせ)を補正する】

経年変化などで褪色したり、色かぶりしたりした写真を色補正してスキャンします。

【とじ部の影を補正する】

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を補正してスキャンします。

重要

- この機能をご使用になるときの注意事項などがありますので、かならず「[\[とじ部の影補正\]](#)」を参照してください。

【色調整のパターン表示...】

画像全体の色調整をします。この色調整では、色の変化をプレビューで確認しながら、色かぶりなどによって損なわれた色を補正して、自然な色に近づけることができます。

➡ [色調整パターンを使った色調整のしかた](#)

重要

- [詳細設定] ダイアログボックスの[色の設定] シートで[カラーマッチング] を選択しているときは、設定できません。

【画像を読み取る】

【スキャン】

スキャンを開始します。

参考

- スキャンを開始すると進行状況が表示されます。スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。

【詳細設定...】

[【詳細設定】ダイアログボックス](#)が表示され、スキャンやプレビュー時の動作などが設定できます。

【閉じる】

ScanGear（スキャナードライバー）を閉じます。

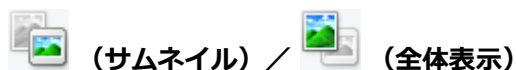
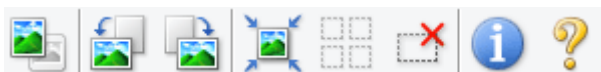
(2) ツールバー

プレビューした画像を調整したり、回転したりすることができます。ツールバーに表示されるボタンは、表示方法によって異なります。

サムネイル表示の場合：



全体表示の場合：



プレビュー領域の表示方法を切り替えます。

➡ [\(3\) プレビュー領域](#)



(左回転)

プレビュー領域の画像が左に 90 度回転します。

- 実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 変更後、プレビューすると元の状態に戻ります。



(右回転)

プレビュー領域の画像が右に 90 度回転します。

- 実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 変更後、プレビューすると元の状態に戻ります。



(オートクロップ)

プレビュー領域に表示された原稿の大きさに合わせて、自動的にクロップ枠が表示されます。クロップ枠内にさらにクロップできる領域がある場合、クリックするたびに、クロップ枠がだんだん狭くなります。



(全コマチェック)

2 コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像にチェックマークを付けます。



(全コマチェック解除)

2 コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像にチェックマークが付いている場合は、解除します。



(全コマ選択)

2 コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像を、選択状態（周りが青い枠で囲まれた状態）にします。



(全クロップ枠選択)

クロップ枠が2 つ以上指定されているときに使用できます。

クロップ枠が太い点線になり、設定がすべてに反映されます。



(クロップ枠削除)

選択されているクロップ枠を削除します。



(情報)

ScanGear のバージョンや原稿の種類などスキャンするときの詳細な設定が表示されます。



(操作説明表示)

このページが表示されます。

(3) プレビュー領域

[プレビュー] をクリックしたときに、試しでスキャンされた画像を表示します。「[\(1\) 設定項目と操作ボタン](#)」で設定した内容（画像の補正や色調整など）を確認することもできます。

ツールバーのアイコンが  (サムネイル) の場合：

原稿のサイズに合わせてクロップ枠を指定してスキャンし、サムネイル（縮小版）表示します。チェックボックスにチェックマークが付いている画像が読み込まれます。



参考

- 複数の画像をプレビューした場合、枠の種類によって選択状態が異なります。
 - フォーカス枠（太い青枠）：設定項目の設定が反映されます。
 - 選択枠（細い青枠）：フォーカス枠と同じ設定が反映されます。Ctrl キーを押しながらコマをクリックすると、複数のコマを同時に選択することができます。
 - 非選択（枠なし）：設定が反映されません。
- コマをダブルクリックすると拡大表示されます。画面下にある  （コマ送り）をクリックすると、前後のコマを表示できます。拡大表示されたコマをもう一度ダブルクリックすると元に戻ります。

ツールバーのアイコンが （全体表示）の場合：

原稿台全面をスキャンし、表示します。クロップ枠で指定された範囲をすべてスキャンします。



参考

- 表示された画像に対してクロップ枠を作成できます。サムネイル表示の場合、作成できるクロップ枠は1コマにつき1個です。全体表示の場合、複数のクロップ枠を作成することができます。
 - ➡ [クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）](#)

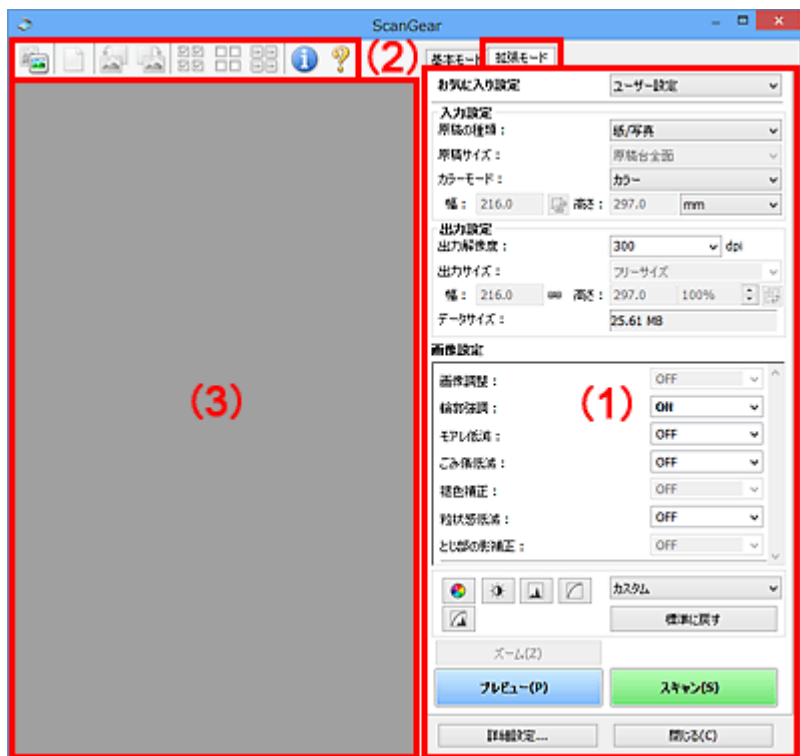
関連項目

➡ [「基本モード」でスキャンする](#)

【拡張モード】シート

カラーモードや出力解像度、画像の明るさ、色あいなどを細かく設定してスキャンできるモードです。

【拡張モード】シートの各項目や、機能を説明します。



- ➡ (1) 設定項目と操作ボタン
- ➡ (2) ツールバー
- ➡ (3) プレビュー領域

参考

- 表示される項目は、原稿の種類や表示方法によって異なります。
- ADF（自動原稿給紙装置）から原稿をスキャンするときは、プレビュー機能は使用できません。

(1) 設定項目と操作ボタン

【お気に入り設定】

【拡張モード】シートの設定内容（入力設定、出力設定、画像設定、色調整ボタン）に名前を付けて保存したり、保存してある設定内容を読み出したりして使用することができます。同じ設定を使う場合は、保存しておくことで操作が簡単になります。設定内容を初期状態に戻すこともできます。

プルダウンメニューから「追加/削除...」を選ぶと、【お気に入り設定の追加/削除】ダイアログボックスが表示されます。



「設定名」を入力し「追加」をクリックすると、「お気に入り設定一覧」に設定名が表示されます。

「保存」をクリックすると、「お気に入り設定」の選択項目に表示され、既存の項目と同様に選択できます。

設定を削除するには、「お気に入り設定一覧」で削除したい設定名を選び、「削除」をクリックします。「保存」をクリックして、「お気に入り設定一覧」に表示されている設定を保存します。

参考

- 「お気に入り設定」の「追加/削除...」はプレビュー後に設定できます。
- 最大 10 個まで設定を保存できます。

【入力設定】

原稿の種類やサイズなどの入力条件を設定します。

【出力設定】

出力解像度、出力サイズなどの出力条件を設定します。

【画像設定】

各種画像補正のオン／オフなどを設定します。

色調整ボタン

画像全体の明るさや画像の明暗差（コントラスト）の調整、画像のハイライトとシャドウの指定や明暗のバランスの補正（ヒストグラム、トーンカーブ）など、画像の明るさや色あいにかかわる詳細な設定ができます。

【ズーム】

コマを拡大表示したり、クロップ枠（スキャンする範囲）で指定した範囲の画像を拡大表示したりします。拡大表示されると、「ズーム」が「戻す」に変わります。拡大表示を元に戻すには、「戻す」をクリックします。

サムネイル表示の場合：

複数の画像がサムネイル表示されているときにクリックすると、選択した画像の 1 コマを拡大表示します。画面下にある （コマ送り）をクリックすると、前後のコマを表示できます。

参考

- コマをダブルクリックしても拡大表示できます。拡大表示されたコマをもう一度ダブルクリックすると元に戻ります。

全体表示の場合：

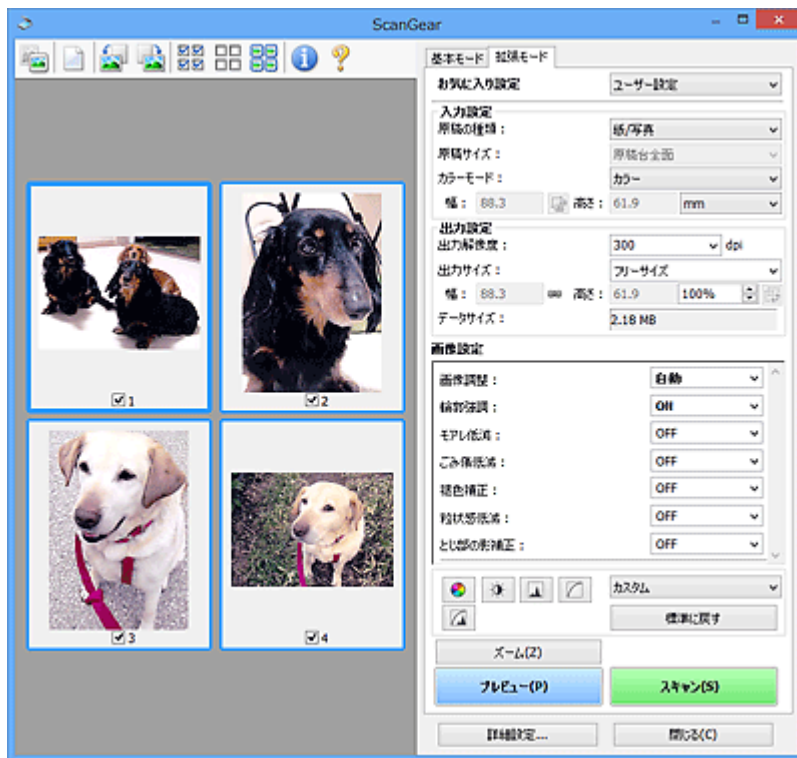
クロップ枠で指定した範囲の画像を再度スキャンして拡大表示します。

参考

- 「ズーム」で拡大すると、原稿からプレビューし直すので、高解像度のプレビュー画像が表示できます。
- ツールバーの （拡大／縮小）で拡大すると、すでにプレビューされた画像をそのまま拡大するので、すぐに拡大画像が表示できます。ただし、表示される画像の解像度は粗くなります。

【プレビュー】

試しで原稿をスキャンします。



【スキャン】

スキャンを開始します。

参考

- スキャンを開始すると進行状況が表示されます。スキャンを中止したいときは、[キャンセル]をクリックします。
- スキャンが終了すると、「スキャンが終了しました」のメッセージ（動作選択画面）が表示されることがあります。メッセージに従って操作してください。詳しくは、[詳細設定] ダイアログボックスにある [【スキャン】シート](#) の「スキャン終了後の ScanGear の画面」を参照してください。
- スキャンする画像の合計が一定の大きさを超える場合、スキャンすると画像処理に時間がかかります。注意を促すメッセージが表示されるので、画像のサイズを小さくすることをお勧めします。スキャンを続ける場合は全体表示でスキャンしてください。

【詳細設定...】

[【詳細設定】ダイアログボックス](#)が表示され、スキャンやプレビュー時の動作などが設定できます。

【閉じる】

ScanGear（スキャナードライバー）を閉じます。

(2) ツールバー

プレビューした画像を調整したり、回転したりすることができます。ツールバーに表示されるボタンは、表示方法によって異なります。

サムネイル表示の場合：



全体表示の場合：





(サムネイル) / (全体表示)

プレビュー領域の表示方法を切り替えます。

➡ [\(3\) プレビュー領域](#)



(プレビュー画像クリア)

プレビュー領域からプレビュー画像を消去します。

また、ツールバーの設定、色調整の設定がリセットされます。



(クロップ)

スキャン範囲をマウスでドラッグして指定することができます。



(画像移動)

プレビュー領域に拡大した画像が画面に入りきらないとき、見たい部分が表示されるように画像をドラッグします。スクロールバーでも同じように移動できます。



(拡大／縮小)

プレビュー領域を拡大するときは、画像上でクリックします。縮小するときは、画像上で右クリックします。



(左回転)

プレビュー領域の画像が左に 90 度回転します。

- 実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 変更後、プレビューすると元の状態に戻ります。



(右回転)

プレビュー領域の画像が右に 90 度回転します。

- 実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 変更後、プレビューすると元の状態に戻ります。



(オートクロップ)

プレビュー領域に表示された原稿の大きさに合わせて、自動的にクロップ枠が表示されます。クロップ枠内にさらにクロップできる領域がある場合、クリックするたびに、クロップ枠がだんだん狭くなります。



(全コマチェック)

2 コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像にチェックマークを付けます。



(全コマチェック解除)

2 コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像にチェックマークが付いている場合は、解除します。



(全コマ選択)

2 コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像を、選択状態（周りが青い枠で囲まれた状態）にします。



(全クロップ枠選択)

クロップ枠が2つ以上指定されているときに使用できます。

クロップ枠が太い点線になり、設定がすべてに反映されます。



(クロップ枠削除)

選択されているクロップ枠を削除します。



(情報)

ScanGear のバージョンや原稿の種類などスキャンするときの詳細な設定が表示されます。



(操作説明表示)

このページが表示されます。

(3) プレビュー領域

[プレビュー] をクリックしたときに、試しでスキャンされた画像を表示します。「[\(1\) 設定項目と操作ボタン](#)」で設定した内容（画像の補正や色調整など）を確認することもできます。

ツールバーのアイコンが  (サムネイル) の場合：

原稿のサイズに合わせてクロップ枠を指定してスキャンし、サムネイル（縮小版）表示します。チェックボックスにチェックマークが付いている画像が読み込まれます。



参考

- 複数の画像をプレビューした場合、枠の種類によって選択状態が異なります。
 - フォーカス枠（太い青枠）：設定項目の設定が反映されます。
 - 選択枠（細い青枠）：フォーカス枠と同じ設定が反映されます。Ctrl キーを押しながらコマをクリックすると、複数のコマを同時に選択することができます。
 - 非選択（枠なし）：設定が反映されません。

ツールバーのアイコンが  (全体表示) の場合：

原稿台全面をスキャンし、表示します。クロップ枠で指定された範囲をすべてスキャンします。



▶▶ 参考

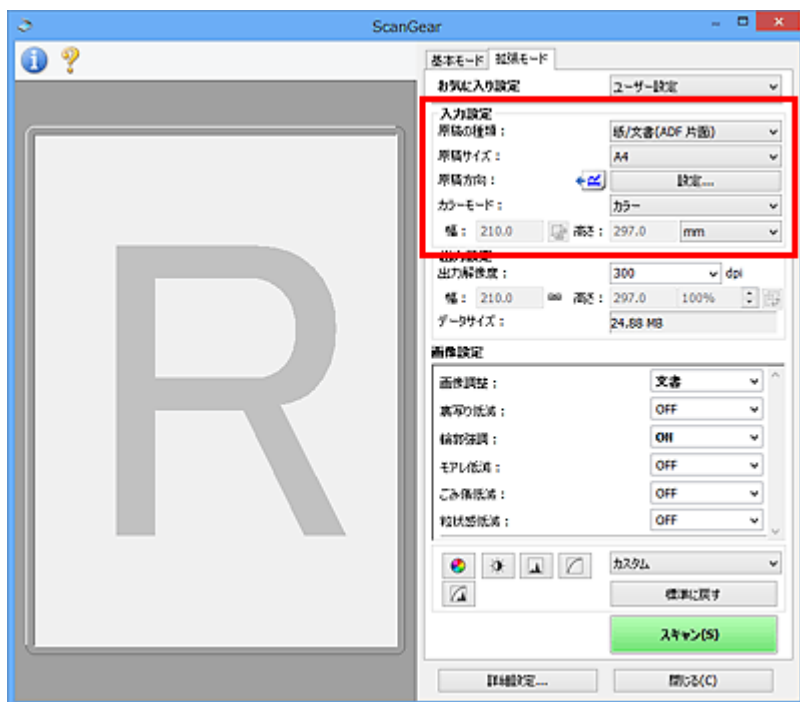
- 表示された画像に対してクロップ枠を作成できます。サムネイル表示の場合、作成できるクロップ枠は1コマにつき1個です。全体表示の場合、複数のクロップ枠を作成することができます。

⇒ [クロップ枠の調整のしかた \(ScanGear\)](#)

関連項目

- ⇒ [「拡張モード」でスキャンする](#)
- ⇒ [「拡張モード」で ADF（自動原稿給紙装置）から複数の原稿をスキャンする](#)

[入力設定]



[入力設定] では、次の項目を設定できます。

[原稿の種類]

スキャンする原稿の種類が表示されます。原稿台からスキャンする場合は[紙/写真]を、ADF（自動原稿給紙装置）からスキャンする場合は[紙/文書(ADF 片面)]または[紙/文書(ADF 両面)]を選びます。

重要

- アプリケーションソフトによっては、ADF からの連続読み込みに対応していないことがあります。詳しくは、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

参考

- ADF 両面スキャンに対応している機種をご使用の場合は、[紙/文書(ADF 両面)]が選択できます。

[原稿サイズ]

スキャンする原稿のサイズを選びます。全体表示のときのみ選ぶことができます。

ADF から原稿の両面を自動で読み込む場合は、[A4]または[レター]から選びます。

原稿サイズを選ぶと、選んだ原稿サイズに合わせてプレビュー領域の大きさが変わります。

重要

- アプリケーションソフトによっては、受け取れるスキャンデータの容量に制限があります。スキャン可能な範囲は以下のとおりです。
 - 21000 pixels x 30000 pixels 以下
- プレビュー後に[原稿サイズ]を変更すると、プレビュー画像が消去されます。

参考

- [原稿サイズ]からどの項目を選択すればよいかわからない場合は、[原稿サイズ]を[原稿台全面]に設定し、実際の原稿のサイズをはかり、[幅]と[高さ]を入力してください。

【原稿方向】

ADF からスキャンするときの原稿の向きや、とじ方向を設定します。

【設定...】 をクリックすると、【原稿方向設定】 ダイアログボックスが表示されます。



重要

- 【原稿の種類】 が【紙/文書(ADF 片面)】 または【紙/文書(ADF 両面)】 のときのみ、【原稿方向設定】 ダイアログボックスを表示できます。
- ADF 両面スキャンに対応している機種をご使用の場合は、【とじ方向】 が表示されます。
- 【原稿の種類】 で【紙/文書(ADF 片面)】 を選んだ場合は、【とじ方向】 を設定できません。

【カラーモード】

原稿の種類により、どのようにスキャンするかを選びます。

【カラー】

カラー原稿などのスキャンやカラー画像が必要なときに選びます。画像を R、G、B 各色 256 段階（8 ビット）で表現します。

【グレースケール】

白黒写真などのスキャンやモノクロ画像が必要なときに選びます。画像を白黒 256 段階（8 ビット）で表現します。

【白黒】

写真や文書を白黒でスキャンするときを選びます。画像を白と黒の 2 色で表現します。画像の明暗をあるレベル（2 階調化するしきい値）で白と黒に分割し、2 色で表現します。2 階調化するしきい値は （白黒設定）で設定します。

入力サイズ

サムネイル表示の場合、プレビュー後にクロップした原稿のサイズが表示されます。

全体表示の場合、プレビュー前には【原稿サイズ】が、プレビュー後にはクロップ枠（スキャンする範囲）のサイズが表示されます。

【幅】と【高さ】に数値を入れ、クロップ枠の大きさを厳密に設定することもできます。



（縦横比解除）をクリックして （縦横比固定）に変えると、クロップ枠の大きさを数値で指定するとき、幅と高さの比率が保たれます。

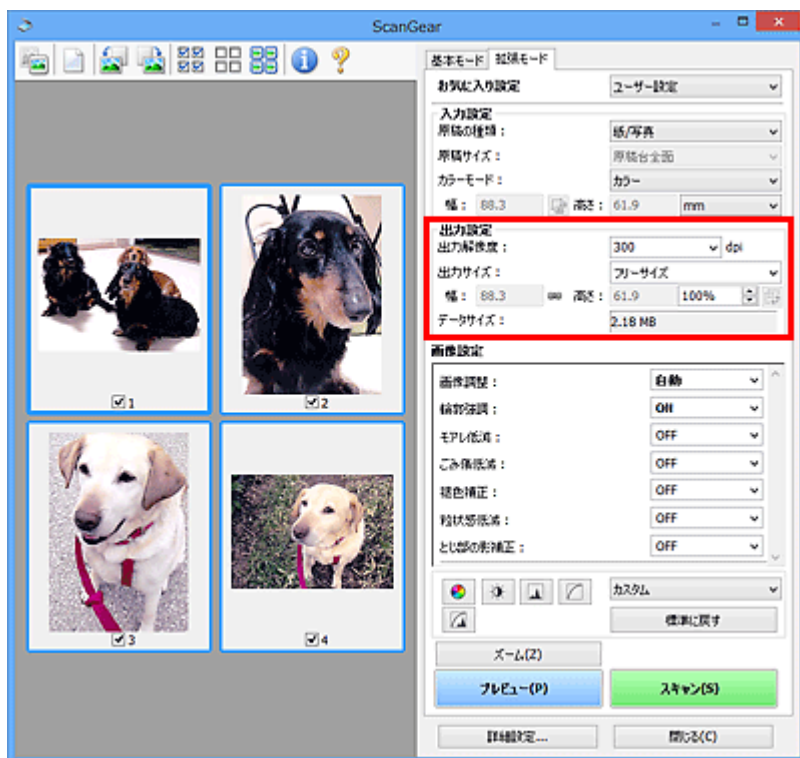
重要

- 入力サイズの表示や設定は、【出力設定】の【出力サイズ】が【フリーサイズ】の場合にしか行えません。【フリーサイズ】以外を選ぶと、【出力サイズ】と【出力解像度】から算出されたクロップ枠が表示され、この枠の縦横の比率は固定されます。

▶▶ 参考

- 入力できる数値は、選択されている原稿サイズの範囲内です。ただし、最小選択範囲は、[出力解像度] が 600 dpi、拡大／縮小率が 100 %に設定されている状態で、96 pixels x 96 pixels です。
- 全体表示の場合、オートクロップを実行すると、選択範囲のサイズを優先するため、縦横比の固定は無効になります。
- クロップ枠の詳細については、「[クロップ枠の調整のしかた \(ScanGear\)](#)」を参照してください。

[出力設定]



[出力設定] では、次の項目を設定できます。

[出力解像度]

スキャンする画像の解像度を選びます。

解像度を高く（数字を大きく）するほど、きめ細かい画像になります。

クリックして表示される選択枝から選ぶか、数値（1 dpi 単位）を入力します。

詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「解像度について」を参照してください。

[原稿の種類] が [紙/写真] の場合：

25 dpi～19200 dpi の範囲の数値を入力できます。

[原稿の種類] が [紙/文書(ADF 片面)] または [紙/文書(ADF 両面)] の場合：

25 dpi～600 dpi の範囲の数値を入力できます。

[出力サイズ]

スキャンする画像の出力サイズを選びます。

選択項目は、幅や高さ、倍率を自由に指定できる [フリーサイズ] と、印刷目的の項目、画面表示目的の項目に分かれています。また、[追加/削除...] を選ぶと、用途や幅、高さを自由に設定し、その設定を新しい選択項目として登録できます。

[フリーサイズ]

出力解像度や倍率を設定でき、クロップ枠（スキャンする範囲）も自由に変更できます。

サムネイル表示の場合：

サムネイルの中でマウスをドラッグすると、クロップ枠が表示されます。クロップ枠が表示されているときは、クロップ枠の範囲をスキャンします。クロップ枠が表示されていないときは、1 コマずつサムネイル全体をスキャンします。

全体表示の場合：

クロップ枠が表示されていないときは、プレビュー領域全体をスキャンします。クロップ枠が表示されているときは、クロップ枠の範囲をスキャンします。

参考

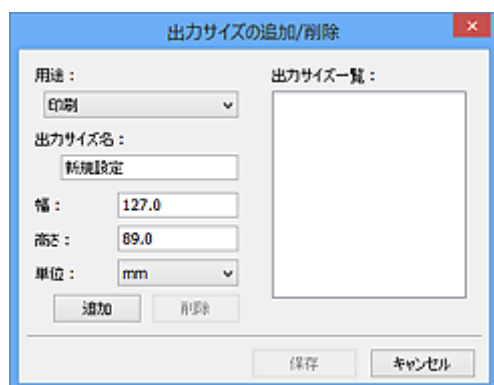
- スキャンした画像を拡大／縮小するには、[出力設定] の [幅] と [高さ] に数値を入力するか、[%] に 1 %単位で指定します。[%] に指定できる最大値は [出力解像度] によって異なりますが、出力解像度の設定可能最大値 19200 dpi まで設定可能です。

用紙のサイズ (L 判、A4 など)、モニターのサイズ (1024 x 768 pixels など)

[幅]、[高さ]、倍率は指定できません。選択した出力サイズと出力解像度に応じて、プレビュー画像が自動的にクロップされます。クロップ枠の範囲を、選択した用紙サイズ／モニターサイズと同じ大きさになるように、自動的に拡大／縮小して読み込みます。クロップ枠は縦横比が保たれたままドラッグして拡大／縮小、移動することができます。

[追加/削除...]

[出力サイズの追加/削除] ダイアログボックスが表示され、任意の出力サイズを設定することができます。



[出力サイズの追加/削除] ダイアログボックスでは、複数の出力サイズを設定し、一度に保存することができます。保存した出力サイズは、[出力サイズ] の選択項目に登録され、既存の項目と同様に選択できます。

追加する場合：

[用途] を [印刷]、[画面表示] から選び、[出力サイズ名]、[幅]、[高さ] を入力し、[追加] をクリックします。[単位] は、[用途] が [印刷] のときは [mm] または [inches]、[画面表示] のときは [pixels] のみとなります。追加した出力サイズは [出力サイズ一覧] に表示されます。[保存] をクリックして、[出力サイズ一覧] に表示されている出力サイズを登録します。

削除する場合：

[出力サイズ一覧] で削除したい出力サイズを選び、[削除] をクリックします。[保存] をクリックして、[出力サイズ一覧] に表示されている出力サイズを登録します。

重要

- [A4]、[1024 x 768 pixels] など、はじめから用意されている出力サイズを削除することはできません。

参考

- 各用途に最大 10 個まで設定を保存できます。
- 設定範囲外の数値を入力すると、エラーメッセージが表示されます。表示される範囲内の数値を入力してください。

参考

- クロップ枠の詳細については、「[クロップ枠の調整のしかた \(ScanGear\)](#)」を参照してください。
- プレビュー直後のクロップ枠の表示については、[詳細設定] ダイアログボックスにある「[\[プレビュー\] シート](#)」の「プレビュー後のクロップ枠の設定」を参照してください。



(縦横比切り替え)

[出力サイズ] が、[フリーサイズ] 以外のときに使用できる機能です。

このボタンをクリックすると、クロップ枠の縦横比を切り替えます。もう一度クリックすると元に戻ります。

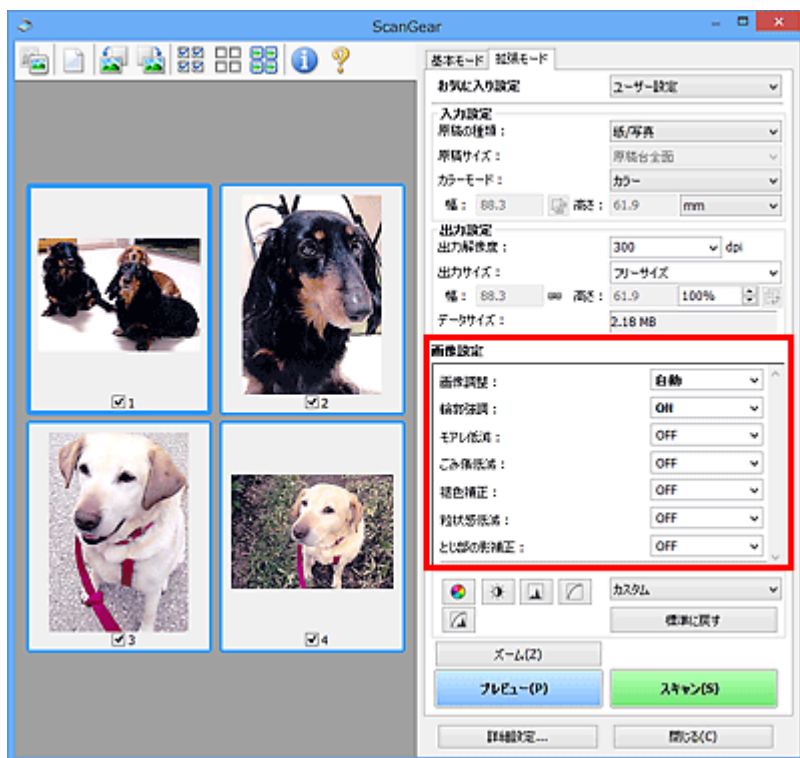
[データサイズ]

現在の設定でスキャンした場合のデータサイズが表示されます。

参考

- データサイズが一定の大きさを超えると、文字が赤く表示されます。このときに [スキャン] をクリックすると、警告メッセージが表示されます。各設定を変更し、[データサイズ] を小さくすることをお勧めします。スキャンを続ける場合は全体表示でスキャンしてください。

[画像設定]



重要

- モアレ、こみ傷、色褪せなどが発生していない原稿に対して、これらの機能を使用しないでください。色あいがおかしくなることがあります。
- 画像補正の処理結果は、プレビュー画面では確認できない場合があります。

参考

- [カラーモード] の設定によっては、設定できる機能が異なります。
- [画像設定] をするとスキャンの時間が通常よりも長くなる場合があります。

[画像設定] では、次の項目を設定できます。

[画像調整]

画像調整を設定すると、指定した範囲の画像の明るさが最適な状態になるように調整されます。原稿の種類を自動で判別して調整したり、原稿の種類を指定して調整したりすることもできます。調整の結果は画像全体に反映されます。

[OFF]

画像調整を行いません。

[自動]

原稿の種類を自動で判別し、画像調整を行います。通常は、この設定をお勧めします。

[写真]

写真に合った画像調整を行います。

[雑誌]

雑誌に合った画像調整を行います。

[文書]

文書に合った画像調整を行います。

重要

- [画像調整] はプレビュー後に設定できます。
- [詳細設定] ダイアログボックスの [色の設定] シートで [推奨] が選ばれているときに、設定できます。

参考

- [自動] で適切に画像調整されなかった場合、原稿の種類を指定してください。
- 画像調整によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、[画像調整] を [OFF] にしてください。

【裏写り低減】

原稿をスキャンするときに、両面原稿の裏写り、再生紙などの下地の色を低減します。

【OFF】

裏写り低減を行いません。

【ON】

両面原稿の裏写りや、下地の色を低減します。通常は、この設定をお勧めします。

重要

- [裏写り低減] は [詳細設定] ダイアログボックスの [色の設定] シートで [推奨] が選ばれており、かつ、[画像調整] で [文書]、[雑誌] が選ばれているときに設定できます。

【輪郭強調】

写真をスキャンするときに、画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

【OFF】

輪郭強調を行いません。

【ON】

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。通常は、この設定をお勧めします。

【モアレ低減】

印刷された写真や絵は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象です。[モアレ低減] は、このモアレを少なくする機能です。

【OFF】

モアレ低減を行いません。

【ON】

モアレを低減します。通常は、この設定をお勧めします。

参考

- [モアレ低減] が [ON] になっていても、[輪郭強調] が [ON] になっていると、モアレが残ることがあります。この場合は、[輪郭強調] を [OFF] にしてください。

【ごみ傷低減】

写真をスキャンすると、ごみや傷が原因で白い点が出る場合があります。このごみや傷をできるだけ少なくします。

【OFF】

ごみ傷低減を行いません。

【弱】

小さなごみや傷を減らします。大きいごみや傷は残ることがあります。

【標準】

通常は、この設定をお勧めします。

【強】

大きいごみや傷を減らすことができますが、処理をした跡が残ったり、画像の微妙な部分を消去してしまったりすることがあります。

重要

- 写真の種類によっては、この機能を使わないほうがよい場合があります。

参考

- 印刷物をスキャンするときは、[OFF] をお勧めします。

【褪色補正】

経年変化などで褪色したり、色かぶりしたりした写真を色補正してスキャンします。「色かぶり」とは、天候や周囲の強い色などで、ある特定の色が写真全体に影響を与えてしまう現象です。

【OFF】

褪色補正を行いません。

【弱】

わずかに褪色または色かぶりしたときに指定します。

【標準】

通常は、この設定をお勧めします。

【強】

かなり強く褪色または色かぶりしたときに指定します。画像の色あいに影響を与える場合があります。

重要

- 【褪色補正】はプレビュー後に設定できます。
- 【詳細設定】ダイアログボックスの【色の設定】シートで【推奨】が選ばれているときに、設定できます。
- スキャンする範囲が小さすぎると、正しく補正できない場合があります。

【粒状感低減】

高感度フィルムや増感撮影したフィルムから作成された写真で感じられる粒状感（ざらつき）を低減します。

【OFF】

粒状感低減を行いません。

【弱】

わずかに粒状感の目立つ写真のときに指定します。

【標準】

通常は、この設定をお勧めします。

【強】

かなり強く粒状感の目立つ写真のときに指定します。画像の階調性やシャープネスに影響を与える場合があります。

重要

- スキャンする範囲が小さすぎると、正しく補正できない場合があります。

【とじ部の影補正】

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を補正してスキャンします。

プレビュー画像を表示したあと【とじ部の影補正】の設定をすると、結果がプレビュー画像に反映されます。原稿の種類や原稿の押さえかたなどによって補正結果が違ってきますので、プレビューで効果を確認したあとスキャンしてください。

とじ部の浮きによる文字や線画のボケ、にじみなどは補正されません。

【OFF】

とじ部の影補正を行いません。

【弱】

標準設定では補正が強すぎる場合に指定します。

【標準】

通常は、この設定をお勧めします。

【強】

標準設定では補正が弱すぎる場合に指定します。

重要

- 【とじ部の影補正】はプレビュー後に設定できます。
- 原稿台に2 kg以上の物をのせないでください。また、原稿を強く（2 kgを超える力で）押さえたり、重みをかけたりしないでください。強く押さえすぎると、スキャナーが正しく動作しなくなったり、ガラスが破損したりするなどの危険があります。
- 原稿が傾かないように原稿台の端に合わせてセットしてください。斜めに置くと、正しく補正されません。



- 原稿によっては、正しく補正できない場合があります。下地が白色以外の原稿では、影の位置を検知できなかったり、誤って検知したりする場合があります。
- 読み込み中は背表紙中央部分をプレビュー時と同じ力加減で押さえてください。とじ部が均等になるように置かないと、正しく補正されません。



- 原稿のセット方法は、ご使用の機種やスキャンする原稿によって異なります。

参考

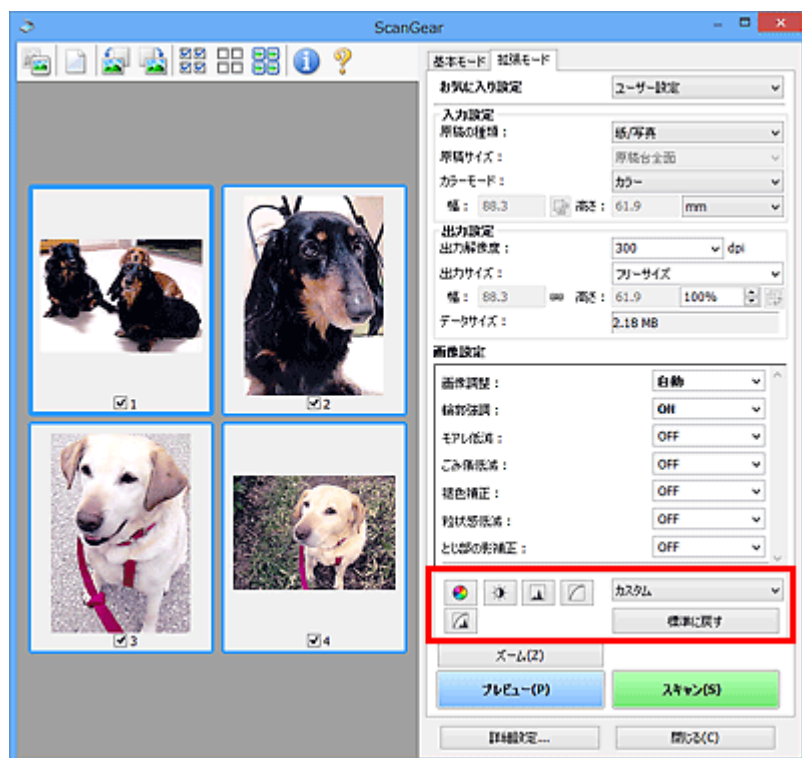
- 原稿と原稿台の間に外の光が入って画像が白く欠けたり、筋状や色のついた模様が現れたりするときは、原稿の上から黒い布などで覆ってください。

- 適切に補正が行われない場合は、プレビュー画像上のクロップ枠（スキャンする範囲）を微調整してください。

➡ [クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）](#)

色調整ボタン

色調整ボタンでは、画像全体の明るさや画像の明暗差（コントラスト）の調整、画像のハイライトとシャドウの指定や明暗のバランスの補正（ヒストグラム、トーンカーブ）など、画像の明るさや色あいにかかわる詳細な設定ができます。



重要

- [詳細設定] ダイアログボックスの[色の設定]シートで[カラーマッチング]を選択しているときは、色調整ボタンは使用できません。

参考

- [カラーモード]の設定によっては、設定できる機能が異なります。
- 色調整ボタンで画像を調整すると、その結果はすぐにプレビュー画像に反映されます。

色調整ボタンをクリックして、次の項目を設定します。



（彩度・カラーバランス）

画像の彩度（色の鮮やかさ）や、色あいを調整します。色かぶりや褪色により損なわれた色彩を、鮮やかにしたいときに調整します。「色かぶり」とは、天候や周囲の強い色などで、ある特定の色が写真全体に影響を与えてしまう現象です。

➡ [彩度・カラーバランスの調整のしかた](#)



（明るさ・コントラスト）

画像の明るさや明暗度（コントラスト）を調整します。画像が暗すぎたり、明るすぎたり、明暗差が少なくフラットな画質のときに調整します。

➡ [明るさ・コントラストの調整のしかた](#)



（ヒストグラム）

どの明るさのレベルにどれだけのデータが集中しているかを見るのがヒストグラムです。画像の中のもっとも明るいレベル（ハイライト）ともっとも暗いレベル（シャドウ）を指定して、それらをカットし、中間の階調に広がりを持たせたいときに使います。

➡ [ヒストグラムの調整のしかた](#)



（トーンカーブ調整）

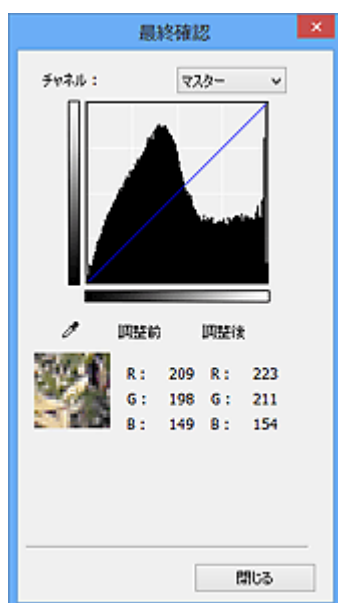
明暗の入力と出力のバランスを示したグラフ（トーンカーブ）の種類を選び、画像の明るさを調整します。特定の領域の明るさを、きめ細かく調整することができます。

➡ [トーンカーブの調整のしかた](#)



（最終確認）

色調整の最終確認をします。最終の合成トーンカーブと、そのあとの画像処理で得られるヒストグラムが表示されます。この画面では設定する項目はありません。



- カラー画像のときは、[チャンネル] で、[レッド]、[グリーン]、[ブルー] のいずれかの色の要素だけを選び確認するか、[マスター] を選び 3 つの色の要素をまとめて確認するかを選びます。
- プレビュー画像上にカーソルを置くと、その位置の拡大表示と画像の調整前後の RGB 値（[カラーモード] が [グレースケール] のときは L 値のみ）が表示されます。



（白黒設定）

白と黒を 2 階調化するしきい値の設定を行います。しきい値を調節すると、原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させたりすることができます。

➡ [白黒設定のしかた](#)

【カスタム】

色調整ボタンのトーンカーブ／白黒設定の設定内容に名前を付けて保存することができます。

プルダウンメニューから [追加/削除...] を選ぶと、[カラーモード] が [白黒] 以外のときは [トーンカーブ設定の追加/削除] ダイアログボックス、[カラーモード] が [白黒] のときは [しきい値設定の追加/削除] ダイアログボックスが表示されます。



〔設定名〕を入力し〔追加〕をクリックすると、〔トーンカーブ設定一覧〕／〔しきい値設定一覧〕に設定名が表示されます。〔保存〕をクリックして、登録します。

設定を削除するには、〔トーンカーブ設定一覧〕／〔しきい値設定一覧〕で削除したい設定名を選び、〔削除〕をクリックします。〔保存〕をクリックして、〔トーンカーブ設定一覧〕／〔しきい値設定一覧〕に表示されている設定を保存します。

登録済みのトーンカーブ／白黒設定を呼び出して、プレビュー画像に反映させることもできます。呼び出すときは、プルダウンメニューから登録した設定名を選びます。

▶▶▶ 参考

- 最大 20 個まで設定を保存できます。

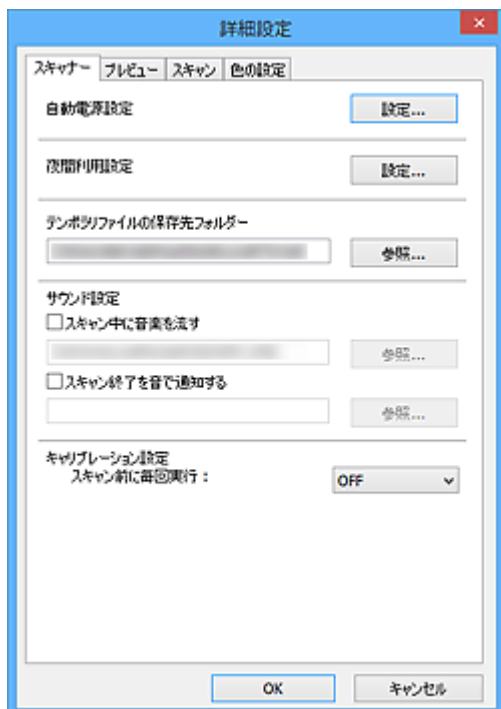
【標準に戻す】

彩度・カラーバランス、明るさ・コントラスト、ヒストグラム、トーンカーブ、すべての調整が初期状態に戻ります。

【詳細設定】 ダイアログボックス

【詳細設定】 ダイアログボックスでは、[スキャナー]、[プレビュー]、[スキャン]、[色の設定] の4つのシートで、ScanGear（スキャナードライバー）の機能についての詳細な設定をすることができます。

ScanGear の画面にある「詳細設定...」をクリックすると、【詳細設定】 ダイアログボックスが表示されます。



【スキャナー】 シート

自動電源設定や画像を一時的に保存するフォルダーの指定、スキャン中またはスキャン終了時の音楽を設定することができます。

【プレビュー】 シート

ScanGear を起動したときのプレビューの動作や、プレビューしたときのクロップの動作、原稿の読み込み時に表示されるサムネイルの切り出しサイズを設定することができます。

【スキャン】 シート

スキャン終了後の ScanGear の動作を設定することができます。

【色の設定】 シート

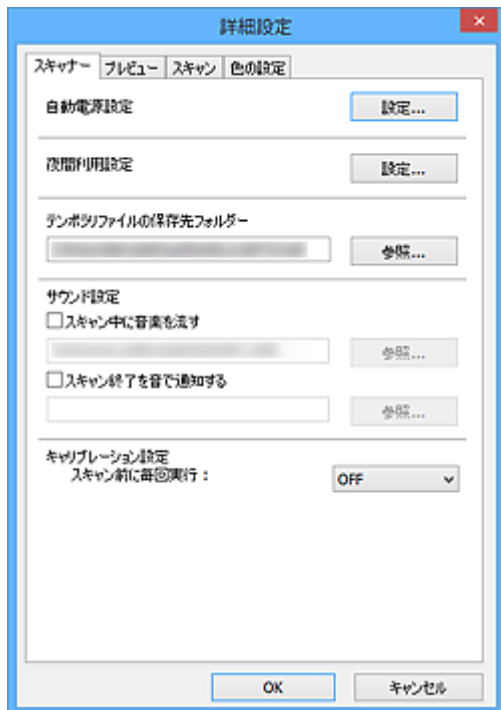
色の調整方法の指定や、モニターガンマ値を設定することができます。

〔スキャナー〕 シート

〔スキャナー〕 シートでは、次の設定ができます。

重要

- ご使用のスキャナーまたはプリンターによって、使用できる機能や設定できる項目は異なります。



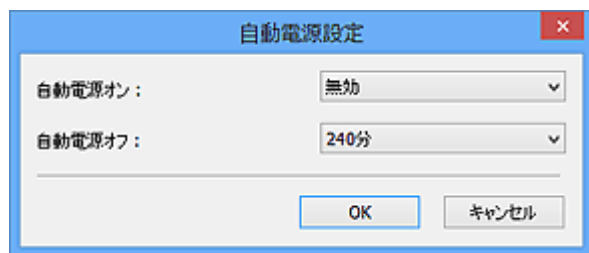
〔自動電源設定〕

本製品の電源を自動的にオンにしたりオフにしたりすることができます。

〔設定...〕 をクリックすると、〔自動電源設定〕 ダイアログボックスが表示されます。

参考

- 本製品の電源が入っていないかったり、双方向通信をしない設定になっていたりとすると、パソコンは本製品の情報を取得できず、メッセージが表示されることがあります。この場合、〔OK〕 をクリックすると、ScanGear（スキャナードライバー）が終了します。



〔自動電源オン〕

〔有効〕 を選ぶと、データが送られてきた場合に、本製品の電源が自動で入るようになります。

〔自動電源オフ〕

一覧から設定したい時間を指定します。データが送られてこない状態がその時間だけ続くと、本製品の電源が切れるようになります。

重要

- ネットワークに接続している場合、ご使用の機種によっては、〔自動電源オフ〕 を設定しても、自動的に電源は切れません。

ご使用の機種が自動電源オフ機能に対応しているか確認したいときは、「[機種別機能一覧（自動電源オフ）](#)」を参照してください。

【夜間利用設定】

本製品の動作音を抑えることができます。夜間にスキャンや印刷をする場合など、動作音が気になるときに使用してください。

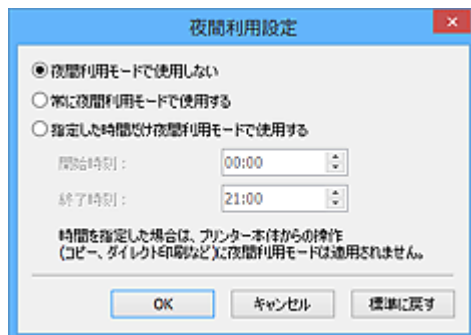
【設定...】をクリックして、夜間利用モードの設定を行います。

重要

- お使いの機種によっては、表示される機能名称が異なる場合があります。

参考

- 夜間利用モードは、本製品の操作パネルやプリンタードライバー、ScanGear から設定することができます。
いずれの方法で設定した場合でも、本製品の操作パネルからの操作や、パソコンからの印刷・スキャンを行うときなどに適用されます。
- この機能を使用すると、スキャンや印刷の時間が通常よりも長くなる場合があります。



【夜間利用モードで使用しない】

本製品の動作音を通常の状態を使用するときに選びます。

【常に夜間利用モードで使用する】

本製品の動作音を抑えるときに選びます。

【指定した時間だけ夜間利用モードで使用する】

特定の時間帯だけ本製品の動作音を抑えるときに選びます。

夜間利用モードを使用する【開始時刻】と【終了時刻】を設定してください。

重要

- 【開始時刻】と【終了時刻】が同じ場合は、設定されません。
- ご使用のスキャナーまたはプリンターがファクス機能に対応していない場合は、時間を設定しても本製品からの操作（コピー・ダイレクト印刷など）に夜間利用モードは適用されません。

【テンポラリファイルの保存先フォルダー】

画像を一時的に保存するフォルダーを表示します。【参照...】をクリックして、保存先のフォルダーを指定します。

【サウンド設定】

スキャン中やスキャン終了時に音楽を流すことができます。

【スキャン中に音楽を流す】や【スキャン終了を音で通知する】にチェックマークを付け、【参照...】をクリックして、サウンドファイルを指定します。

次のファイルを指定できます。

- MIDI ファイル (*.mid、*.rmi、*.midi)
- オーディオファイル (*.wav、*.aif、*.aiff)
- MP3 ファイル (*.mp3)

【キャリブレーション設定】

【スキャン前に毎回実行】を【ON】にすると、プレビューとスキャンの前に毎回キャリブレーションを実行し、スキャンした画像が正しい色あいになるように調整します。

▶▶▶ 参考

- 【スキャン前に毎回実行】を【OFF】にしていた場合でも、電源を入れた直後など、キャリブレーションが自動で行われる場合があります。
- ご使用のパソコンによっては、キャリブレーションに時間がかかる場合があります。

機種別機能一覧（自動電源オフ）

- ⇒ [MG series](#)
- ⇒ [MX series](#)
- ⇒ [E series](#)
- ⇒ [P series](#)
- ⇒ [G series](#)
- ⇒ [MB series](#)

MG series

機種名	自動電源オフ機能	
	USB 接続時	ネットワーク接続時
MG7700 series	○	○
MG7500 series	○	×
MG7100 series	○	×
MG6900 series	○	○
MG6800 series	○	○
MG6700 series	○	×
MG6600 series	○	×
MG6500 series	○	×
MG6400 series	○	×
MG5700 series	○	○
MG5600 series	○	×
MG5500 series	○	×
MG3600 series	○	○
MG3500 series	○	×
MG2900 series	○	×
MG2500 series	○	ネットワーク非対応

MG2400 series	○	ネットワーク非対応
----------------------	---	-----------

MX series

機種名	自動電源オフ機能	
	USB 接続時	ネットワーク接続時
MX530 series	×	×
MX490 series	○	×
MX470 series	×	×

E series

機種名	自動電源オフ機能	
	USB 接続時	ネットワーク接続時
E560 series	○	×
E480 series	○	×
E460 series	○	×
E400 series	○	ネットワーク非対応

P series

機種名	自動電源オフ機能	
	USB 接続時	ネットワーク接続時
P200 series	○	ネットワーク非対応

G series

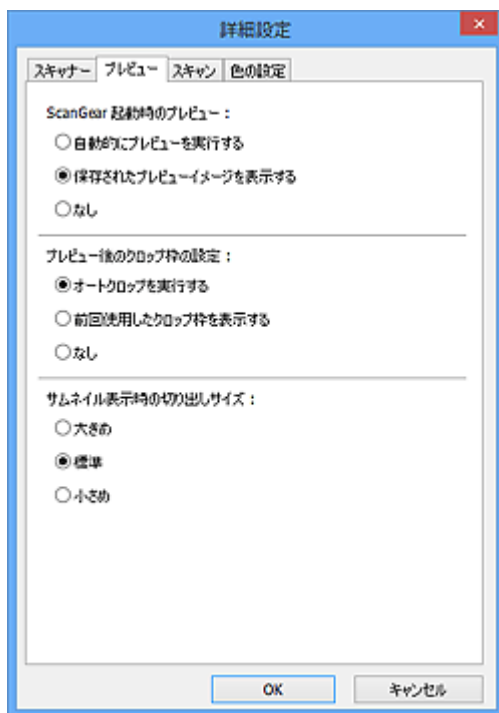
機種名	自動電源オフ機能	
	USB 接続時	ネットワーク接続時
G3000 series	○	○
G2000 series	○	ネットワーク非対応

MB series

MB series については、プリンターの操作パネルから時刻を指定すると、電源を自動的にオフにすることができます。

[プレビュー] シート

[プレビュー] シートでは、次の設定ができます。



[ScanGear 起動時のプレビュー]

ScanGear（スキャナードライバー）を起動したときのプレビューの動作を選びます。

[自動的にプレビューを実行する]

ScanGear が起動すると、自動的にプレビューを開始します。

[保存されたプレビューイメージを表示する]

前回プレビューしたときの画像を表示します。

色調整ボタンの設定項目、ツールバーの設定や [拡張モード] シートの設定も保存されます。

[なし]

起動時はプレビュー画像を表示しません。

▶▶▶ 参考

- プレビュー画像を保存したくない場合は、[なし] を選択してください。

[プレビュー後のクロップ枠の設定]

プレビューしたあとのクロップの動作を選びます。

[オートクロップを実行する]

プレビュー後、自動的に原稿サイズに合わせてクロップ枠（スキャンする範囲）を表示します。

[前回使用したクロップ枠を表示する]

プレビュー後、前回使用したクロップ枠と同じサイズのクロップ枠を表示します。

[なし]

プレビュー後、クロップ枠を表示しません。

[サムネイル表示時の切り出しサイズ]

原稿の読み込み時に表示されるサムネイルの切り出しサイズを選びます。

[大きめ]

標準サイズを基準に、幅・高さともに 105 % の範囲を表示します。

【標準】

基本の大きさです。

【小さめ】

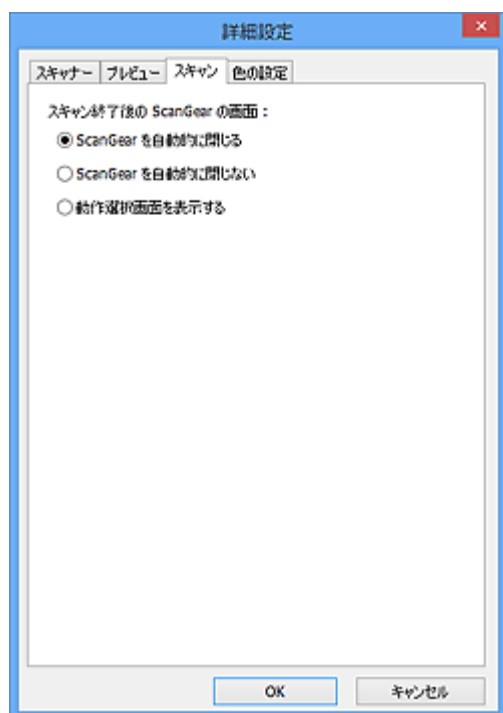
標準サイズを基準に、幅・高さともに 95 %の範囲を表示します。

▶▶▶ 参考

- [サムネイル表示時の切り出しサイズ] を変更した場合、切り出しサイズに合わせて、再度プレビュー画像の切り出しを行います。その際、プレビュー画像に対して行った色調整などの設定はすべてリセットされます。

「スキャン」シート

「スキャン」シートでは、次の設定ができます。



「スキャン終了後の ScanGear の画面」

スキャン終了後の動作を選びます。

「ScanGear を自動的に閉じる」

スキャン終了後、ScanGear（スキャナードライバー）の画面を閉じ、起動したアプリケーションソフトに戻ります。

「ScanGear を自動的に閉じない」

スキャン終了後、ScanGear の画面に戻り、続けてスキャンすることができます。

「動作選択画面を表示する」

スキャン終了後、動作選択画面が表示されます。

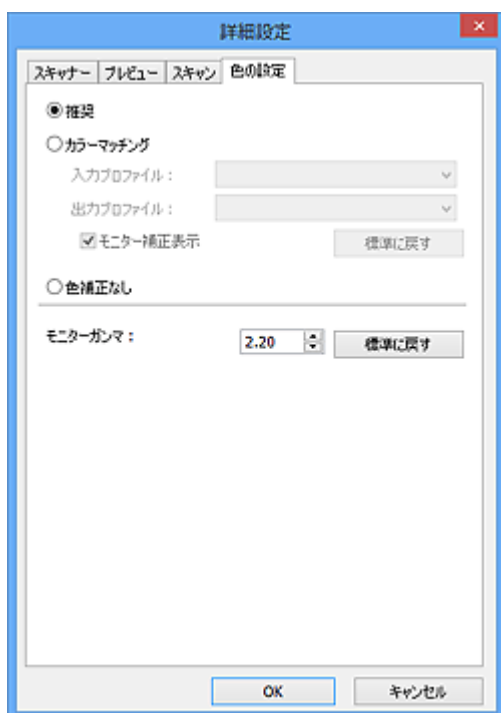


参考

- 「ScanGear を自動的に閉じない」、「動作選択画面を表示する」を設定しても、アプリケーションソフトによっては動作しない場合があります。

【色の設定】シート

【色の設定】シートでは、次の設定ができます。



色の調整方法

次のうち、いずれかを選びます。

【推奨】

原稿の色あいを、画面上で鮮やかに再現します。通常は、この設定をお勧めします。

【カラーマッチング】

スキャナー、モニター、カラープリンター間の色調が合うように自動調整し、モニターやプリンターの色合わせなどの手間を軽減します。

【入カプロファイル】

スキャナープロファイルを選びます。

【出カプロファイル】

ターゲットプロファイルを選びます。

【モニター補正表示】

モニターに最適な補正を行ったプレビュー画像を表示します。

【標準に戻す】

【カラーマッチング】の設定を初期値に戻します。

参考

- 【カラーマッチング】を選択しているときは、【拡張モード】シートの色調整ボタンは使用できません。
- 【カラーモード】が【カラー】のときに有効です。

【色補正なし】

ScanGear（スキャナードライバー）が行っている色補正を行いません。

▶▶▶ 参考

- ご使用のスキャナーまたはプリンターによっては ADF（自動原稿給紙装置）からスキャンするときに設定できない場合があります。
- [カラーモード] が [カラー] または [グレースケール] のときに選択できます。
- カラーマッチングは、ScanGear、モニター、Adobe Photoshop などのカラーマネジメント対応のアプリケーションソフト、プリンターが正しく設定されている場合に使用できます。

モニターやプリンターの設定、アプリケーションソフトの設定方法については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

[モニターガンマ]

モニターのガンマ値を設定することで、そのモニターの特性に合った明るさに調整します。ガンマ値が ScanGear の初期値でないモニターを使用していて、元の画像の色調と、モニターに表示された画像の色調が違う場合に設定します。

[標準に戻す] をクリックすると、モニターガンマを初期値（2.20）に戻します。

▶▶▶ 参考

- ご使用のモニターのガンマ値については、モニターに付属の取扱説明書を参照してください。記載されていない場合は、製造メーカーの相談窓口などにお問い合わせください。

原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

ご使用のスキャナーまたはプリンターの原稿台および ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする方法について説明します。スキャンする原稿の種類に合わせて正しくセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては正しくスキャンできない場合があります。

重要

- 原稿台カバーの上に物をのせないでください。原稿台カバーを開いた際、物がご使用のスキャナーまたはプリンターの内部に落ち、故障の原因となることがあります。
- 原稿台カバーはきちんと閉じてスキャンしてください。
- 原稿台カバーを開閉するときに、操作パネルのボタンや液晶モニターには手を触れないでください。誤操作の原因となることがあります。

➡ [原稿のセットのしかた（原稿台）](#)

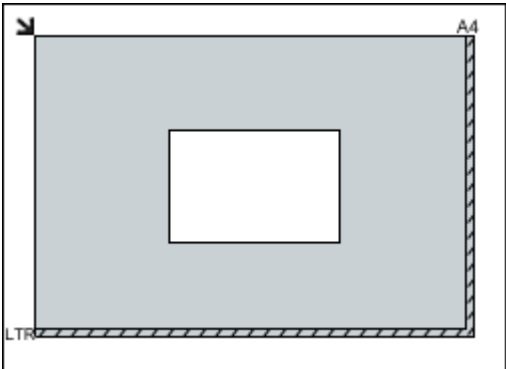
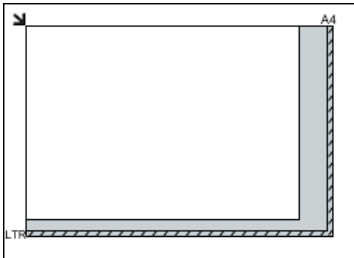
➡ [原稿のセットのしかた（ADF（自動原稿給紙装置））](#)

原稿のセットのしかた（原稿台）

原稿の種類やサイズを自動で判別してスキャンする場合は、以下の原稿のセットのしかたに従って原稿を置いてください。

重要

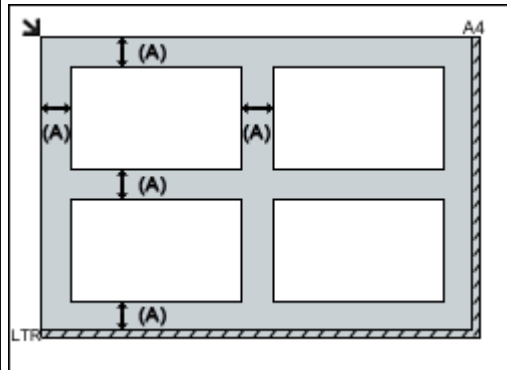
- IJ Scan Utility または ScanGear（スキャナードライバー）で原稿のサイズを指定してスキャンする場合は、原稿の上端を原稿台にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせて置いてください。
- いろいろな形に切り抜いた写真や 3 cm（1.2 inches）四方より小さい原稿は、正しく切り抜いてスキャンすることができません。
- ディスクのレーベル面が鏡面状の場合、期待どおりにスキャンできないことがあります。

写真、はがき、名刺、BD/DVD/CD の場合	雑誌、新聞、文書の場合
 原稿が 1 枚の場合： 原稿台の端の斜線部分から 1 cm（0.4 inch）以上離し、スキャンする面を下にして原稿を置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。  重要 • A4 サイズの写真など原稿のサイズが大きく原稿台の端や矢印（原稿位置合わせマーク）から離して置けない原稿は、PDF ファイルで保存されることが	 原稿の上端を原稿台にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせて、スキャンする面を下にして置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。  重要 • 原稿を読み取ることができない範囲について、詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「原稿をセットする」を参照してください。

あります。PDF 以外の形式で保存したい場合は、データ形式を指定してスキャンしてください。

原稿が複数の場合：

原稿が 2 枚以上ある場合は、原稿台の端の斜線部分から 1 cm (0.4 inch) 以上離し、原稿と原稿の間も 1 cm (0.4 inch) 以上離して置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。



(A) 1 cm (0.4 inch) 以上

参考

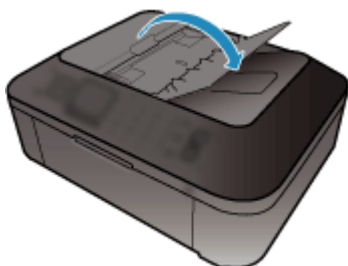
- 原稿は 12 枚まで置くことができます。
- IJ Scan Utility のスキャン設定ダイアログボックスで、[転送時にスキャン画像を圧縮する] にチェックマークを付けた場合、原稿は 4 枚まで置くことができます。
- ネットワーク接続でご使用の場合、5 枚以上の原稿を正しくスキャンできない場合があります。その場合は、原稿台にセットする原稿の枚数を 4 枚以下に減らし、もう一度スキャンしてください。
- 原稿の傾きが 10 度以内のときは、傾きが自動的に補正されます。

原稿のセットのしかた（ADF（自動原稿給紙装置））

重要

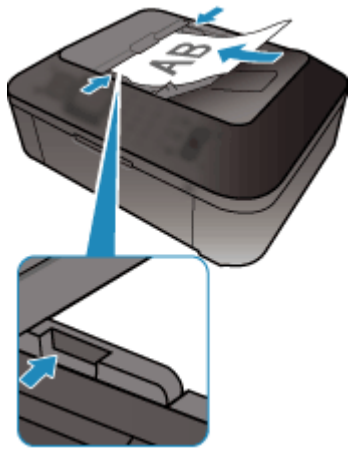
- ADF からスキャンするときは、原稿台に厚みのある原稿をセットしたままにしないでください。紙づまりの原因となることがあります。
- 2 枚以上の原稿をスキャンする場合は、同じサイズの原稿を揃えてセットしてください。
- ADF からスキャンできる原稿サイズについて、詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「セットできる原稿について」を参照してください。

1. 原稿トレイを開く



2. 原稿を ADF にセットし、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

原稿はスキャンする面を上向きにして、「ピッ」という音が鳴るまで差し込んでください。



参考

- 両面原稿をスキャンする場合は、原稿の表を上にしてセットしてください。表と裏を間違えてセットすると、正しいページ順でスキャンされません。

クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）

画像の必要な範囲だけを選び、スキャンするときに不要な部分を取り除くことを「クロップ」といいます。

〔基本モード〕シートや〔拡張モード〕シートでは、画面のプレビュー領域に表示された画像に対してクロップ枠（スキャンする範囲）を指定できます。

スキャンを実行すると、クロップ枠で指定された範囲ごとに画像が読み込まれます。

参考

- 全体表示のときは、プレビュー画像に複数のクロップ枠を指定できます。
- IJ Scan Utility（アイジェイ・スキャン・ユーティリティ）でクロップ枠を調整する方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「〔画像貼り合わせ〕ウィンドウでクロップ枠を調整する」を参照してください。

クロップ枠の初期状態

サムネイル表示の場合：

クロップ枠は指定されていません。サムネイルをマウスでドラッグして、クロップ枠を指定することができます。

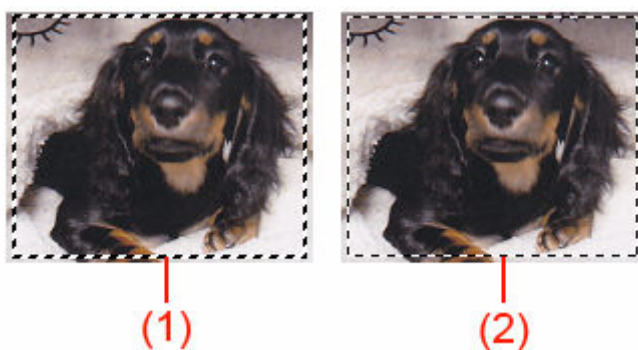
全体表示の場合：

プレビュー内の画像の周囲にアクティブなクロップ枠が自動で指定されています。プレビュー領域でクロップ枠をドラッグして、範囲を指定することもできます。

参考

- オートクロップ設定は〔詳細設定〕ダイアログボックスで変更できます。詳しくは、「[\[プレビュー\]シート](#)」の「プレビュー後のクロップ枠の設定」を参照してください。

クロップ枠の種類



(1) 太いクロップ枠（回転／静止）

選択中のクロップ枠です。全体表示の場合にのみ表示されます。Ctrl キーを押しながらクロップ枠をクリックすると、複数の枠を選べます。選択中のすべてのクロップ枠に、〔基本モード〕シートや〔拡張モード〕シートでの出力サイズや画像の補正内容などが反映されます。

(2) 細いクロップ枠

サムネイル表示の場合：

〔基本モード〕シートや〔拡張モード〕シートでの出力サイズや画像の補正内容などが反映されます。

全体表示の場合：

選択されていないクロップ枠です。[基本モード] シートや [拡張モード] シートでの設定は反映されません。

クロップ枠の調整

カーソルをクロップ枠上に合わせると、形状が     (矢印) に変わります。そのまま矢印の方向へマウスをドラッグすると、クロップ枠が拡大／縮小します。



カーソルをクロップ枠の内側に合わせると、形状が  (プラスの矢印) に変わります。そのままマウスをドラッグすると、クロップ枠全体が移動します。



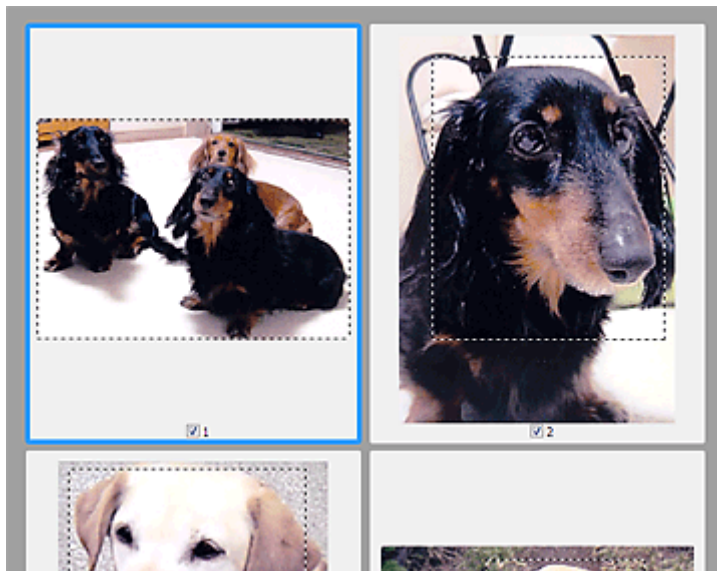
参考

- [拡張モード] シートでは、[\[入力設定\]](#) の [幅] と [高さ] に数値を入れることで、クロップ枠の大きさを細かく指定することができます。
-  (縦横比切り替え) をクリックして、クロップ枠を 90 度回転させることもできます。ただし、[出力サイズ] が [フリーサイズ] のときは、 (縦横比切り替え) を使用できません。

複数のクロップ枠の作成

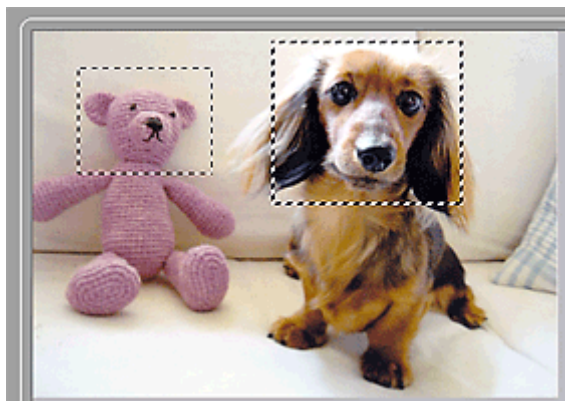
サムネイル表示の場合：

作成できるクロップ枠は、1 コマにつき 1 個です。



全体表示の場合：

プレビューエリアにクロップ枠がある状態で、すでにあるクロップ枠以外のスペースでドラッグすると、その範囲に新しくクロップ枠が作成されます。このとき新しく作成されたクロップ枠がアクティブなクロップ枠となり、それまでのアクティブなクロップ枠は、非選択クロップ枠となります。



複数のクロップ枠を作成しているときには、それぞれのクロップ枠に対して別々にスキャンの設定を行うことができます。

また、Ctrl キーを押しながらクロップ枠をクリックすると、複数のクロップ枠を同時に選択状態にすることができます。

複数のクロップ枠を選択しているときに、ScanGear の右側のシートで設定を変更すると、選択しているすべてのクロップ枠に対して、同じ設定を適用させることができます。

クロップ枠を新規に作成した場合は、作成する直前に設定したクロップ枠の設定が引き継がれます。

参考

- 作成できるクロップ枠の最大数は、12 個です。
- 複数のクロップ枠をスキャンした場合、スキャンの時間が長くなります。

クロップ枠の削除

サムネイル表示の場合：

クロップ枠を削除するには、同じコマの画像の中で、クロップ枠の外をクリックします。

全体表示の場合：

クロップ枠を削除するには、クロップ枠を選び、ツールバーの （クロップ枠削除）をクリックします。また Delete キーを押しても削除できます。

クロップ枠を複数作成しているときは、選択状態にあるクロップ枠（アクティブなクロップ枠と、選択クロップ枠）が同時にすべて削除されます。

使用上の注意（スキャナードライバー）

本 ScanGear（スキャナードライバー）の使用およびスキャンに際しては、以下のような制限事項があります。ScanGear の使用にあたっては、あらかじめこれらの点に注意してください。

スキャナードライバーの制限事項

- ファイルシステムが NTFS のとき、TWAIN データソースを呼び出せないことがあります。セキュリティのために TWAIN モジュールを winnt フォルダに書き込むことができないためです。コンピューターの管理者に問い合わせてください。
- 一部のパソコン（ノートパソコンを含む）において、本製品を接続した状態でスタンバイモードから正常に復帰できない場合があります。そのような場合は、パソコンを再起動してください。
- スキャナーおよびスキャナー機能を持つ複合機を同じパソコンに 2 台以上接続しないでください。2 台以上接続されている場合には、本製品の操作パネルからスキャンできないほか、デバイスへのアクセスでエラーが発生することがあります。
- パソコンがスリープ状態やスタンバイ状態から復帰した場合、正常にスキャンできないことがあります。そのような場合は、以下の手順を行ったあと、スキャンしてください。
 1. 本製品の電源を切る
 2. ScanGear を終了したあと、USB ケーブルをパソコンから外し、再度パソコンへ接続
 3. 本製品の電源を入れる
- ScanGear は同時に複数のアプリケーションソフトから起動することはできません。また、同一アプリケーションソフト内でも、ScanGear が起動しているときにさらに ScanGear を起動することはできません。
- アプリケーションソフトを終了させる前に、かならず ScanGear のメインウィンドウを閉じてください。
- ネットワーク対応の機種を、ネットワークに接続してご使用の場合は、複数のパソコンから本製品へ同時にアクセスすることはできません。
- ネットワーク対応の機種を、ネットワークに接続してご使用の場合は、スキャンの時間が通常よりも長くなります。
- 大きなイメージを高解像度で読み込むとき（スキャンするとき）は、ハードディスクに十分な空きがあるかどうか確認してください。たとえば、A4 判の文書をフルカラー 600 dpi でスキャンするとき、最低 300 MB の空き容量が必要です。
- ScanGear と WIA ドライバーは同時に使用することはできません。
- スキャン中に、パソコンをスリープ状態や休止状態にしないでください。

ご使用の際に制限事項のあるアプリケーションソフトについて

- Windows XP Media Center Edition 2005 に付属している Media Center を起動すると、本製品の操作パネルからスキャンできない場合があります。そのような場合は、パソコンを再起動してください。
- Windows XP Media Center Edition 2005 に付属している Media Center では、画像の取り込みは使用できません。IJ Scan Utility など、ほかのアプリケーションソフトでスキャンしてください。
- 一部のアプリケーションソフトでは、TWAIN のユーザーインターフェイスを表示しない場合があります。そのような場合は、どのようにしたら表示できるかをそのアプリケーションソフトの取扱説明書で調べて、その設定を変更してください。
- 一部のアプリケーションソフトでは、複数原稿の連続スキャンに対応していないものがあります。複数原稿の連続スキャンで 2 枚目以降の画像を取り込めない場合や、複数の画像ではなく 1 枚の画像としてスキャンしてしまう場合があります。また、ADF（自動原稿給紙装置）からの複数枚のスキャンはしないでください。
- Microsoft Office 2000 にスキャン画像を取り込みたい場合には、IJ Scan Utility を使用して画像を一度ファイルに保存してから、[挿入] メニューよりファイルを取り込んでください。

- Microsoft Office 2003（Word、Excel、PowerPoint など）で原稿台と同じ大きさの画像をスキャンするときは、[スキャナまたはカメラから図を挿入] 画面で [カスタム挿入] をクリックしてください。このコマンドを使用しないと、正しくスキャンできないことがあります。
- Microsoft Office 2007／Microsoft Office 2010（Word、Excel、PowerPoint など）で画像をスキャンするときは、Microsoft クリップ オーガナイザをご使用ください。
- 一部のアプリケーションソフトでは、画像をスキャンする際、正しく読み取れない場合があります。そのような場合は、OS の仮想メモリーを増やしスキャンし直すと、画像が読み込めることがあります。
- 大きなイメージを高解像度でスキャンするなど画像サイズが大きい場合、一部のアプリケーションソフトでは制限により、プログレスバーの表示が 0 % のままで止まってしまうなど、パソコンからの応答がなくなることがあります。そのような場合は、プログレスバーの [キャンセル] をクリックするなどして処理を中断させ、OS の仮想メモリーを増やしてスキャンし直したり、選択領域もしくは解像度を小さくしてスキャンしたりしてください。もしくは、一度 IJ Scan Utility で取り込んでから保存し、それによって作成された画像ファイルをアプリケーションソフトに取り込むようにしてください。

その他のスキンのしかた

- ▶ WIA ドライバーでスキャンする
- ▶ コントロールパネルからスキャンする（Windows XP のみ）

WIA ドライバーでスキャンする

WIA (Windows Image Acquisition) に対応したアプリケーションソフトから原稿を読み込むことができます。

WIA は、Windows XP 以降でサポートする機能で、アプリケーションソフトを使わずにスキャンすることもできます。

この操作は、アプリケーションソフトによって異なります。ここでは、一例を説明します。

詳しくは、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

重要

- Windows XP をご使用の場合、ネットワーク接続では WIA ドライバーを使ったスキャンはできません。
- ネットワーク環境でスキャンするには、以下の手順を行ってください。

また、ご使用の環境によっては、すでに設定が完了している場合があります。その場合は、[アンインストール] と表示されます。

1. 以下の手順で [ネットワーク] を開く

- Windows 8.1/Windows 8 の場合：[検索] チャームを選択し、「ネットワーク」を検索して表示された [ネットワーク] をクリック
- Windows 7 の場合：[スタート] メニューから [コンピューター] → [ネットワーク] を選択
- Windows Vista の場合：[スタート] メニューから [ネットワーク] を選択

2. 表示された画面で [XXX_MAC アドレス] (「XXX」は機種名) を右クリックし、[インストール] を選択

WIA ドライバー 2.0 でスキャンする

ここでは、「Windows FAX とスキャン」を使ってスキャンする方法を例に説明します。

1. 原稿台に原稿をセット

➡ [原稿のセットのしかた \(パソコンからスキャンする場合\)](#)

2. [Windows FAX とスキャン] の [ファイル] メニューから [新規作成] を選択し、[スキャン...] をクリック

スキャン設定画面が表示されます。

参考

- 複数台のスキャナーまたはプリンターをご使用の場合、スキャナーの選択画面が表示されることがあります。ご使用になりたいスキャナーをダブルクリックしてください。
 - USB 接続の場合：[Canon XXX series] (「XXX」は機種名)
 - ネットワーク接続の場合：[XXX series_MAC アドレス] (「XXX」は機種名)

3. スキャンする原稿に合わせて設定

[スキャナー]

現在設定されている製品名が表示されます。使用するスキャナーを変更したい場合は、[変更...] をクリックし、目的の製品名を選びます。

【プロフィール】

[写真 (既定)]、[ドキュメント] から、スキャンする原稿の種類に合わせて選びます。[プロフィールの追加...] を選ぶと、[新しいプロフィールの追加] ダイアログボックスが表示され、[プロフィール] に登録する内容を設定することができます。また、前回設定した原稿の種類でスキャンしたいときは、[最後に使用された設定] を選びます。

【スキャナーの種類】

スキャナーの種類を選びます。

【用紙サイズ】

ご使用のスキャナーまたはプリンターでは設定できません。

【色の形式】

どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

【ファイルの種類】

保存するデータのデータ形式を、JPEG、BMP、PNG、TIFF から選びます。

【解像度 (DPI)】

解像度を入力します。50 dpi～600 dpi の数値を指定できます。

➡ [解像度について](#)

▶▶▶ 参考

- ネットワーク接続でスキャナーまたはプリンターをご使用の場合、設定できる解像度は以下のとおりです。
150 dpi／300 dpi／600 dpi

【明るさ】

スライドバーを動かして明るさを調整します。左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。数値 (-100～100) を入力することもできます。

【コントラスト】

スライドバーを動かしてコントラストを調整します。左に動かすと画像の明暗の差が小さくなり、ぼんやりとした画像になります。右に動かすと画像の明暗の差が大きくなり、はっきりとした画像になります。数値 (-100～100) を入力することもできます。

【イメージを複数のファイルとしてプレビューまたはスキャンする】

チェックマークを付けると、複数のイメージを個別のファイルとしてプレビューまたはスキャンすることができます。

▶▶▶ 重要

- ネットワーク接続でスキャナーまたはプリンターをご使用の場合、[明るさ]、[コントラスト]、および [イメージを複数のファイルとしてプレビューまたはスキャンする] を設定することはできません。

4. プレビューする場合は、[プレビュー] をクリック

右側にプレビューした画像が表示されます。

5. [スキャン] をクリック

スキャンが開始され、アプリケーションソフトにスキャンされた画像が表示されます。

WIA ドライバー 1.0 でスキャンする

ここでは、「ペイント」を使ってスキャンする方法を例に説明します。

1. 原稿台に原稿をセット

➡ [原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）](#)

2. ペイントの［ファイル］メニューから［カメラまたはスキャナーから取り込み］をクリック（アプリケーションソフトで原稿をスキャンするための操作を行う）

参考

- 複数台のスキャナーまたはプリンターをご使用の場合、スキャナーの選択画面が表示されることがあります。ご使用になりたいスキャナーをダブルクリックしてください。
 - USB 接続の場合：[Canon XXX series]（「XXX」は機種名）
 - ネットワーク接続の場合：[XXX series_MAC アドレス]（「XXX」は機種名）

3. スキャンする原稿に合わせて、画像の種類を選択

[カラー画像]、[グレースケール画像]、[白黒画像またはテキスト]、[カスタム設定]の中から選びます。

参考

- ネットワーク接続でスキャナーまたはプリンターをご使用の場合、選択できる画像の種類が、USB 接続時と異なる場合があります。
- [スキャンした画像の品質の調整] で前回設定した値と同じ値で読み込みたいときは、[カスタム設定] を選びます。

4. 必要に応じて、[スキャンした画像の品質の調整] をクリックし、詳細な設定を行う

【明るさ】

スライドバーを動かして明るさを調整します。左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。数値（-127～127）を入力することもできます。

【コントラスト】

スライドバーを動かしてコントラストを調整します。左に動かすと画像の明暗の差が小さくなり、ぼんやりとした画像になります。右に動かすと画像の明暗の差が大きくなり、はっきりとした画像になります。数値（-127～127）を入力することもできます。

【解像度 (dpi)】

解像度を入力します。50 dpi～600 dpi の数値を指定できます。

➡ [解像度について](#)

参考

- ネットワーク接続でスキャナーまたはプリンターをご使用の場合、設定できる解像度は以下のとおりです。
150 dpi／300 dpi／600 dpi

【画像の種類】

原稿をどのような画像としてスキャンするかを選びます。

【リセット】

元の設定に戻すときにクリックします。

重要

- ネットワーク接続でスキャナーまたはプリンターをご使用の場合、[明るさ]、[コントラスト]を設定することはできません。

5. プレビューする場合は、[プレビュー] をクリック

右側にプレビューした画像が表示されるので、 をドラッグしてスキャンする範囲を指定してください。

6. [スキャン] をクリック

スキャンが開始され、アプリケーションソフトにスキャンされた画像が表示されます。

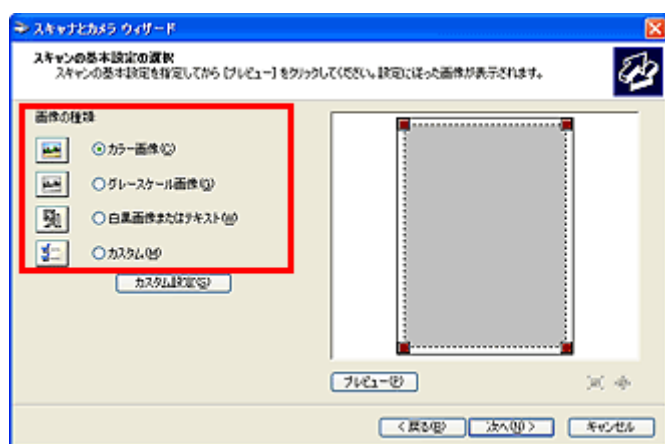
コントロールパネルからスキャンする（Windows XP のみ）

Windows XP のみ、コントロールパネルから WIA ドライバーを使用して、画像をスキャンすることができます。

重要

- ネットワーク接続でスキャナーまたはプリンターをご使用の場合、WIA ドライバーを使ったスキャンはできません。

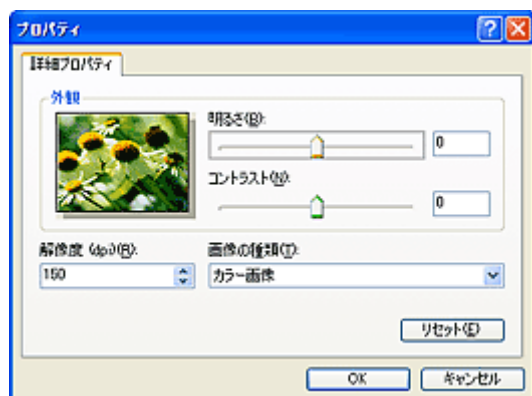
1. [スタート] メニューから [コントロール パネル] を選択
2. [プリンタとその他のハードウェア] → [スキャナとカメラ] の順にクリックし、[Canon XXX series]（「XXX」は機種名）をダブルクリック
[スキャナとカメラ ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。
3. [次へ] をクリック
4. スキャンする原稿に合わせて、[画像の種類] を選択



参考

- 「[カスタム設定]」で前回設定した値と同じ値で読み込みたいときは、「[カスタム]」を選びます。

5. 必要に応じて、「[カスタム設定]」をクリックし、詳細な設定を行う



「明るさ」

スライダーを動かして明るさを調整します。左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。数値（-127～127）を入力することもできます。

【コントラスト】

スライダーを動かしてコントラストを調整します。左に動かすと画像の明暗の差が小さくなり、ぼんやりとした画像になります。右に動かすと画像の明暗の差が大きくなり、はっきりとした画像になります。数値（-127～127）を入力することもできます。

【解像度（dpi）】

解像度を入力します。50 dpi～600 dpi の数値を指定できます。

➡ [解像度について](#)

【画像の種類】

原稿をどのような画像としてスキャンするかを選びます。

【リセット】

元の設定に戻すときにクリックします。

6. プレビューする場合は、[プレビュー] をクリック

右側にプレビューした画像が表示されるので、 をドラッグしてスキャンする範囲を指定してください。

7. [次へ] をクリックし、メッセージに従って操作

IJ Network Scanner Selector EX のメニューと設定画面

IJ Network Scanner Selector EX（アイジェイ・ネットワーク・スキャナー・セクター・イーエックス）では、ご使用のパソコンや操作パネルからネットワーク経由で使用するスキャナーまたはプリンターを選ぶことができます。

IJ Network Scanner Selector EX は、インストール後にデスクトップの通知領域に表示されます。

重要

- ネットワーク経由でスキャンできない場合は、最新の MP ドライバーをキヤノンダウンロードホームページから入手し、バージョンアップしてください。
- IJ Network Scanner Selector EX が有効の場合、ネットワーク上でご使用のスキャナーまたはプリンターと通信ができるか定期的に確認するため、パケットを送出しています。ご使用のスキャナーまたはプリンターをセットアップしたネットワーク環境以外でパソコンを使用する場合は、IJ Network Scanner Selector EX を無効にしてください。

参考

- デスクトップの通知領域にアイコンが表示されていない場合は、以下の手順で起動してください。
 - **Windows 8.1/Windows 8 の場合：**
スタート画面上の [IJ Network Scanner Selector EX] をクリック
スタート画面に [IJ Network Scanner Selector EX] が表示されない場合は、[検索] チャームを選び、「IJ Network Scanner Selector EX」を検索してください。
 - **Windows 7/Windows Vista/Windows XP の場合：**
[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [Canon Utilities] → [IJ Network Scanner Selector EX] → [IJ Network Scanner Selector EX] の順にクリック

メニュー

デスクトップの通知領域から （IJ Network Scanner Selector EX）を右クリックすると、メニューが表示されます。

【Canon IJ Network Scanner Selector EX を無効にする】／【Canon IJ Network Scanner Selector EX を有効にする】

IJ Network Scanner Selector EX の有効／無効を切り替えます。

【Canon IJ Network Scanner Selector EX を無効にする】を選ぶと、操作パネルからネットワーク接続でスキャンすることができなくなります。

有効時のアイコン： 、無効時のアイコン： 

重要

- ネットワーク接続時に操作パネルからスキャンできない機種をご使用の場合、設定を有効にしても操作パネルを使用してスキャンすることはできません。

【設定...】

PC からのスキャン設定画面が表示されます。使用する機種を選べます。

【バージョン情報】

バージョン情報が表示されます。

表示されるダイアログボックスでは、アプリケーションで使用する言語を変更することができます。
変更は PC の再起動後に反映されます。

【終了】

IJ Network Scanner Selector EX が終了し、デスクトップの通知領域上の （有効時のアイコン）
／ （無効時のアイコン）が非表示となります。

PC からのスキャン設定画面

デスクトップの通知領域からアイコンを右クリックして [設定...] を選ぶと、PC からのスキャン設定画面が表示されます。

ネットワーク環境でスキャンする前に、ご使用のスキャナーまたはプリンターが IJ Network Scanner Selector EX で選ばれている必要があります。

【スキャナー】

ネットワーク接続で利用できるスキャナーまたはプリンターが、MAC アドレスで表示されます。

選べるスキャナーまたはプリンターは、同じ機種 1 つにつき 1 台です。スキャナーまたはプリンターを選ぶと、自動的に操作パネルからのスキャンも可能になります。

【操作説明】

本マニュアルが表示されます。

【操作パネルからのスキャン設定】

操作パネルからのスキャン設定画面が表示されます。操作パネルからスキャンするときのスキャナーまたはプリンターを合計 3 台まで選べます。選んだスキャナーまたはプリンターの操作パネルを使用して原稿を読み込み、ご使用のパソコンに読み込んだ画像データをネットワーク経由で送ることができます。

重要

- ネットワーク接続時に操作パネルからスキャンできない機種をご使用の場合は、【スキャナー】には表示されず、設定できません。

操作パネルからのスキャン設定画面

PC からのスキャン設定画面にある [操作パネルからのスキャン設定] をクリックすると、操作パネルからのスキャン設定画面が表示されます。

【スキャナー】

ネットワーク接続で利用できるスキャナーまたはプリンターが、MAC アドレスで表示されます。

同時に選べるスキャナーまたはプリンターは、合計 3 台までです。スキャナーまたはプリンターを選ぶと、自動的に操作パネルからのスキャンも可能になります。

【操作説明】

本マニュアルが表示されます。

重要

- ネットワーク接続時に操作パネルからスキャンできない機種をご使用の場合は、PC からのスキャン設定画面に [操作パネルからのスキャン設定] が表示されることがありますが、設定できません。

参考

- ご使用のスキャナーまたはプリンターが表示されない場合は、以下の項目を確認してから [OK] をクリックし一度画面を閉じてから、再度開いて選び直してください。

- MP ドライバーがインストールされている
- MP ドライバーをインストールしたあと、ご使用のスキャナーまたはプリンターのネットワーク設定をしている
- ご使用のスキャナーまたはプリンターとパソコンがネットワーク通信できる状態である

それでも表示されない場合は、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「ネットワークに関するトラブル」を参照してください。

- USB で接続してスキャンする場合は、本ソフトウェアを使用する必要はありません。削除する場合は、「[IJ Network Scanner Selector EX をアンインストールしたい](#)」を参照してください。削除しなくても、USB 接続でのスキャンは、正常に行うことができます。

IJ Network Scanner Selector EX をアンインストールしたい

以下の手順に従って、パソコンから IJ Network Scanner Selector EX を削除してください。

重要

- IJ Network Scanner Selector EX を削除すると、ネットワーク経由でスキャンを行うことはできません。
- アンインストールを実行するには、Administrator（管理者）としてログオンするか、または管理者権限を持っている必要があります。

1. アンインストール操作を実行

• Windows 8.1/Windows 8 の場合 :

1. [設定] チャーム→[コントロール パネル] → [プログラム] → [プログラムと機能] の順にクリック
2. [Canon IJ Network Scanner Selector EX] をダブルクリック

参考

- [ユーザー アカウント制御] 画面が表示された場合は[続行]をクリックします。

• Windows 7/Windows Vista の場合 :

1. [スタート] メニューから [コントロール パネル] → [プログラム] → [プログラムと機能] の順にクリック
2. [Canon IJ Network Scanner Selector EX] を選び、[アンインストールと変更] をクリック

参考

- [ユーザー アカウント制御] 画面が表示された場合は[続行]をクリックします。

• Windows XP の場合 :

1. [スタート] メニューから [コントロール パネル] → [プログラムの追加と削除] の順にクリック
2. [Canon IJ Network Scanner Selector EX] を選び、[変更と削除] をクリック

2. 確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリック

3. アンインストールが完了したら、[OK] をクリック

参考

- パソコンの再起動を促すメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックしてパソコンを再起動してください。

スキャンの役立つ情報

- ▶ 解像度について
- ▶ データ形式について（ファイルの種類／フォーマット）
- ▶ カラーマッチングについて

解像度について

スキャナーで読み込まれた画像のデータは、明るさや色の情報を持った点（ドット）の集まりから成り立っています。この点の密度を「解像度」といい、画像のきめ細やかさや粗さは、この解像度によって決まります。解像度の単位は、dpi（dots per inch）です。dpi は 1 インチ（約 2.5 cm）あたりにどれだけ点が集まっているかを示す単位です。

解像度が高い（数値が大きい）ときめ細かい画像になり、解像度が低い（数値が小さい）と粗い画像になります。



解像度の設定方法

解像度は、下記の画面で設定することができます。

IJ Scan Utility の場合：

スキャン設定ダイアログボックスの （パソコンからスキャン）シートにある「解像度」

ScanGear（スキャナードライバー）の場合：

「拡張モード」シートの「出力設定」にある「出力解像度」

解像度設定の目安

スキャン後のデータの用途に合わせて、解像度を設定してください。

原稿の種類	使用目的	カラーモード	解像度設定
カラー写真	焼き増しをする （プリンターで印刷する）	カラー	300 dpi
	絵はがきを作る	カラー	300 dpi
	パソコンに保存する	カラー	300 dpi
	ホームページで使う／Eメールに添付する	カラー	150 dpi
モノクロ写真	パソコンに保存する	グレースケール	300 dpi
	ホームページで使う／Eメールに添付する	グレースケール	150 dpi
文字原稿（文書、雑誌）	コピーする	カラー／グレースケール／白黒	300 dpi
	Eメールに添付する	カラー／グレースケール／白黒	150 dpi
	OCR で文字列を読み取る	カラー／グレースケール	300 dpi

重要

- 解像度を 2 倍にすると、スキャンした画像データのサイズは 4 倍になります。サイズが増えると、処理速度が極端に遅くなったり、メモリーが不足したりするなどの不都合が生じます。解像度は、使用目的に合わせて、必要最小限に設定してください。

参考

- スキャンした画像を拡大して印刷する場合は、上記の目安よりも高い解像度に設定してスキャンしてください。

データ形式について（ファイルの種類／フォーマット）

スキャンした画像を保存するとき、画像のデータ形式を選ぶことができます。スキャンした画像を何に、どのアプリケーションソフトで使用するのかによって、条件に適したデータ形式を指定する必要があります。

アプリケーションソフトや使用する OS（Windows、Mac OS）によっても、扱うことのできるデータ形式が異なります。

ここでは、画像のデータ形式の特徴を紹介します。

PNG（一般的な拡張子は「.png」）

ウェブ（ホームページ）上でよく使われるデータ形式です。

保存した画像データを加工する場合に適しています。

JPEG（一般的な拡張子は「.jpg」）

ウェブ（ホームページ）上や、デジタルカメラの画像でよく使われるデータ形式です。

この形式は、圧縮率が高いのが特徴です。保存のたびに画像が少しか劣化し、元の画像に戻すことはできません。

画像タイプが白黒のときは選ぶことはできません。

TIFF（一般的な拡張子は「.tif」）

さまざまなパソコンやアプリケーションソフト上で、比較的互換性の高いデータ形式です。

保存した画像データを加工する場合に適しています。

参考

- 互換性のないデータも存在します。
- IJ Scan Utility で対応している TIFF 形式のファイルは、以下のとおりです。
 - 非圧縮、白黒 2 値
 - 非圧縮、RGB 各 8 bit
 - 非圧縮、グレースケール

PDF（一般的な拡張子は「.pdf」）

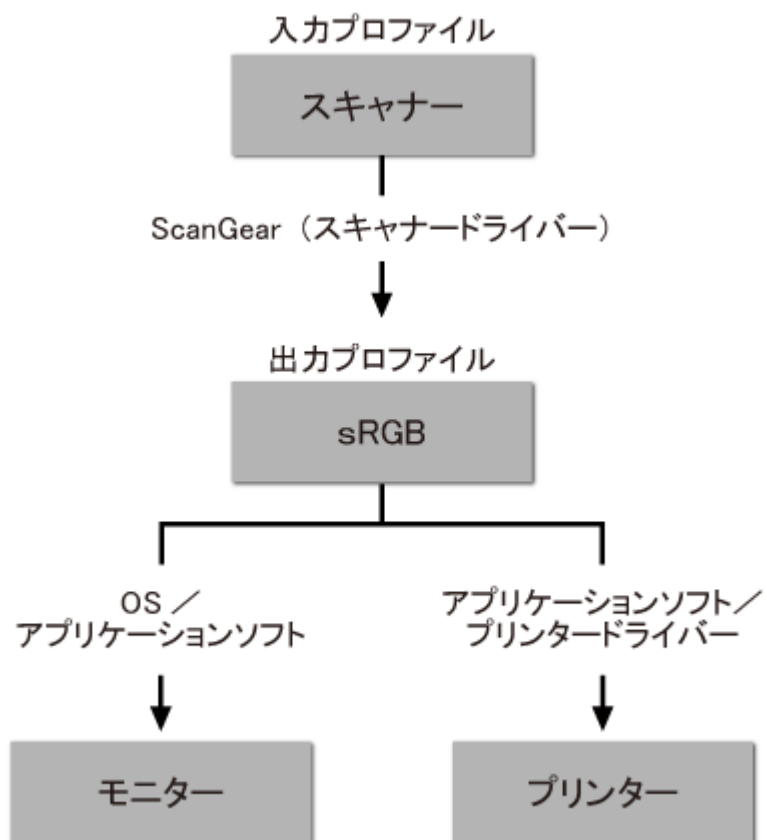
アドビ システムズ社が開発した電子文書用のデータ形式です。

さまざまなパソコンや OS で使用することができ、フォントも埋め込めるため、使用環境の異なる人同士でも、違いを意識することなくファイルをやり取りできます。

カラーマッチングについて

原稿、モニター表示、カラープリント間の色調が近づくように調整することを「カラーマッチング」といいます。ご使用のスキャナーまたはプリンターでは、以下のような流れで色調が調整されます。

例) 出力プロファイルとして、sRGB を選んだ場合：



スキャンした画像は、ScanGear によってスキャナーの色空間から sRGB の色空間へ変換されます。

モニターに表示するときは、OS でのモニターの設定と、アプリケーションソフトでの作業スペースの設定を行うことで、sRGB の色空間からモニターの色空間へ変換して表示します。

プリンターに出力するときは、アプリケーションソフトのプリント設定と、プリンタードライバーの設定を行うことで、sRGB の色空間からプリンターの色空間へ変換してプリントします。

原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

ご使用のスキャナーまたはプリンターの原稿台に原稿をセットする方法について説明します。スキャンする原稿の種類に合わせて正しくセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては正しくスキャンできない場合があります。

重要

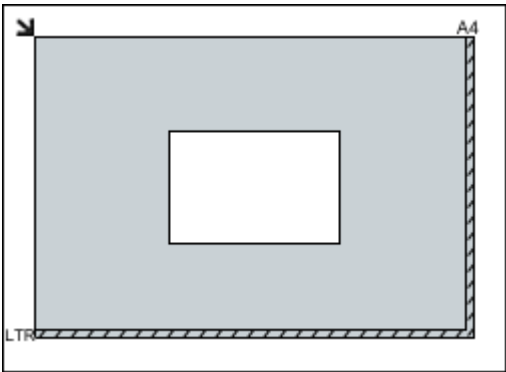
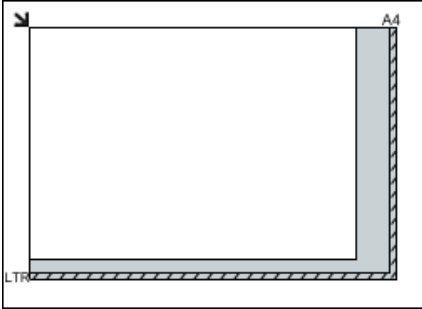
- 原稿台カバーの上に物をのせないでください。原稿台カバーを開いた際、物がご使用のスキャナーまたはプリンターの内部に落ち、故障の原因となることがあります。
- 原稿台カバーはきちんと閉じてスキャンしてください。

原稿のセットのしかた

原稿の種類やサイズを自動で判別してスキャンする場合は、以下の原稿のセットのしかたに従って原稿を置いてください。

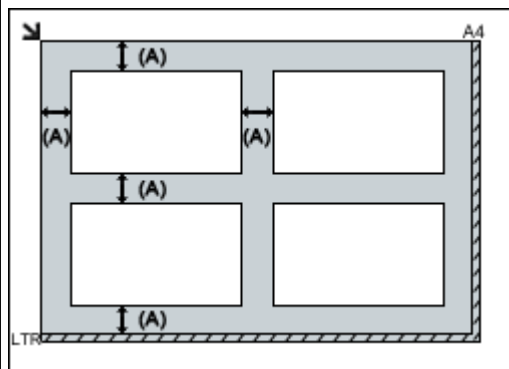
重要

- IJ Scan Utility または ScanGear（スキャナードライバー）で原稿のサイズを指定してスキャンする場合は、原稿の上端を原稿台にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせて置いてください。
- いろいろな形に切り抜いた写真や 3 cm（1.2 inches）四方より小さい原稿は、正しく切り抜いてスキャンすることができません。
- ディスクのレーベル面が鏡面状の場合、期待どおりにスキャンできないことがあります。

写真、はがき、名刺、BD/DVD/CD の場合	雑誌、新聞、文書の場合
 原稿が 1 枚の場合： 原稿台の端の斜線部分から 1 cm（0.4 inch）以上離し、スキャンする面を下にして原稿を置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。  重要 • A4 サイズの写真など原稿のサイズが大きく原稿台の端や矢印（原稿位置合わせマーク）から離して置けない原稿は、PDF ファイルで保存されることがあります。PDF 以外の形式で保存したい場合は、データ形式を指定してスキャンしてください。	 原稿の上端を原稿台にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせ、スキャンする面を下にして置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。  重要 • 原稿を読み取ることができない範囲について、詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「原稿をセットする」を参照してください。

原稿が複数の場合：

原稿が 2 枚以上ある場合は、原稿台の端の斜線部分から 1 cm (0.4 inch) 以上離し、原稿と原稿の間も 1 cm (0.4 inch) 以上離して置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。



(A) 1 cm (0.4 inch) 以上

参考

- 原稿は 12 枚まで置くことができます。
- 原稿の傾きが 10 度以内のときは、傾きが自動的に補正されます。

ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法

ご使用のスキャナーまたはプリンターは、ネットワークに接続して複数のパソコンで共有することができます。

重要

- 複数のユーザーが同時にスキャンすることはできません。

参考

- 事前にセットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従って、ご使用のスキャナーまたはプリンターのネットワーク設定を行ってください。
- ネットワーク接続でご使用の場合、スキャンの時間が USB 接続よりも長くなります。

ネットワーク環境でスキャンするには、以下の設定を行う必要があります。

ご使用のスキャナーまたはプリンターを指定する

IJ Network Scanner Selector EX でご使用になりたいスキャナーを指定します。スキャナーを指定すると、ご使用のパソコンからネットワーク経由でスキャンすることができます。

重要

- IJ Network Scanner Selector EX で使用する製品を変更した場合、IJ Scan Utility からスキャンするときに使用する製品も変更されます。

IJ Scan Utility で、ご使用のスキャナーまたはプリンターが選択されていない場合、IJ Network Scanner Selector EX でご使用のスキャナーまたはプリンターが選択されていることを確認してください。

詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「IJ Network Scanner Selector EX のメニューと設定画面」を参照してください。

1. IJ Network Scanner Selector EX が起動していることを確認

IJ Network Scanner Selector EX が起動している場合は、デスクトップの通知領域に  (IJ Network Scanner Selector EX) が表示されます。  をクリックして、隠れているアイコンも確認してください。

参考

- デスクトップの通知領域にアイコンが表示されていない場合は、以下の手順で起動してください。

- **Windows 8.1/Windows 8 の場合 :**

スタート画面上の [IJ Network Scanner Selector EX] をクリック

スタート画面に [IJ Network Scanner Selector EX] が表示されない場合は、[検索] チャームを選び、「IJ Network Scanner Selector EX」を検索してください。

- **Windows 7/Windows Vista/Windows XP の場合 :**

[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [Canon Utilities] → [IJ Network Scanner Selector EX] → [IJ Network Scanner Selector EX] の順にクリック

デスクトップの通知領域にアイコンが表示され、PC からのスキャン設定画面が表示されます。この場合、手順 3 に進んでください。

2. デスクトップの通知領域から  (IJ Network Scanner Selector EX) を右クリックし、[設定...] を選択

PC からのスキャン設定画面が表示されます。

3. [スキャナー] からご使用のスキャナーまたはプリンターを選択

通常は、セットアップ後にご使用のスキャナーまたはプリンターの MAC アドレスが選択されています。その場合は、再度選択する必要はありません。

重要

- ネットワーク上にスキャナーが複数存在する場合は、複数の機種名が表示されます。その場合は、ご使用になりたいスキャナーを同じ製品 1 つにつき 1 台選択することができます。

4. [OK] をクリック

IJ Scan Utility でスキャンするときの設定

ネットワークに接続されたスキャナーまたはプリンターを使用して、IJ Scan Utility からスキャンするには、IJ Network Scanner Selector EX でご使用のスキャナーまたはプリンターを指定後、パソコンとの接続方法を以下の手順に従って変更する必要があります。

1. [IJ Scan Utility を起動](#)

2. [製品名] で「Canon XXX series Network」(「XXX」は機種名) を選択

3. ネットワークに接続しているほかのスキャナーを使用する場合は、[スキャン設定...] をクリック

4.  (基本設定) をクリックし、[製品名] で [選択] をクリック

IJ Network Scanner Selector EX の PC からのスキャン設定画面が表示されます。

ご使用になりたいスキャナーを選択して、[OK] をクリックしてください。

5. [スキャン設定(基本設定)] ダイアログボックスで、[OK] をクリック

IJ Scan Utility 基本画面に戻ります。ネットワーク接続でスキャンできます。

参考

- ご使用のスキャナーまたはプリンターが表示されない場合は、以下の項目を確認してから [OK] をクリックし一度画面を閉じてから、再度開いて選び直してください。
 - MP ドライバーがインストールされている
 - MP ドライバーをインストールしたあと、ご使用のスキャナーまたはプリンターのネットワーク設定をしている
 - ご使用のスキャナーまたはプリンターとパソコンがネットワーク通信できる状態である

それでも表示されない場合は、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「ネットワークに関するトラブル」を参照してください。

パソコンからスキャンしてみよう（Mac OS）

- ▶ IJ Scan Utility でスキャンする
- ▶ スキャナードライバーでスキャンする
- ▶ スキャンの役立つ情報
- ▶ 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）
- ▶ ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法

スマートフォン／タブレットを使ってスキャンしてみよう

本製品は、以下のスキャン機能に対応しています。

PIXUS/MAXIFY クラウドリンク

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクは、キヤノンが提供するウェブサービスです。さまざまなクラウドサービスと連携して、パソコンを使わずにデータ保管サービスにスキャンした画像を保存できます。

➡ [PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する](#)

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用すれば、CANON iIMAGE GATEWAY や Evernote、Twitter などのクラウドサービスと連携して、パソコンを使わずに以下の機能がご利用になれます。

- 写真共有サービスの画像を印刷
- データ保管サービスのドキュメントを印刷
- データ保管サービスにスキャンした画像を保存する
- 紙なしやインク残量が少ないときなどプリンターの状態を Twitter でお知らせ

さらに各種クラウドサービスと連携したアプリを追加で登録することで、さまざまな機能を使用できます。

- ➡ プリンターから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する
- ➡ [スマートフォン・タブレット・パソコンから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する](#)



重要

- 国または地域によっては、PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用できない場合や使用できるアプリが異なる場合があります。
- 一部のアプリでは、ご使用前にサービスのアカウントが必要になることがあります。その場合は、事前にアカウントを取得してください。
- PIXUS/MAXIFY クラウドリンクの対象機種は、キヤノンホームページでご確認ください。
- 画面表示は、予告なく変更になる可能性があります。

困ったときには

よくあるご質問

- [ネットワーク上にプリンターが見つからない](#)
- [無線 LAN 接続でプリンターが検出されない](#)
- [印刷が始まらない](#)
- [白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじ（線）が入る](#)
- [トラブルが発生したときは](#)
- [コピー／印刷結果に満足できない](#)
- [メッセージが表示されている](#)
- [MP ドライバーがインストールできない](#)
- [ネットワークキーを忘れてしまった／わからない](#)
- [用紙がつまった](#)

こんなトラブルで困っている

- 製品が動かない
 - [電源が入らない](#)
 - [電源が自動的に切れてしまう](#)
 - [本製品が突然使えなくなった](#)
 - [印刷が始まらない](#)
 - [用紙がつまった](#)
 - [スキャンができない](#) (Windows)
 - [スキャンができない](#) (Mac OS)
 - [スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンできない](#)
- うまく設定できない
 - [\[プリンター設定の確認\] 画面でプリンターが見つからない](#)
 - [ネットワーク設定の途中パソコン画面にメッセージが表示された](#)
 - [無線 LAN 接続でプリンターが検出されない](#)
 - [USB 接続がうまくいかない](#)
 - [USB 接続で通信ができない](#)
 - [ネットワークキーを忘れてしまった／わからない](#)
 - [無線 LAN ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった](#)
 - [本製品に設定した管理者パスワードを忘れてしまった](#)
 - [ネットワークに関する設定を調べたい](#)
 - [本製品の LAN 設定を初期設定状態に戻す](#)
 - [MP ドライバーがインストールできない](#)
 - [Easy-WebPrint EX \(イージー・ウェブプリント・イーエックス\) を起動できない／メニューが表示されない](#) (Windows)
 - [ネットワーク環境で MP ドライバーをバージョンアップする方法がわからない](#) (Windows)
- 思い通りの結果にならない
 - [印刷が始まらない](#)
 - [印刷に時間がかかる](#)
 - [コピー／印刷が途中で止まる](#)

- [コピー／印刷結果に満足できない](#)
- [インクが出ない](#)
- [用紙がつまった](#)
- [用紙がうまく送られない／「用紙なし」のエラーが発生する](#)
- [自動両面印刷でうまく印刷できない](#)
- [スキャン結果に満足できない](#)（Windows）
- [スキャン結果に満足できない](#)（Mac OS）
- エラーメッセージや他のメッセージが表示されている
 - [トラブルが発生したときは](#)
 - [メッセージが表示されている](#)
 - [エラー発生時のサポート番号一覧](#)
 - [PictBridge（Wireless LAN）対応機器にエラーメッセージが表示されている](#)
 - [IJ Scan Utility エラーメッセージ一覧](#)（Windows）
 - [IJ Scan Utility エラーメッセージ一覧](#)（Mac OS）
 - [ScanGear（スキャナードライバー）エラーメッセージ一覧](#)
 - [スキャナードライバーエラーメッセージ一覧](#)

機能別トラブル

- [ネットワークに関するトラブル](#)
- [印刷に関するトラブル](#)
- [スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンしているときのトラブル](#)
- [スキャンに関するトラブル](#)（Windows）
- [スキャンに関するトラブル](#)（Mac OS）
- [本体に関するトラブル](#)
- [インストール／ダウンロードに関するトラブル](#)
- [エラー表示／メッセージについて](#)
- [トラブルが解決しないときは](#)

ネットワークに関するトラブル

- ▶ ネットワーク上にプリンターが見つからない
- ▶ 本製品をネットワーク接続で使用中のトラブル
- ▶ ネットワークに関するその他のトラブル

ネットワーク上にプリンターが見つからない

- ▶ [ネットワーク上のプリンター一覧] 画面でプリンターが見つからない
- ▶ [プリンター設定の確認] 画面でプリンターが見つからない
- ▶ 無線 LAN 接続でプリンターが検出されない

【プリンター設定の確認】画面でプリンターが見つからない

セットアップのときにネットワーク上に本製品が見つからない場合は、再検出する前にネットワークに関する設定を確認してください。

➡ [無線 LAN 接続のセットアップのときにプリンターが見つからない \(チェック 1\)](#)

重要

- USB ケーブルを使ってネットワークセットアップを行っている際に、本製品が見つからないときは、本製品がアクセスポイントモードになっている可能性があります。このときは、アクセスポイントモードを終了し、無線 LAN を有効にしてから本製品を再検出してください。

➡ [本製品をアクセスポイントモードで使用する](#)

参考

- USB 接続してネットワークの設定を行うこともできます。その場合は、【プリンター設定の確認】画面で【USB 接続でネットワーク設定を行う】にチェックマークを付け【次へ】ボタンをクリックしてください。



無線 LAN 接続のセットアップのときにプリンターが見つからない（チェック 1）



パソコンとネットワーク機器（ルーターなど）の設定が完了していて、パソコンがネットワークに接続できる状態になっていますか？

ご使用のパソコンで、インターネットの任意のウェブページが閲覧できるか確認してください。

閲覧できない場合：

パソコンとネットワーク機器の設定を確認してください。

設定する方法については、パソコンおよびネットワーク機器に付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

パソコンとネットワーク機器の設定を確認したあと、任意のウェブページが閲覧することができたら、[プリンター設定の確認] 画面で [再検出] ボタンをクリックしてプリンターの再検出を行ってください。

本製品が検出された場合は、画面の指示に従ってセットアップを継続してください。

閲覧できる場合：

チェック 2 に進んでください。

➡ [無線 LAN 接続のセットアップのときにプリンターが見つからない（チェック 2）](#)



無線 LAN 接続のセットアップのときにプリンターが見つからない（チェック 2）



ファイアウォール機能が動作してセットアップを妨げていませんか？

ご使用のパソコンにインストールされているオペレーティングシステムやセキュリティソフトウェアのファイアウォール機能がセットアップのための通信を妨げている可能性があります。これらのソフトウェアのメッセージや設定を確認してください。

ファイアウォールの設定がセットアップを妨げている場合：

• メッセージが表示されたとき：

キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージがパソコンの画面上に表示された場合は、アクセスを許可するように設定してください。

アクセスを許可するように設定したあと、[プリンター設定の確認] 画面で [再検出] ボタンをクリックしてプリンターの再検出を行ってください。

本製品が検出された場合は、画面の指示に従ってセットアップを継続してください。

• メッセージが表示されていないとき：

いったんセットアップを中止し、セキュリティソフトで、以下のキヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスすることを許可するように設定を行ってください。

◦ Windows をご使用の場合：

セットアップ CD-ROM 内の [win] > [Driver] > [DrvSetup] フォルダの [Setup.exe] または [Setup64.exe]

◦ Mac OS をご使用の場合：

[Setup.app]、[Canon IJ Network Tool.app]、[canonijnetwork.bundle]、
[CIJScannerRegister.app]、[Canon IJ Scan Utility2.app]、[CIJSUAgent.app]

セキュリティソフトの設定が完了したら、最初からセットアップをやり直してください。

参考

- セキュリティソフトの設定方法は、セキュリティソフトに付属の取扱説明書を参照するか、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

ファイアウォールの設定に問題がない場合：

チェック 3 に進んでください。

➡ [無線 LAN 接続のセットアップのときにプリンターが見つからない（チェック 3）](#)



無線 LAN 接続のセットアップのときにプリンターが見つからない（チェック 3）



無線 LAN ルーターの設定を確認してください

無線 LAN ルーターで MAC アドレスフィルタリング、IP フィルタリングなどのセキュリティ設定や、DHCP 機能など接続に関する設定を確認してください。

無線 LAN ルーターの無線チャンネルは、本製品に割り当てられている無線チャンネルと同じものにしてください。

無線 LAN ルーターの設定については、ネットワーク機器に付属の取扱説明書を参照するか、ネットワーク機器メーカーにお問い合わせください。

無線 LAN ルーターの設定を確認したあと、[プリンター設定の確認] 画面で [再検出] ボタンをクリックしてプリンターの再検出を行ってください。

本製品が検出された場合は、画面の指示に従ってセットアップを継続してください。

無線 LAN ルーターの設定に問題がない場合：

チェック 4 に進んでください。

➡ [無線 LAN 接続のセットアップのときにプリンターが見つからない（チェック 4）](#)



無線 LAN 接続のセットアップのときにプリンターが見つからない（チェック 4）



無線 LAN ルーターの設定を確認し、そのあと本製品と無線 LAN ルーターの距離が離れすぎていないか確認してください

ご使用の無線 LAN ルーターが、2.4GHz の周波数帯で使用する設定になっているか確認してください。

確認方法については、ネットワーク機器に付属の取扱説明書を参照するか、ネットワーク機器メーカーにお問い合わせください。

無線 LAN ルーターの設定を確認したあと、本製品と無線 LAN ルーターの距離が離れすぎていないか確認してください。

本製品は無線 LAN ルーターとの距離が 50 m（164 ft）以内の屋内で使用していただくものです。本製品と無線 LAN ルーターを適正な距離に近づけてください。

さらに、本製品と無線 LAN ルーターの設置場所について、以下を確認し対処してください。

- 本製品と無線 LAN ルーターの間に遮蔽物がないか

壁越し、フロア間での通信は、一般に通信状況が悪くなります。本製品と無線 LAN ルーターの設置場所を調整してください。

- 本製品または無線 LAN ルーターの近くに電波干渉源がないか

本製品または無線 LAN ルーターの近くに、無線 LAN で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）があると、電波干渉を起こすことがあります。本製品または無線 LAN ルーターを電波干渉源からできるだけ離して設置してください。

以上の確認、対処を行ったら、[プリンター設定の確認] 画面で [再検出] ボタンをクリックしてプリンターの再検出を行ってください。

本製品が検出された場合は、画面の指示に従ってセットアップを継続してください。

本製品が検出されない場合は、[プリンター設定の確認] 画面で [USB 接続でネットワーク設定を行う] にチェックマークを付け [次へ] ボタンをクリックし、USB 接続でセットアップを行ってください。



[ネットワーク上のプリンター一覧] 画面でプリンターが見つからない



現在のセットアップ方法では、ネットワーク上で本製品を見つけられませんでした。

[設定するプリンターが一覧に見つからない] にチェックマークを付けて、[次へ] ボタンをクリックしてください。別のセットアップ方法を案内する画面が表示されます。

Canon series

1 2 3 4

ネットワーク上のプリンター一覧

シリアルナンバー	MACアドレス	IPアドレス

更新

☒ 設定するプリンターが一覧に見つからない

1. ネットワークで設定したいプリンターがある場合は、上記のプリンター一覧から選択して[次へ]をクリックしてください。
シリアルナンバーは、本体背面や保証書などに記載されています。上記リストの表示はシリアルナンバーの下5桁です。
2. 上記の一覧に設定したいプリンターがない場合は、プリンターの電源をONにして[更新]をクリックしてください。
3. それでも見つからない場合は、[設定するプリンターが一覧に見つからない]を選択して、[次へ]をクリックしてください。

最初に戻る 次へ

引き続き画面の案内に従ってセットアップを行ってください。



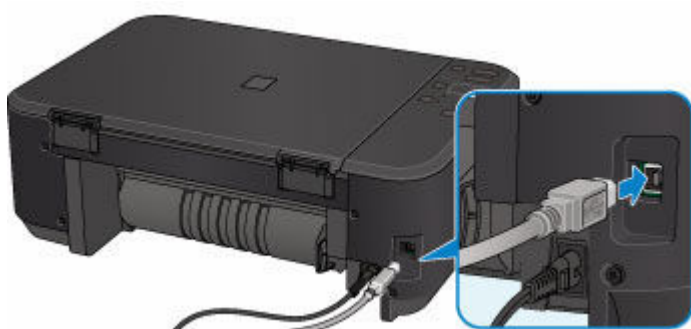
[プリンターの接続] 画面／[ケーブルの接続] 画面から先に進めない



[プリンターの接続] 画面または [ケーブルの接続] 画面から先に進めない場合は、以下の項目を確認してください。

チェック 1 本製品の USB ケーブル接続部とパソコンが USB ケーブルでしっかり接続されていることを確認してください

下の図のようにパソコンと本製品を USB ケーブルで接続してください。USB ケーブル接続部は、本製品の背面にあります。



以下のチェック項目は、[プリンターの接続] 画面から先に進めない場合のみ確認してください。

チェック 2 以下の手順に従って、本製品とパソコンの接続をやり直してください

重要

- Mac OS をご使用の場合は、[プリンタとスキャナ] (Mac OS X v10.8 または Mac OS X v10.7 をご使用の場合は [プリントとスキャン]) の画面左下に、カギのアイコンがあるか確認してください。

カギのアイコンが  (ロック) になっている場合は、アイコンをクリックしてロックを解除してください。(ロックを解除するには管理者の名前とパスワードが必要です。)

1. 本製品の電源を切る
2. 本製品とパソコンから USB ケーブルを抜き、接続し直す
3. 本製品の電源を入れる

チェック 3 解決しない場合は、以下の手順に従ってインストールをやり直してください

1. [キャンセル] ボタンをクリックする
2. [インストール失敗] 画面で [もう一度] ボタンをクリックする
3. [セットアップ開始] 画面で [終了] ボタンをクリックし、セットアップを終了する
4. 本製品の電源を切る
5. パソコンを再起動する
6. ほかに起動しているアプリケーションソフトがあれば終了する
7. 再度ウェブページの指示に従って、セットアップをやり直す

▶▶ 参考

- Windows をご使用の場合は、セットアップ CD-ROM を使用してセットアップを行うこともできます。



無線 LAN 接続でプリンターが検出されない



チェック 1 本製品の電源が入っているか確認してください

チェック 2 本製品の Wi-Fi ランプが点灯していることを確認してください

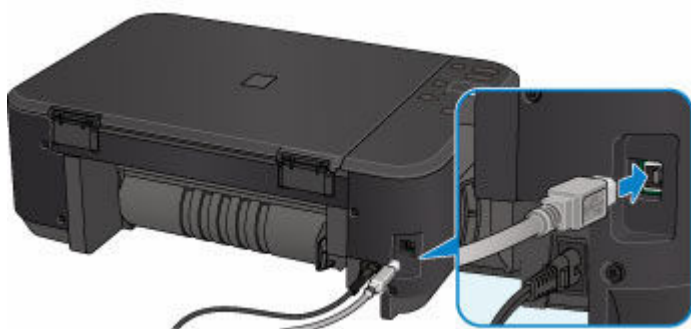
Wi-Fi ランプが消えている場合は、無線 LAN が無効になっています。以下の手順で無線 LAN を有効にしてください。

1. Wi-Fi ボタンを押し続け、電源ランプが点滅したら離す
2. カラーボタン、モノクロボタン、Wi-Fi ボタンの順に押す

電源ランプが点滅から点灯に変わり、Wi-Fi ランプが点灯し、無線 LAN が有効になります。

チェック 3 USB ケーブルで一時的に本製品とパソコンを接続している場合は、USB ケーブルを正しく接続してください

USB ケーブルを使って無線 LAN のセットアップをしたり、IJ Network Tool で設定を変更したりする場合は、下の図のようにパソコンと本製品を USB ケーブルで接続してください。USB ケーブル接続部は、本製品の背面にあります。



チェック 4 セットアップが完了しているか確認してください

セットアップが完了していない場合は、セットアップを行ってください。

- Windows をご使用の場合：
セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。
- Mac OS をご使用の場合：
ウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。

チェック 5 IJ Network Tool をお使いの場合、本製品を再度検索してください

- Windows をご使用の場合：
➡ [\[Canon IJ Network Tool\] 画面](#)
- Mac OS をご使用の場合：
➡ [Canon IJ Network Tool] 画面の項目

チェック6 ネットワーク経由で本製品を検索する場合は、本製品がポートと関連付けされていることを確認してください（Windows）

IJ Network Tool で [名前] に [ドライバー無し] と表示されている場合は、関連付けされていません。[設定] メニューの [ポートの関連付け] を選び、関連付けを行ってください。

➡ [ポートが関連付けられていないとき](#)

チェック7 通信を行う無線 LAN ルーターと設定が同一か確認してください

無線 LAN ルーターの設定を確認してください。確認方法については、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。その後、本製品の設定を無線 LAN ルーターに合わせて変更してください。

➡ [暗号化の設定方法がわからない](#)

チェック8 遮蔽物がないか確認してください

壁越し、フロア間での通信は、一般に通信状況が悪くなります。設置位置を調整してください。

無線 LAN の通信状況を確認するには：

- Windows をご使用の場合：
➡ [無線 LAN の通信状況を確認する](#)
- Mac OS をご使用の場合：
➡ 無線 LAN の通信状況を確認する

チェック9 距離が離れすぎていないか確認してください

本製品は無線 LAN ルーターとの距離が 50 m（164 ft）以内の屋内で使用していただくものです。適正な距離に近づけてください。

無線 LAN の通信状況を確認するには：

- Windows をご使用の場合：
➡ [無線 LAN の通信状況を確認する](#)
- Mac OS をご使用の場合：
➡ 無線 LAN の通信状況を確認する

チェック10 近くに電波干渉源がないか確認してください

無線 LAN で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波干渉源から、できるだけ離して設置してください。

無線 LAN の通信状況を確認するには：

- Windows をご使用の場合：
➡ [無線 LAN の通信状況を確認する](#)
- Mac OS をご使用の場合：
➡ 無線 LAN の通信状況を確認する

チェック11 パソコンのネットワークの設定が正しくされているか確認してください

パソコンと無線 LAN ルーターが、通信できる状態であることを確認してください。

チェック12 プリンタードライバーのプロパティ画面の [ポート] シートで [双方向サポートを有効にする] にチェックマークを付けて、双方向通信を行ってください（Windows）

チェック 13 ファイアウォール関連のセキュリティソフトウェアが動作していませんか

セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を使用している場合、キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージが表示される場合があります。警告メッセージが表示されたら、アクセスを常に許可するように設定してください。

また、ネットワーク環境を切り替えるソフトウェアをお使いの場合は、その設定を確認してください。

チェック 14 ルーターをご使用の場合は、本製品とパソコンを LAN 側（同一セグメント内）に接続してください

チェック 15 AirMac 本体と本製品を無線 LAN 接続でお使いの場合、ネットワークの名前（SSID）には半角英数字をご使用ください（Mac OS）

チェック 16 本製品の TCP/IP の設定を確認し、IPv6 を無効に設定してください

現在の TCP/IP の設定は、本製品の操作パネルから LAN 設定情報を印刷して確認できます。

➡ [本製品のネットワーク設定情報を印刷する](#)

「TCP/IPv6」の項目が「Enable」になっている場合は、IPv4 と IPv6 を使用する設定になっています。

ストップボタンを押し続け、エラーランプが 23 回点滅したら離してください。

IPv6 が無効になり、IPv4 のみを使用する設定になります。

上記の項目を確認しても解決しない場合は、セットアップをやり直してください。

- Windows をご使用の場合：

セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従って、セットアップをやり直してください。

- Mac OS をご使用の場合：

ウェブページの指示に従って、セットアップをやり直してください。

本製品をネットワーク接続で使用中のトラブル

- ▶ 本製品が突然使えなくなった
- ▶ ネットワークキーを忘れてしまった／わからない
- ▶ 本製品に設定した管理者パスワードを忘れてしまった
- ▶ 無線 LAN ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった
- ▶ 印刷に時間がかかる
- ▶ Canon IJ ステータスマニタでインク残量が表示されない (Windows)

本製品が突然使えなくなった

- ➡ [ネットワーク環境設定を変更したら、本製品と通信できなくなった \(Windows\)](#)
- ➡ [無線 LAN 接続で本製品と通信できない](#)
- ➡ [アクセスポイントモード中の本製品と通信できない](#)
- ➡ [ネットワーク接続されたパソコンから印刷、スキャンができない](#)

ネットワーク環境設定を変更したら、本製品と通信できなくなった (Windows)

A

パソコンの IP アドレス取得に時間がかかったり、再起動が必要な場合があります。

パソコンに有効な IP アドレスが取得されていることを確認の上、再度本製品を検索してください。

無線 LAN 接続で本製品と通信できない

A

チェック 1 本製品の電源が入っているか確認してください

チェック 2 無線 LAN ルーターと本製品のそれぞれのネットワーク設定が一致しているか確認してください

無線 LAN ルーターのネットワーク設定の確認方法については、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

本製品で現在設定されているネットワーク設定は、ネットワーク情報を印刷して確認できます。

➡ [本製品のネットワーク設定情報を印刷する](#)

本製品のネットワーク設定が無線 LAN ルーターの設定と異なる場合は、IJ Network Tool (アイジェイ・ネットワーク・ツール) を使用して無線 LAN ルーターの設定に合わせて変更してください。

チェック 3 距離が離れすぎているか確認してください

本製品は無線 LAN ルーターとの距離が 50 m (164 ft) 以内の屋内で使用していただくものです。適正な距離に近づけてください。

チェック 4 遮蔽物がないか確認してください

壁越し、フロア間での通信は、一般に通信状況が悪くなります。設置位置を調整してください。

チェック 5 近くに電波干渉源がないか確認してください

無線 LAN で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器 (電子レンジなど) が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波干渉源から、できるだけ離して設置してください。

チェック 6 パソコンのネットワークの設定が正しくされているか確認してください

パソコンとネットワーク機器の接続や設定方法については、お使いのネットワーク機器の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

チェック7 電波の状態が悪い可能性があります。無線 LAN の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください

- Windows をご使用の場合：
➡ [無線 LAN の通信状況を確認する](#)
- Mac OS をご使用の場合：
➡ 無線 LAN の通信状況を確認する

チェック8 お使いの無線 LAN を内蔵したパソコンまたは無線 LAN カードの使用できる無線チャンネル番号を確認してください

無線 LAN を内蔵したパソコンまたは無線 LAN カードでは、使用できる無線チャンネルを制限している場合があります。お使いの無線 LAN を内蔵したパソコンまたは無線 LAN カードなどの取扱説明書を参照して、使用できる無線チャンネル番号を確認してください。

チェック9 無線 LAN ルーターに設定されている無線チャンネル番号が、チェック8で確認した無線チャンネル番号に含まれていることを確認してください

無線 LAN ルーターに設定されている無線チャンネル番号が含まれていない場合は、無線 LAN ルーターの無線チャンネルを変更してください。

チェック10 ファイアウォール関連のセキュリティソフトウェアが動作していませんか

セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を使用している場合、キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージが表示される場合があります。警告メッセージが表示されたら、アクセスを常に許可するように設定してください。

また、ネットワーク環境を切り替えるソフトウェアをお使いの場合は、その設定を確認してください。

チェック11 ルーターをご使用の場合は、本製品とパソコンを LAN 側（同一セグメント内）に接続してください

チェック12 AirMac 本体と本製品を無線 LAN 接続でお使いの場合、ネットワークの名前（SSID）には半角英数字をご使用ください（Mac OS）

上記の項目を確認しても解決しない場合は、セットアップをやり直してください。

- Windows をご使用の場合：
セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従って、セットアップをやり直してください。
- Mac OS をご使用の場合：
ウェブページの指示に従って、セットアップをやり直してください。
- **設置条件について**
無線 LAN ルーターと本製品が、お互いに無線通信可能な見通しのよい場所に設置されていることを確認してください。

• ケーブルレスセットアップで本製品と Windows XP のパソコンを接続する場合：

以下の手順で本製品とパソコンの設定を行ってください。

1. [本製品のアクセスポイントモードを有効にする](#)
2. デスクトップの通知領域にある「ワイヤレス ネットワーク接続」アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレス ネットワークの表示] をクリックする
3. 表示されている画面でネットワーク名を選び、[接続] をクリックする
ネットワーク名は、「XXXXXX-MGXXXX series」（XX は英数字を示す）を選んでください。
4. 表示されている画面でネットワークキーを入力し、[接続] をクリックする
初期設定では、本製品のシリアルナンバーをネットワークキーとして使用します。本製品の背面にあるシリアルナンバーを確認してください。
5. セットアップ CD-ROM またはウェブページの指示に従って、セットアップを行う

アクセスポイントモード中の本製品と通信できない

チェック 1 本製品の電源が入っているか確認してください

チェック 2 アクセスポイントモードが無効になっていませんか

以下の手順でアクセスポイントモードを有効にしてください。

1. Wi-Fi ボタンを押し続け、電源ランプが点滅したら離す
2. モノクロボタン、カラーボタン、Wi-Fi ボタンの順に押す

電源ランプが点滅から点灯に切り替わり、アクセスポイントモードが有効になります。

チェック 3 ご使用の無線通信機器（パソコン、スマートフォン、タブレットなど）で、接続先として本製品を選んでいますか

無線通信機器で、本製品に設定されているアクセスポイント名（SSID）を選んでください。

チェック 4 本製品に設定されているアクセスポイントモードのパスワードを正しく入力していますか

本製品でアクセスポイントモードのセキュリティ設定を有効にしている場合、無線通信機器から本製品に接続する際にパスワードの入力が必要となります。

チェック 5 距離が離れすぎていないか確認してください

本製品と無線通信機器を適正な距離に近づけてください。

チェック 6 遮蔽物がないか確認してください

壁越し、フロア間での通信は、一般に通信状況が悪くなります。設置位置を調整してください。

チェック 7 近くに電波干渉源がないか確認してください

無線 LAN で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波干渉源から、できるだけ離して設置してください。

チェック 8 6 台以上の無線通信機器を本製品に接続しようとしていませんか

アクセスポイントモード使用時に接続できる無線通信機器は 5 台までです。

ネットワーク接続されたパソコンから印刷、スキャンができない

チェック 1 パソコンのネットワーク設定が正しく設定されているか確認してください

パソコンの設定方法については、お使いのパソコンの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

チェック 2 MP ドライバーをインストールしていない場合は、MP ドライバーをインストールしてください

- Windows をご使用の場合：
セットアップ CD-ROM またはウェブページから、MP ドライバーをインストールしてください。
- Mac OS をご使用の場合：
ウェブページから、MP ドライバーをインストールしてください。

チェック 3 無線 LAN ルーターでアクセスできるパソコンを制限していないか確認してください

無線 LAN ルーターの接続や設定方法については、お使いの無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

参考

- パソコンの MAC アドレスや IP アドレスを確認する場合は、「[パソコンの IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい](#)」を参照してください。

ネットワークキーを忘れてしまった／わからない

➡ [WEP または WPA/WPA2 を設定した無線 LAN ルーターと接続できない（設定したキーを忘れてしまった）](#)

➡ [暗号化の設定方法がわからない](#)

Q WEP または WPA/WPA2 を設定した無線 LAN ルーターと接続できない（設定したキーを忘れてしまった）

A

無線 LAN ルーターの設定を確認してください。確認方法については、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。また、パソコンと無線 LAN ルーターが、その設定で通信できることを確認してください。

その後、IJ Network Tool を使って、本製品の設定を無線 LAN ルーターに合わせてセットアップしてください。

Q 暗号化の設定方法がわからない

A

無線 LAN ルーターの設定を確認してください。確認方法については、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。また、パソコンと無線 LAN ルーターが、その設定で通信できることを確認してください。

その後、IJ Network Tool を使って、本製品の設定を無線 LAN ルーターに合わせてセットアップしてください。

• WEP を設定する場合

キーの長さやキーの書式、使用するキー（1～4 のいずれか）、認証方式を、無線 LAN ルーターと本製品およびパソコンで合わせる必要があります。

WEP キーを自動生成する無線 LAN ルーターと通信するためには、無線 LAN ルーターが自動生成したキー番号と同じキー番号を使用するキーに設定し、そのキー番号のコードを 16 進数で本製品に設定する必要があります。

◦ Windows をご使用の場合：

本製品の認証方式は、通常〔自動〕を選んでください。無線 LAN ルーターの設定に合わせて〔オープン〕または〔共有キー〕からも選べます。

〔検出〕画面の〔設定〕ボタンをクリックしたあと、〔WEP 詳細〕画面が表示された場合、WEP キーを入力するときは、キーの長さ、キーの書式、使用するキーおよび認証方式を画面に従って設定してください。

詳細については、「[WEP の詳細設定を変更する](#)」を参照してください。

◦ Mac OS をご使用の場合：

本製品の認証方式は、通常〔自動〕を選んでください。無線 LAN ルーターの設定に合わせて〔オープン〕または〔共有キー〕からも選べます。

〔無線 LAN ルーター一覧〕画面の〔設定〕ボタンをクリックしたあと、〔WEP 詳細〕画面が表示された場合、WEP キーを入力するときは、キーの長さ、キーの書式、使用するキーおよび認証方式を画面に従って設定してください。

詳細については、「WEP の詳細設定を変更する」を参照してください。

▶▶▶ 参考

- AirMac 本体と本製品を無線 LAN 接続でお使いの場合

AirMac 本体と本製品を無線 LAN 接続でお使いの場合は、AirMac ユーティリティで「ワイヤレスセキュリティ」の設定を確認してください。

- 〔WEP 40 ビット〕を設定している場合は、キーの長さは〔64 ビット〕を選んでください。
- 〔使用するキー:〕では〔1〕を選んでください。ほかのキーを選んだ場合は、パソコンから無線で接続できなくなります。

• WPA/WPA2 を設定する場合

認証タイプやパスフレーズ、動的暗号化の種類を、無線 LAN ルーターと本製品およびパソコンで合わせる必要があります。

パスフレーズは、無線 LAN ルーターで設定したパスフレーズを、8 文字以上 63 文字以内の半角英数字または 64 桁の 16 進数で入力してください。

動的暗号化の種類（暗号化方式）は、TKIP（基本的な暗号化）または AES（強固な暗号化）が自動で選ばれます。

- Windows をご使用の場合：

詳細については、「[WPA/WPA2 の詳細設定を変更する](#)」を参照してください。

- Mac OS をご使用の場合：

詳細については、「WPA/WPA2 の詳細設定を変更する」を参照してください。

▶▶▶ 参考

- 本製品では、認証タイプとして「WPA/WPA2-PSK（WPA/WPA2 パーソナル）」または「WPA2-PSK（WPA2 パーソナル）」をサポートしています。



本製品に設定した管理者パスワードを忘れてしまった



本製品の設定を初期化してください。

➡ [本製品の設定を初期化する](#)

本製品の設定を初期化したあとは本製品の再セットアップが必要です。

- **Windows をご使用の場合：**

セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。

- **Mac OS をご使用の場合：**

ウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。



無線 LAN ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった



無線 LAN ルーターを買い替えた場合は、本製品のネットワークの設定をやり直してください。

- Windows をご使用の場合：
セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従って行ってください。
- Mac OS をご使用の場合：
ウェブページの指示に従って行ってください。

ネットワークの設定をやり直しても解決しない場合は、以下を参照してください。

➡ [無線 LAN ルーターで MAC アドレスフィルタリングまたは IP アドレスフィルタリングの設定や、暗号化の設定を行ったら、本製品と通信できなくなった](#)

➡ [本製品に暗号化が設定されている場合、無線 LAN ルーターの暗号方式を変更したら通信ができなくなった](#)



無線 LAN ルーターで MAC アドレスフィルタリングまたは IP アドレスフィルタリングの設定や、暗号化の設定を行ったら、本製品と通信できなくなった



チェック 1 無線 LAN ルーターの設定を確認してください

確認方法については、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。また、パソコンと無線 LAN ルーターがその設定で通信できることを確認してください。

チェック 2 無線 LAN ルーターで MAC アドレスフィルタリングまたは IP アドレスフィルタリングを行った場合、パソコンやネットワーク機器と本製品双方の MAC アドレスまたは IP アドレスが登録されていることを確認してください

チェック 3 WEP キーまたは WPA/WPA2 キーを入力した場合、パソコンやネットワーク機器とプリンター双方で設定した暗号化キーと一致していることを確認してください

WEP の設定は WEP キーのほか、キーの長さやキーの書式、使用するキー、認証方式を無線 LAN ルーターと本製品およびパソコンとで一致させる必要があります。

本製品の認証方式は、通常「自動」を選んでください。無線 LAN ルーターの設定に合わせて「オープン」または「共有キー」からも選べます。

詳しくは、「[暗号化の設定方法がわからない](#)」を参照してください。

Q 本製品に暗号化が設定されている場合、無線 LAN ルーターの暗号方式を変更したら通信ができなくなった

A

無線 LAN ルーターの暗号方式の設定を変更した後にパソコンと本製品が通信できなくなった場合は、無線 LAN ルーターとパソコンの暗号方式の設定が本製品の設定と一致しているか確認してください。

➡[無線 LAN ルーターで MAC アドレスフィルタリングまたは IP アドレスフィルタリングの設定や、暗号化の設定を行ったら、本製品と通信できなくなった](#)



印刷に時間がかかる



チェック 1 ほかのパソコンから大きなサイズのデータを印刷、スキャンしている可能性があります。しばらくおまちください

チェック 2 無線 LAN の通信状況を確認しながら、設置位置や向きを調整してください

- Windows をご使用の場合 :
➡ [無線 LAN の通信状況を確認する](#)
- Mac OS をご使用の場合 :
➡ 無線 LAN の通信状況を確認する

無線 LAN ルーターと本製品が、それぞれ無線通信可能な見通しのよい場所に設置されていることを確認してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質により通信できない場合は、壁を挟まない場所でお使いください。

チェック 3 近くに電波干渉源がないか確認してください

無線 LAN で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波干渉源からできるだけ離して設置してください。



Canon IJ ステータスマニタでインク残量が表示されない (Windows)



プリンタードライバーを双方向通信で使用してください。

プリンタードライバーのプロパティ画面の [ポート] シートで [双方向サポートを有効にする] にチェックマークを付けてください。

➡ [プリンタードライバーの設定画面の開きかた](#)

ネットワークに関するその他のトラブル

- ▶ ネットワーク設定の途中パソコン画面にメッセージが表示された
- ▶ 定常的にパケットが送出されている（Windows）
- ▶ ネットワークに関する設定を調べたい
- ▶ 本製品の LAN 設定を初期設定状態に戻す

ネットワーク設定の途中パソコン画面にメッセージが表示された

⇒ [パスワードを入力する画面が表示された](#)

⇒ [無線 LAN ルーターを検出する画面で無線 LAN ルーターを選択したら、WEP または WPA/WPA2 の設定画面が表示された](#)

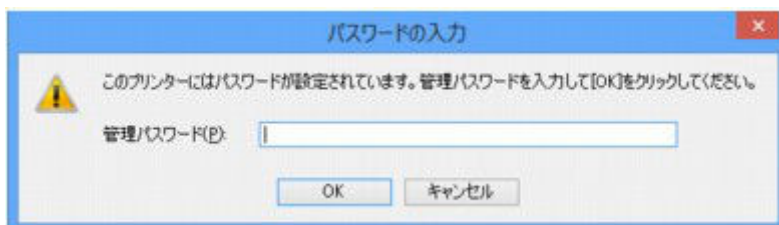
⇒ [「暗号化機能が有効になっていない無線ネットワークに接続しようとしています。」というメッセージが表示された](#)

Q パスワードを入力する画面が表示された



ネットワークで使用するプリンターに管理パスワードが設定されている場合に、以下の画面が表示されます。

- Windows をご使用の場合：



- Mac OS をご使用の場合：



プリンターに設定されている管理パスワードと同じパスワードを入力してください。

参考

- プリンターにはご購入時の状態で、管理パスワードが設定されています。

詳細は以下を参照してください。

⇒ [管理用のパスワードについて](#)

安全性の向上のため、管理パスワードの変更をおすすめします。

- Windows をご使用の場合：

⇒ [\[管理パスワード\] シートの設定を変更する](#)

- Mac OS をご使用の場合：

⇒ [\[管理パスワード\] シートの設定を変更する](#)

Q 無線 LAN ルーターを検出する画面で無線 LAN ルーターを選択したら、
WEP または WPA/WPA2 の設定画面が表示された

A

選んだ無線 LAN ルーターに暗号化が設定されている場合に表示されます。この場合は、無線 LAN ルーターの暗号化の設定と同じ内容を設定してください。

- Windows をご使用の場合：

暗号化の設定は、「[\[無線 LAN\] シートの設定を変更する](#)」を参照してください。

- Mac OS をご使用の場合：

暗号化の設定は、「[\[ワイヤレス LAN\] シートの設定を変更する](#)」を参照してください。

Q 「暗号化機能が有効になっていない無線ネットワークに接続しようとしています。」というメッセージが表示された

A

選択した無線 LAN ルーターは、暗号化の設定が行われていません。本製品の使用は可能ですので、そのままセットアップを進めて完了してください。

重要

- セキュリティで保護されていないネットワーク環境に接続する場合は、お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。十分、ご注意ください。

定常的にパケットが送出されている（Windows）

IJ Network Scanner Selector EX（アイジェイ・ネットワーク・スキャナー・セクター・イーエックス）が有効の場合、ネットワーク上で本製品と通信ができるか定期的を確認するため、パケットを送出しています。本製品をセットアップしたネットワーク環境以外でパソコンを使用する場合は、IJ Network Scanner Selector EX を無効にしてください。

IJ Network Scanner Selector EX を無効にするには、デスクトップの通知領域の  を右クリックし、**「Canon IJ Network Scanner Selector EX を無効にする」** を選びます。

ネットワークに関する設定を調べたい

- ➡ [本製品の IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい](#)
- ➡ [パソコンの IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい](#)
- ➡ [パソコンと本製品、またはパソコンと無線 LAN ルーターが通信可能かを確認したい](#)
- ➡ [ネットワーク設定情報を確認したい](#)



本製品の IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい



本製品の操作パネルから LAN 設定情報を印刷して確認できます。

➡ [本製品のネットワーク設定情報を印刷する](#)

またはパソコンの画面で確認することもできます。

- Windows をご使用の場合：
 - ➡ [\[Canon IJ Network Tool\] 画面](#)
- Mac OS をご使用の場合：
 - ➡ [Canon IJ Network Tool] 画面のメニュー



パソコンの IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい



パソコンに割り振られている IP アドレスおよび MAC アドレスを知りたいときは、以下の手順で確認してください。

- Windows をご使用の場合：
 1. 以下のように [コマンド プロンプト] を選ぶ
 - Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、スタート画面上の [コマンド プロンプト] を選びます。スタート画面に [コマンド プロンプト] が表示されない場合は、[検索] チャームを選び、「コマンド プロンプト」を検索してください。
 - Windows 7、Windows Vista または Windows XP をご使用の場合は、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンド プロンプト] を選びます。
 2. 「ipconfig/all」を入力し、[Enter] キーを押す

ご使用のパソコンの IP アドレスおよび MAC アドレスが表示されます。パソコンがネットワークに接続されていない場合、IP アドレスは表示されません。
- Mac OS をご使用の場合：
 1. Apple メニューから [システム環境設定] を選び、[ネットワーク] をクリックする
 2. ご使用のネットワークが選ばれていることを確認して、[詳細] をクリックする

ご使用のネットワークとして [Wi-Fi] が選ばれていることを確認してください。
 3. IP アドレスまたは MAC アドレスを確認する

IP アドレスを確認するときは、[TCP/IP] をクリックしてください。

MAC アドレスを確認するときは、[ハードウェア] をクリックしてください。



パソコンと本製品、またはパソコンと無線 LAN ルーターが通信可能かを確認したい



ping コマンドを実行して、通信ができているか確認します。以下の手順で確認してください。

- Windows をご使用の場合：

1. 以下のように [コマンド プロンプト] を選ぶ

- Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、スタート画面上の [コマンド プロンプト] を選びます。スタート画面に [コマンド プロンプト] が表示されない場合は、検索] チャームを選び、「コマンド プロンプト」を検索してください。
- Windows 7、Windows Vista または Windows XP をご使用の場合は、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンド プロンプト] を選びます。

2. 「ping XXX.XXX.XXX.XXX」を入力し、[Enter] キーを押す

XXX.XXX.XXX.XXX には、確認したいプリンターや無線 LAN ルーターなどの IP アドレスを入力します。

通信が正しく行われている場合は、以下のようなメッセージが表示されます。

XXX.XXX.XXX.XXX からの応答: バイト数=32 時間=10ms TTL=255

[Request timed out] などが表示された場合は、正しく通信できていません。

- Mac OS をご使用の場合：

1. 以下のように [ネットワークユーティリティ] を起動する

- Mac OS X v10.10 または Mac OS X v10.9 をご使用の場合は、Finder の [移動] メニューから [コンピュータ] を選び、[Macintosh HD]、[システム]、[ライブラリ]、[CoreServices]、[Applications]、[ネットワークユーティリティ] の順にダブルクリックします。
- Mac OS X v10.8 または Mac OS X v10.7 をご使用の場合は、[アプリケーション] フォルダ内にある [ユーティリティ] フォルダを開き、[ネットワークユーティリティ] をダブルクリックします。

2. [Ping] ボタンをクリックする

3. 以下のように ping の送信回数を確認する

- Mac OS X v10.10 または Mac OS X v10.9 をご使用の場合は、[送信回数 : XXping] (XX は数字) が選ばれていることを確認します。
- Mac OS X v10.8 または Mac OS X v10.7 をご使用の場合は、[ping コマンドを XX 回だけ送信] (XX は数字) が選ばれていることを確認します。

4. [ping コマンドを送信するネットワークアドレスを入力してください。] の欄にプリンターや無線 LAN ルーターの IP アドレスを入力する

5. [Ping] ボタンをクリックする

XXX.XXX.XXX.XXX は、確認したプリンターや無線 LAN ルーターの IP アドレスです。

以下は Ping を 3 回送信した場合の例です。

64 bytes from XXX.XXX.XXX.XXX: icmp_seq=0 ttl=64 time=3.394 ms
64 bytes from XXX.XXX.XXX.XXX: icmp_seq=1 ttl=64 time=1.786 ms
64 bytes from XXX.XXX.XXX.XXX: icmp_seq=2 ttl=64 time=1.739 ms
--- XXX.XXX.XXX.XXX ping statistics ---
3 packets transmitted, 3 packets received, 0% packet loss
以下のように表示された場合は、正しく通信できていません。
PING XXX.XXX.XXX.XXX (XXX.XXX.XXX.XXX) : 56 data bytes
---XXX.XXX.XXX.XXX ping statistics ---
3 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss



ネットワーク設定情報を確認したい



本製品の操作パネルから LAN 設定情報を印刷して確認できます。

➡ [本製品のネットワーク設定情報を印刷する](#)



本製品の LAN 設定を初期設定状態に戻す



重要

- Windows をご使用の場合：

初期化を行うと本製品の LAN 接続情報がすべて削除され、パソコンからの印刷、スキャンができなくなります。再度、LAN 接続でご使用になる場合はセットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。初期化を行う際には、十分注意してください。

- Mac OS をご使用の場合：

初期化を行うと本製品の LAN 接続情報がすべて削除され、パソコンからの印刷、スキャンができなくなります。再度、LAN 接続でご使用になる場合はウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。初期化を行う際には、十分注意してください。

ストップボタンを押し続け、エラーランプが 19 回点滅したら離します。

ネットワーク設定情報が初期化されます。

スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンしているときのトラブル

- ▶ スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンできない

スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンできない

スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンできない場合は、本製品とスマートフォン／タブレットが通信できていないことが考えられます。

接続方法に従って、チェックしてください。

➡ [無線 LAN 接続で本製品と通信できない](#)

➡ [アクセスポイントモード中の本製品と通信できない](#)

参考

- 他の接続方法で印刷しているときのトラブルや、他の接続方法の設定のしかたについては、以下を参照してください。

➡ [PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する](#)

➡ [Google Cloud Print を利用して印刷してみよう](#)

➡ [iOS 機器を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう](#)



無線 LAN 接続で本製品と通信できない



無線 LAN 接続で本製品と通信できない場合は、以下の項目を確認してください。

チェック 1 本製品の電源が入っているか確認してください

チェック 2 Wi-Fi ランプは点灯していますか

Wi-Fi ランプが消えている場合は、無線 LAN が無効になっています。以下の手順で無線 LAN を有効にします。

1. Wi-Fi ボタンを押し続け、電源ランプが点滅したら離す
2. カラーボタン、モノクロボタン、Wi-Fi ボタンの順に押す

電源ランプが点滅から点灯に変わり、Wi-Fi ランプが点灯し、無線 LAN が有効になります。

チェック 3 無線 LAN ルーターと本製品のそれぞれのネットワーク設定が一致していますか

無線 LAN ルーター名や SSID、ネットワークキーなどのネットワーク設定が、無線 LAN ルーターと本製品で一致しているか確認してください。

無線 LAN ルーターのネットワーク設定の確認方法については、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

本製品で現在設定されているネットワーク設定は、ネットワーク情報を印刷して確認できます。

➡ [本製品のネットワーク設定情報を印刷する](#)

本製品のネットワーク設定が無線 LAN ルーターの設定と異なる場合は、IJ Network Tool（アイジェイ・ネットワーク・ツール）を使用して無線 LAN ルーターの設定に合わせて変更してください。

チェック 4 無線 LAN ルーターとご使用のスマートフォン／タブレットのそれぞれのネットワーク設定が一致していますか

無線 LAN ルーター名や SSID、ネットワークキーなどのネットワーク設定が、無線 LAN ルーターとスマートフォン／タブレットで一致しているか確認してください。

スマートフォン／タブレットのネットワーク設定の確認方法については、スマートフォン／タブレットに付属の取扱説明書を参照してください。

スマートフォン／タブレットのネットワーク設定が無線 LAN ルーターの設定と異なる場合は、無線 LAN ルーターの設定に合わせて変更してください。

チェック 5 距離が離れすぎていないか確認してください

本製品は無線 LAN ルーターとの距離が 50 m (164 ft) 以内の屋内で使用していただくものです。適正な距離に近づけてください。

チェック 6 遮蔽物がないか確認してください

壁越し、フロア間での通信は、一般に通信状況が悪くなります。設置位置を調整してください。

チェック 7 近くに電波干渉源がないか確認してください

無線 LAN で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波干渉源から、できるだけ離して設置してください。

アクセスポイントモード中の本製品と通信できない

アクセスポイントモード中の本製品と通信できない場合は、以下の項目を確認してください。

チェック 1 本製品の電源が入っているか確認してください

チェック 2 本製品のアクセスポイントモードを有効に設定し直してください

以下の手順でアクセスポイントモードを有効にします。

1. Wi-Fi ボタンを押し続け、電源ランプが点滅したら離す
2. モノクロボタン、カラーボタン、Wi-Fi ボタンの順に押す

電源ランプが点滅から点灯に変わり、アクセスポイントモードが有効になります。

チェック 3 ご使用のスマートフォン／タブレットの設定を確認してください

スマートフォン／タブレットが無線 LAN 接続を利用できる設定になっているか確認してください。

無線 LAN 接続の設定のしかたについては、スマートフォン／タブレットに付属の取扱説明書を参照してください。

チェック 4 ご使用のスマートフォン／タブレットで、接続先として本製品を選んでいただけますか

スマートフォン／タブレットで、本製品に設定されているアクセスポイント名（SSID）を選んでください。

チェック 5 本製品に設定されているアクセスポイントモードのパスワードを正しく入力していますか

本製品でアクセスポイントモードのセキュリティ設定を有効にしている場合、スマートフォン／タブレットから本製品に接続する際にパスワードの入力が必要となります。

チェック6 距離が離れすぎているか確認してください

本製品とご使用のスマートフォン／タブレットを通信可能な距離に近づけてください。

チェック7 遮蔽物がないか確認してください

壁越し、フロア間での通信は、一般に通信状況が悪くなります。設置位置を調整してください。

チェック8 近くに電波干渉源がないか確認してください

無線 LAN で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波干渉源から、できるだけ離して設置してください。

チェック9 6 台以上のスマートフォン／タブレットを本製品に接続しようとしていませんか

アクセスポイントモード使用時に接続できるスマートフォン／タブレットは 5 台までです。

印刷に関するトラブル

- ▶ 印刷が始まらない
- ▶ 用紙がつまった
- ▶ コピー／印刷結果に満足できない
- ▶ インクが出ない
- ▶ 用紙がうまく送られない／「用紙なし」のエラーが発生する
- ▶ 自動両面印刷でうまく印刷できない
- ▶ コピー／印刷が途中で止まる
- ▶ AirPrint で印刷できない



印刷が始まらない



チェック 1 電源プラグがしっかりと差し込まれていることを確認し、電源ボタンを押して電源を入れてください

電源ランプが点滅している間は、本製品が準備動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

参考

- 写真やグラフィックなど大容量のデータを印刷するときは、印刷が始まるまでに通常よりも時間がかかります。電源ランプが点滅している間、パソコンはデータを処理して本製品に転送しています。印刷が始まるまで、しばらくお待ちください。

チェック 2 本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください

USB 接続で本製品をご使用の場合は、本製品の USB ケーブル接続部とパソコンが USB ケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。USB ケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

- USB ハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USB ハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USB ケーブルに不具合があることも考えられます。別の USB ケーブルに交換し、再度印刷してみてください。

無線 LAN 接続で本製品をご使用の場合は、ネットワークの設定が正しくされているか確認してください。

チェック 3 アクセスポイントモードになっていませんか

アクセスポイントモード以外で印刷をする場合は、アクセスポイントモードを終了してから印刷をしてください。

➡ [本製品をアクセスポイントモードで使用する](#)

チェック 4 排紙トレイが開いているか確認してください

チェック 5 パソコンからの印刷で、不要な印刷ジョブが残っている場合は、削除してください

- Windows をご使用の場合 :
➡ [不要になった印刷ジョブを削除する](#)
- Mac OS をご使用の場合 :
➡ [不要になった印刷ジョブを削除する](#)

チェック 6 印刷するときに、ご使用の機種のパリンタードライバーが選ばれていますか
異なる機種のパリンタードライバーを使用していると、正常に印刷できません。

- Windows をご使用の場合 :

[印刷] ダイアログで「Canon XXX series Printer」（「XXX」は機種名）が選ばれていることを確認してください。

▶▶▶ 参考

- 本製品を「通常使うプリンターに設定」にすることで、常に本製品が選ばれているように設定することもできます。

- Mac OS をご使用の場合：

プリントダイアログの [プリンタ] でご使用の機種名が選ばれていることを確認してください。

▶▶▶ 参考

- 本製品を「デフォルトのプリンタ」にすることで、常に本製品が選ばれているように設定することもできます。

チェック7 プリンターポートを正しく設定してください（Windows）

プリンターポートの設定を確認してください。

1. 管理者（Administrators グループのメンバー）として Windows にログオンする
2. 以下のように選ぶ
 - Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、デスクトップの [設定] チャームから [コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] → [デバイスとプリンター] の順に選びます。
 - Windows 7 をご使用の場合は、[スタート] メニューから [デバイスとプリンター] を選びます。
 - Windows Vista をご使用の場合は、[スタート] メニューから [コントロール パネル] → [ハードウェアとサウンド] → [プリンタ] を選びます。
 - Windows XP をご使用の場合は、[スタート] メニューから [コントロール パネル] → [プリンタとその他のハードウェア] → [プリンタと FAX] を選びます。
3. ご使用のプリンターのプロパティを開く
 - Windows 8.1、Windows 8 または Windows 7 をご使用の場合は、「Canon XXX series Printer」アイコン（「XXX」は機種名）を右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選びます。
 - Windows Vista または Windows XP をご使用の場合は、「Canon XXX series Printer」アイコン（「XXX」は機種名）を右クリックし、[プロパティ] を選びます。
 - [ポート] タブをクリックし、[印刷するポート] で [プリンタ] の欄に「Canon XXX series Printer」と表示されている「USBnnn」（「n」は数字）が選ばれているか確認する

▶▶▶ 参考

- 無線 LAN 接続で本製品をご使用の場合は、ポート名は「CNBJNPxxxxxxxxxx」と表示されます。xx は、MAC アドレスから生成される文字列、または、ネットワークのセットアップ時にユーザーが設定した任意の文字列です。

- 設定が誤っている場合：

セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。

- USB ケーブルで接続していて「USBnnn」が選ばれていても印刷が始まらない場合：

Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、スタート画面上の [マイ プリンタ] を選ぶと、マイ プリンタが起動します。スタート画面に [マイ プリンタ] が表示されない場合は、[検索] チャームを選び、「マイ プリンタ」を検索してください。

表示されるメニューの [プリンターの診断・修復] から、プリンターポートを正しく設定してください。[プリンターの診断・修復] では画面の指示に従って操作し、機種選択画面ではご使用の機種名を選びます。

Windows 7、Windows Vista または Windows XP をご使用の場合は、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [Canon Utilities] → [マイ プリンタ] → [マイ プリンタ] を選び、[プリンターの診断・修復] からプリンターポートを正しく設定してください。[プリンターの診断・修復] では画面の指示に従って操作し、機種選択画面ではご使用の機種名を選びます。

それでも印刷が始まらない場合は、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。

- 無線 LAN 接続で"CNBJNPxxxxxxxxxx"が表示されていても印刷が始まらない場合：

IJ Network Tool を起動し、[Canon IJ Network Tool] 画面のポート名に手順 4 で確認した"CNBJNPxxxxxxxxxx"と表示されている列を選び、[設定] メニューの [ポートの関連付け] を選んでポートとプリンターの関連付けをしてください。

それでも印刷が始まらない場合は、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。

チェック 8 印刷のデータ容量が大きくありませんか (Windows)

プリンタードライバーの [ページ設定] シートの [印刷オプション] ボタンをクリックします。表示されるダイアログで [印刷データの欠落防止] を [オン] に設定してください。

* [印刷データの欠落防止] を [オン] に設定すると、印刷品質が低下する場合があります。

チェック 9 パソコンから印刷した場合、パソコンを再起動してみてください



用紙が詰まった



紙づまりが発生すると、エラーランプが点滅し、自動的に対処方法を示すメッセージがパソコンに表示されます。この場合は、表示された対処方法に従って操作してください。

- Windows をご使用の場合：



- Mac OS をご使用の場合：



* ご使用の OS によって、画面が異なります。

紙づまりの対処方法については「[エラー発生時のサポート番号一覧（用紙が詰まった場合）](#)」を参照してください。

参考

- パソコンに表示されたサポート番号を検索して、対処方法を確認することもできます。

➡ [検索](#)



コピー／印刷結果に満足できない

白いすじが入る、罫線がずれる、色むらがあるなど、思ったような印刷結果が得られないときは、まず用紙や印刷品質の設定を確認してください。



チェック1 セットされている用紙のサイズや種類が、設定と合っていますか

設定と異なるサイズや種類の用紙をセットしていると、正しい結果が得られません。

例えば、写真やイラストを印刷したときにカラーの発色がよくない場合があります。

また、設定と異なる種類の用紙をセットしていると、印刷面がこすれる場合があります。

フチなし全面印刷を行う場合、セットした用紙と設定の組み合わせによっては、発色の差が発生する場合があります。

用紙や印刷品質の設定を確認する方法は、ご使用の機器によって異なります。

PictBridge（Wireless LAN）対応機器から印刷する場合	PictBridge（Wireless LAN）対応機器 ➡ PictBridge（Wireless LAN）の印刷設定について
パソコンから印刷する場合	プリンタードライバー ➡ かんたんな設定で印刷を行う

チェック2 チェック1の表を参照して、適切な印刷品質が選ばれていることを確認してください

用紙の種類や印刷するデータに応じた印刷品質を選んでください。インクのにじみや色むらが気になる場合は、画質を優先する設定にして印刷してみてください。

参考

- PictBridge（Wireless LAN）対応機器からは印刷品質の設定はできません。

チェック3 それでも解決しない場合は、他の原因が考えられます

以下の項目もあわせて確認してください。

- ➡ [最後まで印刷できない](#)
- ➡ [文書の一部が印刷されない（Windows）](#)
- ➡ [白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじ（線）が入る](#)
- ➡ [色味がおかしい](#)
- ➡ [罫線がずれる](#)
- ➡ [罫線が欠けるまたは印刷されない（Windows）](#)
- ➡ [画像が欠けるまたは印刷されない（Windows）](#)
- ➡ [インクがにじむ／用紙が反る](#)
- ➡ [印刷面が汚れる／こすれる](#)
- ➡ [用紙の裏面が汚れる](#)

➡ [画像の横に縦線パターンが印刷される](#)

➡ [色むらや色すじがある](#)



最後まで印刷できない



チェック1 印刷データを圧縮処理しない設定にしてみてください（Windows）

アプリケーションソフトでの印刷データの圧縮処理を禁止して印刷すると、印刷結果が改善される場合があります。

プリンタードライバーの［ページ設定］シートの［印刷オプション］ボタンをクリックします。表示されるダイアログで［アプリケーションソフトでの印刷データの圧縮処理を禁止する］にチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックしてください。

* 印刷後はチェックマークを外してください。

チェック2 印刷のデータ容量が大きくなりませんか（Windows）

プリンタードライバーの［ページ設定］シートの［印刷オプション］ボタンをクリックします。表示されるダイアログで［印刷データの欠落防止］を［オン］に設定してください。

* ［印刷データの欠落防止］を［オン］に設定すると、印刷品質が低下する場合があります。

チェック3 ハードディスクの空き容量が少なくなっていないですか

不要なファイルを削除して、空き容量を増やしてください。



文書の一部が印刷されない (Windows)



チェック 自動両面印刷をしている場合は下記が考えられます

自動両面印刷をする場合、ページ上部の印刷可能領域が縦方向に 2 mm (0.08 inches) 分狭くなります。

このために、後端部分が印刷されないことがあります。この場合は、プリンタードライバーで縮小印刷する設定にしてください。

重要

- 縮小印刷を行うと、レイアウトがくずれることがあります。
文書を作成したアプリケーションソフトに拡大縮小機能がある場合は、アプリケーションソフトで設定してみてください。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く
➡ [プリンタードライバーの設定画面の開きかた](#)
2. [ページ設定] シートの [両面印刷] にチェックマークを付ける
3. [印刷領域設定] ボタンをクリックし、[縮小して印刷する] を選ぶ

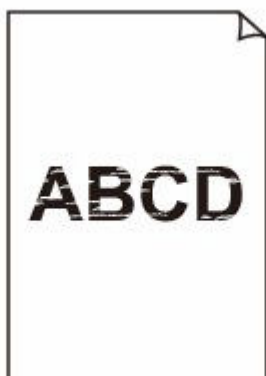


白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじ（線）が入る

❖ 白紙のまま排紙される



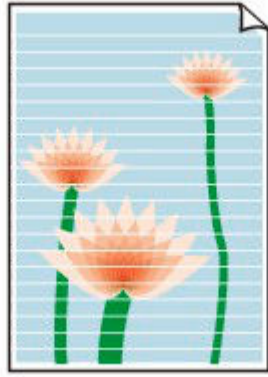
❖ 印刷がかすれる



❖ 違う色になる



白いすじ（線）が入る



A

チェック1 用紙や印刷品質を確認しましたか

➡[コピー／印刷結果に満足できない](#)

チェック2 ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。

ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「[印刷にかすれやむらがあるときには](#)」を参照してください。

- ノズルチェックパターンが正しく印刷されない場合
プリントヘッドをクリーニングしてから、ノズルチェックパターンを印刷して効果を確認してください。
- プリントヘッドのクリーニングを2回繰り返しても改善されない場合
強力クリーニングを実行してください。
強力クリーニングを行っても改善されない場合は、本製品の電源を切って24時間以上経過したあとに、再度強力クリーニングを行ってください。
- 強力クリーニングを2回繰り返しても改善されない場合
インクがなくなっている可能性があります。FINE カートリッジを交換してください。

チェック3 インクがなくなっている場合は、新しいFINE カートリッジに交換してください

チェック4 片面にのみ印刷可能な用紙を使用している場合は、用紙の表と裏を間違えてセットしていないか確認してください

表と裏を間違えると、かすれたり、正しく印刷されないことがあるので注意してください。

用紙は印刷面を下にしてセットしてください。

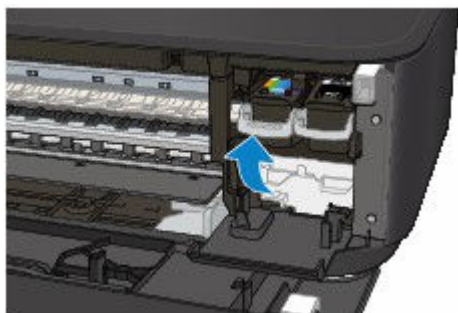
用紙の印刷面については、ご使用の用紙に付属の取扱説明書を参照してください。

チェック5 FINE カートリッジは正しく取り付けられていますか

FINE カートリッジが正しく取り付けられていないと、正常にインクが出ない場合があります。

排紙カバーを開けてください。しばらくするとヘッドカバーが開きます。

インクカートリッジ固定レバーをしっかりと上げて、FINE カートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。



確認後は排紙カバーを閉じてください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、いったん FINE カートリッジを取り外し、正しく取り付け直してください。

FINE カートリッジの取り付け方法については「[FINE カートリッジを交換する](#)」を参照してください。

• コピーしているときは以下の項目もチェックしてみてください：

チェック6 原稿台ガラスが汚れていませんか

原稿台ガラスを清掃してください。

➡[原稿台の周辺部分を清掃する](#)

チェック7 原稿が原稿台ガラスに正しくセットされていることを確認してください

➡[原稿をセットする](#)

チェック8 原稿はコピーする面を下にしてセットしましたか

チェック9 本製品で印刷したものをコピーしていませんか

本製品から印刷したものを原稿としてコピーする場合、元の写真や文書によっては、きれいに印刷されないことがあります。

パソコンから印刷ができる場合は、パソコンから印刷し直してください。



色味がおかしい



チェック1 ノズルチェックパターンは正常に印刷されますか

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。

ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「[印刷にかすれやむらがあるときには](#)」を参照してください。

- ノズルチェックパターンが正しく印刷されない場合
プリントヘッドをクリーニングしてから、ノズルチェックパターンを印刷して効果を確認してください。
- プリントヘッドのクリーニングを2回繰り返しても改善されない場合
強力クリーニングを実行してください。
強力クリーニングを行っても改善されない場合は、本製品の電源を切って24時間以上経過したあとに、再度強力クリーニングを行ってください。
- 強力クリーニングを2回繰り返しても改善されない場合
インクがなくなっている可能性があります。FINE カートリッジを交換してください。

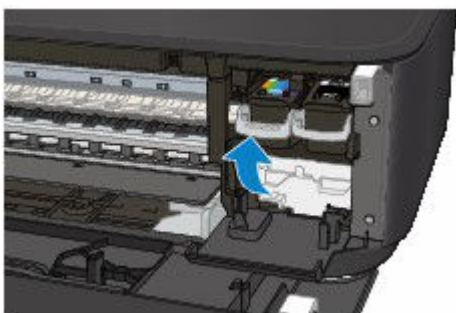
チェック2 インクがなくなっている場合は、新しい FINE カートリッジに交換してください

チェック3 FINE カートリッジは正しく取り付けられていますか

FINE カートリッジが正しく取り付けられていないと、正常にインクが出ない場合があります。

排紙カバーを開けてください。しばらくするとヘッドカバーが開きます。

インクカートリッジ固定レバーをしっかりと上げて、FINE カートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。



確認後は排紙カバーを閉じてください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、いったん FINE カートリッジを取り外し、正しく取り付け直してください。

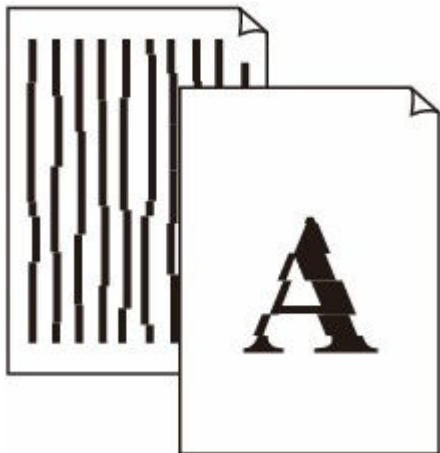
FINE カートリッジの取り付け方法については「[FINE カートリッジを交換する](#)」を参照してください。

参考

- ディスプレイと本製品では発色方法が異なるため、印刷の色合いが画面上の色合いと異なる場合があります。また、ディスプレイを見ている環境や色の調整によっても発色が異なります。そのため、印刷結果は同じ色合いにならないことがあります。



罫線がずれる



チェック 1 用紙や印刷品質を確認しましたか

➡ [コピー／印刷結果に満足できない](#)

チェック 2 プリントヘッドの位置調整を行ってください

罫線がずれるなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッド位置を調整してください。

➡ [プリントヘッド位置を調整する](#)

参考

- プリントヘッド位置調整を行ってもなお、印刷結果が思わしくない場合は、パソコンから手動プリントヘッド位置調整を行ってください。
 - Windows をご使用の場合：
➡ [プリントヘッドの位置を調整する](#)
 - Mac OS をご使用の場合：
➡ [プリントヘッドの位置を調整する](#)

チェック 3 印刷品質を上げて印刷してみてください

プリンタードライバーで印刷品質を上げると、印刷結果が改善される場合があります。



罫線が欠けるまたは印刷されない（Windows）



チェック1 割り付け印刷やとじしろ印刷をしていますか

割り付け印刷やとじしろ印刷などでは、細い罫線が印刷されない場合があります。罫線を太くしてみてください。

チェック2 印刷のデータ容量が大きくなりませんか

プリンタードライバーの［ページ設定］シートの［印刷オプション］ボタンをクリックします。表示されるダイアログで［印刷データの欠落防止］を［オン］に設定してください。

* ［印刷データの欠落防止］を［オン］に設定すると、印刷品質が低下する場合があります。



画像が欠けるまたは印刷されない（Windows）



チェック1 印刷データを圧縮処理しない設定にしてみてください

アプリケーションソフトでの印刷データの圧縮処理を禁止して印刷すると、印刷結果が改善される場合があります。

プリンタードライバーの［ページ設定］シートの［印刷オプション］ボタンをクリックします。表示されるダイアログで［アプリケーションソフトでの印刷データの圧縮処理を禁止する］にチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックしてください。

* 印刷後はチェックマークを外してください。

チェック2 印刷のデータ容量が大きくなりませんか

プリンタードライバーの［ページ設定］シートの［印刷オプション］ボタンをクリックします。表示されるダイアログで［印刷データの欠落防止］を［オン］に設定してください。

* ［印刷データの欠落防止］を［オン］に設定すると、印刷品質が低下する場合があります。



インクがにじむ／用紙が反る

インクがにじむ



用紙が反る



チェック1 用紙や印刷品質を確認しましたか

➡ [コピー／印刷結果に満足できない](#)

チェック2 印刷の濃度を高く設定している場合は、濃度の設定を下げてもう一度印刷してみてください

普通紙に濃度の設定を上げて印刷すると、インクを吸収しすぎて用紙が波打つことがあり、印刷面がこすれる原因になります。

濃度の設定は、プリンタードライバーで確認できます。

- Windows をご使用の場合：

➡ [濃度を調整する](#)

- Mac OS をご使用の場合：

➡ [濃度を調整する](#)

チェック3 写真を印刷するとき、写真専用紙を使用していますか

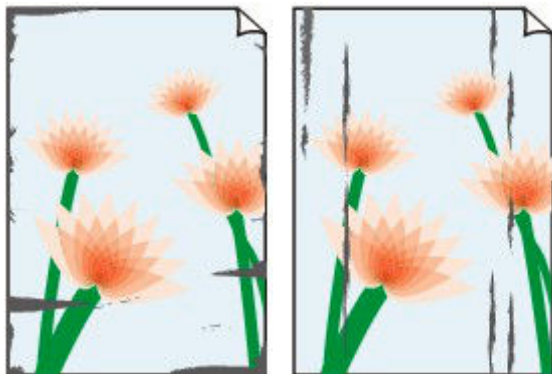
写真や色の濃い絵など、インクを大量に使用する印刷には、キヤノン写真用紙・光沢 ゴールドなどの写真専用紙を使用することをお勧めします。

➡ [使用できる用紙について](#)



印刷面が汚れる／こすれる

印刷面が汚れる



用紙の端が汚れる

用紙の端以外が汚れる

印刷面がこすれる



チェック 1 用紙や印刷品質を確認しましたか

⇒ [コピー／印刷結果に満足できない](#)

チェック 2 適切な用紙を使用していますか、次のことを確認してください

- ご使用の用紙が目的の印刷に適した用紙か確認してください。

⇒ [使用できる用紙について](#)

- フチなし全面印刷を行っている場合は、ご使用の用紙がフチなし全面印刷に適した用紙か確認してください。

フチなし全面印刷に適さない用紙を使用すると、用紙の上端および下端の印刷品質が低下する場合があります。

⇒ [印刷できる範囲](#)

チェック 3 反りのある用紙は、反りを直してから使用してください

キヤノン写真用紙・絹目調をご使用の場合は、用紙が反っていてもそのまま 1 枚ずつセットして使用してください。丸めると用紙の表面にひび割れが発生し、印刷品質が低下する場合があります。

なお、長期間ご使用にならない用紙は、用紙が入っていたパッケージに入れて水平に保管することをお勧めします。

● 普通紙の場合

用紙の裏表を逆にしてセットしてください。

前トレイに用紙を長期間セットしたままにしていると、若干反りがついてしまうことがあります。この場合、裏表を逆にしてセットすると、改善されることがあります。

● その他の用紙の場合

用紙の四隅が 3 mm (0.1 inch) 以上反っている場合、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりするおそれがあります。以下の手順で反りを修正してから使用してください。



1. 下の図のように、対角線上の端を、反りと逆方向に丸める

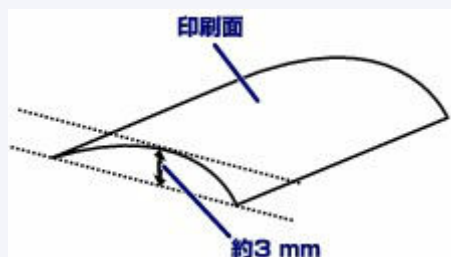


2. 印刷する用紙が、平らになっていることを確認する

反りを修正した用紙は、1 枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

参考

- ご使用の用紙によっては、反りのない用紙を使用している場合でも、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりすることがあります。その場合は、印刷する前にあらかじめ 3 mm (0.1 inch) 程度反りをつけてから印刷してみてください。印刷の結果が改善される場合があります。



反りをつけた用紙は、1 枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

チェック 4 用紙のこすれを改善する設定にしてみてください

用紙のこすれを改善する設定にすると、プリントヘッドと紙の間隔が広がります。用紙の種類を正しく設定しているにもかかわらず印刷面がこすれる場合は、本製品の操作パネルかパソコンで用紙のこすれを改善する設定にしてください。

用紙のこすれを改善する設定にすると、印刷速度が遅くなる場合があります。

* 印刷後は用紙のこすれを改善する設定を解除してください。設定を解除しないと、次回以降の印刷でもこの設定が有効になります。

- 本製品の操作パネルで設定する場合

エラーランプが 11 回点滅するまでストップボタンを長押しし、ストップボタンを離し、カラーボタンを押して、用紙のこすれを改善する設定にします。

用紙のこすれを改善する設定を解除するには、エラーランプが 11 回点滅するまでストップボタンを長押しし、ストップボタンを離し、モノクロボタンを押します。

- パソコンで設定する場合

- Windows をご使用の場合：

プリンタードライバーの設定画面を開き、[ユーティリティ] シートの [特殊設定] で [用紙のこすれを改善する] にチェックマークを付け、[OK] ボタンをクリックしてください。

プリンタードライバーの設定画面の開きかたについては「[プリンタードライバーの設定画面の開きかた](#)」を参照してください。

- Mac OS をご使用の場合：

Canon IJ Printer Utility（キヤノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ）のポップアップメニューから「特殊設定」を選び、「用紙のこすれを改善する」にチェックマークを付け、「適用」ボタンをクリックしてください。

Canon IJ Printer Utility の開きかたについては「Canon IJ Printer Utility の開きかた」を参照してください。

チェック5 印刷の濃度を高く設定している場合は、濃度の設定を下げてもう一度印刷してみてください

普通紙に濃度の設定を上げて印刷すると、インクを吸収しすぎて用紙が波打つことがあり、印刷面がこすれる原因になります。

濃度の設定は、プリンタードライバーで確認できます。

- Windows をご使用の場合：

➡[濃度を調整する](#)

- Mac OS をご使用の場合：

➡[濃度を調整する](#)

チェック6 印刷推奨領域を超えて印刷していませんか

印刷推奨領域を超えて印刷すると、用紙の下端でインクがこすれることがあります。

アプリケーションソフトで原稿を作成し直してください。

➡[印刷できる範囲](#)

チェック7 原稿台ガラスが汚れていませんか

原稿台ガラスを清掃してください。

➡[原稿台の周辺部分を清掃する](#)

チェック8 給紙ローラーが汚れていませんか

給紙ローラーのクリーニングを行ってください。

➡[給紙ローラーをクリーニングする](#)

参考

- 給紙ローラーのクリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

チェック9 本製品内部が汚れていませんか

両面印刷などを行うと、本製品の内側にインクが付いて用紙が汚れる場合があります。

インクふき取りクリーニングを行って、本製品内部をお手入れしてください。

➡[インクふき取りクリーニングを行う](#)

参考

- 内部の汚れを防ぐために、用紙サイズを正しく設定してください。

チェック10 インク乾燥待ち時間を長く設定してみてください

印刷面が乾きやすくなり、汚れやこすれを防ぎます。

- Windows をご使用の場合：

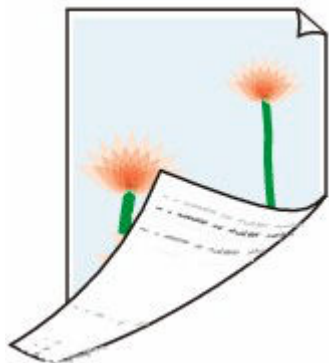
1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. プリンタードライバーの設定画面を開く
 ➡ [プリンタードライバーの設定画面の開きかた](#)
3. [ユーティリティ] タブ、[特殊設定] の順にクリックする
4. [インク乾燥待ち時間] のスライダーを使って待ち時間を調整し、[OK] ボタンをクリックする
5. メッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックする

- Mac OS をご使用の場合：

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. Canon IJ Printer Utility（キャノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ）を開く
 ➡ Canon IJ Printer Utility の開きかた
3. ポップアップメニューから [特殊設定] を選ぶ
4. [インク乾燥待ち時間] のスライダーを使って待ち時間を調整し、[適用] ボタンをクリックする
5. メッセージを確認し、[実行] ボタンをクリックする



用紙の裏面が汚れる



チェック1 用紙や印刷品質を確認しましたか

➡[コピー／印刷結果に満足できない](#)

チェック2 インクふき取りクリーニングを行って、本製品の内部を清掃してください

➡[インクふき取りクリーニングを行う](#)

参考

- フチなし全面印刷や両面印刷、多量に印刷を行うと、本製品の内部が汚れることがあります。



画像の横に縦線パターンが印刷される



チェック 正しいサイズの下紙をセットしていますか

設定した下紙サイズより大きいサイズの下紙をセットすると、余白部分に縦線パターンが印刷されることがあります。

セットした下紙のサイズに合わせて、下紙サイズを設定してください。

➡ [コピー／印刷結果に満足できない](#)

参考

- 画像ファイルや印刷設定によっては、縦線パターンの向きが変わる場合があります。
- 本製品はきれいな印刷が保てるように、状況に応じて自動的にクリーニングを行い、わずかにインクをふき出します。

本来、クリーニングで使用されたインクは下紙の外側のインク吸収体にふき出されますが、設定した下紙サイズより大きいサイズの下紙をセットすると、下紙の上にインクがふき出されてしまう場合があります。



色むらや色すじがある

色むらがある



色すじがある



チェック1 用紙や印刷品質を確認しましたか

➡ [コピー／印刷結果に満足できない](#)

チェック2 ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。

ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「[印刷にかすれやむらがあるときには](#)」を参照してください。

- ノズルチェックパターンが正しく印刷されない場合
プリントヘッドをクリーニングしてから、ノズルチェックパターンを印刷して効果を確認してください。
- プリントヘッドのクリーニングを2回繰り返しても改善されない場合
強力クリーニングを実行してください。

強力クリーニングを行っても改善されない場合は、本製品の電源を切って 24 時間以上経過したあとに、再度強力クリーニングを行ってください。

- 強力クリーニングを 2 回繰り返しても改善されない場合
インクがなくなっている可能性があります。FINE カートリッジを交換してください。

チェック 3 プリントヘッドの位置調整を行ってください

➡ [プリントヘッド位置を調整する](#)

参考

- プリントヘッド位置調整を行ってもなお、印刷結果が思わしくない場合は、パソコンから手動プリントヘッド位置調整を行ってください。
 - Windows をご使用の場合：
➡ [プリントヘッドの位置を調整する](#)
 - Mac OS をご使用の場合：
➡ [プリントヘッドの位置を調整する](#)



インクが出ない



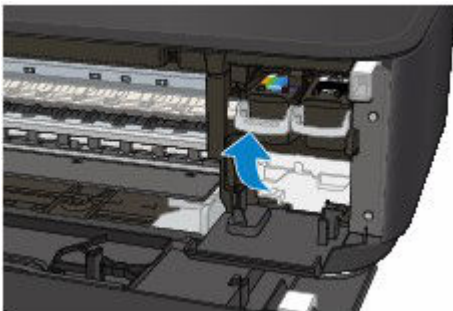
チェック 1 インクがなくなっている場合は、新しい FINE カートリッジに交換してください

チェック 2 FINE カートリッジは正しく取り付けられていますか

FINE カートリッジが正しく取り付けられていないと、正常にインクが出ない場合があります。

排紙カバーを開けてください。しばらくするとヘッドカバーが開きます。

インクカートリッジ固定レバーをしっかりと上げて、FINE カートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。



確認後は排紙カバーを閉じてください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、いったん FINE カートリッジを取り外し、正しく取り付け直してください。

FINE カートリッジの取り付け方法については「[FINE カートリッジを交換する](#)」を参照してください。

チェック 3 プリントヘッドが目づまりしていませんか

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。

ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「[印刷にかすれやむらがあるときには](#)」を参照してください。

- ノズルチェックパターンが正しく印刷されない場合

プリントヘッドをクリーニングしてから、ノズルチェックパターンを印刷して効果を確認してください。

- プリントヘッドのクリーニングを 2 回繰り返しても改善されない場合

強力クリーニングを実行してください。

強力クリーニングを行っても改善されない場合は、本製品の電源を切って 24 時間以上経過したあとに、再度強力クリーニングを行ってください。

- 強力クリーニングを 2 回繰り返しても改善されない場合

インクがなくなっている可能性があります。FINE カートリッジを交換してください。



用紙がうまく送られない／「用紙なし」のエラーが発生する



チェック1 用紙がセットされているか確認してください

➡[用紙をセットする](#)

チェック2 次のことに注意して用紙をセットしてください

- 用紙を複数枚セットするときは、用紙の端をそろえてからセットしてください。
- 用紙を複数枚セットするときは、最大積載枚数を超えないようにしてください。
ただし用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を最大積載枚数の半分に減らしてください。
- 印刷の向きに関わらず縦向きにセットしてください。
- 用紙をセットするときは、印刷したい面を下にして、用紙ガイドを用紙の両端に軽く当ててください。

➡[用紙をセットする](#)

- 用紙をセットするときは、用紙の先端が奥まで突き当たるようにセットしてください。

チェック3 厚い用紙や反りのある用紙などを使用していないか確認してください

➡[使用できない用紙について](#)

チェック4 はがきや封筒をセットする場合は、次のことに注意してください

- はがき、往復はがきが反っていると、最大積載枚数以内の枚数をセットしていても、うまく送られないことがあります。
はがき、往復はがきは、郵便番号欄が前トレイの奥になるようにセットしてください。
- 封筒に印刷するときは「[用紙をセットする](#)」を参照し、印刷前に準備をしてください。
準備ができたなら、本製品に縦置きでセットしてください。横置きにすると、正しく送られません。

チェック5 セットした用紙と、用紙の種類やサイズの設定が合っているか確認してください

チェック6 普通紙に印刷するときに用紙が重複して給紙される場合は、重複給紙を改善する設定にしてみてください

- 本製品の操作パネルで設定する場合
エラーランプが 12 回点滅するまでストップボタンを長押しし、ストップボタンを離し、カラーボタンを押して、重複給紙を改善する設定にします。
重複給紙を改善する設定を解除するには、エラーランプが 12 回点滅するまでストップボタンを長押しし、ストップボタンを離し、モノクロボタンを押します。
- パソコンで設定する場合
 - Windows をご使用の場合：

プリンタードライバーの設定画面を開き、[ユーティリティ] シートの[特殊設定] で[重複給紙を改善する] にチェックマークを付け、[OK] ボタンをクリックしてください。

プリンタードライバーの設定画面の開きかたについては「[プリンタードライバーの設定画面の開きかた](#)」を参照してください。

- Mac OS をご使用の場合：

Canon IJ Printer Utility (キヤノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ) のポップアップメニューから[特殊設定] を選び、[重複給紙を改善する] にチェックマークを付け、[適用] ボタンをクリックしてください。

Canon IJ Printer Utility の開きかたについては「[Canon IJ Printer Utility の開きかた](#)」を参照してください。

参考

- 普通紙の重複給紙を改善する設定にしている場合は、印刷速度が遅くなります。

チェック7 給紙ローラーのクリーニングを行ってください

➡ [給紙ローラーをクリーニングする](#)

参考

- 給紙ローラーのクリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。



自動両面印刷でうまく印刷できない



チェック 1 自動両面印刷を行う設定になっていますか

- Windows をご使用の場合：

プリンタードライバーの［ページ設定］シートで［両面印刷］と［自動］にチェックマークが付いていることを確認してください。

➡ [両面印刷を行う](#)

- Mac OS をご使用の場合：

プリントダイアログの［両面］にチェックマークが付いていることを確認してください。

➡ [両面印刷を行う](#)

チェック 2 本製品にセットした用紙のサイズが正しいか確認してください

自動両面印刷に対応している用紙サイズは A4 サイズおよびレターサイズです。

正しいサイズの用紙をセットし直して、本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押してください。

チェック 3 用紙サイズの設定が正しいか確認してください

用紙サイズの設定が、自動両面印刷に対応した用紙のサイズに合っているか確認してください。

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズを確認してください。

次にプリンタードライバーの用紙サイズの設定を確認してください。

- Windows をご使用の場合：

プリンタードライバーの［ページ設定］シートで［用紙サイズ］の設定を確認してください。

- Mac OS をご使用の場合：

ページ設定ダイアログで［用紙サイズ］の設定を確認してください。

参考

- アプリケーションソフトのバージョンによっては両面印刷に対応していないものがあります。

チェック 4 用紙の種類の設定が正しいか確認してください

用紙の種類の設定が、自動両面印刷に対応した用紙の種類に合っているか確認してください。

- Windows をご使用の場合：

プリンタードライバーの［基本設定］シートの［用紙の種類］で、自動両面印刷に対応している用紙が確認してください。

- Mac OS をご使用の場合：

プリントダイアログの［品位と用紙の種類］の［用紙の種類］で、自動両面印刷に対応している用紙が確認してください。

- Windows をご使用の場合：

手動両面印刷に変更する場合は、次の手順に従ってください。

プリンタードライバーの設定画面を開き、[ページ設定] シートで [自動] のチェックマークを外してから、印刷をやり直します。

手動両面印刷を行う場合は、以下の点にご注意ください。

- 3 ページ以上を印刷する場合、最初に片側の面にくるページだけがまとめて印刷され、用紙を裏返してセットしたあとで反対側の面のページが印刷されます。用紙の順序を変えないように注意してください。
 - とじ方向と印刷の向きによって、用紙を裏返す手順が異なります。画面の説明どおりに正しく行ってください。
- Mac OS をご使用の場合：
- 手動両面印刷機能は使用できません。



コピー／印刷が途中で止まる



チェック1 用紙はセットされていますか

本製品に用紙が残っているか確認してください。

用紙がない場合は、用紙をセットしてください。

チェック2 写真やイラストなどが多く入っている原稿や文書を印刷していますか

写真やグラフィックなど大容量のデータの印刷は、本製品またはパソコンによる処理に時間がかかるため、本製品が動いていないように見えることがあります。

また、普通紙にインクを大量に使用する原稿を連続して印刷すると、本製品が一時的に止まる場合があります。どちらの場合も処理が終わるまでお待ちください。

参考

- 印刷する部分が多い原稿や文書の印刷、または2部以上の印刷を行うと、インクを乾かす時間をとるために印刷が止まる場合があります。

チェック3 長時間、連続して印刷していませんか

連続して長時間印刷していると、プリントヘッドなどの部品が過熱する場合があります。本製品は、行の折り返し位置で適宜自動停止してから印刷を再開するようになります。

その場合は、そのまましばらくお待ちください。それでも印刷が再開されない場合は、適当なところで印刷を中断し、本製品の電源を15分以上切ってください。

注意

- 本製品内部のプリントヘッド周辺の温度が非常に高くなる場合があります。プリントヘッドや周辺の部品には手を触れないでください。

チェック4 コピーが途中で止まる場合は、もう一度コピーをやり直し、正しくコピーされることを確認してください

コピー中に何らかのエラーが発生し、一定の時間が経つと動作が中止します。



AirPrint で印刷できない



チェック1 本製品の電源が入っているか確認してください

本製品の電源が入っている場合は、電源を入れ直して問題が解決するか確認してください。

チェック2 LAN 接続で印刷する場合は、本製品が AirPrint 対応機器と同一ネットワークのサブネットに LAN 接続されているか確認してください

チェック3 本製品にセットされている用紙やインクが十分であるか確認してください

チェック4 本製品のエラーランプが点滅していないか確認してください

上記の対処を行っても印刷できない場合は、パソコンからプリンタードライバーを使用して印刷を行い、本製品から正常に印刷できるか確認してください。

スキャンに関するトラブル（Windows）

- ▶ [スキャンができない](#)
- ▶ [スキャン結果に満足できない](#)
- ▶ [ソフトウェアのトラブル](#)
- ▶ [IJ Scan Utility エラーメッセージ一覧](#)
- ▶ [ScanGear（スキャナードライバー）エラーメッセージ一覧](#)

スキャンができない

- ▶ スキャナーが動かない
- ▶ ScanGear（スキャナードライバー）がアプリケーションソフトから呼び出せない
- ▶ エラーメッセージが表示されて ScanGear（スキャナードライバー）の画面が表示できない
- ▶ 複数の原稿を一度にスキャンできない
- ▶ 「おまかせスキャン」でうまくスキャンできない
- ▶ スキャンに時間がかかる
- ▶ 「メモリーが足りません...」のメッセージが出てスキャンができない
- ▶ スキャンの途中でパソコンが動かなくなった
- ▶ これまで使っていた Windows をアップグレードしたらスキャナーが動かなくなった
- ▶ スキャンした画像が開けない



スキャナーが動かない



チェック 1 ご使用のスキャナーまたはプリンターの電源が入っていることを確認してください

チェック 2 パソコンに複数の USB ポートがある場合、ほかの USB ポートに差し替えてください

チェック 3 USB ケーブルを USB ハブなどを介して接続しているときは、パソコンの USB ポートに直接接続してください

チェック 4 パソコンを再起動してください



ScanGear（スキャナードライバー）がアプリケーションソフトから呼び出せない



チェック1 MP ドライバーがインストールされていることを確認してください

インストールされていない場合、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーをインストールしてください。

チェック2 アプリケーションソフトのメニューで、ご使用のスキャナーまたはプリンターを選択してください

重要

- ご使用のスキャナーまたはプリンターの名称が複数表示されている場合には、機種名に WIA が付いていないものを選んでください。

参考

- アプリケーションソフトによっては、起動方法が異なる場合があります。
- WIA に対応したアプリケーションソフトからスキャンする場合は、WIA ドライバーを使用してください。

➡ [WIA ドライバーでスキャンする](#)

チェック3 アプリケーションソフトが TWAIN に対応していることを確認してください

TWAIN に対応していないアプリケーションソフトから ScanGear（スキャナードライバー）を呼び出すことはできません。

チェック4 IJ Scan Utility でスキャンして画像を保存し、ご使用のアプリケーションソフトでファイルを開いてください



エラーメッセージが表示されて ScanGear（スキャナードライバー）の画面が表示できない



チェック 1 ご使用のスキャナーまたはプリンターの電源が入っていることを確認してください

チェック 2 電源をオフにし、USB ケーブルと電源コードを接続し直してください

チェック 3 パソコンに複数の USB ポートがある場合、ほかの USB ポートに差し替えてください

チェック 4 USB ケーブルを USB ハブなどを介して接続しているときは、パソコンの USB ポートに直接接続してください

チェック 5 MP ドライバーがインストールされていることを確認してください

インストールされていない場合、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーをインストールしてください。

チェック 6 アプリケーションソフトのメニューで、ご使用のスキャナーまたはプリンターを選択してください

▶▶▶ 参考

- アプリケーションソフトによっては、起動方法が異なる場合があります。

チェック 7 アプリケーションソフトが TWAIN に対応していることを確認してください

TWAIN に対応していないアプリケーションソフトから ScanGear（スキャナードライバー）を呼び出すことはできません。

チェック 8 ほかのアプリケーションソフトで ScanGear を起動している場合は、ScanGear を終了してください



複数の原稿を一度にスキャンできない



チェック1 原稿が正しくセットされていますか

➡ [原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）](#)

チェック2 1枚の原稿は正しくスキャンできますか

アプリケーションソフトによっては、複数の画像を連続して受け取れないものがあります。その場合、1枚ずつスキャンしてください。



「おまかせスキャン」でうまくスキャンできない



チェック1 原稿が正しくセットされていますか

➡ [原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）](#)

チェック2 複数の原稿を一度にスキャンしていませんか

アプリケーションソフトによっては、複数の画像を連続して受け取れないものがあります。その場合、1枚ずつスキャンしてください。



スキャンに時間がかかる



チェック1 出力解像度は、モニターで見るときは 150 dpi、プリンターで印刷するとき
は 300 dpi 程度に設定してください

➡ [解像度について](#)

チェック2 [褪色補正] や [粒状感低減] などの画像の設定を [OFF] にしてください
詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種 of 「[画像設定]」を参照してください。

チェック3 IJ Scan Utility の [文字原稿の傾きを補正する] / [文字原稿の向きを検知
して、画像を回転する] のチェックマークを外して原稿をスキャンし直してください

➡ [\[スキャン設定\(文書\)\] ダイアログボックス](#)

➡ [\[スキャン設定\(お気に入り\)\] ダイアログボックス](#)



「メモリーが足りません…」のメッセージが出てスキャンができない



チェック1 起動中のアプリケーションソフトを終了してから、もう一度実行してください

チェック2 適切な解像度または出力サイズへ変更し、スキャンし直してください

➡ [解像度について](#)



スキヤンの途中でパソコンが動かなくなった



チェック1 パソコンを再起動し、ScanGear（スキャナードライバー）の出力解像度を下げてスキャンし直してください

詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「[出力設定]」を参照してください。

チェック2 不要なファイルを削除し、パソコンの空き容量を確保してからスキャンし直してください

大きな原稿を高解像度でスキャンするときなど画像サイズが大きいときは、パソコンのハードディスクに画像をスキャンし保存するための十分な空き容量がないと判断され、エラーになることがあります。

チェック3 IJ Scan Utility の [テンポラリファイルの保存先フォルダー] で、十分な空き容量があるドライブのフォルダーを設定してください

➡ [\[スキャン設定\(基本設定\)\] ダイアログボックス](#)

チェック4 複数の機器を USB ポートに接続していませんか

ご使用のスキャナーまたはプリンター以外の機器を外してご使用ください。



これまで使っていた Windows をアップグレードしたらスキャナーが動かなくなった



チェック 接続している USB ケーブルを外し、MP ドライバーと IJ Scan Utility をいったんアンインストール（削除）してから、再インストールしてください

手順 1 MP ドライバーの削除

MP ドライバーの削除方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「不要になった MP ドライバーを削除する」を参照してください。

手順 2 IJ Scan Utility の削除

• Windows 8.1/Windows 8 の場合：

1. [設定] チャーム→[コントロール パネル] → [プログラム] → [プログラムと機能] の順にクリック
2. [Canon IJ Scan Utility] をダブルクリック
3. 確認メッセージが表示されたら、[はい] をクリック
4. アンインストールが完了したら、[OK] をクリック

以上で IJ Scan Utility が削除されます。

▶▶▶ 参考

- Windows 8.1 または Windows 8 では、ソフトウェアをインストールやアンインストールしたり、起動したりした場合、確認や警告のダイアログボックスが表示されることがあります。
このダイアログボックスは、ユーザーの管理者権限を確認する画面です。
管理者の権限を持つユーザーでログオンした場合は、画面の指示に従って、操作を続けてください。

• Windows 7/Windows Vista の場合：

1. [スタート] メニューから [コントロール パネル] → [プログラム] → [プログラムと機能] の順にクリック
2. [Canon IJ Scan Utility] をダブルクリック
3. 確認メッセージが表示されたら、[はい] をクリック
4. アンインストールが完了したら、[OK] をクリック

以上で IJ Scan Utility が削除されます。

▶▶▶ 参考

- Windows 7 または Windows Vista では、ソフトウェアをインストールやアンインストールしたり、起動したりした場合、確認や警告のダイアログボックスが表示されることがあります。
このダイアログボックスは、ユーザーの管理者権限を確認する画面です。
管理者の権限を持つユーザーでログオンした場合は、画面の指示に従って、操作を続けてください。

• Windows XP の場合：

1. [スタート] メニューから [コントロール パネル] → [プログラムの追加と削除] の順にクリック
2. [Canon IJ Scan Utility] を選択し、[変更と削除] をクリック

3. 確認メッセージが表示されたら、[はい] をクリック
4. アンインストールが完了したら、[OK] をクリック

以上で IJ Scan Utility が削除されます。

手順 3 MP ドライバーと IJ Scan Utility の再インストール

セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーと IJ Scan Utility を再インストールします。



スキャンした画像が開けない



チェック データ形式がアプリケーションソフトに対応していない場合、再度スキャンを行い、保存する際に JPEG などの一般的なデータ形式を選んでください

詳しくは、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。ご不明な点は、各アプリケーションソフトの製造元へお問い合わせください。

スキャン結果に満足できない

- ▶ きれいにスキャンできない（モニターに表示された画像がきたない）
- ▶ スキャンした画像の周囲に余白ができる
- ▶ 正しいサイズで読み込めない
- ▶ 原稿を正しくセットしたが、スキャンした画像が傾いている
- ▶ スキャンした画像が、パソコンの画面で大きく（小さく）表示される



きれいにスキャンできない（モニターに表示された画像がきたない）



チェック1 画像が粗い場合は、スキャン解像度を上げるか、スキャン設定ダイアログボックスの「データ形式」で「TIFF」または「PNG」を選んでください

➡ [解像度について](#)

➡ [スキャン設定ダイアログボックス](#)

チェック2 画面表示を等倍（100 %）に設定してください

アプリケーションソフトによっては、画面表示が小さいと画像がきれいに表示されないものがあります。

チェック3 モアレ（縞模様など）が発生した場合は、次の対処方法に従ってスキャンし直してください

- IJ Scan Utility の「スキャン設定(文書)」ダイアログボックス、「スキャン設定(お気に入り)」ダイアログボックス、または「スキャン設定(貼り合わせ)」ダイアログボックスで下記のいずれかを設定し、IJ Scan Utility 基本画面からスキャンしてください。

- 「原稿の種類」を「雑誌」、「カラーモード」を「カラー」に設定
- 「画像処理設定」の「モアレを低減する」にチェックマークを付ける

➡ [「スキャン設定\(文書\)」ダイアログボックス](#)

➡ [「スキャン設定\(お気に入り\)」ダイアログボックス](#)

➡ [「スキャン設定\(貼り合わせ\)」ダイアログボックス](#)

- ScanGear（スキャナードライバー）の「基本モード」シートで、「原稿を選択する」から「雑誌(カラー)」を選んでスキャンしてください。

詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「「基本モード」シート」を参照してください。

- ScanGear の「拡張モード」シートで、「画像設定」の「モアレ低減」を「ON」に設定してスキャンしてください。

詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「「画像設定」」を参照してください。

参考

- デジタルプリント写真をスキャンしたときに、モアレが発生する場合は、上記の手順に従ってスキャンしてください。

チェック4 モニターの表示色数を確認してください

モニターの表示色数の確認方法について、詳しくは、Windows のヘルプまたはモニターの取扱説明書を参照してください。

チェック5 原稿台や原稿台カバーを清掃してください

チェック6 原稿の状態が悪い場合（原稿にごみがついている、褪色しているなど）は、ScanGearの〔拡張モード〕シートで、〔画像設定〕の〔ごみ傷低減〕や〔褪色補正〕、〔粒状感低減〕などを設定してスキャンしてください

詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「〔画像設定〕」を参照してください。

チェック7 原稿の元の色あいと異なってしまう場合は、次の対処方法に従ってスキャンし直してください

- ScanGearの〔拡張モード〕シートで、〔画像設定〕の〔画像調整〕を〔OFF〕に設定してスキャンしてください。

詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「〔画像設定〕」を参照してください。

- ScanGearの〔詳細設定〕ダイアログボックスの〔色の設定〕シートで〔カラーマッチング〕を設定してスキャンしてください。

詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「〔色の設定〕シート」を参照してください。



スキャンした画像の周囲に余白ができる



チェック スキャンする範囲を指定してください

ScanGear（スキャナードライバー）の全体表示で （オートクロップ）をクリックすると、原稿の大きさに合わせて、自動的にクロップ枠（スキャンする範囲）が表示されます。

サムネイル表示時や写真などで原稿の周囲に白い縁がある場合、クロップ枠を設定したい場合は、手動で範囲を指定してください。

➡ [\[画像貼り合わせ\] ウィンドウでクロップ枠を調整する](#)

参考

- ScanGear（スキャナードライバー）でクロップ枠を調整する方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）」を参照してください。



正しいサイズで読み込めない



チェック 原稿が正しくセットされていますか

➡ [原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）](#)



原稿を正しくセットしたが、スキャンした画像が傾いている



チェック 「原稿の種類」で「文書」または「雑誌」を選択している場合は、「文字原稿の傾きを補正する」のチェックマークを外して原稿をスキャンし直してください

- ➡ [\[スキャン設定\(文書\)\] ダイアログボックス](#)
- ➡ [\[スキャン設定\(お気に入り\)\] ダイアログボックス](#)



スキャンした画像が、パソコンの画面で大きく（小さく）表示される



チェック1 アプリケーションソフトで、画像を拡大（縮小）してください

詳しくは、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。ご不明な点は、各アプリケーションソフトの製造元へお問い合わせください。

▶▶▶ 参考

- ペイントでは画像を縮小することができません。画像を縮小したい場合は、アプリケーションソフトで画像を開いて編集してください。

チェック2 ScanGear（スキャナードライバー）で、解像度を変更してスキャンし直してください

解像度が高いと大きく表示され、低いと小さく表示されます。

➡ [解像度について](#)

ソフトウェアのトラブル

- ▶ 使用したいメールソフトが、メールソフトの選択画面に表示されない



使用したいメールソフトが、メールソフトの選択画面に表示されない



チェック メールソフトの MAPI 設定が有効になっているか確認してください

MAPI 設定の方法については、メールソフトの取扱説明書を参照してください。

MAPI 設定が有効でもうまく動作しない場合は、メールソフトの選択画面で「なし(手動で添付)」を選び、画像データを送信メールに手動で添付してください。

IJ Scan Utility エラーメッセージ一覧

IJ Scan Utility のエラーメッセージが表示された場合は、エラーコードを確認し、それぞれの対処方法に従って操作してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対処方法
152	メモリー容量が足りません。他のアプリケーションを終了し、メモリー量を増やしてください。	IJ Scan Utility の起動に必要なメモリーが確保できないため、ほかのアプリケーションソフトを終了してください。
153	スキャンしようとした画像は、指定したアプリケーションで開くことができないサイズです。画像のサイズが小さくなるように設定を変更してください。	解像度または出力サイズを小さくしてスキャンし直してください。
201	必要なファイルがないか壊れているか、または設定が正しくありません。 再インストールしてください。	- MP ドライバーを削除したあと、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。 - MP ドライバーの削除方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「不要になった MP ドライバーを削除する」を参照してください。
202	内部エラーが発生しました。以下の対処を行ってください。 - スキャナーの状態を確認する。 - スキャナーの電源を入れ直す。 - パソコンを再起動し、再度実行する。 - スキャナードライバーを再インストールする。	- 内部エラーが発生しました。以下の対処を行ってください。 - スキャナーの状態を確認する。 - スキャナーの電源を入れ直す。 - パソコンを再起動し、再度実行する。 - MP ドライバーを再インストールする。
230	本ソフトウェアに対応したスキャナードライバーがインストールされていません。インストールしてから再度実行してください。	セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。
231	ディスクの空き容量が足りないため、読み取りを完了できません。	ハードディスク内の不要なファイルを削除してスキャンし直してください。
232	このディスクは書き込み禁止に設定されているため、ファイルを保存できません。 書き込み禁止を解除するか、別のディスクを使用してください。	ディスクの書き込み禁止を解除してください。

242	ファイルの書き込みができません。	• [スキャン設定(基本設定)]ダイアログボックスの[テンポラリファイルの保存先フォルダー]、または各スキャン設定ダイアログボックスの[保存する場所]のアクセス権限を確認して下さい。
243	ファイルの読み込みができません。	• [スキャン設定(基本設定)]ダイアログボックスの[テンポラリファイルの保存先フォルダー]、または各スキャン設定ダイアログボックスの[保存する場所]のアクセス権限を確認して下さい。
244	指定したフォルダーにアクセスする権限がありません。	• 指定したフォルダーにアクセス権限を与えて下さい。

ScanGear（スキャナードライバー）エラーメッセージ一覧

ScanGear（スキャナードライバー）のエラーメッセージが表示された場合は、エラーコードを確認し、それぞれの対処方法に従って操作してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対処方法
1 4 10 122 151 175 176 177	スキャナー本体にエラーが発生しました。 取扱説明書に従った処理を実行してください。 スキャナードライバーを終了します。	• ご使用のスキャナーまたはプリンターとパソコンが正しく接続されていることを確認してください。 • MP ドライバーを削除したあと、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。 MP ドライバーの削除方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「不要になった MP ドライバーを削除する」を参照してください。 • ご使用のスキャナーまたはプリンターが故障していませんか。 パソコンを再起動し、ご使用のスキャナーを接続し直してください。それでも同じエラーメッセージが表示される場合は、キヤノンサポートホームページまたはパーソナル機器修理受付センターまでご連絡ください。
140	プリンターが使用中かエラーが発生しています。プリンターの状態を確認してください。 スキャナードライバーを終了します。	• 本体の動作が終了してからスキャンしてください。
145	以下の理由でスキャナーとの通信ができません。 - スキャナーの電源が入っていない。 - スキャナーが接続されていない。 (LAN 環境でご使用の場合、LAN に接続されていない。) 確認してから、やり直してください。 スキャナードライバーを終了します。	• ご使用のスキャナーまたはプリンターの電源が入っていることを確認してください。 • MP ドライバーを削除したあと、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。
155	スキャナーとの通信ができません。 ケーブルが外れているか、電源が入っていない可能性があります。 スキャナーの状態を確認してください。 スキャナードライバーを終了します。	MP ドライバーの削除方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「不要になった MP ドライバーを削除する」を参照してください。 • アプリケーションソフトのソース選択が正しいか、確認してください。詳しくは、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。 • プリンターの状態を確認してください。
156	以下の理由でスキャナーとの通信ができません。 - スキャナーの電源が入っていない。 - USB ケーブルが正しく接続されていない。 確認してから、やり直してください。 スキャナードライバーを終了します。	
157	以下の理由でスキャナーとの通信ができません。 - スキャナーの電源が入っていない。	

	- (有線 LAN 環境でご使用の場合)有線 LAN に接続されていない。 - (無線 LAN 環境でご使用の場合)障害物などで電波の状態が悪い。 - セキュリティソフトなどでネットワーク接続が禁止されている。 - ネットワーク上の異なるスキャナーが選択されている。 確認してから、やり直してください。 別のスキャナーを選択したい場合は、[スキャナー選択]をクリックしてください。 スキャナードライバーを終了します。	• USB 接続でご使用の場合は、USB ケーブルの接続を確認し、必要に応じて接続し直してください。 • ネットワーク接続でご使用の場合は、接続状況を確認し、必要に応じて接続し直してください。 • ネットワーク接続でご使用の場合は、IJ Network Scanner Selector EX でご使用になるスキャナーを指定してください。 設定方法は、「ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法」を参照してください。
152	メモリーを確保できません。 使用可能なメモリー領域を増やしてください。 スキャナードライバーを終了します。	• ScanGear (スキャナードライバー) の起動に必要なメモリーが確保できないため、ほかのアプリケーションソフトを終了してください。
201	必要なファイルがないか壊れているか、または設定が正しくありません。 再インストールしてください。 スキャナードライバーを終了します。	• MP ドライバーを削除したあと、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。 MP ドライバーの削除方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「不要になった MP ドライバーを削除する」を参照してください。
202	内部エラーが発生しました。 スキャナードライバーを終了します。以下の対処を行ってください。 - スキャナーの状態を確認する。 - スキャナーの電源を入れ直す。 - パソコンを再起動し、再度実行する。 - スキャナードライバーを再インストールする。	• 内部エラーが発生しました。以下の対処を行ってください。 ◦ スキャナーの状態を確認する。 ◦ スキャナーの電源を入れ直す。 ◦ パソコンを再起動し、再度実行する。 ◦ MP ドライバーを再インストールする。 • 以下の手順に従って、WIA (Windows Image Acquisition) が実行中または開始状態にあるか確認してください。 Windows 8.1/Windows 8 の場合： [設定] チャーム→[コントロール パネル] → [システムとセキュリティ] → [管理ツール] の順にクリックし、[サービス] をダブルクリックしてください。 Windows 7 の場合： [スタート] メニューから [コントロール パネル] → [システムとセキュリティ] → [管理ツール] の順にク

		リックし、[サービス] をダブルクリックしてください。 Windows Vista の場合： [スタート] メニューから [コントロール パネル] → [システムとメンテナンス] → [管理ツール] の順にクリックし、[サービス] をダブルクリックしてください。 Windows XP の場合： [スタート] メニューから [コントロール パネル] → [パフォーマンスとメンテナンス] → [管理ツール] の順にクリックし、[サービス] をダブルクリックしてください。 • ほかのドライバーと干渉している可能性があるため、不要なドライバーを削除してください。 • ご使用のアプリケーションが TWAIN に正しく準拠していない可能性があります。ほかのアプリケーションを使ってスキャンしてください。
203	読取を完了するために必要なディスクの空き容量がありません。 スキャナードライバーを終了します。	• ハードディスク内の不要なファイルを削除してスキャンし直してください。
206	他のソフトウェアもしくはユーザーがスキャナーを使用中であるため、使用できません。	• 使用中の ScanGear を終了してください。
207	スキャナーが選択されていません。 [スキャナー選択]をクリックして、スキャナーを選択してください。 スキャナードライバーを終了します。	• ネットワーク接続でご使用の場合は、IJ Network Scanner Selector EX でご使用になるスキャナーを指定してください。 設定方法は、「ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法」を参照してください。
208	IJ Network Scanner Selector EX が見つかりません。 スキャナードライバーを再インストールしてください。 スキャナードライバーを終了します。	• MP ドライバーを削除したあと、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。 MP ドライバーの削除方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「不要になった MP ドライバーを削除する」を参照してください。
250	エラーが発生しました。 本体の電源を入れ直してください。 スキャナードライバーを終了します。	• 本体の電源を入れ直してください。
252	ファイルの書き込みまたは読み出しができません。	• 起動中のアプリケーションソフトを終了したあと、ハードディスクに+

		分な空きがあるか確認し、スキャンし直してください。
--	--	---------------------------

本体に関するトラブル

- ▶ 電源が入らない
- ▶ 電源が自動的に切れてしまう
- ▶ USB 接続がうまくいかない
- ▶ USB 接続で通信ができない
- ▶ プリンター状態の確認画面が表示されない（Windows）



電源が入らない



チェック 1 電源ボタンを押してみてください

チェック 2 本製品と電源コードがしっかりと接続されているかを確認し、電源を入れ直してください

チェック 3 電源プラグをコンセントから抜き、2 分以上たってから、電源プラグをコンセントにつないで本製品の電源を入れ直してください

上記の対処を行っても回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。



電源が自動的に切れてしまう



チェック 自動的に電源が切れる設定になっている場合は、設定を解除してください

自動的に電源が切れる設定になっていると、設定した時間に応じて本製品の電源は自動的に切れます。

- Windows をご使用で、自動的に本製品の電源を切りたくない場合：
プリンタードライバーの設定画面を開き、[ユーティリティ] シートの [自動電源設定] で [自動電源オフ] を [無効] に設定してください。
- Mac OS をご使用で、自動的に本製品の電源を切りたくない場合：
Canon IJ Printer Utility (キヤノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ) を開き、ポップアップメニューから [電源設定] を選び、[自動電源設定] で [自動電源オフ] を [無効] に設定してください。

参考

- 自動的に電源を切る、または入れる設定は、本製品の操作パネルからも設定できます。
➡ [本製品の電源を自動でオン／オフする](#)
- Windows をご使用の場合は、ScanGear (スキャナードライバー) から設定できます。
➡ [\[スキャナー\] シート](#)
- 設定を変更すると、消費電力が多くなる場合があります。

USB 接続がうまくいかない



印刷・スキャン速度が遅い／Hi-Speed USB として動作しない／「さらに高速で実行できるデバイス」などの警告文が画面に表示される（Windows）

Hi-Speed USB に対応していない環境では、USB 1.1 での接続となります。この場合、本製品は正常に動作しますが、通信速度の違いから印刷・スキャン速度が遅くなることがあります。



チェック ご使用の環境が Hi-Speed USB に対応しているか、次の点を確認してください

- パソコンの USB ポートは、Hi-Speed USB に対応していますか。
- USB ケーブルと USB ハブは、Hi-Speed USB に対応していますか。
USB ケーブルは、かならず Hi-Speed USB 認証ケーブルをご使用ください。また、長さ 3 m（10 ft）以内のものをお勧めします。
- ご使用のパソコンは、Hi-Speed USB に対応した状態ですか。
最新のアップデートを入手して、インストールしてください。
- Hi-Speed USB 対応の USB ドライバーが正しく動作していますか。
Hi-Speed USB に対応した最新の Hi-Speed USB ドライバーを入手して、再インストールしてください。

重要

- それぞれの操作については、ご使用のパソコン、USB ケーブル、USB ハブのメーカーにご確認ください。



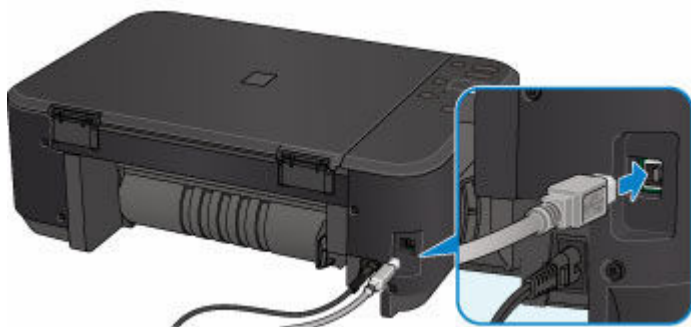
USB 接続で通信ができない



チェック 1 本製品の電源が入っているか確認してください

チェック 2 USB ケーブルを正しく接続してください

USB ケーブル接続部は、下の図のように本製品の背面にあります。



チェック 3 印刷中に IJ Network Tool（アイジェイ・ネットワーク・ツール）を起動しないでください

チェック 4 IJ Network Tool を起動中に印刷しないでください

チェック 5 プリンタードライバーのプロパティ画面の [ポート] シートで [双方向サポートを有効にする] にチェックマークを付けて、双方向通信を行ってください (Windows)

➡ [プリンタードライバーの設定画面の開きかた](#)



プリンター状態の確認画面が表示されない（Windows）



チェック プリンター状態の確認画面を使用する設定になっていますか

プリンター状態の確認画面の［オプション］メニューの［ステータスマニタを使用］にチェックマークが付いているか確認してください。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く
➡ [プリンタードライバーの設定画面の開きかた](#)
2. [ユーティリティ] タブ、[プリンター状態の確認] ボタンの順にクリックする
3. [オプション] メニューの［ステータスマニタを使用］にチェックマークが付いていない場合はチェックマークを付ける

インストール／ダウンロードに関するトラブル

- ▶ MP ドライバーがインストールできない
- ▶ Easy-WebPrint EX（イージー・ウェブプリント・イーエックス）を起動できない／メニューが表示されない（Windows）
- ▶ ネットワーク環境で MP ドライバーをバージョンアップする方法がわからない（Windows）
- ▶ IJ Network Tool をアンインストールしたい



MP ドライバーがインストールできない



⇒ [Windows をご使用の場合：](#)

⇒ [Mac OS をご使用の場合：](#)

Windows をご使用の場合：

- セットアップ CD-ROM を DVD/CD-ROM ドライブに入れてもセットアップが始まらないとき：

次の手順に従ってインストールを開始してください。

1. 以下のように選ぶ

- Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、デスクトップのタスクバーにある「エクスプローラー」アイコンを選び、左側の一覧から「コンピューター」を選びます。
- Windows 7 をご使用の場合は、[スタート] メニューから「コンピューター」を選びます。
- Windows Vista をご使用の場合は、[スタート] メニューから「コンピュータ」を選びます。
- Windows XP をご使用の場合は、[スタート] メニューから「マイ コンピュータ」を選びます。



2. 開いたウィンドウにある [CD-ROM] アイコンをダブルクリックする

CD-ROM の内容が表示された場合は、[MSETUP4.EXE] をダブルクリックしてください。

セットアップ CD-ROM から MP ドライバーがインストールできない場合は、ウェブページからインストールしてください。

参考

- CD-ROM のアイコンが表示されない場合は、次のことを試してください。
 - CD-ROM をパソコンから取り出して、再度セットする
 - パソコンを再起動する

それでも [CD-ROM] アイコンが表示されない場合は、パソコンでほかの CD-ROM を表示できるか確認してください。ほかの CD-ROM が表示できる場合は、セットアップ CD-ROM に異常があります。キヤノンサポートホームページからお問い合わせ、もしくはパーソナル機器修理受付センターにお問い合わせください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

- **【プリンターの接続】画面で止まってしまうとき：**



➡ [【プリンターの接続】画面／【ケーブルの接続】画面から先に進めない](#)

- **それ以外の場合：**

MP ドライバーをインストールし直してください。

MP ドライバーが正しくインストールされなかった場合は、MP ドライバーを削除し、パソコンを再起動します。そのあとに、MP ドライバーを再インストールしてください。

➡ [不要になった MP ドライバーを削除する](#)

MP ドライバーを再インストールする場合は、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーをインストールしてください。

参考

- Windows のエラーが原因でインストーラーが強制終了した場合は、Windows が不安定になっている可能性があり、MP ドライバーがインストールできなくなることがあります。パソコンを再起動して再インストールしてください。

Mac OS をご使用の場合：

キヤノンのサポートページからドライバーをダウンロードし、インストールし直してください。



Easy-WebPrint EX（イージー・ウェブプリント・イーエックス）を起動できない／メニューが表示されない（Windows）

Internet Explorer（インターネット・エクスプローラー）で Easy-WebPrint EX を起動できない場合や、メニューが表示されない場合は、以下の項目を確認してください。



チェック 1 Internet Explorer の [表示] メニュー内の [ツールバー] メニューに [Canon Easy-WebPrint EX] は表示されていますか

表示されていない場合は、Easy-WebPrint EX がインストールされていません。ウェブページから最新の Easy-WebPrint EX をインストールしてください。

参考

- Easy-WebPrint EX がインストールされていないと、デスクトップの通知領域に Easy-WebPrint EX のインストールの案内が表示される場合があります。インストールするときは、案内表示をクリックし、画面の指示に従ってください。
- Easy-WebPrint EX をインストールおよびダウンロードするときは、インターネットへの接続が必要となります。

チェック 2 Internet Explorer の [表示] メニュー内の [ツールバー] メニューにある [Canon Easy-WebPrint EX] にチェックマークは付いていますか

[Canon Easy-WebPrint EX] にチェックマークが付いていない場合は、Easy-WebPrint EX が有効になっていません。チェックマークを付けて、Easy-WebPrint EX を有効にしてください。

チェック 3 Easy-WebPrint EX の動作環境について、次の点を確認してください

- 動作できる環境にインストールされているか
- 対応する Internet Explorer から起動しているか

Easy-WebPrint EX の動作環境は、キヤノンのホームページで確認してください。



ネットワーク環境で MP ドライバーをバージョンアップする方法がわからない (Windows)



あらかじめ新しいバージョンの MP ドライバーをダウンロードしてください。

最新の MP ドライバーを入手するには、キヤノンのホームページにアクセスし、お使いの機種の MP ドライバーをダウンロードしてください。

MP ドライバーのアンインストール後、ダウンロードした新しいバージョンの MP ドライバーを所定のインストール手順に従ってインストールし、プリンターの接続方法を選択する画面で、ネットワーク接続で使用する設定を選んでください。ネットワーク上のプリンターが自動的に検出されます。

ご使用になりたいプリンターが検出されていることを確認したら、表示される画面に従ってインストールを完了してください。

参考

- 本製品に設定済みのネットワーク設定は変更されませんので、そのまま本製品をネットワーク接続で使用できます。



IJ Network Tool をアンインストールしたい



以下の手順に従って、パソコンから IJ Network Tool（アイジェイ・ネットワーク・ツール）を削除してください。

➡ [Windows をご使用の場合：](#)

➡ [Mac OS をご使用の場合：](#)

Windows をご使用の場合：

重要

- IJ Network Tool を削除しても、ネットワーク経由での印刷およびパソコン側からのスキャンは行えますが、ネットワークの設定変更はできません。
- Administrator（管理者）としてログオンするか、または管理者権限を持っている必要があります。

1. アンインストール操作を実行する

- Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合：
 1. デスクトップの [設定] チャームから [コントロール パネル] → [プログラム] → [プログラムと機能] を選びます。
 2. プログラムの一覧から [Canon IJ Network Tool] を選び、[アンインストール] をクリックします。
[ユーザー アカウント制御] 画面が表示された場合は [続行] をクリックします。
- Windows 7 または Windows Vista をご使用の場合：
 1. [スタート] メニューから [コントロール パネル] → [プログラム] → [プログラムと機能] を選びます。
 2. プログラムの一覧から [Canon IJ Network Tool] を選び、[アンインストール] をクリックします。
[ユーザー アカウント制御] 画面が表示された場合は [続行] をクリックします。
- Windows XP をご使用の場合：
 1. [スタート] メニューから [コントロール パネル] → [プログラムの追加と削除] を選びます。
 2. プログラムの一覧から [Canon IJ Network Tool] を選び、[削除] をクリックします。

2. 確認のメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックする

パソコンを再起動させるメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックしてパソコンを再起動してください。

Mac OS をご使用の場合：

重要

- IJ Network Tool を削除しても、ネットワーク経由での印刷およびパソコン側からのスキャンは行えますが、ネットワークの設定変更はできません。

1. Finder の [移動] メニューから [アプリケーション] を選び、[Canon Utilities] フォルダ、[IJ Network Tool] フォルダを順にダブルクリックし、[Canon IJ Network Tool] アイコンを [ゴミ箱] に入れる

2. パソコンを再起動する

[ゴミ箱] を空にして、パソコンを再起動します。

参考

- IJ Network Tool を再インストールするには、IJ Network Tool を削除し、ウェブページから再インストールします。

エラー表示／メッセージについて

- ▶ **トラブルが発生したときは**
- ▶ **メッセージが表示されている**
- ▶ **PictBridge（Wireless LAN）対応機器にエラーメッセージが表示されている**

トラブルが発生したときは

印刷中に用紙がなくなる、または紙づまりなどのトラブルが発生すると、自動的にトラブルの対処方法を示すメッセージが表示されます。この場合は、表示された対処方法に従って操作してください。

トラブルが発生すると、エラーランプが点滅し、メッセージがパソコンに表示されます。内容によっては、サポート番号（エラー識別番号）が表示されたり、電源ランプとエラーランプが交互に点滅したりします。エラーランプの状態とメッセージを確認し、エラーの対処をしてください。

エラーランプの点滅回数と対応サポート番号

点滅例（2回）



(A) 点滅

(B) 消灯

点滅回数	エラー内容	サポート番号
2 回	用紙がありません、または給紙できません。	1003
	印刷設定の用紙サイズと、セットした用紙のサイズが一致していません。	2100 、 2101
3 回	排紙トレイが閉じられています。	1250
	排紙口付近で用紙がつまっています。	1300
	搬送ユニット付近で用紙がつまっています。	1303
	自動両面印刷をしていて、用紙がつまりました。	1304
4 回	FINE カートリッジが正しく取り付けられていません。	1687
5 回	FINE カートリッジが取り付けられていません。	1401
	FINE カートリッジを認識できません。	1403
	対応していないインクカートリッジが取り付けられています。	1485
6 回	排紙カバーが開いています。	1202
	FINE カートリッジが正しい取り付け位置にセットされていません。	1486 、 1487
8 回	インク吸収体が満杯に近づいています。	1702 、 1703 、 1704 、 1705 、 1712 、 1713 、 1714 、 1715

9 回	FINE カートリッジホルダーの固定部材やテープが取り付けられたままになっている可能性があります。	1890
10 回	自動両面印刷に対応していないサイズ of 用紙がセットされています。	1310
11 回	現在の印刷設定では印刷できません。	4103
12 回	指定したデータを印刷することができませんでした。	4100
13 回	インクがなくなっている可能性があります。	1686
14 回	インクカートリッジが認識できません。	1684
15 回	FINE カートリッジを認識できません。	1682
16 回	インクがなくなりました。	1688
21 回	用紙サイズを検知できませんでした。	2103
22 回	用紙が片寄って給紙されたことを検知しました。	2102

電源ランプとエラーランプが交互に点滅する回数と対応サポート番号

点滅例 (2 回)



(A) 交互に点滅

(B) 消灯

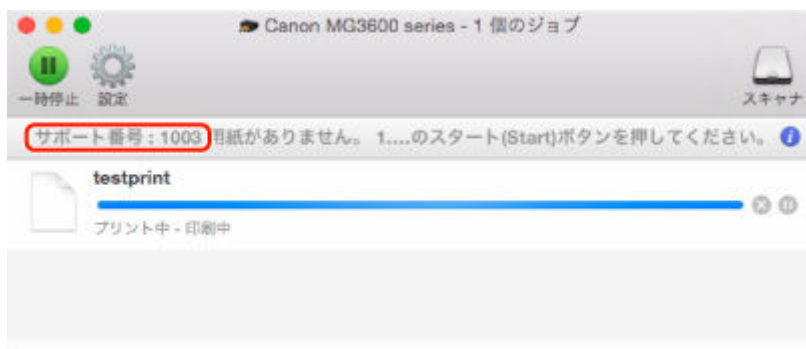
点滅回数	エラー内容	サポート番号
2 回	プリンタートラブルが発生しました。	5100
7 回	インク吸収体が満杯になりました。	5B02 、 5B03 、 5B04 、 5B05 、 5B12 、 5B13 、 5B14 、 5B15
10 回	修理の依頼が必要なエラーが発生しました。	B202 、 B203 、 B204 、 B205
上記以外の表示の場合	プリンタートラブルが発生しました。	5011 、 5012 、 5050 、 5200 、 5400 、 6000 、 6500 、 6800 、 6801 、 6900 、 6901 、 6902 、 6910 、 6911 、 6930 、 6931 、 6932 、 6933 、 6936 、 6937 、 6938 、 6940 、 6941 、 6942 、 6943 、 6944 、 6945 、 6946

パソコンにサポート番号とメッセージが表示される例：

- Windows をご使用の場合：



- Mac OS をご使用の場合：



* ご使用の OS によって、画面が異なります。

参考

- パソコンに表示されたサポート番号を検索して、対処方法を確認することもできます。

➡ [検索](#)

サポート番号が表示されないトラブルの対処方法については「[メッセージが表示されている](#)」を参照してください。

メッセージが表示されている

ここでは、一部のエラーやメッセージについて説明します。

参考

- エラーやメッセージによっては、サポート番号（エラー識別番号）が表示されます。サポート番号が表示されるメッセージについては、「[エラー発生時のサポート番号一覧](#)」を参照してください。

- ➡ [自動両面印刷に関するエラーメッセージが表示されている](#)
- ➡ [電源プラグの抜き差しに関するエラーメッセージが表示されている \(Windows\)](#)
- ➡ [「書き込みエラー／出力エラー」または「通信エラー」 \(Windows\)](#)
- ➡ [その他のエラーメッセージ \(Windows\)](#)
- ➡ [\[インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム\] 画面が表示された \(Windows\)](#)
- ➡ [\[インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム\] アイコンが表示された \(Mac OS\)](#)



自動両面印刷に関するエラーメッセージが表示されている



チェック 「[自動両面印刷でうまく印刷できない](#)」を参照し、対処してください



電源プラグの抜き差しに関するエラーメッセージが表示されている (Windows)



本製品の電源が入った状態で、電源プラグが抜かれた可能性があります。

メッセージの内容を確認して、画面の [OK] ボタンをクリックしてください。

印刷が開始されます。

電源プラグの抜きかたについては「[電源プラグを抜く](#)」を参照してください。



「書き込みエラー／出力エラー」または「通信エラー」 (Windows)



チェック 1 電源ランプが消えている場合は、電源コードが接続されていることを確認し、電源ボタンを押してください

電源ランプが点滅している間は、本製品が初期動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

チェック 2 プリンタードライバーのプロパティで、プリンターポートが正しく設定されていることを確認してください

※以下の手順で、「XXX」はご使用の機種名を表します。

1. 管理者 (Administrators グループのメンバー) として Windows にログオンする

2. 以下のように選ぶ

- Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、デスクトップの [設定] チャームから [コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] → [デバイスとプリンター] の順に選びます。
- Windows 7 をご使用の場合は、[スタート] メニューから [デバイスとプリンター] を選びます。
- Windows Vista をご使用の場合は、[スタート] メニューから [コントロール パネル] → [ハードウェアとサウンド] → [プリンタ] を選びます。
- Windows XP をご使用の場合は、[スタート] メニューから [コントロール パネル] → [プリンタとその他のハードウェア] → [プリンタと FAX] を選びます。

3. ご使用のプリンターのプロパティを開く

- Windows 8.1、Windows 8 または Windows 7 をご使用の場合は、「Canon XXX series Printer」アイコン（「XXX」は機種名）を右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選びます。
- Windows Vista または Windows XP をご使用の場合は、「Canon XXX series Printer」アイコン（「XXX」は機種名）を右クリックし、[プロパティ] を選びます。
- [ポート] タブをクリックし、[印刷するポート] で [プリンタ] の欄に「Canon XXX series Printer」と表示されている「USBnnn」（"n"は数字）が選ばれているか確認する

参考

- 無線 LAN 接続で本製品をご使用の場合は、ポート名は"CNBJNPxxxxxxxx"と表示されます。xx は、MAC アドレスから生成される文字列、または、ネットワークのセットアップ時にユーザーが設定した任意の文字列です。

- 設定が誤っている場合：

セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。

- USB ケーブルで接続していて「USBnnn」が選ばれていても印刷が始まらない場合：

Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、スタート画面上の [マイ プリンタ] を選ぶと、マイ プリンタが起動します。スタート画面に [マイ プリンタ] が表示されない場合は、[検索] チャームを選び、「マイ プリンタ」を検索してください。

表示されるメニューの [プリンターの診断・修復] から、プリンターポートを正しく設定してください。[プリンターの診断・修復] では画面の指示に従って操作し、機種選択画面ではご使用の機種名を選びます。

Windows 7、Windows Vista または Windows XP をご使用の場合は、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [Canon Utilities] → [マイ プリンタ] → [マイ プリンタ] を選び、[プリンターの診断・修復] からプリンターポートを正しく設定してください。[プリンターの診断・修復] では画面の指示に従って操作し、機種選択画面ではご使用の機種名を選びます。

それでも印刷が始まらない場合は、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。

- 無線 LAN 接続で"CNBJNPxxxxxxxx"が表示されていても印刷が始まらない場合：

IJ Network Tool を起動し、[Canon IJ Network Tool] 画面のポート名に手順 4 で確認した"CNBJNPxxxxxxxx"と表示されている列を選び、[設定] メニューの [ポートの関連付け] を選んでポートとプリンターの関連付けをしてください。

それでも印刷が始まらない場合は、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。

チェック3 本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください

USB 接続で本製品をご使用の場合は、本製品の USB ケーブル接続部とパソコンが USB ケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。USB ケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

- USB ハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USB ハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USB ケーブルに不具合があることも考えられます。別の USB ケーブルに交換し、もう一度印刷してみてください。

無線 LAN 接続で本製品をご使用の場合は、ネットワークの設定が正しくされているか確認してください。

チェック4 MP ドライバーが正しくインストールされていることを確認してください

「[不要になった MP ドライバーを削除する](#)」に記載されている手順に従って MP ドライバーを削除したあと、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。

チェック5 USB 接続で本製品をご使用の場合は、パソコンでデバイスの状態を確認してください

以下の手順に従って、パソコンでデバイスの状態を確認してください。

1. 以下のようにデバイスマネージャーを開く

【ユーザー アカウント制御】画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

- Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、デスクトップの [設定] チャームから [コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] → [デバイスマネージャー] の順に選びます。
- Windows 7 をご使用の場合は、[コントロール パネル] から [ハードウェアとサウンド]、[デバイス マネージャー] の順に選びます。
- Windows Vista をご使用の場合は、[コントロール パネル] から [ハードウェアとサウンド]、[デバイス マネージャ] の順に選びます。
- Windows XP をご使用の場合は、[コントロール パネル] から [パフォーマンスとメンテナンス]、[システム] を順にクリックし、[ハードウェア] タブの [デバイス マネージャ] ボタンをクリックします。

2. [USB 印刷サポートのプロパティ] を開く

- Windows 8.1、Windows 8 または Windows 7 をご使用の場合は、[ユニバーサル シリアル バス コントローラー]、[USB 印刷サポート] の順にダブルクリックします。
- Windows Vista をご使用の場合は、[ユニバーサル シリアル バス コントローラ]、[USB 印刷サポート] の順にダブルクリックします。
- Windows XP をご使用の場合は、[USB (Universal Serial Bus) コントローラ]、[USB 印刷サポート] の順にダブルクリックします。

[USB 印刷サポートのプロパティ] が表示されない場合は、本製品とパソコンが接続されていることを確認してください。

➡ [チェック3 本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください](#)

3. [全般] タブをクリックして、デバイスの異常が表示されているか確認する

デバイスの異常が表示されている場合は、Windows のヘルプを参照してトラブルを解決してください。

Q そのほかのエラーメッセージ (Windows)



チェック プリンター状態の確認画面以外でエラーメッセージが表示された場合は、次の点を確認してください

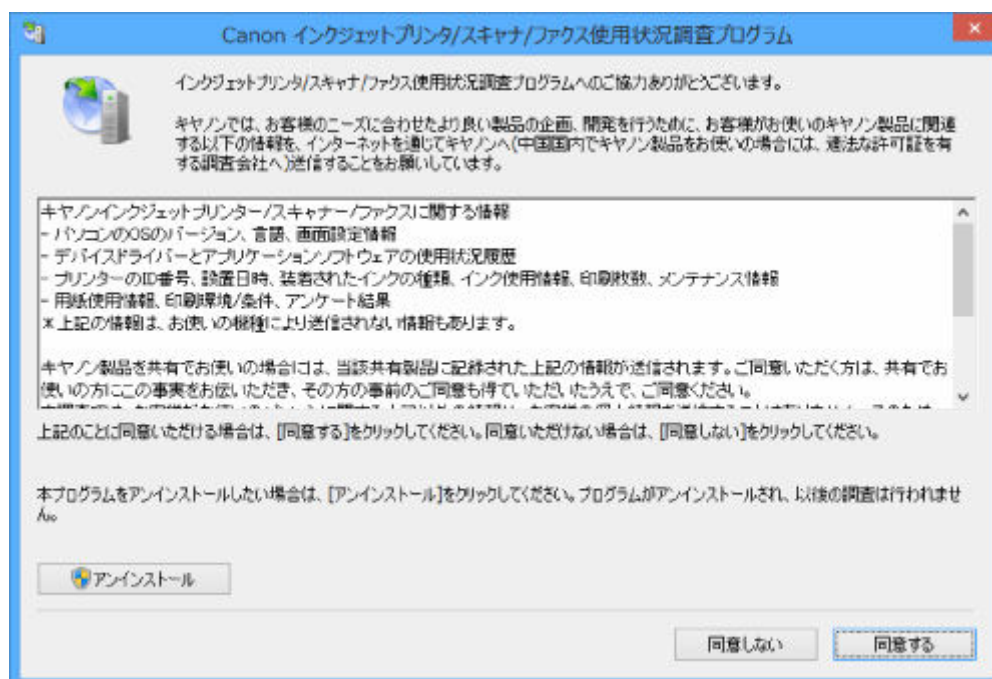
- [ディスク容量不足のため、正常にスプールできませんでした。]
不要なファイルを削除してディスクの空き容量を増やしてください。
- [メモリー不足のため、正常にスプールできませんでした。]
起動中のほかのアプリケーションソフトを終了して空きメモリーを増やしてください。
それでも印刷できない場合は、パソコンを再起動してもう一度印刷してみてください。
- [プリンタードライバーが読み込めませんでした。]
「[不要になった MP ドライバーを削除する](#)」に記載されている手順に従って MP ドライバーを削除したあと、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。
- [「アプリケーションソフト名」 - 「文書名」を印刷できませんでした。]
現在印刷中の文書の印刷が終わったら、もう一度印刷してみてください。

Q [インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム] 画面が表示された (Windows)



インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムをインストールした場合は、インストールしてから 1 カ月毎に約 10 年間、本製品およびアプリケーションソフトウェアの使用状況を送信するための確認画面が表示されます。

画面の説明をお読みになり、次の操作を行ってください。



● 調査に同意される場合

[同意する] をクリックし、表示される画面に従って操作してください。インターネットを通じて使用状況を送信します。操作が完了すると、次回以降は自動送信となり、確認画面は表示されません。

▶▶▶ 参考

- 送信時に、インターネットセキュリティなどの警告画面が表示される場合があります。そのときには、プログラム名「IJPLMUI.exe」であることを確認のうえ、許可してください。
- [次回から自動的に送信する] のチェックマークを外すと、2 回目以降の自動送信は行われず、使用状況の確認画面が送信時に表示されます。自動送信をするように設定するには「[確認画面の表示設定を変更するには](#)」を参照してください。

● 調査に同意されない場合

[同意しない] をクリックします。確認画面が消え、今回は使用状況は送信されません。1 カ月後に使用状況を送信するための確認画面が再度表示されます。

● インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムをアンインストールする場合

インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムをアンインストールする場合は、[アンインストール] をクリックし、表示される画面に従って操作してください。

● 確認画面の表示設定を変更するには

1. 以下のように選ぶ

- Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、デスクトップの [設定] チャームから [コントロールパネル] → [プログラム] → [プログラムと機能] の順に選びます。
- Windows 7 または Windows Vista をご使用の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] → [プログラム] → [プログラムと機能] を選びます。
- Windows XP をご使用の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] を選びます。

▶▶▶ 参考

- Windows 8.1、Windows 8、Windows 7 または Windows Vista をご使用の場合は、ソフトウェアをインストールやアンインストールしたり、起動したりしたときに、確認や警告のダイアログボックスが表示されることがあります。

このダイアログボックスは、ユーザーの管理者権限を確認する画面です。

Administrator [管理者] の権限を持つユーザーでログオンした場合は、画面の指示に従って、操作を続けてください。

2. [Canon インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム] を選ぶ

3. [変更] を選ぶ

表示される画面に従って [はい] を選ぶと、次回の使用状況を送信する時に、送信確認画面が表示されるようになります。

[いいえ] を選ぶと、使用状況を自動的に送信します。

▶▶▶ 参考

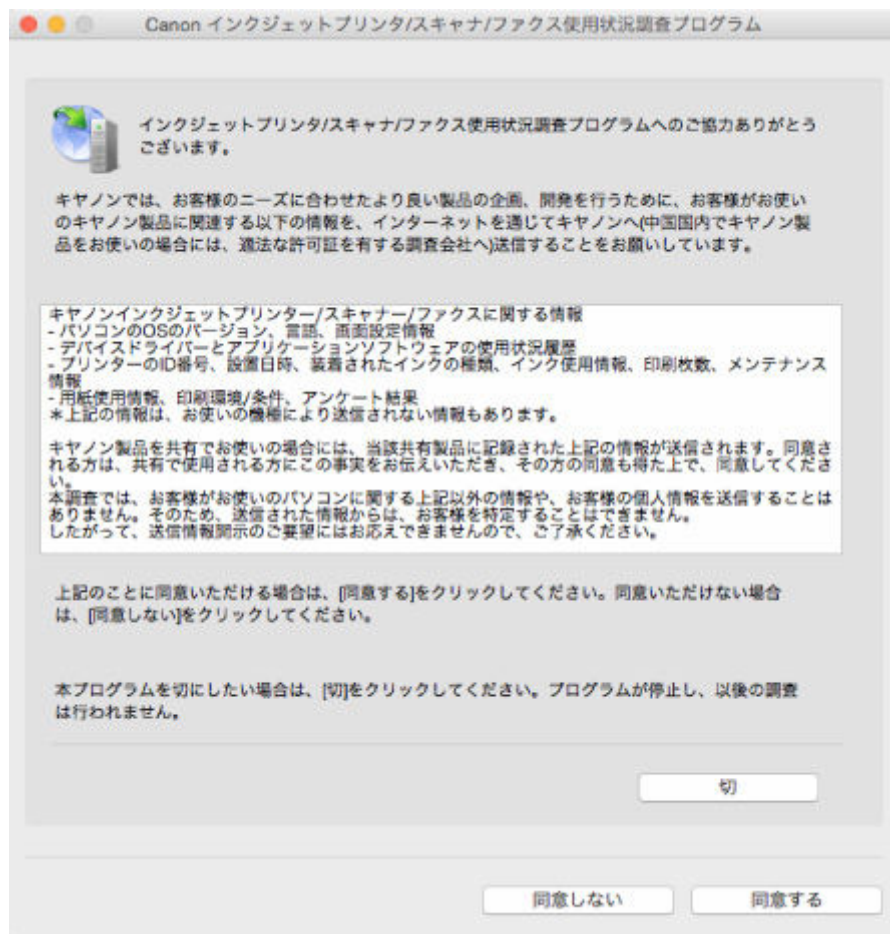
- [アンインストール] (Windows XP をご使用の場合は [削除]) を選ぶとインクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムが削除されます。表示される画面に従って操作を完了してください。

Q [インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム] アイコンが表示された (Mac OS)

A

インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムをインストールした場合は、インストールしてから1ヵ月毎に約10年間、本製品およびアプリケーションソフトウェアの使用状況を送信します。使用状況を送信する時期になると Dock 内にインクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムのアイコンが表示されます。

クリック後に表示される説明をお読みになり、次の操作を行ってください。



● 調査に同意される場合

[同意する] をクリックし、表示される画面に従って操作してください。インターネットを通じて使用状況を送信します。操作が完了すると、次回以降は自動送信となり、確認画面は表示されません。

▶▶▶ 参考

- [次回から自動的に送信する] のチェックボックスをオフにすると、2回目以降も自動送信は行われず、使用状況の送信時 Dock にインクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムのアイコンが表示されます。

● 調査に同意されない場合

[同意しない] をクリックします。確認画面が消え、今回は使用状況は送信されません。1ヵ月後に使用状況を送信するための確認画面が再度表示されます。

- **調査を停止する場合**

[切] をクリックします。インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムが停止し、使用状況は送信されません。調査を再開するには「[設定を変更するには](#)」を参照してください。

- **インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムをアンインストールする場合**

1. インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムを停止する

➡ [設定を変更するには](#)

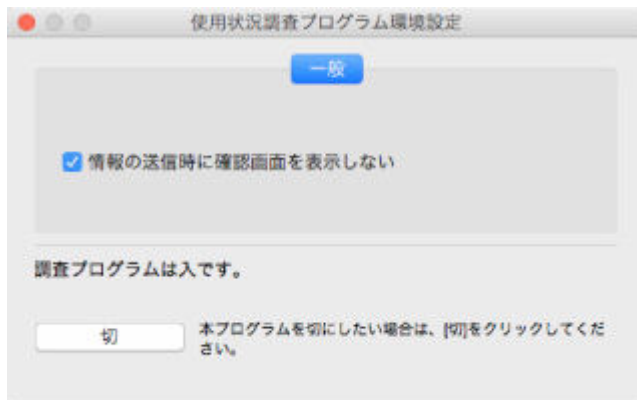
2. Finder の [移動] メニューから [アプリケーション] を選び、[Canon Utilities] フォルダ、[Inkjet Extended Survey Program] フォルダを順にダブルクリックする
3. [Canon インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム.app] をゴミ箱に入れる
4. パソコンを再起動する

[ゴミ箱] を空にして、パソコンを再起動します。

- **設定を変更するには**

送信確認画面を表示して使用状況を送信するように変更したり、使用状況の調査を再開させたりしたい場合は以下の手順で操作してください。

1. Finder の [移動] メニューから [アプリケーション] を選び、[Canon Utilities] フォルダ、[Inkjet Extended Survey Program] フォルダを順にダブルクリックする
2. [Canon インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム] アイコンをダブルクリックする



- [情報の送信時に確認画面を表示しない] :

チェックボックスをチェックすると、使用状況が自動的に送信されます。

チェックボックスをオフにすると、使用状況の送信時 Dock にインクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムのアイコンが表示されます。確認画面から送信してください。

- [切] / [入] ボタン :

[切] ボタンをクリックすると、インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムを停止します。

[入] ボタンをクリックすると、停止していたインクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムが再開されます。



PictBridge (Wireless LAN) 対応機器にエラーメッセージが表示されている



PictBridge (Wireless LAN) 対応機器から直接印刷を行ったときに、PictBridge (Wireless LAN) 対応機器にエラーが表示される場合があります。表示されるエラーと対処方法は以下のとおりです。

参考

- 以下の説明は、キヤノン製 PictBridge (Wireless LAN) 対応機器に表示されるエラーについて説明しています。ご使用の機器により表示されるエラーやボタン操作が異なる場合があります。キヤノン製以外の PictBridge (Wireless LAN) 対応機器からのプリンターエラーの解除方法がわからない場合は、本製品のエラーランプの状態を確認してエラーを解除してください。本製品のエラーの解除方法は「[トラブルが発生したときは](#)」を参照してください。
- 表示されるエラーや対処方法については、PictBridge (Wireless LAN) 対応機器に付属の取扱説明書もあわせて参照してください。そのほか、PictBridge (Wireless LAN) 対応機器側のトラブルについては、各機器の相談窓口へお問い合わせください。

PictBridge (Wireless LAN) 対応機器側エラー表示	対処方法
プリンタは使用中です	パソコンなどから印刷している場合や準備動作を行っている場合は、終了するまでお待ちください。 印刷の準備ができたなら、自動的に印刷が開始されます。 上記に当てはまらない場合は、本製品のエラーランプの状態を確認してエラーを解除してください。 ⇒ トラブルが発生したときは
用紙（ペーパー）がありません	本製品に用紙をセットして、PictBridge (Wireless LAN) 対応機器のエラー画面で「続行」* を選んでください。 * 「続行」を選ぶ代わりに、本製品のカラーボタンまたはモノクロボタンを押しても有効です。
用紙（ペーパー）エラー	本製品のエラーランプの状態を確認してエラーを解除してください。 ⇒ トラブルが発生したときは
用紙（ペーパー）が詰まりました	PictBridge (Wireless LAN) 対応機器のエラー画面で「中止」を選び、印刷を中止してください。 用紙を取り除き、用紙をセットし直してから本製品のカラーボタンまたはモノクロボタンを押し、再度印刷を行ってください。
プリンターカバーが開いています	本製品の排紙カバーを閉じてください。
プリントヘッド未装着	本製品のエラーランプによって、エラーの状態を確認できます。本製品のエラーランプの状態を確認してエラーを解除してください。

	⇒ トラブルが発生したときは
廃インクタンクが満杯です／インク吸収体が満杯です	インク吸収体が満杯になりそうです。 本製品のエラーランプによって、エラーの状態を確認できます。本製品のエラーランプの状態を確認してエラーを解除してください。 ⇒ トラブルが発生したときは
インクがありません／インクカセットが異常です	本製品のエラーランプによって、エラーの状態を確認できます。本製品のエラーランプの状態を確認してエラーを解除してください。 ⇒ トラブルが発生したときは
インクエラー	インクがなくなっている可能性があります。 本製品のエラーランプが 13 回点滅している場合は、「1686」を参照してエラーを解除してください。
ハードウェアエラー	本製品のエラーランプによって、エラーの状態を確認できます。本製品のエラーランプの状態を確認してエラーを解除してください。 ⇒ トラブルが発生したときは
プリンタートラブル発生	サービスを必要とするエラーが起きている可能性があります。 本製品の電源を切ってから、本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。 電源プラグをコンセントに差ししてから、本製品の電源を入れ直してみてください。 それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。 詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

トラブルが解決しないときは

「困ったときには」の各ページを読んでもトラブルの原因がはっきりしない、トラブルが解決しない場合には、キヤノンサポートホームページからお問い合わせ、もしくはパーソナル機器修理受付センターにお問い合わせください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

▶▶ 参考

- トラブルの解決方法は、キヤノンのホームページでもご覧いただけます。

エラー発生時のサポート番号一覧 (MG3630)

エラーが発生したときに、パソコンにサポート番号が表示されます。

「サポート番号」とはエラー識別番号で、エラーメッセージと合わせて表示されます。

エラーが発生したときはサポート番号を確認し、それぞれの対処方法に従って操作してください。

表示されるサポート番号

- **1000～1ZZZ**

[1003](#) [1200](#) [1202](#) [1250](#) [1300](#) [1303](#)

[1304](#) [1310](#) [1401](#) [1403](#) [1485](#) [1486](#)

[1487](#) [1682](#) [1684](#) [1686](#) [1687](#) [1688](#)

[1702](#) [1703](#) [1704](#) [1705](#) [1712](#) [1713](#)

[1714](#) [1715](#) [1890](#)

- **2000～2ZZZ**

[2100](#) [2101](#) [2102](#) [2103](#) [2900](#) [2901](#)

- **3000～3ZZZ**

[3402](#) [3403](#) [3405](#) [3412](#)

- **4000～4ZZZ**

[4100](#) [4103](#)

- **5000～5ZZZ**

[5011](#) [5012](#) [5050](#) [5100](#) [5200](#) [5400](#)

[5B02](#) [5B03](#) [5B04](#) [5B05](#) [5B12](#) [5B13](#)

[5B14](#) [5B15](#)

- **6000～6ZZZ**

[6000](#) [6500](#) [6800](#) [6801](#) [6900](#) [6901](#)

[6902](#) [6910](#) [6911](#) [6930](#) [6931](#) [6932](#)

[6933](#) [6936](#) [6937](#) [6938](#) [6940](#) [6941](#)

[6942](#) [6943](#) [6944](#) [6945](#) [6946](#)

- **A000～ZZZZ**

[B202](#) [B203](#) [B204](#) [B205](#)

紙づまりに関するサポート番号については、「[エラー発生時のサポート番号一覧（用紙がつまった場合）](#)」からも確認することができます。

エラー発生時のサポート番号一覧（用紙がつまった場合）

用紙がつまった場合は、つまった場所や原因に応じて用紙を取り除いてください。

- つまった用紙が排紙口から見えている場合
➡ [1300](#)
- つまった用紙が排紙口から見えない場合
➡ [1303](#)
- 自動両面印刷をしていて、用紙がつまった場合
➡ [1304](#)
- つまった用紙が破れて給紙口から取り除けない、または搬送ユニットからつまった用紙を取り除けない場合
➡ [本製品の内部で用紙がつまった](#)
- 上記に当てはまらない場合
➡ [それ以外のとき](#)

1300

原因

排紙口付近で用紙がつまっています。

対処方法

つまった用紙が排紙口から見えている場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1. 用紙をゆっくり引っ張り、用紙を取り除く

用紙を両手でしっかりと持ち、紙が破れないようにゆっくりと引き抜いてください。



重要

- つまった用紙が前トレイから見えている場合でも、前トレイから用紙を引き抜かないでください。つまった用紙を前トレイから無理に引き抜くと、故障の原因となります。

参考

- 用紙が引き抜けない場合は、本製品の電源を入れ直してください。用紙が自動的に排出されることがあります。
- 印刷中につまった用紙を取り除くため本製品の電源を切る場合は、ストップボタンを押して、印刷を中止してから電源を切ってください。
- 排紙口から用紙が引き抜けない場合は、搬送ユニットから用紙を引き抜いてみてください。
- ➡ [1303](#)
- 用紙が破れて排紙口から引き抜けなくなった場合は、本製品の内部から用紙を取り除いてください。
- ➡ [本製品の内部で用紙がつまった](#)

2. 用紙をセットし直し、本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押す

印刷が再開されます。つまったときに印刷していたページが正しく印刷されなかった場合は、再度印刷を行ってください。

手順 1 で電源を入れ直した場合、本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

参考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。

- 写真やグラフィックを含む原稿の印刷は A5 サイズ以外の用紙に印刷することをお勧めします。A5 サイズの用紙に印刷すると、用紙が反って排紙できない原因になることがあります。

上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

原因

搬送ユニット付近で用紙がつまっています。

対処方法

つまった用紙が排紙口から見えないときは、搬送ユニットからつまった用紙を取り除きます。

次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

参考

- 印刷中につまった用紙を取り除くため本製品の電源を切る場合は、ストップボタンを押して、印刷を中止してから電源を切ってください。

1. 本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

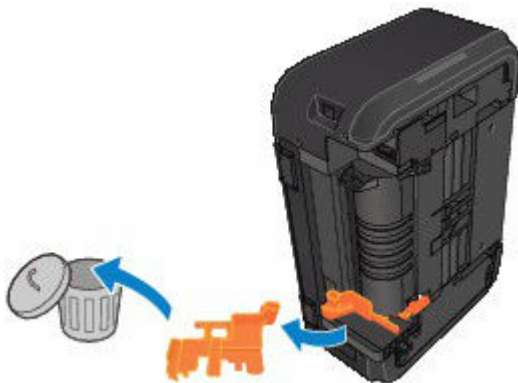
2. 本製品の正面右側を下にして、本製品を立てる

つまった用紙が前トレイから見えているときは、前トレイを開いたまま本製品を立ててください。

重要

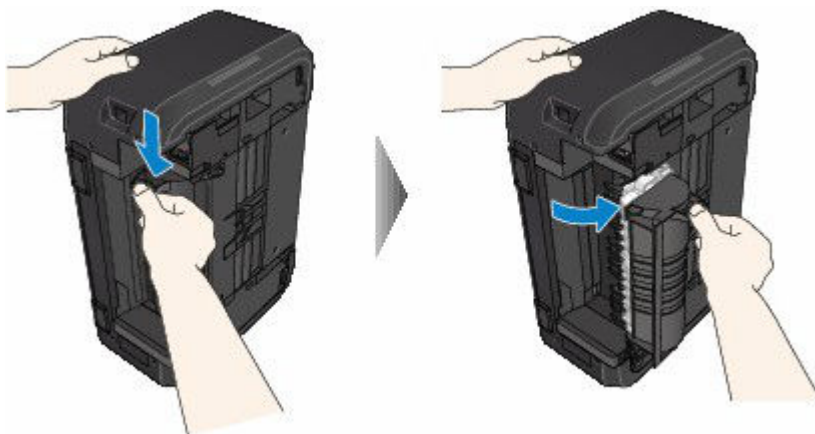
- 本製品を立てるときは、原稿台カバーがしっかりと閉まっていることを確認してください。
- 本製品は、机の上など平らで広い場所で立ててください。
- 本製品を立てるときは両手でしっかりと持って、硬いものにぶつけないように注意して立ててください。

3. 固定部材が取り付けられたままになっている場合は、固定部材を取り除く



4. オープンレバーを押しながら、搬送ユニットを開ける

搬送ユニットを開閉するときは、本製品が倒れないように手で支えてください。



5. 用紙をゆっくり引っ張る

つまった用紙を引き抜くときは、本製品が倒れないように手で支えてください。



参考

- 用紙が丸まって取り出しにくい場合は、用紙の端を引き出してから、つまった用紙を引っ張ってください。
- 搬送ユニットから用紙を取り除けない場合は、搬送ユニットを閉じてから本製品を元の位置に戻し、本製品の内部から用紙を取り除いてください。

➡ [本製品の内部で用紙がつまった](#)

6. 搬送ユニットを閉じる



参考

- 搬送ユニットを閉じたら、速やかに本製品を元の位置に戻してください。

7. 電源プラグをコンセントにつないで本製品の電源を入れ直す

8. 用紙をセットし直す

本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

原因

自動両面印刷をしていて、用紙がつまりました。

対処方法

自動両面印刷をしていて用紙がつまった場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

参考

- 印刷中につまんだ用紙を取り除くため本製品の電源を切る場合は、ストップボタンを押して、印刷を中止してから電源を切ってください。

1. 排紙口から用紙をゆっくり引っ張り、用紙を取り除く

用紙を両手でしっかりと持ち、紙が破れないようにゆっくりと引き抜いてください。



重要

- つまんだ用紙が前トレイから見えている場合でも、前トレイから用紙を引き抜かないでください。つまんだ用紙を前トレイから無理に引き抜くと、故障の原因となります。

2. 用紙をセットし直し、本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押す

手順 1 で用紙を取り除けなかったとき：

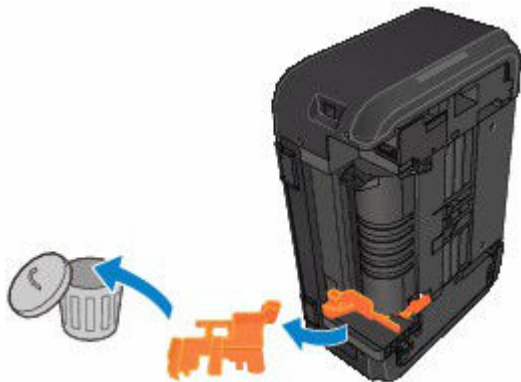
続けて、以下の手順で搬送ユニットから用紙を取り除いてください。

1. 本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
2. 本製品の正面右側を下にして、本製品を立てる

重要

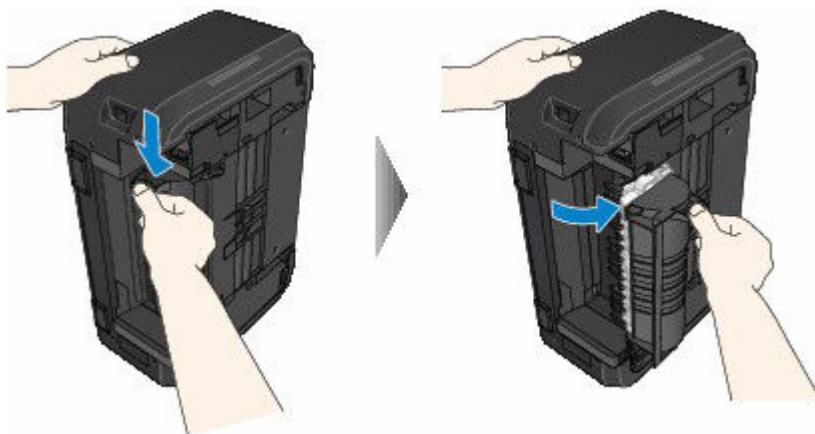
- 本製品を立てるときは、原稿台カバーがしっかりと閉まっていることを確認してください。
- 本製品は、机の上など平らで広い場所で立ててください。
- 本製品を立てるときは両手でしっかりと持って、硬いものにぶつけないように注意して立ててください。

3. 固定部材が取り付けられたままになっている場合は、固定部材を取り除く



4. オープンレバーを押しながら、搬送ユニットを開ける

搬送ユニットを開閉するときは、本製品が倒れないように手で支えてください。



5. 用紙をゆっくり引っ張る

つまった用紙を引き抜くときは、本製品が倒れないように手で支えてください。



参考

- 用紙が丸まって取り出しにくい場合は、用紙の端を引き出してから、つまった用紙を引っ張ってください。
- 搬送ユニットから用紙を取り除けない場合は、搬送ユニットを閉じてから本製品を元の位置に戻し、本製品の内部から用紙を取り除いてください。

➡ [本製品の内部で用紙がつまった](#)

6. 搬送ユニットを閉じる



参考

- 搬送ユニットを閉じたら、速やかに本製品を元の位置に戻してください。

7. 電源プラグをコンセントにつないで本製品の電源を入れ直す

8. 用紙をセットし直す

本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

本製品の内部で用紙がつまった

つまった用紙が破れて排紙口から取り除けないときや、搬送ユニットからも用紙が取り除けないとき、または本製品の内部で用紙がつまっているときは、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

参考

- 印刷中につまった用紙を取り除くため本製品の電源を切る場合は、ストップボタンを押して、印刷を中止してから電源を切ってください。

1. 本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

2. 排紙カバーを開ける

カセットに用紙がある場合は、取り除いてください。



重要

- 透明のフィルム（A）に触れないでください。



用紙や手が触れて透明のフィルムが汚れたり傷ついたりすると、故障の原因になります。

3. FINE カートリッジホルダーの下につまった用紙がないか確認する

FINE カートリッジホルダーの下につまった用紙があるときは、FINE カートリッジホルダーを動かしやすい方向（右端または左端）へ動かして、用紙を取り除きやすくしてください。

FINE カートリッジホルダーを動かすときは、FINE カートリッジホルダーをしっかりとつかみ、右端または左端に、ゆっくりとスライドさせてください。



4. つまっている用紙を両手でしっかりとつかむ



用紙が丸まっている場合は、用紙を引き出してください。



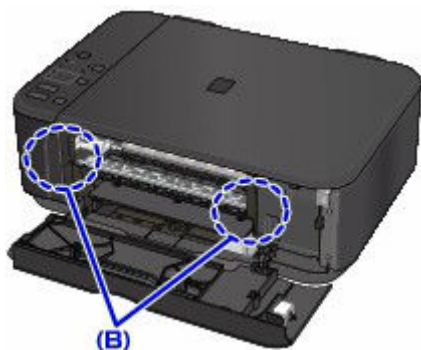
5. 破れないように、ゆっくり用紙を引き抜く



6. つまった用紙がすべて取り除かれたことを確認する

引き抜いた用紙が破れている、または欠けている場合は、本製品の内部に紙片が残っている可能性があります。次のことを確認して、紙片がある場合は取り除いてください。

- FINE カートリッジホルダーの下に紙片が残っていないか
- 小さな紙片が残っていないか
- 本製品内部の左側／右側の空間(B)に紙片が残っていないか



7. 排紙カバーを閉じて、用紙をセットし直す

本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

参考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。つまった用紙をすべて取り除いたあとで印刷を再開したときに、紙づまりに関するメッセージがパソコンに表示される場合は、本製品の内部に紙片が残っている可能性があります。その場合はもう一度本製品の内部に紙片が残っていないか、確認してください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

それ以外のとき

次のことを確認してください。

チェック 1 排紙口付近に異物はありませんか

チェック 2 反りのある用紙を使用していないか

反りのある用紙は、反りを直してから使用してください。

1003

原因

用紙がありません、または給紙できません。

対処方法

用紙をセットして、本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押してください。

用紙をセットするときは、用紙の先端が奥まで突き当たるように用紙をセットしてください。

1200

原因

排紙カバーが開いています。

対処方法

排紙カバーを閉じてしばらくお待ちください。

FINE カートリッジを交換中の場合は、作業を終了してから閉じてください。

1202

原因

排紙カバーが開いています。

対処方法

排紙カバーを閉じてください。

1250

原因

排紙トレイが閉じられています。

対処方法

排紙トレイを開いてください。印刷が再開します。

1310

原因

用紙サイズが自動両面印刷に対応していない可能性があります。

対処方法

対応している用紙サイズは、A4 サイズまたはレターサイズです。本製品にセットした用紙サイズが正しいか確認してください。本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押すと印刷中の用紙を排紙して、次の用紙の表面から印刷を再開します。エラーが起きたときの裏面のデータは印刷されませんのでご注意ください。

1401

原因

FINE カートリッジが取り付けられていません。

対処方法

FINE カートリッジを取り付けてください。

それでもエラーが解決されないときには、FINE カートリッジが故障している可能性があります。キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1403

原因

FINE カートリッジを認識できません。

対処方法

FINE カートリッジを交換してください。

それでもエラーが解決されないときには、FINE カートリッジが故障している可能性があります。キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1485

原因

対応していないインクカートリッジが取り付けられています。

対処方法

本製品がサポートできないインクカートリッジが取り付けられているため、印刷できません。

正しいインクカートリッジを取り付けてください。

印刷を中止する場合は、本製品のストップボタンを押してください。

1486

原因

FINE カートリッジが正しい取り付け位置にセットされていません。

対処方法

各色の FINE カートリッジの取り付け位置に、正しい FINE カートリッジがセットされていることを確認してください。

1487

原因

FINE カートリッジが正しい取り付け位置にセットされていません。

対処方法

各色の FINE カートリッジの取り付け位置に、正しい FINE カートリッジがセットされていることを確認してください。

1682

原因

FINE カートリッジを認識できません。

対処方法

FINE カートリッジを交換してください。

それでもエラーが解決されないときには、FINE カートリッジが故障している可能性があります。キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1684

原因

インクカートリッジが認識できません。

対処方法

インクカートリッジが正しく取り付けられていないか、本製品がサポートできないインクカートリッジが取り付けられているため、印刷できません。

正しいインクカートリッジを取り付けてください。

印刷を中止する場合は、本製品のストップボタンを押してください。

1686

原因

インクがなくなっている可能性があります。

対処方法

インク残量を正しく検知できないため、インク残量検知機能は使用できなくなります。

この機能を無効にし、インクカートリッジを継続して使用する場合は、本製品のストップボタンを 5 秒以上押してください。

優れた印刷結果を得るために、新しいキヤノン純正カートリッジへの交換をお勧めします。

インク切れの状態で印刷を続けたことが原因の故障については、キヤノンは責任を負えない場合があります。

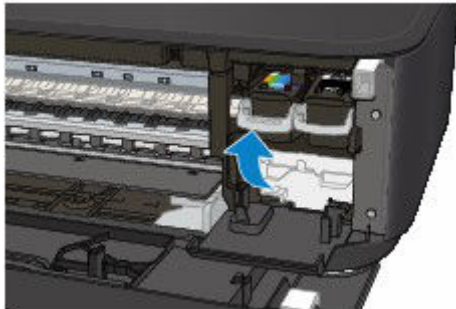
1687

原因

FINE カートリッジが正しく取り付けられていません。

対処方法

排紙カバーを開け、ヘッドカバーが開いた後、インクカートリッジ固定レバーをしっかりと上げて、FINE カートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。



確認後は排紙カバーを閉じてください。

それでもエラーが出る場合は、いったん FINE カートリッジを取り外し、正しく取り付け直してください。

1688

原因

インクがなくなりました。

対処方法

インクカートリッジを交換して、排紙カバーを閉じてください。

印刷が完了していない場合は、インクカートリッジを取り付けたまま本製品のストップボタンを 5 秒以上押すと、インク切れの状態での印刷を続行することができます。

このとき、インク残量検知機能は使用できなくなります。

印刷が終了したらすぐに新しいインクカートリッジに交換してください。インク切れの状態での印刷を続けると、十分な印刷品位が得られなくなります。

1702

原因

インク吸収体が満杯に近づいています。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押すと、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めにキヤノンサポートホームページから交換のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1703

原因

インク吸収体が満杯に近づいています。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押すと、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めにキヤノンサポートホームページから交換のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1704

原因

インク吸収体が満杯に近づいています。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押すと、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めにキヤノンサポートホームページから交換のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1705

原因

インク吸収体が満杯に近づいています。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押すと、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めにキヤノンサポートホームページから交換のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1712

原因

インク吸収体が満杯に近づいています。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押すと、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めにキヤノンサポートホームページから交換のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1713

原因

インク吸収体が満杯に近づいています。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押すと、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めにキヤノンサポートホームページから交換のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1714

原因

インク吸収体が満杯に近づいています。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押すと、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めにキヤノンサポートホームページから交換のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1715

原因

インク吸収体が満杯に近づいています。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押すと、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めにキヤノンサポートホームページから交換のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

原因

FINE カートリッジホルダーの固定部材やテープが取り付けられたままになっている可能性があります。

対処方法

排紙カバーを開き、FINE カートリッジホルダーに固定部材やテープが取り付けられたままになっていないか確認してください。

固定部材やテープが取り付けられたままになっている場合は、取り除いてから、排紙カバーを閉じてください。



上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

2100

原因

印刷設定の用紙サイズと、セットした用紙のサイズが一致していません。

対処方法

印刷設定とセットした用紙を確認して、正しいサイズの用紙をセットしてから、本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押してください。

印刷を中止する場合は、本製品のストップボタンを押してください。

2101

原因

印刷設定の用紙サイズと、セットした用紙のサイズが一致していません。

対処方法

印刷設定とセットした用紙を確認して、正しいサイズの用紙をセットしてから、本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押してください。

印刷を中止する場合は、本製品のストップボタンを押してください。

2102

原因

用紙が片寄って給紙されたことを検知しました。

対処方法

用紙を前トレイの中央にセットし、用紙ガイドを用紙の両端に合わせてください。

本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押してエラーを解除してください。

2103

原因

用紙サイズを検知できませんでした。

対処方法

本製品のストップボタンを押してエラーを解除したあと、印刷をやり直してください。

印刷をやり直しても再度このエラーが出る場合は、本製品の操作パネルまたはプリンタードライバー、リモート UI で用紙の幅を検知しない設定にしてください。

▶▶ 参考

- 用紙の種類によっては、用紙サイズを検知できない場合があります。
- また、印刷中に排紙カバーを開くと、用紙サイズを検知できない場合があります。

2900

原因

プリントヘッド位置調整シートの読み込みに失敗しました。

対処方法

本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押してエラーを解除してください。以下の項目を確認したあと、もう一度プリントヘッド位置調整を行ってください。

- 原稿台ガラスにプリントヘッド位置調整シートを置く向きや、位置を確認してください。
- 原稿台ガラスやプリントヘッド位置調整シートが汚れていないか確認してください。
- 用紙が正しいか確認してください。

自動でプリントヘッド位置調整を行う場合は、A4 サイズの普通紙を使用してください。

- ノズルが目づまりしていないか確認してください。

ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。

それでもエラーが解決されないときは、手動でプリントヘッド位置調整を行ってください。

2901

原因

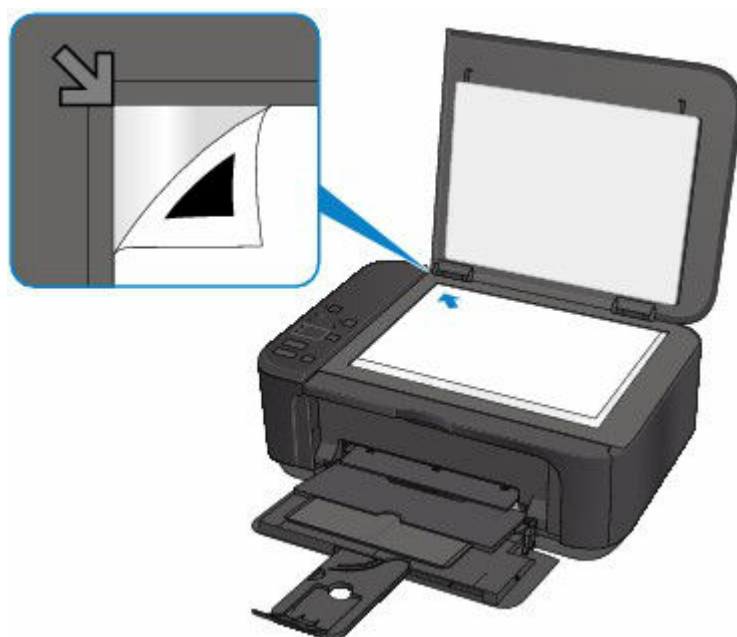
プリントヘッド位置調整シートの印刷が完了して、シートの読み込み待ちの状態になっています。

対処方法

続いて、印刷された調整用のパターンをスキャンします。

1. 印刷されたプリントヘッド位置調整シートを原稿台ガラスにセットする

ヘッド位置調整パターンが印刷された面を下にして、シートの左上隅の  マークを原稿位置合わせマーク () に合わせます。



2. 原稿台カバーをゆっくり閉じて、本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押す

プリントヘッド位置調整シートのスキャンが開始され、自動的にプリントヘッド位置が調整されます。

3402

原因

本製品のメモリーがいっぱいでコピーできませんでした。

対処方法

本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押してエラーを解除してください。

しばらく待ってから、コピーしてください。

3403

原因

本製品のメモリーがいっぱいでコピーできませんでした。

対処方法

本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押してエラーを解除してください。

しばらく待ってから、コピーしてください。

3405

原因

本製品のメモリーがいっぱいでコピーできませんでした。

対処方法

本製品のモノクロボタンまたはカラーボタンを押してエラーを解除してください。

しばらく待ってから、コピーしてください。

3412

原因

原稿の読み取りに失敗しました。

対処方法

本製品のカラーボタンまたはモノクロボタンを押してエラーを解除し、そのあと以下の対処を行ってください。

- 原稿台ガラスに原稿がセットされているか確認してください。
- 原稿を置く向きや位置を確認してください。

上記の対処を行ったあと、スキャンまたはコピーをやり直してください。

それでもエラーが解決されないときは、原稿のサイズを指定してください。

重要

- 3 cm（1.2 inches）四方より小さい原稿は正しく読み取れない場合があります。

4100

原因

指定したデータを印刷することができませんでした。

対処方法

クリエイティブパーク プレミアムのコンテンツを印刷しようとしたときは、パソコンの画面の表示を確認し、キヤノン純正 FINE カートリッジのすべてが正しく取り付けられていることを確認してから再度印刷を行ってください。

4103

原因

現在の印刷設定では印刷できません。

対処方法

本製品のストップボタンを押して、いったん印刷を中止してください。

その後、印刷設定を変更し、再度印刷を行ってください。

5011

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

5012

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

5050

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

5100

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

印刷を中止して、本製品の電源を切ってください。

続いて、以下のことを確認してください。

- FINE カートリッジホルダーの固定部材やつまった用紙など、FINE カートリッジホルダーの動きを妨げているものがないか

FINE カートリッジホルダーの動きを妨げているものがあれば、取り除いてください。

- FINE カートリッジが正しくセットされているか

排紙カバーを開け、ヘッドカバーが開いた後、インクカートリッジ固定レバーをしっかりと上げて、FINE カートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。

最後に、本製品の電源を入れ直してください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- FINE カートリッジホルダーの動きを妨げているものを取り除くときは、透明のフィルム (A) に触れないよう、十分注意してください。



5200

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

5400

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

5B02

原因

インク吸収体が満杯になりました。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、交換が必要です。お早めにキヤノンサポートホームページから交換のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

5B03

原因

インク吸収体が満杯になりました。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、交換が必要です。お早めにキヤノンサポートホームページから交換のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

5B04

原因

インク吸収体が満杯になりました。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、交換が必要です。お早めにキヤノンサポートホームページから交換のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

5B05

原因

インク吸収体が満杯になりました。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、交換が必要です。お早めにキヤノンサポートホームページから交換のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

5B12

原因

インク吸収体が満杯になりました。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、交換が必要です。お早めにキヤノンサポートホームページから交換のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

5B13

原因

インク吸収体が満杯になりました。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、交換が必要です。お早めにキヤノンサポートホームページから交換のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

5B14

原因

インク吸収体が満杯になりました。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、交換が必要です。お早めにキヤノンサポートホームページから交換のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

5B15

原因

インク吸収体が満杯になりました。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、交換が必要です。お早めにキヤノンサポートホームページから交換のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6000

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6500

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6800

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6801

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6900

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6901

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6902

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6910

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6911

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6930

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6931

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6932

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6933

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6936

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6937

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6938

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6940

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6941

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6942

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6943

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6944

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6945

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

6946

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

B202

原因

修理の依頼が必要なエラーが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

B203

原因

修理の依頼が必要なエラーが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

B204

原因

修理の依頼が必要なエラーが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

B205

原因

修理の依頼が必要なエラーが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

キヤノンサポートホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。